

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第332集

相ノ沢遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合土地改良事業



(財) 岩手県文化振興事業団
埋蔵文化財センター

相ノ沢遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合土地改良事業

序

岩手県には縄文時代の遺跡をはじめとする数多くの埋蔵文化財があり、岩手県教育委員会のまとめでは、9,800箇所を超える遺跡が確認されております。これら先人の残した文化遺産を保存し、後世に伝えていくことは私たち県民に課せられた責務であります。

一方、本調査の原因となりました畑地帯総合土地改良事業を例にあげるまでもなく、現代社会を豊かにし、快適な生活をおくるための地域開発も県民の切実な願いであります。そのなかで埋蔵文化財の保護、保存と地域開発の調和が今日の課題とされております。

財団法人岩手県文化振興事業団は、埋蔵文化財センターの創設以来、埋蔵文化財保護の立場に立ち、県教育委員会の指導と調整のもと、開発事業によってやむを得ず消滅する遺跡について発掘調査を行い、その記録を残す措置をとってまいりました。

本書は藤沢町黄海地区の畑地帯総合開発事業に関連して平成7・8年度に発掘調査を実施した相ノ沢遺跡の調査結果をまとめたものであります。遺跡は縄文時代後期～晩期を主体とすることが明らかになり、多くの遺物が出土したことでの該期の貴重な資料を提供することができました。

本書が広く活用され、考古学の研究に寄与するとともに埋蔵文化財に対する关心と理解をいっそう深める一助となることを切に希望いたします。

最後になりましたが、発掘調査および報告書作成にご協力とご援助を賜りました岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所、藤沢町教育委員会をはじめとする関係機関、関係各位に衷心より感謝申し上げます。

平成12年3月

財団法人岩手県文化振興事業団

理事長 船越昭治

例 言

1. 本報告書は岩手県東磐井郡藤沢町黄海字深田利263番地ほかに所在する相ノ沢遺跡の発掘調査の成果を収録したものである。
2. 本遺跡の岩手県遺跡台帳の遺跡番号はOE29-0315、遺跡略号はAS-95・AS-96である。
3. 本遺跡の調査は畠地帯総合土地改良事業とともになう緊急調査である。調査は岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所と岩手県教育委員会文化課との協議を経て、岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所の委託を受けた財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施した。
4. 野外調査の期間と調査面積・調査担当者は次の通りである。

平成7年4月10日～7月31日	720m ²	松本建速・宮本節子
平成8年4月8日～6月28日	400m ²	宮本節子・菊地栄壽
5. 室内整理の期間と担当者は次の通りである。

平成7年11月1日～平成8年3月31日	松本建速・宮本節子
平成8年11月1日～平成9年3月31日	宮本節子
平成9年4月1日～平成10年3月31日	宮本節子
平成10年4月1日～平成11年3月31日	宮本節子
6. 出土品の鑑定および分析は次の個人、機関に委託した。(敬称略)

石材鑑定 佐藤二郎 (長内水源工業株式会社)
樹種同定 早坂松次郎 (岩手県木炭協会)
アスファルト分析 小笠原正明 (北海道大学高等教育機能開発センター)
アスファルト保存処理 赤沼秀男 (岩手県立博物館)
黒曜石・翡翠同定 薩科哲男 (京都大学原子炉実験所)
獸骨同定 佐々木務 (岩手県教育委員会文化課)
7. 座標原点の測量および空中写真撮影、一部の石器実測・トレースは次の機関に委託した。

座標原点の測量 株式会社東開技術
空中写真撮影 東邦航空株式会社
石器実測・トレース エーティック環境文化研究所
8. 野外での遺構写真撮影は調査員、遺物の写真撮影は当センター写真技師岩渕希士、村田憲満、福士昭夫が担当した。
9. 野外調査において、岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所、藤沢町教育委員会、黄海地区をはじめとする地元の方々の御協力をいただいた。
10. 本書の執筆、編集は宮本節子が担当した。
11. 本遺跡の出土遺物、記録類は岩手県立埋蔵文化財センターが保管している。

目 次

序

例言

〈本文〉

I 調査に至る経過	1
II 遺跡の立地と環境	1
1 遺跡の立地と地質・地形	1
2 基本層序	2
3 周辺の遺跡	3
III 調査方法と整理方法	11
1 野外調査	11
2 室内整理	12
IV 検出された遺構、遺物	15
1 積穴住居跡	15
2 積穴住居状遺構	16
3 土 坑	17
4 配石遺構	28
5 焼土遺構	30
6 埋設土器	35
7 石斧埋納状況	35
8 土偶埋納状況	36
9 柱穴状小ピット	36
10 捨て場	36
11 土 墓	37
12 溝	37
13 道路状遺構	37
14 炭 窯	37
V 出土遺物	66
1 縄文土器	66
2 土製品	67
3 石器・石製品	68
4 獣 骨	71
5 炭化物	71
6 水 晶	71
7 烧粘土塊	71
8 アスファルト付き土器	72

9 繩文時代以外の遺物	72
VII 考 察	330
VIIIまとめ	336
(1) 遺構	336
(2) 遺物	337
参考・引用文献	338
附編1 岩手県相ノ沢遺跡出土の黒曜石製石器の原材産地分析	340
附編2 岩手県相ノ沢遺跡から出土したアスファルトの成分分析	353
附編3 岩手県相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の産地分析	356

〈表〉

第1表 周辺の遺跡一覧	9
第2表 遺構名変更一覧	62
第3表 遺物観察表	250
(1) 土器	250
(2) 石器	303
(3) 石製品	314
(4) 土製品	317
(5) 土偶	321
(6) 骨角器・獸骨	327
(7) 焼粘土塊	329
(8) 繩文時代以外の遺物観察表	329
第4表 後期縄文土器底部資料グリッド別文様比較	331
第5表 グリッド別剥片出土量	332
第6表 グリッド別土器・石器出土分布図	333
第7表 グリッド別土製品出土分布図	334
第8表 グリッド別石器・石製品出土分布図	335

〈図版〉

第1図 岩手県図の中の遺跡の位置	5	第10図 2号住居跡、39号土坑	40
第2図 遺跡周辺の地形図	6	第11図 1号～9号土坑	41
第3図 地形分類図	7	第12図 10号～18号土坑	42
第4図 基本層序模式図	7	第13図 19号～27号土坑	43
第5図 藤沢町遺跡分布図	8	第14図 28号～36号、38号土坑	44
第6図 遺構・土器・石器実測図凡例	14	第15図 37号、40号～47号土坑	45
第7図 遺構配置図	38	第16図 1号～8号配石遺構	46
第8図 土層観察ベルト位置図	38	第17図 1号～6号、8号焼土遺構	47
第9図 1号住居跡、1・2号住居状遺構	39	第18図 7号、9号～20号焼土遺構	48

第19図	21号焼土遺構、1号～5号埋設 土器、1号地山ハイブロック	49	第56図	遺構外出土遺物土器18	96
第20図	溝、土塁、炭窯、1～4南北ベルト	50	第57図	遺構外出土遺物土器19	97
第21図	柱穴配置図1	51	第58図	遺構外出土遺物土器20	98
第22図	柱穴配置図2	52	第59図	遺構外出土遺物土器21	99
第23図	柱穴配置図3	53	第60図	遺構外出土遺物土器22	100
第24図	柱穴配置図4	54	第61図	遺構外出土遺物土器23	101
第25図	土層観察ベルト1	55	第62図	遺構外出土遺物土器24	102
第26図	土層観察ベルト2	56	第63図	遺構外出土遺物土器25	103
第27図	土層観察ベルト3	57	第64図	遺構外出土遺物土器26	104
第28図	土層観察ベルト4	58	第65図	遺構外出土遺物土器27	105
第29図	土層観察ベルト5	59	第66図	遺構外出土遺物土器28	106
第30図	土層観察ベルト6	60	第67図	遺構外出土遺物土器29	107
第31図	土層観察ベルト7	61	第68図	遺構外出土遺物土器30	108
第32図	遺物出土状況	66	第69図	遺構外出土遺物土器31	109
第33図	遺構内出土遺物土器1	73	第70図	遺構外出土遺物土器32	110
第34図	遺構内出土遺物土器2	74	第71図	遺構外出土遺物土器33	111
第35図	遺構内出土遺物土器3	75	第72図	遺構外出土遺物土器34	112
第36図	遺構内出土遺物土器4	76	第73図	遺構外出土遺物土器35	113
第37図	遺構内出土遺物土器5	77	第74図	遺構外出土遺物土器36	114
第38図	遺構内出土遺物土器6	78	第75図	遺構外出土遺物土器37	115
第39図	遺構外出土遺物土器1	79	第76図	遺構外出土遺物土器38	116
第40図	遺構外出土遺物土器2	80	第77図	遺構外出土遺物土器39	117
第41図	遺構外出土遺物土器3	81	第78図	遺構外出土遺物土器40	118
第42図	遺構外出土遺物土器4	82	第79図	遺構外出土遺物土器41	119
第43図	遺構外出土遺物土器5	83	第80図	遺構外出土遺物土器42	120
第44図	遺構外出土遺物土器6	84	第81図	遺構外出土遺物土器43	121
第45図	遺構外出土遺物土器7	85	第82図	遺構外出土遺物土器44	122
第46図	遺構外出土遺物土器8	86	第83図	遺構外出土遺物土器45	123
第47図	遺構外出土遺物土器9	87	第84図	遺構外出土遺物土器46	124
第48図	遺構外出土遺物土器10	88	第85図	遺構外出土遺物土器47	125
第49図	遺構外出土遺物土器11	89	第86図	遺構外出土遺物土器48	126
第50図	遺構外出土遺物土器12	90	第87図	遺構外出土遺物土器49	127
第51図	遺構外出土遺物土器13	91	第88図	遺構外出土遺物土器50	128
第52図	遺構外出土遺物土器14	92	第89図	遺構外出土遺物土器51	129
第53図	遺構外出土遺物土器15	93	第90図	遺構外出土遺物土器52	130
第54図	遺構外出土遺物土器16	94	第91図	遺構外出土遺物土器53	131
第55図	遺構外出土遺物土器17	95	第92図	遺構外出土遺物土器54	132
			第93図	遺構外出土遺物土器55	133

第94図 遺構外出土遺物土器56	134	第132図 遺構外出土遺物土器94	172
第95図 遺構外出土遺物土器57	135	第133図 遺構外出土遺物土器95	173
第96図 遺構外出土遺物土器58	136	第134図 遺構外出土遺物土器96	174
第97図 遺構外出土遺物土器59	137	第135図 遺構外出土遺物土器97	175
第98図 遺構外出土遺物土器60	138	第136図 遺構外出土遺物土器98	176
第99図 遺構外出土遺物土器61	139	第137図 遺構外出土遺物土器99	177
第100図 遺構外出土遺物土器62	140	第138図 遺構外出土遺物土器100	178
第101図 遺構外出土遺物土器63	141	第139図 遺構外出土遺物土器101	179
第102図 遺構外出土遺物土器64	142	第140図 遺構外出土遺物土器102	180
第103図 遺構外出土遺物土器65	143	第141図 遺構外出土遺物土器103	181
第104図 遺構外出土遺物土器66	144	第142図 遺構外出土遺物土器104	182
第105図 遺構外出土遺物土器67	145	第143図 出土遺物石器1	183
第106図 遺構外出土遺物土器68	146	第144図 出土遺物石器2	184
第107図 遺構外出土遺物土器69	147	第145図 出土遺物石器3	185
第108図 遺構外出土遺物土器70	148	第146図 出土遺物石器4	186
第109図 遺構外出土遺物土器71	149	第147図 出土遺物石器5	187
第110図 遺構外出土遺物土器72	150	第148図 出土遺物石器6	188
第111図 遺構外出土遺物土器73	151	第149図 出土遺物石器7	189
第112図 遺構外出土遺物土器74	152	第150図 出土遺物石器8	190
第113図 遺構外出土遺物土器75	153	第151図 出土遺物石器9	191
第114図 遺構外出土遺物土器76	154	第152図 出土遺物石器10	192
第115図 遺構外出土遺物土器77	155	第153図 出土遺物石器11	193
第116図 遺構外出土遺物土器78	156	第154図 出土遺物石器12	194
第117図 遺構外出土遺物土器79	157	第155図 出土遺物石器13	195
第118図 遺構外出土遺物土器80	158	第156図 出土遺物石器14	196
第119図 遺構外出土遺物土器81	159	第157図 出土遺物石器15	197
第120図 遺構外出土遺物土器82	160	第158図 出土遺物石器16	198
第121図 遺構外出土遺物土器83	161	第159図 出土遺物石器17	199
第122図 遺構外出土遺物土器84	162	第160図 出土遺物石器18	200
第123図 遺構外出土遺物土器85	163	第161図 出土遺物石器19	201
第124図 遺構外出土遺物土器86	164	第162図 出土遺物石器20	202
第125図 遺構外出土遺物土器87	165	第163図 出土遺物石器21	203
第126図 遺構外出土遺物土器88	166	第164図 出土遺物石器22	204
第127図 遺構外出土遺物土器89	167	第165図 出土遺物石器23	205
第128図 遺構外出土遺物土器90	168	第166図 出土遺物石器24	206
第129図 遺構外出土遺物土器91	169	第167図 出土遺物石器25	207
第130図 遺構外出土遺物土器92	170	第168図 出土遺物石器26	208
第131図 遺構外出土遺物土器93	171	第169図 出土遺物石器27	209

第170図 出土遺物石器28	210	第190図 出土遺物土製品6	230
第171図 出土遺物石器29	211	第191図 出土遺物土製品7	231
第172図 出土遺物石器30	212	第192図 出土遺物土製品8	232
第173図 出土遺物石器31	213	第193図 出土遺物土製品9	233
第174図 出土遺物石製品1	214	第194図 出土遺物土製品10	234
第175図 出土遺物石製品2	215	第195図 出土遺物土製品11	235
第176図 出土遺物石製品3	216	第196図 出土遺物土製品12	236
第177図 出土遺物石製品4	217	第197図 出土遺物土製品13	237
第178図 出土遺物石製品5	218	第198図 出土遺物土製品14	238
第179図 出土遺物石製品6	219	第199図 出土遺物土製品15	239
第180図 出土遺物石製品7	220	第200図 出土遺物土製品16	240
第181図 出土遺物石製品8	221	第201図 出土遺物土製品17	241
第182図 出土遺物石製品9	222	第202図 出土遺物土製品18	242
第183図 出土遺物石製品10	223	第203図 出土遺物土製品19	243
第184図 出土遺物石製品11・骨角器	224	第204図 出土遺物土製品20	244
第185図 出土遺物土製品1	225	第205図 出土遺物土製品21	245
第186図 出土遺物土製品2	226	第206図 出土遺物土製品22	246
第187図 出土遺物土製品3	227	第207図 出土遺物土製品23	247
第188図 出土遺物土製品4	228	第208図 出土遺物土製品24	248
第189図 出土遺物土製品5	229	第209図 出土遺物・縄文時代以外の遺物	249

<写真図版>

写真図版1 遺跡遠景（空中写真）	373	写真図版14 46~48号土坑、1・2号	
写真図版2 調査区近景 炭窯	374	配石遺構	386
写真図版3 土層断面	375	写真図版15 3~5号土坑	387
写真図版4 溝、土塁、土層断面、 1号住居跡	376	写真図版16 6~8号配石遺構、1号焼土遺構	388
写真図版5 1・2号住居跡	377	写真図版17 2~6号焼土遺構	389
写真図版6 1・2号住居状遺構、 1~3号埋設土器	378	写真図版18 7~14号焼土遺構	390
写真図版7 4・5号埋設土器、1~3号 地山ハイキブロック	379	写真図版19 15~20号焼土遺構	391
		写真図版20 21号焼土遺構、2・10・27・ 28号柱穴	392
写真図版8 1~8号土坑	380	写真図版21 21・25・36・37・140号柱穴	393
写真図版9 9~14号土坑	381	写真図版22 遺物出土状況1	394
写真図版10 15~21号土坑	382	写真図版23 遺物出土状況2	395
写真図版11 22~26号土坑	383	写真図版24 遺物出土状況3	396
写真図版12 27~34号土坑	384	写真図版25 遺構内出土遺物・土器1	397
写真図版13 35~43号土坑	385	写真図版26 遺構内出土遺物・土器2	398
		写真図版27 遺構内出土遺物・土器3	399

写真図版28	遺構内出土遺物・土器4	400	写真図版65	遺構外出土遺物・土器37	437
写真図版29	遺構内出土遺物・土器5、 遺構外出土遺物・土器1	401	写真図版66	遺構外出土遺物・土器38	438
写真図版30	遺構外出土遺物・土器2	402	写真図版67	遺構外出土遺物・土器39	439
写真図版31	遺構外出土遺物・土器3	403	写真図版68	遺構外出土遺物・土器40	440
写真図版32	遺構外出土遺物・土器4	404	写真図版69	遺構外出土遺物・土器41	441
写真図版33	遺構外出土遺物・土器5	405	写真図版70	遺構外出土遺物・土器42	442
写真図版34	遺構外出土遺物・土器6	406	写真図版71	遺構外出土遺物・土器43	443
写真図版35	遺構外出土遺物・土器7	407	写真図版72	遺構外出土遺物・土器44	444
写真図版36	遺構外出土遺物・土器8	408	写真図版73	遺構外出土遺物・土器45	445
写真図版37	遺構外出土遺物・土器9	409	写真図版74	遺構外出土遺物・土器46	446
写真図版38	遺構外出土遺物・土器10	410	写真図版75	遺構外出土遺物・土器47	447
写真図版39	遺構外出土遺物・土器11	411	写真図版76	遺構外出土遺物・土器48	448
写真図版40	遺構外出土遺物・土器12	412	写真図版77	遺構外出土遺物・土器49	449
写真図版41	遺構外出土遺物・土器13	413	写真図版78	遺構外出土遺物・土器50	450
写真図版42	遺構外出土遺物・土器14	414	写真図版79	遺構外出土遺物・土器51	451
写真図版43	遺構外出土遺物・土器15	415	写真図版80	遺構外出土遺物・土器52	452
写真図版44	遺構外出土遺物・土器16	416	写真図版81	遺構外出土遺物・土器53	453
写真図版45	遺構外出土遺物・土器17	417	写真図版82	遺構外出土遺物・土器54	454
写真図版46	遺構外出土遺物・土器18	418	写真図版83	遺構外出土遺物・土器55	455
写真図版47	遺構外出土遺物・土器19	419	写真図版84	遺構外出土遺物・土器56	456
写真図版48	遺構外出土遺物・土器20	420	写真図版85	遺構外出土遺物・土器57	457
写真図版49	遺構外出土遺物・土器21	421	写真図版86	遺構外出土遺物・土器58	458
写真図版50	遺構外出土遺物・土器22	422	写真図版87	遺構外出土遺物・土器59	459
写真図版51	遺構外出土遺物・土器23	423	写真図版88	遺構外出土遺物・土器60	460
写真図版52	遺構外出土遺物・土器24	424	写真図版89	遺構外出土遺物・土器61	461
写真図版53	遺構外出土遺物・土器25	425	写真図版90	遺構外出土遺物・土器62	462
写真図版54	遺構外出土遺物・土器26	426	写真図版91	遺構外出土遺物・土器63	463
写真図版55	遺構外出土遺物・土器27	427	写真図版92	遺構外出土遺物・土器64	464
写真図版56	遺構外出土遺物・土器28	428	写真図版93	遺構外出土遺物・土器65	465
写真図版57	遺構外出土遺物・土器29	429	写真図版94	遺構外出土遺物・土器66	466
写真図版58	遺構外出土遺物・土器30	430	写真図版95	遺構外出土遺物・土器67	467
写真図版59	遺構外出土遺物・土器31	431	写真図版96	遺構外出土遺物・土器68	468
写真図版60	遺構外出土遺物・土器32	432	写真図版97	遺構外出土遺物・土器69	469
写真図版61	遺構外出土遺物・土器33	433	写真図版98	遺構外出土遺物・土器70	470
写真図版62	遺構外出土遺物・土器34	434	写真図版99	遺構外出土遺物・土器71	471
写真図版63	遺構外出土遺物・土器35	435	写真図版100	遺構外出土遺物・土器72	472
写真図版64	遺構外出土遺物・土器36	436	写真図版101	遺構外出土遺物・土器73	473
			写真図版102	遺構外出土遺物・土器74	474

写真図版103 遺構外出土遺物・土器75	475	写真図版132 出土遺物石製品4	504
写真図版104 遺構外出土遺物・底部1	476	写真図版133 出土遺物石製品5	505
写真図版105 遺構外出土遺物・底部2	477	写真図版134 出土遺物石製品6	506
写真図版106 遺構外出土遺物・底部3	478	写真図版135 出土遺物石製品7	507
写真図版107 出土遺物石器1	479	写真図版136 出土遺物石製品8	508
写真図版108 出土遺物石器2	480	写真図版137 出土遺物石製品9	509
写真図版109 出土遺物石器3	481	写真図版138 出土遺物土製品1	510
写真図版110 出土遺物石器4	482	写真図版139 出土遺物土製品2	511
写真図版111 出土遺物石器5	483	写真図版140 出土遺物土製品3	512
写真図版112 出土遺物石器6	484	写真図版141 出土遺物土製品4	513
写真図版113 出土遺物石器7	485	写真図版142 出土遺物土製品5	514
写真図版114 出土遺物石器8	486	写真図版143 出土遺物土製品6	515
写真図版115 出土遺物石器9	487	写真図版144 出土遺物土製品7	516
写真図版116 出土遺物石器10	488	写真図版145 出土遺物土製品8	517
写真図版117 出土遺物石器11	489	写真図版146 出土遺物土製品9	518
写真図版118 出土遺物石器12	490	写真図版147 出土遺物土製品10	519
写真図版119 出土遺物石器13	491	写真図版148 出土遺物土製品11	520
写真図版120 出土遺物石器14	492	写真図版149 出土遺物土製品12	521
写真図版121 出土遺物石器15	493	写真図版150 出土遺物土製品13	522
写真図版122 出土遺物石器16	494	写真図版151 出土遺物土製品14	523
写真図版123 出土遺物石器17	495	写真図版152 出土遺物土製品15	524
写真図版124 出土遺物石器18	496	写真図版153 出土遺物土製品16	525
写真図版125 出土遺物石器19	497	写真図版154 出土遺物土製品17	526
写真図版126 出土遺物石器20	498	写真図版155 出土遺物土製品18	527
写真図版127 出土遺物石器21	499	写真図版156 出土遺物焼粘土塊	528
写真図版128 出土遺物石器22	500	写真図版156 出土遺物焼粘土塊、 アスファルト付土器	529
写真図版129 出土遺物石製品1	501	写真図版157 出土遺物骨角器、獸骨、水晶	530
写真図版130 出土遺物石製品2	502	写真図版158 出土遺物（縄文時代以外）	531
写真図版131 出土遺物石製品3	503		

I 調査に至る経過

相ノ沢遺跡は「畑地帯総合土地改良事業 藤崎地区」に隣接する遺跡として緊急発掘調査された。この事業に関連する遺跡の取り扱いについては、岩手県教育委員会文化課と両替土地改良事業所との間で協議が重ねられてきた。町指定の遺跡である相ノ沢遺跡について文化課が内容の把握のため、平成6年度内に試掘調査を行うこととなり、同年10月20~21日に実施された。試掘調査の結果道路に面した法面で縄文晩期の土器が出土し、文化課は工事の施工に先立って現道路拡張範囲に含まれる北側の区域について本調査が必要であると判断した。

発掘調査は文化課の調整によって、財團法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターの委託事業者となることとなり、両替土地改良事業所と事業団との協議・打合せの結果、北側地区1,120m²について平成7年4月3日付けの委託契約が結ばれた。この委託契約を受けて、当埋蔵文化財センターは同年4月10日~7月31日まで発掘調査を行ったが、予想外に遺物包含層が厚く遺物量が多かったため、調査区全域について調査は終了できず、残り400m²を次年度に持ち越した。

平成8年4月1日付で前年度の残り400m²についての委託契約が結ばれ、同年4月8日~6月28日まで調査を実施し、当事業に関わる遺跡の調査を全て終了した。

II 遺跡の立地と環境

1. 遺跡の立地と地質・地形

相ノ沢遺跡は東経141°17'08"、北緯38°51'46"付近、海拔約90mの丘陵地西面の斜面上に分布する。現況は山林である。

本遺跡および周辺の基盤岩類はいわゆる北上古生層および南部北上山地南端を構成する中生層で、これらを覆ってわずかに新第三系および段丘堆積物が分布する。中・古生層は二日市付近を通る南北性の稻村断層(坂東1956 MS)を境として東西で層序が異なる。西侧黄海地域では下位より、錦織層、天神ノ木層、登米層(山崎礫岩を含む)に区分され、東部西口・保呂羽・大龍地域では下位より錦織層、東深壹層、新田層、大籠層、千松層に区分される。主たる構成岩は石灰岩、石灰岩質頁岩、頁岩、黒色頁岩、矽状頁岩、砂岩、粘板岩である。

また、遺跡周辺の北上川東岸に分布する海拔177.0m~194.9mの相ノ沢周辺の小起伏山地および高位丘陵地は、新第三系ないし前期更新世の中山層で構成される。構成岩類は珪質泥岩、凝灰質泥岩、硬質泥岩を主体とし、他に火成岩類としての安山岩類である。

錦織層：黄海中山地区の柳沢中流部から館ヶ森地域とその北方にのみ分布する。灰色~黒色の泥質石灰岩を主体とし、石灰質頁岩、黒色頁岩を伴う。

天神ノ木層：錦織層の西側に、相川の東岸に沿って分布する。砂岩薄層を挟む灰黑色綈狀頁岩を主体とする。館ヶ森西方では礫岩層が挟在する。

山崎礫岩：主に黄海上中山付近、七日市北方の北上川左岸に分布する。花崗質岩礫を主体とし、砂岩あるいは頁岩を挟在する。礫種は花崗岩類の他、チャート、岩類、凝灰岩類、石灰岩、砂岩、頁岩などから構成される。

下位の天神ノ木層、錦織層と断層で接し、上位の登米層とは指交関係にある。

登米層：黄海一帯に広く分布し、無層理で黒色頁岩を主体とする。六体キヌイ沢下流部および箕輪から山

谷北方の地域では灰黒色縞状頁岩層が発達し、箕輪南方では下位に砂岩・頁岩互層が発達する。

東深萱層：東深萱、十文字、二日市東方、新地、藤沢南方、粉香木、平敷、荒屋敷、外ノ山西方に分布する。無層理の黒色頁岩および灰黒色の縞状頁岩を主体とする。東深萱、西深萱、粉香木付近では上部に数層の薄衣式疊岩層を挟在する。

新田層：新田付近、七曲岬、吉高、およびその南方、樅、舟木、縁石岬、洞ノ木、矢作、大宝城、館山西方、大平、小戸沢、徳田長沢南方に分布する。灰色～灰緑色粗粒砂岩の発達が特徴だが、層相は地域により異なり砂岩は一部石灰質を呈する。

大籠層：千松を除く大籠一帯、新田南方、保呂羽地域に広く分布する。本層は大きく上・中・下部に区分され、下部は灰黒色縞状頁岩を主体とする。上大籠沢内およびその北方、大平、峰ノ森および矢作西方では砂岩・頁岩互層が発達する。中部は無理層の黒色頁岩から成る。上部は下部同様の縞状頁岩から成り、下大籠右名沢北方では中部に砂岩・頁岩互層が発達している。

千松層：千松一帯、保呂羽東方安道岬およびその北方に分布する。無理層の黒色頁岩を主体とし、一部縞状を呈する。

以上、遺跡周辺の基盤岩類を構成する頁岩、泥岩類、粘板岩、深成岩の花崗岩、花崗閃綠岩が遺跡に搬入されており、採集地と接する。

また遺跡は西向きの海拔 90 m の斜面上に立地し、遺跡の西側には相ノ沢側が南流し、水源地としても好位置にある。約 1.5 km 西には北上川が南流している。(第 3 図参照)

2. 基本層序

今回報告する相ノ沢遺跡は前述のようにほぼ西向きの斜面に位置しており、調査区の大部分は、遺構構築時の廃土や土器・石器の廃棄など人間の行為によって堆積した土で構成されている。そのため堆積状況は複雑で、面的な広がりを十分に把握できたとはいえない。また斜面に堆積した土層であるため、時間の経過とともに層の崩落、相互の混入が生じ、複雑な堆積状況となっている。基本層序として十分なものではないが、以下に概略を述べる。第 4 図は深堀り断面を基に作成した模式柱状図で(1)が 1-4 ~ 2-4 グリッド、(2)が 1-8 ~ 3-8 グリッド、(3)が 1-12 ~ 2-12 グリッド周辺を示している。

I 層：腐植土 調査時の表土 繩文後～晩期の遺物を包含する。層厚は数 cm と薄い。

II 層：10 YR5/4 にぶい黄褐色粘土 上層と下層に細分され、上層には遺物がほとんど含まれない。下層は遺物を大量に包含する。層厚 20~30 cm で地区によって異なる。調査区の北側では表土を I・II 層に細分できたが南側では分けることができなかった。

III 層：繩文時代の後～晩期の遺物包含層。繩文時代の廃棄行為によって形成された層。

地区によって晩期を主体とする III A 層と、後期を主体とする III B 層に細分できる。調査区の北西端と南東端では III A・III B に分けられない区がある。

III A 層：10 YR3/2~4/2 黒褐色～灰黃褐色シルト 繩文晩期の遺物を大量に包含する層。調査区中央では比較的厚く、北端・南端ではこの層がなく表土直下に III B 層が存在する場合もある。炭化物、地山ブロック、焼土粒の混入、また晩期前葉～後葉の時期差からさらに III Aa～III Ac 層に細分される。層厚は厚いところで 70 cm に達する。

III B 層：10 YR4/2~5/4 灰黃褐色シルト 繩文後期の遺物を大量に包含する層。調査区のほぼ全域に分布

する。色調、炭化物、地山ブロック、焼土粒の混入、また後期前葉～後葉時期差からさらに細分される。層厚は厚いところで70cmに達する。

IV層：10 YR6/6 明黄褐色土 寒灰岩質粘板岩同化層層 I層からIII層に混入している地山ブロックの起源となる層。最終遺構検出面である。

3. 周辺の遺跡

藤沢町では、平成7年度の岩手県教育委員会文化課作成の埋蔵文化財包蔵地一覧によれば、約90箇所の遺跡が知られている。

遺跡の分布はほぼ現在の集落分布と重複し、河川沿いの平地、丘陵地に位置するものが多い。藤沢町での発掘調査は藤沢町教育委員会が主体となって行われた昭和55年のドウメキ沢遺跡、平成4年の十文字遺跡、平成5年の富周館遺跡、当センターが主体となって行われた平成7・8年の相ノ沢遺跡、平成8・9年の上野平遺跡などで事例は少ない。以下、各々の遺跡について概略を述べる。

ドウメキ沢遺跡は、大龍字青松にある通称ドウメキ沢の南側に立地する、近世の製鉄遺跡である。中国地方のたら製鉄技術や文献との関わりから、昭和55年学術調査が行われた。検出された遺構は、製鉄用炉の地下構造(炉床)と推定される遺構と、関連施設と考えられる遺構面である。遺物は磁器片が2片、寛永通宝1点、吹子の羽口片、鉄製品2点、練鑄滓と考えられる多量の鉄滓が出土している。

磁器の年代と寛永通宝の流通時期から、遺構は戸戸時代後期に構築されたと考えられる。

十文字遺跡は西口字十文字の丘陵地に立地する、縄文時代中期中葉から後葉を主体とする遺跡である。検出された遺構は、堅穴住居跡4棟、掘立柱建物跡1棟、集石遺構1基、石臼炉1基、土坑13基で、「捨て場」と考えられる遺物包含層から200箱を超える大量の遺物を出土している。

縄文土器は大木8a式、8b式、9式、10式、後期初頭と幅を持つが、主体は大木8b式、大木9式、大木10式である。石器の主なものは石鏃764点、石斧33点、石錐76点、石皿10点である。他に岩偶をはじめ各種の石製品、骨角器1点、多数の獸骨片が出土している。

富周館遺跡は、西口字玉川の黄海川左岸50mの崖上に立地する中世城館跡である。

「藤原姓佐藤氏家譜」(宮城県氣仙沼市階上佐藤吉助氏蔵)によれば佐藤備後守秀長邸居所とされている。検出された遺構は空堀1条、掘立柱穴跡13基、溝状遺構2条、陥り穴状遺構1基、氏神社床下遺構1である。遺物は陶磁器141点、鉄製品21点、土師器片3点、縄文土器片4点、石器片6点、羽口片1点、その他22点が出土しており、陶磁器の年代から16世紀中葉には築城されたと考えられる。

上野平遺跡は、保呂羽字上野平の黄金山から南西に延びる緩やかな尾根に立地する、縄文時代中期後葉～後期前葉を主体とする遺跡である。検出された遺構は堅穴住居跡9棟、掘立柱建物3棟、柱穴125基、柱穴状小土坑155基、土坑60基、埋設土器1基、炉跡・焼土遺構5基、集石遺構2基である。

遺物は「捨て場」と考えられる遺物包含層を中心に300箱と多量の遺物を出土している。上器は前期前葉～晚期後葉までの幅を持つが、遺跡の主体となる中期後葉～後期前葉の土器が9割を占める。石器は石鏃、石匙、不定形石器、磨石、凹石、石棒などが出土地おり、石鏃の出土数は1,500点を超える。

藤沢町の遺跡は第5図・第1表に総括一覧、および分布図として図示したとおりである。

これらの遺跡は、弥生、縄文時代後・晩期は沖積低位面以上、縄文早・前・中期は沖積高位面以上に分布する。散布地として登録されている遺跡が大半を占めるが、未調査の遺跡が多いためである。また旧石器時代については花泉町金森遺跡、下館銅屋遺跡で確認されており、これらの面は黄海中学校の載る海拔約30m

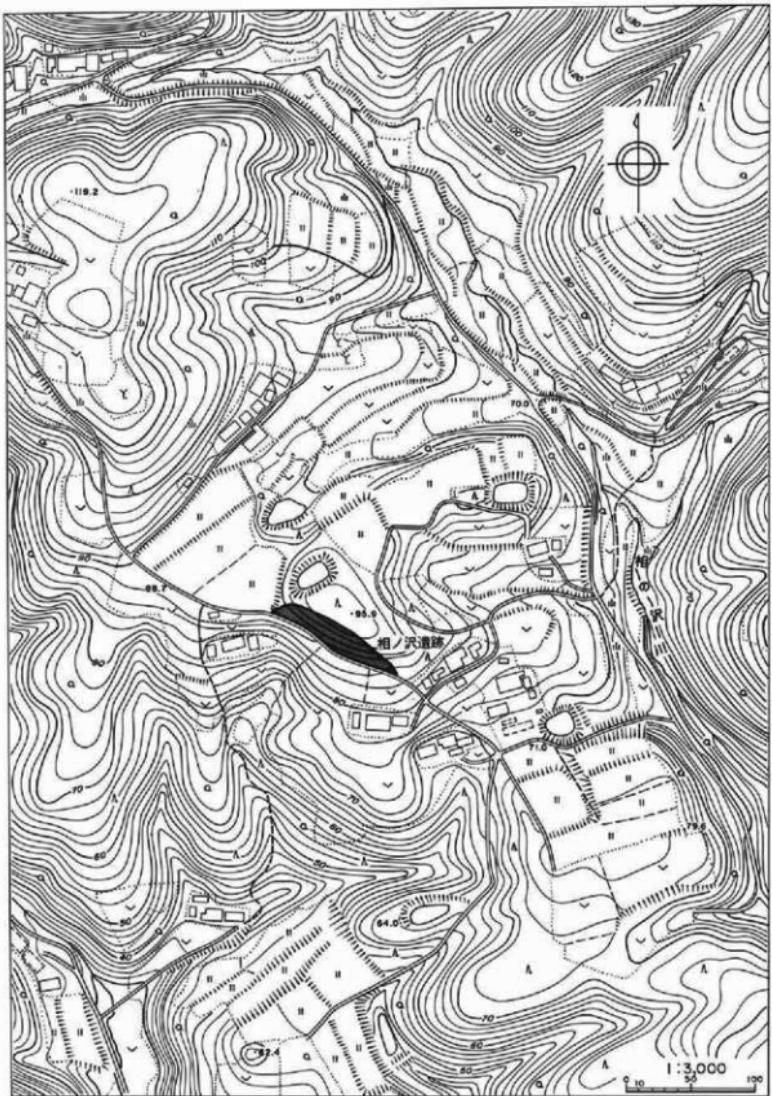
の段丘に対比され、本段丘以上に分布する。藤沢町史によると後期旧石器時代に属する局部磨製石斧が出土しているが、出土地点・層準は不明である。

また、洪積中位段丘および丘陵地IIは、宮城県座敷乱木遺跡、高森遺跡など前・中期旧石器時代の遺跡が立地する地形面である。本面にはNY（荷坂・柳沢火山灰）などより古期の火山灰層を載せている。

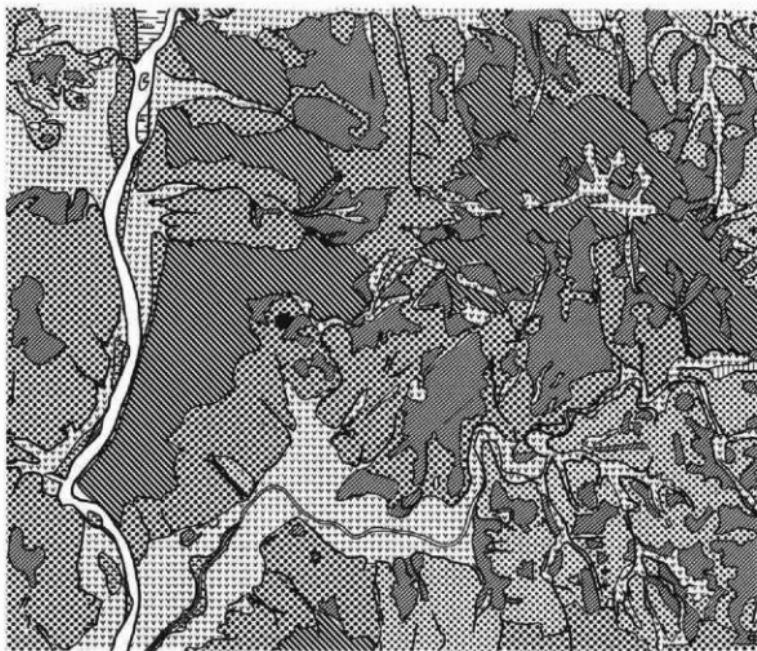
中世の遺跡は黄海、西口両地区に集中し、段丘の縁および丘陵地の端部に立地している。



第1図 岩手県図の中の遺跡の位置

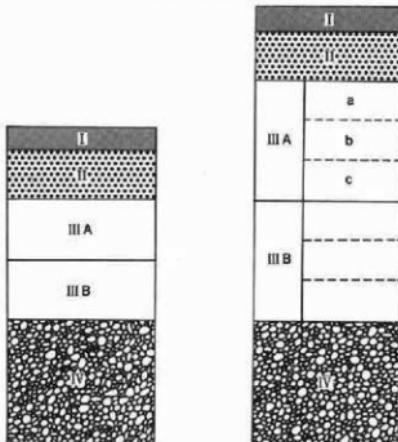


第2図 遺跡周辺の地形図



第3図 地形分類図

● 相の沢遺跡



第4図 基本層序模式図

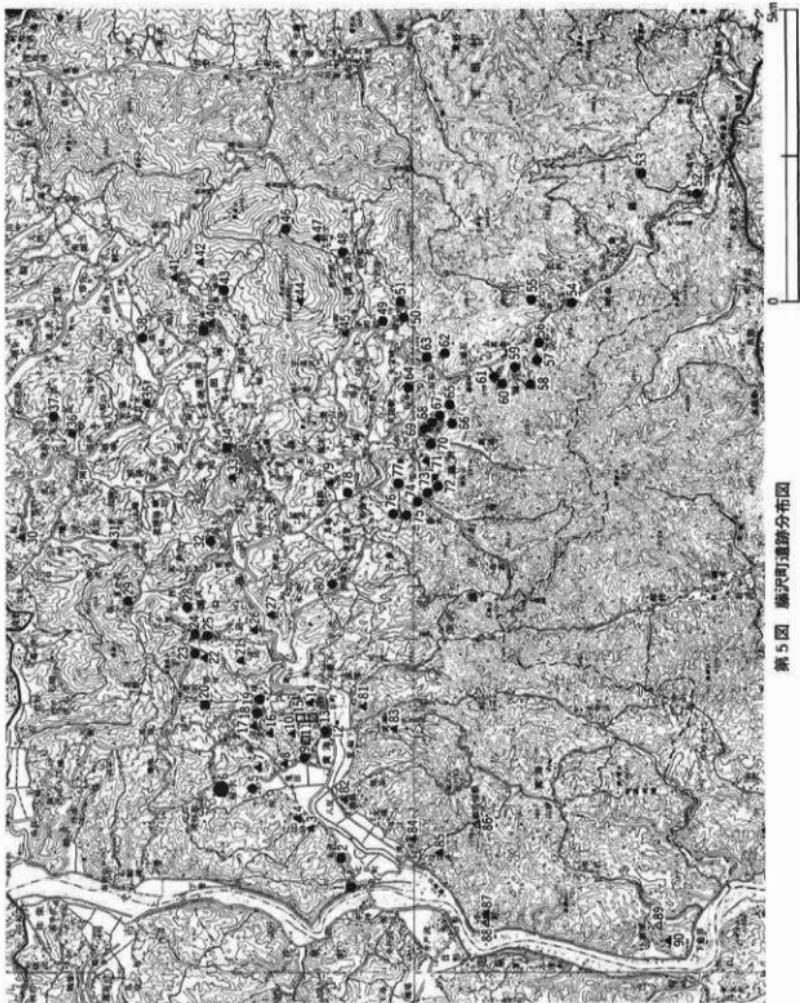


図5 駿沢町遺跡分布図

第1表 周辺の遺跡一覧

番号	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	備考
1	黄海川岸場	渡し場跡	近世		黄海字天沼	
2	シダ森	散布地	縄文	縄文土器、石器	〃本沢	
3	大木沢館（大木下館）	城館跡	中世	郭状の平場	〃辻山	
4	辻山館	〃	〃	主郭、二の郭、腰郭、物見	〃〃	
5	十六将	散布地	縄文	縄文土器、石器	〃十六将	
6	相ノ沢	〃	〃	〃（晩）土偶、石器	〃相ノ沢	
7	上海館	城館跡	中世	空堀、主郭	〃古堂	
8	古堂西平	〃	〃	郭、腰郭状の平場	〃〃	
9	白幡	散布地	縄文	縄文土器	〃天堤	
10	古館	城館跡	中世	茶碗、皿、土器、二の郭、空堀	〃〃	
11	長昌寺	散布地	古代	縄文土器（後期）、須恵器	〃〃	
12	七郎五郎	〃	縄文	〃（後、晩期）石器	〃〃	
13	天堤II	〃	古代	須恵器	〃〃	
14	玉崎館	城館跡	中世	土器、空堀	〃上場	
15	天堤I	散布地	古代	土器片	〃天堤	
16	古堂館（小堂館）	城館跡	中世	主郭、二の郭、三の郭、空堀	〃古堂	
17	坂氏居館	〃	〃		〃〃	
18	古堂	散布地	縄文平安	縄文土器、須恵器	〃〃	
19	平音	〃	縄文？	土器片	〃白石	
20	大塚	墳墓	近世	塚	〃〃	
21	柳沢館	城館跡	中世	平場、腰郭	西口字玉川	
22	狐田館（惣の城）	〃	〃	主郭、二の郭、空堀	〃切付	
23	切付	散布地	縄文	縄文土器、石棒、石斧	〃〃	
24	十文字留の森	〃	〃	〃、石器	〃玉川留の森	
25	十文字	〃	〃	石器、石棒	〃十文字	
26	富岡館	城館跡	中世	空堀、主郭、平場	〃玉川	
27	和子館	〃	〃	〃、〃、月	〃白沢	
28	六十里	散布地	縄文	縄文土器、石棒	〃六十里	
29	東立石	〃	〃？	土器片	増沢字立石	
30	久手館（館）	城館跡	中世	空堀、主郭、二の郭	〃上久手	
31	要害館A	〃	〃	空堀	〃中ノ森	
32	玉ノ沢	散布地	縄文	縄文土器（後期）	藤沢字大平	
33	藤沢城	〃	平安	土師器	〃香木	
34	新町塚	藩塚	近世		〃仁綱	
35	砂子館	城館跡	中世	空堀	砂子字野々田	
36	新城館	〃	〃	空堀、主郭、二の郭、帯郭	〃新城沢	
37	金山沢	散布地	縄文	縄文土器、両頭石棒、石刀	〃金山沢	
38	袖ノ沢	〃	〃	縄文土器	徳田字袖ノ沢	
39	西光寺供養塔	その他	近世	一字一石供養塔	徳田字馬場44	
40	馬場館（徳田城）	城館跡	中世	腰郭	徳田字馬場	
41	天神山	〃	〃	空堀	〃時天神山	
42	山口山の陣	〃	〃		〃山口	
43	長沢	散布地	縄文	縄文土器	〃長沢	
44	陣ヶ森館	城館跡	中世	空堀、主郭、二の郭、帯郭	保呂羽 保呂羽神社付近	
45	大返矢	〃	〃		保呂羽字二本柳	

番号	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	備考
46	刈萱	散布地	縄文	石器、石斧、石棒、縄文土器	保呂羽 刈萱	
47	要害館B	城館跡	中世	空堀、平場	上野平	
48	上野平	散布地	縄文	縄文土器、石器、石斧	上野平	
49	宇和田		〃	〃、石斧	宇和田	
50	嶺沢1		〃	〃	嶺沢	
51	〃2		〃	〃	〃	
52	大籠キリシタン	祭祀跡	〃		大能字大籠	
53	沢入網屋跡	製鉄跡	〃	鉄滓	〃	
54	沼合館	城館跡	〃		保登子	
55	休場	散布地	〃	縄文土器	休場	
56	桶の沢2		〃	〃	桶ノ沢29	
57	〃1		〃	〃	〃2	
58	曲木		〃	〃(晩期)	曲木	
59	洞木1	散布地	〃	〃	洞木	
60	〃3		〃	〃	〃	
61	〃2		〃	〃	〃	
62	又木沢金山	金山跡	〃		保呂羽	
63	山谷	散布地	〃	剝片	山谷	
64	大宝城		〃	縄文土器	大宝城275	
65	板橋5		〃	〃	藤沢字板橋101	
66	〃4		〃	〃	〃79	
67	〃3		〃	〃	〃53	
68	〃2		〃	〃	〃33	
69	〃1		縄文古代	〃	〃33	
70	船木		縄文	〃	船木	
71	樅		中世	〃	樅114	
72	粉香木4		〃	〃	粉香木	
73	〃3		縄文	〃	〃	
74	〃1		〃	〃	〃	
75	〃5		〃	〃	〃	
76	〃2		縄文、平安	石鐵	〃	
77	平蔵	散布地	縄文	石鐵	藤沢字平蔵	
78	中島		〃	縄文土器(後期)石鐵	中島	
79	佐々布館(佐物館)	城館跡	中世	空堀、帝郭、主郭、二の郭	八沢	
80	山ノ坊	散布地	縄文	縄文土器(後期)、石器	黄海字東深瀬	
81	深瀬館(黄色城)	城館跡	中世	空堀、本丸、二の丸、物見台	〃	
82	熊館(楓樹ヶ城)		〃	〃	熊館	
83	金山沢館		〃	土塁	深堀	
84	川口館		〃	〃、空堀、主郭、二の郭、腰郭	川口沢	
85	藤の巻館		〃	空堀、主郭	〃	
86	鍛治屋敷	製鉄跡	その他	鉄滓	小日形	
87	鴨半館(小口形館)	城館跡	中世		〃	
88	皇慈寺跡	寺院跡	その他		〃	
89	黄海経塚	経塚	〃		曲田	
90	曲田館(大西館)	城館跡	中世	井戸跡、經塚	〃	

III 調査方法と整理方法

1. 野外調査

(1) グリッドの設定

今回の調査では、 $X = 126,120.000 \cdot Y = 39,250.000 \cdot H = 92.830$ を基点1、 $X = -126,150.000 \cdot Y = 39,300.000 \cdot H = 90.460$ を基点2として、この2点を結んだ線を基準線とした。この基準線を延長し、直交する線で $5\text{ m} \times 5\text{ m}$ のメッシュで全調査区を区画した。この区画に北西端を原点として東西方向に西から0~18の番号を与え、南北方向に北から0~3の番号を与え、0-1、1-1と表示した。このグリッドは平面直角座標(XY系)に対してN-30°Wの傾きを持つ。必要に応じてグリッドを四分し、A~D区と表示した。

(2) 粗掘りと遺構検出

地形の傾斜に沿った方向で設定した試掘トレンチにより、土層の堆積状況や遺物分布状況を観察した。ほぼ全域で表土中から遺物を大量に包含していることが、確認できたため、重機による表土除去は一部区域にとどめ、人力による遺構検出、精査を行った。なお、遺構確認の掘り下げはIV層まで行った。

(3) 遺構名の登録

遺構の命名は、各グリッド毎で検出順に、1-1-P1、2-13-SI1というようにグリッド名と遺構の種類を組み合わせて行った。報告書掲載に当たって各遺構毎に東西方向に西から1号土坑、2号土坑というよう改称した。(一部この方針が徹底していないものがある)旧遺構名と新遺構名の関係は次の通りである。(第7図・第2表参照)

(4) 遺構の精査と実測・遺物の取り上げ

調査区のほぼ全域が遺物包含層であったため、精査は地形の傾斜に沿った土層観察用ベルトと傾斜に直交するベルトを残し、混入物や固さなど土の変化、含まれる遺物の時期差を観察しながら層毎に掘り下げ、包含層中の遺構の検出を行った。ベルトは最大限残し、廃棄の状況を想定できるよう務めた。

検出された遺構は竪穴住居跡、竪穴住居状遺構、炭窯は四分法、土坑、配石遺構、柱穴、焼土遺構類については二分法を原則として精査を行ったが必要に応じて他の方法も併用した。検出段階で新旧関係が把握できない重複する遺構については併行して精査を行い、埋土断面から判断するようにした。

遺構内の遺物は埋土上部、下部、床面などの区分をするよう務めたが、徹底していない。遺構外の遺物についてはグリッド単位、層位毎に取り上げた。

一括出土遺物や特殊な遺物等の出土に際しては写真撮影、実測図作成によって出土状況の記録を行っている。

(5) 実測と写真撮影

遺構の平面実測に当たっては原則としてグリッドに合わせた 1 m メッシュを基本とする簡易造り方測量で行った。広範囲の焼土遺構、地山ブロック廃棄面など一部の遺構は平板測量を行った。実測図の縮尺は、平面図・断面図とも $1/20$ を原則とし平板測量では $1/40$ の縮尺も用いた。遺構の埋土が単層である場合は土層断面図の作成を省略したものがある。レベルは基準点をもとに絶対高で記録した。

(6) 写真撮影

写真撮影は、検出状況、埋土断面、完掘状況等必要に応じ行った。

撮影は 35 mm モノクロームとカラースライド各1台、モノクローム 6×7 判1台を使用した。撮影に当たっては、整理時の混乱を避けるため撮影カードを利用した。また平成7年度調査では、調査の終了段階で業

者に委託し、空中写真の撮影を実施している。

2. 室内整理

(1) 整理経過

各年度の室内整理の人数、作業内容は以下の通りである。

平成 7 年 11 月 1 日～平成 8 年 3 月 31 日：遺物水洗（5 名）、

石器仕分け・図面・写真・台帳類整理（調査員）

平成 8 年 4 月 1 日～10 月 31 日：遺物水洗（4 名）

平成 8 年 11 月 1 日～平成 9 年 3 月 31 日：遺物水洗・石器登録（3 名）

石器の仕分けと遺構記録類の整理・第二原図の作成（調査員）

平成 9 年 4 月 1 日～10 月 31 日：土器接合復元・遺物実測（9 名）

掲載遺物選択・各作業指示・点検（調査員）

平成 9 年 11 月 1 日～平成 10 年 3 月 31 日：遺物実測・トレース（4 名）

掲載遺物選択・各作業指示・点検（調査員）

平成 10 年 4 月 1 日～10 月 31 日：遺物実測・トレース・土器採拓・石器計測・図版作成（8 名）

掲載遺物選択・各作業指示・点検（調査員）

平成 10 年 11 月 1 日～平成 11 年 3 月 31 日：石器計測・図版作成・収納（作業員 6 名）

各作業指示・点検・観察表作成・原稿執筆（調査員）

遺物写真撮影は各年度を行った。

(2) 遺構の整理と掲載

遺構実測図は調査中に、遺構名、グリッド、レベル、注記などに記載の誤り、漏れがないかどうか点検を行ったが徹底することができず、室内整理の段階で平面図と断面図の照合・修正が可能なものについては第 2 原図を作成しこれを掲載した。野外での記載に不備が多く、修正が困難なものについてはそのまま掲載した。遺構名の変更は前述した通りである。

遺構の掲載順と図版の縮尺については以下の通りである。

縄文時代の竪穴住居跡：1/40

竪穴状遺構：1/40

土坑：1/40

配石遺構：1/40

焼土遺構：1/40・1/80

埋設土器：1/40

地山廃棄ブロック：1/40・1/80

中世の溝・土塁：1/40

近代の炭窯：1/40

(3) 遺物の整理と掲載

今回の調査で出土した遺物は、土器類がコンテナで約 310 箱、総重量約 6.2t、土製品・石器・石製品類がコンテナで約 40 箱、その他少量の金属製品、陶磁器である。遺物の水洗は調査中から平行して進めたが、大部分は未洗で引き上げ室内整理時に水洗している。水洗が終了した時点で種別に仕分けし、登録から収納ま

で行った。

土器は遺構内出土がごくわずかだったため、遺構外出土土器から着手した。整理の期間・スペースが限られていたため、同一グリッド内→隣接グリッドの順で接合を行ったが、遠隔グリッド・遺構内との接合関係の把握は不十分である。遺構内出土土器は埋設土器、土坑出土の一部を除いて接合が困難な破片が大部分だったため、遺構の時期決定の資料となるものを選択するにとどまった。

掲載土器は各層の時期決定となる資料を中心に、他の時期がどれだけ混入するかを示す資料を選択した。大部分の層に複数の時期の遺物が含まれるため、出土数と掲載数の比率が等しくなるよう務めたが、徹底できなかった。結果的に、地文のみの粗製深鉢などは掲載数が極端に少なくなった。

立体とならなかった底部資料は、圧痕のあるもの、周辺加工のあるものを選択した。選択した土器は仮登録番号で登録され、実測・探拓作業に進んだ。

完形資料、径を復元できる資料は実測(一部は反転実測)、破片資料は探拓を原則とし、実測は通常の方法と埋文スコープI型を併用して行った。

図版掲載の縮尺は、実測土器・探拓土器：1/3、一部の大型土器：1/4、1/5、ミニチュア土器：1/2を用い、1/3以外のものについては偶々にスケールを付した。写真図版もこの縮尺に準じている。器面の剥落した部分は点線で表現した。掲載順は、斜面の上部から下部へ、調査区北西端から東へ0-0グリッドから0-1、0-2、1-1、2-1グリッドの順とし、グリッド内では上層から下層の順で掲載した。

石器は水洗後、大まかな器種毎に仕分けし出土グリッド順に登録を行った。登録点数は10,483点にのぼる。登録後、石質鑑定、器種の確認、器種により形態分類を行い、掲載遺物の選択、実測作業と計測作業を平行して進めた。掲載遺物は器種毎に各形態を代表するものを選択したが、出土数と掲載数の比率は一定ではない。

実測面は器種ごとに一定とはせず、使用痕を表現できるよう個体毎に定めた。時間短縮のため、剥片石器の大部分の実測・トレースを外部委託とした。砾石器の使用面には第6図の凡例に示したとおり、作用の種類毎にスクリントーンを使い分けて表現している。

図版掲載の縮尺は以下のように器種毎に定めた。

石鏃・石錐その他剥片石器：2/3

石斧、石皿、砾石器類：1/3

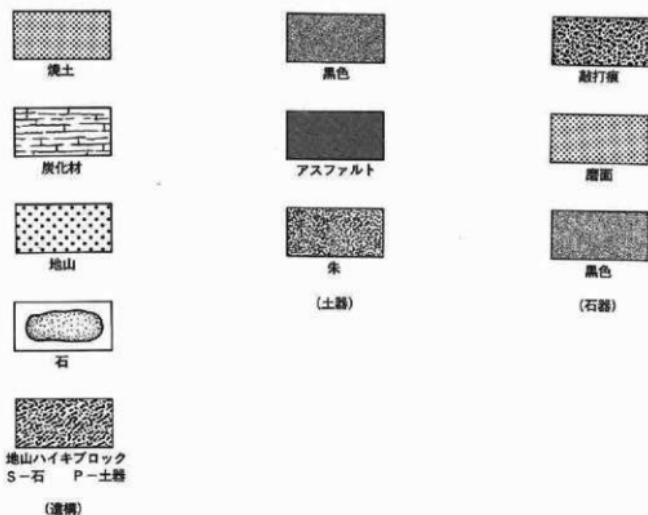
石製品類：1/2

観察表中の計測値の単位は長・幅・厚はcm、重量はgである。また計測値に()をつけたものは残存部分での数値である。

土製品は種類毎に登録し、実測、トレース、写真撮影を行い図版を作成した。焼粘土塊については実測を行わず、写真図版のみの掲載とし縮尺概数を頁下に記した。図版掲載の縮尺は1/2である。骨角器・金属製品・陶磁器その他の縮尺は各ページにスケールで示してある。動植物遺存体については文章掲載のみとした。

遺構配置・土層観察ベルト配置は第7～8図に示した通りである。柱穴状小ピットは相互の関係が把握できず、また全体図が煩雑になることを考慮し、第21～24図に一括掲載した。

各土層ベルトの断面図は第25～31図に掲載した。



第6図 造構・土器・石器実測図凡例

IV 検出された遺構、遺物

遺構の概要

今回の調査の結果、縄文時代後期から近代にいたるまでの各種遺構・遺物が検出された。

以下に概略を記す。縄文時代の遺構としては、石圓炉を伴う竪穴住居2棟、住居状遺構2棟、土坑50基、配石遺構7基、焼土遺構21基、埋設土器5基、地山廃棄ブロック3、柱穴140基、それ以外の時代では中世の土塁1基、溝1条、近代の炭窯1基が検出されている。

1 竪穴住居跡

1号竪穴住居跡（第9図・写真図版5）

＜位置＞ 2-12 グリッド

＜検出状況＞ 調査員の不注意から、住居の存在に気付くのが遅れ、検出時の詳細な記録はない。2-12東西ベルト6層を掘り下げる途中、偏平礫、その下から石圓炉が検出され、以後精査を行った。

＜形態・規模＞ 壁の残存が北西側の1/4弱であるため、正確な形状は不明だが、残存部のプランから長軸3.8m、短軸2.8m前後、壁高は最大40cmと思われる。

＜埋土＞ 埋土は堆積状況から、2-12東西ベルトの2・3・6層と考えられる。黒褐色土、灰黄褐色土を主体とし、炭化物、地山ブロックなどの混入具合に差がある。土の廃棄による堆積と考えられる。

＜床・壁＞ 住居のベルトB-B'1～5層は、IV層上に5cm程貼床したと考えられ、固くしまっている。1・2層は火熱による変色、6層より高いレベルの5・7層は、1号住居より古い遺構の可能性がある。壁面の立ち上がりはわずかしか検出しておらず、詳細は不明である。

＜柱炉＞ 直径約65cmの円形に亜角礫を配した石圓炉を検出した。石の一部は失われている。巨大な偏平礫（約50×70×5cm）が炉全体を覆い、礫の下面是石圓炉に密着しているが、焼成を受けた痕跡はない。焼土厚は約3cmで、混入物はほとんどない。

＜柱穴＞ 検出していない。

＜遺物＞ 遺物は貼床した土から土器（図版番号1～4）、石鏃1点、磨製石斧1点、イノシシの歯骨片、石器製作時の剝片が出土している。

＜小結＞ 形態、出土遺物から後期中葉以降の竪穴住居と考えられる。ベルトB-B'1層部分のIV層への掘り込みは、この住居より古い遺構があった可能性を示す。石圓炉を巨礫で覆った類例は大日向II遺跡のH IV 07住居跡に見られ、後期後葉の住居とされている。住居廃棄時の儀礼、再利用のための保護の可能性等が考えられる。

2号竪穴住居跡（第10図・写真図版5）

＜位置＞ 1-13 グリッド

＜検出状況＞ 平成7年度の調査で、2-13東西ベルトを残しながら包含層を掘り下げたところ、南東面15層で炭化物の混入した焼土と弓状に配列された石を検出した。精査は8年度に持ち越し、ベルト断面の記録後、ベルトを掘り下げ焼土と炭化物の広がりを記録した。

＜形態・規模＞ 壁の残存が北側の1/4弱のため、正確な形状は不明だが、残存部のプランから直径4m前後、壁高は最大35cmと思われる。

＜埋土＞ 埋土は堆積状況から2-13東西ベルト6・12・13・14・15層と考えられる。灰黄褐色土を主体

とし、炭化物、地山ブロックなどの混入具合に差がある。土の廃棄による堆積と考えられる。

＜床・壁＞ 住居のベルト A-A' 2~8 層は IV 層に貼床したと考えられ、固くしまっている。壁は 2~13 東西ベルトの 14 層と 16 層の境目と考えられ、外斜して立ち上がる。

＜炉＞ 直径約 70 cm の亜角礫を円形に配した石囲炉を検出した。石の一部は失われている。焼土厚は約 10 cm で黒褐色土、炭化物の混入が多い。

＜柱穴＞ 検出していない。

＜施設＞ 北壁際に土坑 1 基を検出した（39 号土坑）。径約 1 m、深さ約 20 cm で土器（図版番号 77+78・80+79+81）、礫が出土した。78 は正位で、81 は横位で土坑の底部に下面を接して埋められていた。どちらも胸部下半を失っている。78+81 の地文は縄文横位回転で、横位の内面調整を持つ。81 は胸部にススの付着が見られる。礫は埋土最上部と最下部から出土している。埋土は単層である。

＜遺物＞ 遺物は貼床した土から土器（図版番号 5~11）の他土器片 37 片（後期主体、晩期混じる）、石鏃 30 点、磨石 1 点、敲石 1 点、獸骨片、床面と直上の埋土から剝片、焼成クルミが出土している。

＜小結＞ 出土遺物から縄文晩期中葉以降の住居と考えられる。炭化材と焼土の残存から焼失住居の可能性がある。柱材と考えられる炭化材の大部分はナラでスギと雜木が一部混じっている。

2 積穴住居状遺構

1号住居状遺構（第 9 図・写真図版 6）

＜位置＞ 1-11 グリッド

＜検出状況＞ 平成 7 年度の調査で包含層を掘り下げたところ、IV 層を掘り込んだ遺構が確認された。

＜形態・規模＞ 壁の残りが北西側 1/4 強のため正確な形状は不明だが、残存部のプランから隅丸方形と考えられる。壁高は最大 30 cm になる。

＜埋土＞ 灰黄褐色土主体の単層で、固くしまっている。

＜床・壁＞ 床面は IV 層と考えられ、ほぼ平坦である。

＜遺物＞ 埋土から土器（図版番号 12~14）の他土器片 159 片、石鏃 10 点、石錐 1 点、敲石 1 点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。調査時の不手際により、詳細は不明だが北側の土坑らしい遺構を切って構築されている。本遺構は 25 号土坑に切られている。

2号住居状遺構（第 9 図・写真図版 6）

＜位置＞ 1-14 グリッド

＜検出状況＞ 平成 7 年度の調査で包含層を掘り下げたところ、IV 層を掘り込んだ遺構が確認されたが、大部分がすでに失われていた。

＜形態・規模＞ 壁の残りがわずかかなため、正確な形状は不明だが、残存部のプランから、長軸 2.6 m、短軸 2 m 前後の橢円形と推定される。

＜埋土＞ 灰黄褐色土主体の単層で、上部に焼土粒が多く含まれる。固くしまっている。

＜床・壁＞ 床面は IV 単層と考えられ、ほぼ平坦である。

＜柱穴＞ 埋土の下から柱穴が 2 基検出されたが、本遺構との関連は不明である。

＜遺物＞ 埋土から土器（図版番号 15~17）、石鏃 2 点、石匙 1 点、磨石 1 点が出土している。整理段階で

44号土坑出土土器との混乱があり、詳細は不明だが200点前後の土器片が出土している。

＜小結＞ 北側の44号土坑を切って、構築されている。出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。また、規模の大きな土坑の可能性もある。

3 土坑

1号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞ 1-1グリッドで検出した。

＜形態・規模＞ 長楕円形を呈し、開口部 1.28×0.82 m、底部 1.16×0.77 m、主軸方位N 21°E、深さは最大22cmである。底面は平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロックを少量含む、にぶい黄褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞ 埋土中から、土器（図版番号18・22）の他土器片81片（後期主体？）、石鐵4点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

2号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞ 1-2グリッド、III B下層で検出した。

＜形態・規模＞ 長楕円形を呈し、開口部 $1.42 \times (0.80)$ m、底部 $1.14 \times (0.72)$ m、主軸方位N 3°W、深さは最大14cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック、炭化物、焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞ 埋土中から土器（図版番号23・24）の他土器片31片（後期主体）、石鐵3点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。3号土坑、2号配石遺構に切られている。

3号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞ 1-2グリッド、III B下層で検出した。

＜形態・規模＞ 長楕円形を呈し、開口部 0.80×0.54 m、底部 0.66×0.38 m、主軸方向N 27°、深さ最大14cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック、焼土粒を少量含む、褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞ 埋土中から土器（図版番号19・21）の他土器片12片（後期主体）、石鐵1点、獸骨片少量が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

4号土坑（第11図・写真図版8）

＜位置・検出状況＞ 1-2グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞ 長楕円形を呈し、開口部 1.30×0.82 m、底部 1.14×0.78 m、主軸方向N 39°E、深さ最大16cmである。底面は平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック、炭化物、焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞ 埋土中から土器（図版番号25・26）の他土器片122片（後期主体、晩期少量含む）、石鐵2点、獸骨片少量が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

5号土坑（第11図・写真図版8）

<位置・検出状況> 1-2グリッドで検出した。

<形態・規模> 楕円形を呈し、開口部 1.00×0.74 m、底部 0.68×0.58 m、主軸方向N 56° W、深さは最大23cmである。底部はほぼ平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む、褐色土単層で埋め戻されている。固くしまる。

<遺物> 土器（図版番号22・27）の他土器片25片（後期主体）が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

6号土坑（第11図・写真図版8）

<位置・検出状況> 2-2グリッドで検出した。

<形態・規模> ほぼ円形で、開口部 1.24×1.09 m、底部 0.92×0.72 m、主軸方向NS、深さは最大25cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。壁に沿って礫が埋められている。

<埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む、にぶい黄褐色土層で埋め戻されている。固くしまる。この層は2-2東西ベルトの7層に相当する。

<遺物> 土器（図版番号28・29）の他、土器片56片（後期主体）が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。本遺構の断面は2-2東西ベルトに表れているが、断面から遺構の上部を確認することができない。崩落により失われた可能性があり、他の遺構の中にも、同様に上部構造を失ったものがあると推定される。

7号土坑（第11図）

<位置・検出状況> 2-2グリッドで検出した。

<形態・規模> ほぼ円形で、開口部 0.70×0.59 m、底部 0.60×0.52 m、主軸方向N 28° E、深さは最大10cmである。底部は中央がやや高く、壁は外傾して立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

<遺物> 土器（図版番号30・31）の他土器片9片（後期主体）、石錐1点が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

8号土坑（第11図・写真図版8）

<位置・検出状況> 2-2グリッドで検出した。

<形態・規模> 楕円形で、開口部 1.00×0.70 m、底部 0.78×0.42 m、主軸方向N 40° E、深さは最大31cmである。底部は中央がやや高く、壁は外傾して立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック、炭化物を少量含む褐色土の単層で、埋め戻されている。固くしまる。

<遺物> 出土遺物はない。

<小結> 出土遺物がなく詳細は不明だが、形態・埋土などから縄文時代の遺構と考えられる。構築目的は不明である。

9号土坑（第11図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞ 1-3グリッド、III B中層最下面で検出した。

＜形態・規模＞ ほぼ円形で、開口部 1.42×1.28 m、底部 1.32×1.04 m、主軸方向 N 17°W、深さは最大 27cm である。底部は平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む灰黄褐色土の単層（= III B中層中部）で、埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞ 土器（図版番号 32~34）の他土器片 205 片（後期主体）、石鎌 3 点、石錐 1 点、磨石 1 点が出土している。

＜小結＞ 32 は晩期前葉の土器であるが、出土遺物と埋土から後期前葉以降の遺構と考えられる。

10号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞ 2-3グリッドで検出した。

＜形態・規模＞ 不整な楕円形で、開口部 0.81×0.69 m、底部 0.73×0.57 m、主軸方向 N 11°W で、深さは最大 7cm である。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む、暗褐色土の単層（= III B中層）で埋め戻されている。

＜遺物＞ 土器（図版番号 35・36）の他土器片 45 片（後期主体）、石鎌 4 点、石皿 1 点、獸骨片少量が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

11号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞ 1-6グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞ 不整な楕円形で、開口部 0.92×0.72 m、底部 0.78×0.58 m、主軸方向 N 34°、深さは最大 20cm である。底部はほぼ平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む褐色土の単層で、埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞ 土器（図版番号 38~40）の他土器片 38 片（後期主体）、土偶（図版番号 146）、石鎌 4 点、石匙 1 点、敲石 1 点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

12号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞ 2-6グリッドで検出した。

＜形態・規模＞ 調査時の不手際のため、検出時のプランが楕円形で、 0.70×0.60 m、主軸方向 N 35°E、レベル 92.031m、土器が重なって出土の他、記録なし。

＜埋土＞ 埋土の記録はない。レベルから 2-6 南北ベルト 9 層の可能性が考えられる。

＜遺物＞ 土器（図版番号 41・42）の他土器片 61 片（後期主体）が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。

13号土坑（第12図・写真図版9）

＜位置・検出状況＞ 0-6グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 長方形円形で、開口部 1.50×0.72 m、底部 0.54×0.44 m、主軸方向 N 42° W、深さは最大で 60 cm である。底部はほぼ平坦で壁は急傾斜で立ち上がる。

<埋土> 地山ブロックを少量含む、にぶい黄褐色土で埋め戻されている。あまりしまっていない。

<遺物> 出土していない。

<小結> 遺物が出土していないため詳細は不明だが、埋土・形態から他の土坑とは構築時期、目的が異なると考えられる。また、断面の観察が短軸方向のみで断定できないが、プランから 2 つの遺構が重なっている可能性がある。

14 号土坑（第 12 図・写真図版 9）

<位置・検出状況> 0 - 7 グリッド、IV 層で検出した。

<形態・規模> 不整な円形で、開口部 $0.92 \times (0.74)$ m、底部 0.74×0.60 m、主軸方向 N 81° W、深さは最大 10 cm である。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土の単層で埋め戻されている。

<遺物> 土器片 5 片（後期主体）、石錐 1 点、凹石 1 点が出土している。土器片は磨滅が著しい。

<小結> 出土遺物から、後期の遺構と考えられる。

15 号土坑（第 12 図・写真図版 10）

<位置・検出状況> 0 - 7 グリッド、IV 層で検出した。

<形態・規模> 円形で、開口部 0.55×0.53 m、底部 0.46×0.41 m、主軸方向 N 51° E、深さ最大 10 cm である。底部は平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。

<遺物> 土器（図版番号 48）の他土器片 7 片（後期主体）が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

16 号土坑（第 12 図・写真図版 10）

<位置・検出状況> 1 - 8 グリッド、IV 層で検出した。

<形態・規模> 円形で、開口部 0.50×0.48 m、底部 0.38×0.36 m、主軸方向 N 26° E、深さ 21 cm である。底部は中央がくぼみ、壁は外傾して立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。

<遺物> 土器（図版番号 49・50）の他土器片 10 片（後期主体）、石錐 1 点が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

17 号土坑（第 12 図・写真図版 10）

<位置・検出状況> 2 - 8 グリッド、IV 層で検出した。

<形態・規模> 円形で、開口部 0.56×0.50 m、底部 0.44×0.42 m、主軸方向 N 78° W、深さ最大 8 cm である。底部はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土単層で埋め戻されている。

<遺物> 土器片 7 片（後期主体、晚期わずかに含む？）が出土している。土器片は磨滅が著しい。

<小結> 出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。

18号土坑（第12図・写真図版10）

<位置・検出状況> 2-9グリッド、IV層で検出した。南東側を1-9東西ベルト掘り下げのため、削られている。

<形態・規模> 開口部 (0.84) × (0.74) m、底部 (0.79) × (0.71) m と残存がわずかなため、詳細は不明である。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む、にぶい黄褐色土の単層で埋め戻されている。

<遺物> 土器片 17片（後期主体）、石鏡 2点が出土している。土器片は磨滅が著しい。

<小結> 出土遺物から後期の遺構と考えられる。

19号土坑（第13図・写真図版10）

<位置・検出状況> 1-9グリッド、IV層で検出した。南西側約1/4が、すでに削られている。

<形態・規模> 開口部 (1.41) × (1.30) m、底部 (1.12) × (0.96) m、主軸方向N 62°E、深さは最大12 cm である。底部はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。プランは橢円形と推定される。

<埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む、黒褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

<遺物> 土器（図版番号51-52）の他土器片31片、石鏡3点、石錐1点、磨石1点、獸骨片少量、焼粘土塊が出土している。

<小結> 51-52は後期前葉の土器だが、埋土から晩期の遺構と考えられる。南西側を遺構状に削られていたが、調査員の不手際により詳細は不明である。

20号土坑（第13図）

<位置・検出状況> 1-9グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> ほぼ円形で、開口部 0.50 × 0.44 m、底部 0.40 × 0.38 m、主軸方向N 56°W、深さ最大12 cm である。底部はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む、にぶい黄褐色土の単層で埋め戻されている。

<遺物> 遺物は出土していない。

<小結> 遺物が出土していないため詳細は不明だが、埋土から後～晩期の遺構と考える。

21号土坑（第13図・写真図版10）

<位置・検出状況> 3-9グリッド、IV層で検出した。西側約1/2がすでに削られている。

<形態・規模> 開口部 (1.22) × (1.03) m、底部 (0.63) × (0.56) m、主軸方向N 30°E、深さは最大23 cm である。底部は中央がくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。プランは橢円形と推定される。

<埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む、褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

<遺物> 土器（図版番号53～55）の他土器片13片（後・晩期）、石鏡4点、石錐1点、獸骨片少量が出土している。

<小結> 出土遺物から晩期後葉の遺構と考えられる。調査時の不手際から、22号土坑との重複の有無は確認できなかった。出土遺物から本遺構が新しいと考える。断面と完掘状況から本遺構が22号土坑以外の遺

構と重複していた可能性がある。

22号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞ 3-9グリッド、IV層で検出した。西側1/2はすでに削られている。

＜形態・規模＞ 開口部(0.84)×(0.80)m、底部(0.74)×(0.50)m、主軸方向N 81°E、深さ最大12cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。プランは橢円形と推定される。

＜埋土＞ 地山ブロックを少量含む、褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

＜遺物＞ 土器（図版番号56）の他土器片1片、石鐵3点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。

23号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞ 2-10グリッド、IV層で検出した。南側約1/2はすでに削られている。

＜形態・規模＞ 不整な橢円形で、開口部(1.70)×(0.88)m、底部(1.58)×(0.80)m、主軸方向N 84°E、底部は中央が高く、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土主体の土で埋め戻され、3層に分かれている。固くしまる。

＜遺物＞ 土器（図版番号60・61）の他土器片72片（後期主体）が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。南側が遺構状に削られていたが、調査員の不手際により、詳細は不明である。

24号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞ 1-11グリッドで検出した。

＜形態・規模＞ ほぼ円形で、1.32×1.30m、底部1.28×0.94m、主軸方向N 52°E、深さは最大27cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土で埋め戻されている。

＜遺物＞ 土器（図版番号172・175）の他63片（後期主体）が出土している。

＜小結＞ 出土遺物と、埋土から晩期前葉以降の遺構と考えられる。

25号土坑（第13図・写真図版11）

＜位置・検出状況＞ 1-11グリッドで検出した。

＜形態・規模＞ 橢円形で、1.22×0.99m、底部1.02×0.82m、主軸方向N 67°W、深さは最大32cmである。底部は平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土の単層で埋め戻されている。しまっていない。下部に巨礫が埋められている。

＜遺物＞ 土器（図版番号57・58）の他土器片103片、石鐵1点、石匙1点、敲石1点、焼粘土塊少量が出土している。

＜小結＞ 出土遺物と埋土から後～晩期の遺構と考えられる。本遺構は1号住居状遺構を切っている。

26号土坑（第13図・写真図版11）

- ＜位置・検出状況＞ 2-11グリッド、IV層で検出した。
- ＜形態・規模＞ 不整な橢円形で、 0.66×0.46 m、底部 0.43×0.30 m、主軸方向N 23°E、深さは最大34cmである。底部は不規則な形で、壁は急傾斜で立ち上がる。
- ＜埋土＞ 4層に分けられるが、地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土で埋め戻されている。
- ＜遺物＞ 土器（図版番号59）の他土器片51片、石錐2点が出土している。
- ＜小結＞ 出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

27号土坑（第13図・写真図版12）

- ＜位置・検出状況＞ 2-10グリッド、IV層で検出した。
- ＜形態・規模＞ 8の字形で、開口部 0.98×0.70 m、底部 0.89×0.50 m、主軸方向N 74°E、深さは最大16cmである。底部は中央がくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。
- ＜埋土＞ 埋土の記録はない。
- ＜遺物＞ 石錐2点、石錐2点、獸骨片が少量出土している。
- ＜小結＞ 出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。埋土の記録がないため詳細は不明だが、プランと断面から柱穴状の遺構と重複している可能性がある。

28号土坑（第14図・写真図版12）

- ＜位置・検出状況＞ 2-11グリッド、2-11東西ベルト6層を掘り込んで、土坑状のくぼみが検出された。東側はすでに削られている。
- ＜形態・規模＞ 不整形で、開口部 $(0.80) \times 0.60$ m、底部 $(0.68) \times 0.44$ m、主軸方向N 19°E、深さは最大18cmである。底部は中央がわずかに高く、壁は緩やかに立ち上がる。
- ＜埋土＞ 炭化物・多量の焼土粒を含む、黒褐色土の単層である。（=2-11東西ベルト5層）最下部に疊が埋められている。
- ＜遺物＞ 出土遺物はない。
- ＜小結＞ 遺物が出土していないため詳細は不明だが、検出面が29号土坑と同じことから、ほぼ同時期の遺構と考えられる。構築目的は不明である。

29号土坑（第14図・写真図版12）

- ＜位置・検出状況＞ 2-11グリッド、2-11グリッドの6層を掘り込んで、土坑状のくぼみが検出された。東側はすでに削られている。
- ＜形態・規模＞ と開口部 $(0.92) \times (0.80)$ m、底部 $(0.77) \times (0.73)$ m、主軸方向N 25°W、深さは最大20cmである。底部は平坦で、壁は外傾して立ち上がる。
- ＜埋土＞ 炭化物・多量の焼土粒を含む黒褐色土の単層である。（=2-11東西ベルト5層）
- ＜遺物＞ 土器（図版番号62～65）の他土器片138片（晩期主体）、石錐4点、獸骨片少量が出土している。
- ＜小結＞ 出土遺物から晩期前葉以降の遺構と考えられる。

30号土坑（第14図）

＜位置・検出状況＞ 0-11グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞ 長楕円形で、(1.54)×0.38m、底部(1.32)×0.26m、主軸方向N E、深さは最大18cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞ 灰黄褐色土の単層で、埋め戻されている。

＜遺物＞ 出土遺物はない。

＜小結＞ 出土遺物がないため詳細は不明だが、形態から他の土坑とは構築目的が異なる可能性がある。

37号土坑と検出面、形態がよく似ている。103号柱穴に切られている。

31号土坑（第14図・写真図版12）

＜位置・検出状況＞ 1-12グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞ ほぼ円形で、開口部0.67×0.62m、底部0.40×0.32m、主軸方向N 61°E、深さ最大8cmである。底部は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞ 出土遺物はない。

＜小結＞ 出土遺物がないため詳細は不明だが、縄文後～晩期の遺構と考えられる。

32号土坑（第14図・写真図版12）

＜位置・検出状況＞ 1-12グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞ 不整な楕円形で、開口部1.08×0.63m、底部0.94×0.32m、主軸方向N 34°E、深さは最大14cmである。底部は不整形で、壁は緩やかに立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞ 土器（図版番号67・68）の他土器片28片（後期主体）、石鉄1点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。プランと断面から他の遺構と重複している可能性がある。

33号土坑（第14図・写真図版12）

＜位置・検出状況＞ 1-12グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞ 円形で、開口部0.81×0.79m、底部0.71×0.66m、主軸方向N 31°W、深さは最大31cmである。底部は平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土で埋め戻され2層に分かれれる。

＜遺物＞ 土器（図版番号69～71）の他土器片80片（後期主体）、石棒1点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から、後期前葉の遺構と考えられる。

34号土坑（第14図・写真図版12）

＜位置・検出状況＞ 2-12グリッド、検出面の記録はない。

＜形態・規模＞ 不整な円形で、開口部1.12×1.02m、0.80×0.75m、主軸方向N 81°E、深さは最大55cmである。底部はほぼ平坦で、壁は急傾斜で立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土で埋め戻され3層に分かれている。固くしまる。埋土中～下部にかけて $15 \times 15 \times 45$ cm前後の角礫が、底面に対して約60°の角度で埋められている。

＜遺物＞ 土器（図版番号72～75）の他土器片84片（後期主体）、凹石1点、円盤状土製品1点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。構築目的は不明である。調査時の不手際により、精査の途中で本遺構が北西側の土坑状の遺構を切って構築されたことに気づいた。この遺構から遺物の出土ではなく、埋土は本遺構によく似ている。

35号土坑（第14図・写真図版13）

＜位置・検出状況＞ 2-12グリッド、 20×30 cm前後の礫が2個検出され、礫の下にIV層を掘り込んだ遺構を確認した。

＜形態・規模＞ 不整な円形で、開口部 0.51×0.42 m、底部 0.31×0.30 m、主軸方向N 33°W、深さは最大14 cmである。底部・壁は残存がわずかなため、詳細は不明である。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む・黒褐色土と灰黄褐色土の2層に分けられる。固くしまる。

＜遺物＞ 土器片132片（後・晩期）、磨製石斧1点が出土している。土器は磨滅が著しい。

＜小結＞ 出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。土坑とするには不十分な検出状況だが、上部が失われた可能性を考え遺構とした。構築目的、礫と遺構との関連は不明である。

36号土坑（第14図・写真図版13）

＜位置＞ 1-12グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞ 不整形で開口部 1.40×0.50 m、底部 1.20×0.34 m、主軸方向N 85°W、深さは最大で15 cmである。底部はほぼ平坦で、壁の立ち上がりは対称ではない。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、暗褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞ 土器（図版番号76）の他土器片11片が出土している。磨滅が著しい。

＜小結＞ 出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。構築目的は不明である。適切な位置で断面を探らなかったため、詳細は不明だが、2つの遺構が重複している可能性がある。

37号土坑（第15図）

＜位置・検出状況＞ 0-13グリッド、IV層で検出した。北側は調査区外に続いている。

＜形態・規模＞ 長楕円形で、開口部は 1.16×0.40 m、底部 0.98×0.22 m、主軸方向N 4°E、深さは最大20 cmである。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土の単層で埋め戻されている。

＜遺物＞ 石錐1点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物がないため詳細は不明だが、後～晩期の遺構と考えられる。形態から他の土坑とは構築目的が異なる可能性がある。30号土坑と検出面、形態がよく似ている。

38号土坑（第14図・写真図版13）

＜位置・検出状況＞ 1-13グリッド、検出時の記録はない。

<形態・規模> 円形で、開口部 0.38×0.38 m、底部 0.32×0.31 m、主軸方向は N 20° E、深さは 4 cm である。底部は平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土の単層である。

<遺物> 土器片 2 片が出土している。磨滅が著しい。

<小結> 残存がわずかで詳細は不明だが、後～晚期の遺構と考える。

39 号土坑（第 10 図・写真図版 5）

2 号住居に伴う遺構のため 15 ページ参照。

40 号土坑（第 15 図・写真図版 13）

<位置・検出状況> 1-13 グリッド、IV 層で検出した。

<形態・規模> 長楕円形で、開口部 1.32×0.65 m、底部 0.94×0.48 m、主軸方向 N S、深さは最大 32 cm である。

<埋土> 埋土の記録はない。

<遺物> 土器（図版番号 82・83）の他土器片 83 片（後期主体）が出土している。

<小結> 出土遺物から後期中葉以降の遺構と考えられる。

41 号土坑（第 15 図・写真図版 13）

<位置・検出状況> 2-13 グリッド、IV 層で検出した。

<形態・規模> 不整な円形で、開口部 0.55×0.50 m、底部 0.46×0.40 m、主軸方向 N 33° E、深さ 8 cm である。底部は中央がややくぼみ、壁は緩やかに立ち上がる。

<埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、黒褐色土の単層で埋め戻されている。固くしまる。

<遺物> 土器（図版番号 84-87）の他土器片 148 片（晩期主体、後期含む）、石鐵 1 点、石棒 1 点が出土している。

<小結> 出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

42 号土坑（第 15 図・写真図版 13）

<位置・検出状況> 2-13 グリッド、IV 層で検出した。

<形態・規模> 長楕円形で、開口部 1.54×0.71 m、底部 1.44×0.62 m、主軸方向 N 13° W、深さは最大 25 cm である。底部は中央がややくぼみ、壁は外傾して立ち上がる。

<埋土> 埋土の記録はない。

<遺物> 土器（図版番号 88・89）の他土器片 18 片（後期主体）、石鐵 1 点が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。構築目的は不明である。

43 号土坑（第 15 図・写真図版 13）

<位置・検出状況> 3-13 グリッド、検出面の記録はない。南側は調査区外に続いている。

<形態・規模> 開口部は $(1.00) \times 0.70$ m、底部 $(0.94) \times 0.60$ m、主軸方向 N 33° E、深さは 10 cm である。プランは不整な楕円形と推定される。

- <埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土の単層で埋め戻されている。
- <遺物> 出土遺物はない。
- <小結> 出土遺物がないため詳細は不明だが、後～晚期の遺構と考えられる。

44号土坑（第15図）

- <位置・検出状況> 1-14グリッド、IV層で検出した。
- <形態・規模> 開口部 0.48×0.43 m、底部 0.40×0.28 m、主軸方向N 24°E、深さは最大 22 cm である。プランは橢円形と推定される。
- <埋土> 埋土の記録はない。
- <遺物> 土器（図版番号 90～92）の他、土器片 104 片（後・晚期）、石鏃 3 点、石錐 1 点、磨石 1 点、石皿 1 点が出土している。
- <小結> 出土遺物から晚期中葉以降の遺構と考えられる。構築目的は不明である。2号住居状遺構に切られているが、出土遺物から大きな時期差はないと考えられる。

45号土坑（第15図）

- <位置・検出状況> 2-15グリッド、IV層で検出した。
- <形態・規模> 不整な円形で、開口部 0.77×0.62 m、底部 0.44×0.33 m、主軸方向N 89°E、深さは最大 23 cm である。底部は中央部がくぼみ、壁は外傾して立ち上がる。
- <埋土> 埋土の記録はない。
- <遺物> 出土遺物はない。
- <小結> 出土遺物がないため、詳細は不明だが後・晚期の遺構と考えられる。

46号土坑（第15図・写真図版14）

- <位置・検出状況> 2-17グリッドで検出した。
- <形態・規模> ほぼ円形で、開口部 1.36×1.26 m、底部 0.28×0.22 m、主軸方向N 21°E、深さ最大 24 cm である。底部はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がる。
- <埋土> 地山ブロック・炭化物が少量含まれる、暗褐色土の単層で埋め戻されている。しまっていない。
- <遺物> 石鏃 1 点、磨石 1 点が出土している。
- <小結> 土器が出土していないため詳細は不明だが、埋土から晚期の遺構と考えられる。

47号土坑（第15図・写真図版14）

- <位置・検出状況> 2-17グリッドで検出した。
- <形態・規模> 円形で、開口部 0.94×0.92 m、底部 0.66×0.62 m、主軸方向は N 51°W、深さは 13 cm である。底部は平坦で、壁は外傾して立ち上がる。
- <埋土> 地山ブロック・炭化物・焼土粒が少量含まれる、褐色土で埋め戻され、2層に分かれる。しまっていない。
- <遺物> 出土遺物はない。
- <小結> 出土遺物がないため詳細は不明だが、埋土から晚期の遺構と考えられる。

48号土坑（写真図版14）

- <位置・検出状況> 2-14グリッド、1-14～2-14東西ベルト中で検出された。
- <形態・規模> 調査時の不手際により、平面図を取り忘れたため正確な位置・規模は不明である。
- <埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む黒褐色土単層（=1-14～2-14東西ベルト8層）で埋め戻されている。固くしまる。
- <遺物> 土器（図版番号93・94）の他土器片122片（晩期主体）が出土している。
- <小結> 出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

49号土坑

- <位置・検出状況> 2-14グリッド、1-14東西ベルト中で検出された。
- <形態・規模> 調査時の不手際により、平面図を取り忘れたため正確な位置・規模は不明である。
- <埋土> 地山ブロックが小量含まれる、にぶい黄褐色土の単層（=1-14～2-14東西ベルト4層）で埋め戻されている。固くしまる。
- <遺物> （図版番号95～98）の他、土器片49片（晩期主体、後期含む）、凹石1点が出土している。
- <小結> 出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。

50号土坑

- <位置・検出状況> 2-14グリッド、1-14～2-14東西ベルト中で検出された。
- <形態・規模> 調査時の不手際により、平面図を取り忘れたため正確な位置・規模は不明である。
- <埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む、黒褐色土の単層（=1-14～2-14東西ベルト7層）で埋め戻されている。ややしまる。
- <遺物> 出土遺物はない。
- <小結> 出土遺物がないため詳細は不明だが、埋土から晩期の遺構と考えられる。

4 配石遺構

1号配石遺構（第16図・写真図版14）

- <位置・検出状況> 2-1グリッド、IV層で検出した。
- <形態・規模> 40×20×7cm前後の凝灰岩質の礫を、斜面に対して約50°の角度で埋めている。礫は下面がくぼみ、石皿によく似ているが使用痕はない。
- <埋土> 磨はIV層を掘り込み、埋められている。埋土はIV層とほぼ同じだがやわらかい。
- <遺物> 出土遺物はない。
- <小結> 配石遺構とするには不十分な検出状況だが、掘り込みが確認され、周辺の礫が失われた可能性を考え遺構とした。礫は構築時より傾いた可能性がある。出土遺物がないため詳細は不明だが、後期以降の遺構と考えられる。

2号配石遺構（第16図・写真図版14）

- <位置・検出状況> 1-1グリッド、III B中層相当層で検出した。

<形態・規模> 土坑を伴い、礫は壁に沿って7個埋められている。2個は安山岩で他は粘板岩である。土坑は梢円形で開口部 1.16×0.58 m、底部 1.06×0.44 m、主軸方向はN $22^\circ E$ 、深さは14cmである。

<埋土> 地山ブロック・炭化物を小量含む、褐色土の単層で埋められている。

<出土遺物> 土器(図版番号107・108)の他土器片19片(後期主体)が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

3号配石遺構(第16図・写真図版15)

<位置・検出状況> 1-2グリッド、III B中層で検出した。

<形態・規模> 30×50 cm 前後の粘板岩が、3個階段状に配列されている。

<埋土> 挖り込みは確認されず、地山ブロック・炭化物・焼土粒を小量含む暗褐色土(=2-1~2-2南北ペルト3層)上に置かれている。

<遺物> 周辺から土器(図版番号109~111)の他土器片46片(後期主体)、石鏃1点、獸骨片、焼粘土塊少量が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。

4号配石遺構(第16図・写真図版15)

<位置・検出状況> 1-3グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> $50 \times 40 \times 10$ cm 前後の粘板岩質の礫を、斜面に対し約 70° の角度で埋めている。

<埋土> 磚はIV層を掘り込み埋められている。埋土は地山ブロックを少量含むにぶい黄褐色土と、IV層とほぼ同じだがやわらかい土である。

<遺物> 出土遺物はない。

<小結> 配石遺構とするには不十分な検出状況だが、掘り込みが確認され、周辺の磚が失われた可能性を考え遺構とした。磚は構築時より傾いた可能性がある。出土遺物がないため詳細は不明だが、後期以降の遺構と考えられる。

5号配石遺構(第16図・写真図版15)

<位置・検出状況> 1-4グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 土坑を伴い、礫は壁際と埋土中に不規則に埋められている。礫のうち1個は掘り込みが深く、隣接して石皿(図版番号387)が出土している。土坑は梢円形で、開口部 1.40×0.80 m、底部 1.32×0.64 m、主軸方向はN $37^\circ E$ 、深さは最大40cmである。

<埋土> 地山ブロック・炭化物を少量含む、灰黄褐色土単層で埋められている。

<遺物> 出土遺物はない。

<小結> 出土遺物がないため詳細は不明だが、後期以降の遺構と考えられる。

6号配石遺構(第16図・写真図版16)

<位置・検出状況> 1-7グリッド、IV層で検出。

<形態・規模> 貝岩質、粘板岩質の礫が不規則に配置され、礫の1個は斜面に対して 40° の角度で埋められている。不整形な土坑を伴い、開口部 2.12×0.85 m、底部 1.32×0.64 m、主軸方向N $18^\circ E$ 、深さ最大40

cm である。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物・焼土粒を少量含む、灰黄褐色土で 4 層に分かれる。

＜遺物＞ 土器（図版番号 112～117）の他土器片 259 片、石錐 2 点、削振器 1 点、獸骨片少量が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。礫は構築時より倒れた可能性がある。

7 号配石遺構（第 16 図・写真図版 16）

＜位置・検出状況＞ 2～8 グリッド、IV 層で検出した。

＜形態・規模＞ 粘板岩質の礫が、斜面に対して 30° の角度で埋められている。土坑を伴い、開口部 1.66 × 0.88 m、底部 1.60 × 0.76 m、主軸方向 N 54° E、深さは最大 36 cm ある。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む灰黄褐色土で、2 層に分かれる。

＜遺物＞ 土器（図版番号 118・119）の他土器片 97 片、円盤状土製品 1 点、石錐 4 点、石錐 1 点が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。土坑である可能性も高い。

8 号配石遺構（第 16 図・写真図版 16）

＜位置・検出状況＞ 1～9 グリッドで検出した。

＜形態・規模＞ 60 × 45 cm 前後の粘板岩が、4 個階段状に配置されている。

＜埋土＞ 地山ブロック・炭化物を少量含む灰黄褐色土（= 1～9 東西ベルト 4 層相当層）上に置かれている。

＜遺物＞ 出土遺物はない。

＜小結＞ 1～9 東西ベルト 4・5 層出土土器（図版番号 1548～1551）が後期前～中葉であることから、近い時期の遺構と推定される。

5 焼土遺構

1 号焼土遺構（第 17 図・写真図版 16）

＜位置・検出状況＞ 1～2 グリッド、10 YR4/2 灰黄褐色土主体層上で検出した。

＜形態・規模＞ 平面は不整形で、規模 1.52 × 0.86 m、焼土厚 12 cm である。

＜焼土＞ 色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

＜遺物＞ 土器（図版番号 120～122）の他土器片 42 片（後期主体）、石錐 3 点、獸骨片少量が出土している。土器は焼成を受けていない。

＜小結＞ 後～晩期の遺構と考えられる。周辺から礫が検出しているが、本遺構との関連は不明である。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

2 号焼土遺構（第 17 図・写真図版 17）

＜位置・検出状況＞ 1～4 グリッド、10 YR3/2 黒褐色土主体層上で検出した。

＜形態・規模＞ 平面は不整形で、規模 0.72 × 0.42 m、焼土厚の記録はない。

＜焼土＞ 色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

<遺物> 出土遺物はない。

<小結> 検出面から 3 号・4 号焼土遺構とほぼ同時期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

3号焼土遺構（第 17 図・写真図版 17）

<位置・検出状況> 1-4 グリッド、10 YR3/2 黒褐色土主体層上で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模 0.88×0.42 m、焼土厚の記録はない。

<焼土> 色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

<遺物> 土器（図版番号 123）、石鏃 1 点、獸骨片が少量出土している。

<小結> 検出面から、2 号・4 号焼土遺構とほぼ同時期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

4号焼土遺構（第 17 図・写真図版 17）

<位置・検出状況> 1-4 グリッド、10 YR3/2 黒褐色土主体層上で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模 1.72×0.54 m、焼土厚の記録はない。

<焼土> 色調、固さの記録はない。10 YR3/2 黒褐色土、炭化物が混入している。上面に $45 \times 10 \times 1$ cm ほどの炭化物が残っている。

<遺物> 土器（図版番号 124-126）の他土器片 13 片、石鏃 2 点、石錐 5 点、石匙 1 点、獸骨片少量が出土している。

<小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

5号焼土遺構（第 17 図・写真図版 17）

<位置・検出状況> 1-5 グリッドで検出した。

<形態・規模> 平面は長楕円形で、規模 0.83×0.25 m、焼土厚 11 cm である。

<焼土> 色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

<遺物> 土器（図版番号 127）の他土器片 13 片、石鏃 1 点、獸骨片少量が出土している。

<小結> 出土遺物から後期以降の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

6号焼土遺構（第 17 図・写真図版 17）

<位置・検出状況> 2-5 グリッド、10 YR4/2 灰黃褐色土（= 1-5 東西ベルト 2 層）上で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模 1.55×1.20 m、焼土厚 14 cm である。

<焼土> 色調、固さの記録はない。10 YR3.5/2 黒褐色土 40 %、炭化物が混入している。

<遺物> 土器（図版番号 128-133）の他土器片 194 片（晚期主体）、円盤状土製品（図版番号 3、4）の他 2 点、耳飾り（図版番号 117）、石鏃（図版番号 20、91）の他 18 点、石錐 3 点、石匙 1 点、石棒（図版番号 73）、岩版（図版番号 35）、獸骨片少量が出土している。

<小結> 出土遺物から晩期中葉以降の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

7号焼土遺構（第18図・写真図版18）

- <位置・検出状況> 2-6グリッド、8号焼土遺構より5~10cm高いレベルで検出された。
- <形態・規模> 平面は不整形で、規模 1.60×0.44 m、焼土厚の記録はない。
- <焼土> 色調、固さの記録はない。10YR3/2黒褐色土、炭化物が混入している。
- <遺物> 土器（図版番号134・135）の他土器片14片（後期主体）、獸骨片が出土している。
- <小結> 出土遺物から後期前葉以降の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

8号焼土遺構（第17図・写真図版18）

- <位置・検出状況> 2-6グリッドで検出した。
- <形態・規模> 平面は不整形で、規模 2.42×1.92 m、焼土厚14cmである。
- <焼土> 色調、固さの記録はない。10YR3/2黒褐色土30%、炭化物が混入している。
- <遺物> 土器（図版番号136~141）の他土器片109片、石錐1点、石錐1点、コイ科の魚類を含む獸骨片少量が出土している。
- <小結> 141は後期前葉の土器だが、出土遺物と検出面から後期前葉以降の遺構と考えられる。7号焼土遺構とごく近い時期に形成され、焼土の状態から異地性のものと考えられる。

9号焼土遺構（第18図・写真図版18）

- <位置・検出状況> 1-7グリッドで検出した。
- <形態・規模> 平面は不整形で、規模 0.92×0.50 m、焼土厚6cmである。
- <焼土> 色調、固さの記録はない。10YR4/2灰黄褐色土、炭化物、地山ブロックが混入している。
- <遺物> 土器（図版番号142）の他土器片6片（後期主体）、獸骨片が出土している。
- <小結> 出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

10号焼土遺構（第18図・写真図版18）

- <位置・検出状況> 1-8グリッド、III B上層で検出した。11号焼土遺構を切って構築されている。
- <形態・規模> 平面はほぼ円形で、規模 0.65×0.62 m、焼土厚8cmである。
- <焼土> 5YR4/8赤褐色粘土で固くしまる。上部に10YR4/2灰黄褐色土（=III B上層）が混入している。
- <遺物> 土器（図版番号143~145）の他土器片54片（後期主体）、石錐2点、鳥類を含む獸骨片が少量出土している。
- <小結> 出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けている状態から現地性のものと考えられる。

11号焼土遺構（第18図・写真図版18）

- <位置・検出状況> 1-8グリッド、III B上層で検出した。10号焼土遺構に切られている。
- <形態・規模> 平面はほぼ橢円形で、規模 $0.52 \times (0.32)$ 、焼土厚3cmである。
- <焼土> 5YR4/8赤褐色土粘土、混入物はなく、固くしまる。
- <遺物> 土器（図版番号146）の他土器片4片（後期主体）、獸骨片少量が出土している。

<小結> 出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けている状態から現地性のものと考えられる。

12号焼土遺構（第18図・写真図版18）

<位置・検出状況> 1-8グリッド、III B上層で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模は 0.56×0.26 m、焼土厚3cmである。

<焼土> 5YR4/8赤褐色粘土、混入物はなく、固くしまる。

<遺物> (図版番号147) の他土器片4片（後期主体）、石鏃1点、獸骨片が少量出土している。

<小結> 出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けている状態から現地性のものと考えられる。

13号焼土遺構（第18図）

<位置・検出状況> 1-9グリッド、4層で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模は 0.54×0.26 m、焼土厚10cmである。

<焼土> 色調、固さの記録はない。10YR4/2灰黄褐色土、炭化物が混入している。

<遺物> 石鏃1点、獸骨片少量が出土している。

<小結> 後～晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

14号焼土遺構（第18図・写真図版18）

<位置・検出状況> 1-9グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模は 0.38×0.33 m、焼土厚は4cmである。

<焼土> 色調、固さの記録はない。10YR4/2灰黄褐色土、炭化物が混入している。

<遺物> 出土遺物はない。

<小結> 後～晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

15号焼土遺構（第18図・写真図版19）

<位置・検出状況> 2-9グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で規模 0.46×0.31 m、焼土厚2cmである。

<焼土> 色調の記録はない。固くしまる。10YR4/2灰黄褐色土、炭化物が混入している。

<遺物> 出土遺物はない。

<小結> 後～晩期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けた状態から現地性のものと考えられる。

16号焼土遺構（第18図・写真図版19）

<位置・検出状況> 2-9グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模は 1.01×0.41 m、焼土厚3cmである。

<焼土> 色調の記録はない。混入物はなく、固くしまっている。

<遺物> 土器(図版番号148・149)の他土器片25片(後期主体)、石鏃2点、獸骨片少量が出土している。

<小結> 出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けた状態から現地性のものと考えられる。

17号焼土遺構（第18図・写真図版19）

<位置・検出状況> 2-9グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模 0.65×0.28 m、焼土厚 5 cm である。

<焼土> 色調の記録はない。固くしまる。上部に炭化物が混入している。

<遺物> 土器（図版番号150）の他土器片19片（後期主体）、石鏃1点、焼粘土塊が少量出土している。

<小結> 出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けた状態から現地性のものと考えられる。

18号焼土遺構（第18図・写真図版19）

<位置・検出状況> 2-9グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 平面はほぼ円形で、規模 0.36×0.31 m、焼土厚 8 cm である。

<焼土> 色調の記録はない。固くしまる。上部に炭化物が集中している。

<遺物> 土器（図版番号151）の他土器片8片（後期主体）、獸骨片が少量出土している。

<小結> 出土遺物から後期の遺構と考えられる。焼土の固く焼けた状態から現地性のものと考えられる。

19号焼土遺構（第18図・写真図版19）

<位置・検出遺構> 2-9グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模 0.29×0.17 m、焼土厚 2 cm である。

<焼土> 色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

<遺物> 土器片9片（後・晩期）、石鏃1点が出土している。

<小結> 出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

20号焼土遺構（第18図・写真図版19）

<位置・検出状況> 2-9グリッド、IV層で検出した。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模 0.42×0.31 m、焼土厚 3 cm である。

<焼土> 色調、固さの記録はない。炭化物が混入している。

<遺物> 土器片（図版番号152）の他5片（後・晩期）が出土している。

<小結> 出土遺物から後～晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

21号焼土遺構（第19図・写真図版20）

<位置・検出状況> 2-11グリッド、灰黄褐色土層（地山ブロック7%散在）上で検出した。この層には晩期中葉の土器が含まれ、さらに下の層には後期の土器が含まれる。（＝III B上層相当か？）また、この上の層にも晩期の層が厚く堆積している。

<形態・規模> 平面は不整形で、規模 5.78×4.99 m、焼土厚 20 cm である。

<焼土> 色調、固さの記録はない。焼土に10 YR3/2 黒褐色土が60%程混入している。（＝2-11東西ベルト5層）

<遺物> 土器片131片（晩期主体、後期少量混じる）、土偶（図版番号326）、石鏃4点、石匙1点、磨石

4点、焼粘土塊が出土している。

＜小結＞ 出土遺物から晩期の遺構と考えられる。焼土の状態から異地性のものと考えられる。

6 埋設土器

1号埋設土器（第19図・写真図版6）

＜位置・検出状況＞ 1-5グリッド、IV層で検出した。

＜形態・規模＞ IV層中に、焼土粒を60%ほど含む $0.40 \times 0.30\text{m}$ のごく浅い土坑状のものがあり、小型深鉢の脇部下半から底部が、斜面に対し水平に埋められている。（図版番号99）土器に火を受けた形跡はない。

＜小結＞ 上部は調査以前、あるいは途中で失われたと考えられる。また遺構と認定すべきか疑問は残る。出土遺物から後期の遺構と考えられる。

2号埋設土器（第19図・写真図版6）

＜位置・検出状況＞ 1-6グリッド、10YR4/2灰黄褐色土層（=III B層）で検出した。

＜形態・規模＞ 上記の層を掘り込んで構築されている。掘り方は平面・断面双方から確認できなかった。深鉢の口縁から底部が、斜面に対し約45°の角度で埋められている。（図版番号100）

＜小結＞ 出土遺物から晩期の遺構と考えられる。

3号埋設土器（第19図・写真図版6）

＜位置・検出状況＞ 1-6グリッド、10YR4/2灰黄褐色土層（=III B層）で検出した。

＜形態・規模＞ 上記の層を掘り込んで構築されている。掘り方は平面・断面双方から確認できなかった。深鉢の脇部下半から底部が、斜面に対し約45°の角度で埋められている。（図版番号101）

＜小結＞ 上部は調査以前、あるいは途中で失われたと考えられる。出土遺物から晩期の遺構と考えられる。

4号埋設土器（第19図・写真図版7）

＜位置・検出状況＞ 1-8グリッド、晩期前葉の遺物を含む層で検出した。

＜形態・規模＞ 上記の層を掘り込んで構築されている。掘り方は平面・断面双方から確認できなかった。深鉢の口縁から底部が、斜面に対し約45°の角度で埋められている。（図版番号102）

＜小結＞ 出土遺物から晩期前葉以降の遺構と考えられる。

5号埋設土器（第19図・写真図版7）

＜位置・検出状況＞ 2-14グリッド、東西ベルト南東面8層中から検出された。

＜形態・規模＞ 2-13ベルト南東面8層中に焼土粒40%ほど含む直径4.2cmの土坑状のものがあり、鉢形土器の口縁から脇部上半が、斜面に対し水平に埋められている。

＜小結＞ 出土遺物から晩期前葉以降の遺構と考えられる。

7 石斧埋納状況

2-11グリッド、南北ベルト中III Ab層最下部に、ほぼ完形の磨製石斧が3本、斜面に対し水平な状態で

埋められている。(図版番号 310~312・写真図版 22) 牽線は北東ー南西で平面・断面双方から掘り方は確認できなかった。時期は後期中葉頃と推定される。皮袋などに入れられた状態で埋納された可能性が考えられる。

8 土偶埋納状況

2~8 グリッド、III Ac 層に、右肩上部と右脚付け根の突起のみ欠損した中空土偶が、斜面に対しほぼ水平に、頭を東に向け埋められている。(図版番号 270・写真図版 149) 首と胴体、左腕と胴体、左脚と胴体羽 1 ~2 mm 離れていたが土圧による破損と考えられる。頭部、胴体の一部に朱が残っている。この層には大洞 C 2 式(古段階)の土器片が多く含まれているが、土偶の周辺は比較的土器片が少なかった。

3~8 グリッド、III Ac 層より一段上の層(10 YR4/2 灰黄褐色土層)からも中空土偶が出土し、頭部、肩から胸にかけて朱が残っている。左肩の破損部にアスファルトが付着している。(図版番号 271・写真図版 150)

9 柱穴状小ピット

調査区全体から 138 基検出された。大部分は 0~1 グリッドの平坦部から検出され、居住区と捨て場の境目と考えられる。(図版番号第 21~24 図) 柱痕跡の残っているものは少なく、埋土の主体は 10 YR4/2 灰黄褐色土・单層で、第 IV 層で検出されたものが大部分である。直径が 50 cm を超えるものは 2・8・57・140 号柱穴のみで、比較的小規模なものが多く、建物を構成することはできなかったため構築の目的は不明である。

1~13 グリッド周辺の 119~130 号柱穴も、第 IV 層で検出されたが、ほぼ円形の配列から小規模な住居状の建物であった可能性が考えられる。出土遺物、柱穴底の残っているものについては第 21~24 図掲載の一覧表を参照されたい。紙面の都合上、埋土が单層のものについては数値のみ掲載し、断面図は割愛した。

10 捨て場

基本層序でも述べたが調査区の大部分は、繩文時代後期前葉から晩期後葉にかけての「捨て場」であり、北東側の平坦部が居住区であったと考えられる。調査区が、斜面中腹のごく限られた範囲だったため、推測の域を出ないが、平坦部をさみ裏側の斜面(現況は畑)から、また北西側の開田工事の際に大量の土器・石器が出土したことから、「捨て場」は周辺の丘陵一帯に広がっていたと考えられる。

「捨て場」として利用された時期は前述した通りだが、わずかに後期初頭、晩期末葉と見られる土器、土製品が出土している。出土遺物の量から考えると、後期前葉から中葉にかけて、相ノ沢は集落の中心であったが、後葉に入ると集落の移動に伴いここで生活は途絶え、再び晩期前葉にこの地での生活が始まったと推定される。大洞 A'式の墳を最後に人々はこの地を去り、中世に至るまで生活の痕跡は残っていない。「捨て場」は時期によって形成個所が移動しており、後期前葉には調査区中央より北西側に中心があり、次第に中央に移動し、晩期前葉から中葉にかけてはほぼ調査区中央が中心となっている。後葉から末葉の時期には中央より南西側に中心が移動している。「捨て場」の土は斜面上部では 20~30 cm、下部では最も厚い所で 1 m 程堆積している。廃棄の状態は、土器・石器・土製品・石製品が未製品・完成品・破損品と入り交じって出土している。グリッドにより出土量の変化はあるが、廃棄の様相で大きな変化はない。(第 32 図 遺物出土状況参照)

11 土壘

＜位置＞ 1-4～0-5 グリッド

＜検出状況＞ 調査開始時、ゆるやかな逆U字形の起伏が観察され、(調査時の)表土を除いた後、土壘と確認された。土壘は作った当時の表土の上面に、更に表土と地山の土を盛って構築されている。その下部には、III B上層・III B下層に相当すると考えられる混合土層がある。構築当時の表土下部とIII B層下層には、後期の土器片が比較的多く含まれている。

＜形態・規模＞ 高さ 1.22 m (現代の表土を除く)、長さ 3.4 m。

＜小結＞ 調査部分がわずかかなため、全体の規模は不明である。盛り土の高さは、中世の館に付随すると仮定した場合、非常に規模が小さく、構築目的は不明である。

12 溝

＜位置＞ 0-4～1-5 グリッド

＜検出状況＞ 調査開始時、前述の起伏に続くゆるやかな窪みが観察され、土壘の精査進行に伴って溝であることが確認された。溝はIII B上層からIV層を掘り込んで、構築されている。埋土は土壘斜面からの崩落土 (=III B下層か?)、III B上層、構築当時の表土の混合土層と考えられる。

＜形態・規模＞ 深さ 0.71 m、長さ 3.4 m、底部は平坦で、幅 0.57 m。

＜小結＞ 調査部分がわずかかなため、全体の規模は不明である。溝の深さは、中世の館に付随すると仮定した場合、非常に規模が小さく、構築目的は不明である。

13 道路状造構

＜位置＞ 2-13 グリッド (第7図遺構位置図参照)

＜検出状況＞ 調査開始時、斜面が人為的に切り出され段差を形成している。(写真図版2・切り出された段)

＜形態・規模＞ 長さ約 10 m、幅約 5 m で道路状を呈する。

＜小結＞ 2-13 グリッド、2-13 東西ベルトの1～5層が、中世末頃に盛られたものと考えられるが、その時期にここで切り出された土である可能性がある。構築目的は不明だが形態から命名した。

14 炭窯

＜位置＞ 1-3 グリッド

＜検出状況＞ 調査開始時、わずかな窪みが観察され精査進行に伴って、炭窯であることが確認された。

＜形態・規模＞ 2.5 × (2.2) m、深さ 0.41 m の隅丸方形。

＜小結＞ 伏焼という種類の炭窯で、家庭用の炭を焼くことは少なく、鍛冶用の炭を焼くことが多い。中～下部から検出された炭化材は栗が大部分で、火力の調節が必要な鍛冶に適した材が選ばれている。炭化材は横一方向に置かれている。似た方法で穴焼があるが、材を複数な方向に特徴がある。時代は明治以前と考えられるが、伏焼自体は昭和初期まで続けられた。

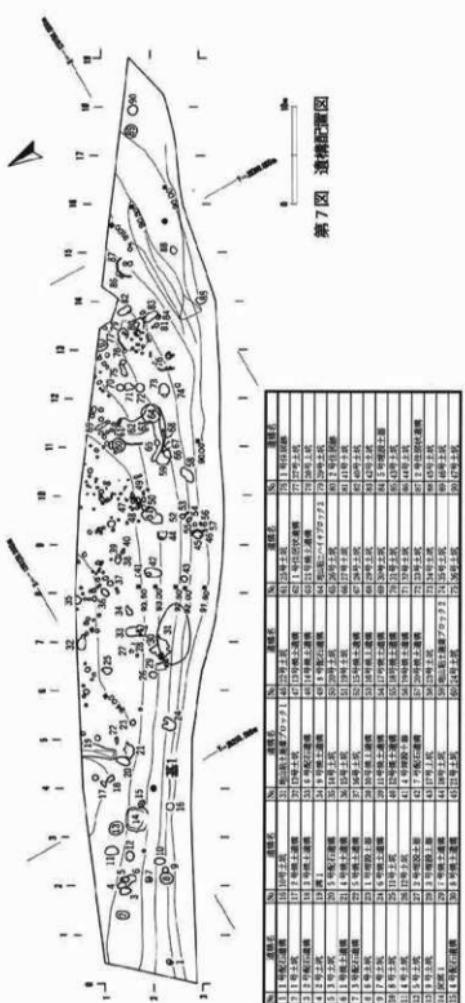
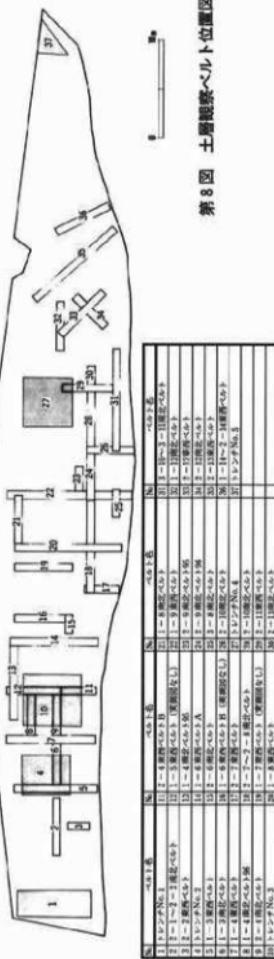
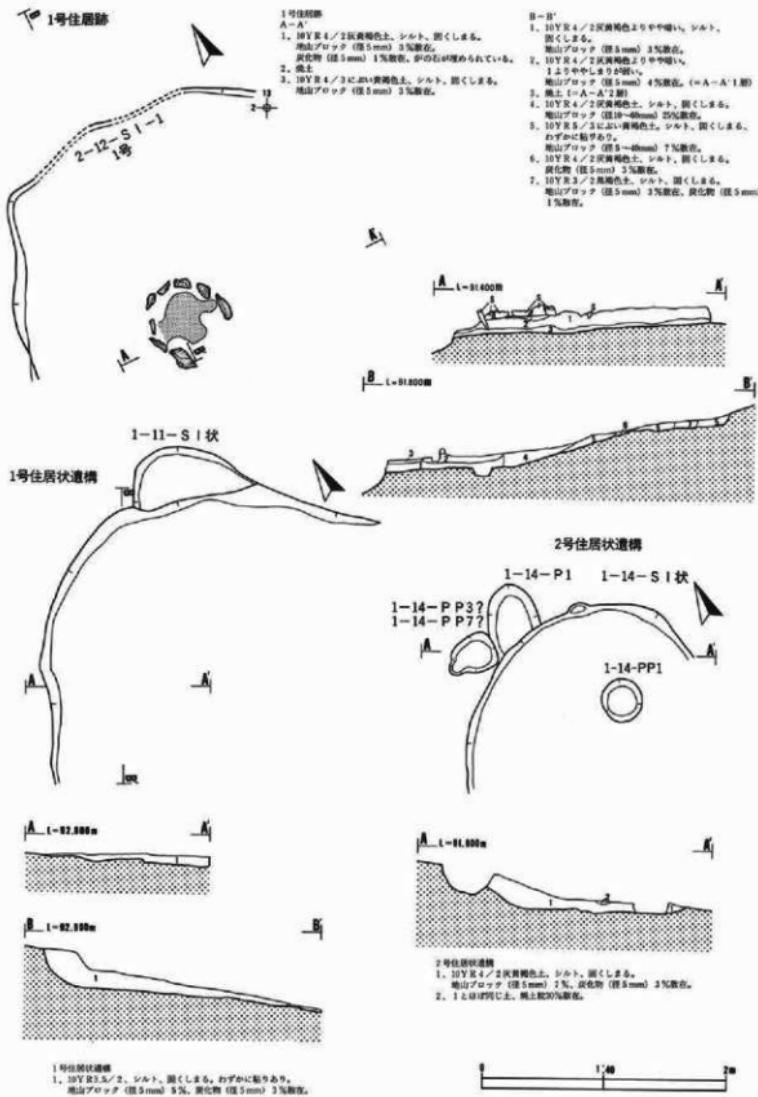


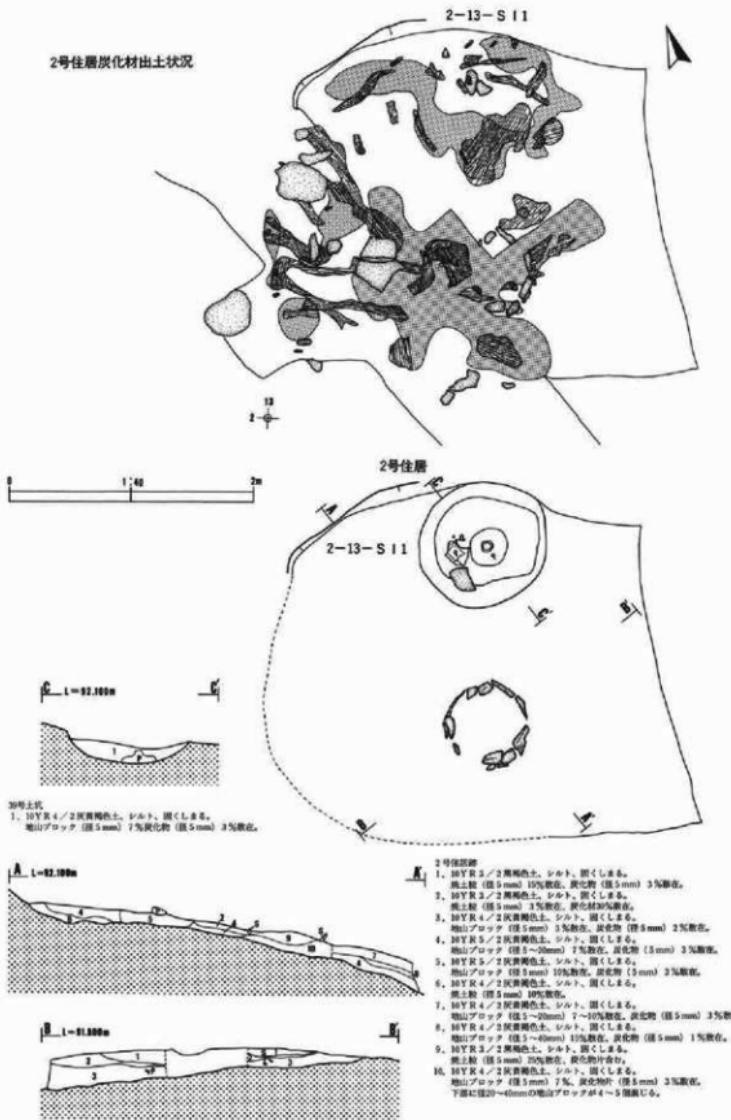
圖 7 道標



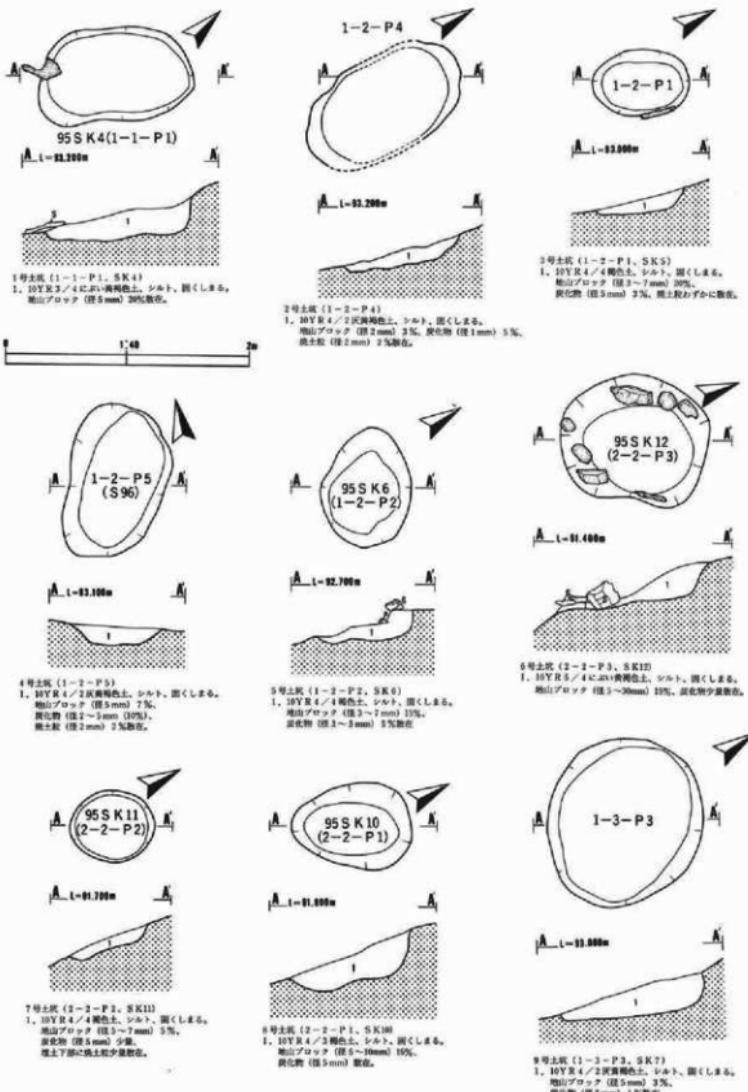
第38圖 土壘構造部上位圖



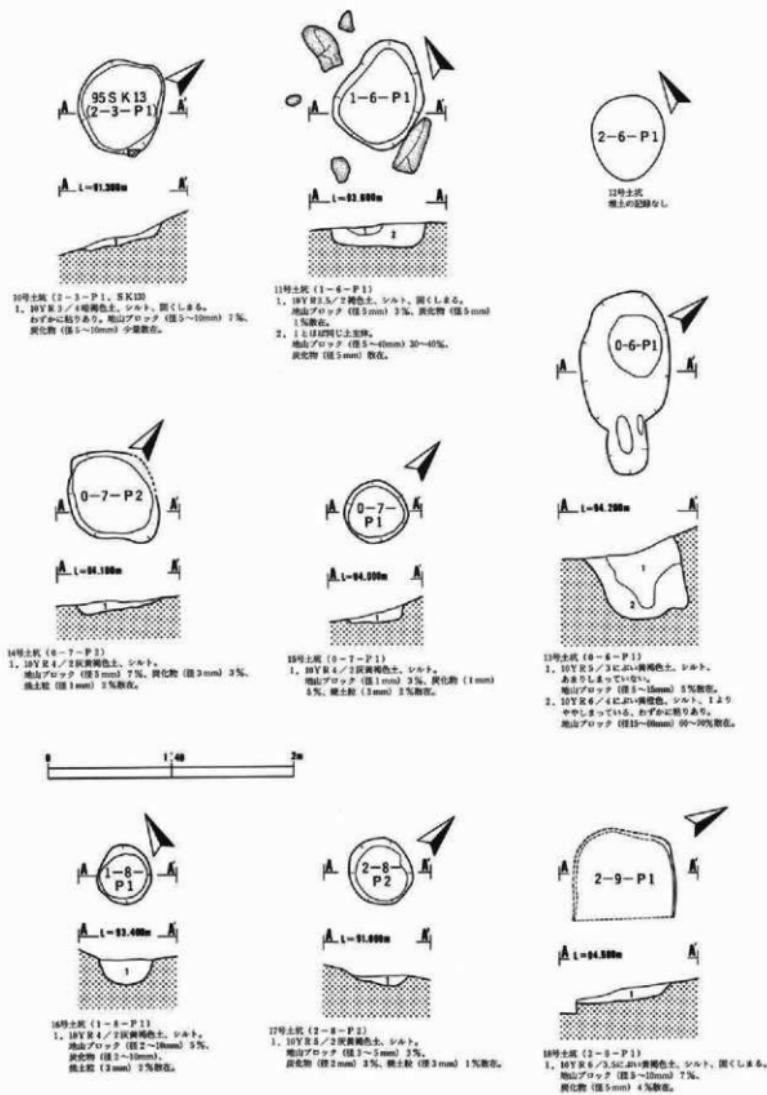
第9図 1号住居跡、1・2号住居状遺構



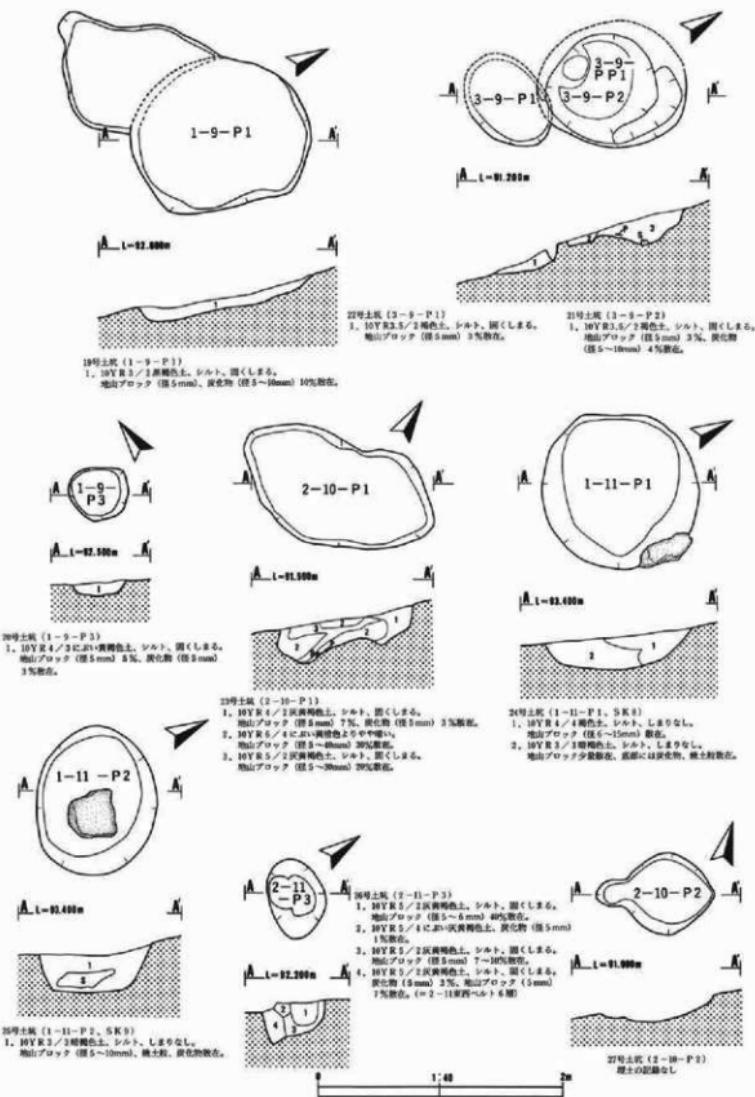
第10図 2号住居跡、39号土坑



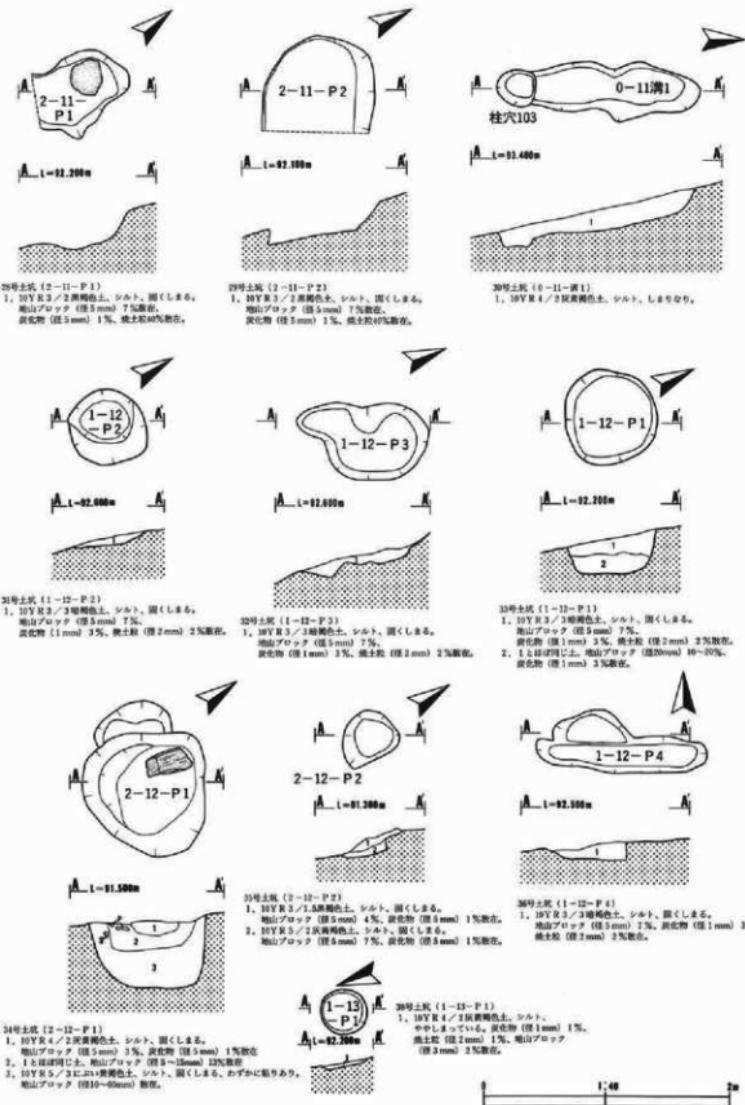
第11図 1号～9号土坑



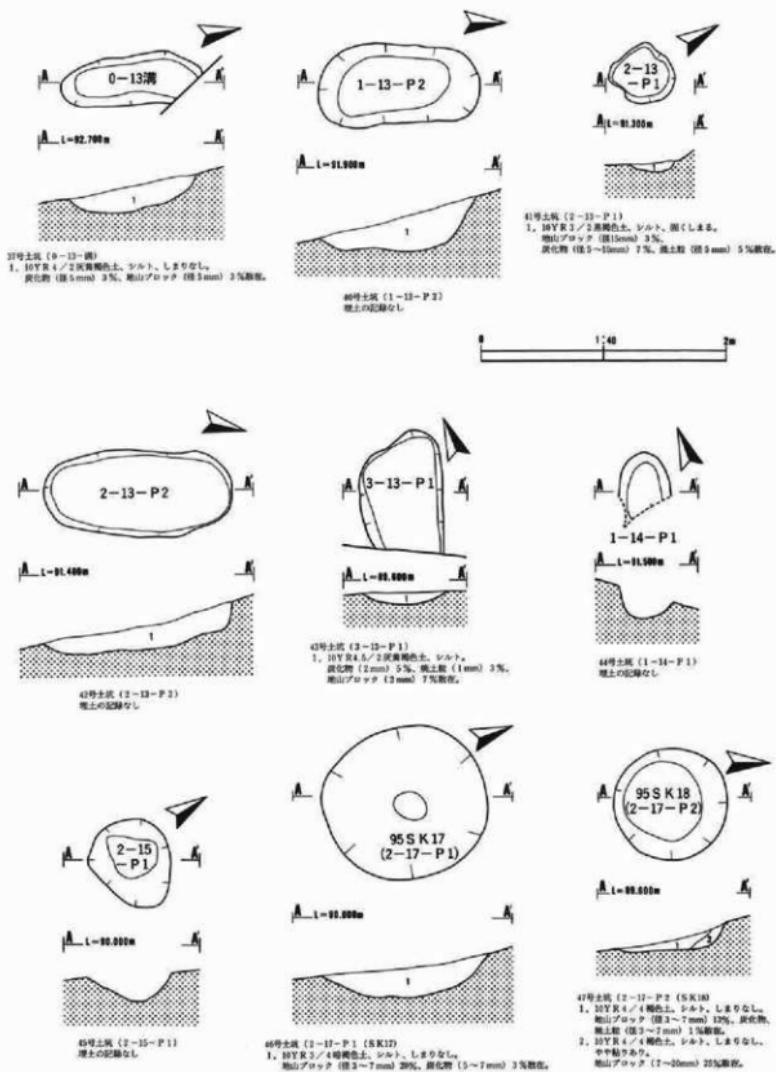
第12図 10号～18号土坑



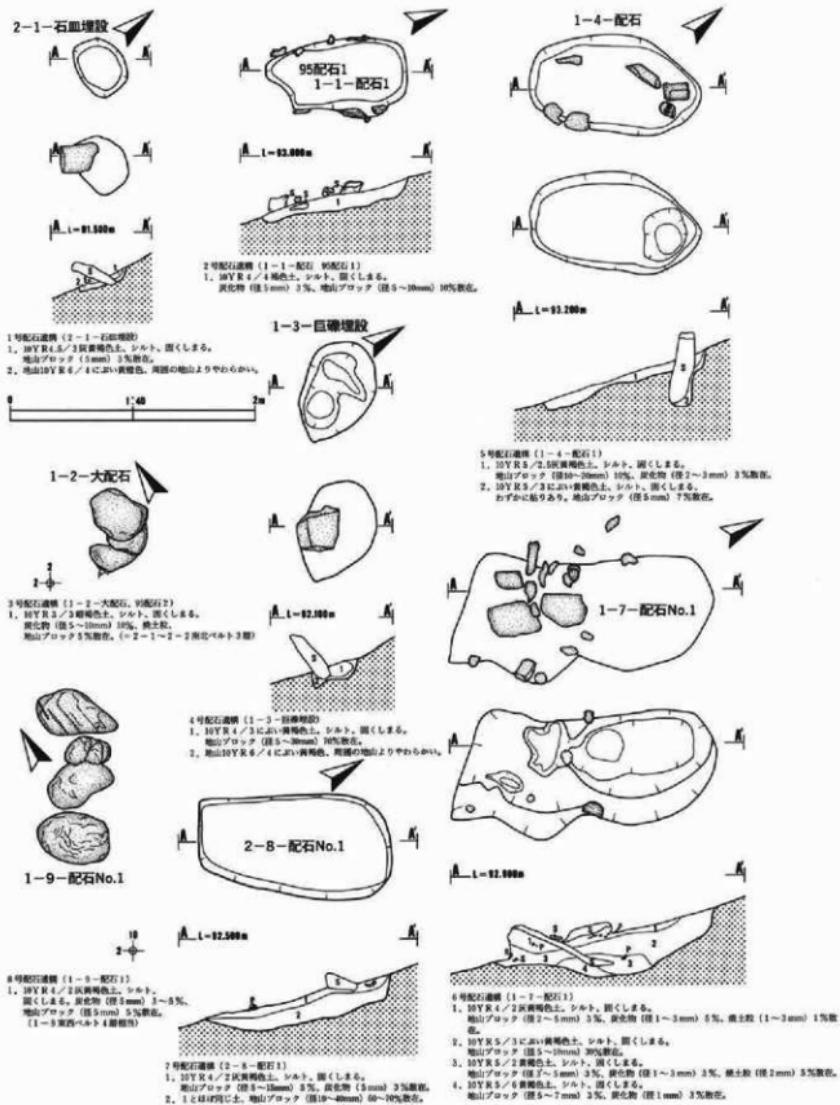
第13図 19号～27号土坑



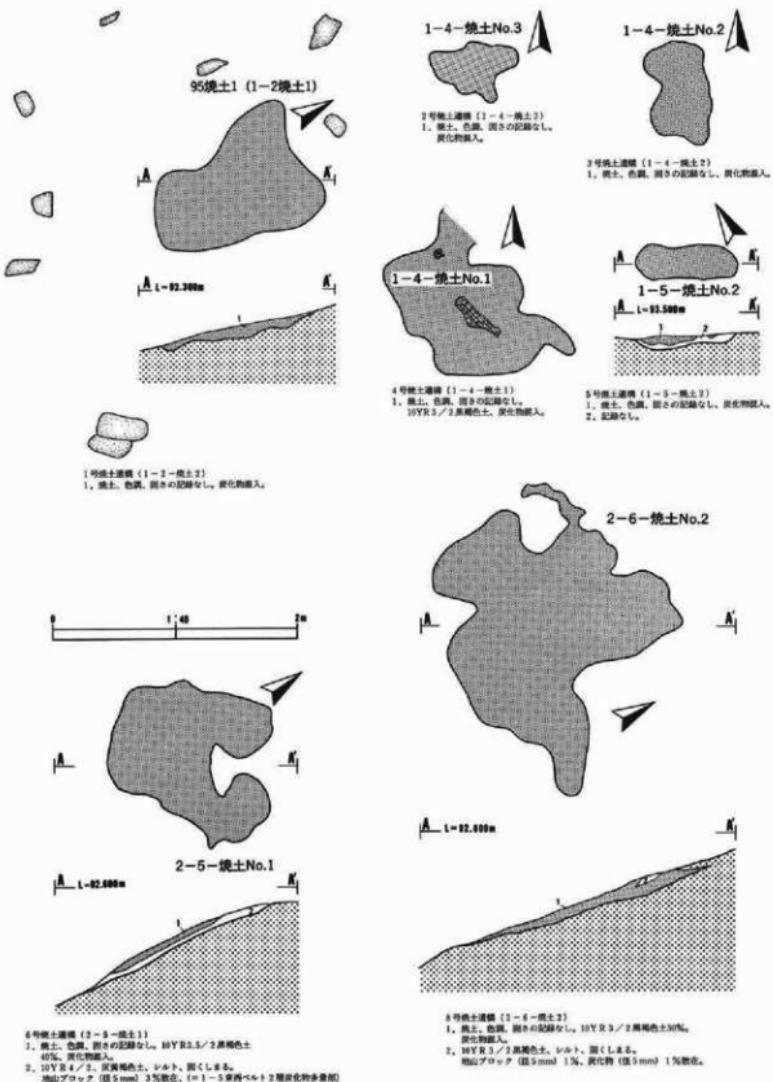
第14図 28号～36号、38号土坑



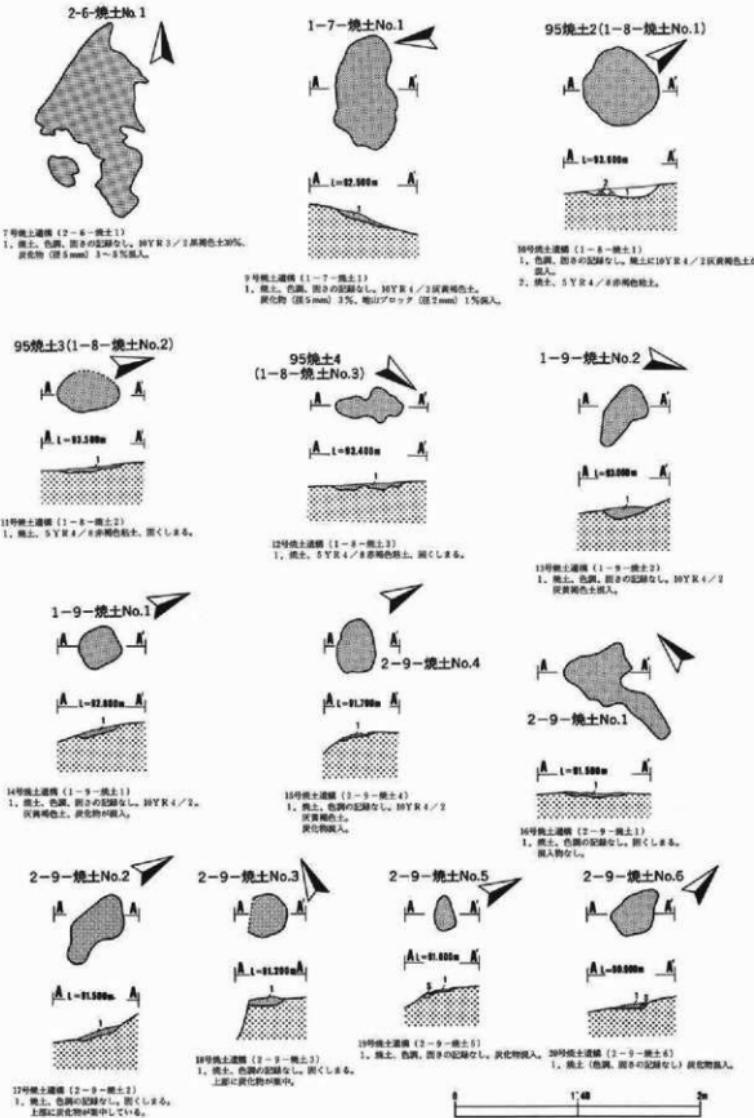
第15図 37号、40号～47号土坑



第16図 1号～8号配石遺構



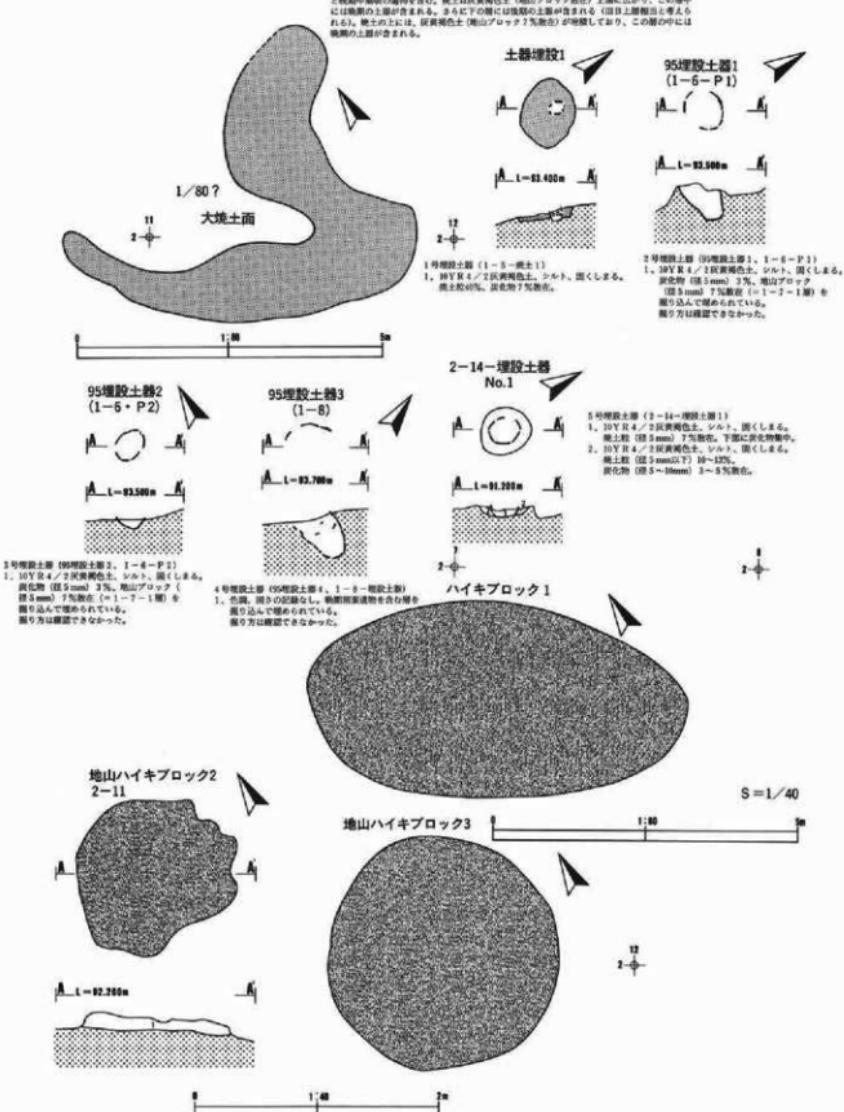
第17図 1号～6号、8号焼土構造



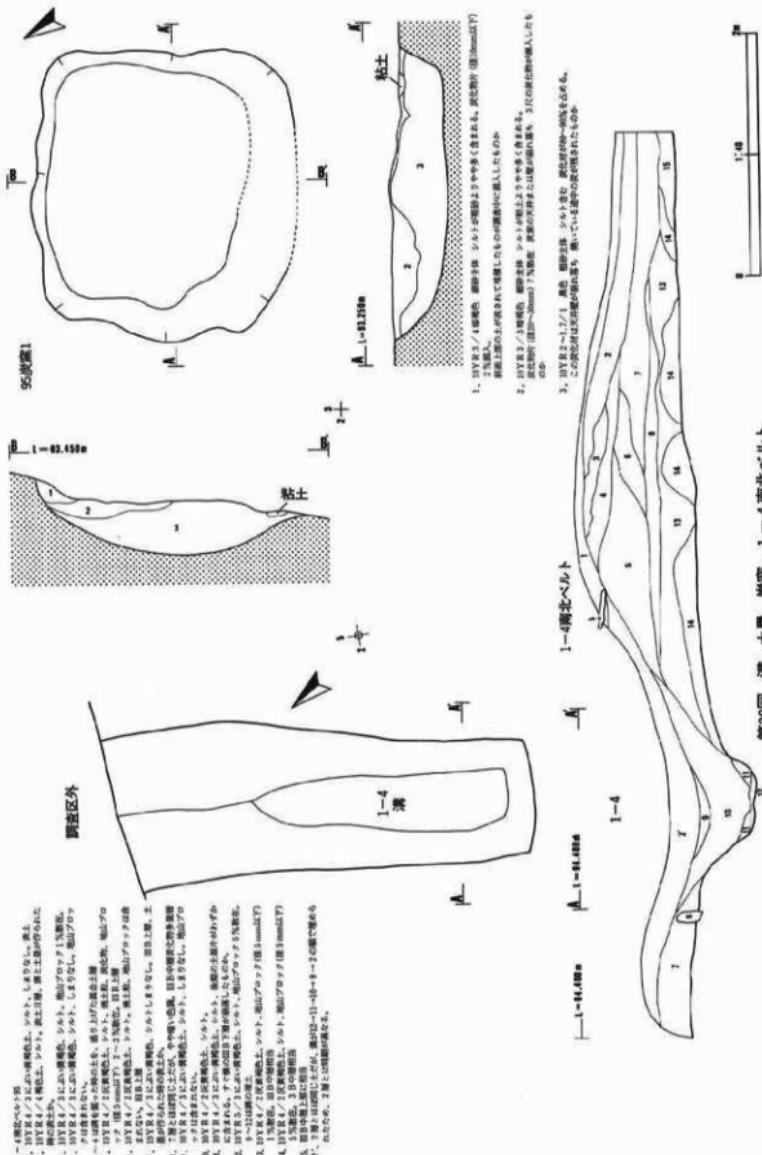
第18図 7号、9号～20号焼土遺構

財政部主導標：(3 = 11 = 本標主函、新標主函)

21号工区（「11-1」大斜坡工区, 2008年5月）
1. 色調の記述なし。
主に岩手川右岸3.2km地帯土色（シルト、頭くしまる、地山ブロッカ（厚さ5mm）7%、黒土（厚さ3mm）1%未満）が4000m²程度。（ヨコ=1.5~東西=0.5）
平面形は、不規則形状の褐色土色の塊から風化層と見られる。黒土の厚さは3cmほどで北側と東側に崩落の跡を含む。黒土は黄褐色土色（地山ブロッカが薄）上面は広がり、この傾斜には崩落の跡が含まれる。
3.0m下の層には強度の弱い層がある（頂上より層序を考慮すると）、この層には
炭化物と見られる。
炭化物土色（地山ブロッカ2%強度）が埋蔵しており、この層の中には
炭化物と見られる。

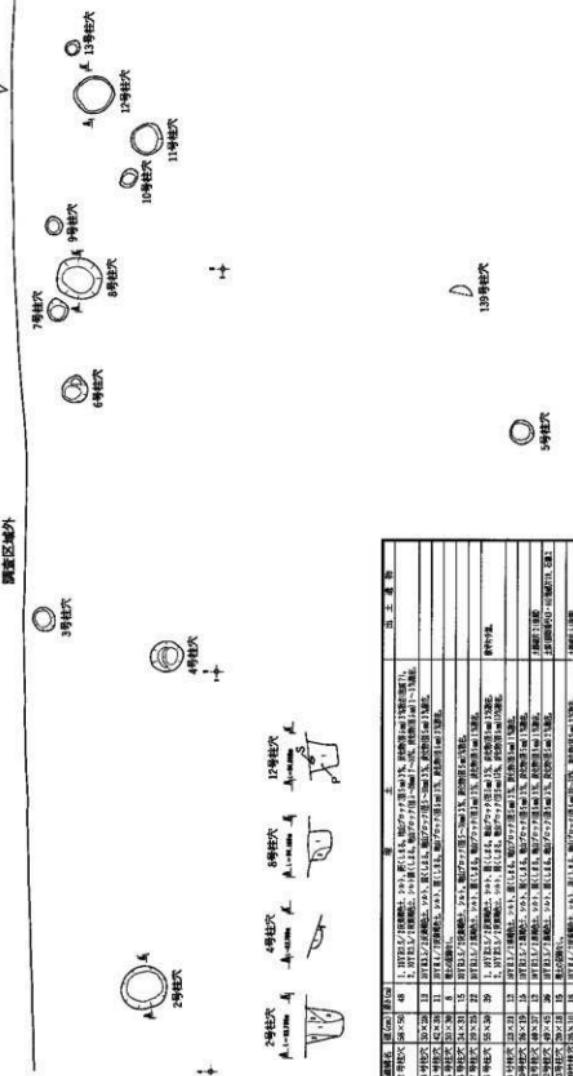


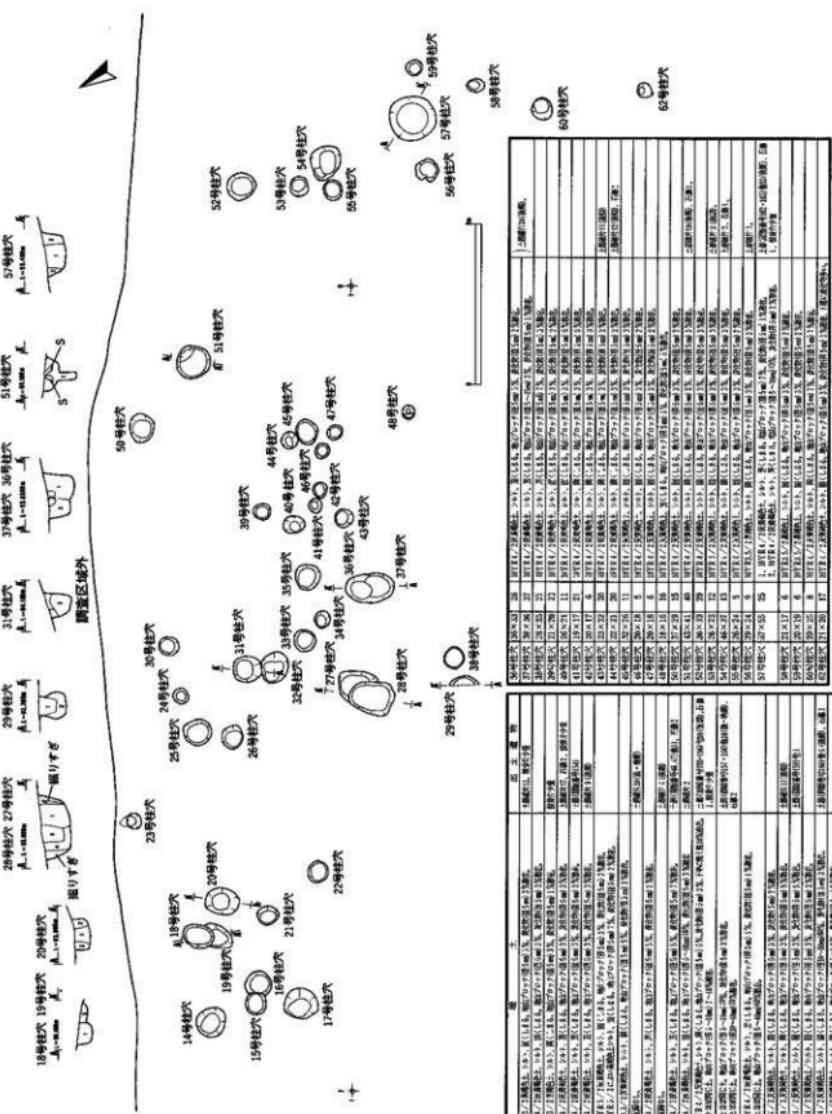
第19図 21号焼土遺構 1量～5量埋設土器 1量地山ハイキブロック



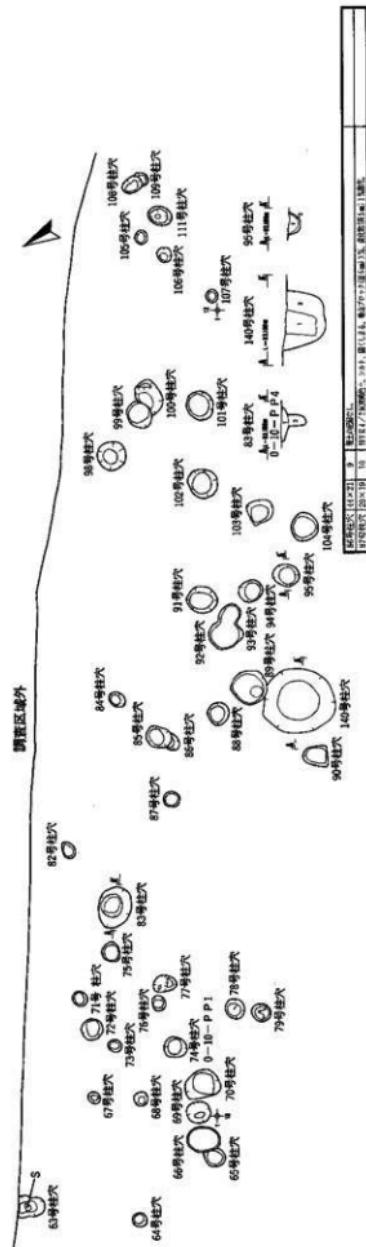
第20図 溝、土壌、炭窯、1-4南北ベルト

第21図 柱穴配図図1



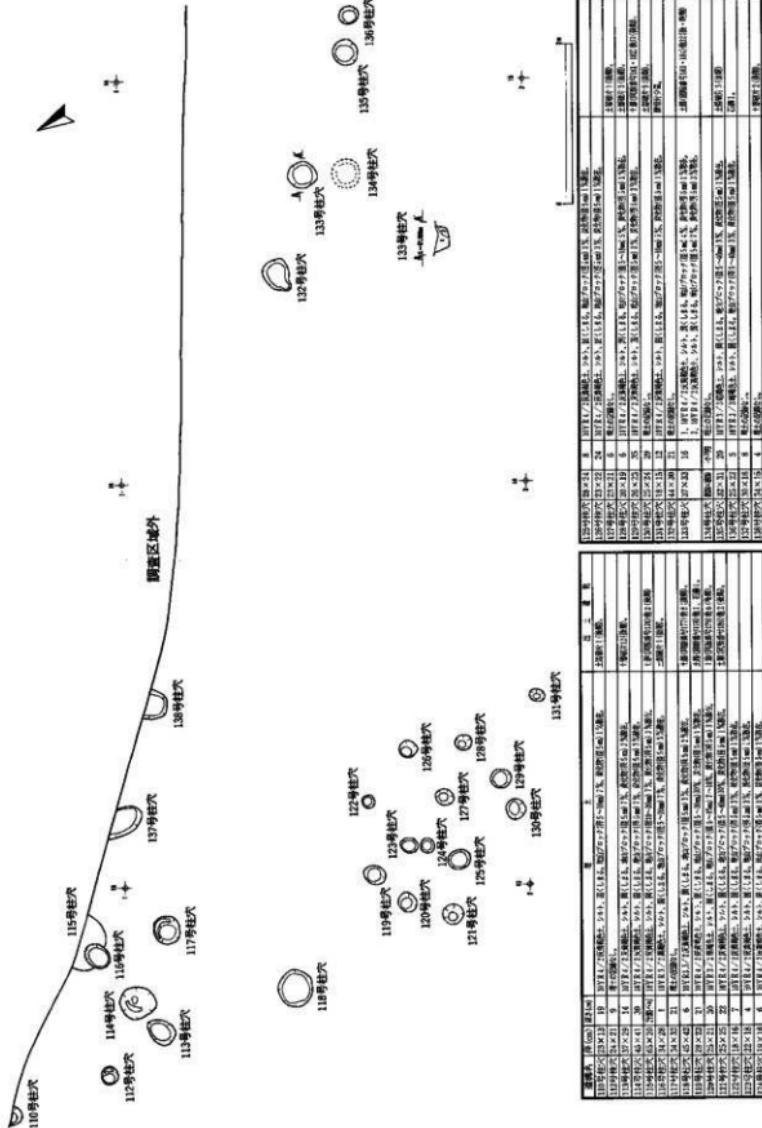


第22回 柱穴配置図 2



— 53 —

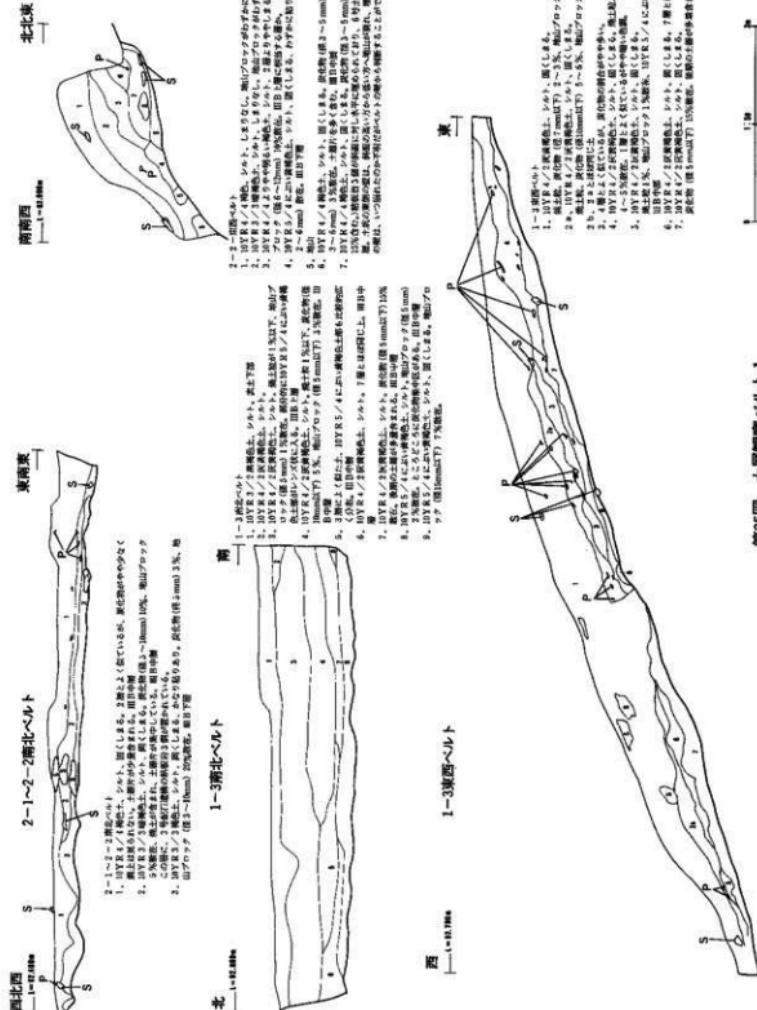
柱穴配置図 3

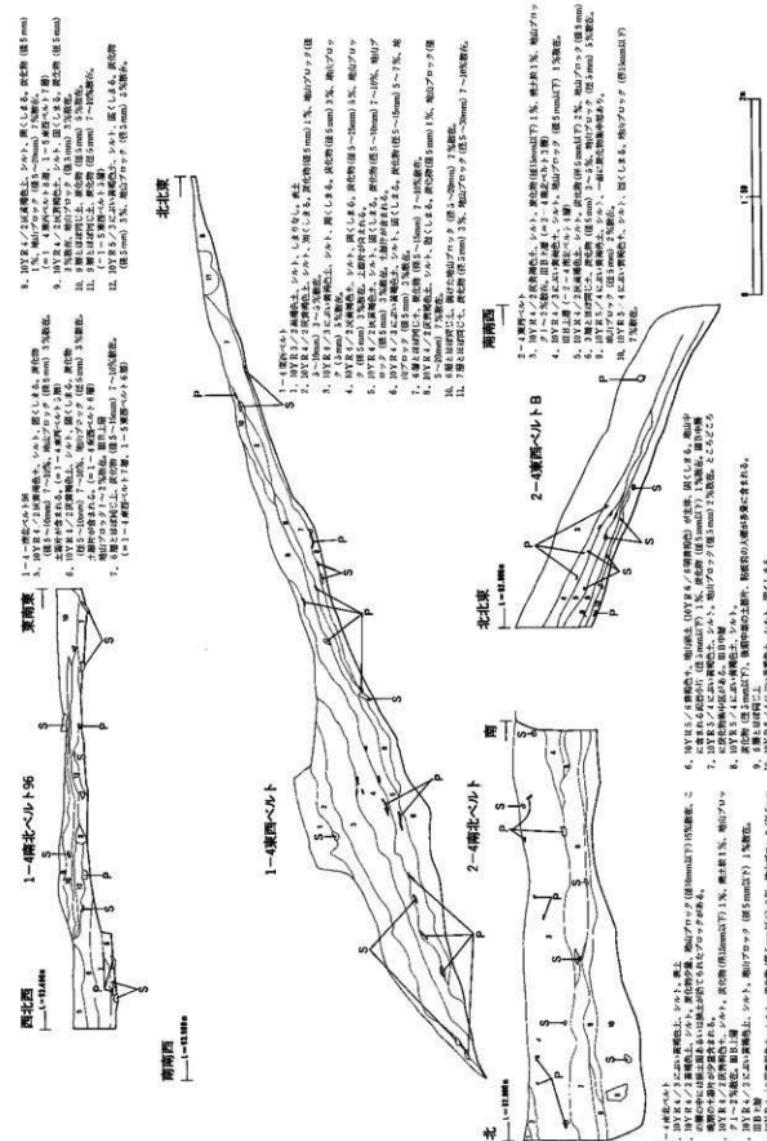


第24图 杜穴配图 4

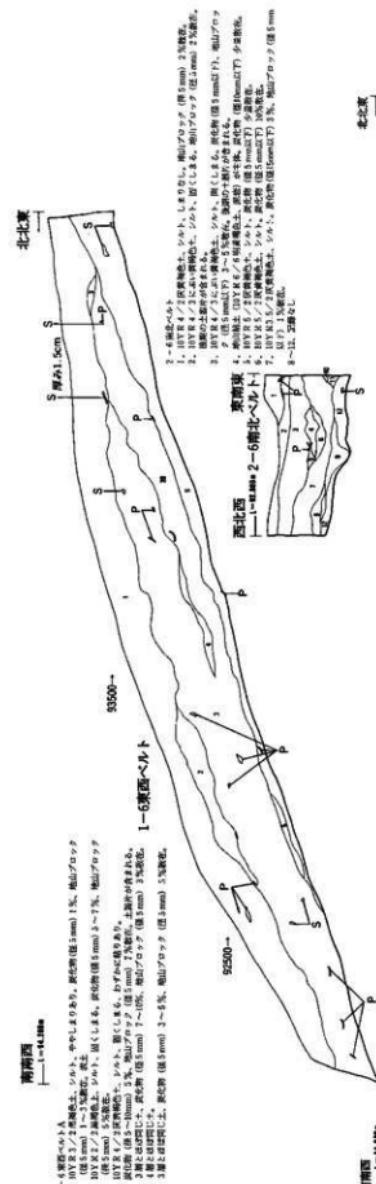
1:1000

第25図 土層範囲ベルト



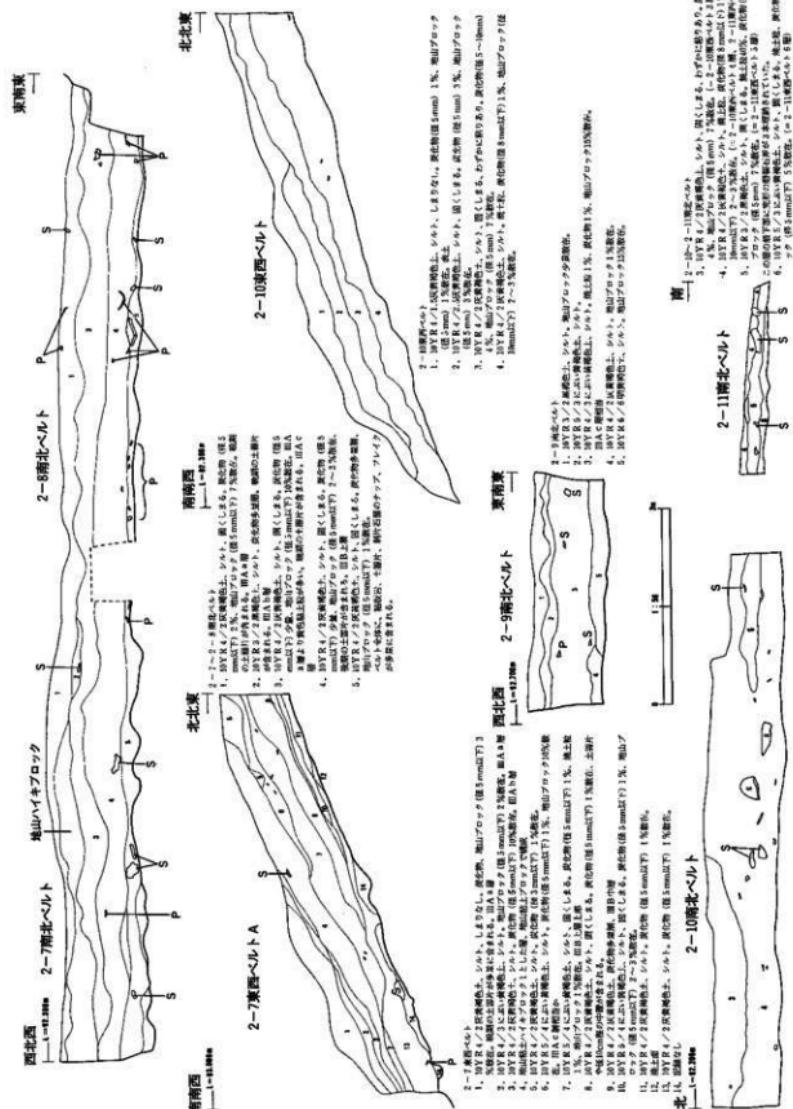


第26図 土壌継続ベルト 2



第27図 土層観察ベルト3

第28図 土壌網状ベルト4



南北西
— 1-11東西ベルト

2-111東西ベルト

北北東
— 1-11南北ベルト

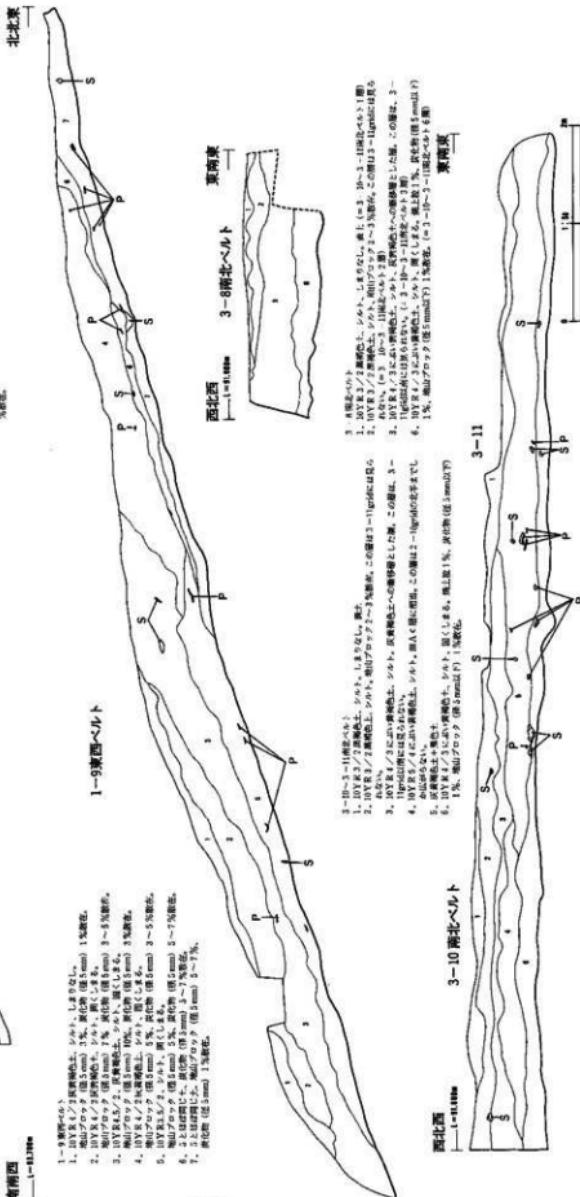
- 1-DYR 3/2/2(風成砂上、シルト、風化土) 1-3%。
- 2-DYR 3/2/2(風成砂上、シルト、風化土) 3-4%。
- 3-DYR 4/5/2(風成砂上) 7%。
- 4-DYR 7/7/2(風成砂上) 10%。
- 5-DYR 8/5/2(風成砂上) 10%。
- 6-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 7-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。
- 8-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 9-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。
- 10-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 11-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。

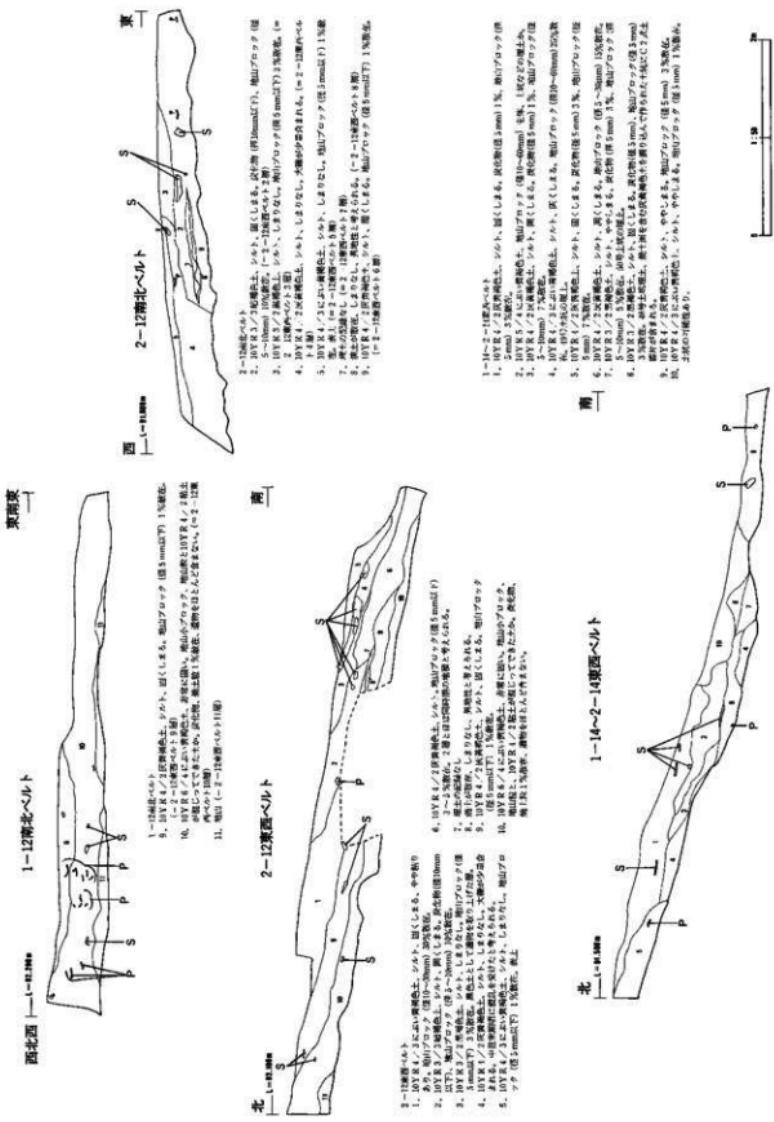
南北西
— 1-11南北ベルト

- 1-DYR 3/2/2(風成砂上、シルト、風化土) 1-3%。
- 2-DYR 3/2/2(風成砂上、シルト、風化土) 3-4%。
- 3-DYR 4/5/2(風成砂上) 7%。
- 4-DYR 7/7/2(風成砂上) 10%。
- 5-DYR 8/5/2(風成砂上) 10%。
- 6-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 7-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。
- 8-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 9-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。
- 10-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 11-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。

1-9東西ベルト
— 1-11南北ベルト

- 1-DYR 3/2/2(風成砂上、シルト、風化土) 1-3%。
- 2-DYR 3/2/2(風成砂上、シルト、風化土) 3-4%。
- 3-DYR 4/5/2(風成砂上) 7%。
- 4-DYR 7/7/2(風成砂上) 10%。
- 5-DYR 8/5/2(風成砂上) 10%。
- 6-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 7-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。
- 8-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 9-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。
- 10-DYR 7/7/2(風成砂上) 5%。
- 11-DYR 8/5/2(風成砂上) 5%。

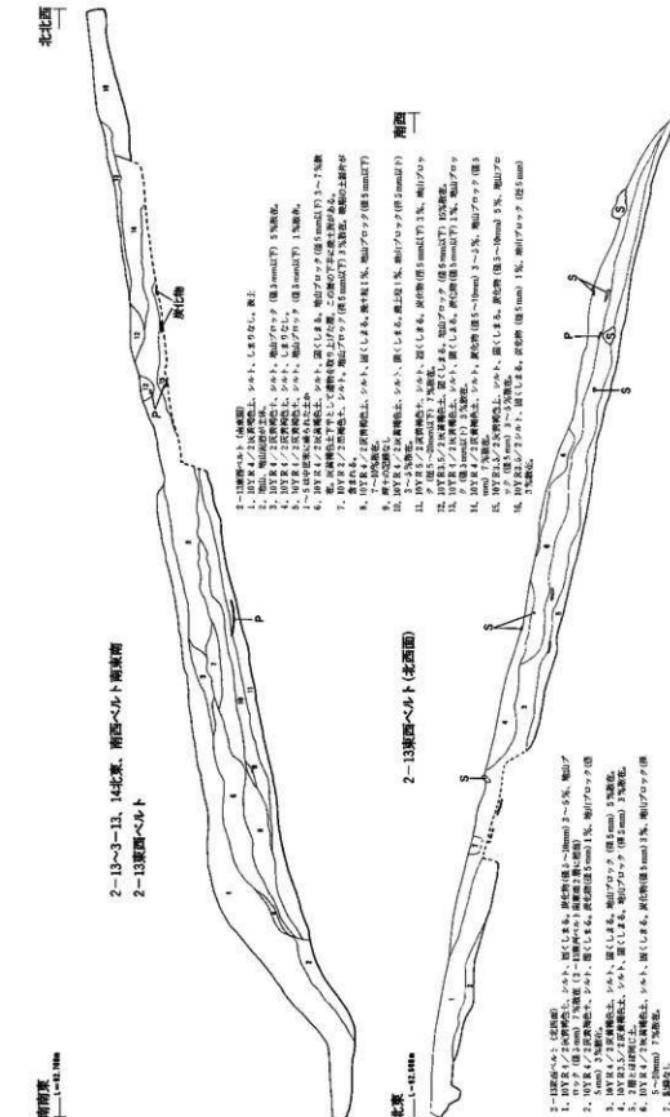




第30図 土層観察ベルト6

北北西
—→

第31図 土壌観察ベルト7



第2表 遺構名変更一覧 No.1

旧 遺 構 名	新 遺 構 名	旧 遺 構 名	新 遺 構 名
2-12-SI1	1号住居跡	1-12-P3	32号土坑
2-13-SI1	2号住居跡	1-12-P1	33号土坑
1-11-SI 状	1号住居状遺構	2-12-P1	34号土坑
1-14-SI 状	2号住居状遺構	2-12-P2	35号土坑
1-1-P1	1号土坑	1-12-P4	36号土坑
1-2-P4	2号土坑	0-13-溝	37号土坑
1-2-P1	3号土坑	1-13-P1	38号土坑
1-2-P5	4号土坑	2-13-SI1-P1	39号土坑
1-2-P2	5号土坑	1-13-P2	40号土坑
2-2-P3	6号土坑	2-13-P1	41号土坑
2-2-P2	7号土坑	2-13-P2	42号土坑
2-2-P1	8号土坑	2-13-P1	43号土坑
1-3-P3	9号土坑	1-14-P1	44号土坑
2-3-P1	10号土坑	2-15-P1	45号土坑
1-6-P1	11号土坑	2-17-P1	46号土坑
2-6-P1	12号土坑	2-17-P2	47号土坑
0-6-P1	13号土坑	2-14-P1	48号土坑
0-7-P2	14号土坑	2-14-P2	49号土坑
0-7-P1	15号土坑	2-14-P3	50号土坑
1-8-P1	16号土坑	2-1-石皿埋設	1号配石遺構
2-8-P2	17号土坑	1-1-配石1	2号配石遺構
2-9-P1	18号土坑	1-2-大配石	3号配石遺構
1-9-P1	19号土坑	1-3-巨礫埋設	4号配石遺構
1-9-P3	20号土坑	1-4-配石No1	5号配石遺構
3-9-P2	21号土坑	1-7-配石No1	6号配石遺構
3-9-P1	22号土坑	2-8-P1	7号配石遺構
2-10-P1	23号土坑	1-9-配石No1	8号配石遺構
1-11-P1	24号土坑	1-2-燒土No1	1号燒土遺構
1-11-P2	25号土坑	1-4-燒土No3	2号燒土遺構
2-11-P3	26号土坑	1-4-燒土No2	3号燒土遺構
2-10-P2	27号土坑	1-4-燒土No1	4号燒土遺構
2-11-P1	28号土坑	1-5-燒土No2	5号燒土遺構
2-11-P2	29号土坑	2-5-燒土No1	6号燒土遺構
0-11-溝1	30号土坑	2-6-燒土No1	7号燒土遺構
1-12-P2	31号土坑	2-6-燒土No2	8号燒土遺構

遺構名変更一覧 No.2

旧 遺 構 名	新 遺 構 名	旧 遺 構 名	新 遺 構 名
1 - 7 - 烧土No 1	9号焼土遺構	1 - 7 - PP6	18号柱穴
1 - 8 - 烧土No 1	10号焼土遺構	1 - 7 - PP7	19号柱穴
1 - 8 - 烧土No 2	11号焼土遺構	0 - 7 - PP6	20号柱穴
1 - 8 - 烧土No 3	12号焼土遺構	0 - 7 - PP2	21号柱穴
1 - 9 - 烧土No 2	13号焼土遺構	1 - 7 - PP1	22号柱穴
1 - 9 - 烧土No 1	14号焼土遺構	0 - 7 - PP4	23号柱穴
2 - 9 - 烧土No 4	15号焼土遺構	0 - 8 - PP8	24号柱穴
2 - 9 - 烧土No 1	16号焼土遺構	0 - 7 - PP1	25号柱穴
2 - 9 - 烧土No 2	17号焼土遺構	0 - 7 - PP7	26号柱穴
2 - 9 - 烧土No 3	18号焼土遺構	1 - 7 - PP2	27号柱穴
2 - 9 - 烧土No 5	19号焼土遺構	1 - 7 - PP3	28号柱穴
2 - 9 - 烧土No 6	20号焼土遺構	1 - 7 - PP4	29号柱穴
大焼土面	21号焼土遺構	0 - 8 - PP6	30号柱穴
1 - 5 - 烧土No 1	1号埋設土器	0 - 8 - PP7	31号柱穴
1 - 6 - P1	2号埋設土器	0 - 8 - PP15	32号柱穴
1 - 6 - P2	3号埋設土器	0 - 8 - PP13	33号柱穴
1 - 8 - 埋設土器	4号埋設土器	0 - 8 - PP14	34号柱穴
2 - 14 - 埋設土器No 1	5号埋設土器	0 - 8 - PP9	35号柱穴
1 - 2 - PP1	1号柱穴	1 - 8 - PP2	36号柱穴
0 - 4 - PP1	2号柱穴	1 - 8 - PP1	37号柱穴
0 - 5 - PP2	3号柱穴	1 - 7 - PP9	38号柱穴
1 - 5 - PP1	4号柱穴	0 - 8 - PP4	39号柱穴
1 - 5 - PP2	5号柱穴	0 - 8 - PP10	40号柱穴
0 - 5 - PP1	6号柱穴	0 - 8 - PP16	41号柱穴
0 - 5 - PP5	7号柱穴	0 - 8 - PP18	42号柱穴
0 - 5 - PP3	8号柱穴	0 - 8 - PP5	43号柱穴
0 - 5 - PP4	9号柱穴	0 - 8 - PP3	44号柱穴
0 - 6 - PP1	10号柱穴	0 - 8 - PP17	45号柱穴
0 - 6 - PP2	11号柱穴	0 - 8 - PP11	46号柱穴
0 - 6 - PP3	12号柱穴	0 - 7 - PP12	47号柱穴
0 - 6 - PP4	13号柱穴	1 - 8 - PP3	48号柱穴
0 - 7 - PP5	14号柱穴	3 - 9 - PP1	49号柱穴
1 - 7 - PP8	15号柱穴	0 - 8 - PP2	50号柱穴
0 - 7 - PP3	16号柱穴	0 - 8 - PP1	51号柱穴
1 - 7 - PP5	17号柱穴	0 - 9 - PP2	52号柱穴

遺構名変更一覧 No.3

旧 遺 構 名	新 遺 構 名	旧 遺 構 名	新 遺 構 名
0-9-PP3	53号柱穴	0-10-PP13	88号柱穴
0-9-PP4	54号柱穴	1-11-PP9	89号柱穴
0-9-PP6	55号柱穴	1-11-PP2	90号柱穴
1-9-PP1	56号柱穴	1-11-PP15	91号柱穴
1-9-PP2	57号柱穴	1-11-PP7	92号柱穴
1-9-PP2	58号柱穴	1-11-PP6	93号柱穴
1-9-PP3	59号柱穴	1-11-PP4	94号柱穴
1-9-PP7	60号柱穴	1-11-PP3	95号柱穴
1-9-PP6	61号柱穴	1-11-PP12	96号柱穴
1-9-PP8	62号柱穴	2-11-PP3	97号柱穴
0-9-PP5	63号柱穴	0-11-PP3	98号柱穴
0-9-PP1	64号柱穴	0-11-PP1	99号柱穴
1-9-PP4	65号柱穴	0-11-PP2	100号柱穴
1-9-PP5	66号柱穴	1-11-PP13	101号柱穴
0-10-PP15	67号柱穴	1-11-PP14	102号柱穴
0-10-PP7	68号柱穴	1-11-PP5	103号柱穴
0-10-PP18	69号柱穴	1-11-PP1	104号柱穴
0-10-PP12	70号柱穴	0-12-PP7	105号柱穴
0-10-PP5	71号柱穴	0-12-PP4	106号柱穴
0-10-PP6	72号柱穴	0-12-PP6	107号柱穴
0-10-PP11	73号柱穴	0-12-PP2	108号柱穴
0-10-PP1	74号柱穴	0-12-PP3	109号柱穴
0-10-PP14	75号柱穴	0-12-PP1	110号柱穴
0-10-PP2	76号柱穴	0-12-PP5	111号柱穴
0-10-PP3	77号柱穴	0-12-PP8	112号柱穴
1-10-PP2	78号柱穴	0-13-PP6	113号柱穴
1-10-PP3	79号柱穴	0-13-PP5	114号柱穴
1-10-PP4	80号柱穴	0-13-PP4	115号柱穴
1-10-PP1	81号柱穴	0-13-PP1	116号柱穴
0-10-PP17	82号柱穴	0-13-PP7	117号柱穴
0-10-PP4	83号柱穴	1-12-PP1	118号柱穴
0-10-PP16	84号柱穴	2-13-PP2	119号柱穴
0-10-PP9	85号柱穴	2-13-PP1	120号柱穴
0-10-PP10	86号柱穴	2-13-PP10	121号柱穴
0-10-PP8	87号柱穴	2-13-PP12	122号柱穴

遺構名変更一覧 No.4

旧 遺 構 名	新 遺 構 名	旧 遺 構 名	新 遺 構 名
2-13-PP8	123号柱穴	2-1~2-2南北ベルト2層	3層
2-13-PP7	124号柱穴	2-1~2-2南北ベルト1層	4層
2-13-PP6	125号柱穴	2-4南北ベルトB表土	1層
2-13-PP11	126号柱穴	2-4南北ベルトB 1層	2層
2-13-PP13	127号柱穴	2-4南北ベルトB 2層	3層
2-13-PP4	128号柱穴	2-4南北ベルトB 3層	4層
2-13-PP3	129号柱穴	2-4南北ベルトB 4層	5層
2-13-PP9	130号柱穴	2-4南北ベルトB 5層	6層
2-13-PP5	131号柱穴	2-4南北ベルトB 6層	7層
1-14-PP4	132号柱穴	2-4南北ベルトB 7層	8層
1-14-PP1	133号柱穴	2-4南北ベルトB 9層	10層
1-14-PP5	134号柱穴	2-12南北ベルトA(96)	1-12-南北ベルト
1-14-PP2	135号柱穴	2-12南北ベルトA(96) 1層	9層
1-14-PP3	136号柱穴	2-12南北ベルトA(96) 2層	10層
0-13-PP2	137号柱穴	2-12南北ベルトA(96) 3層	11層
0-13-PP3	138号柱穴	2-12東西ベルト(95) 1層	2-12南北ベルト5層
1-6-PP1	139号柱穴	2-12東西ベルト(95) 4層	2-12南北ベルト2層
1-11-P1	140号柱穴	2-12東西ベルト(95) 3層	2-12南北ベルト3層
2-13東西ベルト(南東面)		2-12東西ベルト(95) 2層	2-12南北ベルト4層
2-13東西ベルト(南東面)③層	13層	2-12東西ベルト(95) 6層	2-12南北ベルト8層
2-13東西ベルト(南東面)⑤層	12層	2-12東西ベルト(95) 7層	2-12南北ベルト9層
2-13東西ベルト(南東面)⑥層	6層	2-12東西ベルト(95) 5層	2-12南北ベルト7層
2-13東西ベルト(南東面)⑥層	15層	2-12南北ベルトB(96) 1層	2-12南北ベルト2層
2-13東西ベルト(南東面)①層	16層	2-12南北ベルトB(96) 0層	2-12南北ベルト2層
2-13東西ベルト(南東面)⑦⑧層	8層		
2-4南北ベルトB 2層	3層		
2-4南北ベルトB 3層	4層		
2-4南北ベルトB 4層	5層		
2-4南北ベルトB 5層	6層		
2-4南北ベルトB 8層	9層		
2-4南北ベルトB 9層	10層		
2-11東西ベルト9層	8層		
2-1~2-2南北ベルト			
2-1~2-2南北ベルト4層	1層		
2-1~2-2南北ベルト3層	2層		

V 出土遺物

包含層からの出土遺物の総量は、コンテナ（42×32×30 cm）で260箱である。内訳は土器・土製品が220箱、石器・石製品が40箱である。遺構から出土した遺物は少なく、大半は「捨て場」に土とともに廃棄されたものである。遺物量が多く、層位・グリッドごとの正確な出土量の把握はできなかったが、III A・III B層、灰黄褐色土層、黒褐色土層、各ベルトの縄文後期・晚期の層からの出土が多く、表土 I・II 層からの出土は比較的少ない印象がある。また焼土遺構からの出土量は、他の包含層と比較して変化は見られない。

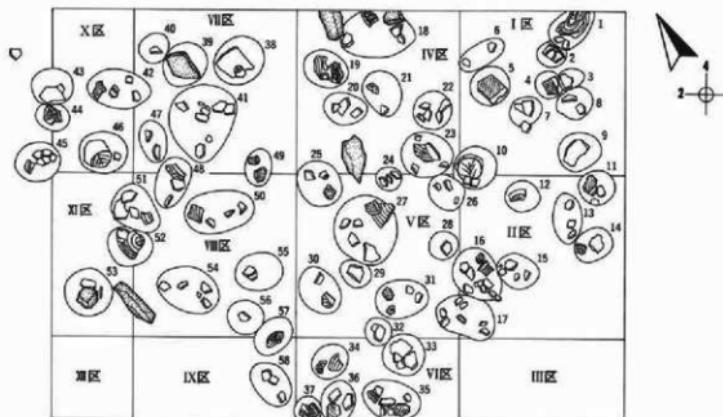
種類には、土器、陶磁器、土製品、石器、石製品、骨角器、古錢、羽口、鉄滓、自然遺物がある。

1. 縄文土器 (第33図～第104図・1～245)

出土総量は約4,400kgで、グリッドごとの出土量は斜面・土偶・円盤状土製品・磨製石斧の出土分布とほぼ一致する。5×5mのグリッドごとに上部・中部・下部等に分けて取り上げた。グリッドによってはA～D区に四分して取り上げた所もある。土層観察用のベルトは上部から1, 2, 3層と分けて取り上げた。掲載にあたっては時期ごとの分類は行わず、遺構内出土、遺構外出土の順とし、1-1→2-1→3-1グリッド→2-1→2-2→2-3と斜面の上部から下部へ、また調査区の北西から南東の順に掲載した。層位は各グリッドとも上層から下層の順に掲載した。

掲載選択の基準は、各層が複数の時期の土器を包含しているため、すべての時期を網羅し、時期ごとの出土量の割合に比例するよう努めた。

器種は深鉢が最も多く、他の同時期の遺跡と大きな変化はない。特徴としては、蓋形土器、注口の出土が比較的多いことである。(注口土器出土分図は、注口部分のみ数えたため実際は151個を上回る)蓋形土器は、対応する鉢等が出土していないこと、煤の付着・熱を受けた痕跡が見られることから現代の蓋と同様に使用されたのか疑問が残る。



第32図 遺物出土状況

底部資料（2407～2453）は、網代痕・木葉痕の模様の代表的なものを掲載した。人為的な穿孔の痕があるもの、周辺を打ち欠き、木の葉型の製品？を作ろうとしたもの、数種類の葉・網代を利用したもの、砂底の可能性があるものを選択した。網代痕と木葉痕の出土の割合は、第3表の繩文土器底部資料グリッド別文様比較を参照されたい。

後期初頭から前葉にかけての土器は、岩手県大迫町の立石遺跡の第III群土器に類似し、後期中葉の土器は同IV類に類似するが、当遺跡では、蓋付壺の出土は見られなかった。東北北部の形式では、十腰内I～III群に比定される。

晩期の土器は大洞BC～A'式すべての土器が出土している。土器の大部分は破損後に廃棄されたらしく、実測した土器も完全に復元できたものは少なく、個体の1/3程度にとどまるものが大部分であった。残りの部分は、調査区外に広がる「捨て場」に廃棄されたと考えられる。この様相は、他の土偶、石器、石製品にも共通である。

土器の保存状況は、県南の同時期の遺跡と同様に、表裏・欠け口の磨滅がひどく接合に苦心した。焼土遺構から出土したものの中には、比較的保存状態の良いものが見られた。

2. 土製品（第185図～第208図・1～352）

土製品には土偶、円盤状土製品、土版、錐状土製品、耳飾り、腕輪状土製品、スプーン状土製品、土鏡、土面等がある。出土量の多い土偶、円盤状土製品をまとめ、その他の土製品については一括して述べる。

土偶（第191～第208図・146～352）

遺構から1点、包含層から205点が出土している。時期的には後期の土偶と晩期の土偶に分けられる。完形品は1点もなく、197、230、270、271、286、320、339、340の8点は中空土偶で、270、271には、ほぼ全体に朱が付着している。147、198、225、228、233、256、261、271、287、296、299、306、327、333の14点には、破損部分にアスファルトによる補修の痕が残っている。立像ではない土偶は160、181、203、261、298、329？、352の6点で座った姿勢で腕を組んでいる可能性がある。160には焼成時に何かに載せたのか、正方形と推定される痕が残っている。また、160、176、245、270、301には成形時か焼成時に固定するためか、股間に串刺し状の穴が見られる。190、225、239、262、282、313、318には髪を結った状態が、185、282、313には、刺青あるいは化粧？の様子が表現されており、興味深い。181、249、348は衣服を表現した可能性がある。

円盤状土製品（第185図～第186図・1～65）

包含層から266点が出土している。いずれも土器破片の周辺を、打ち欠くか研磨して製作されている。時期的には、後期のものと晩期のものがあり、晩期のものが全体に薄手である。中央部に穿孔されているものは20点あり、残存状態の良いものの計測値は、長径が最大7.3cm、最小2.2cm、平均4.20cm、重量が最大61.54g、最小が2.29g、平均15.35g、厚さが最大1.2cm、最小が0.4cm、平均が0.66cmである。

この他の土製品（第187図～第190図・66～145）

上記以外の土製品を一括した。66～74が錐状土製品で70、72、73には沈線、71には刺突で文様が施されている。75～81は腕輪状土製品で77には斜行縦文がわずかに残っている。

82~83 は土版で沈線と刺突による文様が施され、2 点とも穿孔がある。84~90 は使途不明の製品である。84 は皮袋のミニチュアか。85 は石斧を模した土製品と考えられ、斜行繩文が施されている。

86 はクルミ大の製品で全体に亀裂が入っている。88 はボタン状の製品でうずまき状の文様が施されている。89~91 は環状土製品で 89 には沈線と刺突、90 には沈線で文様が施されている。

92~94 はスプーン状土製品と考えられるが、柄の部分は失われている。95~96 は使途不明の製品で、2 点とも一端が破損している。

97 は土面で眉・鼻梁・眼窓は隆起・沈線で表現されている。98 は人面付土器（注口土器か？）の一部である可能性がある。

99~101 はイノシシ型の土製品で 100 は口から肛門まで貫通孔がある。101 は中空になっており、先の 2 点とは異なる製品である可能性が高い。102~104 は土玉で形態は微妙に異なる。

105~128 は耳飾りで 105、120、123、126、127、128 以外は貫通孔がある。106、107、112、121、124、125 には朱が付着している。117 には三叉文、123 には刺突、127 には沈線で文様が施されている。129~144 は土鍤で 131、133、134、136、140、145 には円形の貫通孔が、144 には U 字形の貫通孔がある。網に固定するための溝は一字、十文字の 2 種類があるが、用途あるいは時期の差によるものであろうか。後述するが、石鍤が 4 点・コイ科魚類の骨・オオザメの歯が出土しており、イノシシ・シカの狩猟の他、北上川や周辺の沼での漁労生活が想定される。

3. 石器・石製品（第 143 図～第 184 図・1～404、1～100）

出土した石器・石製品の総量は（42×32×30 cm）で 40 箱、総数は 10,000 点を超える。（これらは使用痕の認められない剝片、破損や風化の激しい礫石器等を除いた点数である）整理期間の都合で、一部の不定形石器等は登録しなかったため、実際の石器の出土数はさらに増える。10,000 点余りの登録の中で、定形石器として石鍤、石錐、石匙、尖頭器に分け、これら以外の剝片石器は不定形石器として扱った。また全面が加工成形された石器は異形石器として分類した。礫石器、石核石器は形態、使用痕によって磨製石斧、打製石斧（石鎌）、磨石、敲石、凹石、抉入石器、砥石、石皿等に分類した。

掲載の選択基準は、各器種を形態により分類し、代表的なもの、より完形に近いものを 405 点掲載した。器種別の出土数は、石鍤 8071 点、石錐 810 点、石匙 138 点、尖頭器 3 点、削撃器 199 点、石斧 257 点（磨製石斧 167 点・打製石斧・石鍤 43 点）、異形石器 2 点、U フレイク 3 点、不定形石器 2 点、砥石 30 点、磨石 295 点、敲石 145 点、凹石 126 点が出土している。なお、破損品が多く全体の形状が不明なものが多い石棒、石劍、石刀は一括して石棒・石劍類とした。

石鍤（第 143 図～148 図・1～208）

総数 8071 点が出土しており、全石器中の割合は 77 % で最も多い。茎の有無と基部の形状から分類可能な 5896 点について 8 種類に細分した。出土数は 1 類が 1787 点、2 類が 307 点、3 類が 800 点、4 類が 878 点、5 類が 1398 点、6 類が 405 点、7 類が 28 点、8 類が 298 点である。

1 類は、凹基無茎鍤で a～e に細分した。1 a は抉りが円形で・全長の 1/2 を超える深さのもの、1 b は抉りが円形・全長の 1/2 前後のもの、1 c は抉りが円形・ごくわずかのもの、1 d は抉りが V 字・全長の 1/2 前後のもの、1 e は抉りがごくわずかで直線状のもの。

2 類は、平基無茎鍤で、a～c に細分した。2 a は基部が画鋭角的なもの、2 b は丸みを帯びたもの、2 c

は形状が2等辺三角形状のもの。

3類は、凹基有茎鐵で、a～bに細分した。3aは形状が正三角形状のもの、3bは二等辺三角形状のもの。

4類は、平基有茎鐵で、a～bに細分した。4aは形状が正三角形状のもの、4bは二等辺三角形状のもの。

5類は、凸基有茎鐵で、a～bに細分した。5aは形状が正三角形状のもの、5bは二等辺三角形状のもの。

6類は、凸基無茎鐵で、菱形を呈する。

7類は、凸基無茎鐵で、鉤錐形を呈する。

8類は、円基鐵である。

石錐（第148図～第150図・215～264）

総数810点が出土しており、3種類に細分した。

1類はつまみの作りがはっきりしたもの。

2類はつかみの作りがはっきりしないもの。

3類は両端が錐として利用されているもの。いずれも剥片を利用製作されたものである。

異形石器（第148図・208～214）

総数6点が出土しており、全点を掲載した。210は特殊な石錐の可能性を考えられる。212～214は嘴状石器と呼ばれているが、削撃器の一種なのか用途は不明である。

削撃器（第150図～第151図・266～276）

総数199点が出土しているが、削器と撃器の細分は行わなかった。石器の全周、あるいは2辺に刃部が形成され、つまみのないものを削撃器として分類した。265～272、275刃全周に加工が見られる。

265は法量が突出しており、形態も他と異なることから石槍とする方が、妥当かもしれない。

石匙（第151図～第154図・277～306）

総数138点が出土しており、形状から3種類に細分した。出土数は1類が41点、2類が49点、3類が9点である。

1類は形状が横長のもの。

2類は形状が縦長のもの。

3類は形状が縦横同寸に近いもの。

抉入石器（第154図・307～309）

総数3点が出土している。抉りの部分は断面図からわかるように、摩耗して丸みを帯びている。

石棒・石剣・石刀等の研磨に使用された可能性がある。

磨製石斧（第155図～第156図・310～337）

総数167点が出土している。

完形品は、埋納されたと考えられる 310～312 のみで、他は使用による破損が見られる。破損後に再加工されているもの（316）、凹石のように再利用されているもの（318、324、330）が見られる。また 328 は未製品である可能性が高い。

333～337 は小型の石斧でのみのような用途を持っていた、あるいは祭祀に使用された可能性がある。

打製石斧・石鎌（第 157～159 図・338～352）

三昧線の撥形、あるいは括れを持つ長方形の石器である。土掘りに使用された石器と捉え、加工痕の少ないもの（350、351）もここに分類した。大部分は木の枝等に固定し使用されたと考えられるが、345 は両端に刃部の加工があり、手で直接持つて使用した可能性がある。出土したものの中大部分に使用による破損が見られるが、実用品と考えられる。352 は刃部の成形が不十分で、法量が突出していることから祭祀などに使用された可能性がある。表土から III A 層の出土が多い。

凹石・磨石・敲石（第 160～第 165 図・353～385）

自然礫を利用して、植物や顔料などを「擦る、敲く、潰す」等の機能を持った石器である。使用痕によって機能分類されるが、ひとつの石器が複数の機能を有する場合が多く、正確な分類はできなかった。使用による磨滅や破損に応じて、転用されることがしばしばあったと考えられる。

総数は 566 点が出土しているが、残存部のわずかなものは登録しなかったため、実際の使用数はさらに多かったと推定される。

364 には、植物の汁？と推定される変色の痕が、380 には火熱を受けた痕が、384 には朱の付着が見られる。また 372、377 に類似した大きさ、擦り・敲き痕のある石器が多数出土し、同様の大きさ・石質で未使用的礫が、調査区に相当数持ち込まれていたことから、特定の使用目的があった可能性がある。

石皿（第 166 図～第 172 図・387～400）

5 号配石遺構から出土した 387 以外は、すべて包含層からの出土で総数 88 点を数える。打製石斧同様表土から III A 層の出土が多い。形態による分類は行っていないが、縁・脚の作り出しがはっきりしたもの、火熱を受けたもの等特徴のあるものを掲載した。完形品は 1 点もない。390、395 は黒色の部分の部位から、破損後に火熱を受けたと推定される。397 は出土した中で唯一使用面が中高のものである。

砥石（第 172 図～173 図・399～404）

総数は 30 点が出土しているが、使用痕が比較的、太い溝状になっているもの、細い線状のものに 2 分され、各々数点を掲載した。砥石としての用途が異なっていたと推定される。太い溝状のものは磨製石斧等に使用されたのだろうか。

石製品（第 174 図～184 図・1～100）

石製品には、硬玉・垂飾品・抉状耳飾り・有孔石製品・岩板・石錐・独鉛石形石製品、その他使途不明の石製品、石棒・石劍・石刀がある。硬玉は 1-1、1-2、2-1 グリッドからまとめて出土しており、墓壙の副葬品であったものが、遺構の上部崩壊によって、包含層中に流出した可能性が考えられる。1～10 に破損はほとんど見られない。

18は抉状の耳飾りの未製品と考えられる。11～32(12、20、21は除く)は有孔石製品で、12、20、21と合わせ菱形品である可能性が高い。23、25、28は穿孔の途中で放棄されたものかも知れない。32は石錐である可能性がある。33～38は岩板で、線刻により文様が施されている。33は、ほぼ完形品だが、34～38は破損している。34には黒色付着物が見られる。40～43は石錐で、43以外には黒色付着物が見られる。網に固定した旗と考えられる。39、44～48、50～55は使途不明の製品である。44～48(46は除く)は自然縫に鋭い、あるいはゆるやかな切り込みを入れたもので、46は研磨により円盤状に加工している。49は小型の石棒類か？50、51は舌状を呈する製品で51は、側面に溝が掘られている。51は釘状を呈するが使途は不明である。52は独鉛石形石製品で、両端が破損している。54は完形品で、3本の線刻が施されている。55は下半に磨石状の使用痕があり、特殊磨石に分類した。56～58は他の石棒類とは、形態が異なるため特殊石器として分類した。59～64は、総数25が出土している。いずれも周辺を打ち欠き、中には研磨したものも見られる。65～100は石棒類で、67、70がほぼ完形の他は、すべて破損している。敲打と研磨により、成形され刀身(72、77、97)、柄(88、100)に線刻を施したものが見られる。

4. 獣骨(第184図・1～4)

骨角器が4点出土している。すべてが破損しているため、使途は不明だが、1は種名・部位は不明で装飾品の可能性がある。2～4は環状の製品の一部らしく、内側に加工痕が見られる。2はイノシシの右大腿骨、3～4は鹿角を使用している。獣骨の出土量は約3,300gでグリッド・層位による出土量の大きな差は見られない。資料のすべてに熱を受けた痕跡が見られる。出土した種名・部位は、イノシシ、タヌキ？の骨、シカの骨・角、種不明の鳥類の骨、コイ科の魚類の骨、アオザメの歯(写真図版158)、大型哺乳類の環椎(写真図版158)等である。同定可能な資料は96点あったが、イノシシが58点を占め、中でも骨が未ゆ合の状態にある幼獣が多いのが特徴である。

5. 炭化物(図版・写真図版なし)

調査区のほぼ全域から炭化物が出土している。出土状況は、土器・石器・焼土・廃棄された土に混じって出土しており、特に偏りは見られない。日常の炉の使用や土器製作時にできたものが、廃棄されたと考えられる。樹種が判明したものはクリが大部分を占め、ナラ、スギ、雜木が多少検出されている。また、1～2、2～2、1～3のIII B中層には、針葉樹(節を含む)が集中している。

焼失住居(2号住居跡)の炭化材については、前述したとおり大部分をナラが占めている。

6. 水晶(写真図版158)

目立った加工痕は見られないが、水晶の結晶が5点出土している。産地は特定できなかったが、垂飾り品等の加工を目的に、搬入されたと推定される。写真はすべて原寸である。

7. 焼粘土塊(写真図版156)

総数303点、総重量1627.75gが出土している。形態は不整形な塊状のものが大部分だが、2、6、10、13、14は板状を呈し、2には縞目？、6には板状のものと推定される圧痕が見られる。使途は不明だが、住居の床・壁に使用された可能性も考えられる。全体に土器・土製品より焼成が弱いのが特徴である。

8. アスファルト付き土器（写真図版 157）

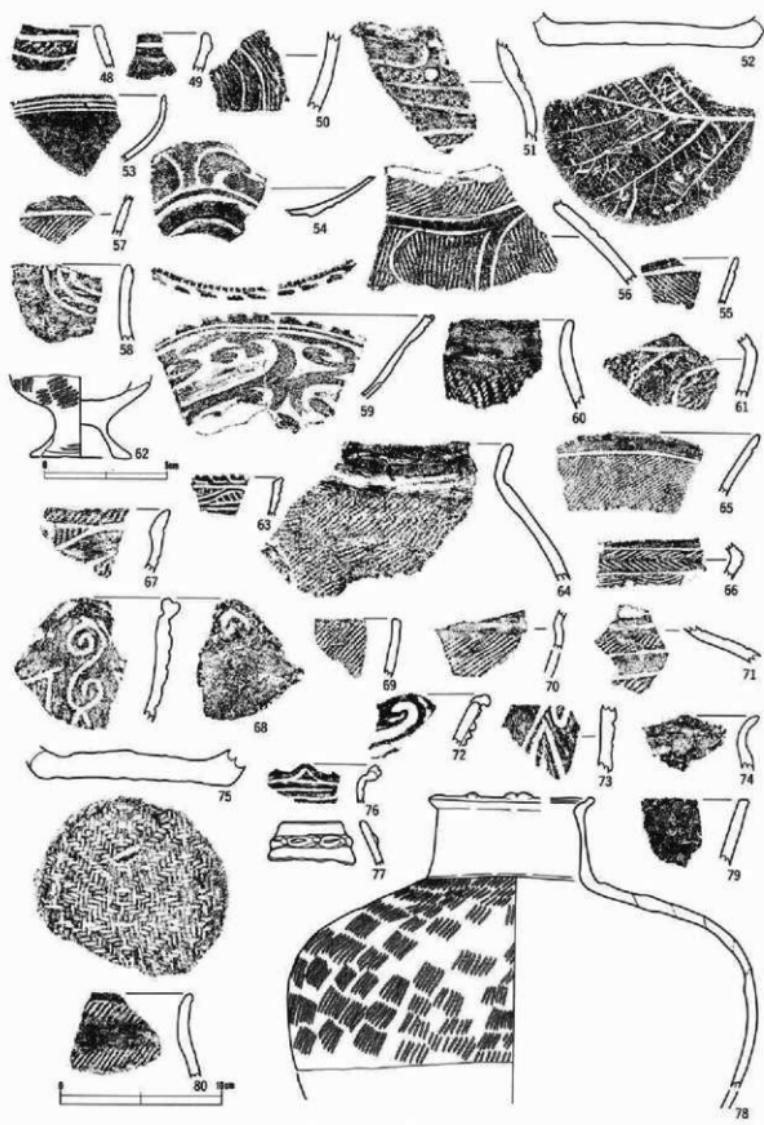
1-8 グリッド、3 B.上層からアスファルト入りの土器（図版番号 1370）が出土しているが、土器と接する面に、草葉の痕が見られた。植物の種類は特定できなかったが、アスファルトの採集・保管・輸送との関わりが興味深い。当遺跡でも土偶・石鉄等に利用されているが、18~20 は破損した土器を、パレット？のように利用している様子がうかがわれる。

9. 繩文時代以外の遺物（第 209 図・1~8）

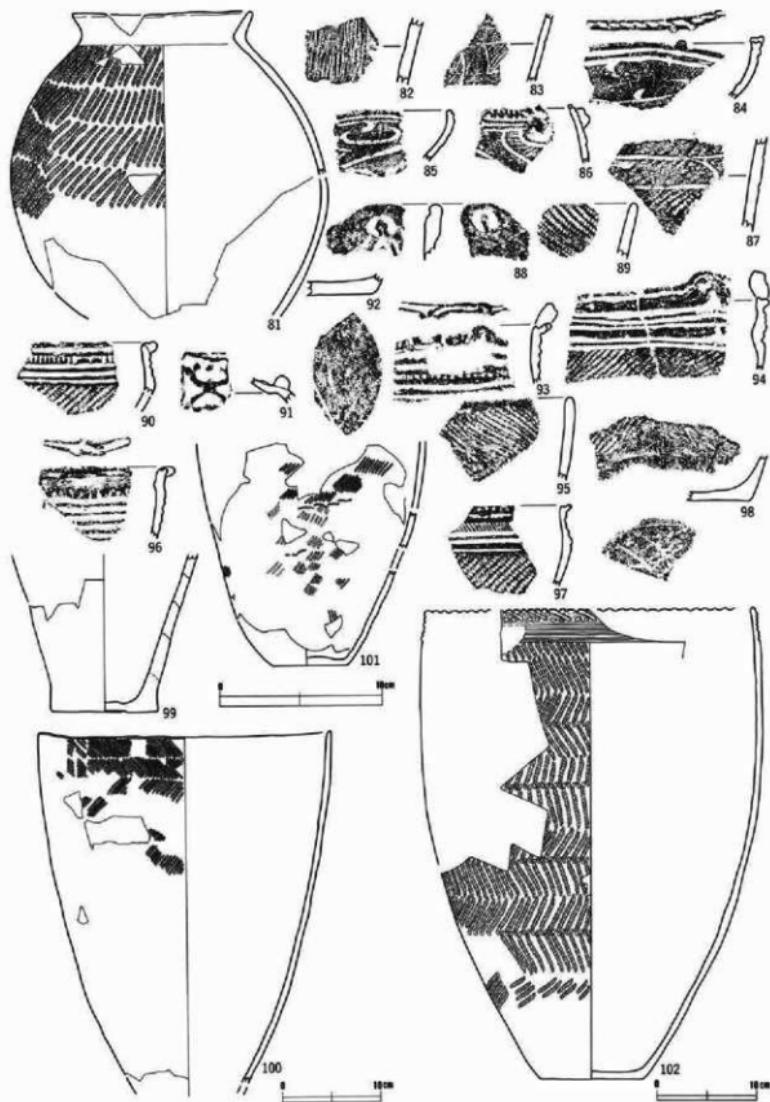
1 の石臼の残存は 1/6 弱、上臼の部分で穀物等の供給口を持つ。下部の「ふくみ」の傾きは、ゆるやかで時代は中世～近代と考えられる。2 は青磁の碗で、15 世紀頃流通していたものと考えられる。3 は羽口で、時期は不明である。4 は鋳型？で部分的なハネと被熱が見られ、製作炉・鍛冶炉の羽口を支える石材か。鍛冶炉の場合はまれに炉体にも石材をはさむ例がある。出土した羽口が鍛冶用とすれば、その可能性が高い。砂岩で砂の目があるため、金床石等には向かない。5 は鉄滓で詳細は不明である。6 は永楽通宝、7 は洪武通宝、8 は開元通宝で、いずれも中世～江戸初期に流通していたものである。



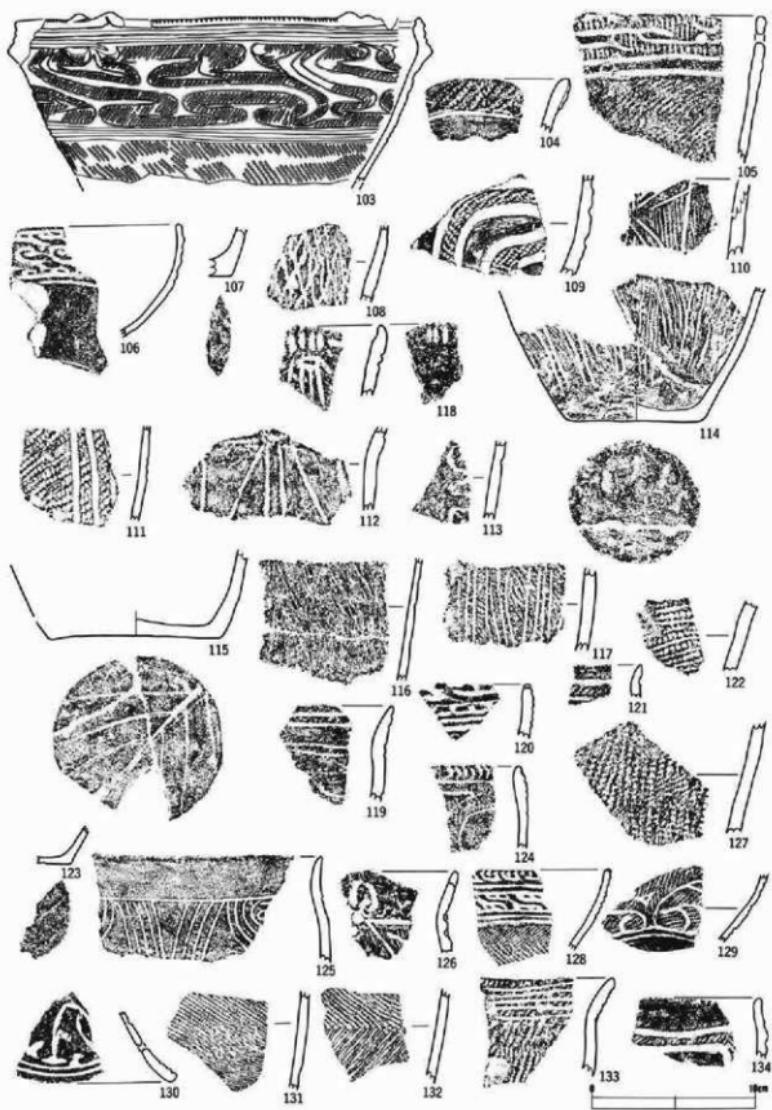
第33図 遺構内出土遺物土器 1



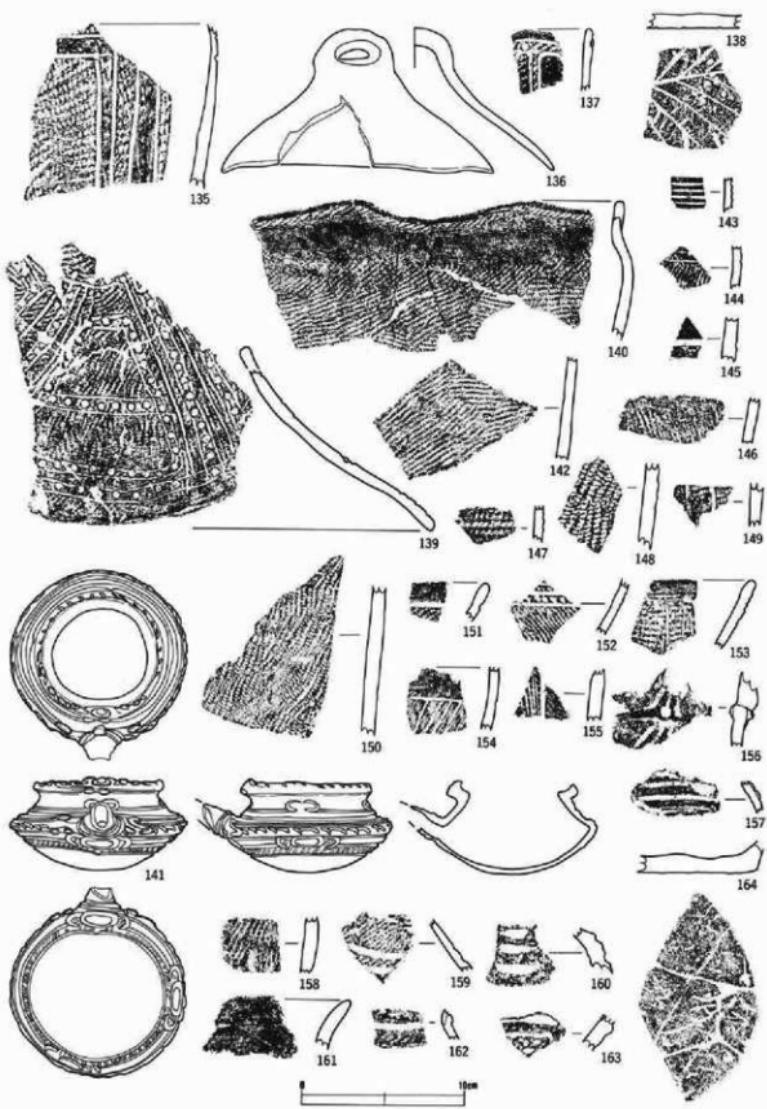
第34図 遺構内出土遺物土器 2



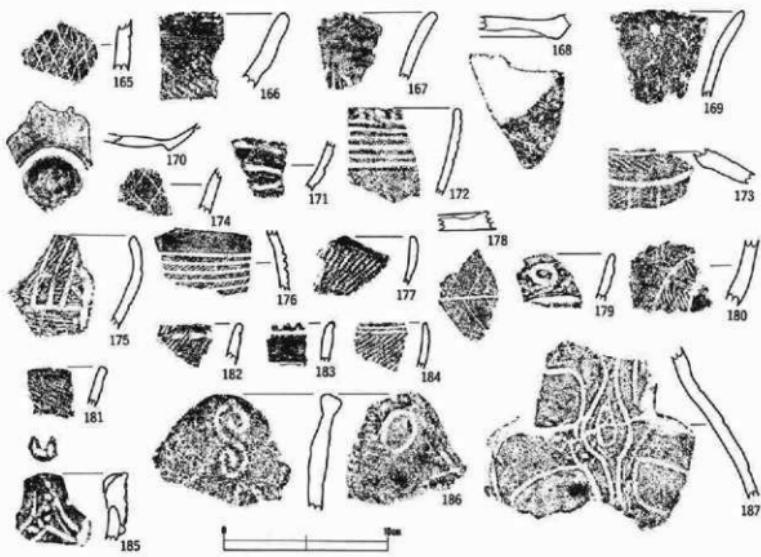
第35図 遺構内出土遺物土器 3



第36図 遺構内出土遺物土器 4



第37図 遺構内出土遺物土器5



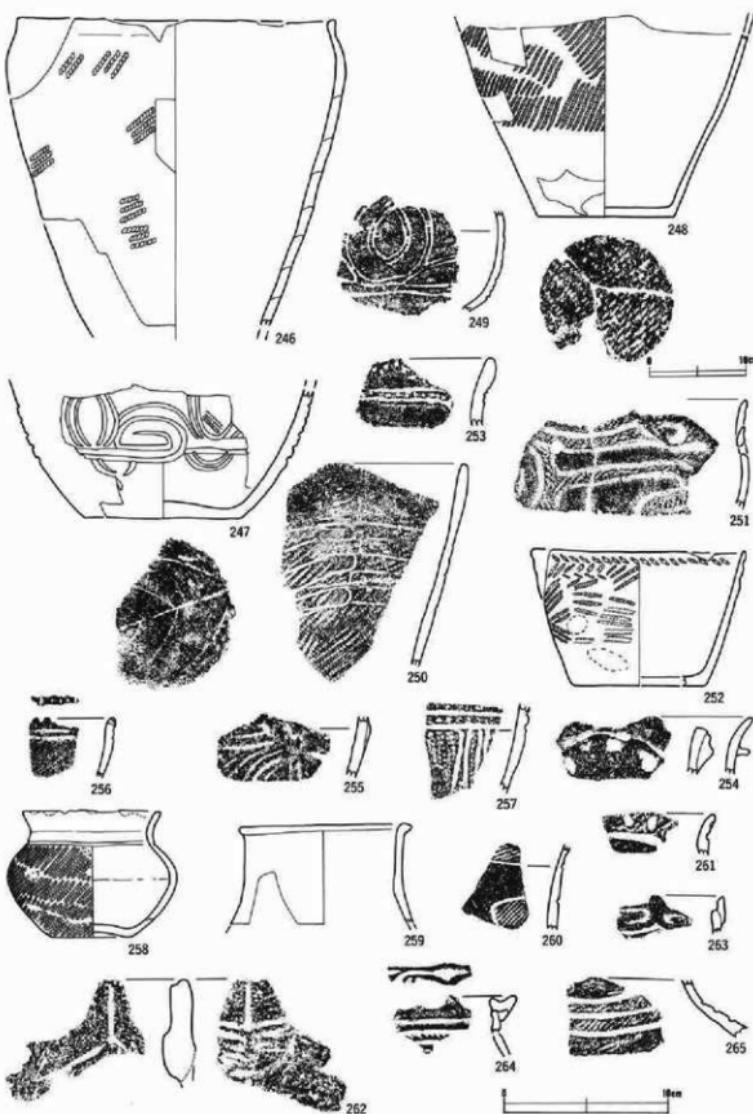
第38図 遺構内出土遺物土器 6



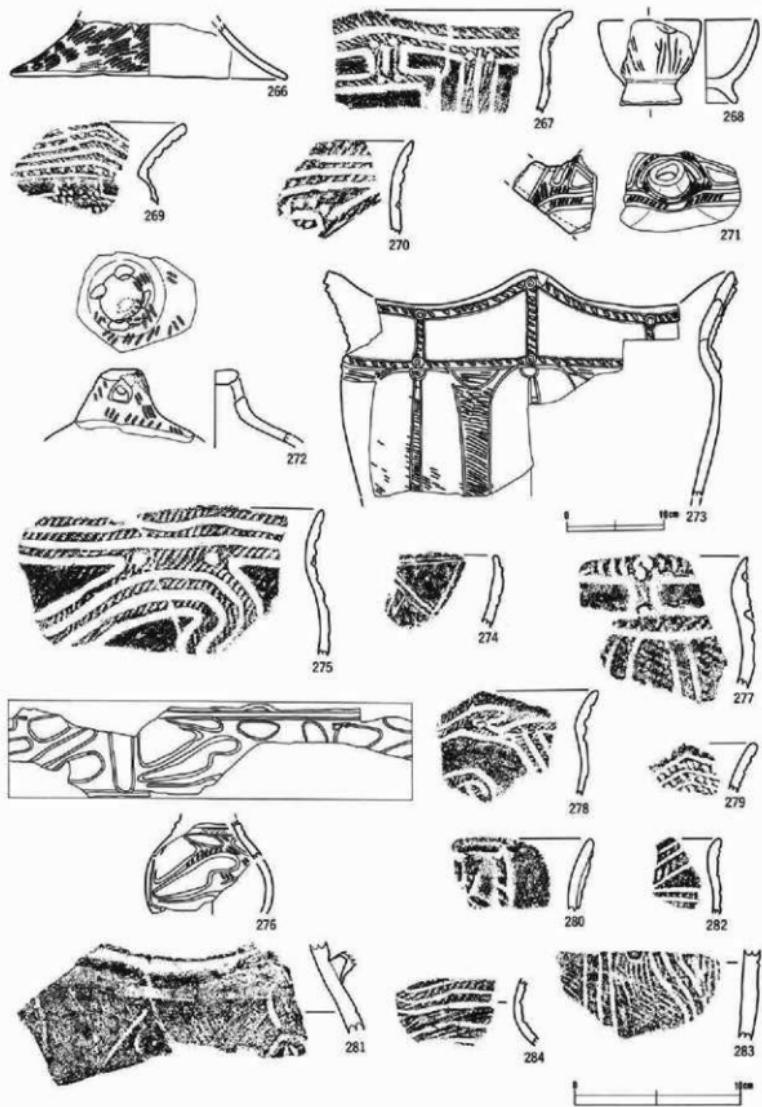
第39図 遺構外出土遺物土器 1



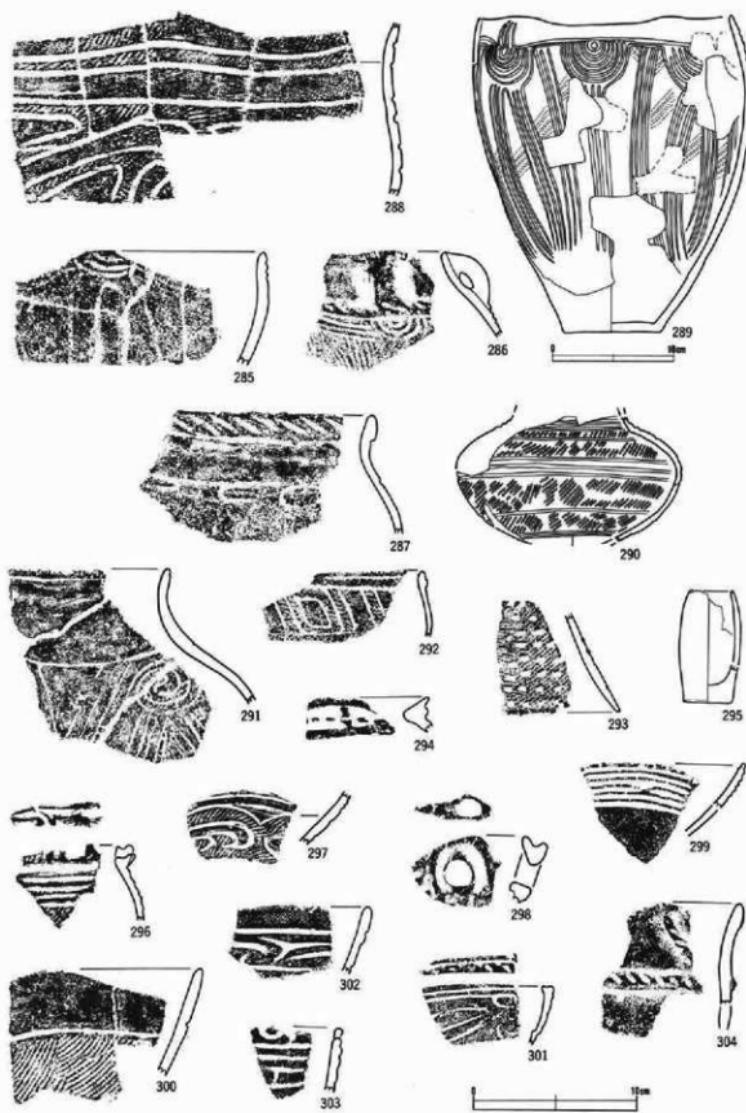
第40図 遺構外出土遺物土器 2



第41図 遺構出土土器3



第42図 遺構外出土遺物土器 4



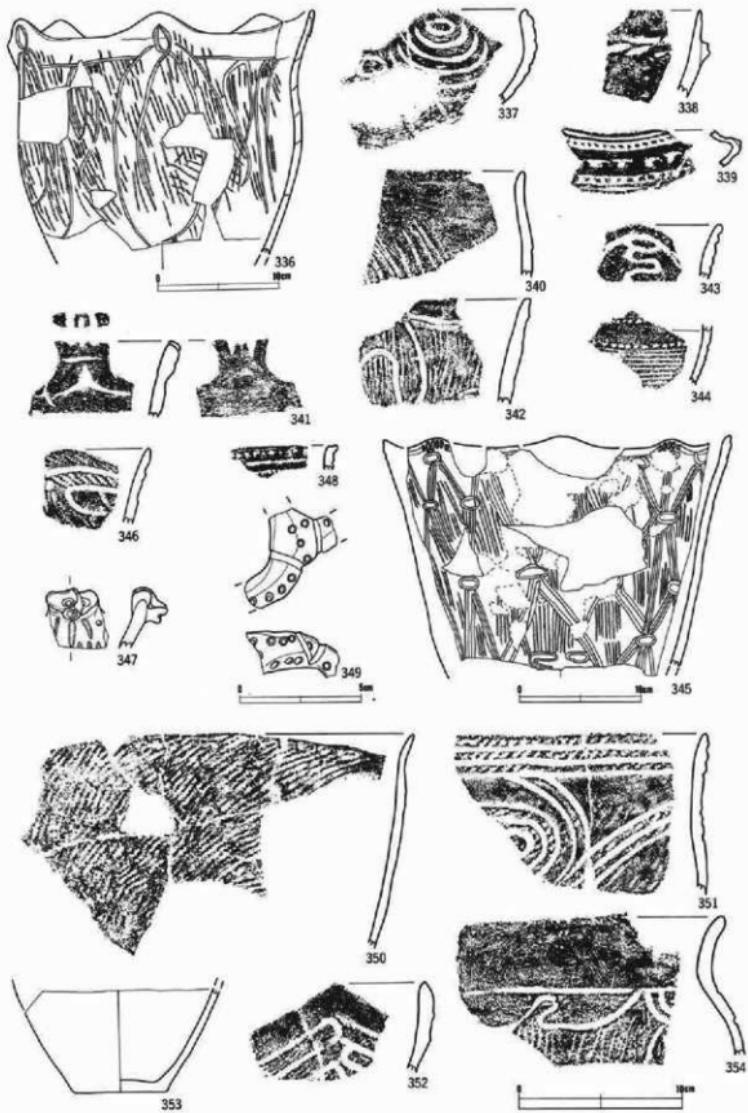
第43図 遺構外出土遺物土器 5



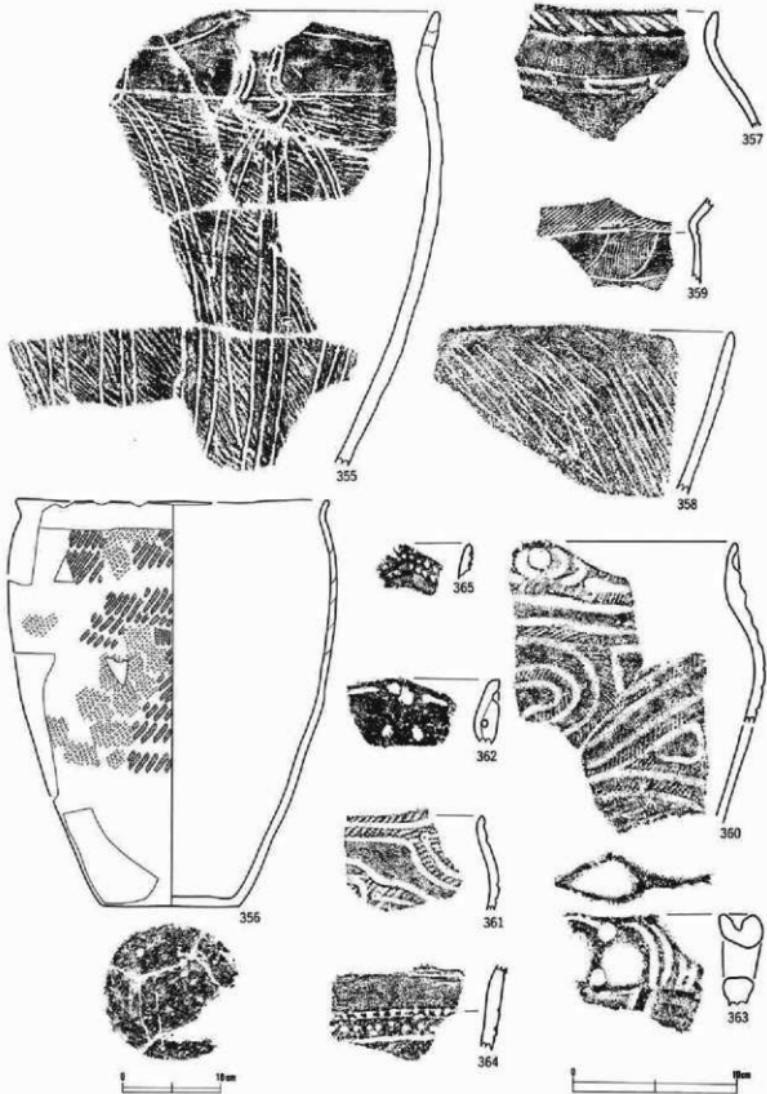
第44図 造構外出土遺物土器 6



第45図 遺構外出土遺物土器 7



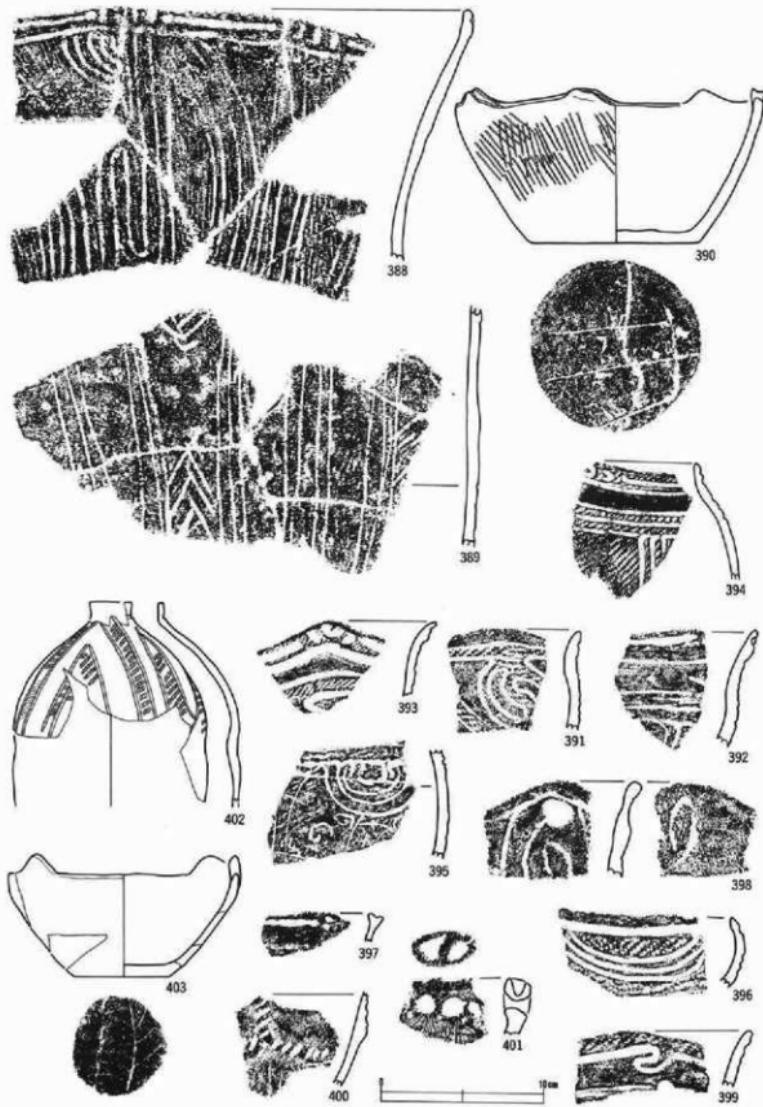
第46図 造構外出土遺物土器 8



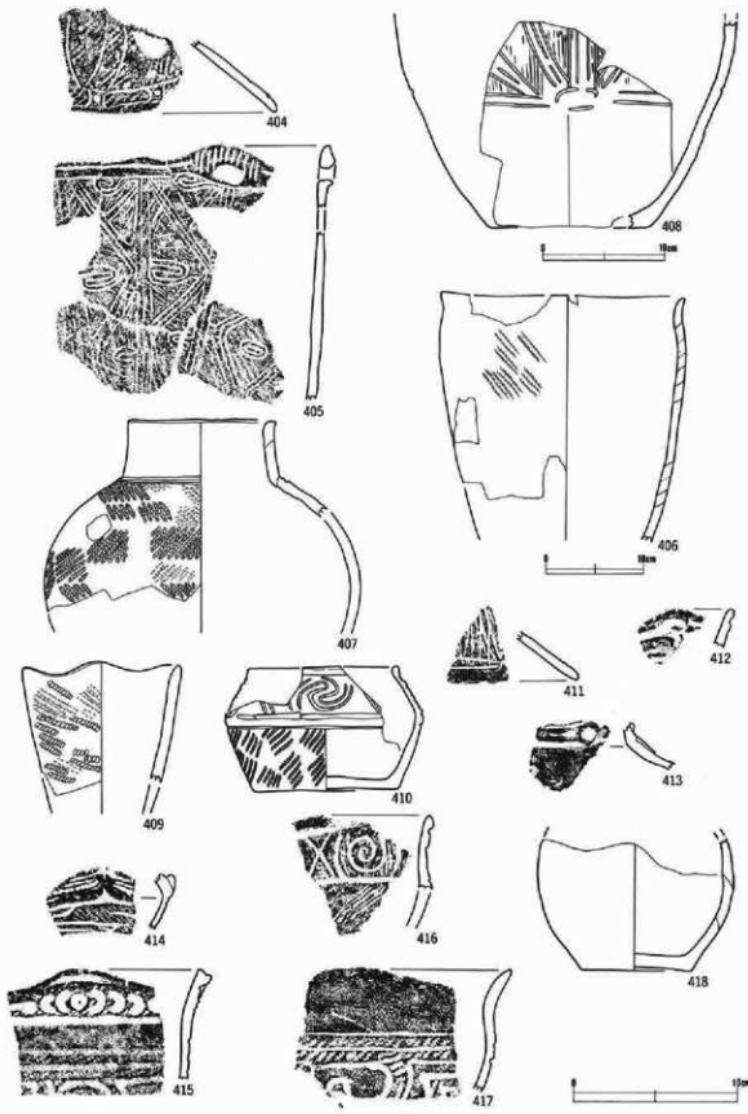
第47図 遺構外出土遺物土器 9



第48図 遺構外出土遺物土器 10



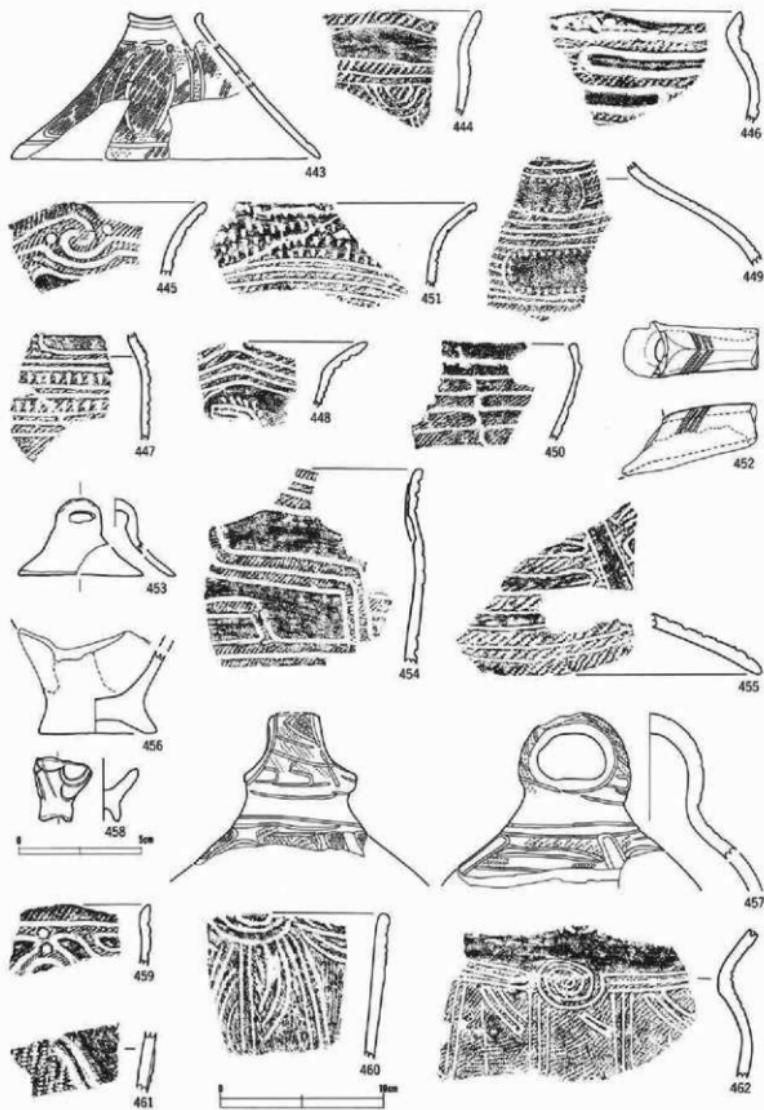
第49図 遺構外出土遺物土器11



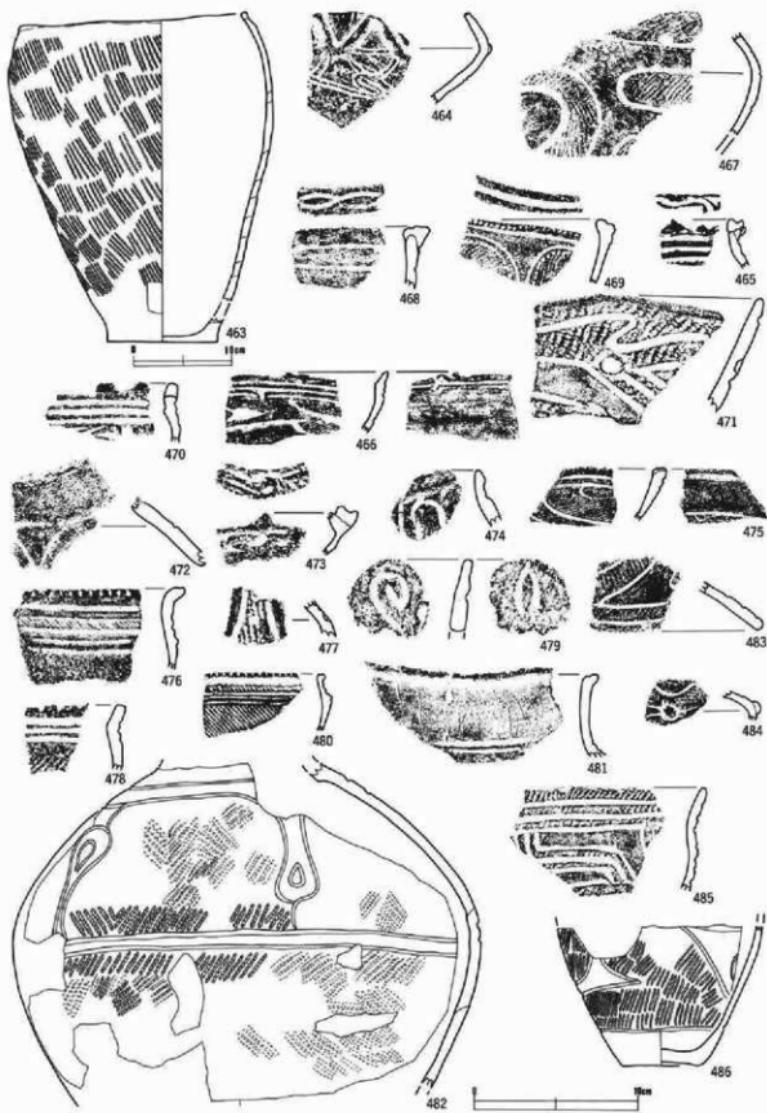
第50図 遺構外出土遺物土器12



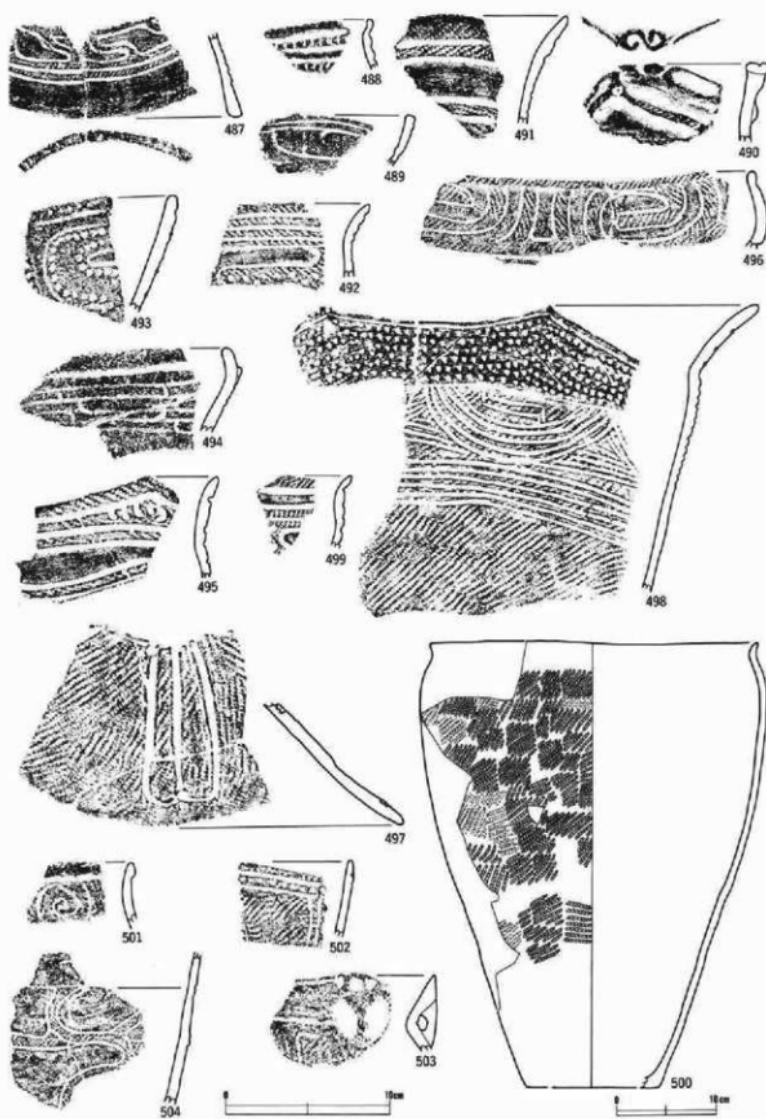
第51図 遺構外出土遺物土器13



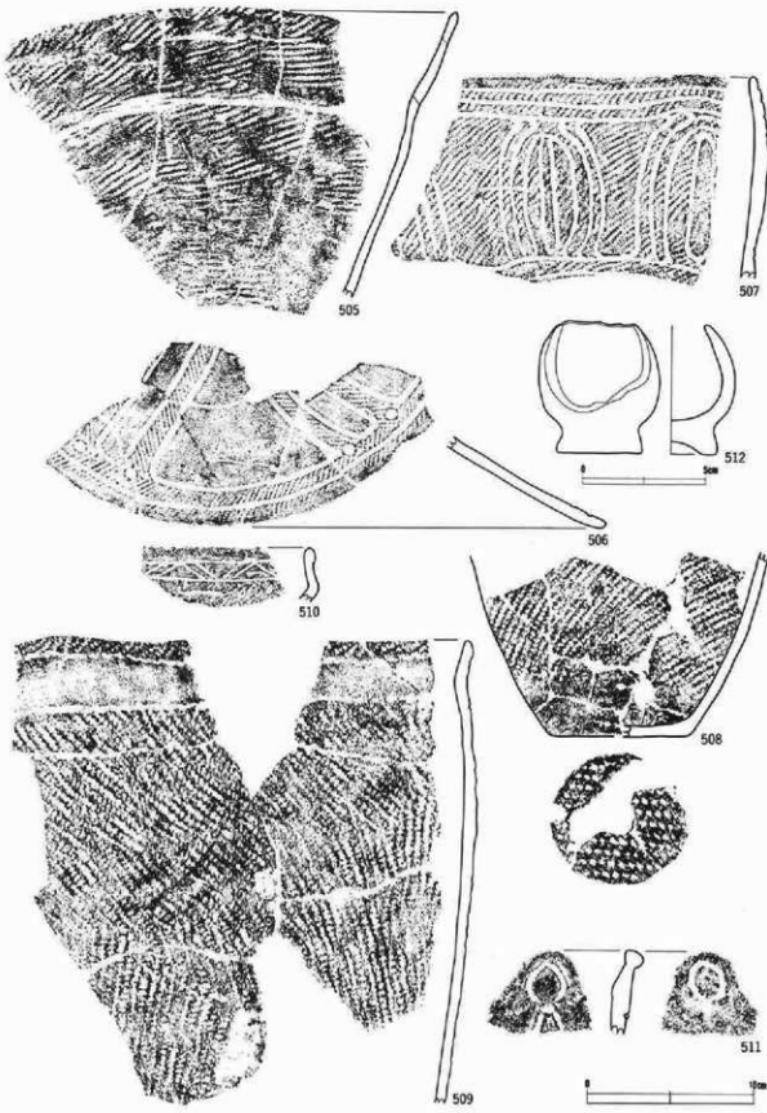
第52図 遺構外出土造物土器14



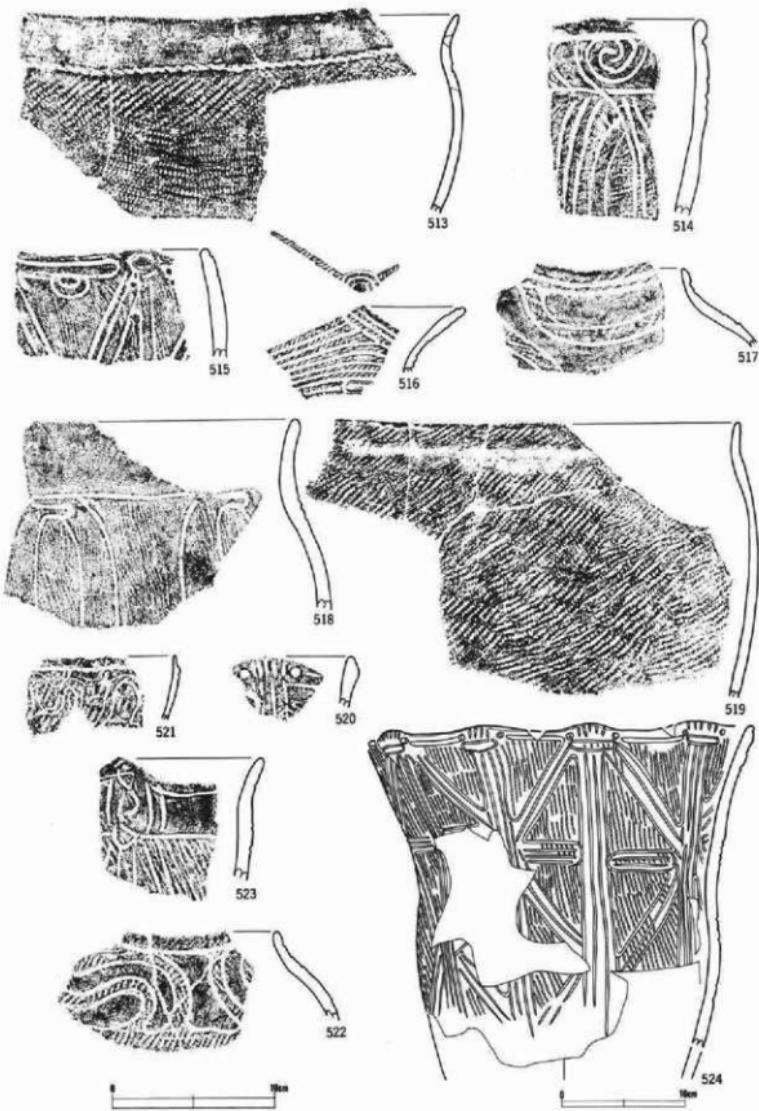
第53図 遺構外出土遺物土器



第54図 遺構外出土遺物土器16



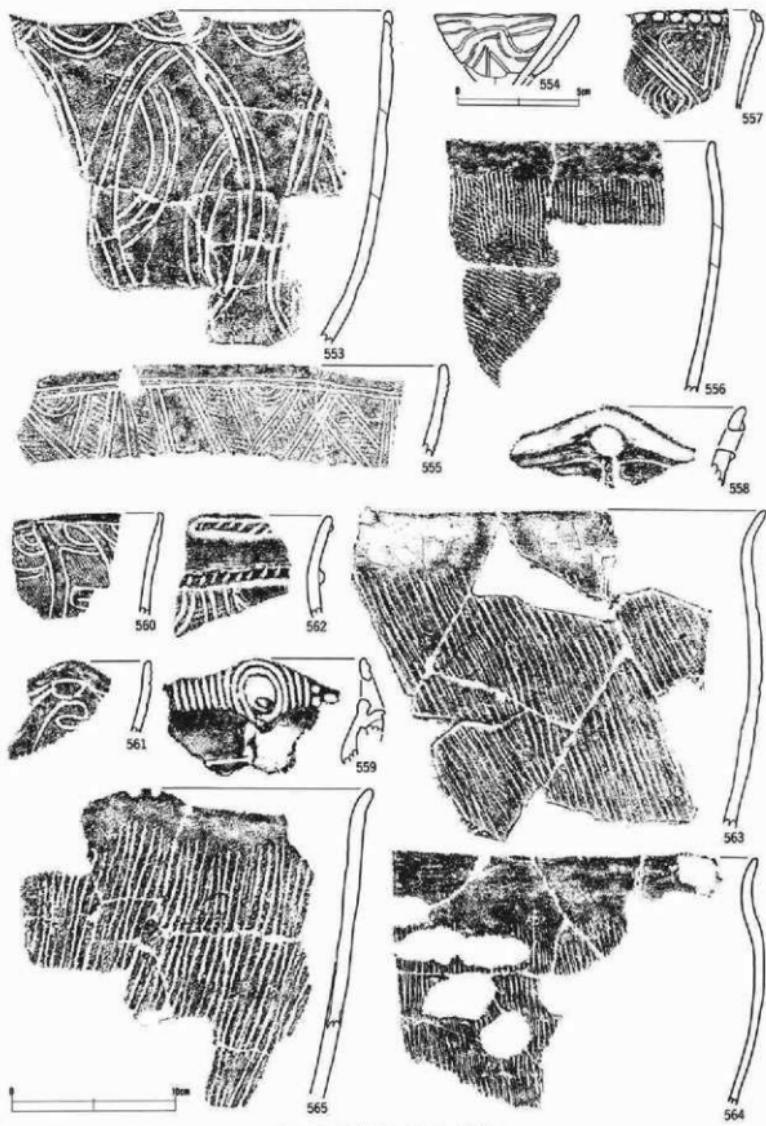
第55図 遺構外出土遺物土器17



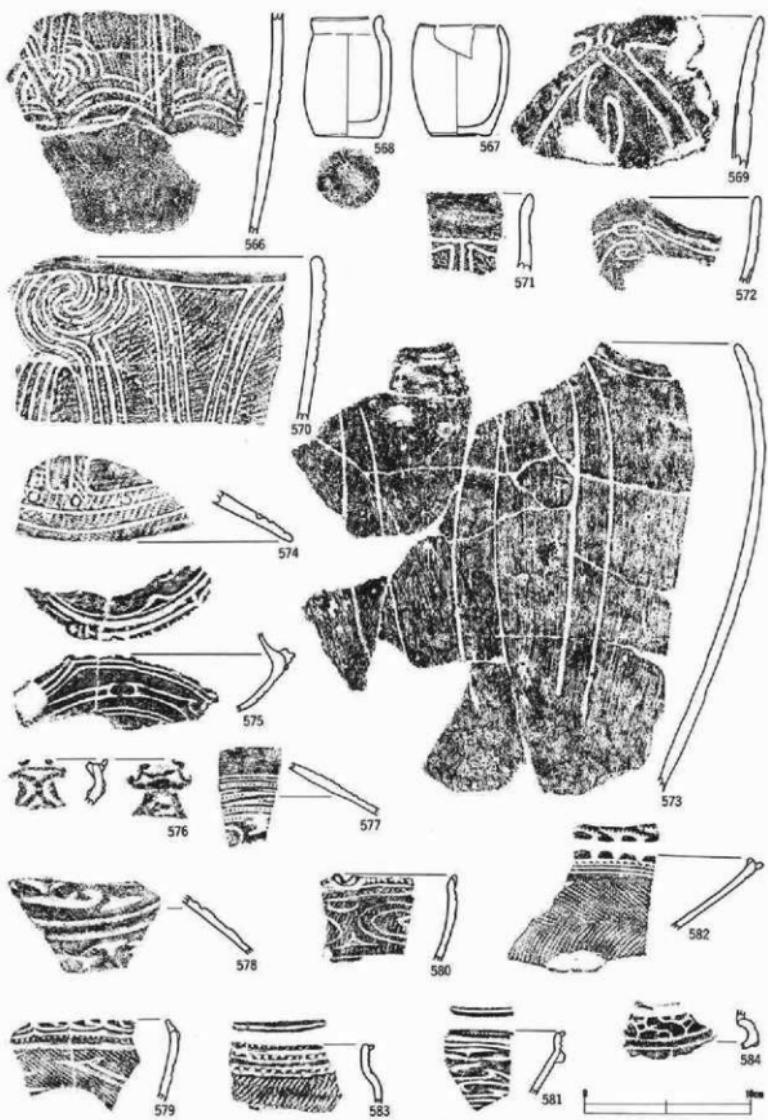
第56図 遺構外出土遺物土器18



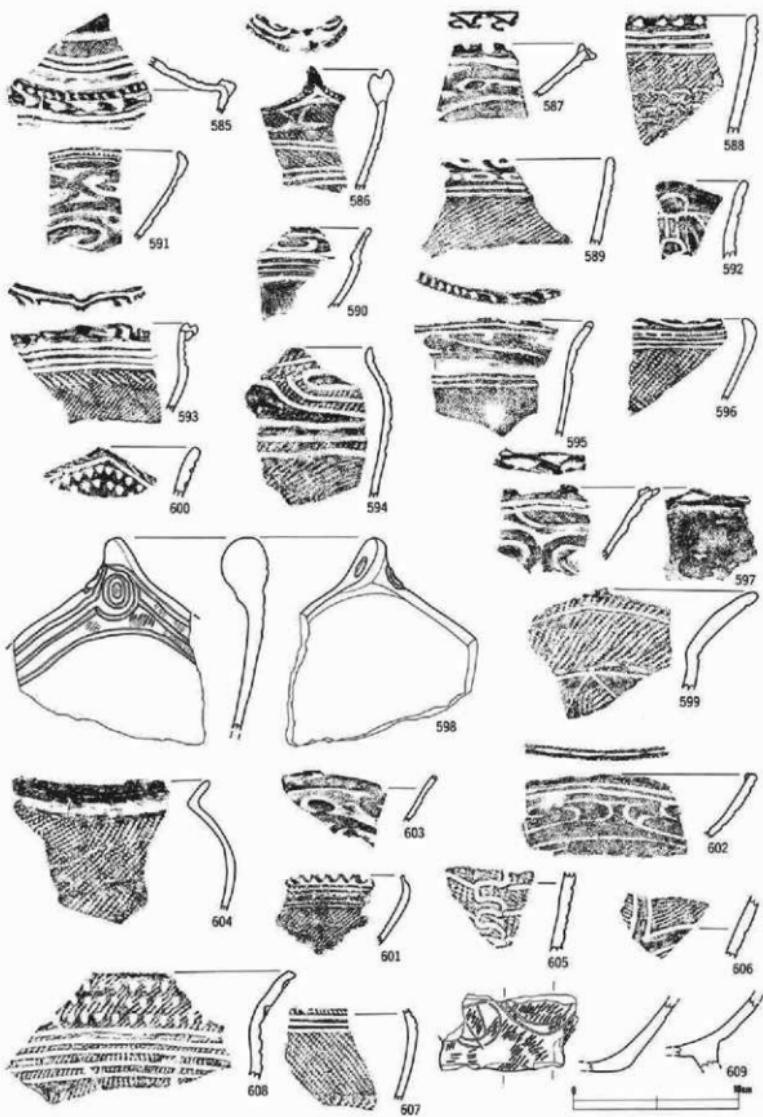
第57図 遺構外出土遺物土器19



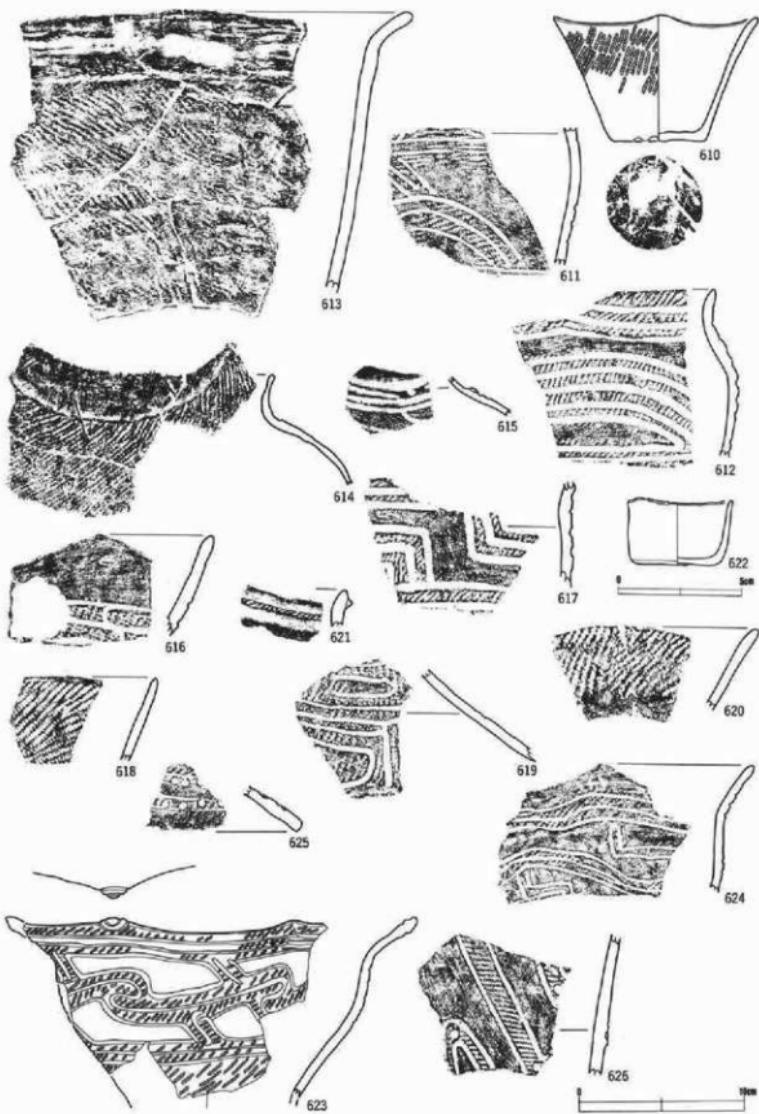
第58図 遺構外出土遺物土器20



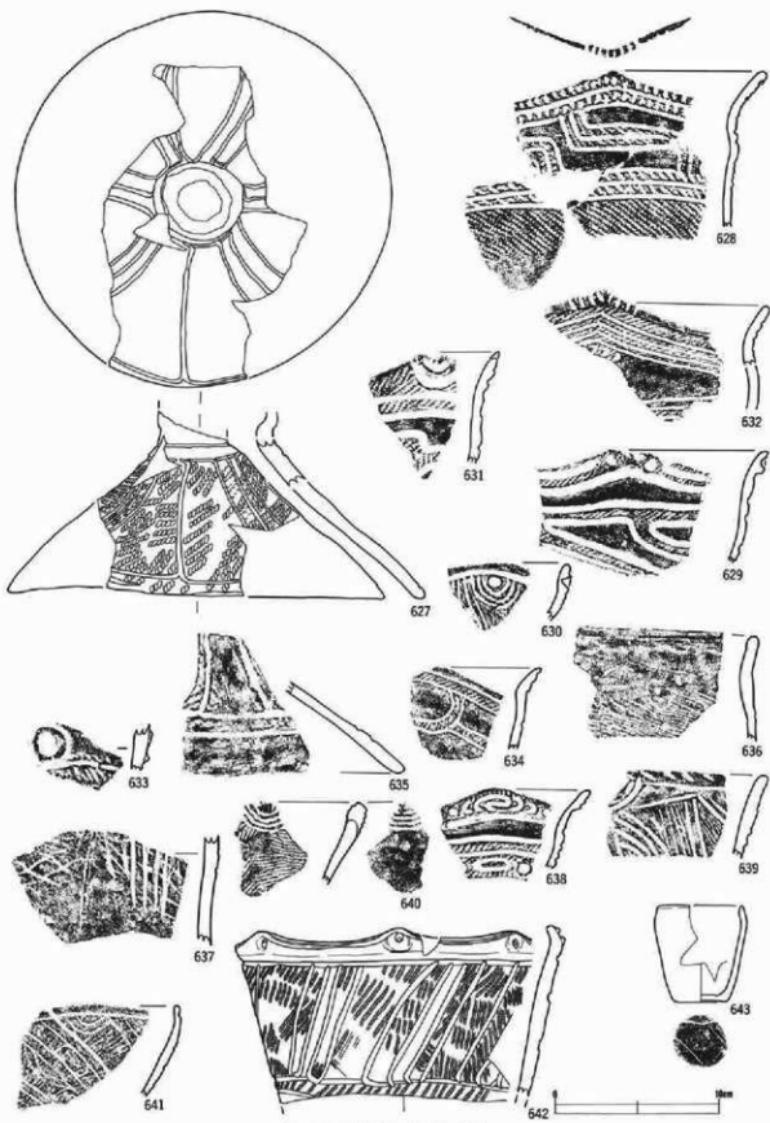
第59圖 造構外出土遺物土器21



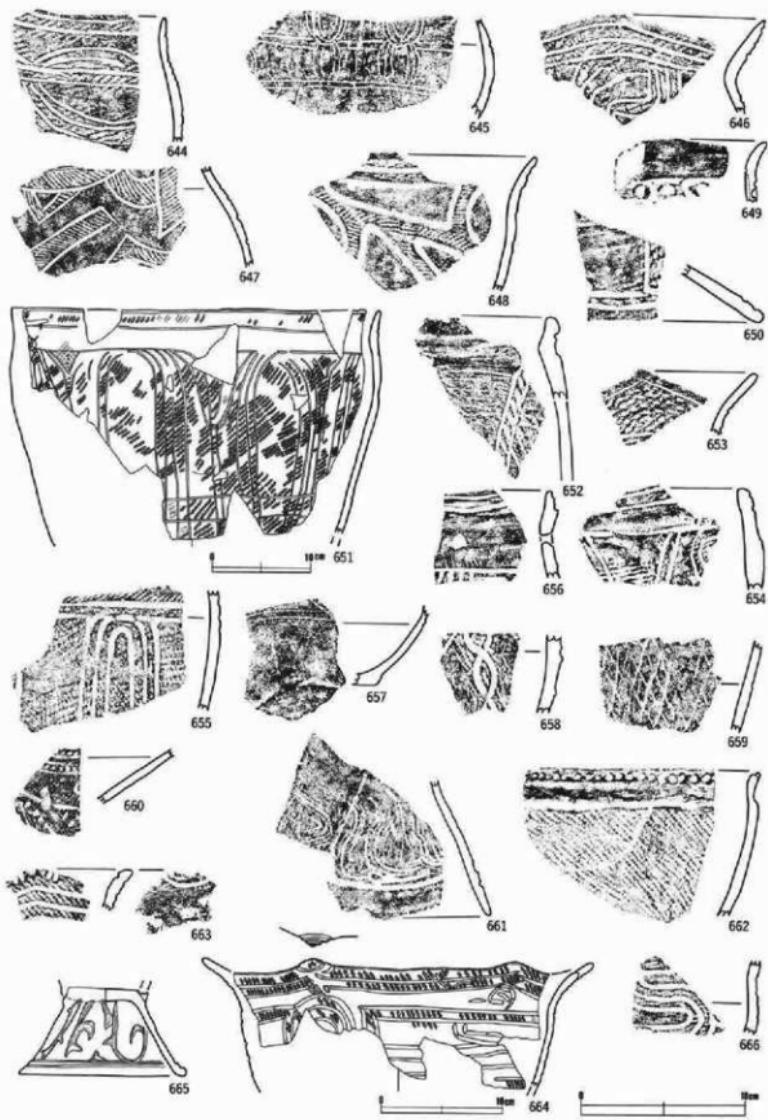
第60図 遺構外出土遺物土器22



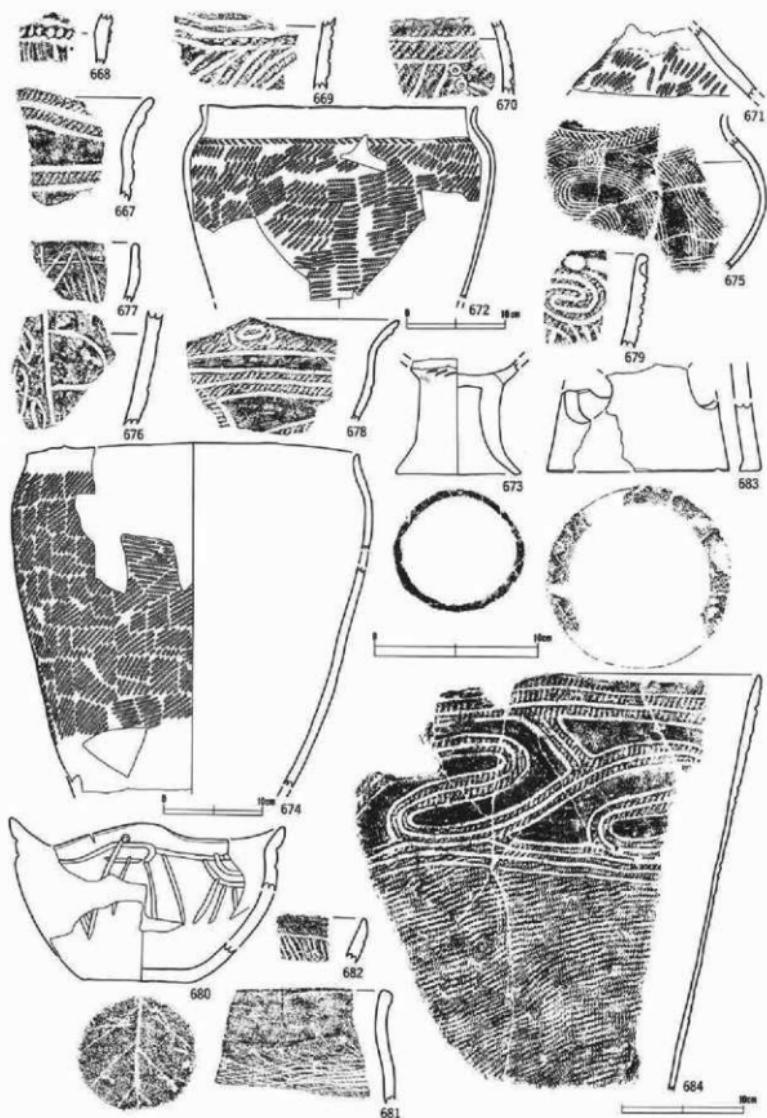
第61図 遺構外出土遺物土器23



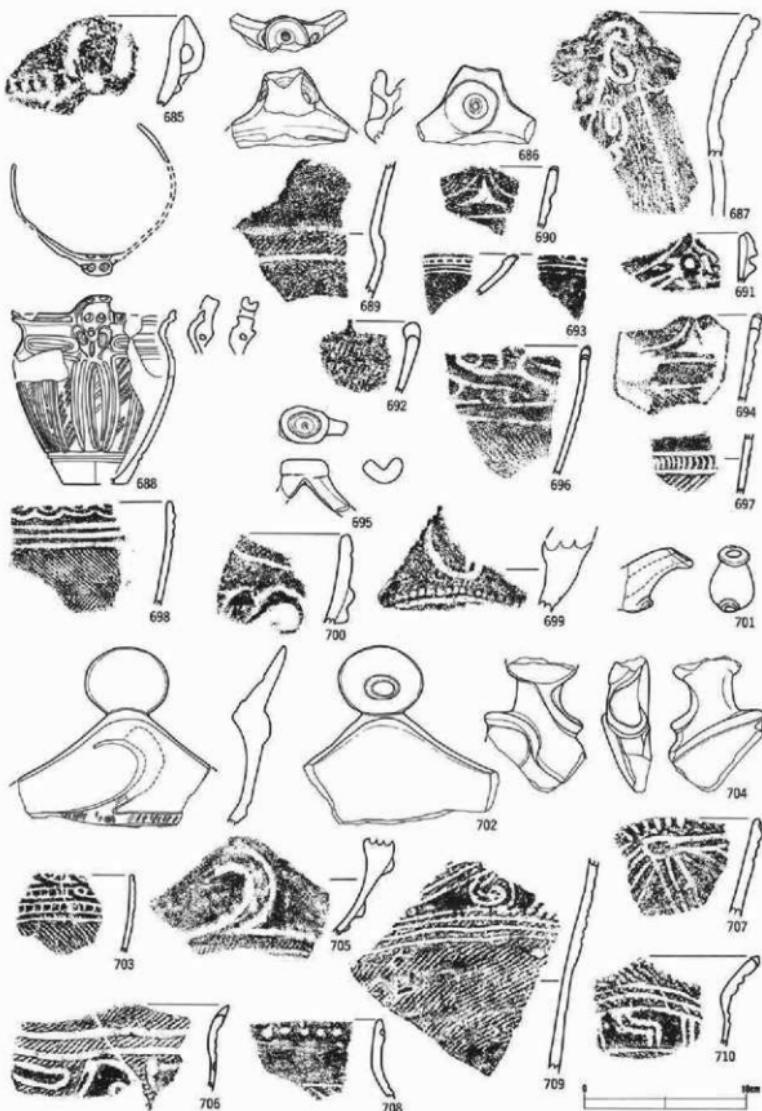
第62図 遺構外出土遺物土器24



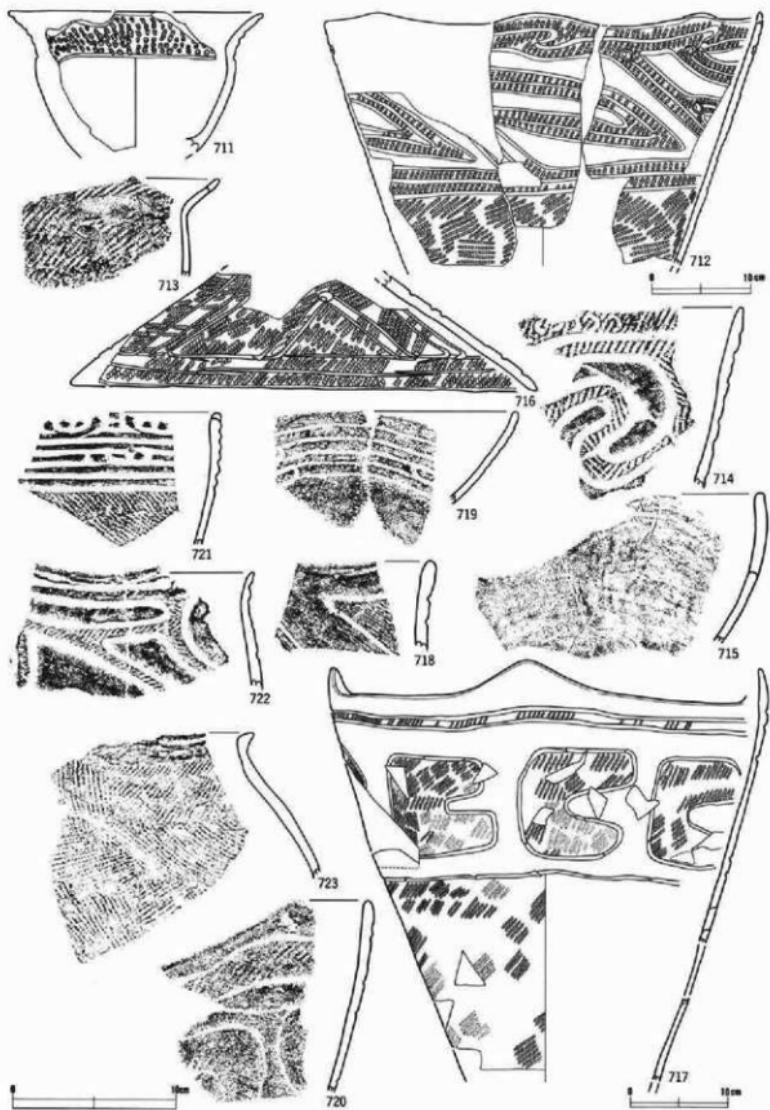
第63図 遺構外出土遺物土器25



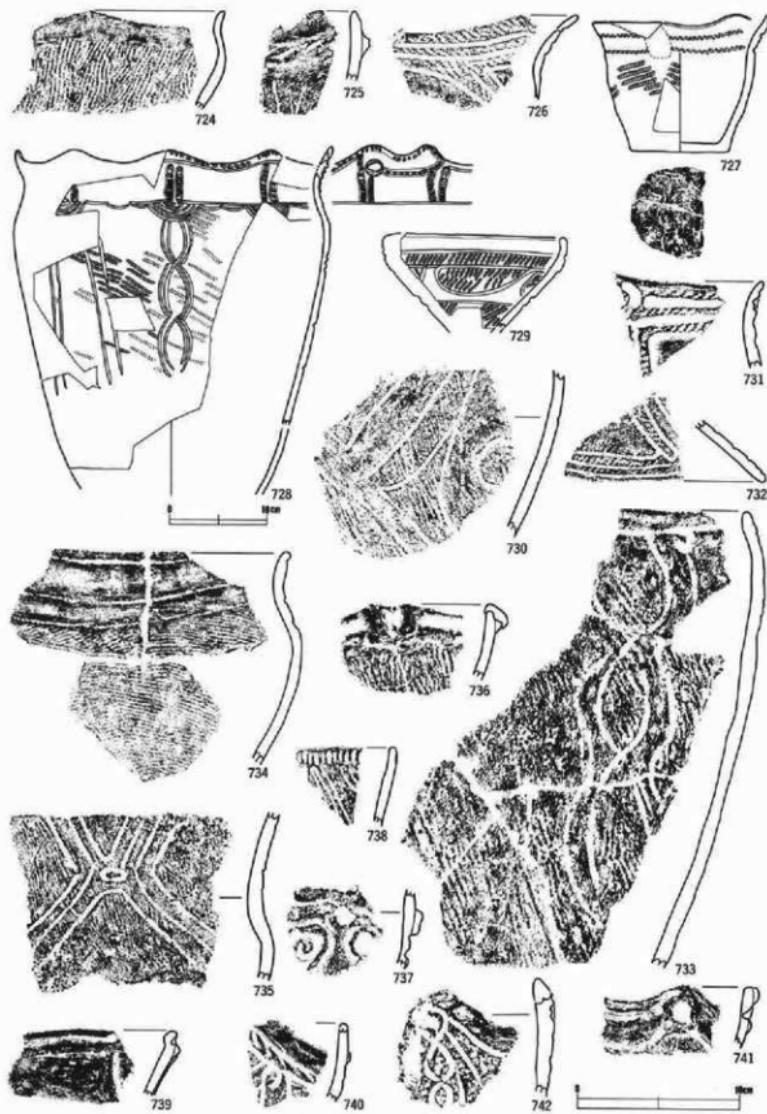
第64図 遺構外出土遺物土器26



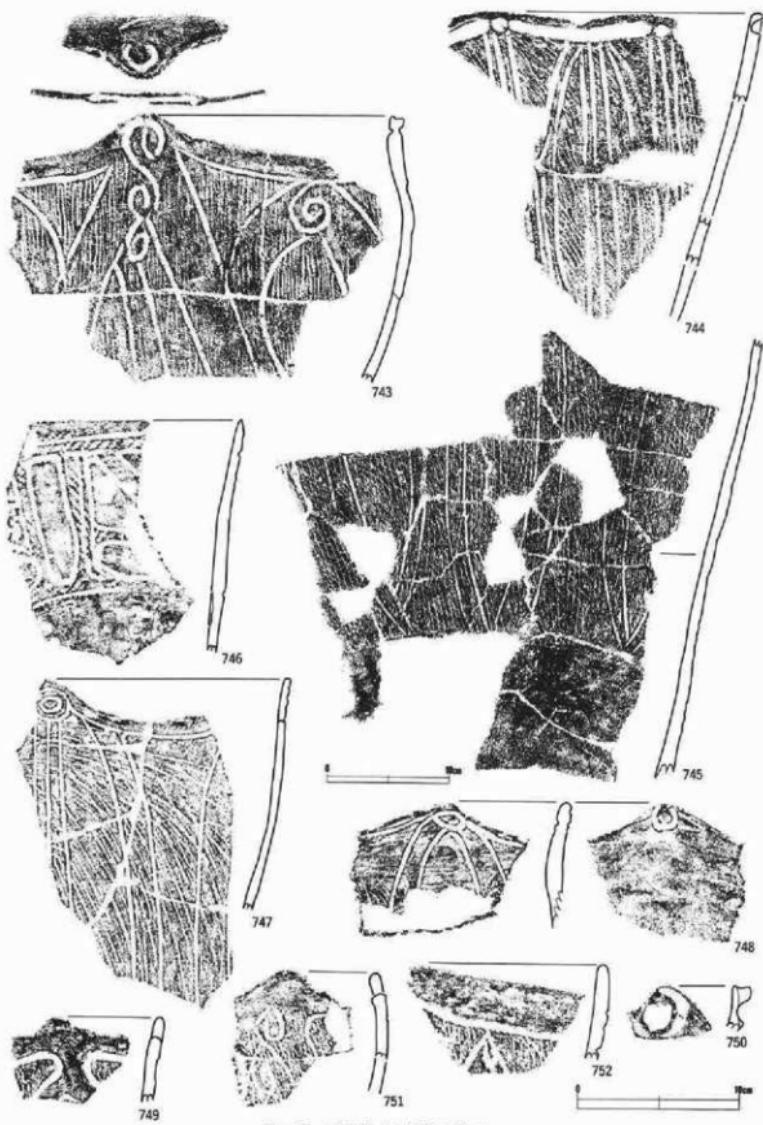
第65図 遺構外出土遺物土器27



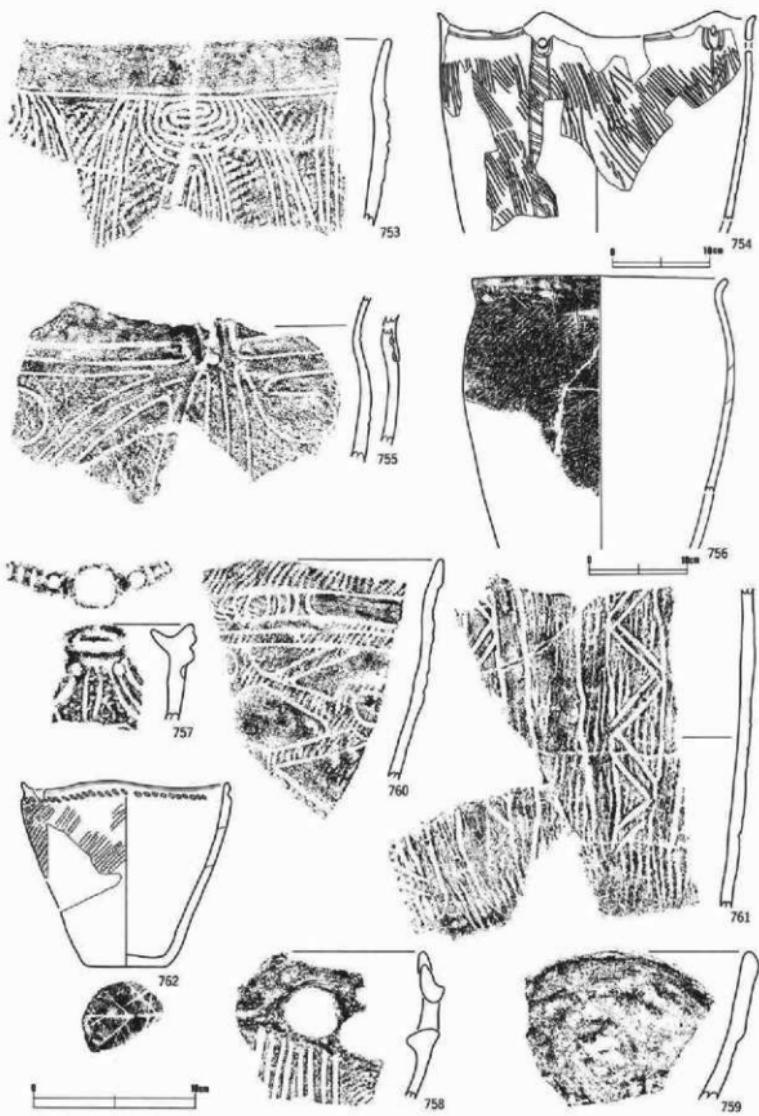
第66図 遺構外出土遺物土器28



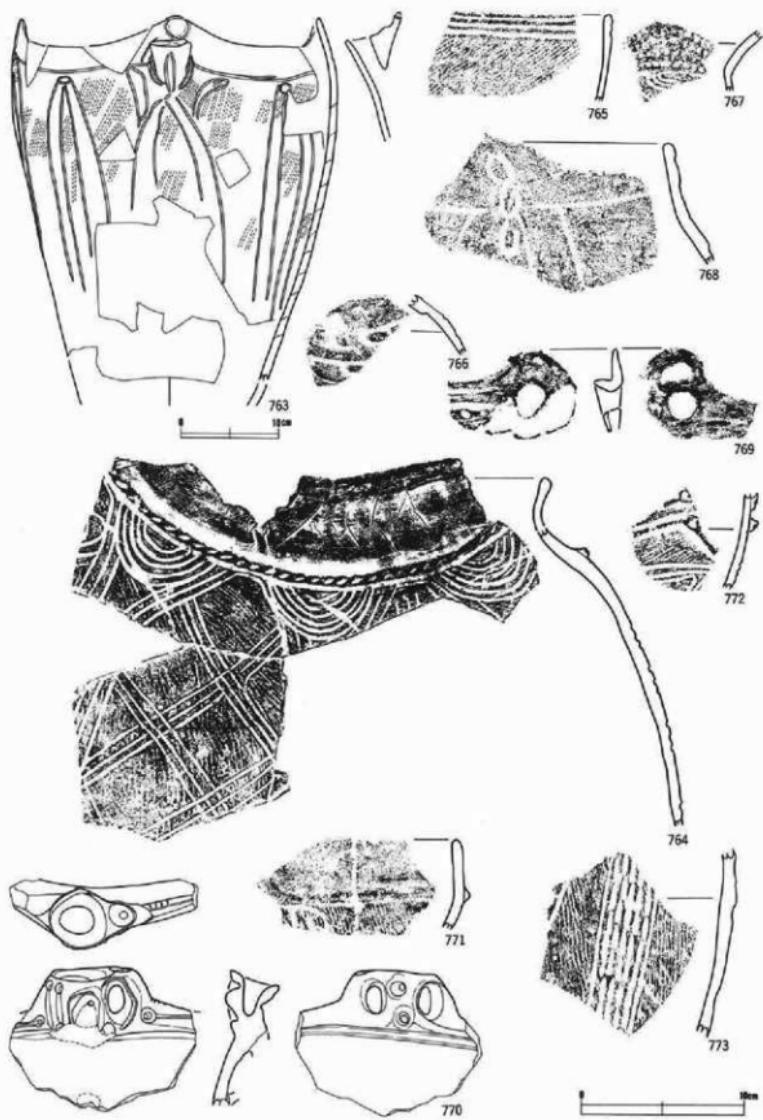
第67図 遺構外出土遺物土器29



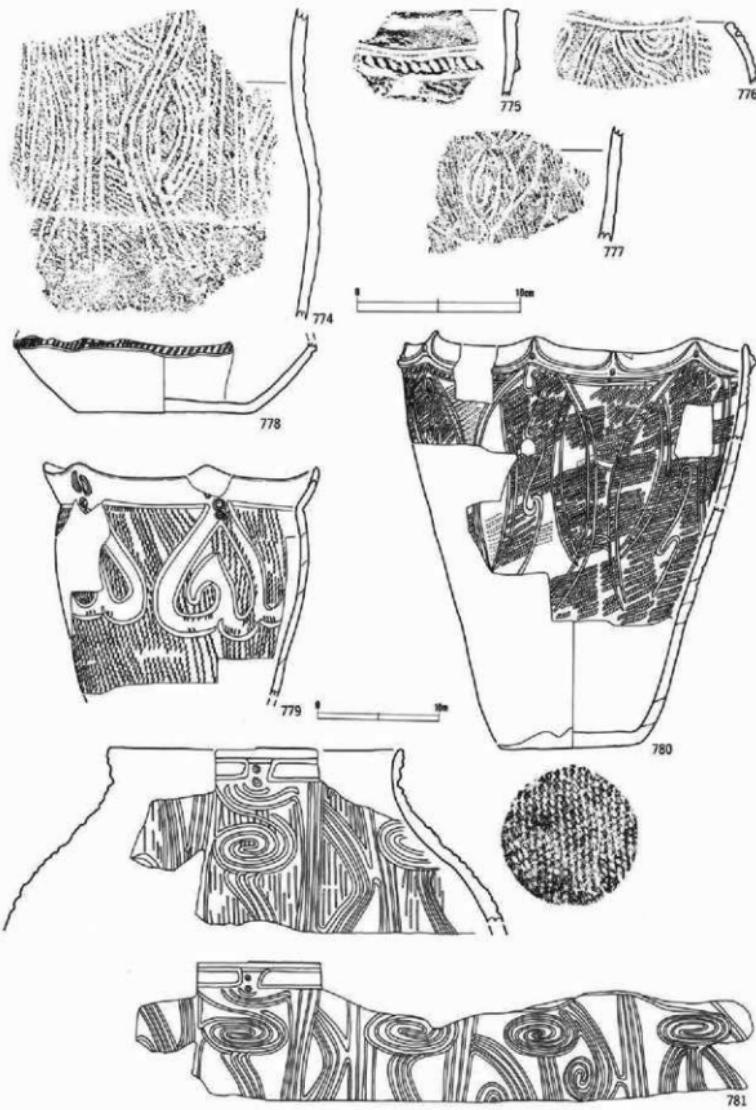
第68図 遺構外出土遺物土器30



第69図 遺構外出土遺物土器31

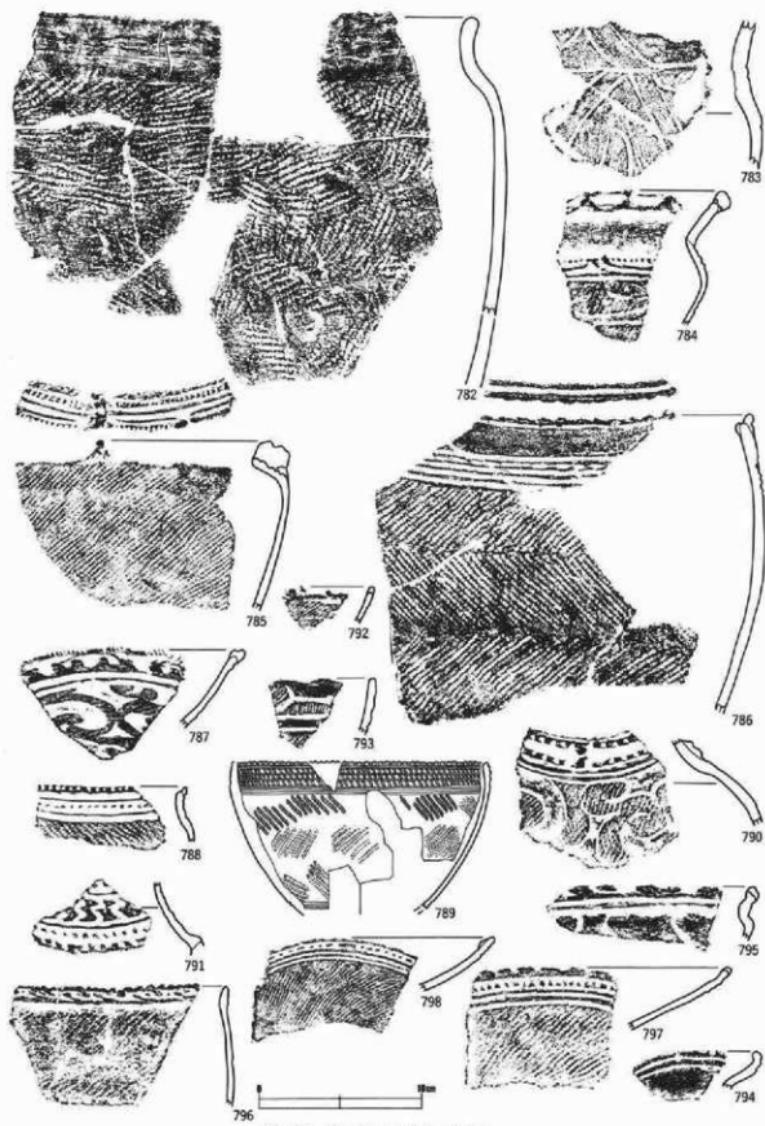


第70図 遺構外出土遺物土器32

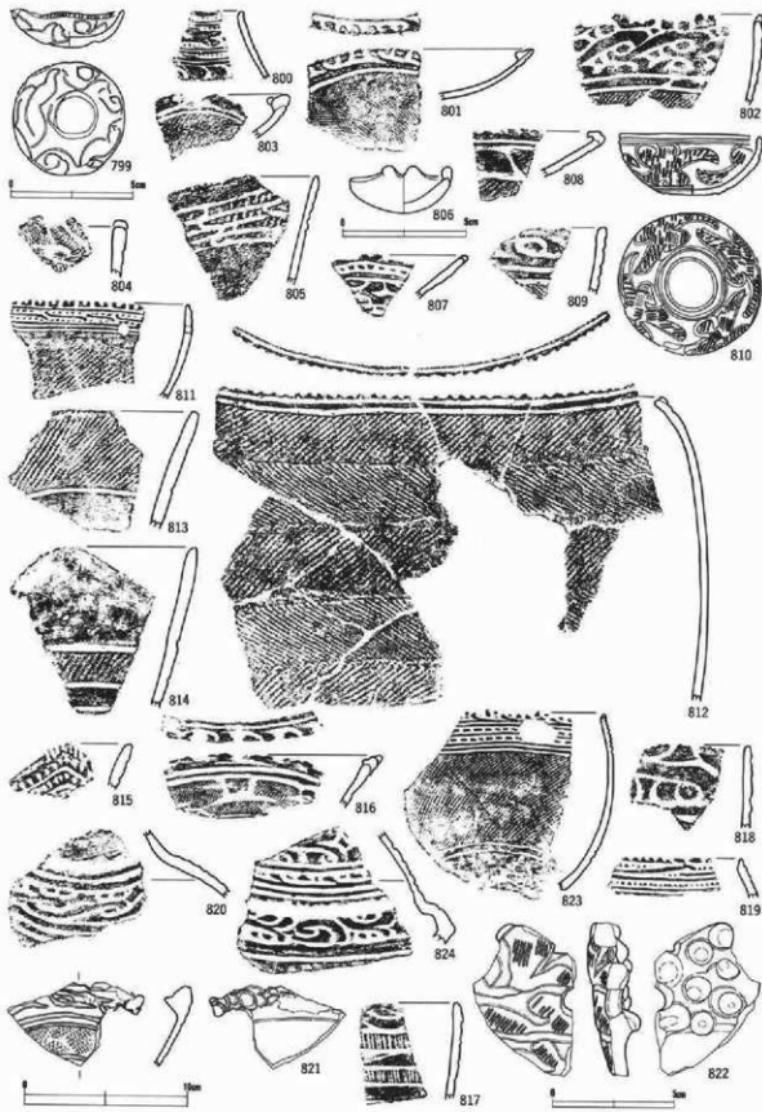


第71図 遺構外出土遺物土器33

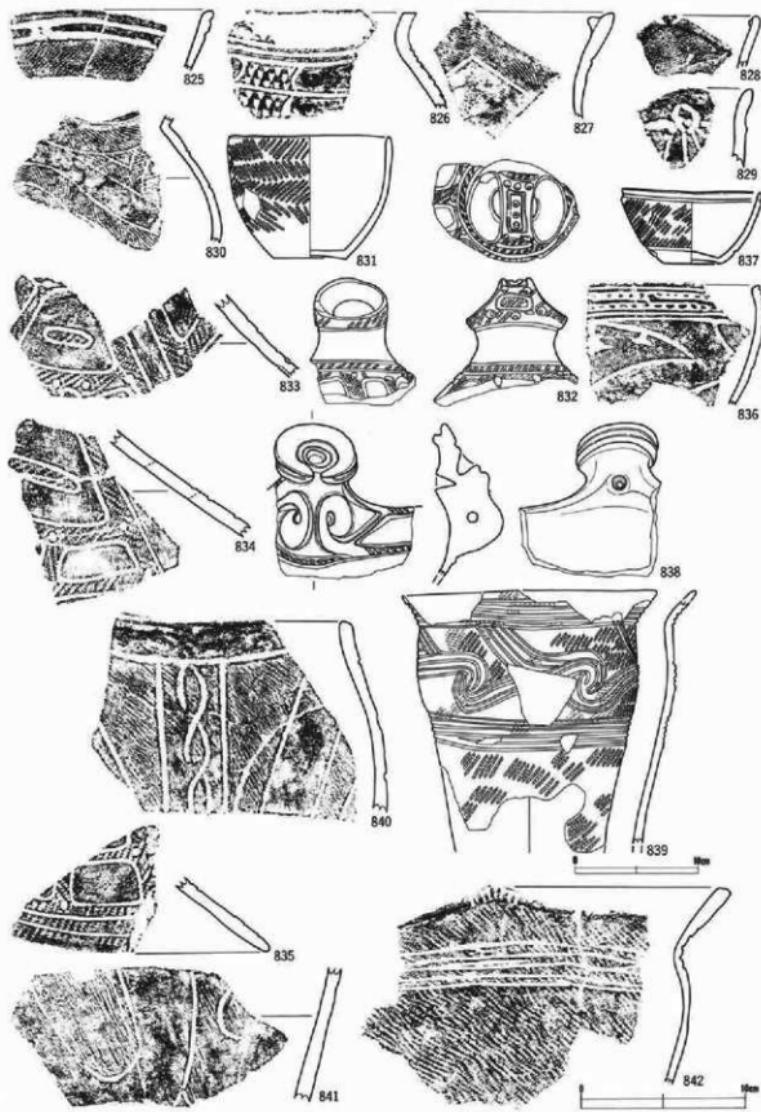
779.780.781 S=1/4



第72図 遺構外出土遺物土器34



第73図 遺構外出土遺物土器35



第74図 造構外出土遺物土器36



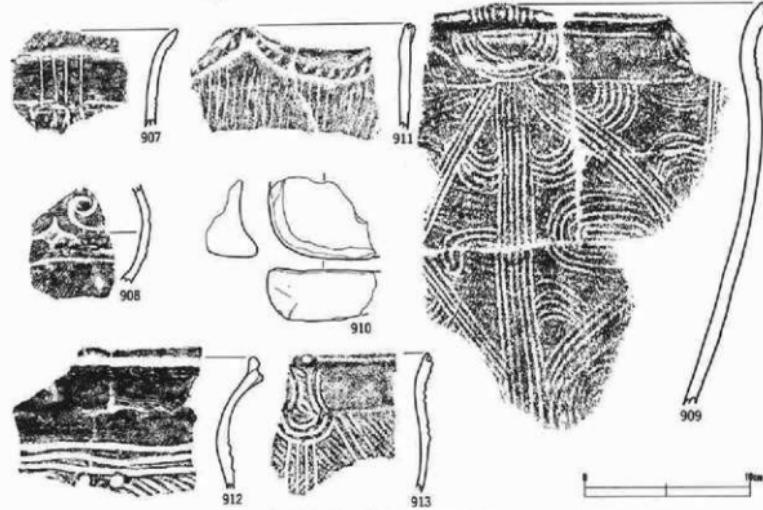
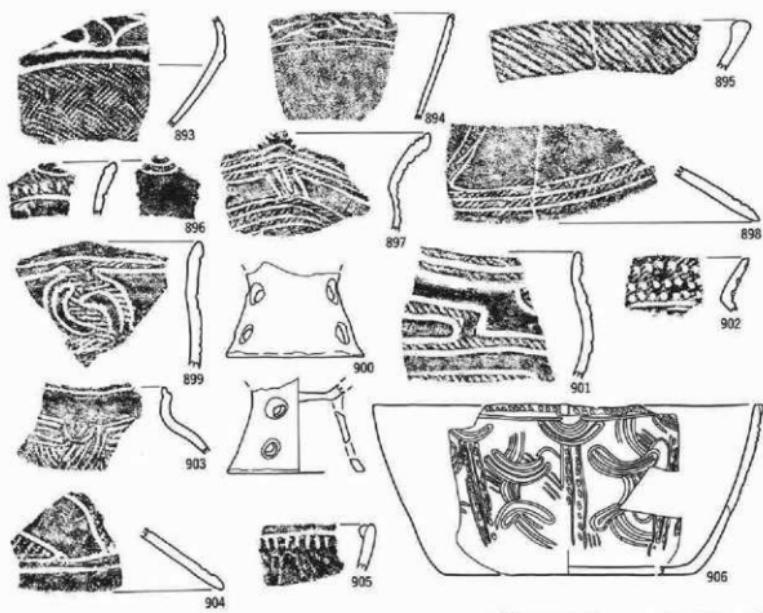
第75図 遺構外出土遺物土器37



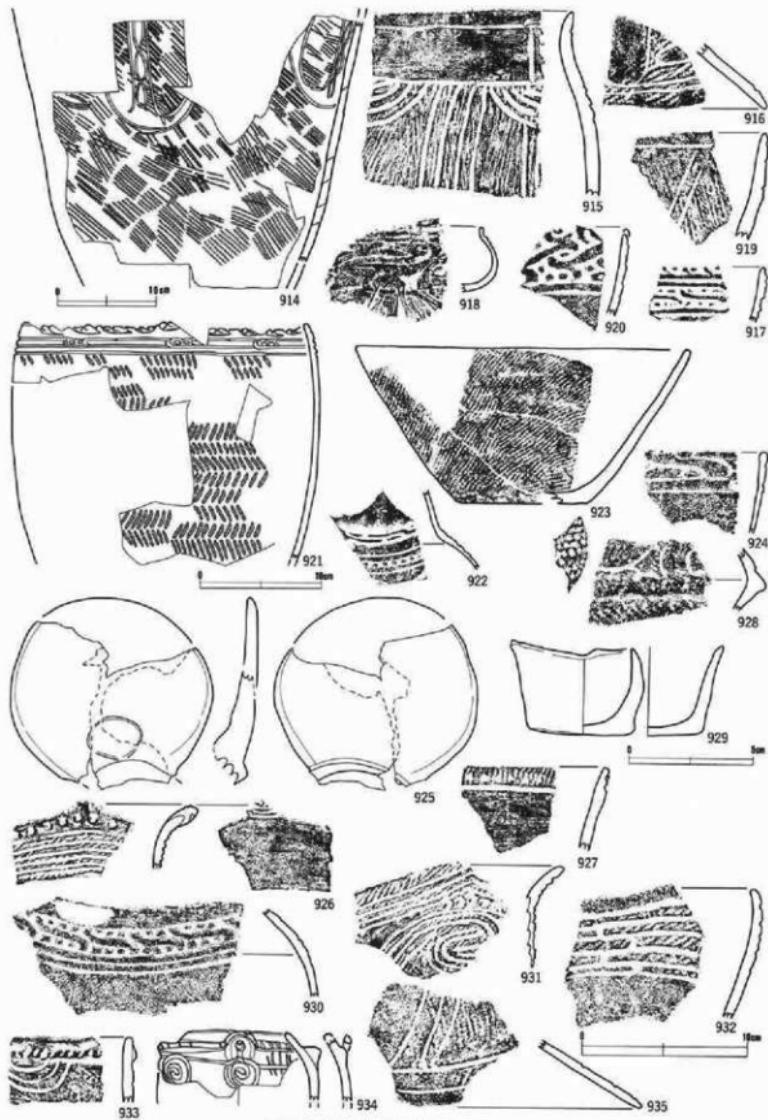
第76図 遺構出土土器38



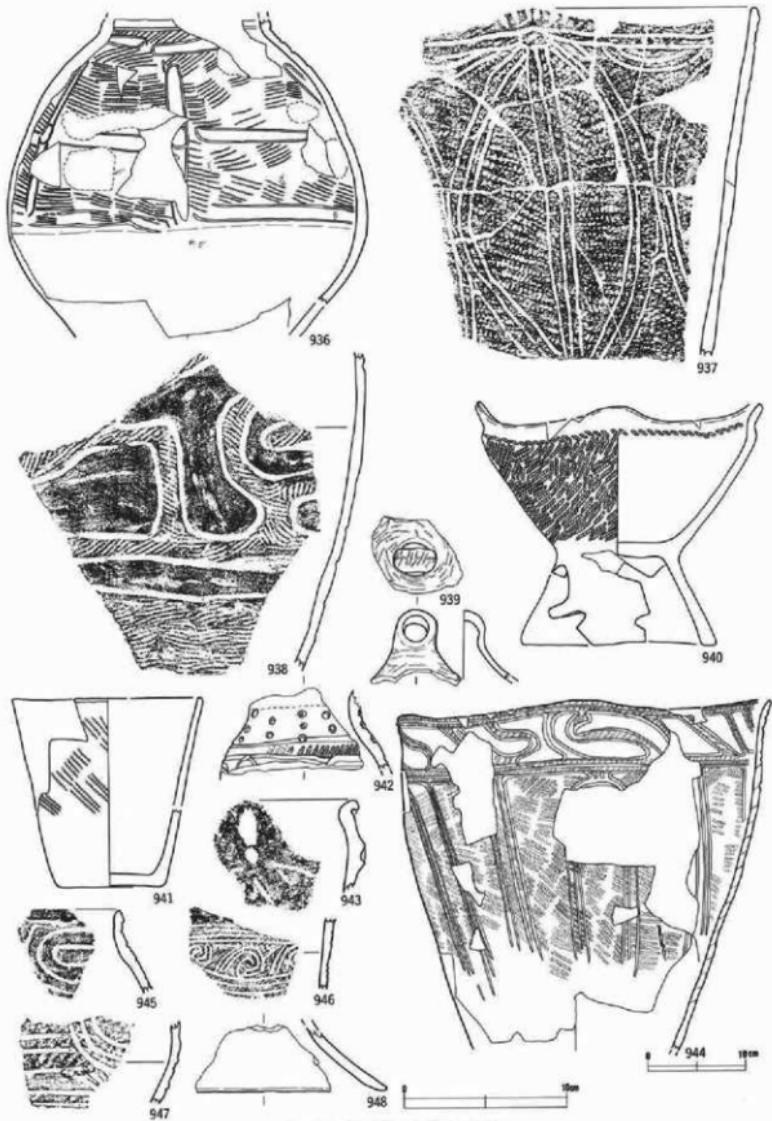
第77図 遺構外出土遺物土器39



第78図 遺構外出土遺物土器40



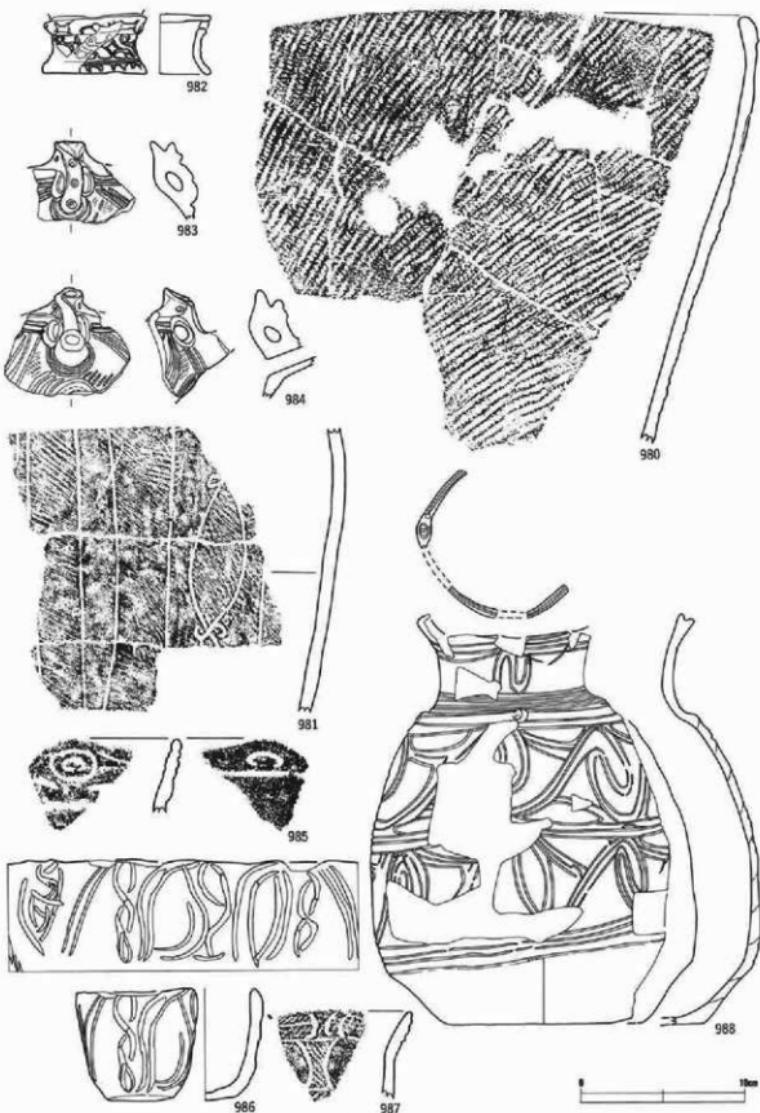
第79図 遺構外出土遺物土器41



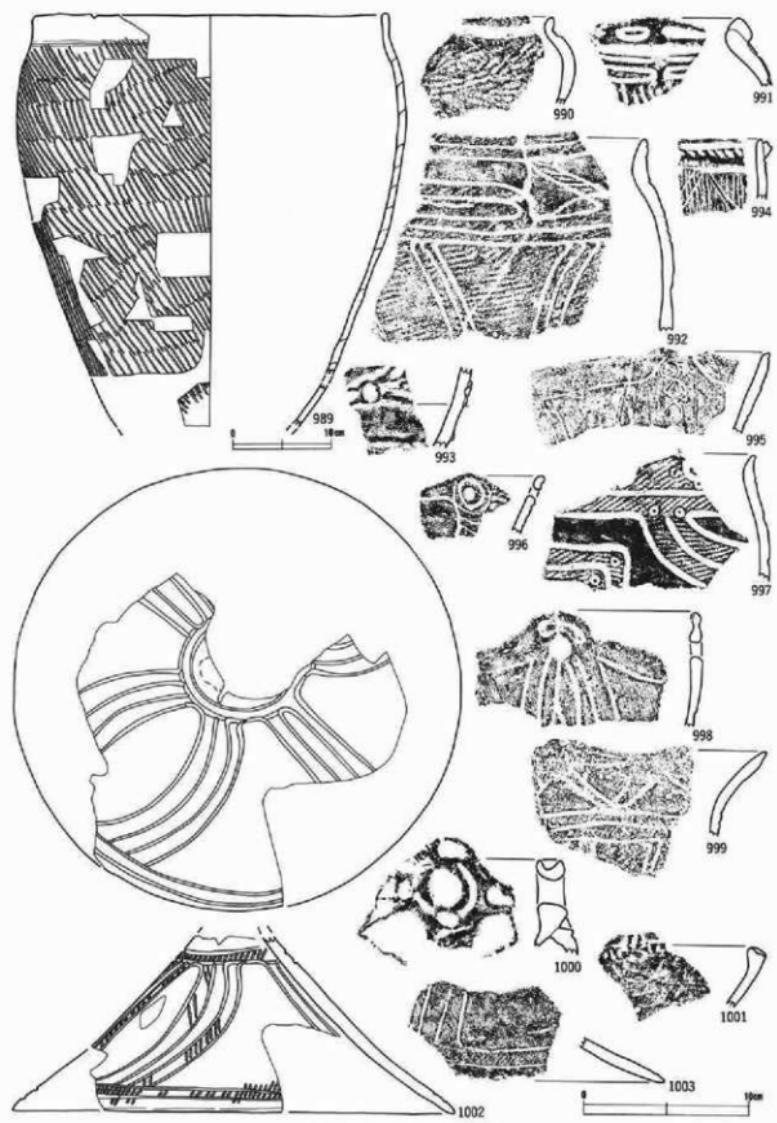
第80図 遺構出土土器42



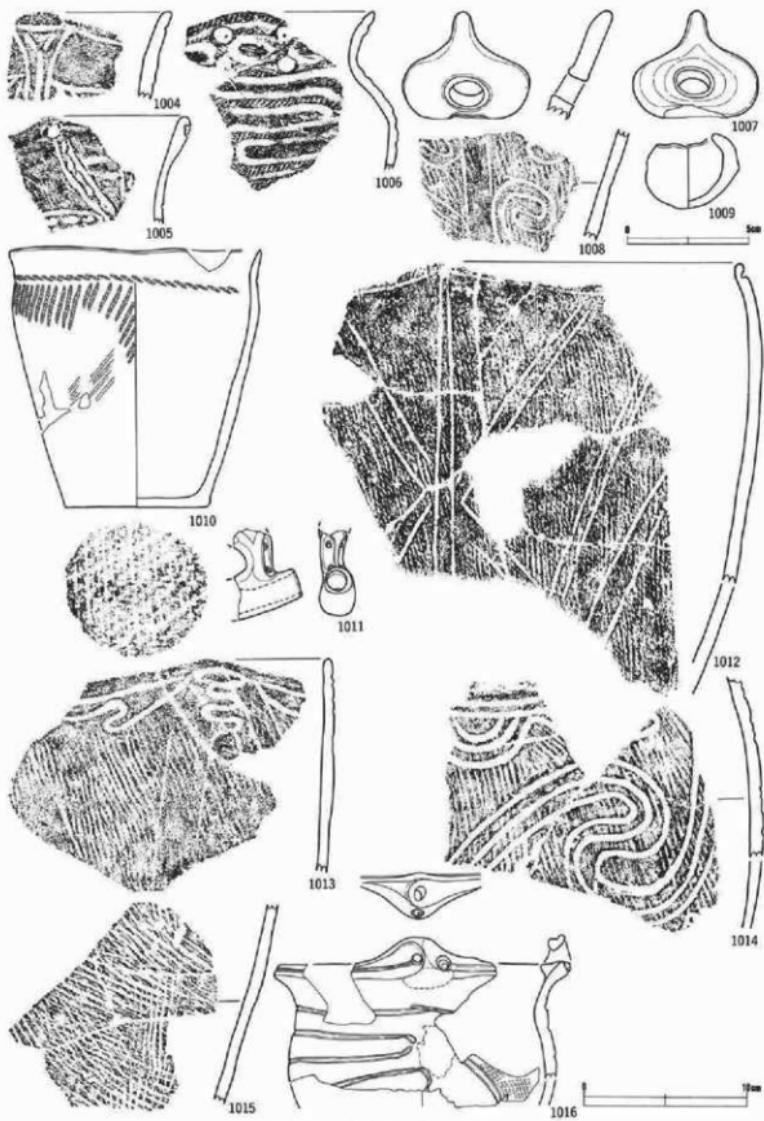
第81図 遺構外出土遺物土器43



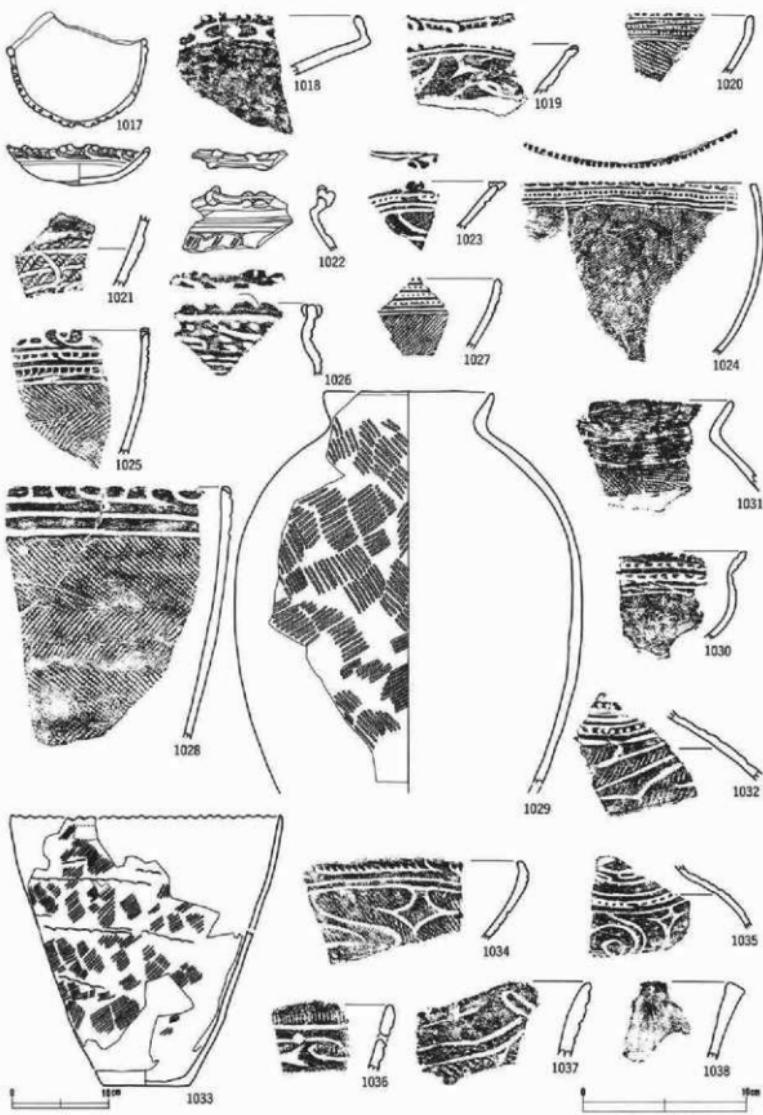
第82図 遺構外出土遺物土器44



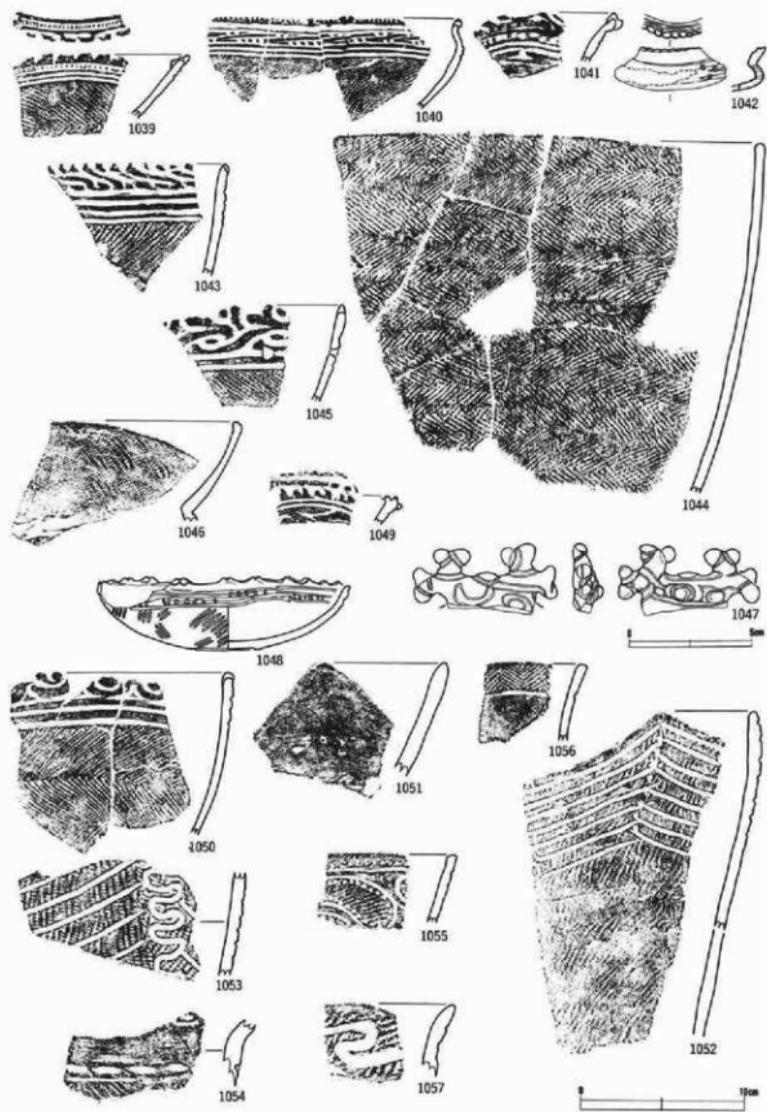
第83図 遺構外出土遺物土器45



第84図 遺構外出土遺物土器46



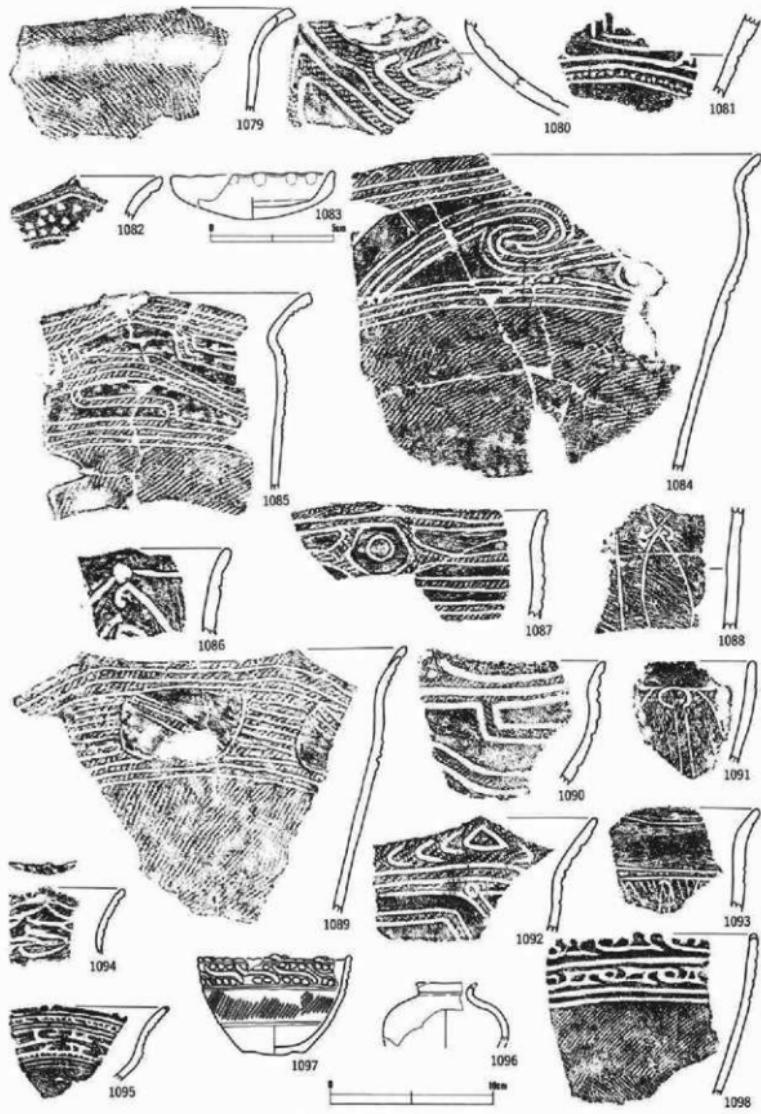
第85図 遺構外出土遺物土器47



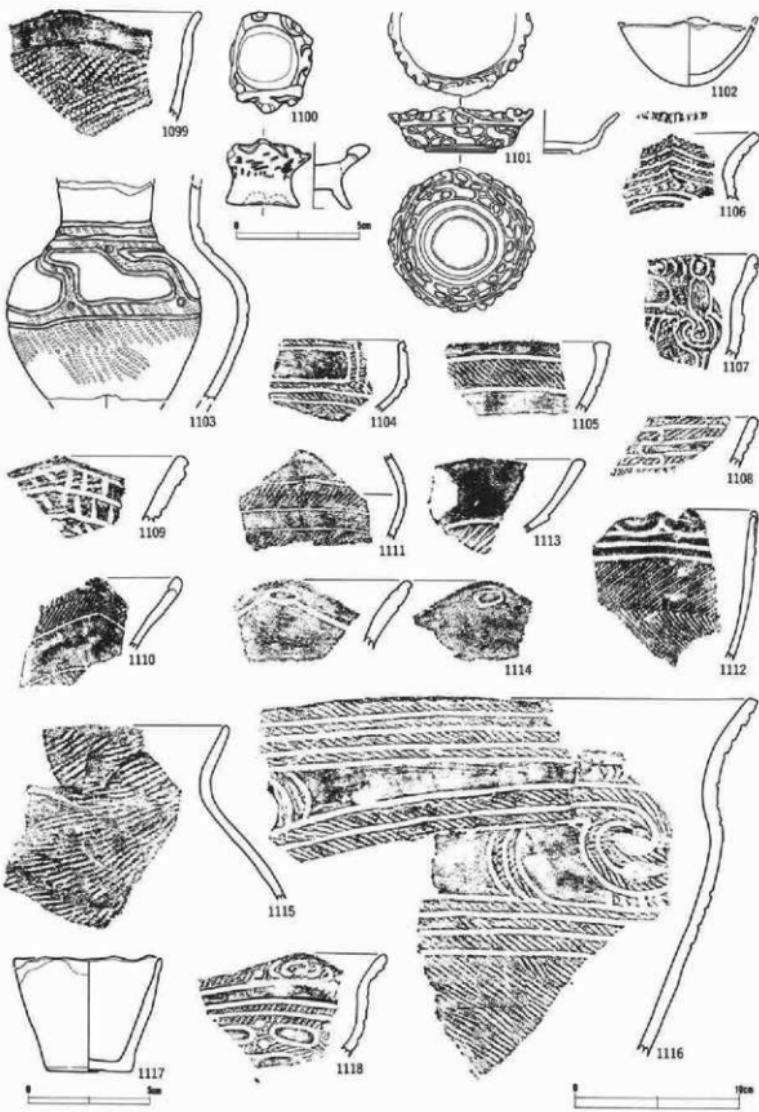
第86図 遺構外出土遺物土器48



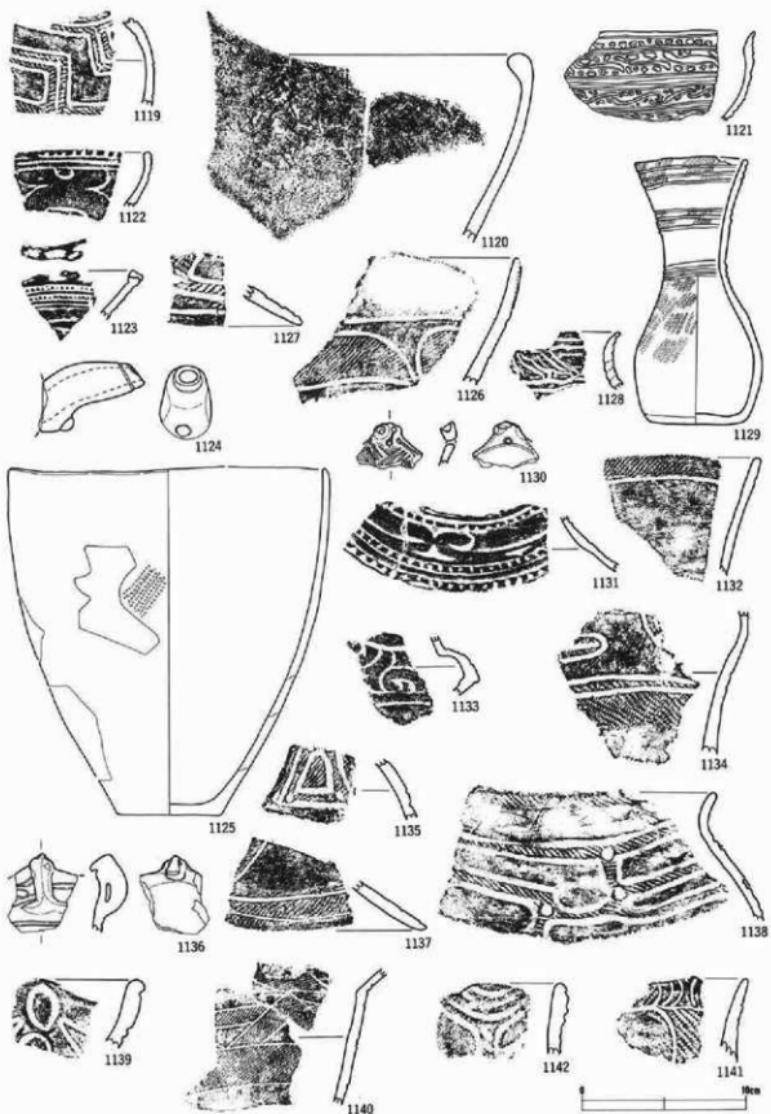
第37図 遺構外出土遺物土器49



第88図 造構外出土遺物土器50



第89図 遺構外出土遺物土器51



第90図 遺構外出土遺物土器 52



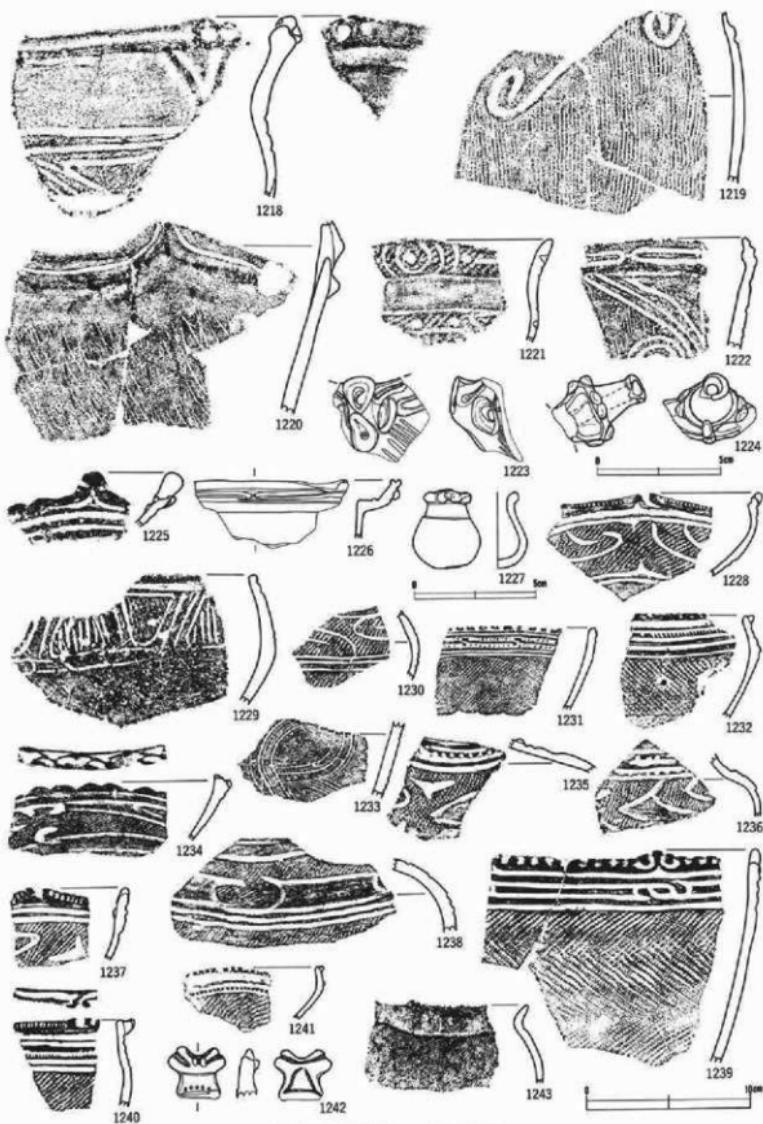
第91図 遺構外出土遺物土器53



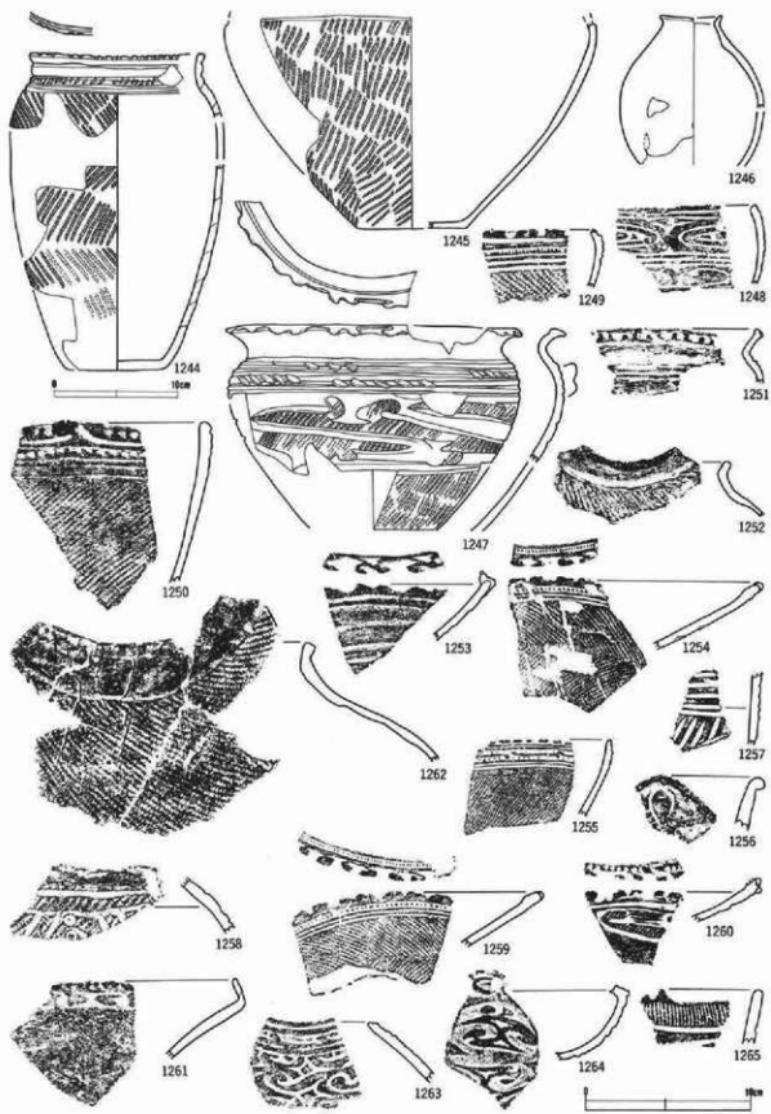
第92図 遺構外出土遺物土器54



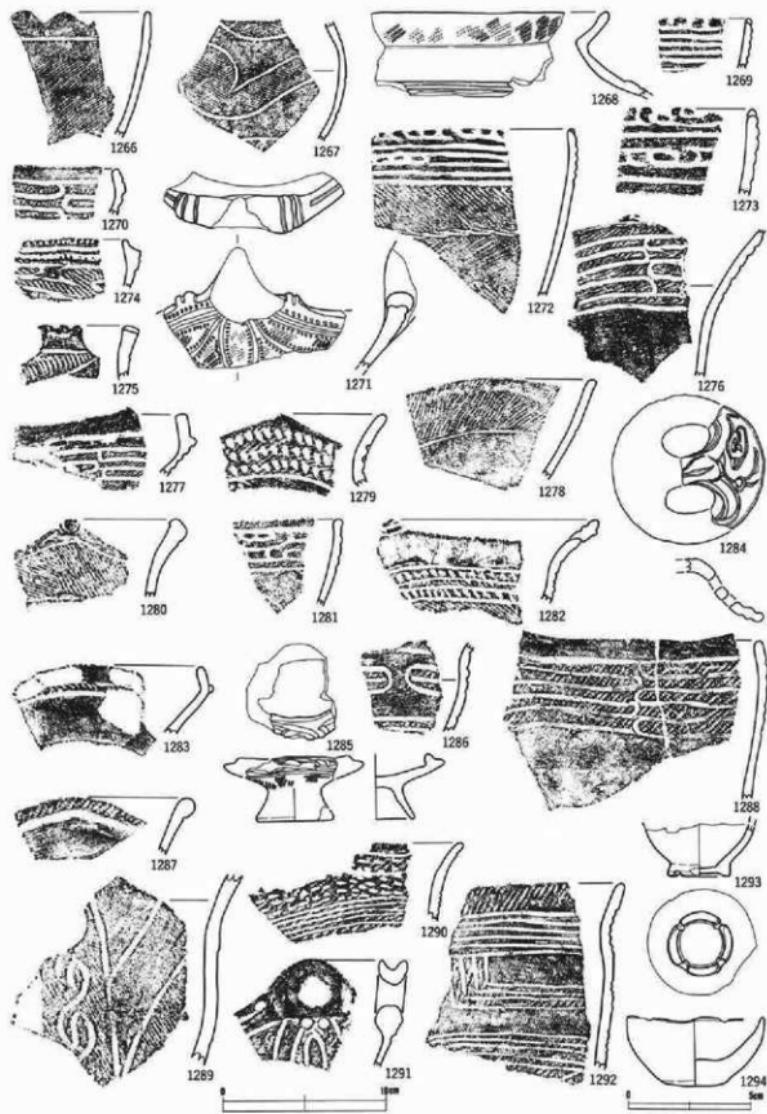
第93図 遺構外出土遺物土器 55



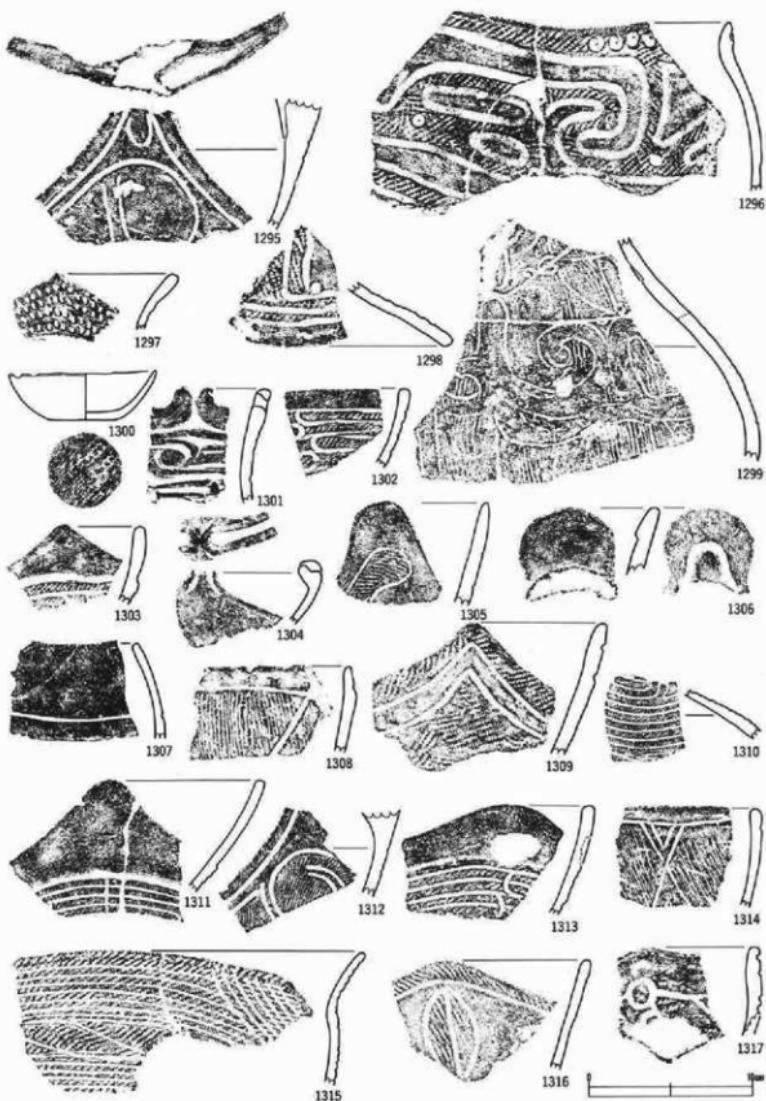
第94図 遺構出土土器 56



第95図 遺構外出土遺物土器 57



第96図 遺構外出土遺物土器58



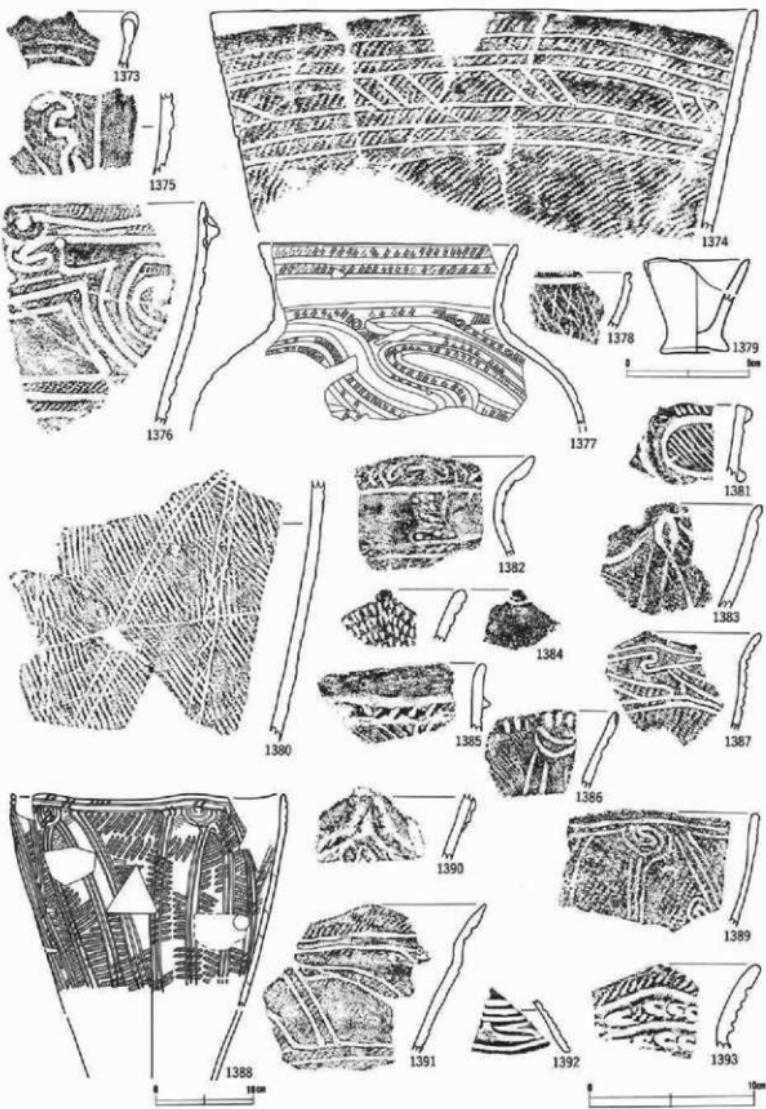
第97図 遺構外出土遺物土器59



第98图 遗构外出土遗物土器60



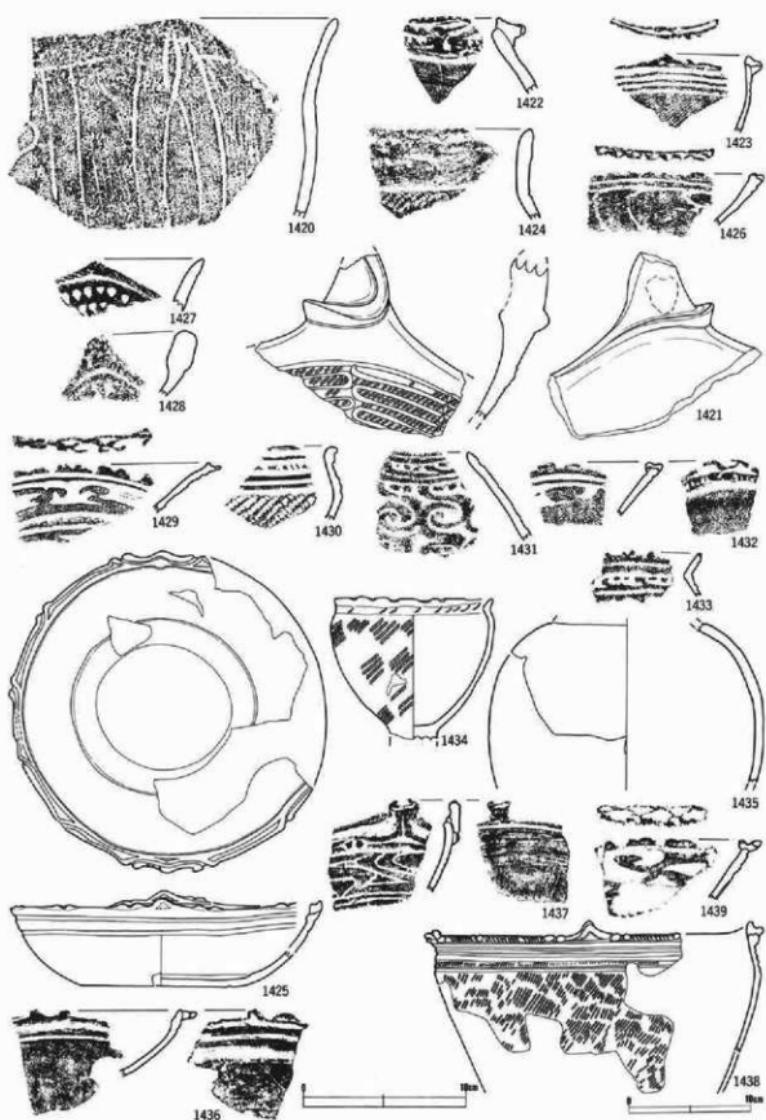
第99図 遺構外出土遺物土器 61



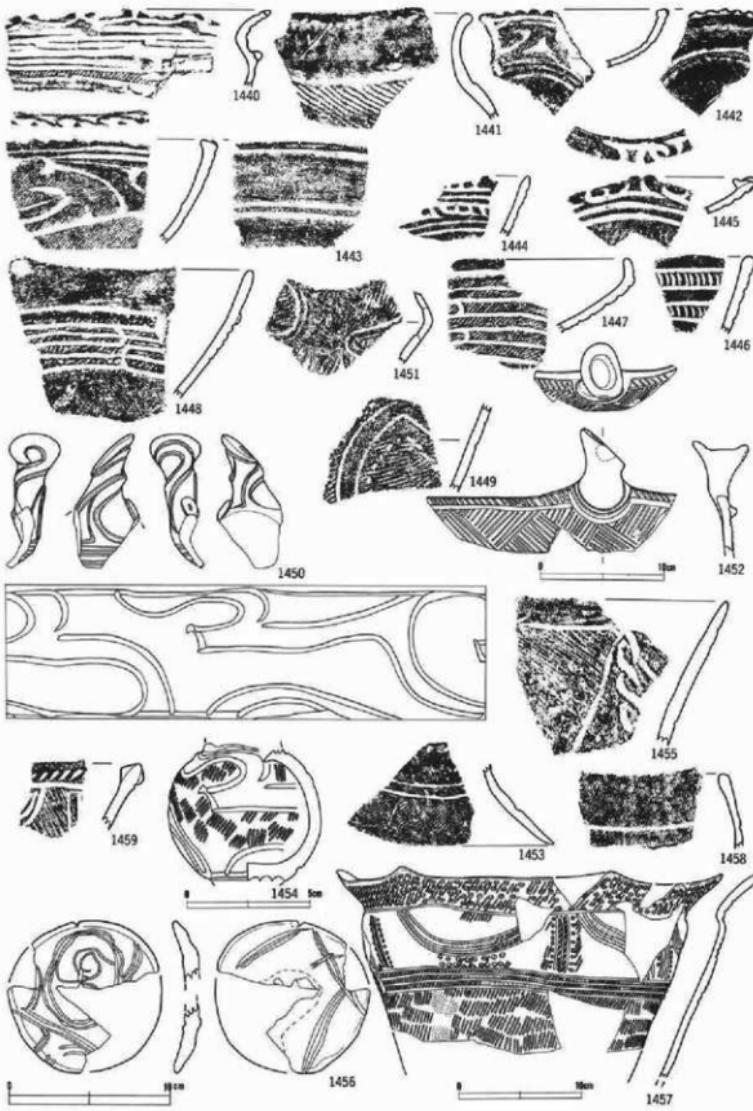
第100図 遺構外出土遺物土器 62



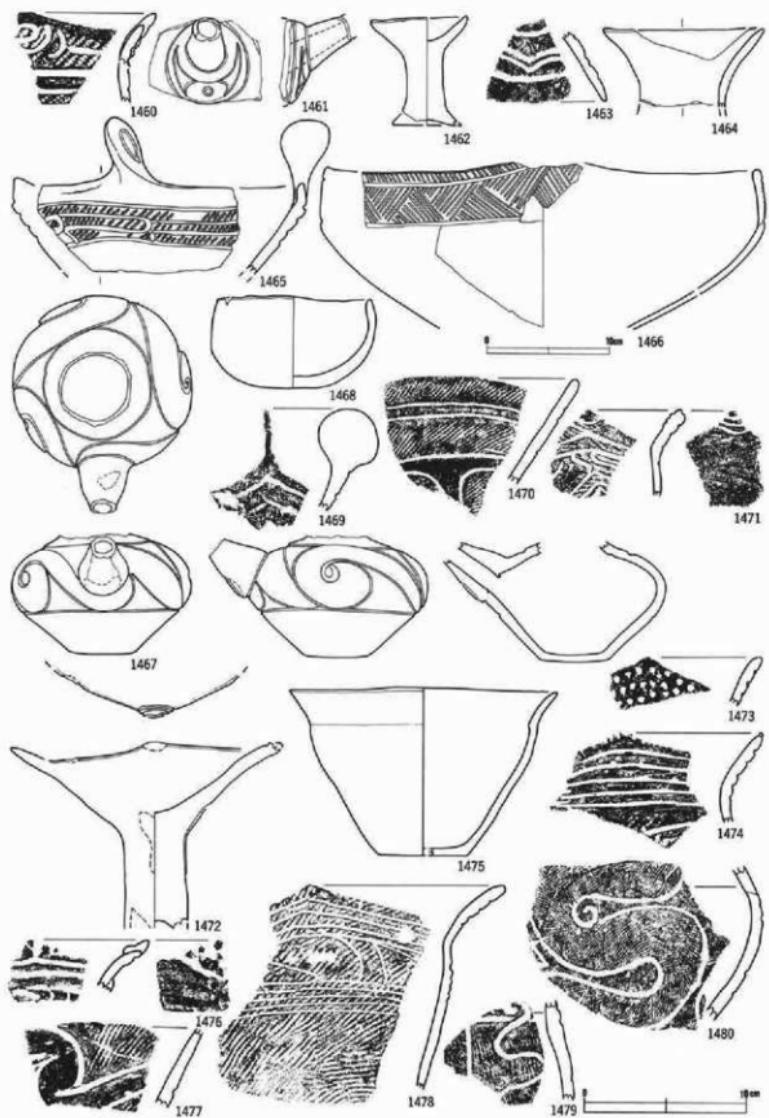
第101図 遺構外出土遺物土器 63



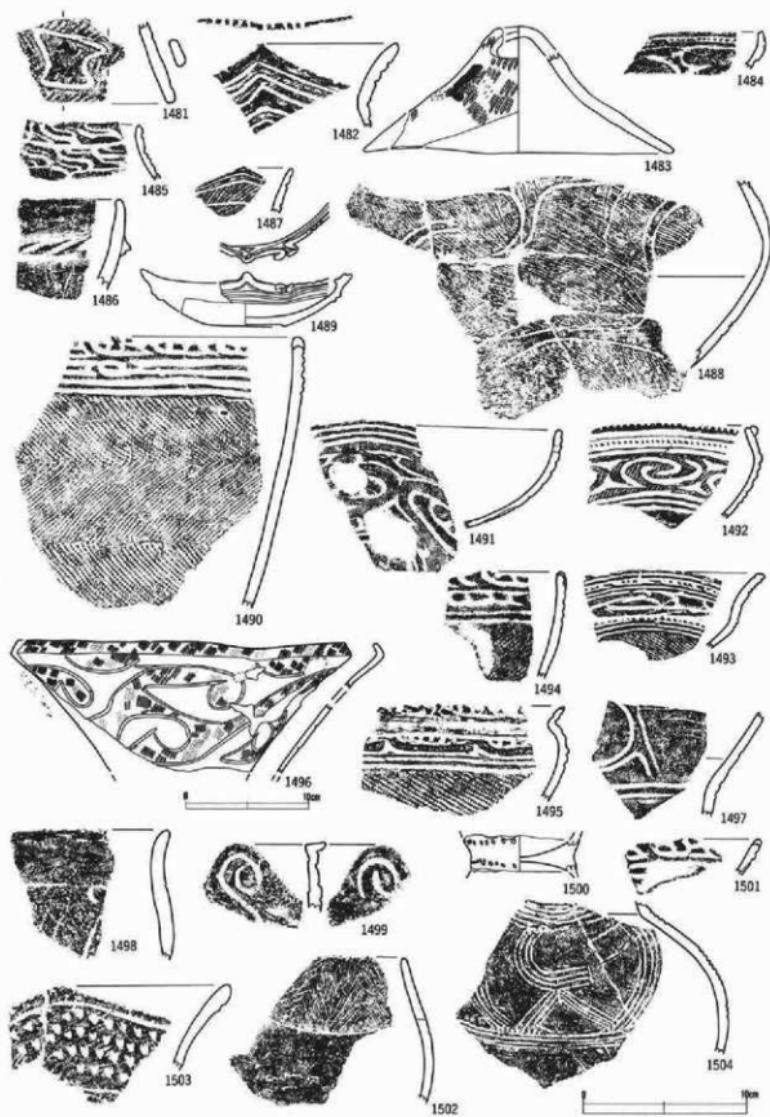
第102図 遺構外出土遺物土器64



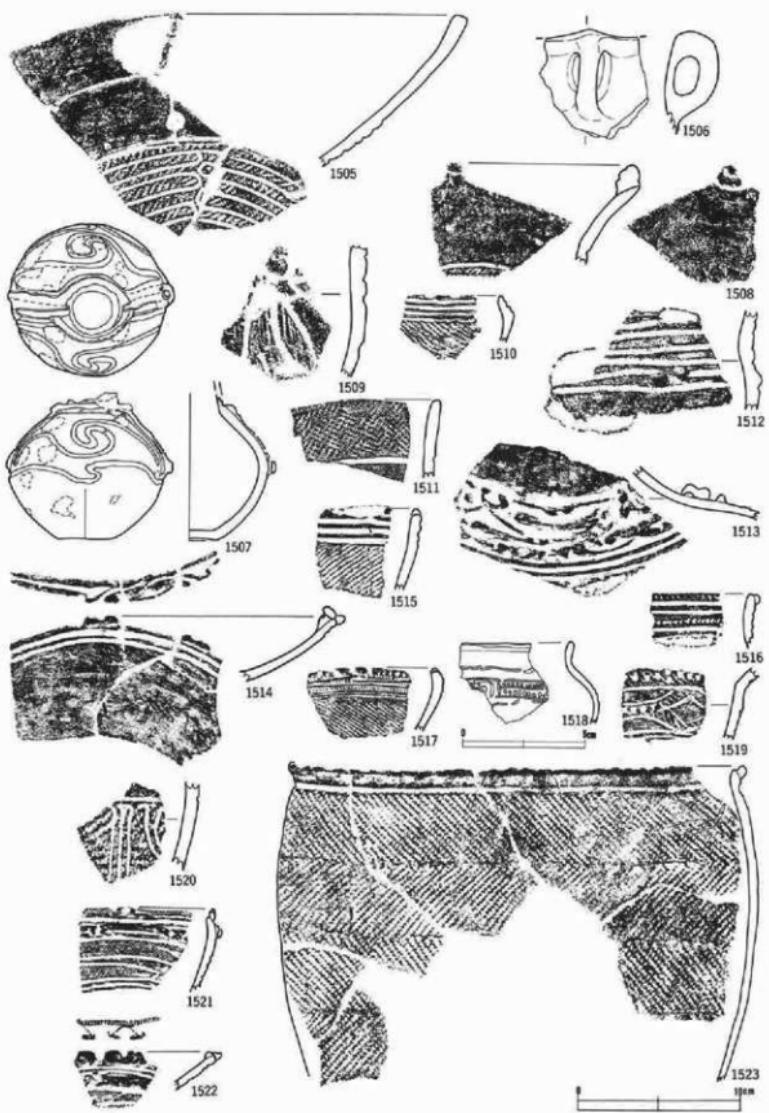
第103図 遺構外出土遺物土器 65



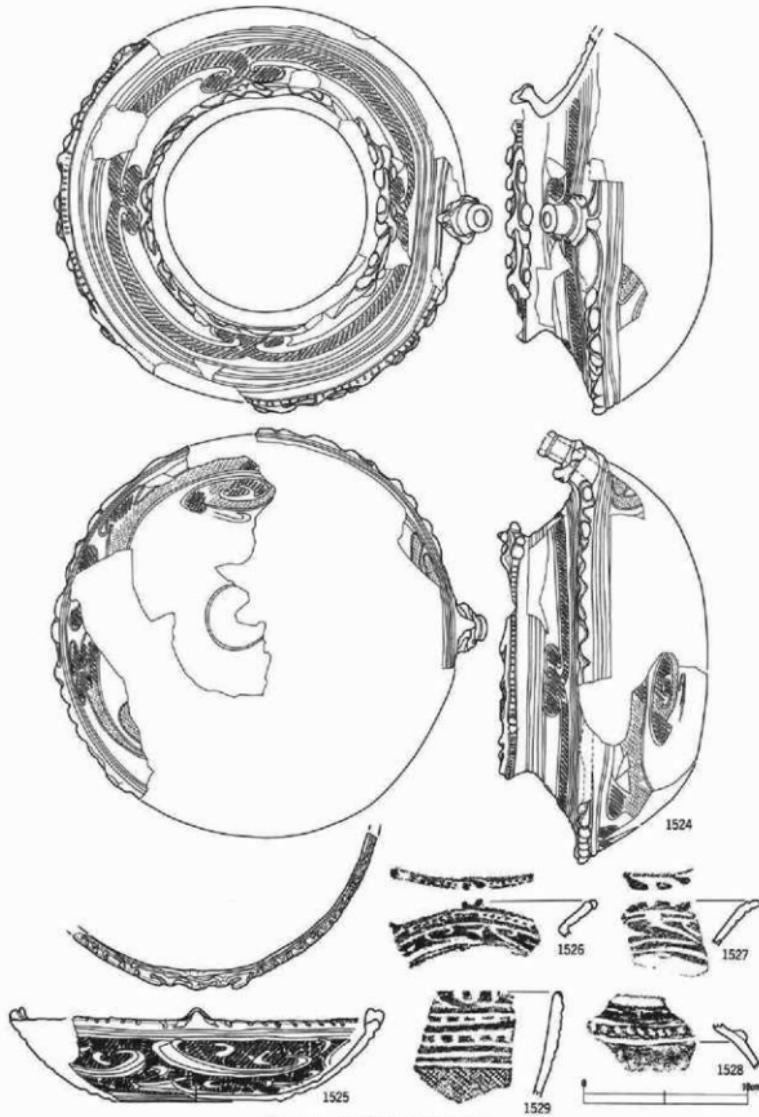
第104図 遺構外出土遺物土器 56



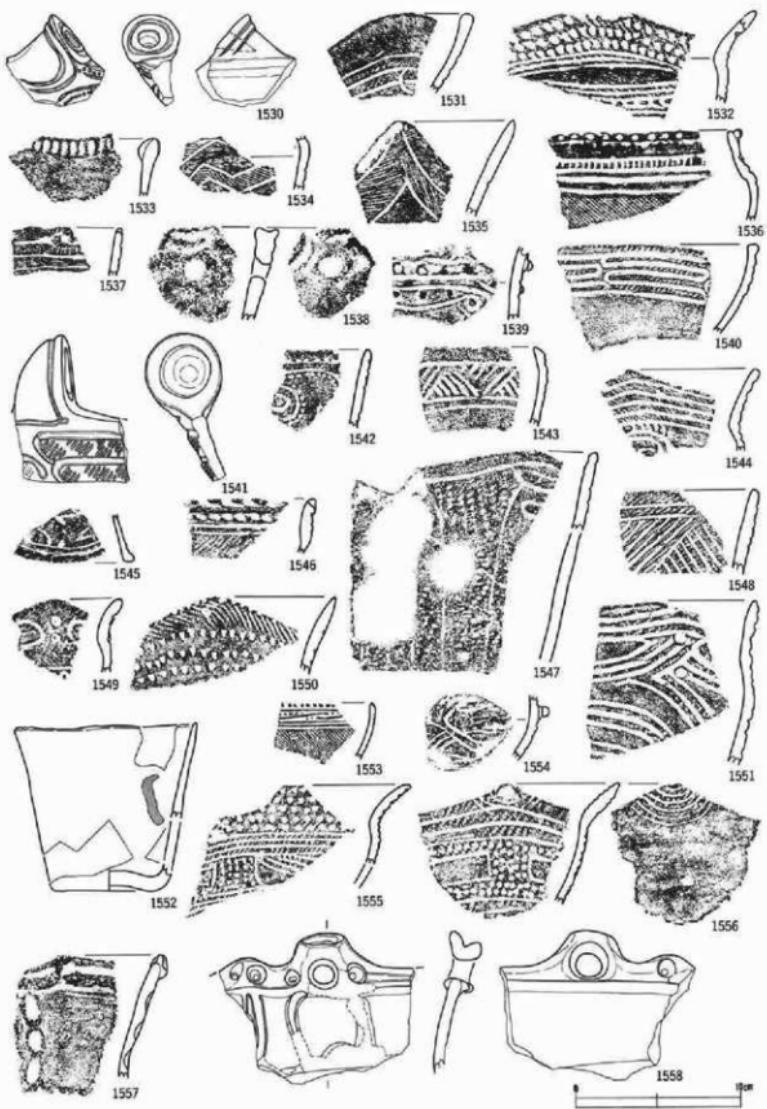
第105図 遺構外出土遺物土器 67



第106図 遺構外出土遺物土器 68



第107図 遺構外出土遺物土器69



第108図 遺構外出土遺物土器 70



第109図 遺構出土土器71



第110図 遺構外出土遺物土器72



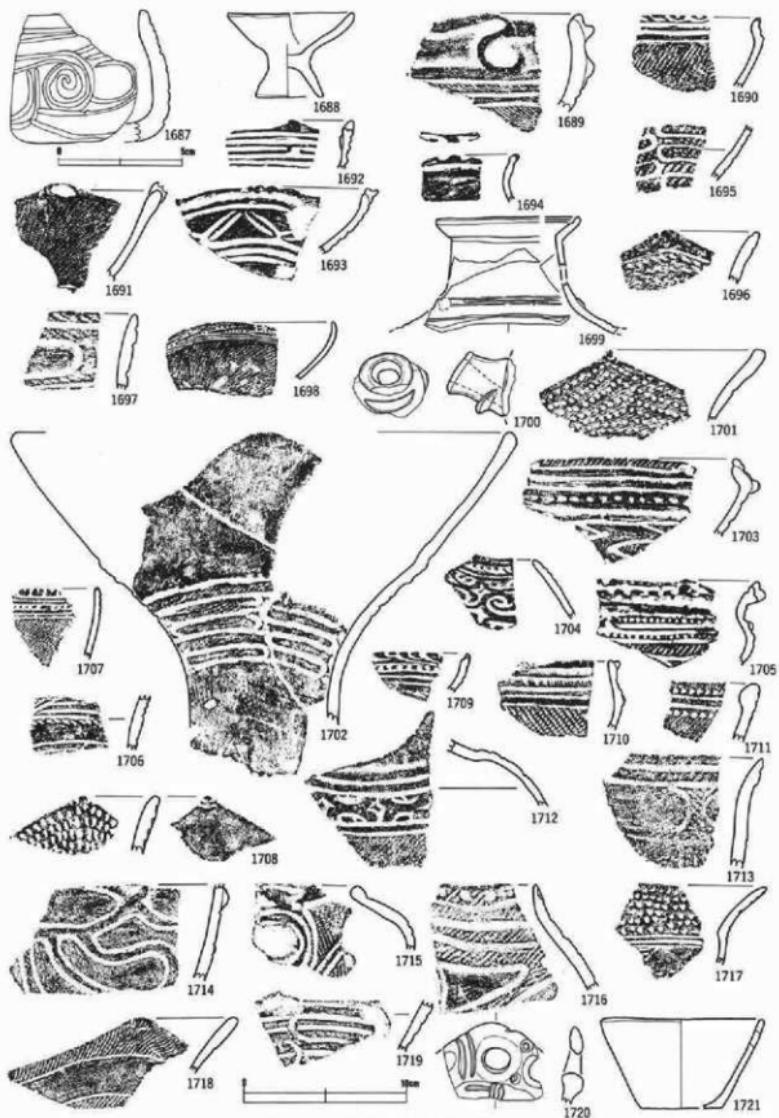
第111図 遺構外出土遺物土器73



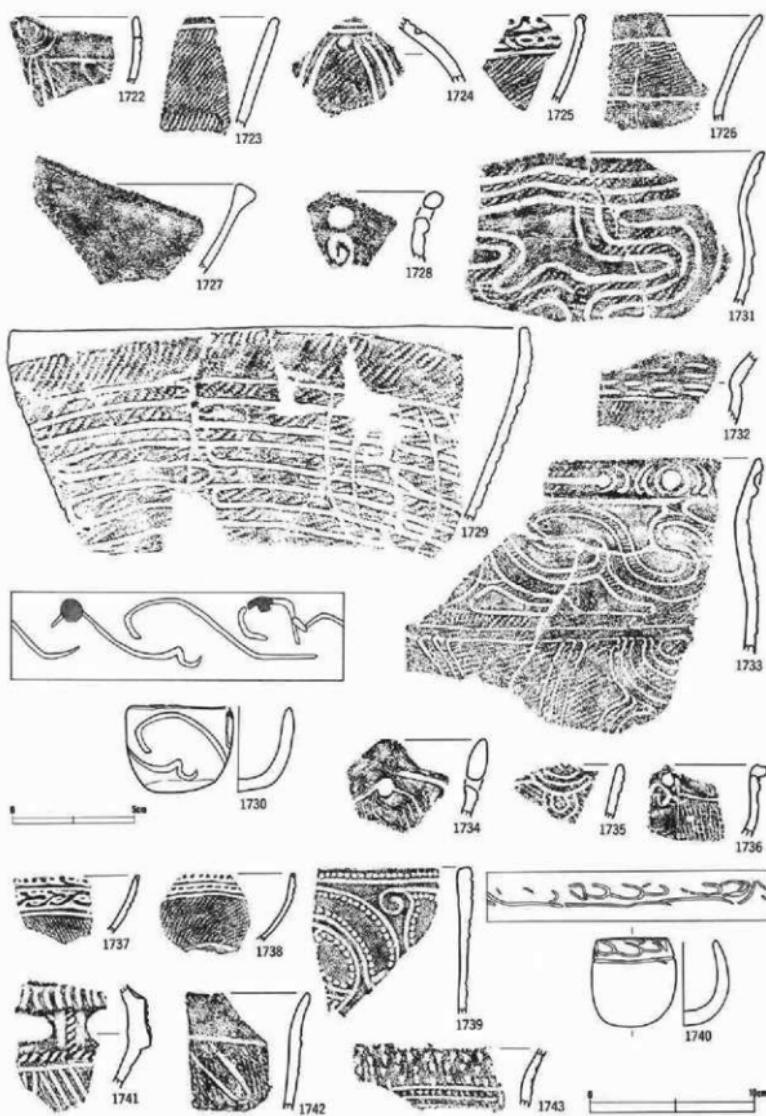
第112図 遺構出土土器74



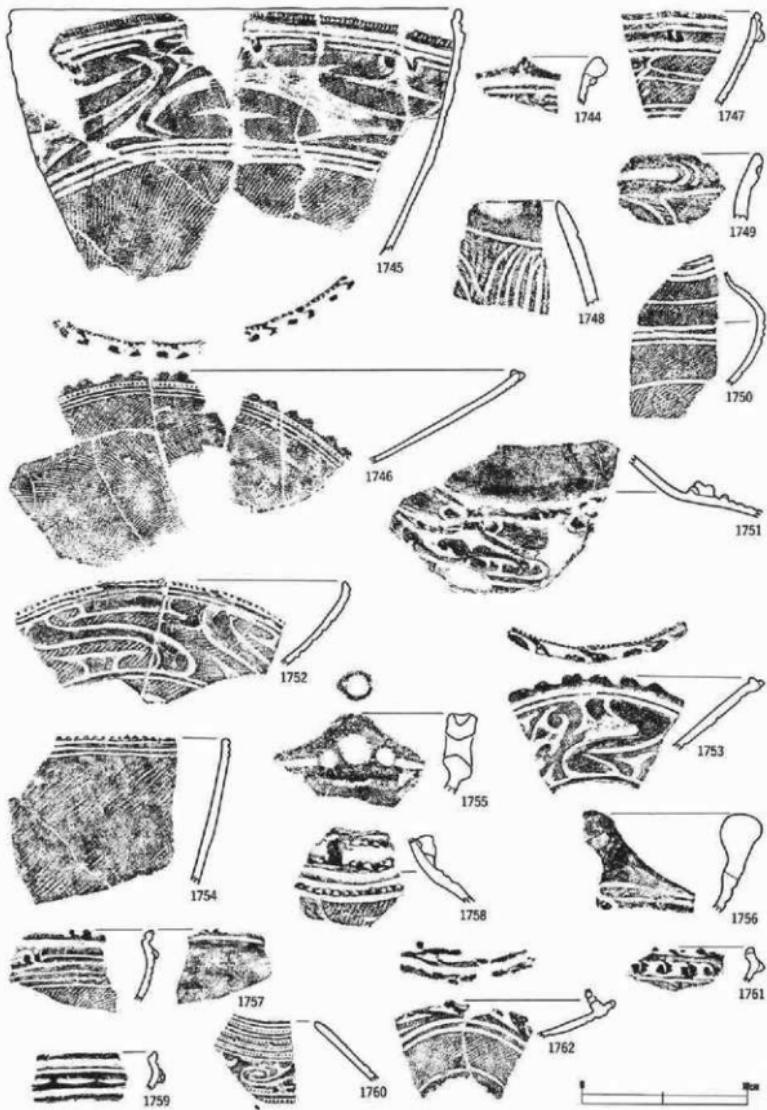
第113图 造构外出土遗物土器75



第114図 遺構外出土遺物土器76



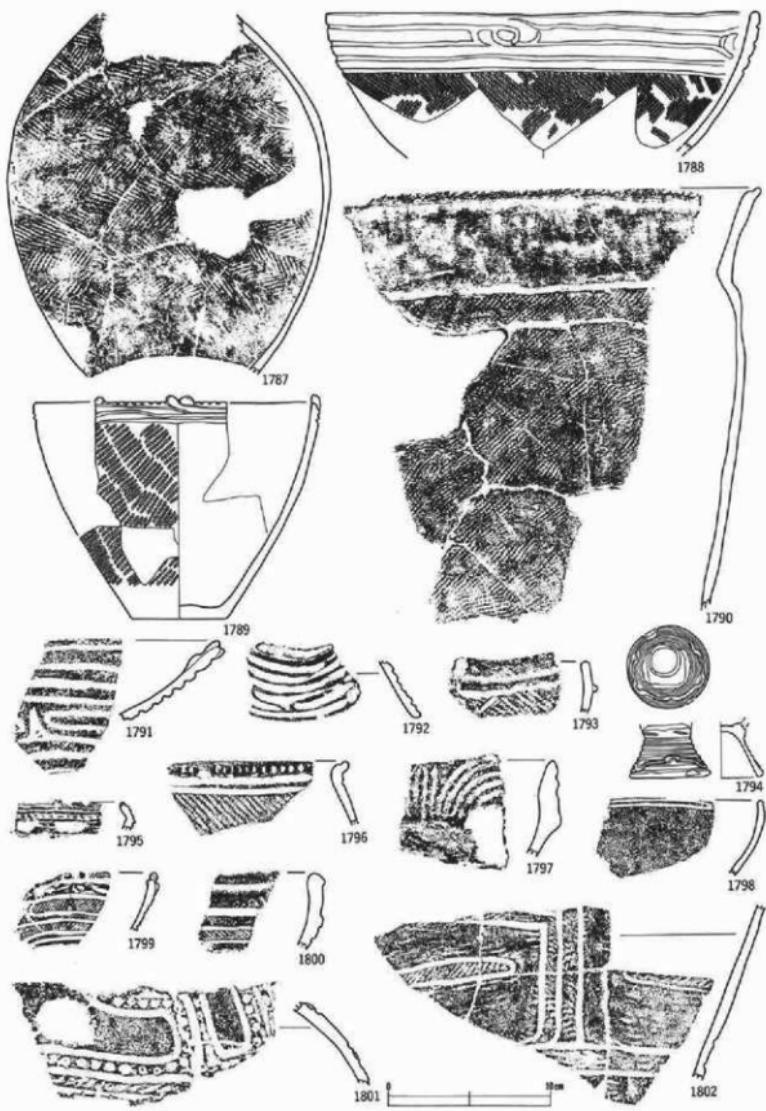
第115图 遗構外出土遺物土器 77



第116圖 遺構外出土遺物土器 78



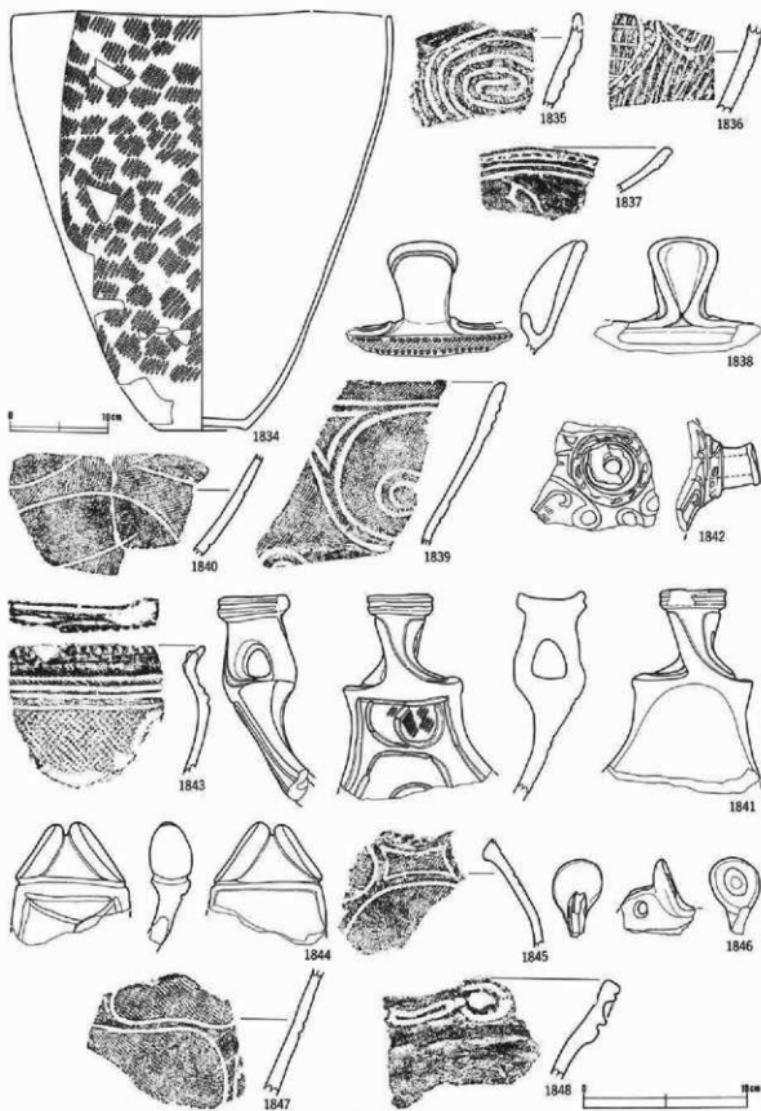
第117図 遺構外出土遺物土器 79



第118図 遺構外出土遺物土器 80



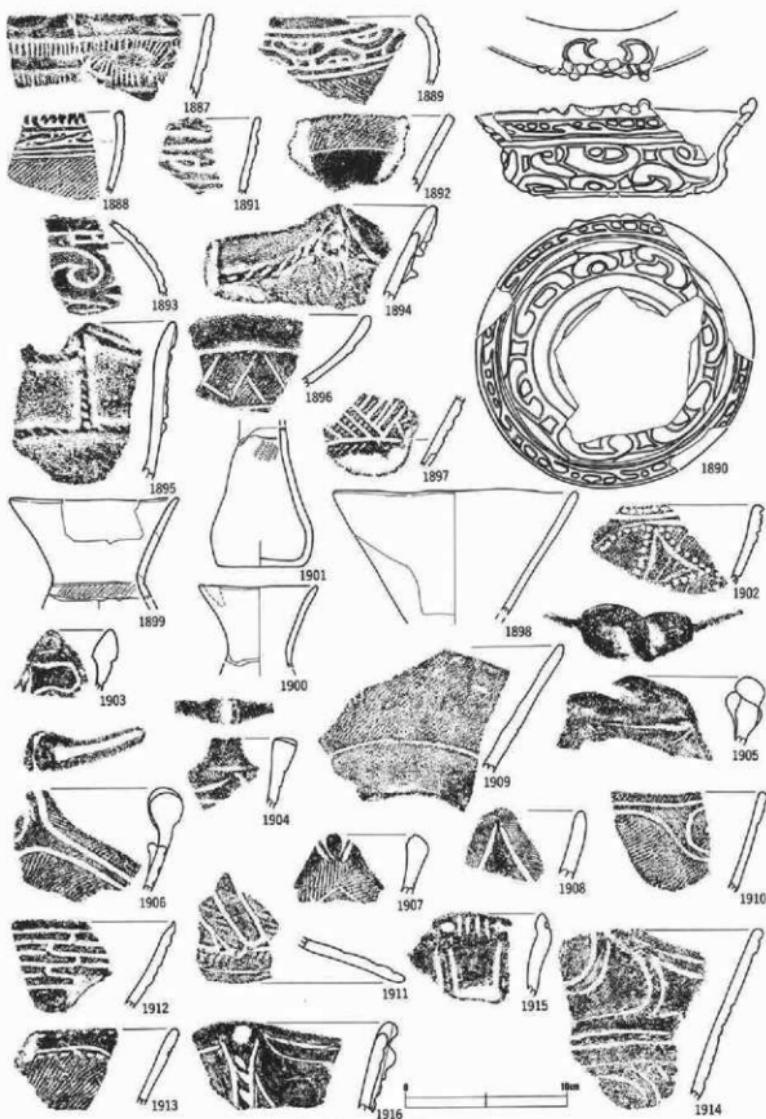
第119図 遺構外出土遺物土器81



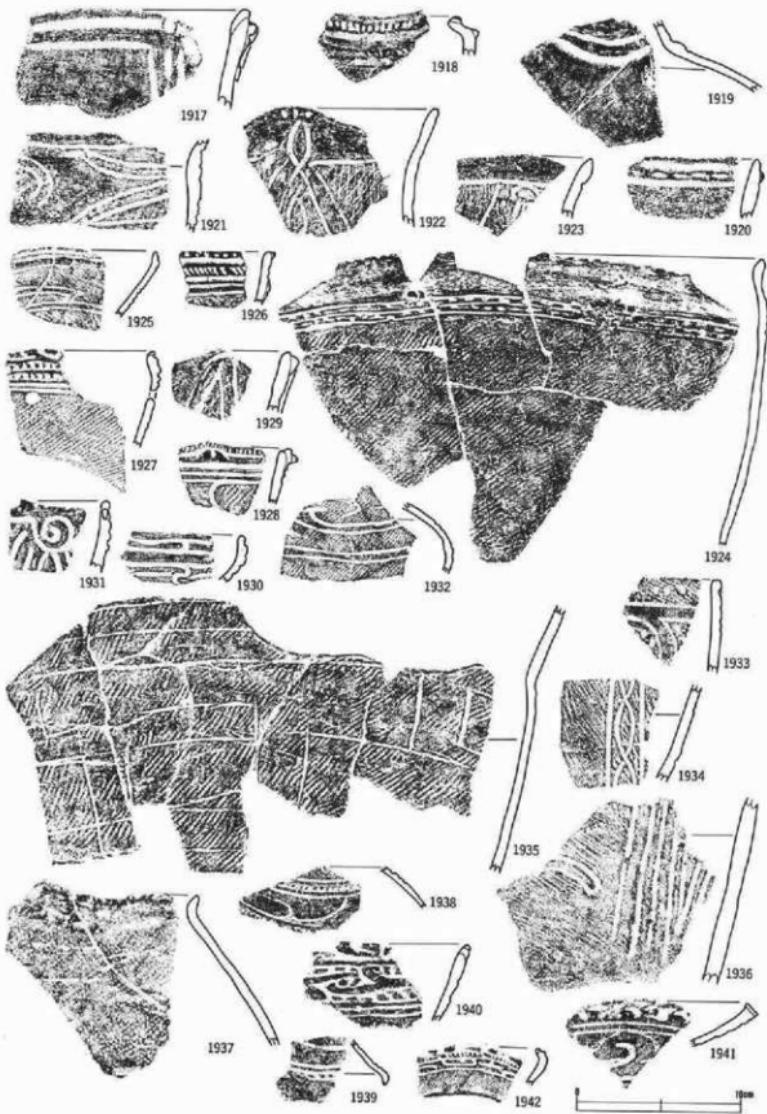
第120図 遺構外出土遺物土器 82



第121図 遺構出土土器 83



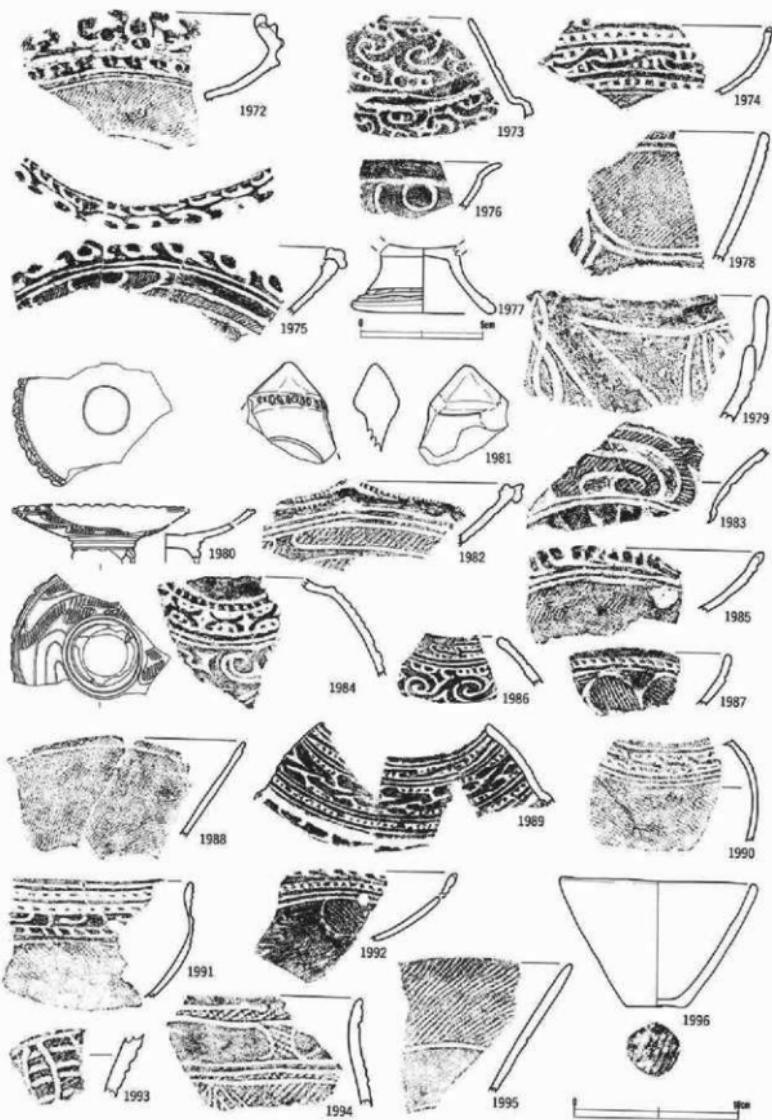
第122図 遺構外出土遺物土器 84



第123図 遺構外出土遺物土器 85



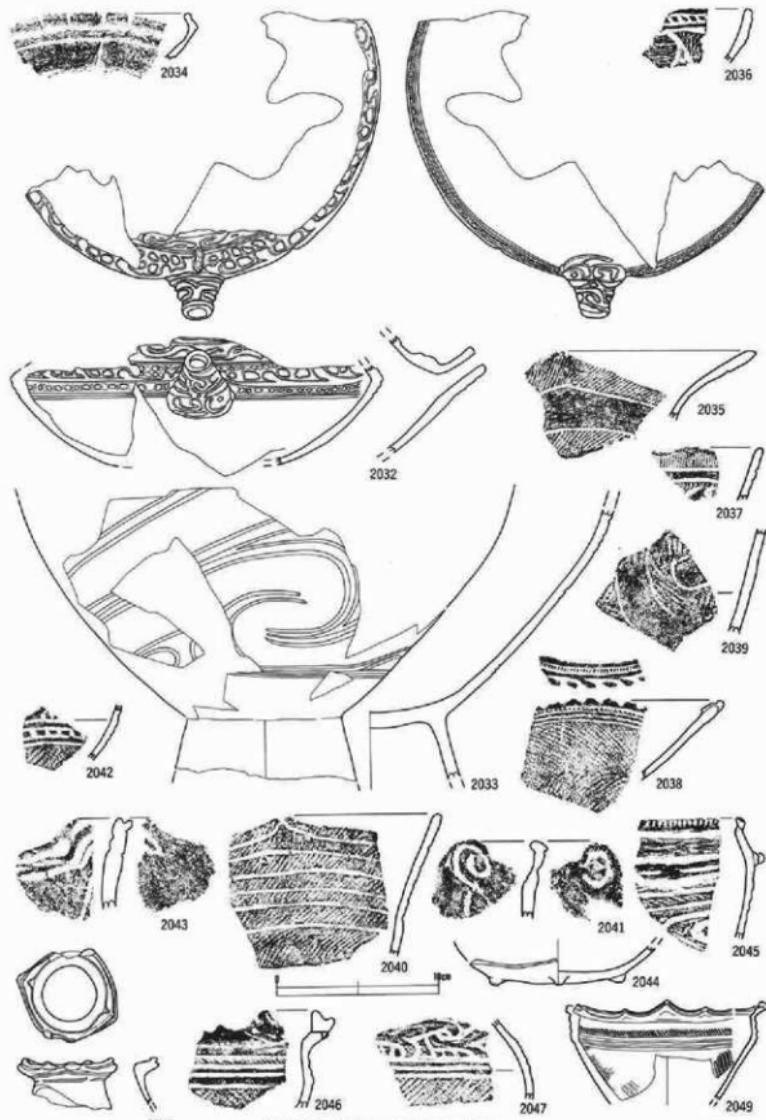
第124図 遺構外出土遺物土器 86



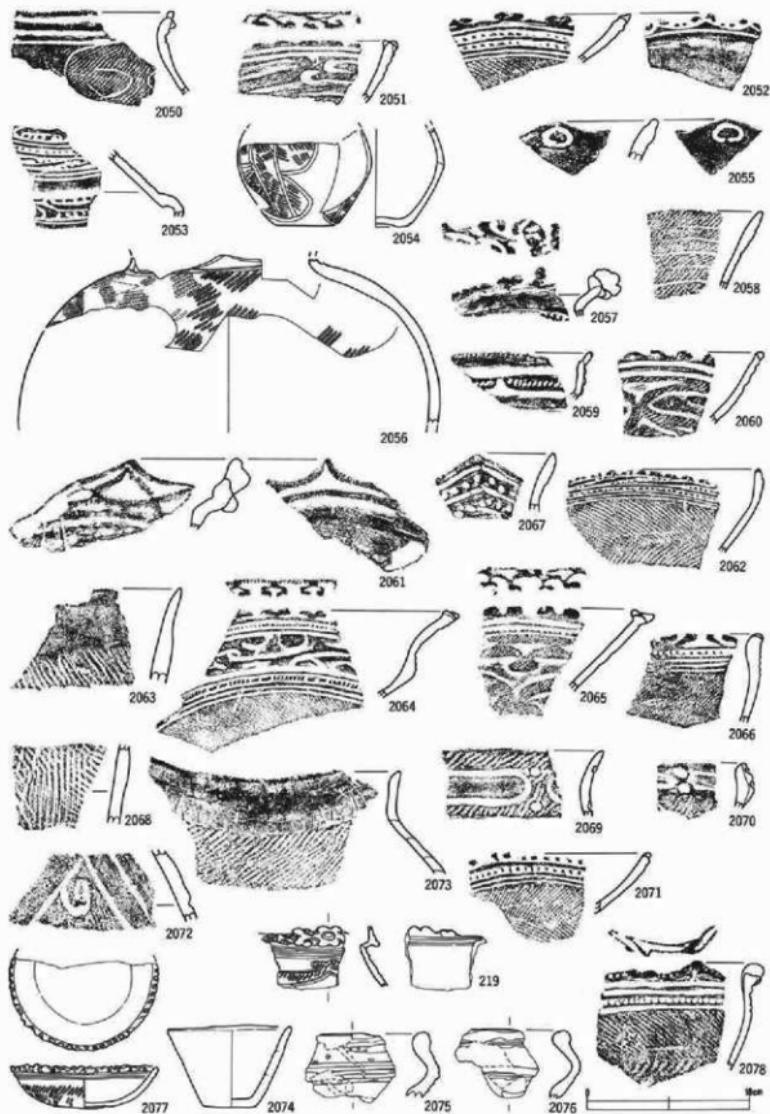
第125図 遺構出土遺物土器 87



第126図 遺構外出土遺物土器 88



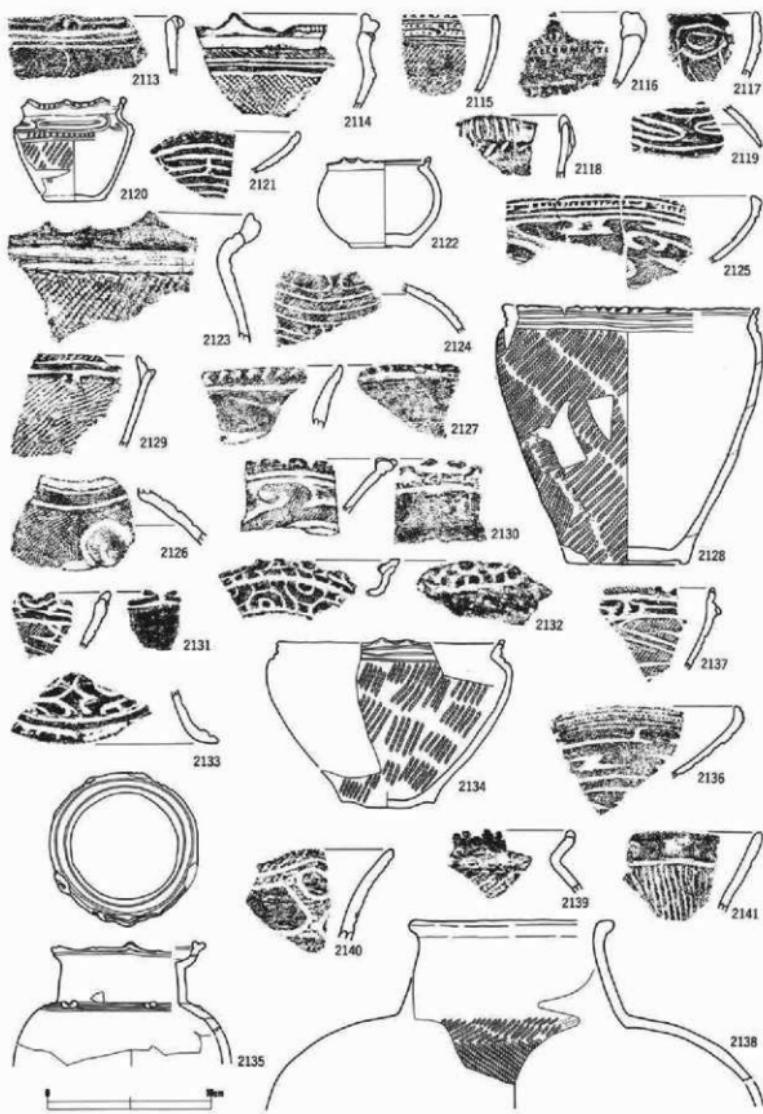
第127図 遺構外出土遺物土器89



第128図 遺構外出土遺物土器 90



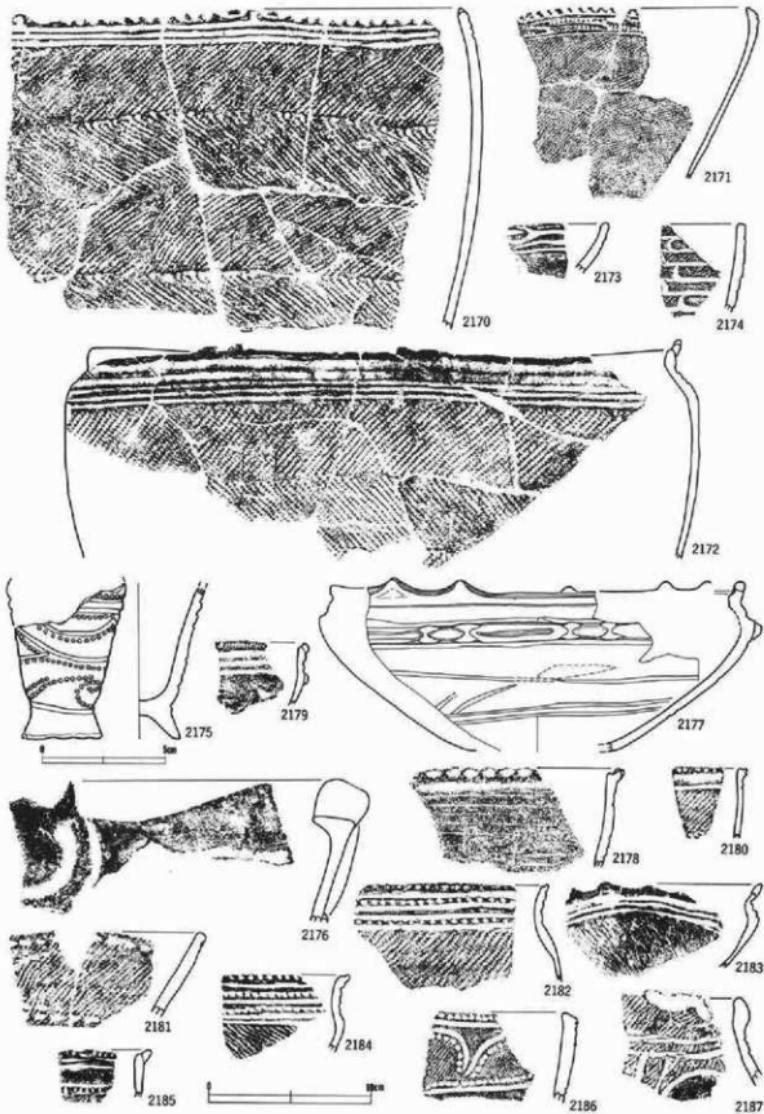
第129図 遺構外出土遺物土器 91



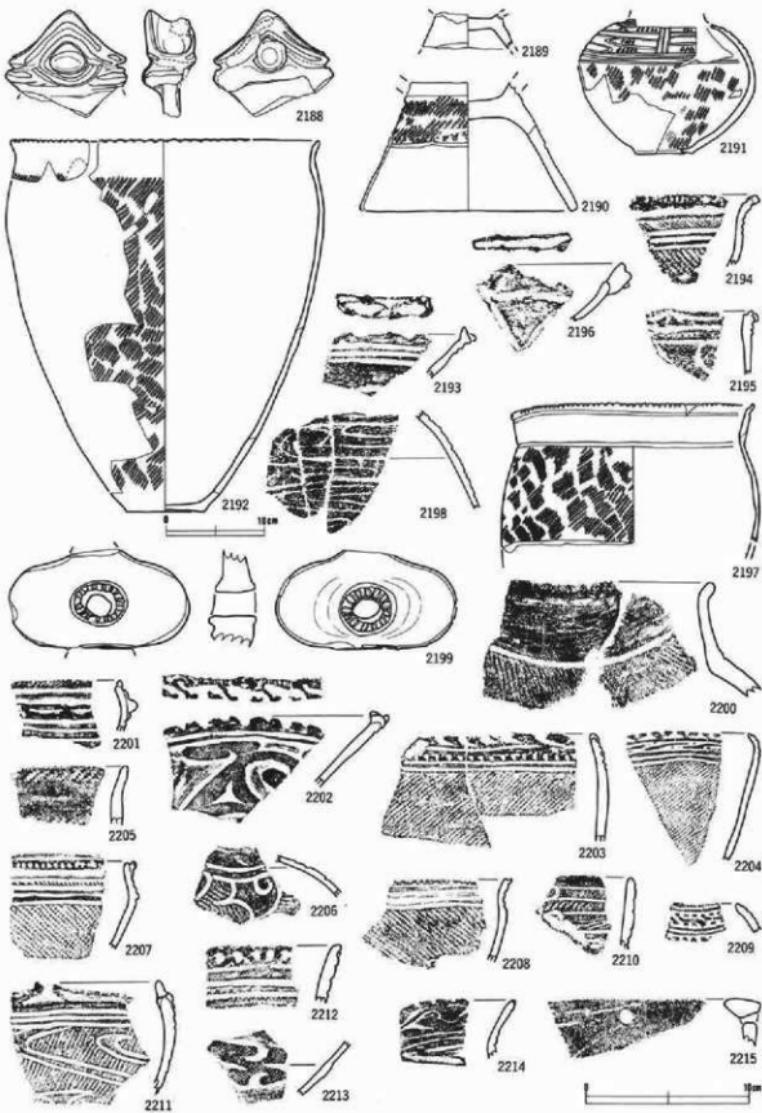
第130図 遺構外出土遺物土器92



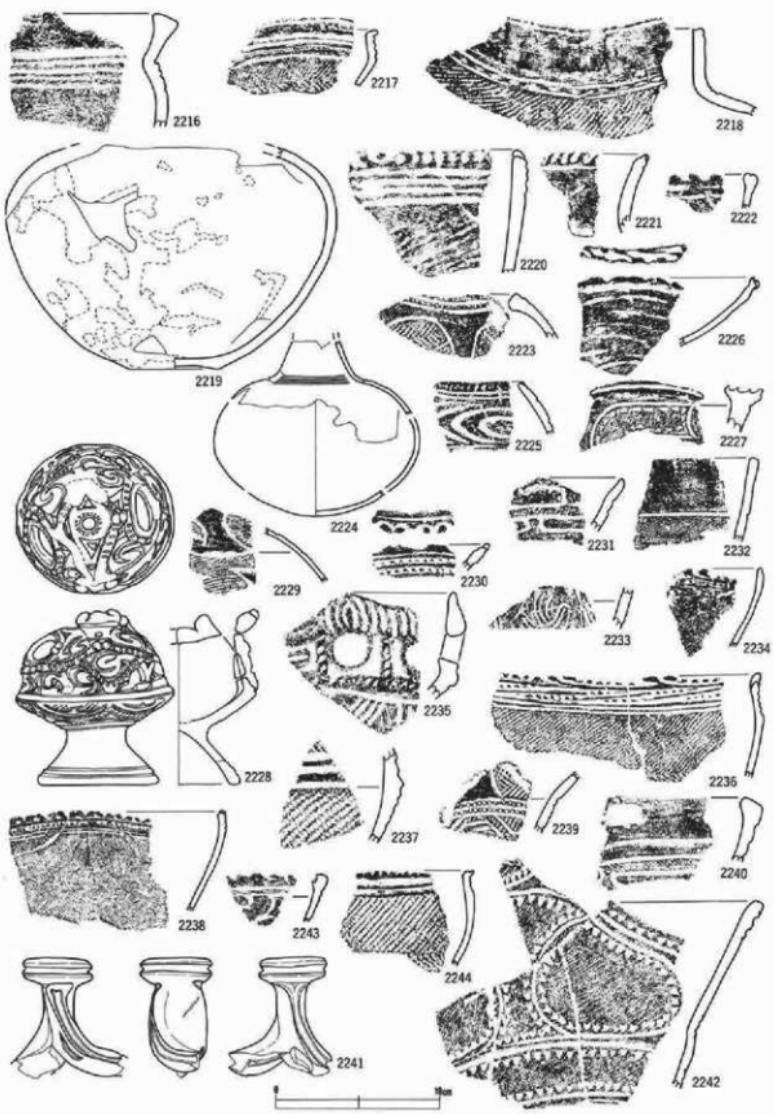
第131図 遺構外出土遺物土器 93



第132圖 遺構外出土遺物土器 94



第133図 遺構外出土遺物土器 95



第134図 遺構外出土遺物土器96



第135図 造橋外出土遺物土器 97



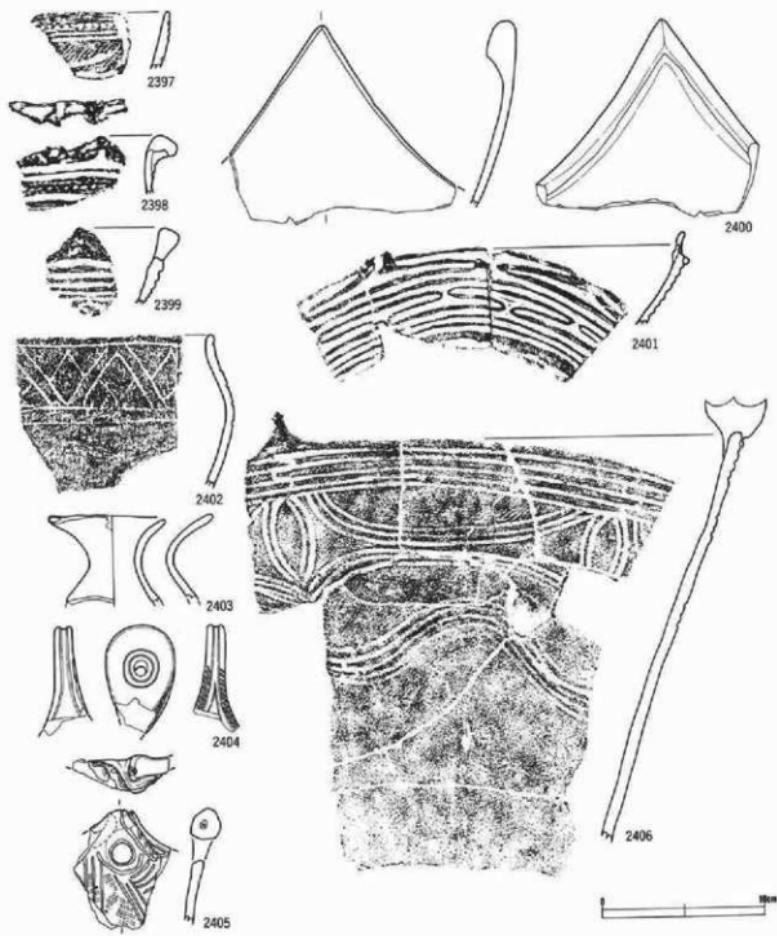
第136図 遺構外出土遺物土器 98



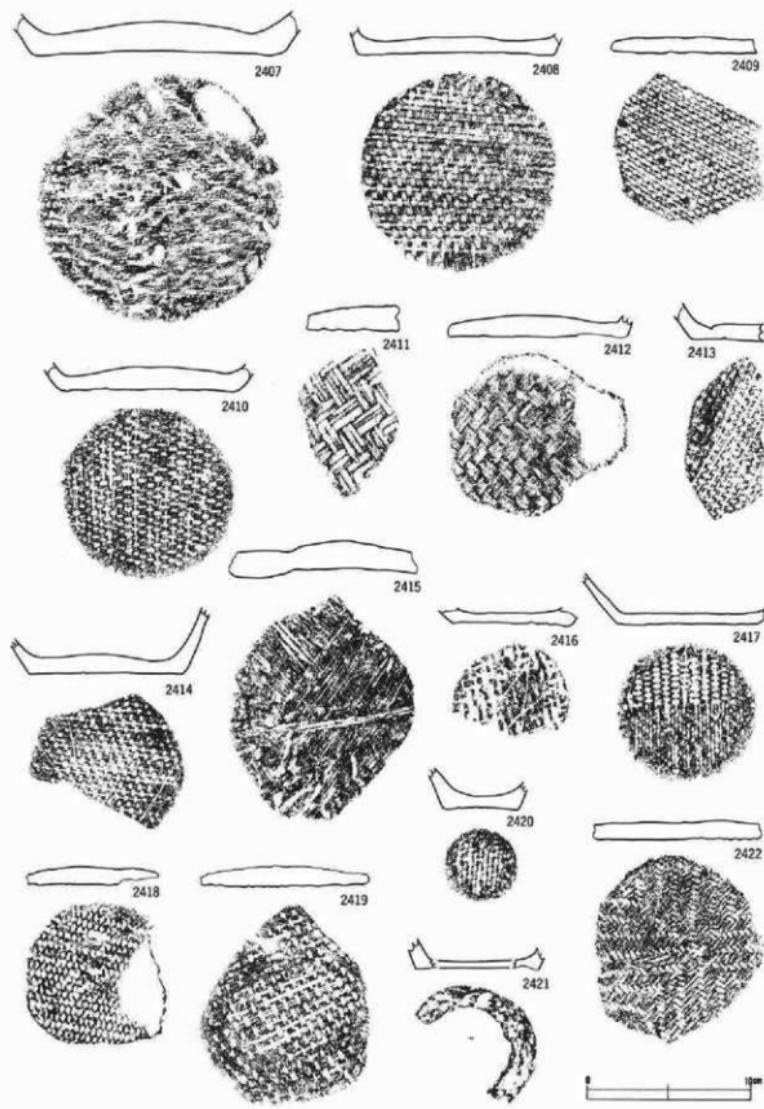
第137図 遺構外出土遺物土器 99



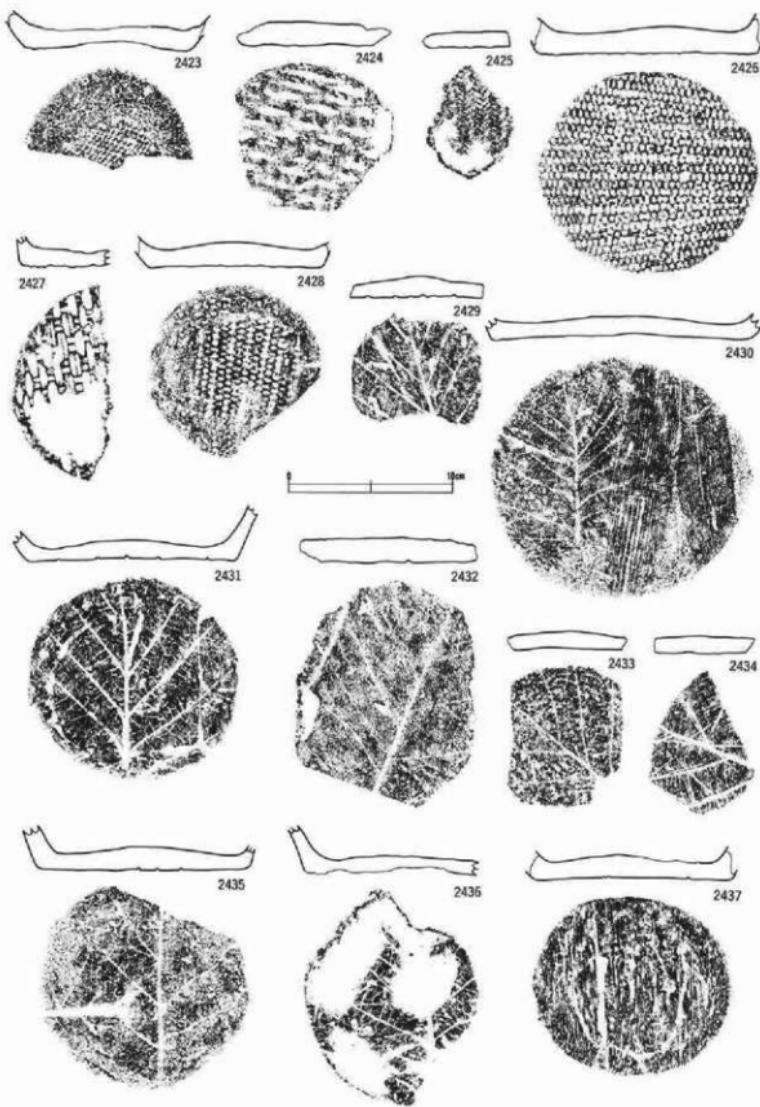
第138図 遺構外出土遺物土器100



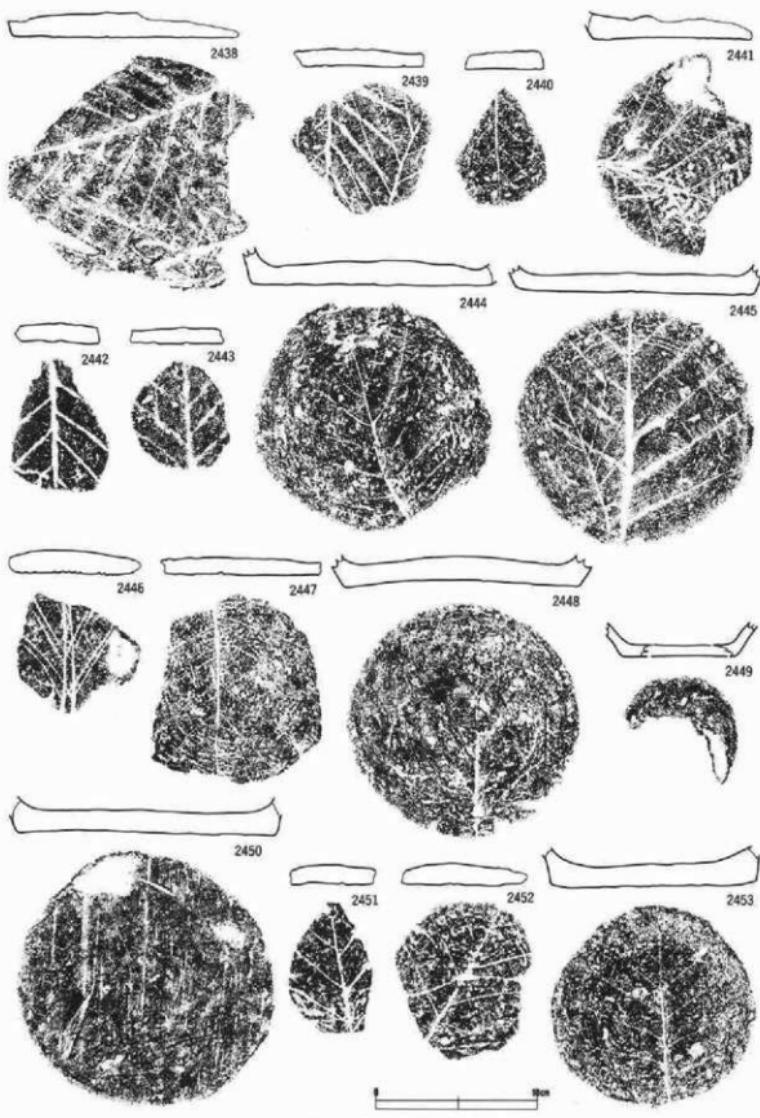
第139図 遺構外出土遺物土器101



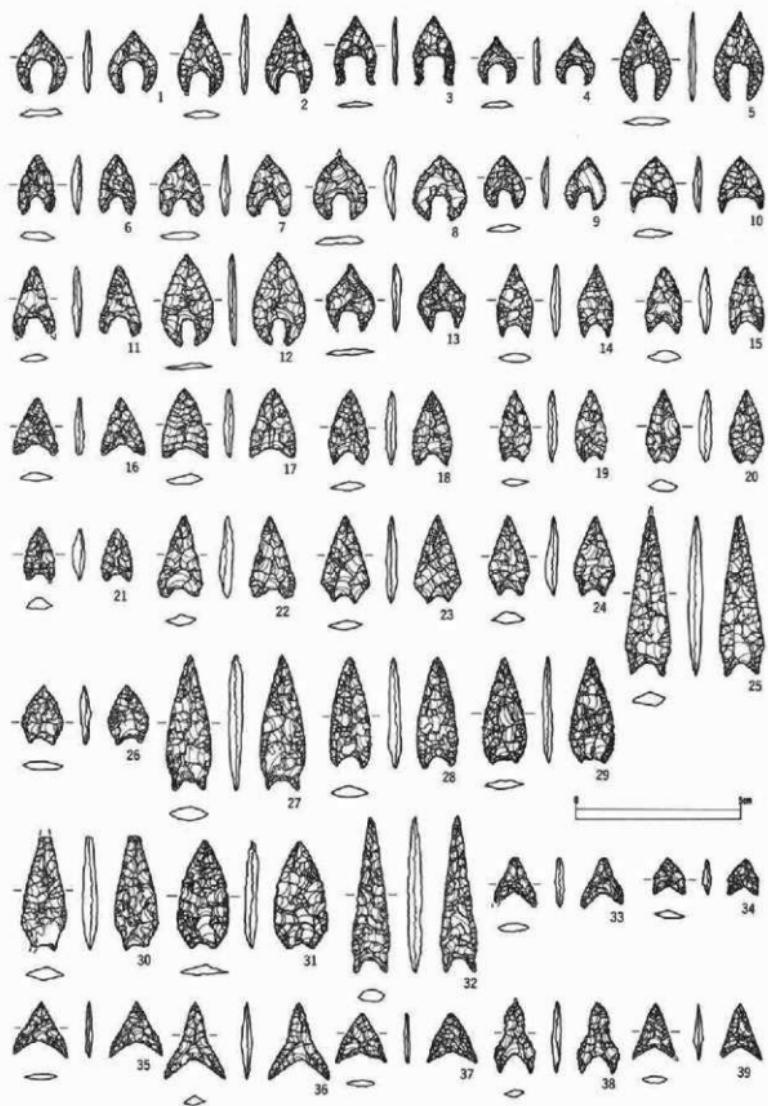
第140図 遺構外出土遺物土器102



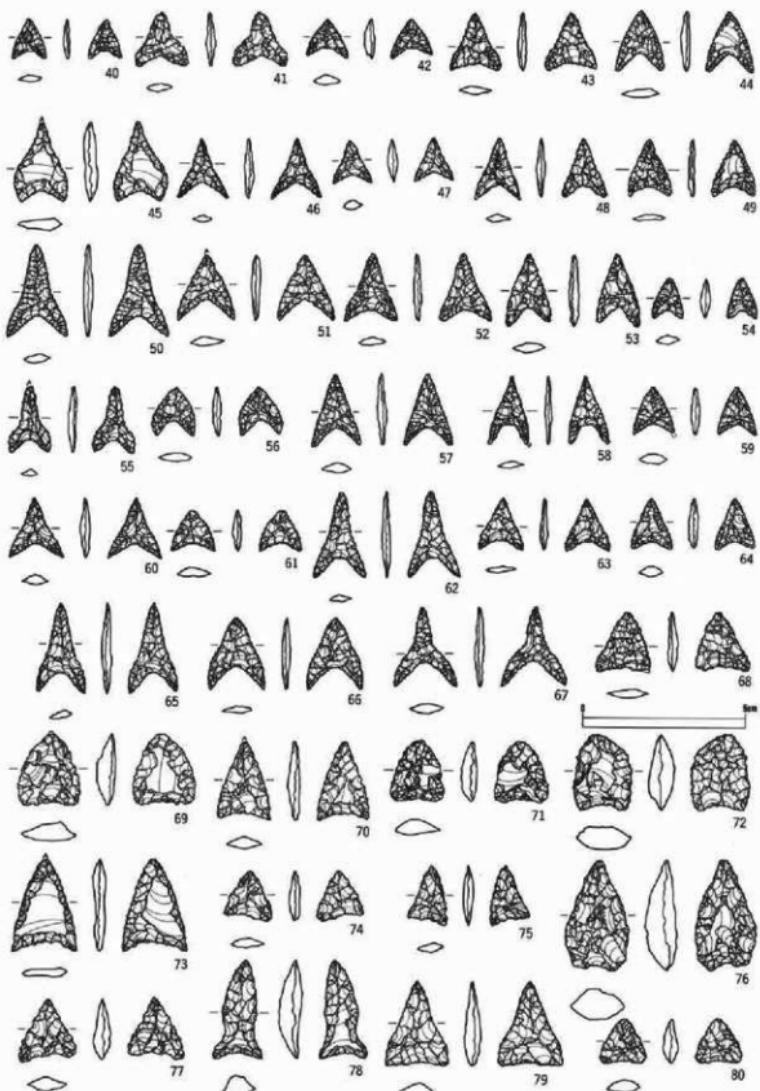
第141図 造構外出土遺物土器 103



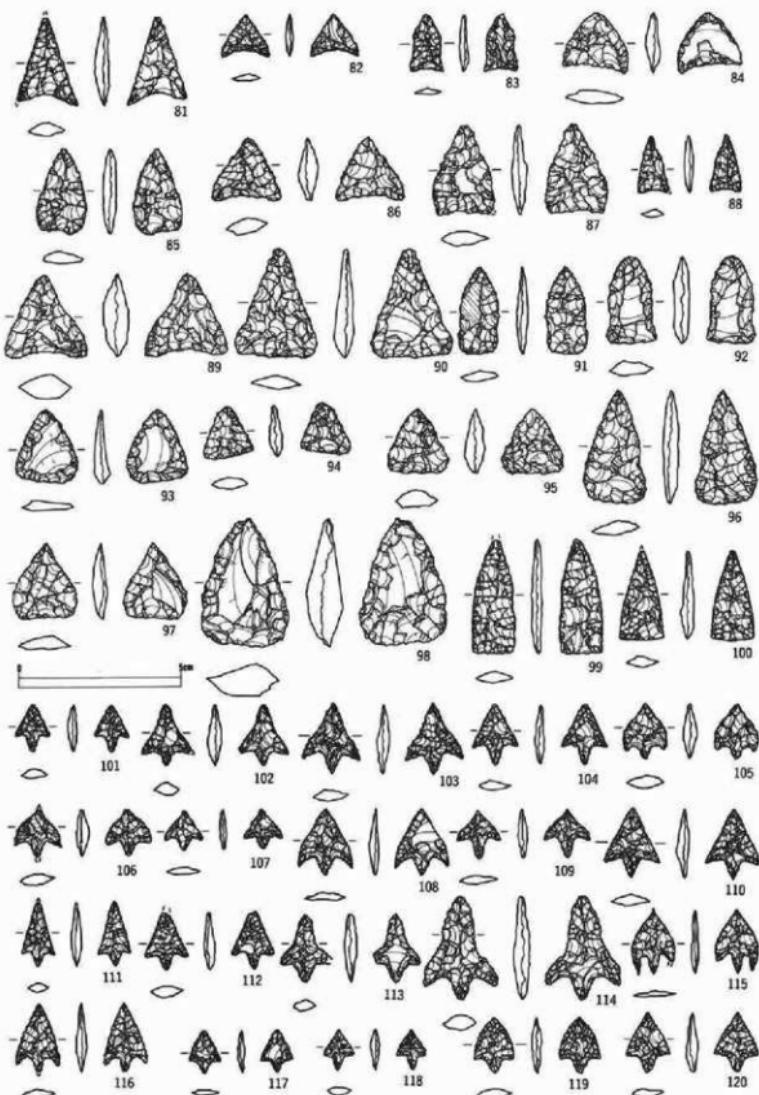
第142図 遺構外出土遺物土器 104



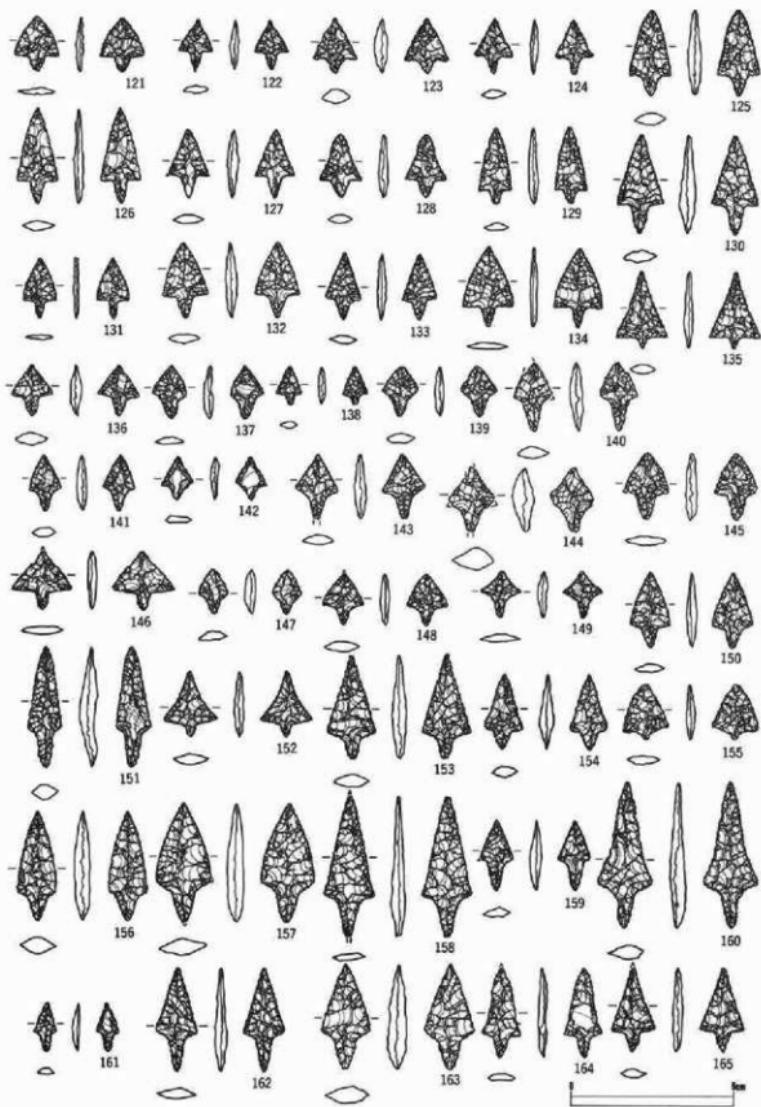
第143図 出土遺物石器 1



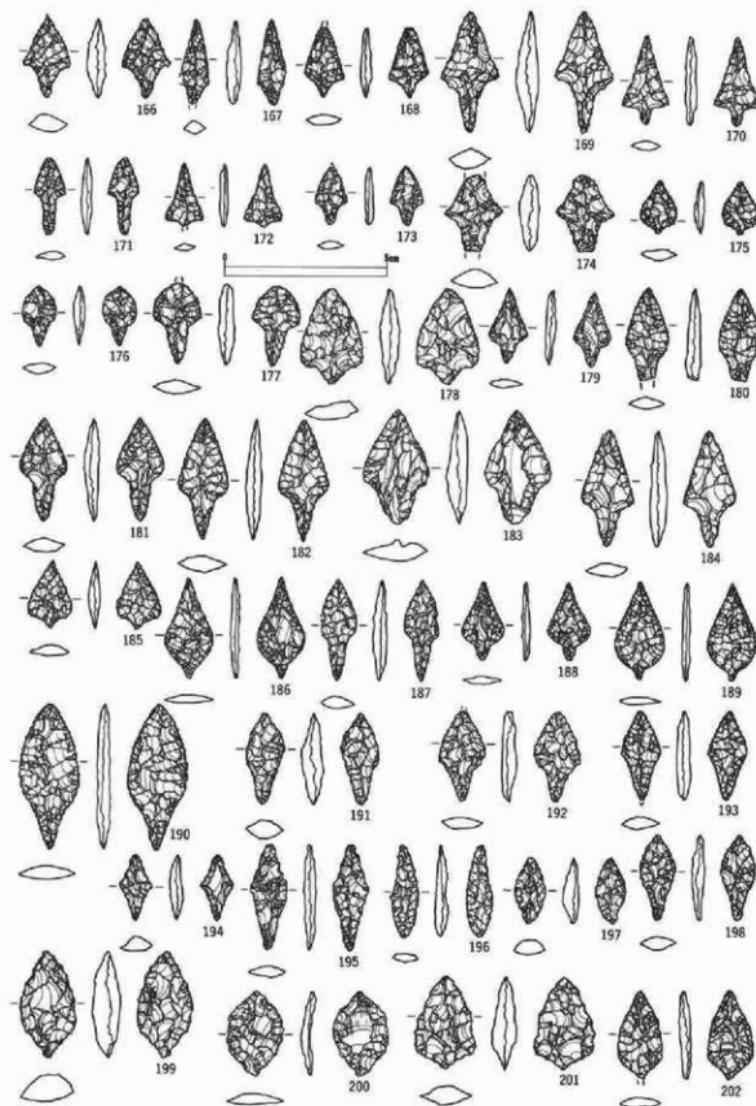
第144図 出土遺物石器 2



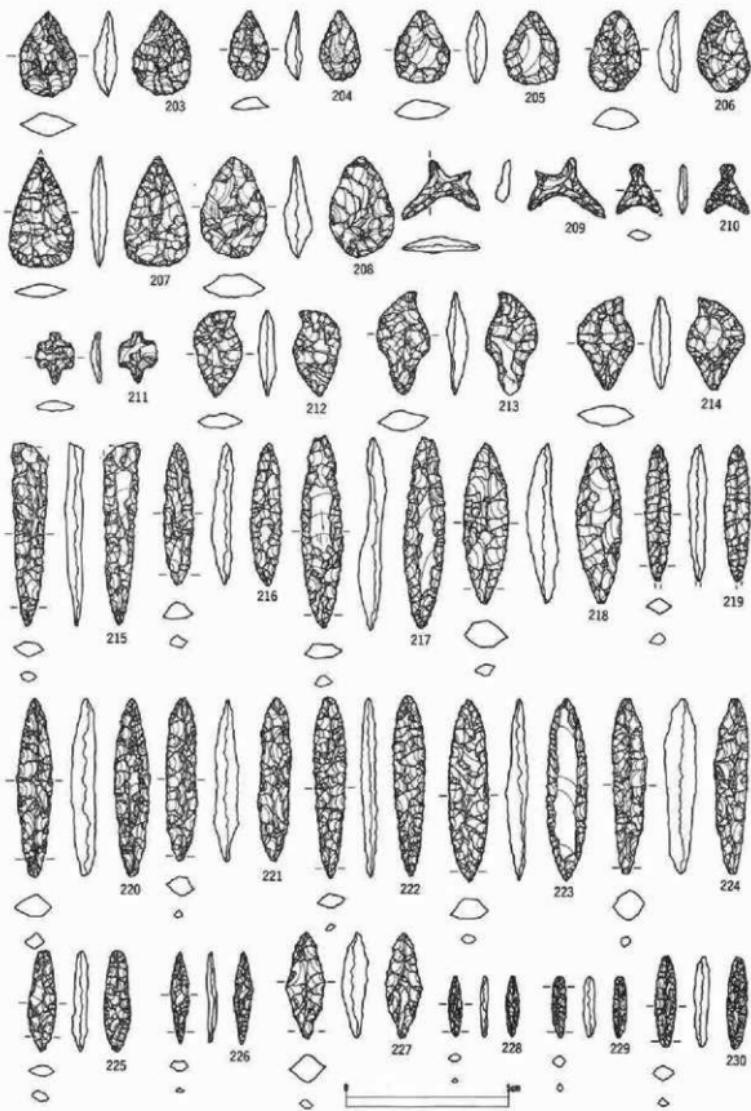
第145図 出土遺物石器 3



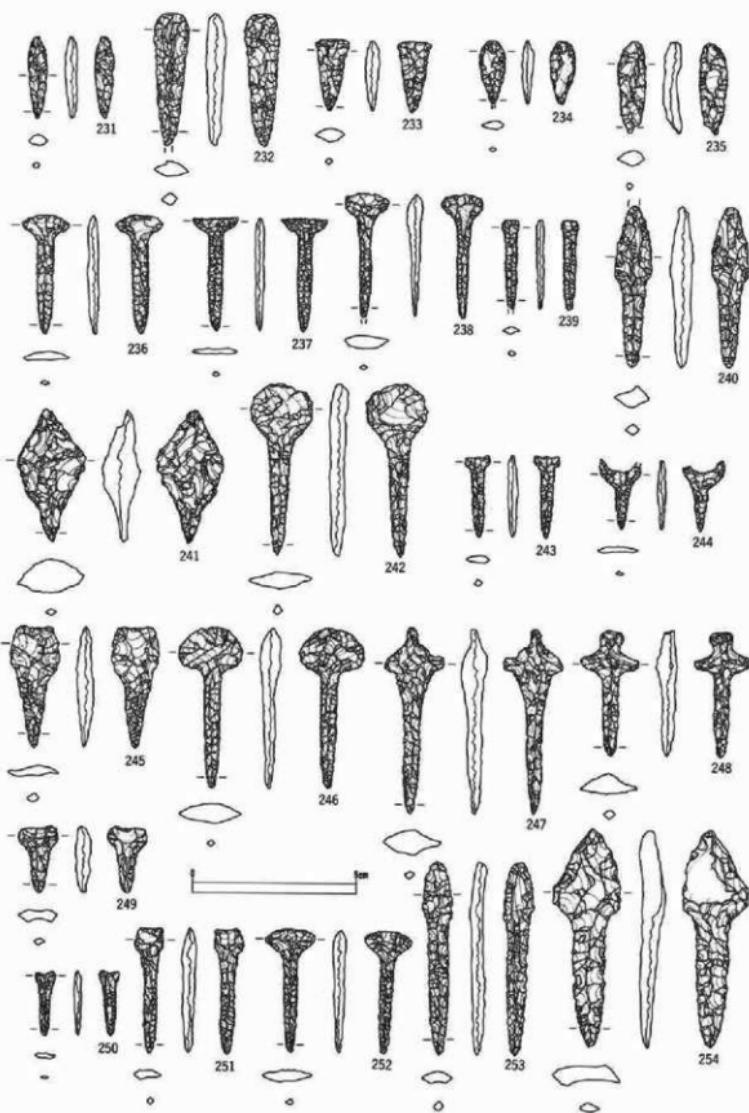
第146図 出土遺物石器 4



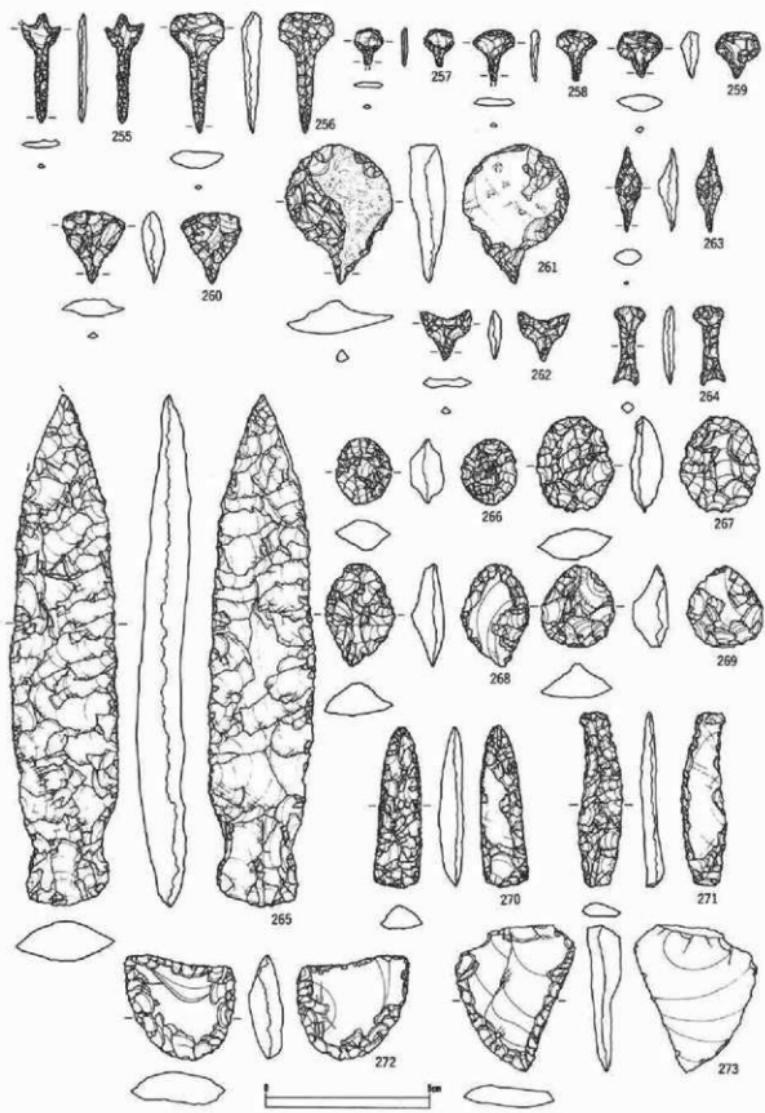
第147図 出土遺物石器5



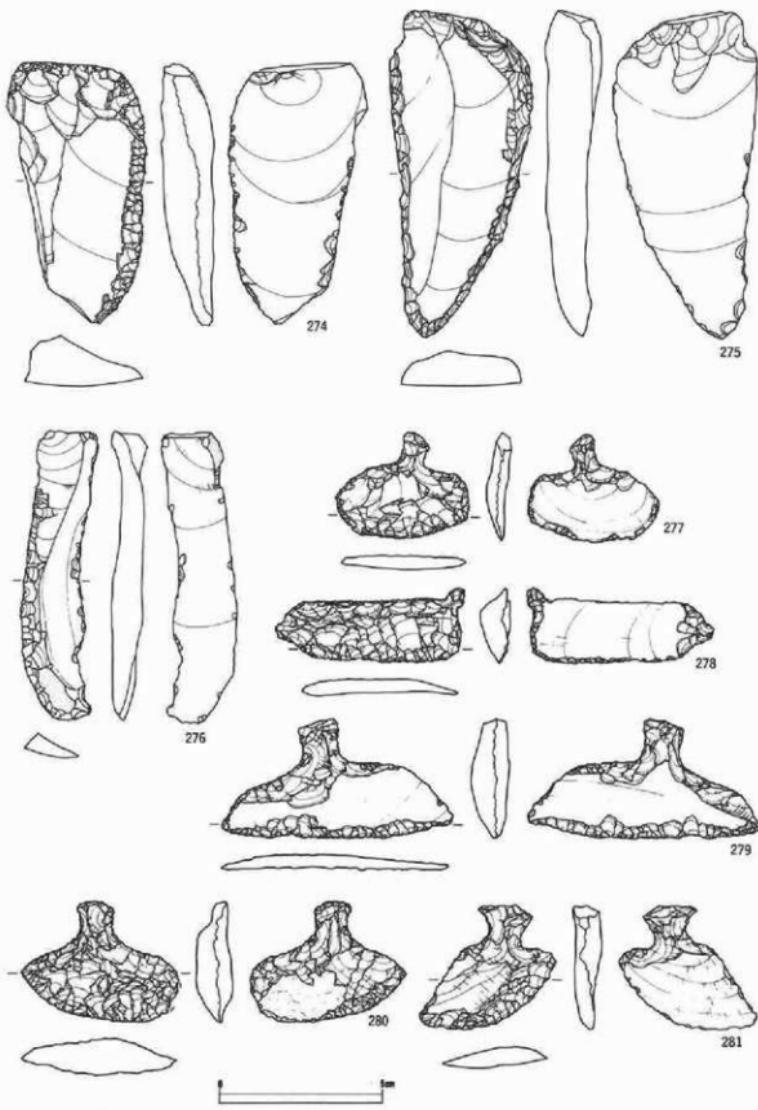
第148図 出土遺物石器6



第149図 出土遺物石器7

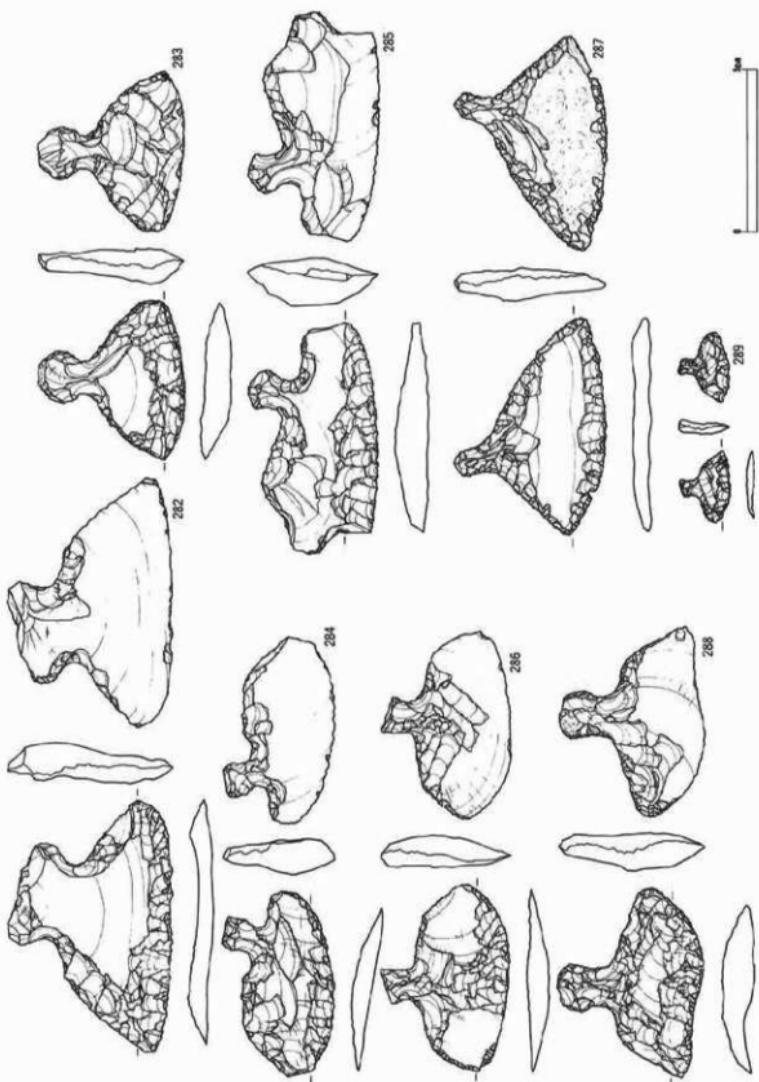


第150図 出土遺物石器 8

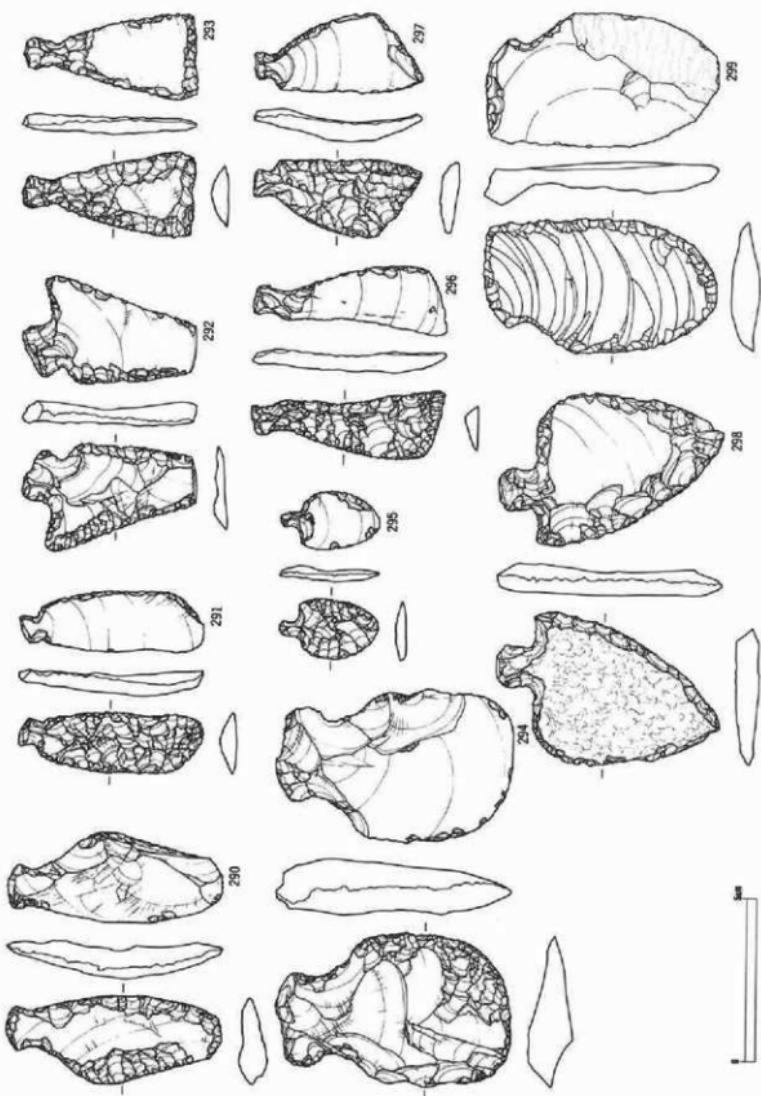


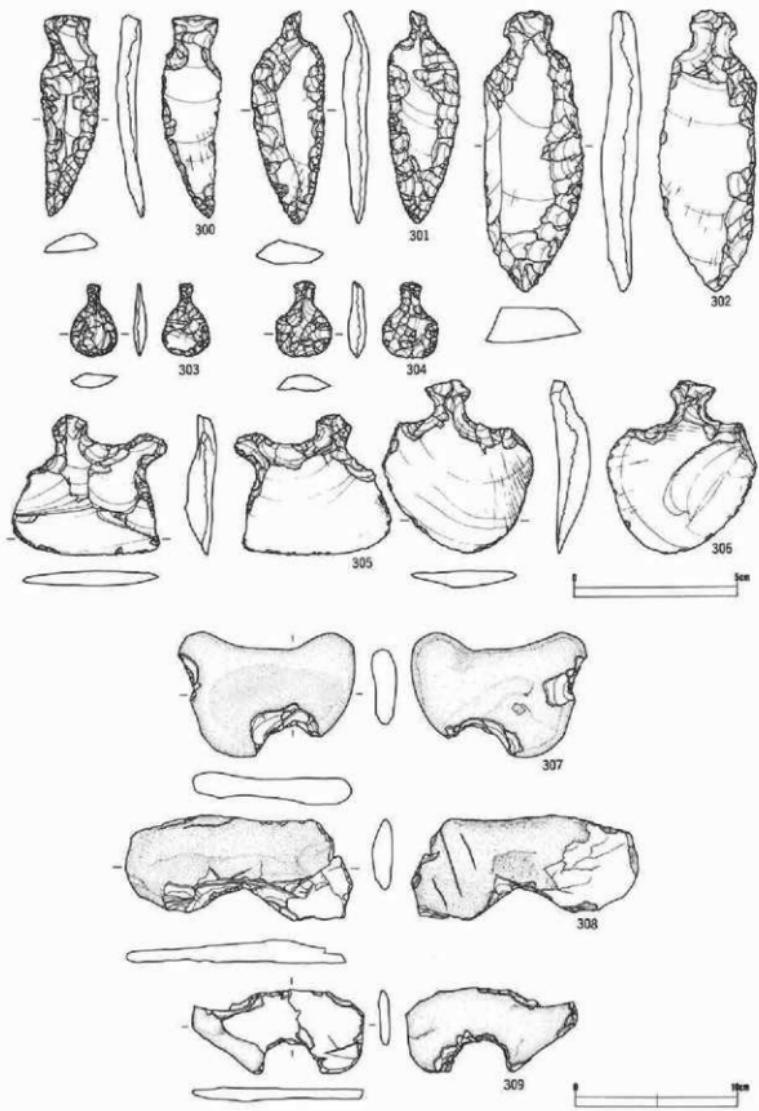
第151図 出土遺物石器 9

第152圖 出土遺物石器10

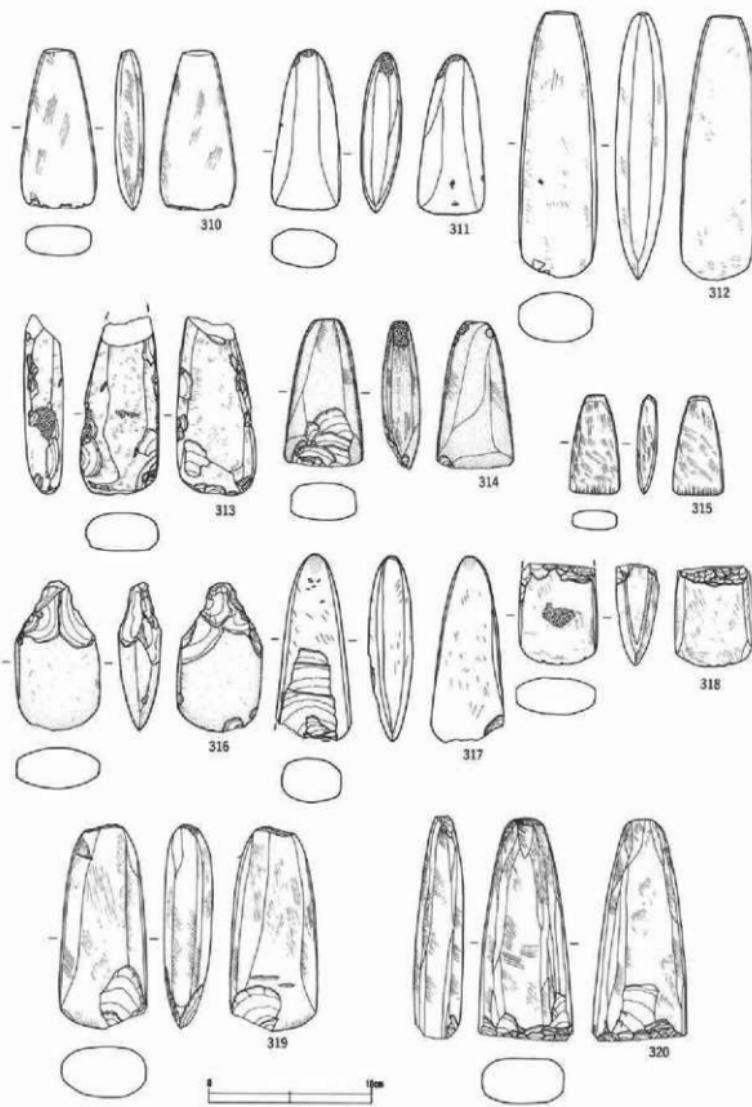


第153圖 出土遺物石器11





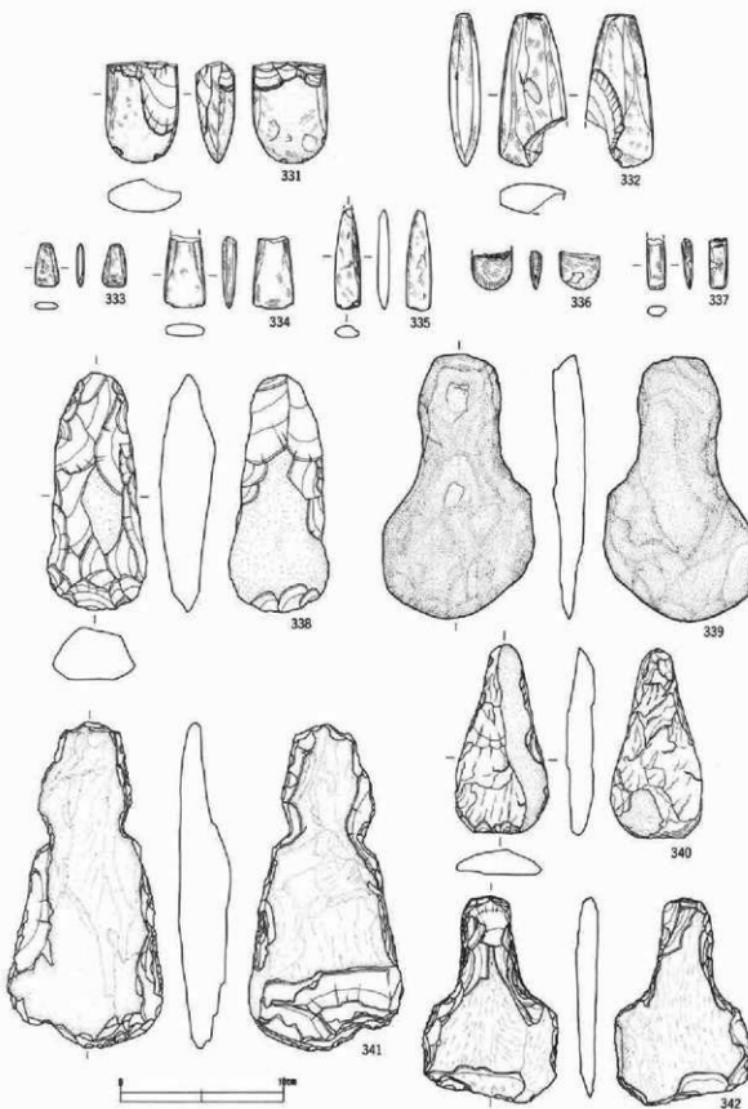
第154図 出土遺物石器12



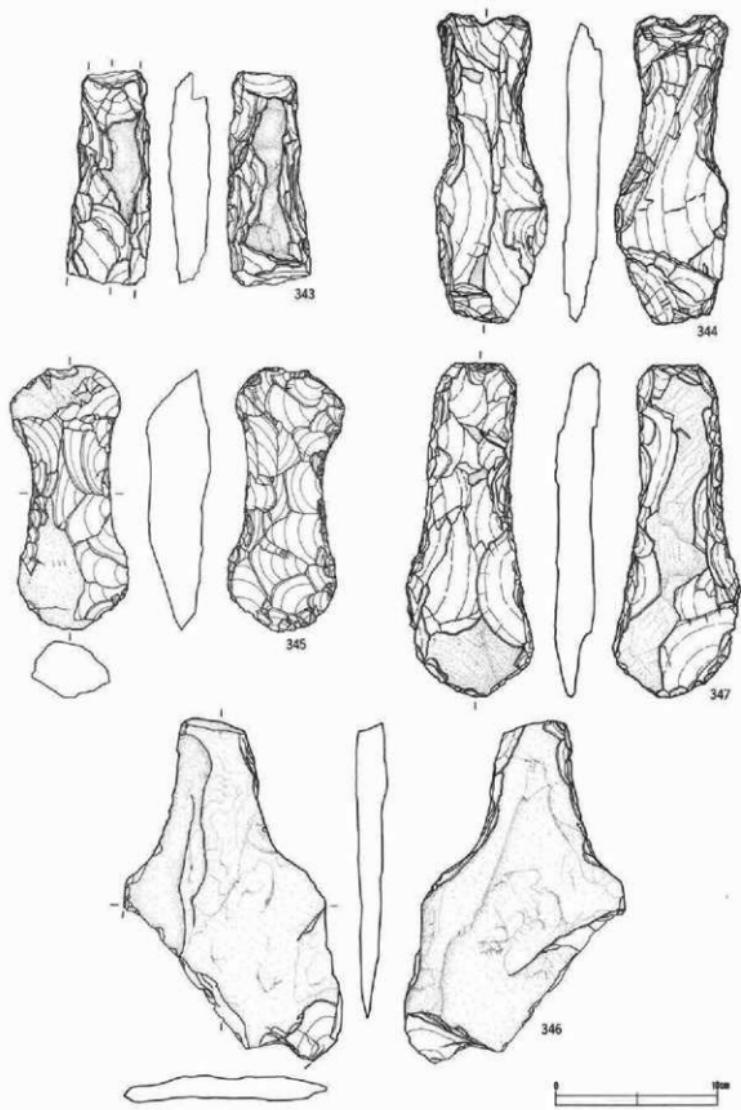
第155図 出土遺物石器13



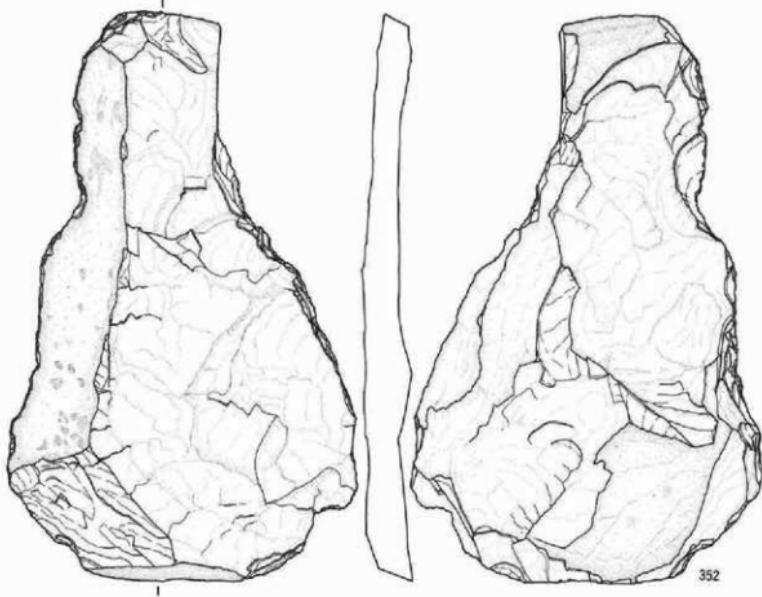
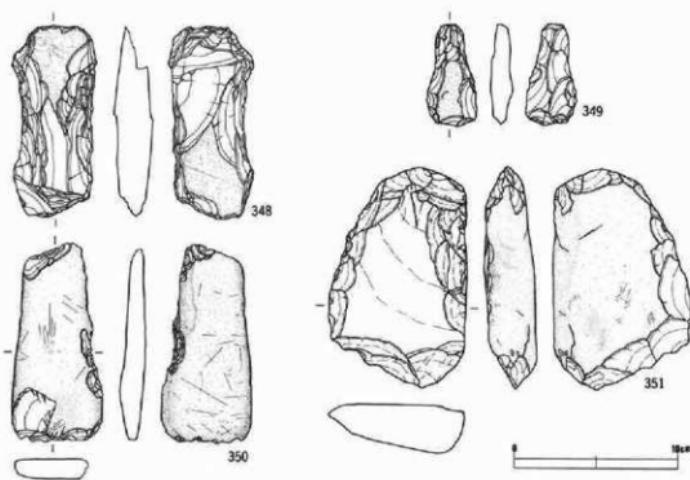
第156図 出土遺物石器 14



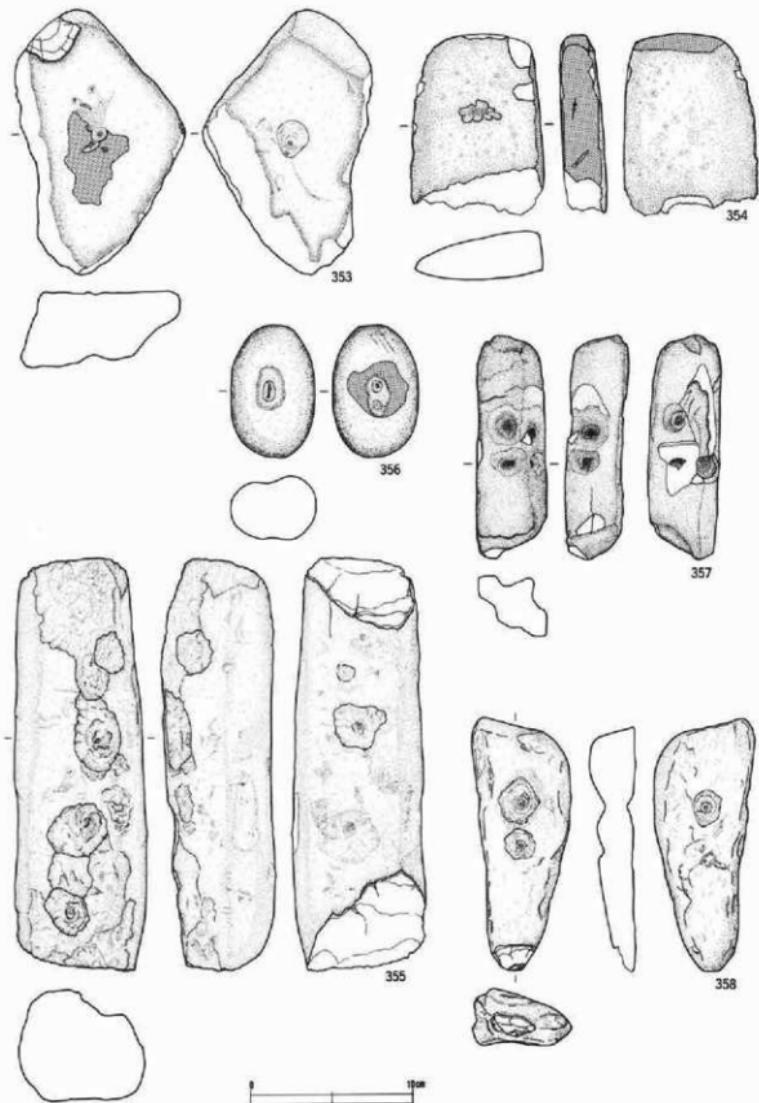
第157図 出土遺物石器15



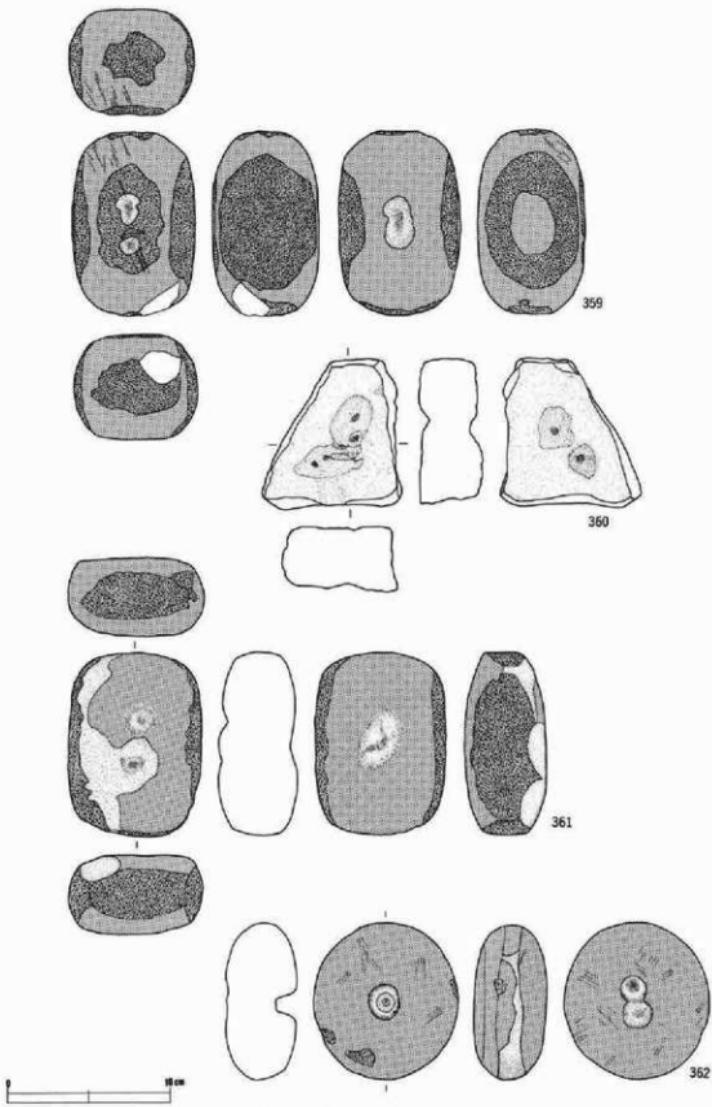
第158図 出土遺物石器16



第159図 出土遺物石器17



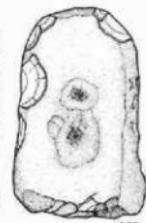
第160図 出土遺物石器18



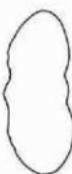
第161図 出土遺物石器19



363

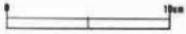


365

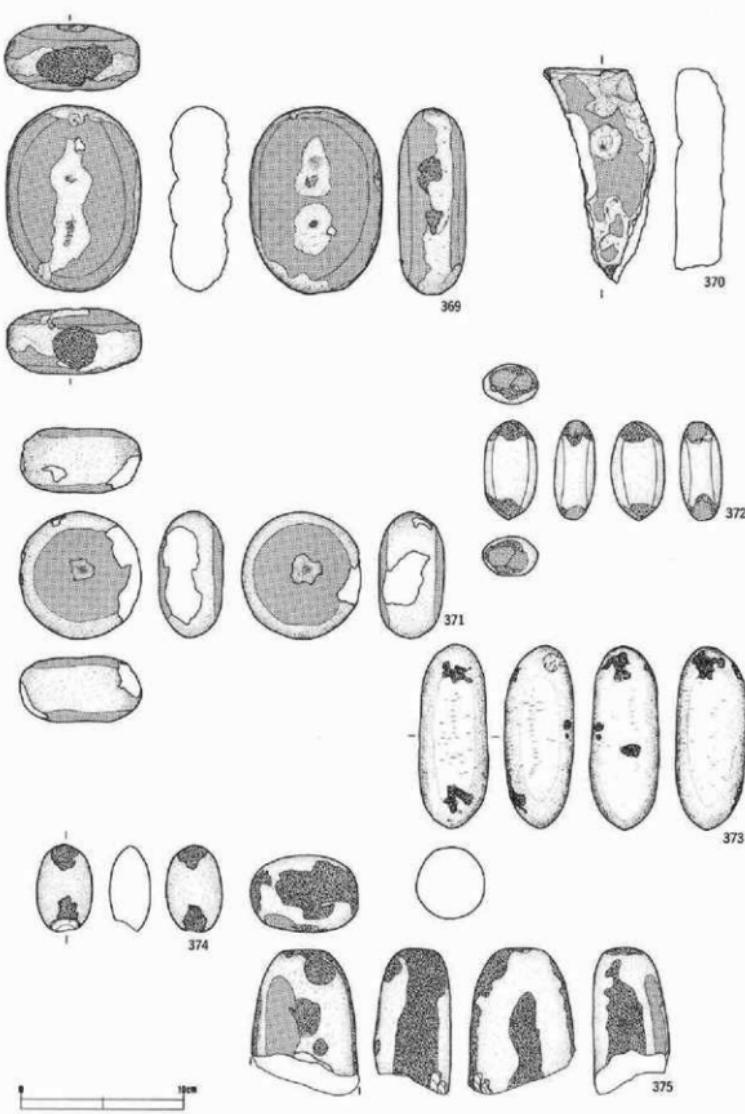


367

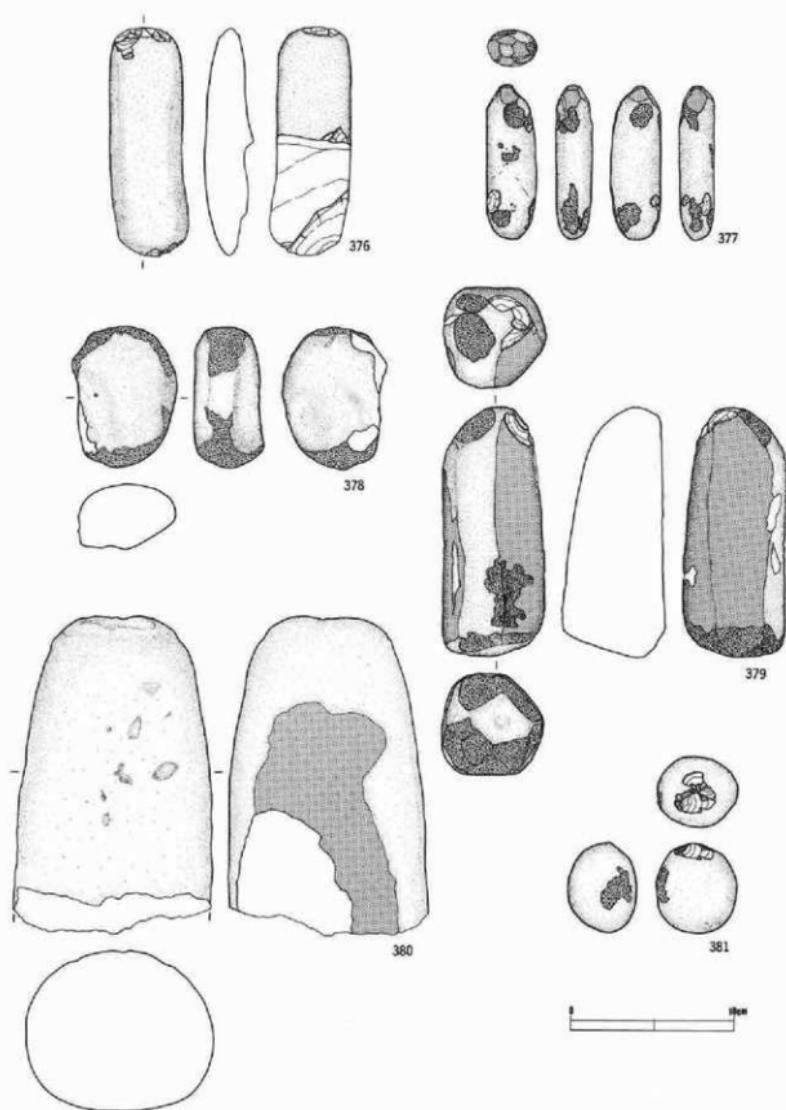
368



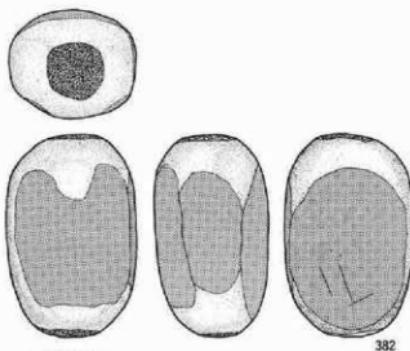
第162図 出土遺物石器 20



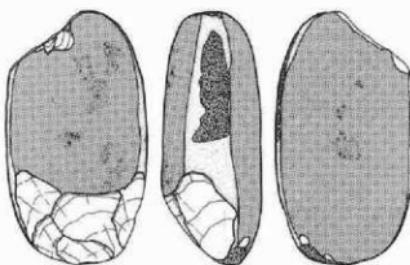
第163図 出土遺物石器 21



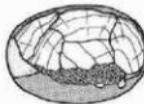
第164図 出土遺物石器22



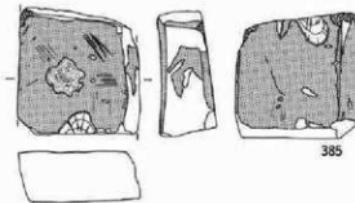
382



383



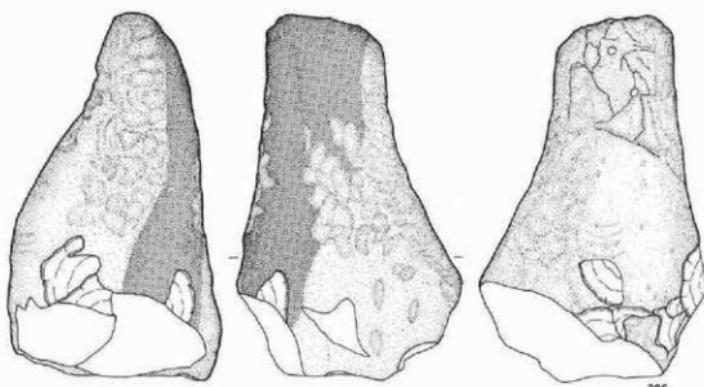
384



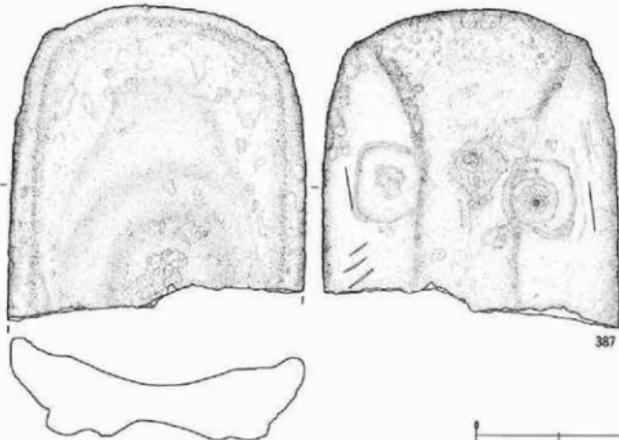
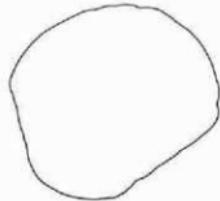
385



第165図 出土遺物石器23



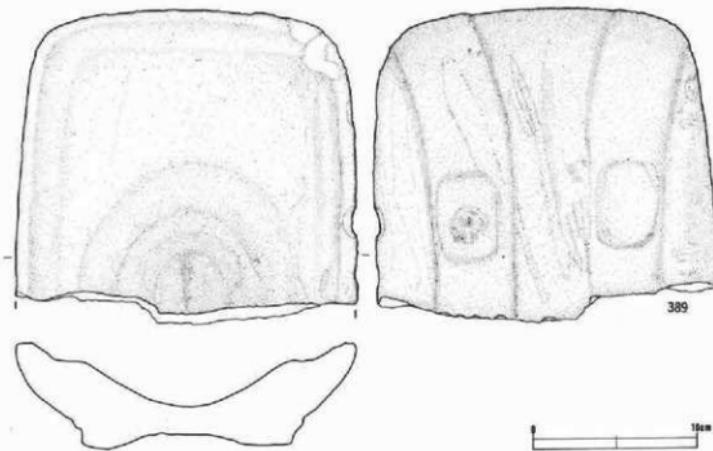
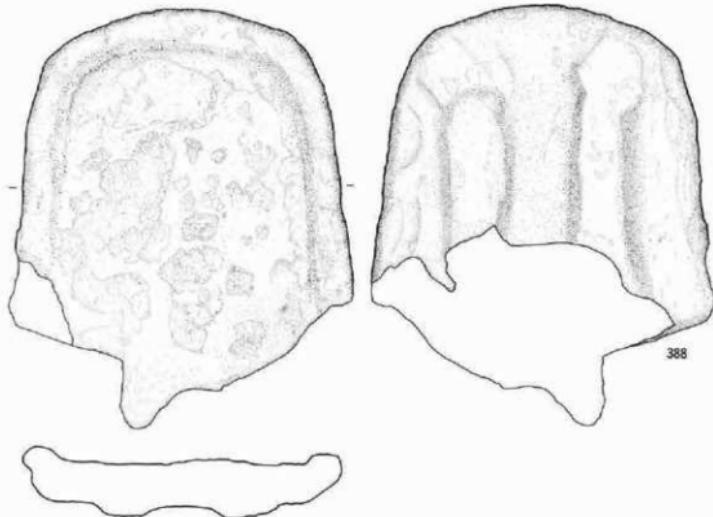
386



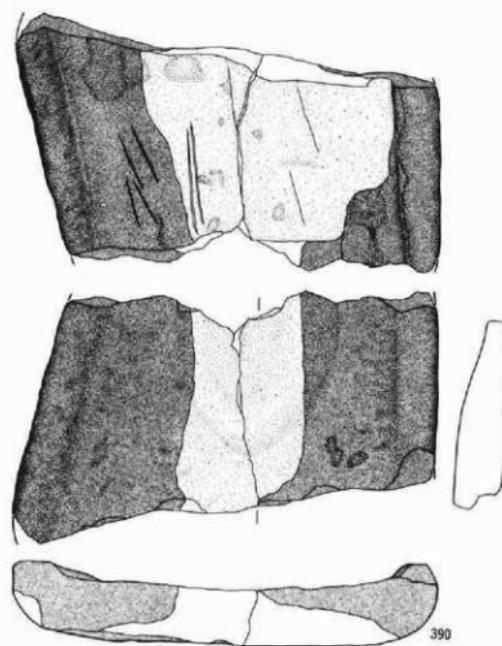
387



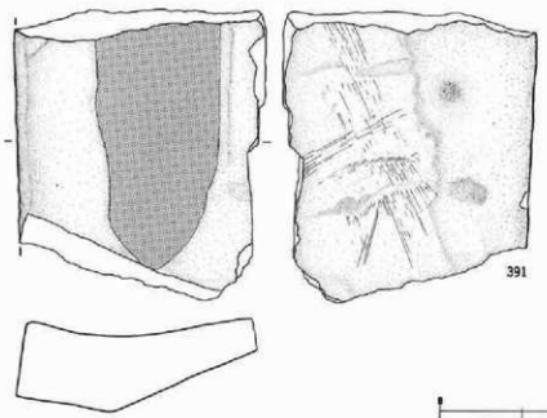
第166図 出土遺物石器 24



第167図 出土遺物石器25



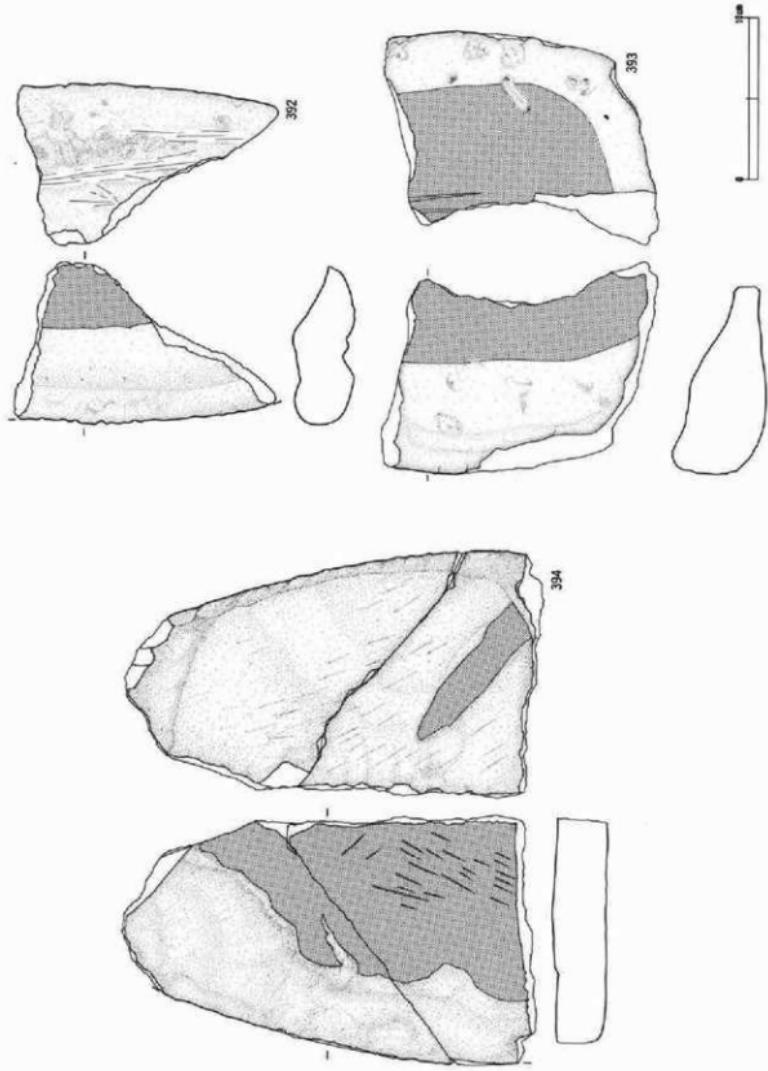
390



391

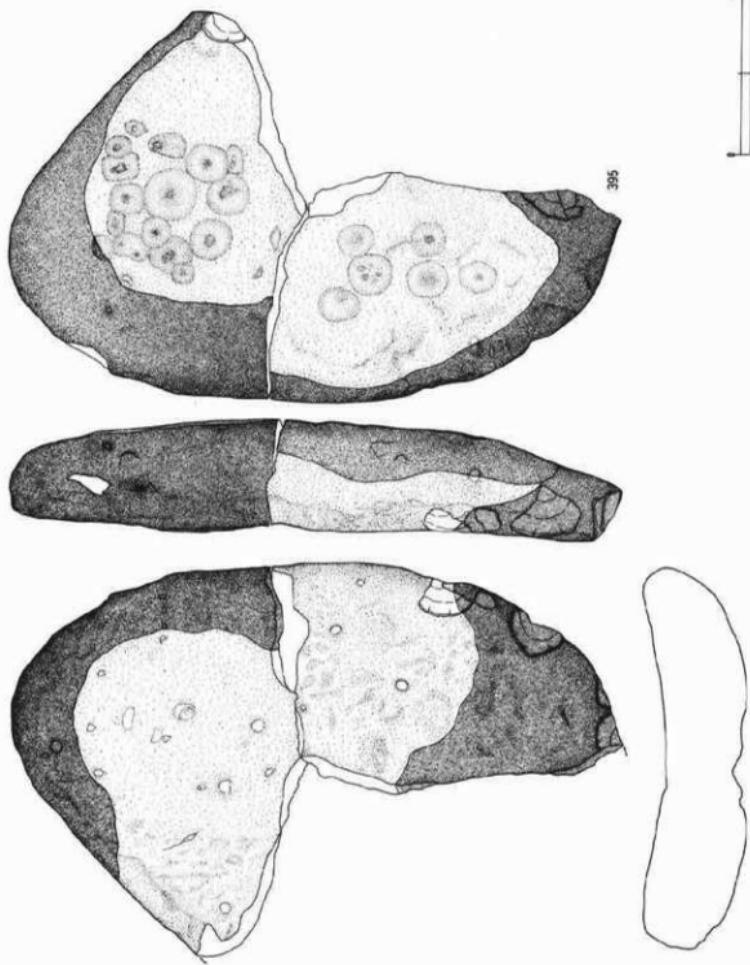


第168図 出土遺物石器 26

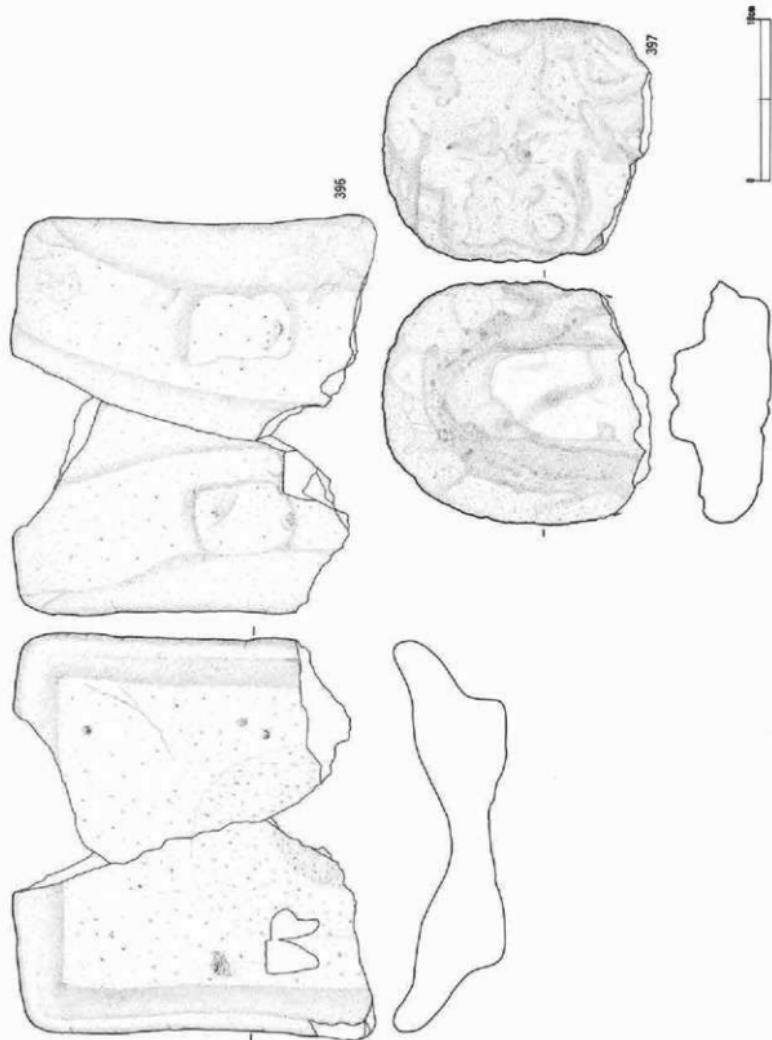


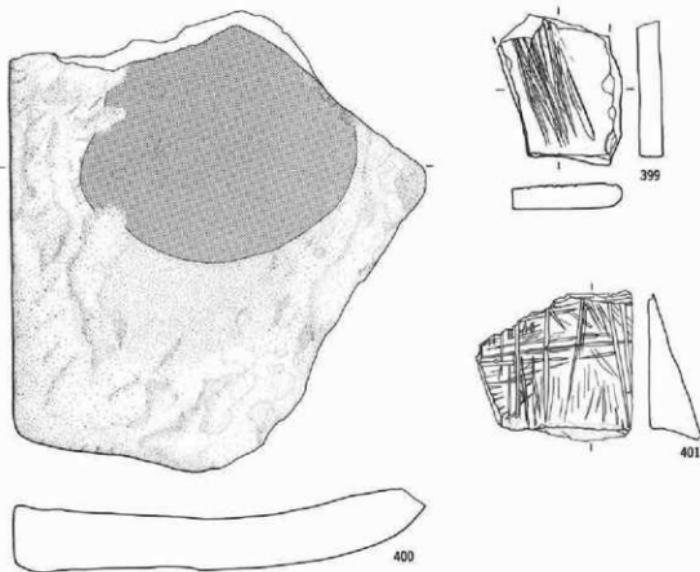
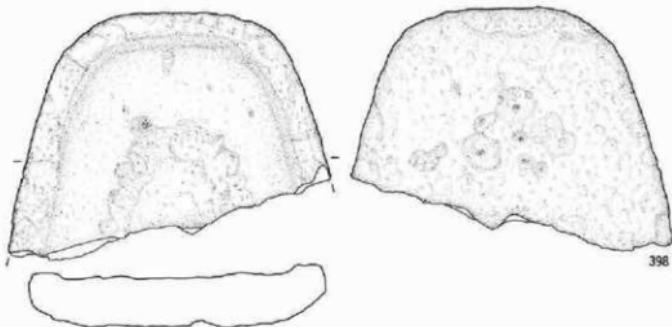
第169圖 出土遺物石器 27

第170圖 出土遺物石器28

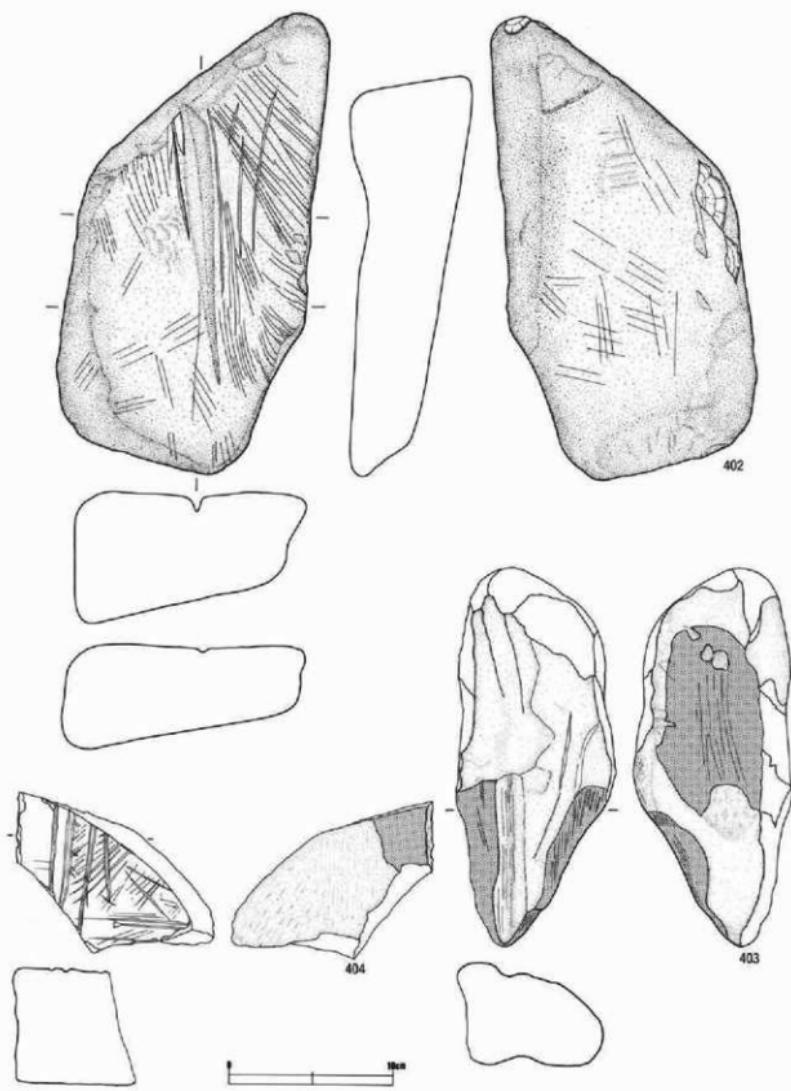


第171図 出土遺物石器29

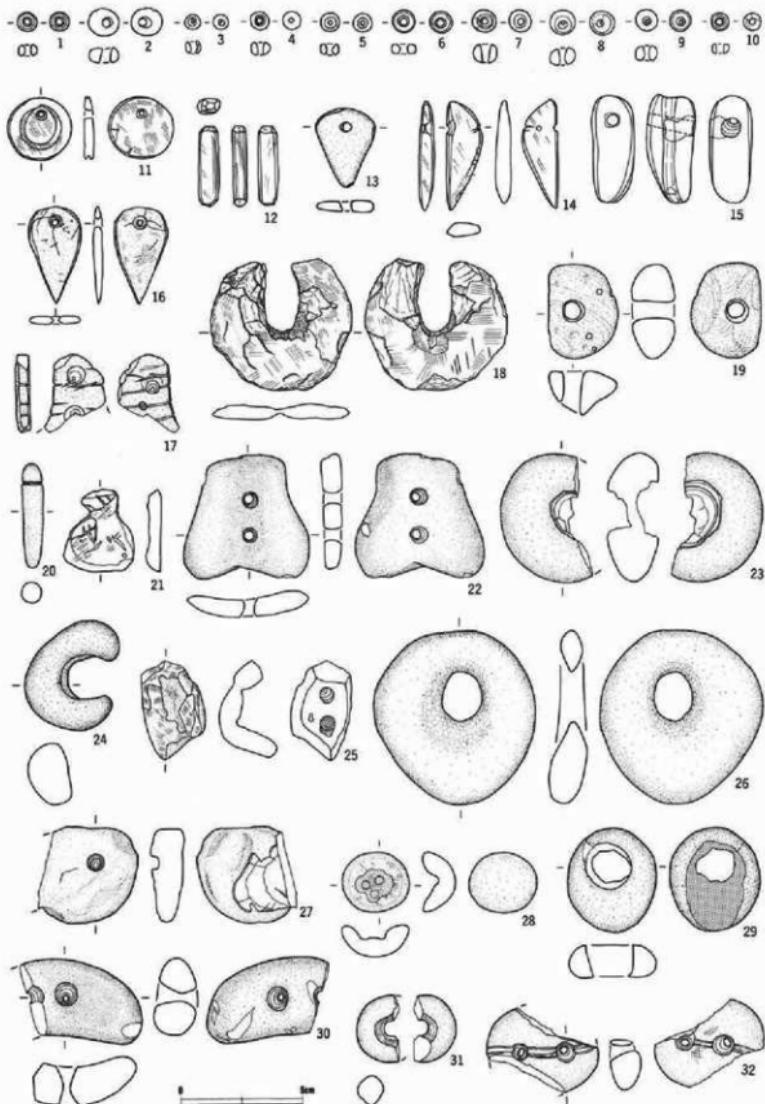




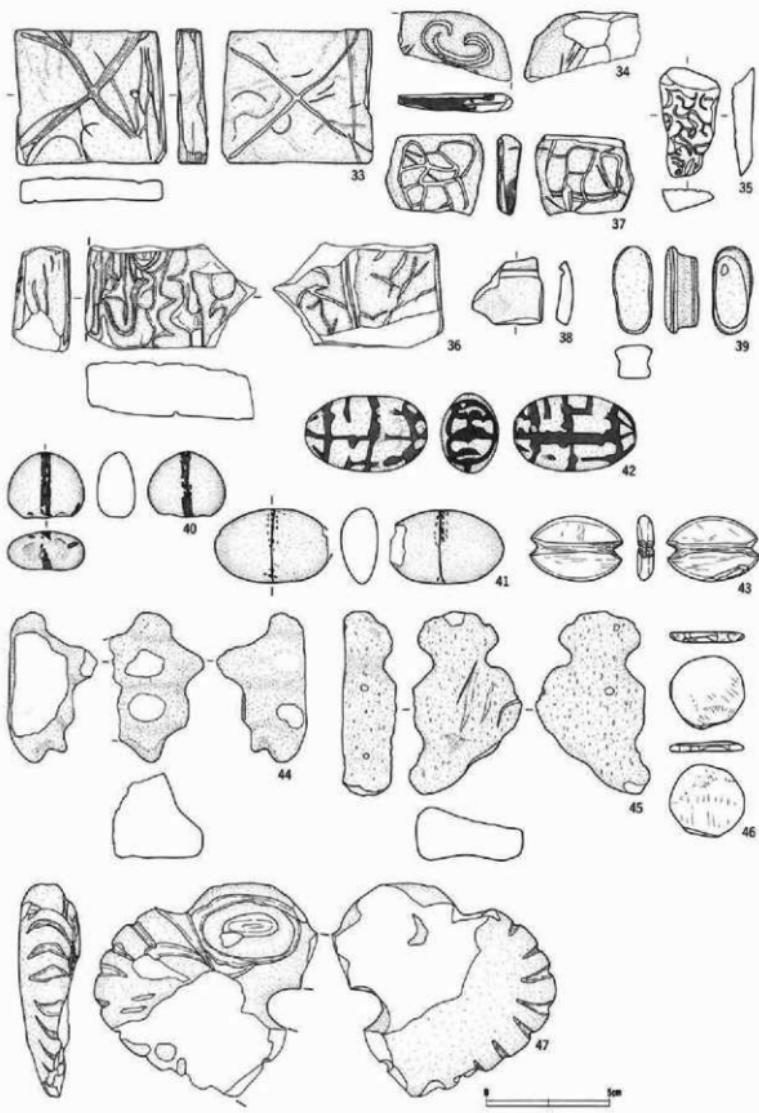
第172図 出土遺物石器30



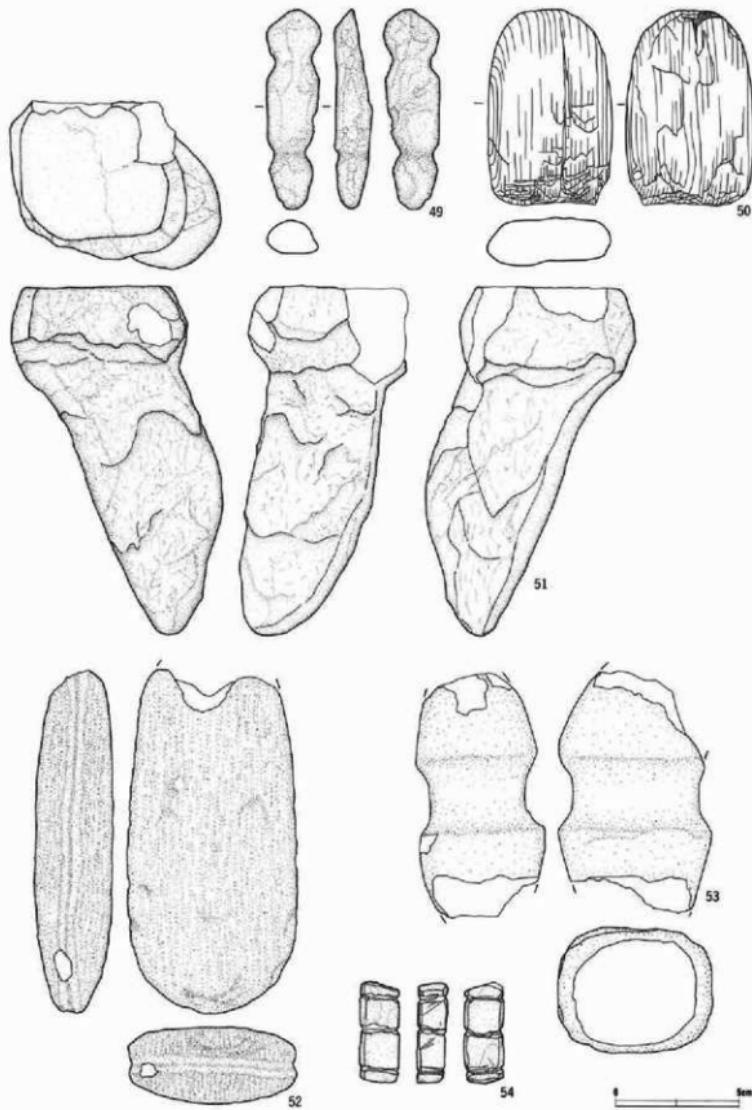
第173図 出土遺物石器 31



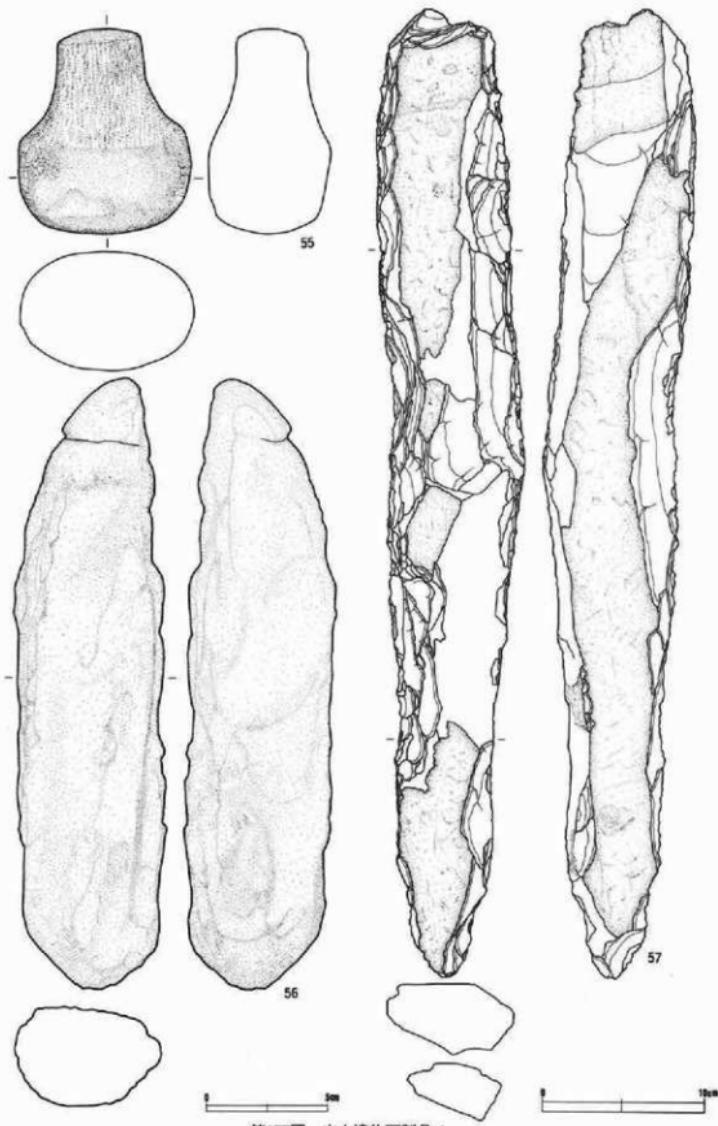
第174図 出土遺物石製品 1



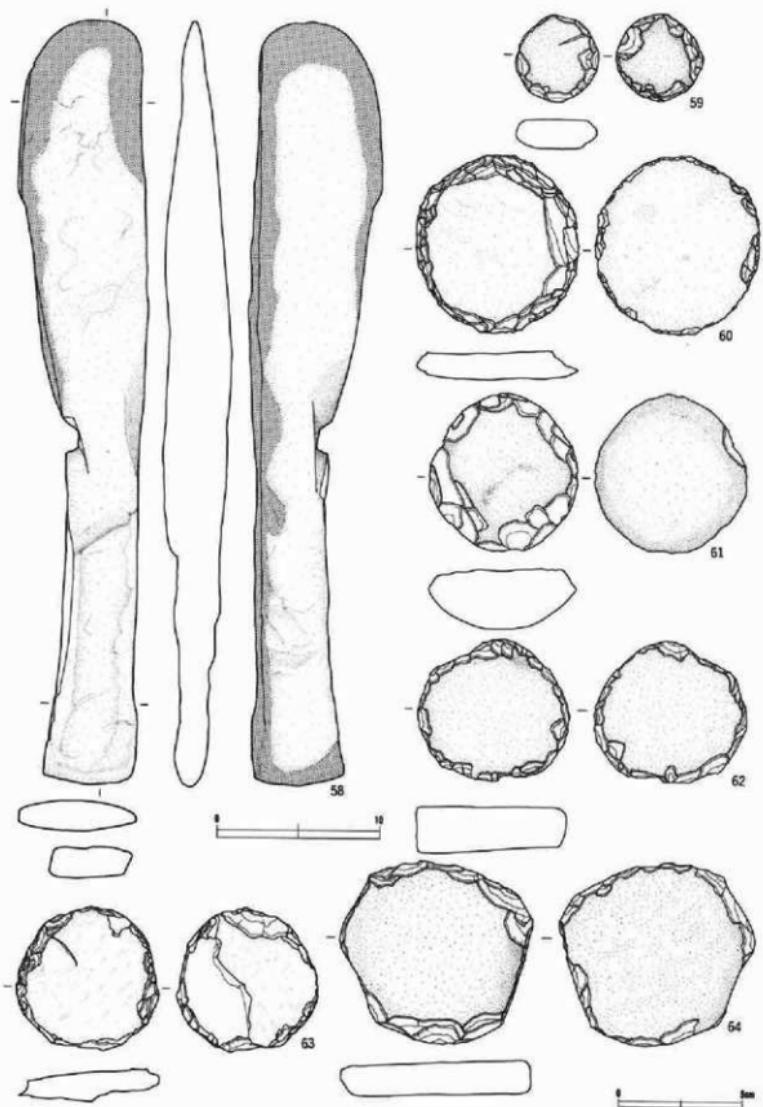
第175図 出土遺物石製品2



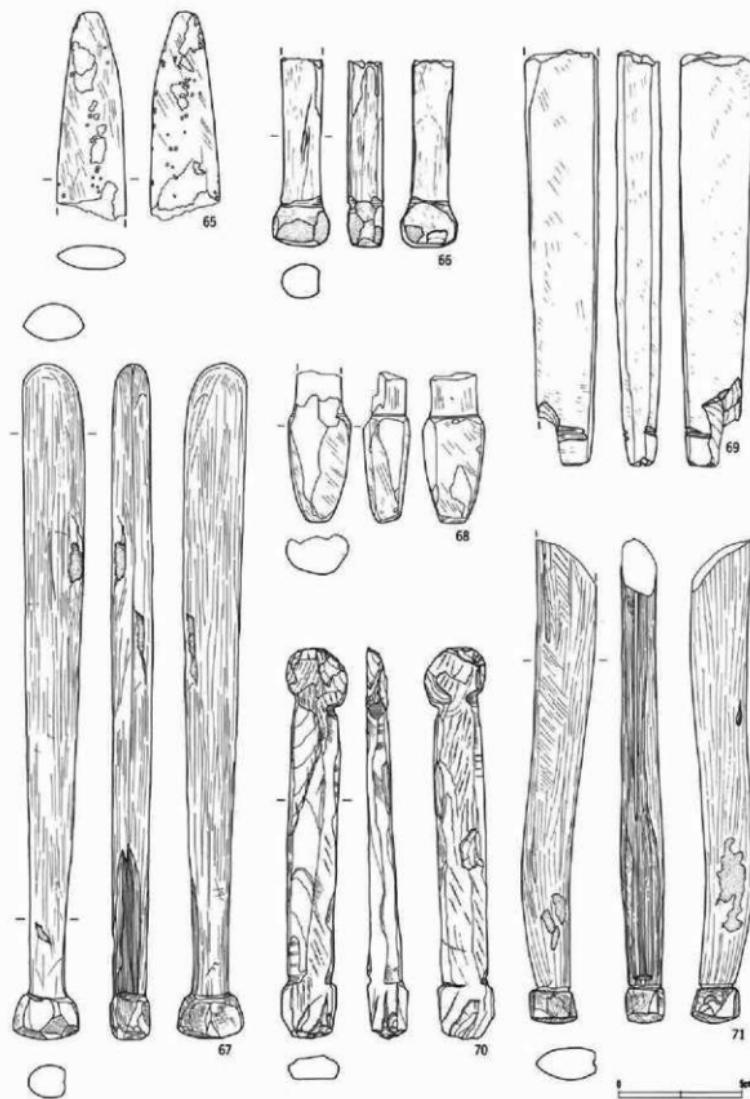
第176図 出土遺物石製品 3



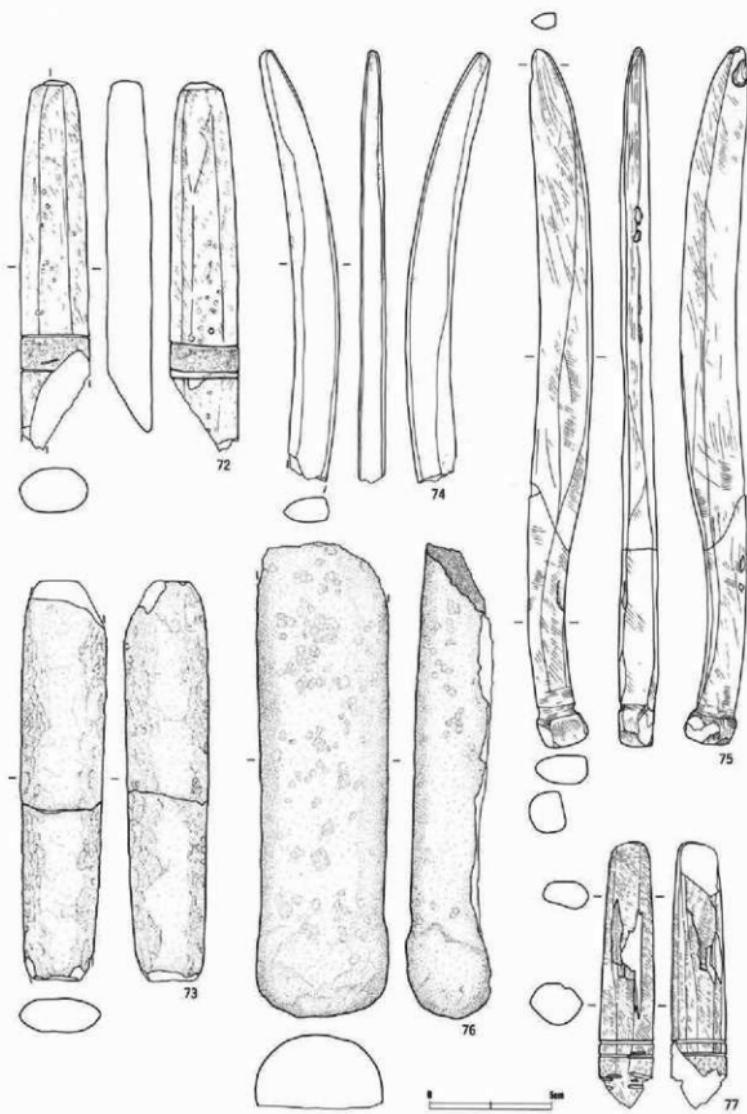
第177図 出土遺物石製品 4



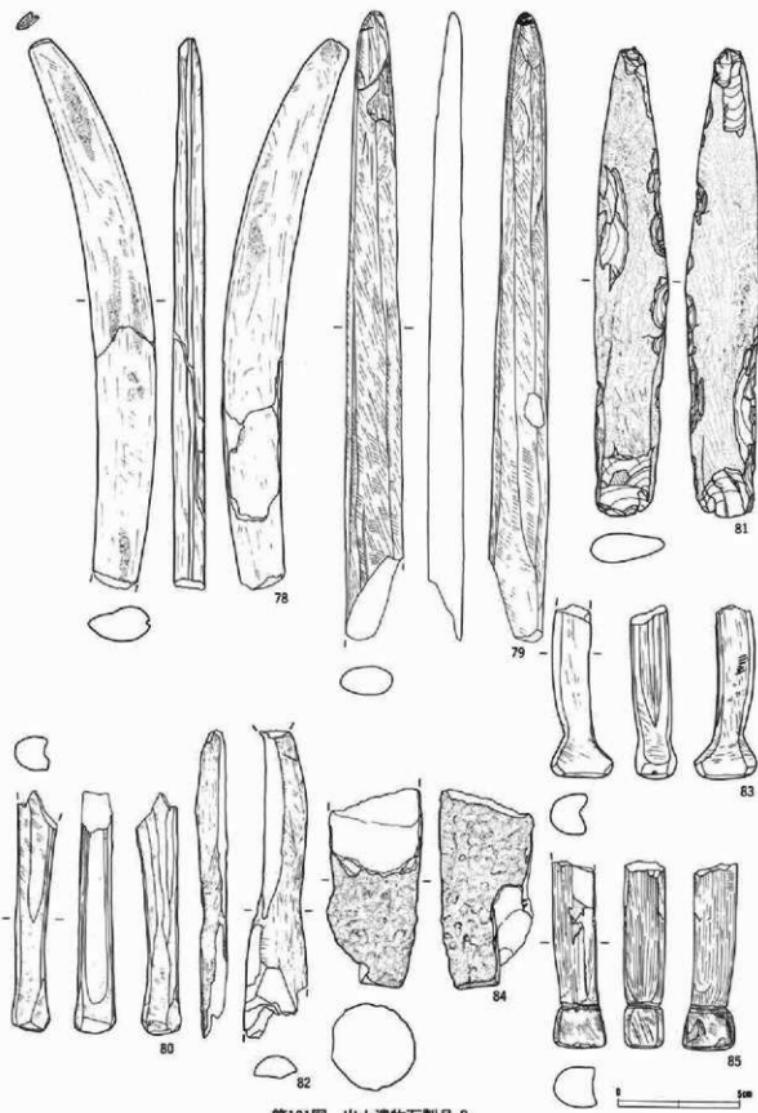
第178図 出土遺物石製品5



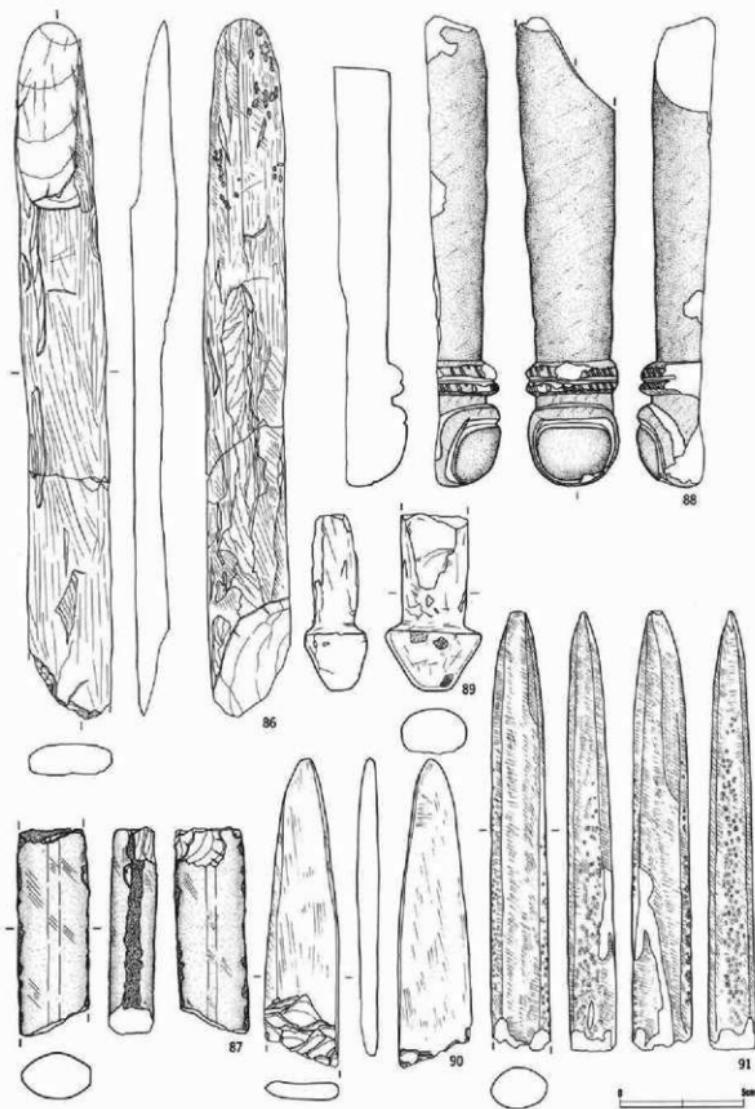
第179図 出土遺物石製品 6



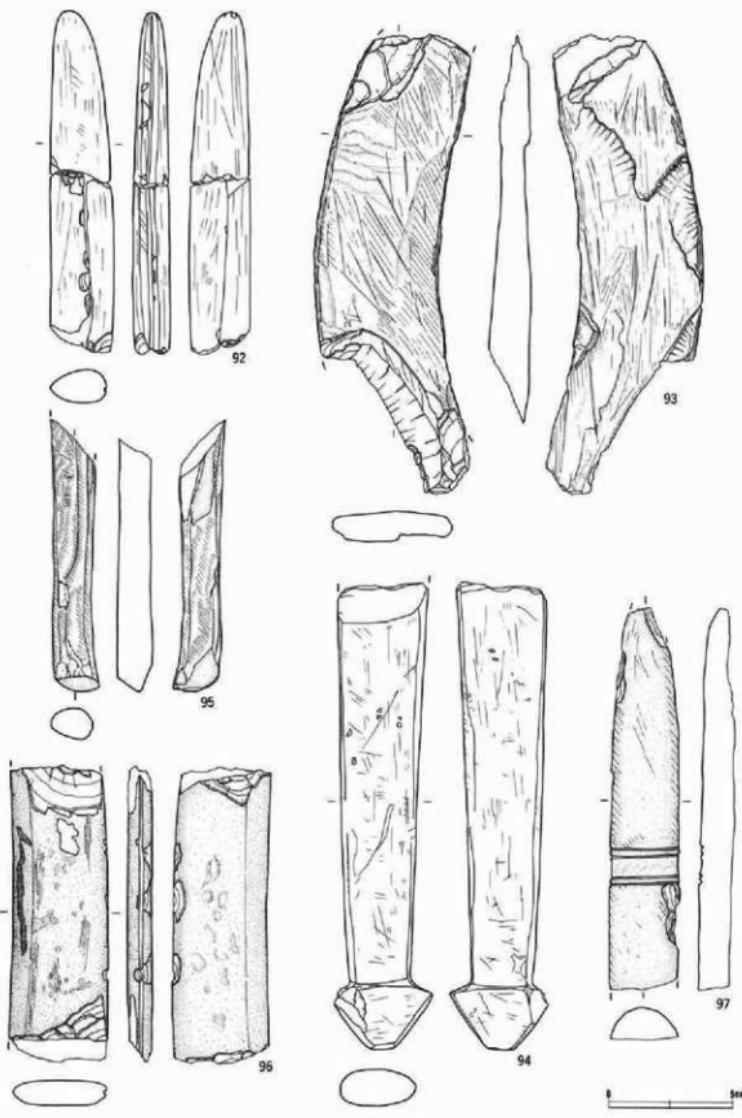
第180図 出土遺物石製品7



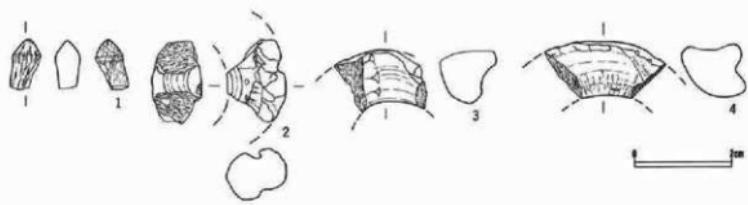
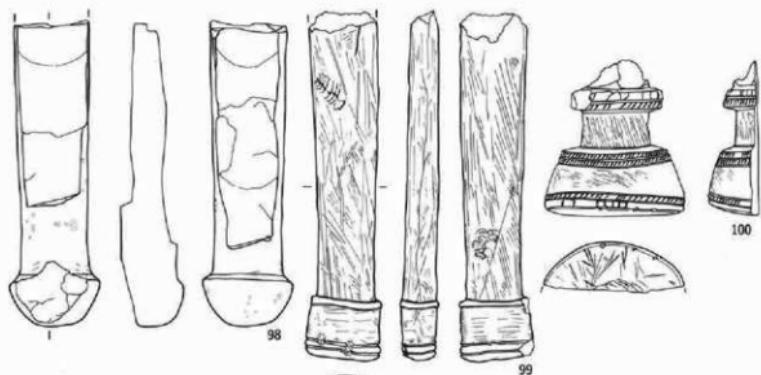
第181図 出土遺物石製品 8



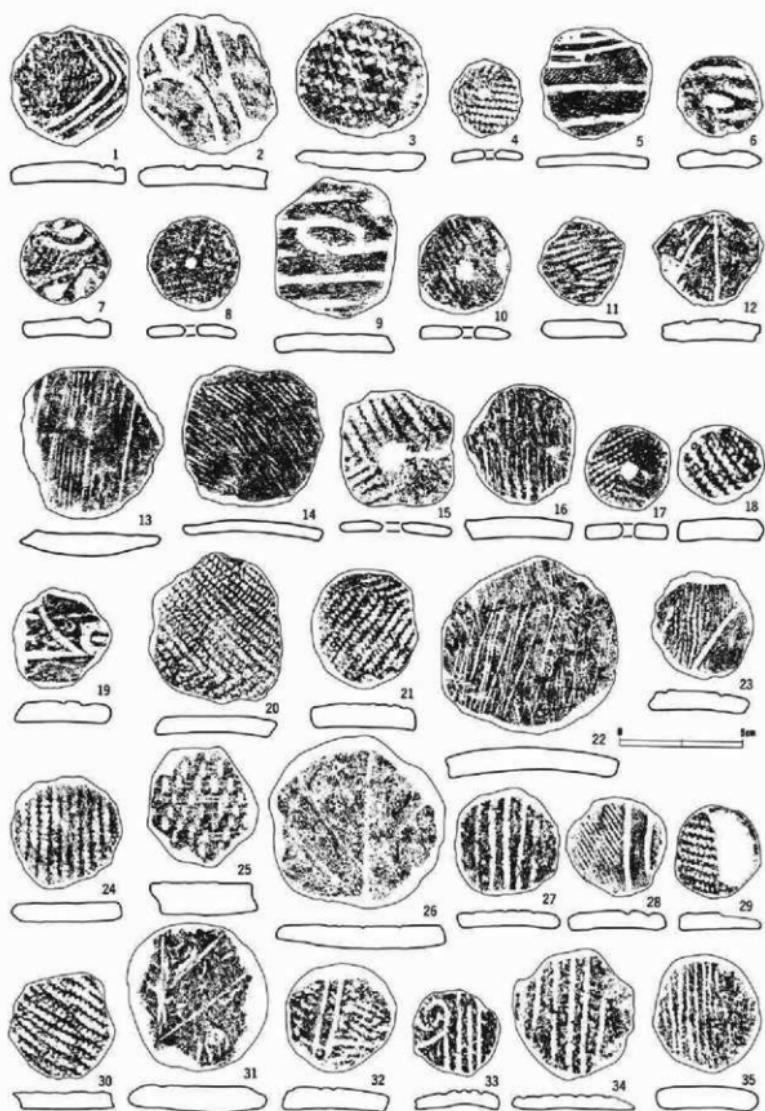
第182図 出土遺物石製品 9



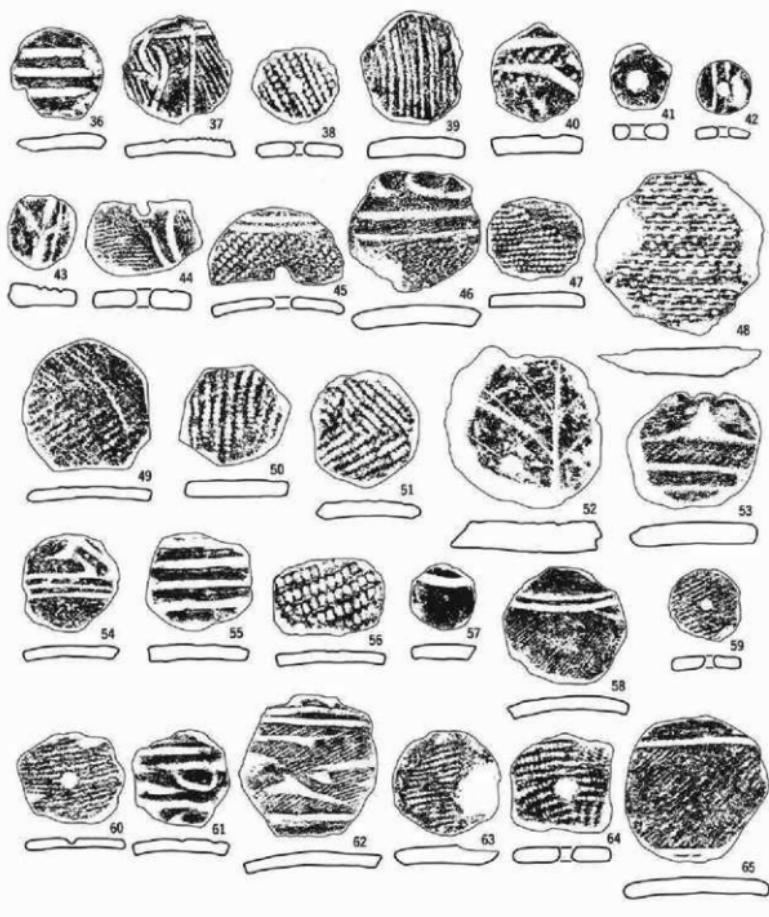
第183図 出土遺物石製品10



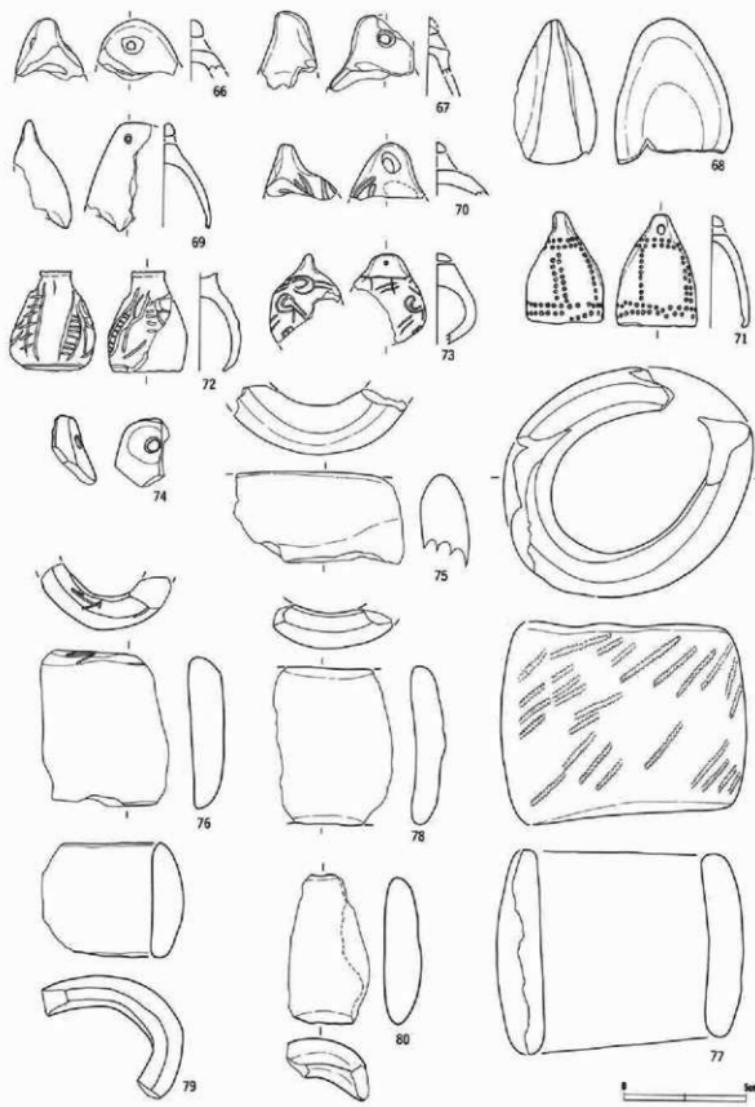
第184図 出土遺物石製品11・骨角器



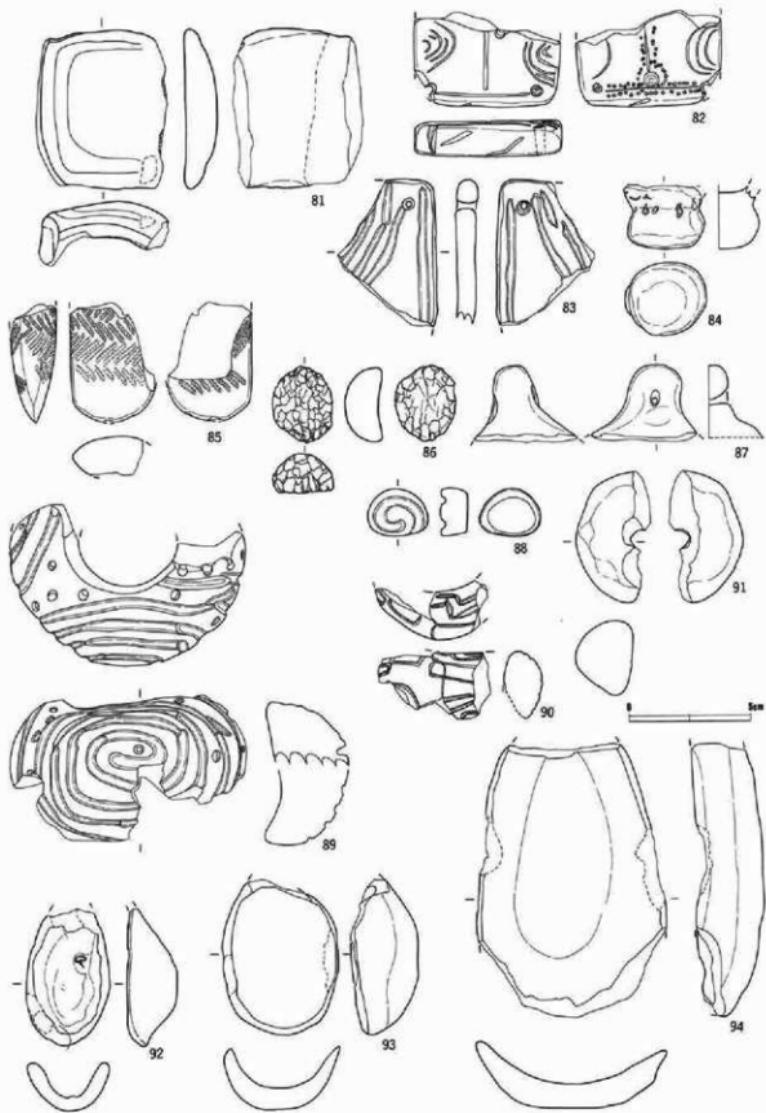
第185図 出土遺物土製品 1



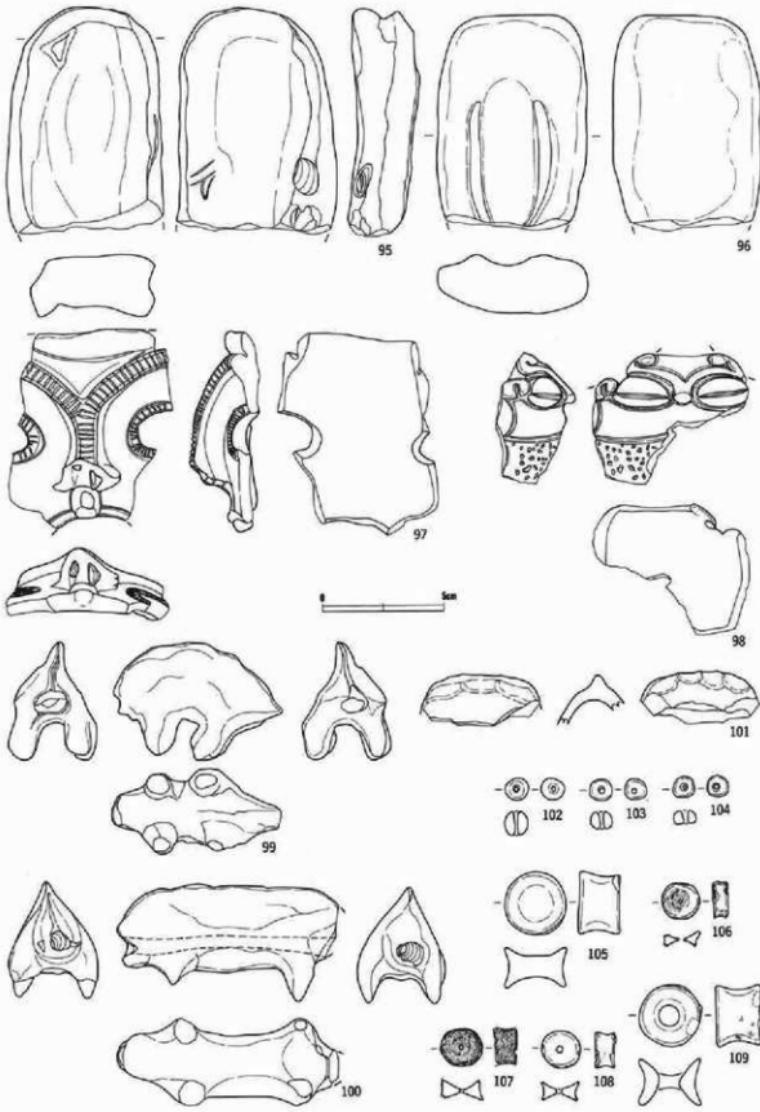
第186図 出土遺物土製品2



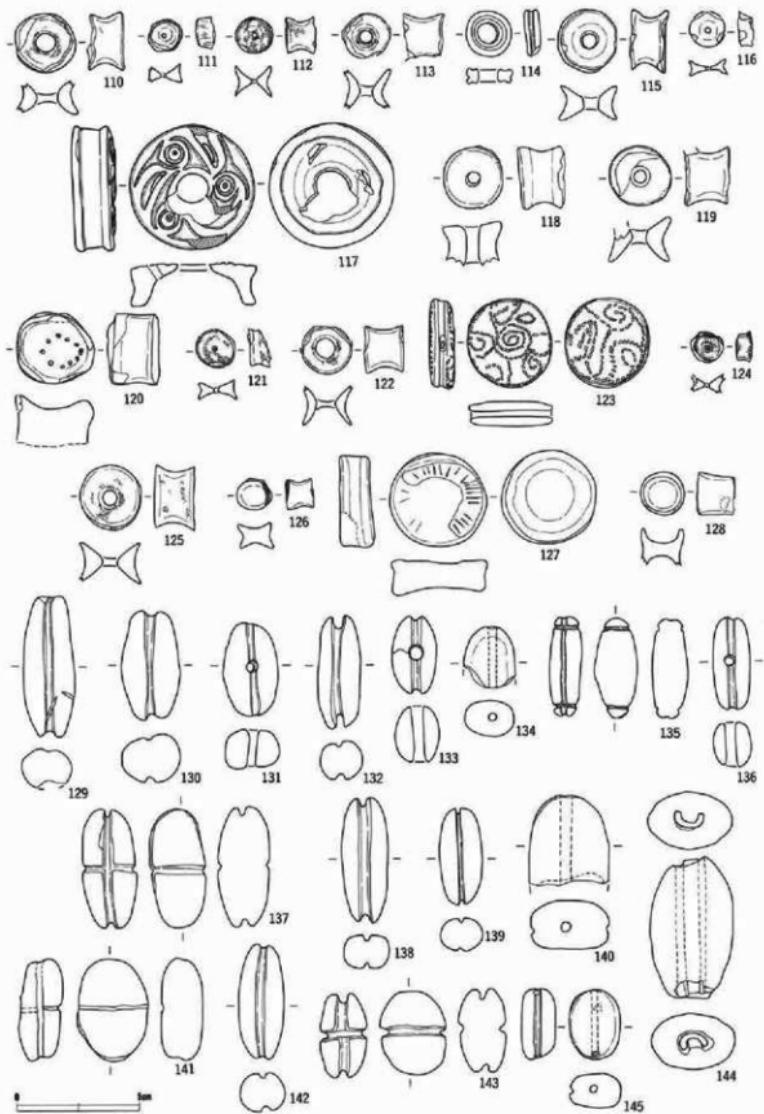
第187図 出土遺物土製品 3



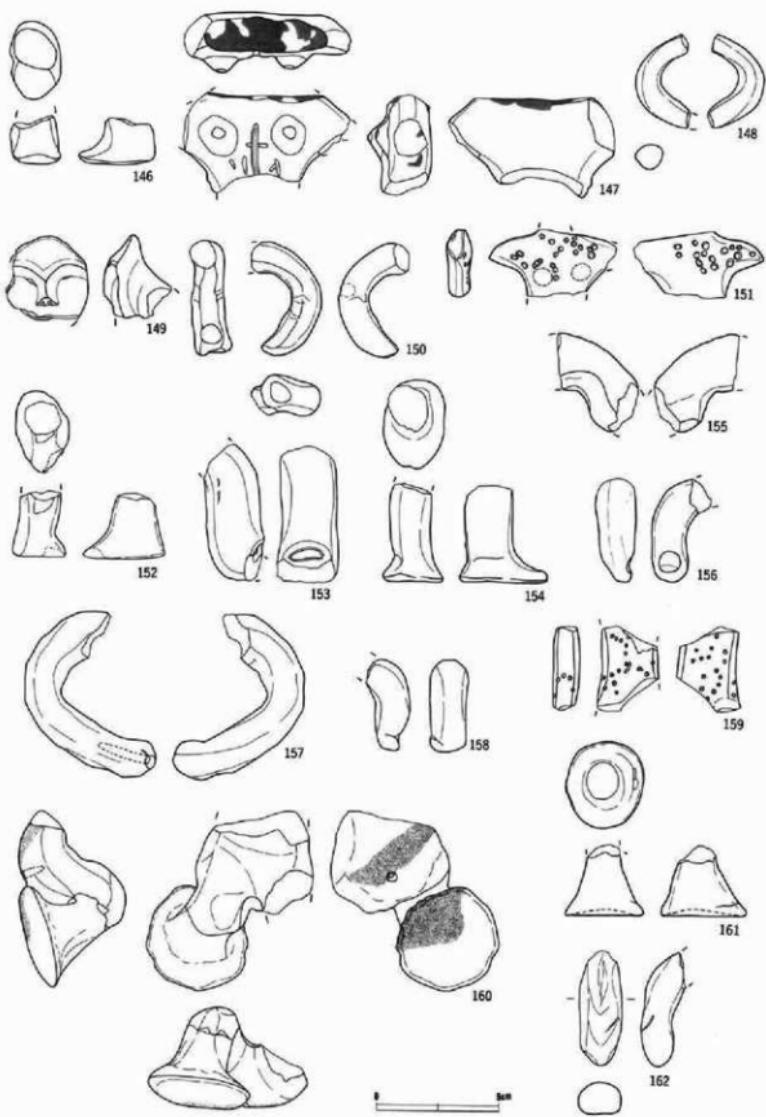
第188図 出土遺物土製品4



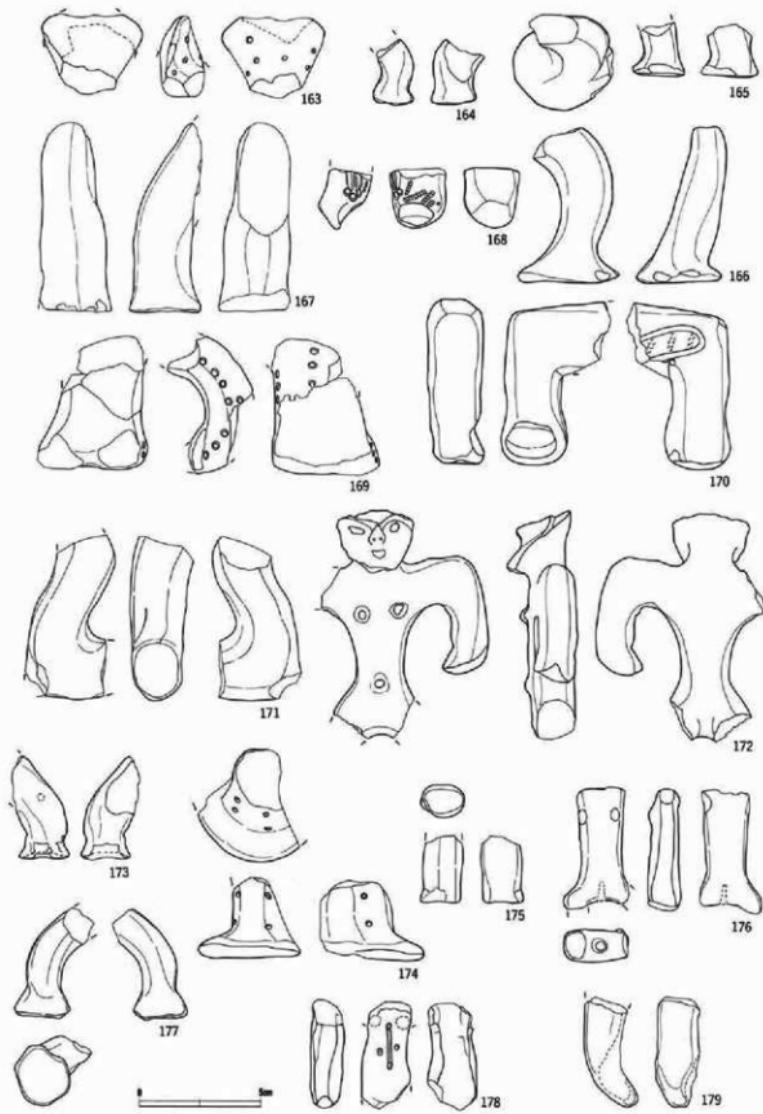
第189図 出土遺物土製品 5



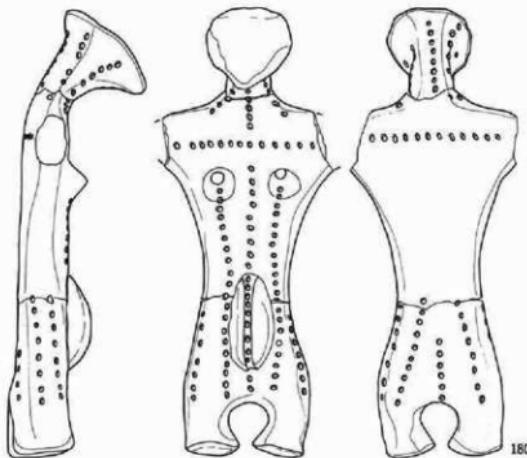
第190図 出土遺物土製品6



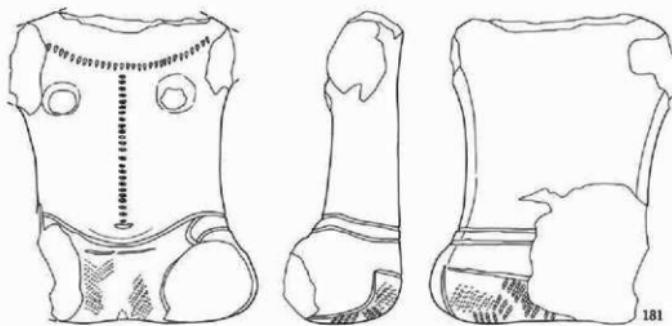
第191図 出土遺物土製品7



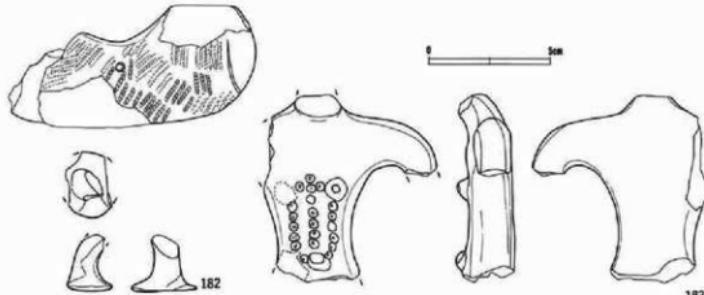
第192図 出土遺物土製品8



180



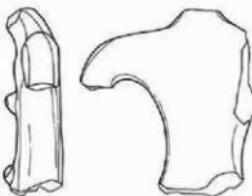
181



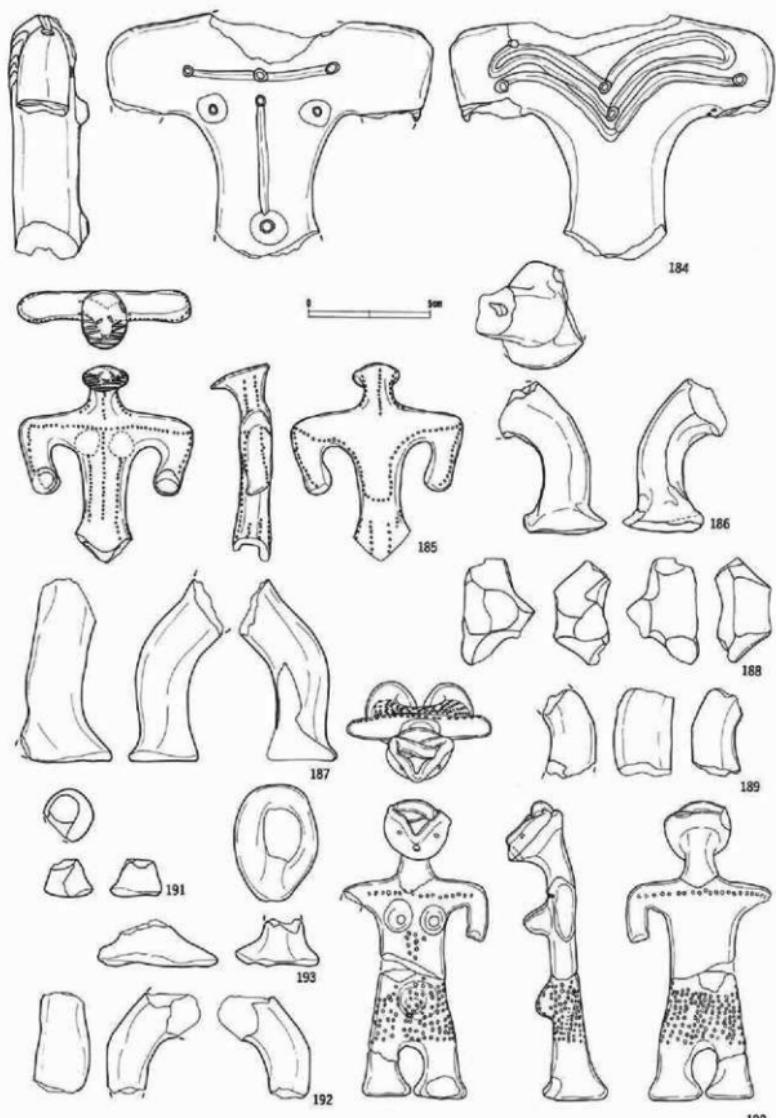
182

5mm

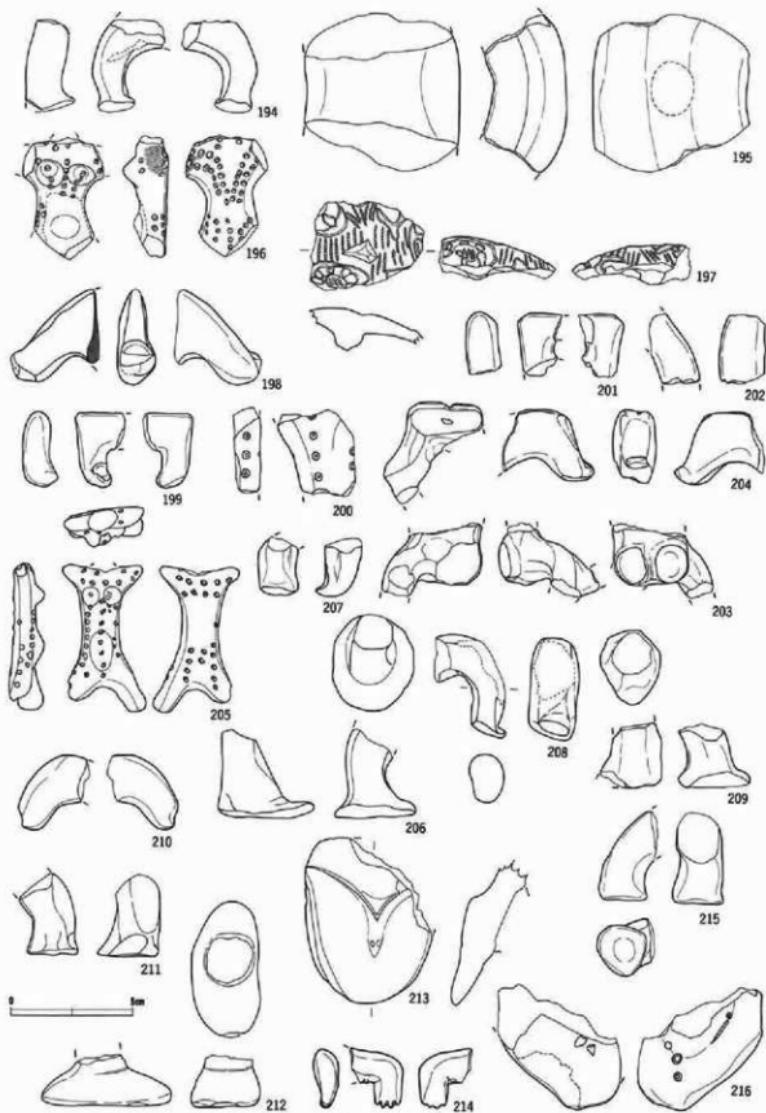
第193図 出土遺物土製品9



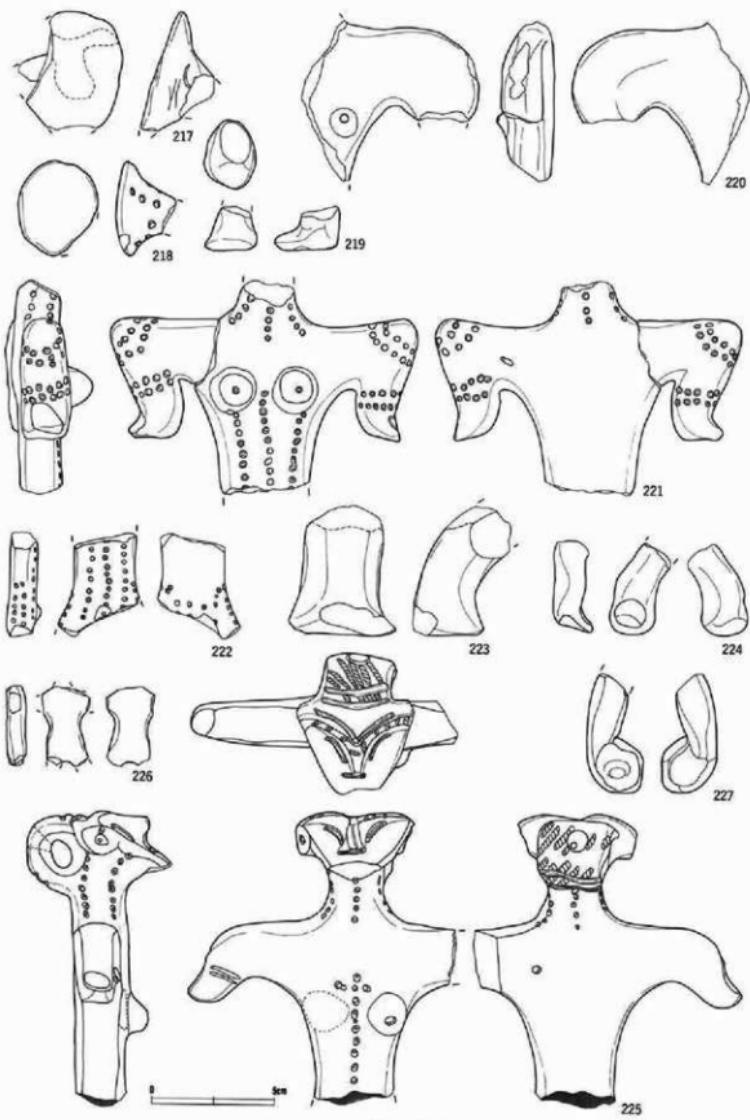
183



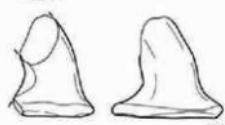
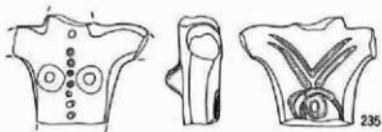
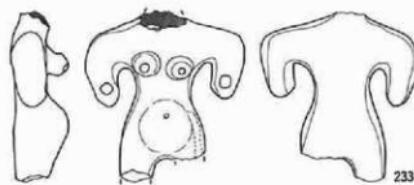
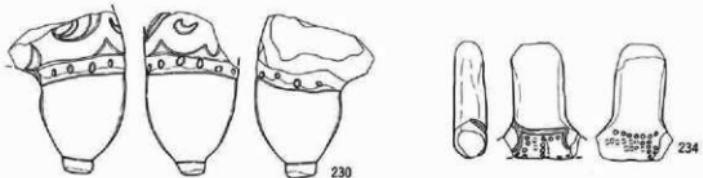
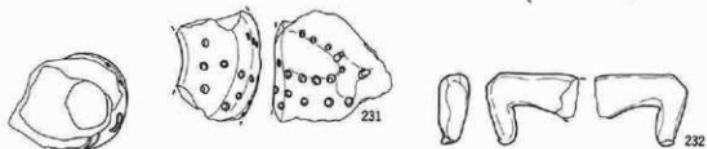
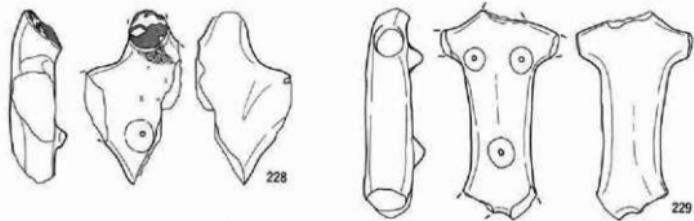
第194図 出土遺物土製品10



第195図 出土遺物土製品11

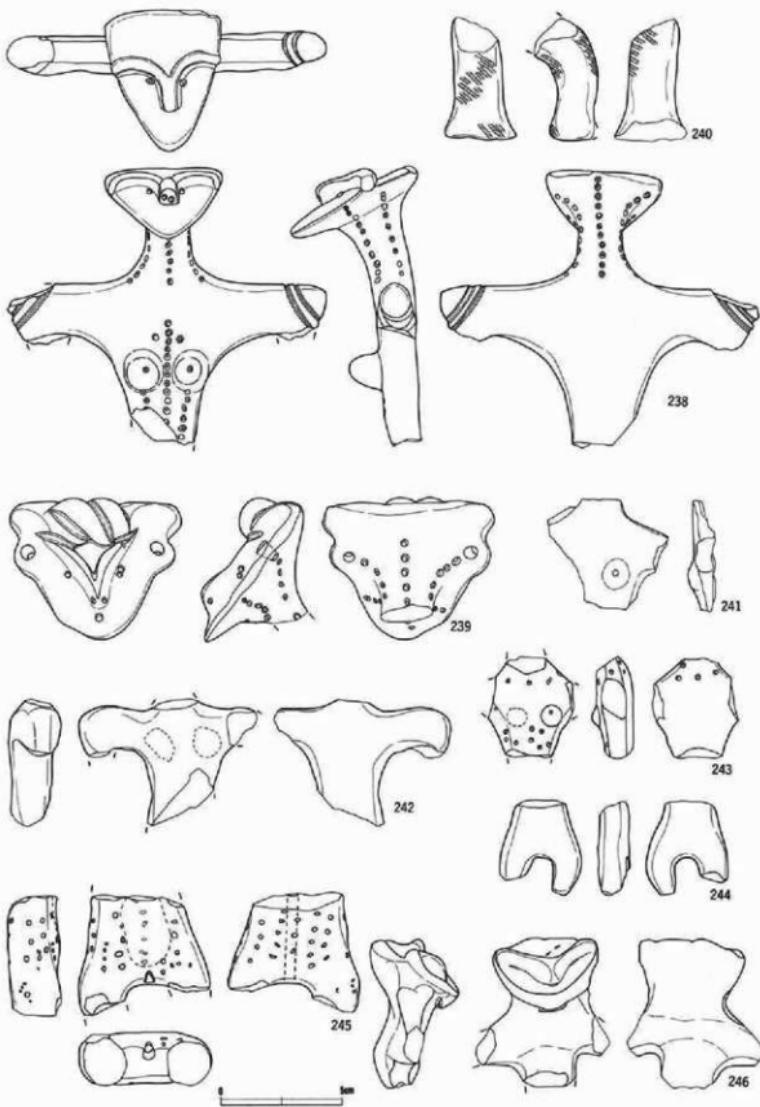


第196図 出土遺物土製品12

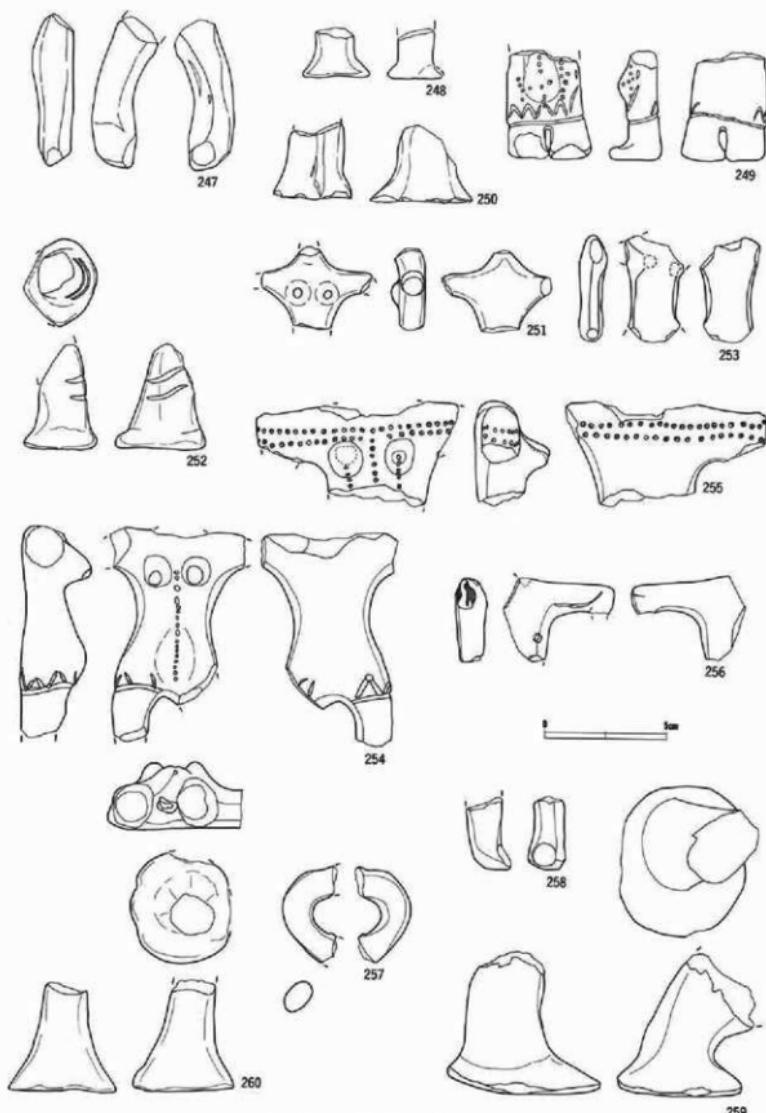


— 5cm —

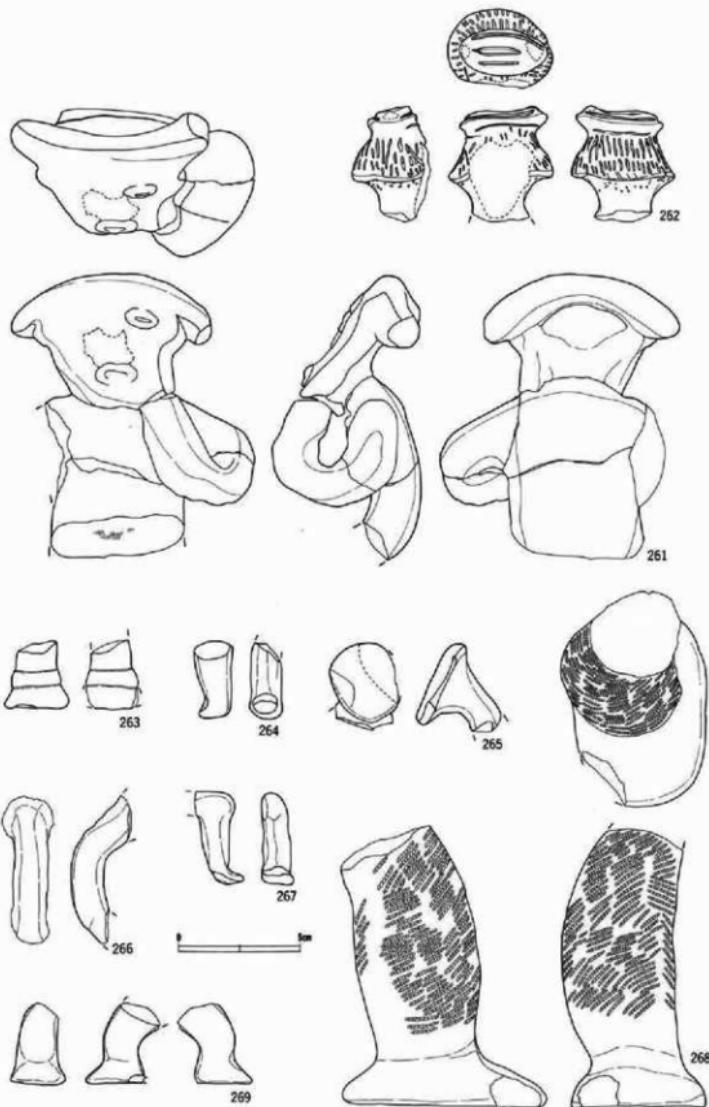
第197図 出土遺物土製品13



第198図 出土遺物土製品14

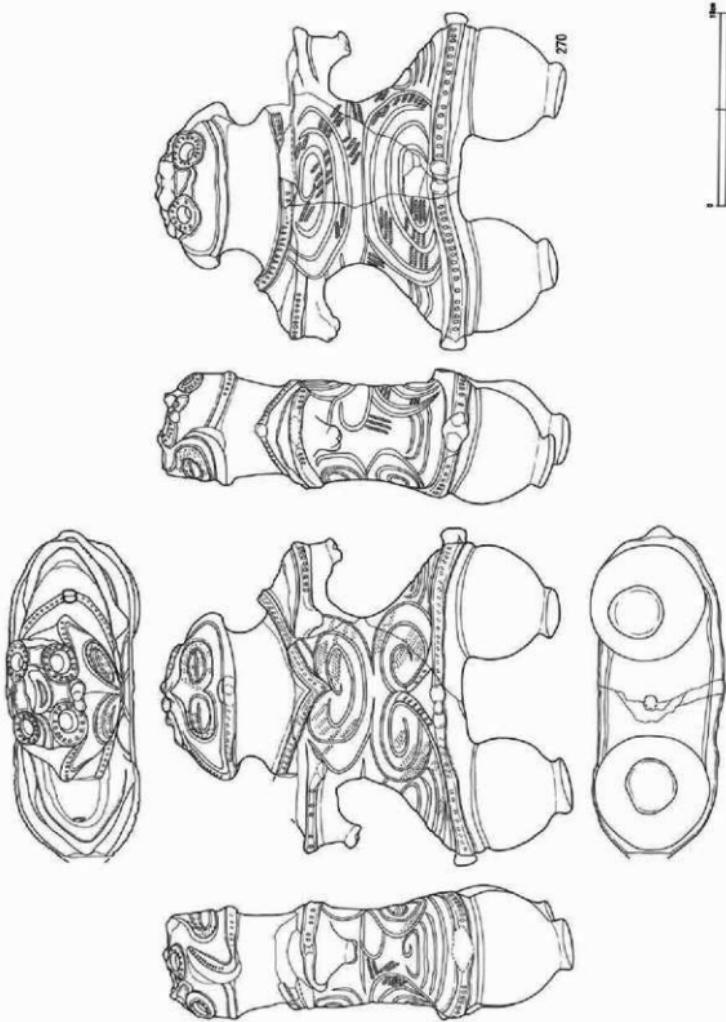


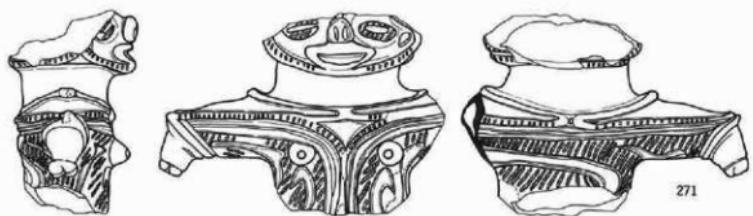
第199図 出土遺物土製品15



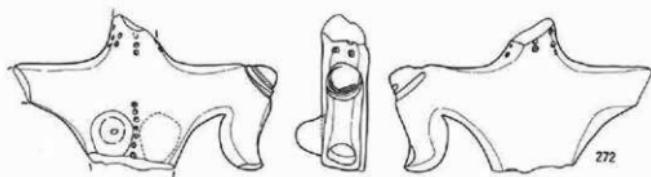
第200図 出土遺物土製品16

第201圖 出土漆物土製品17

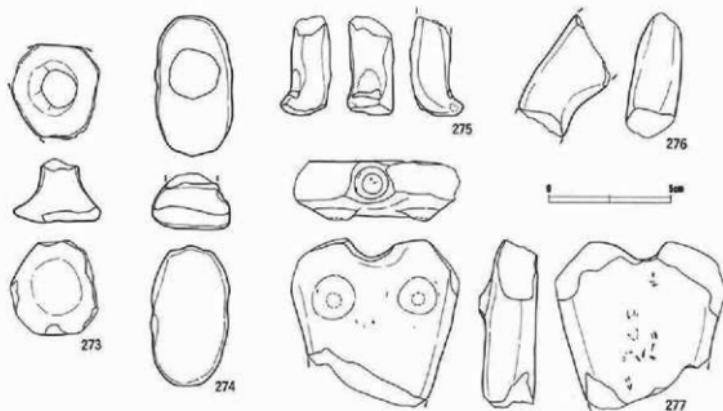




271



272



275

276

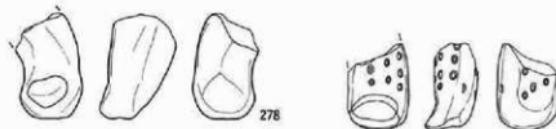
273

274

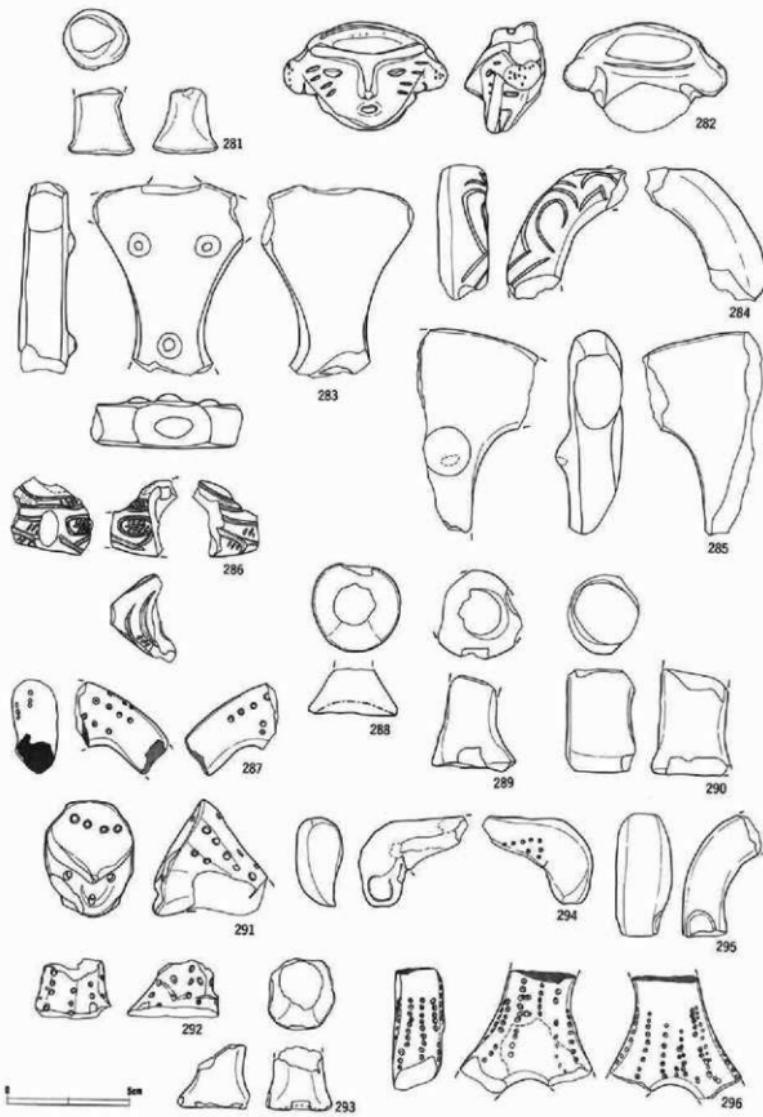
277

278

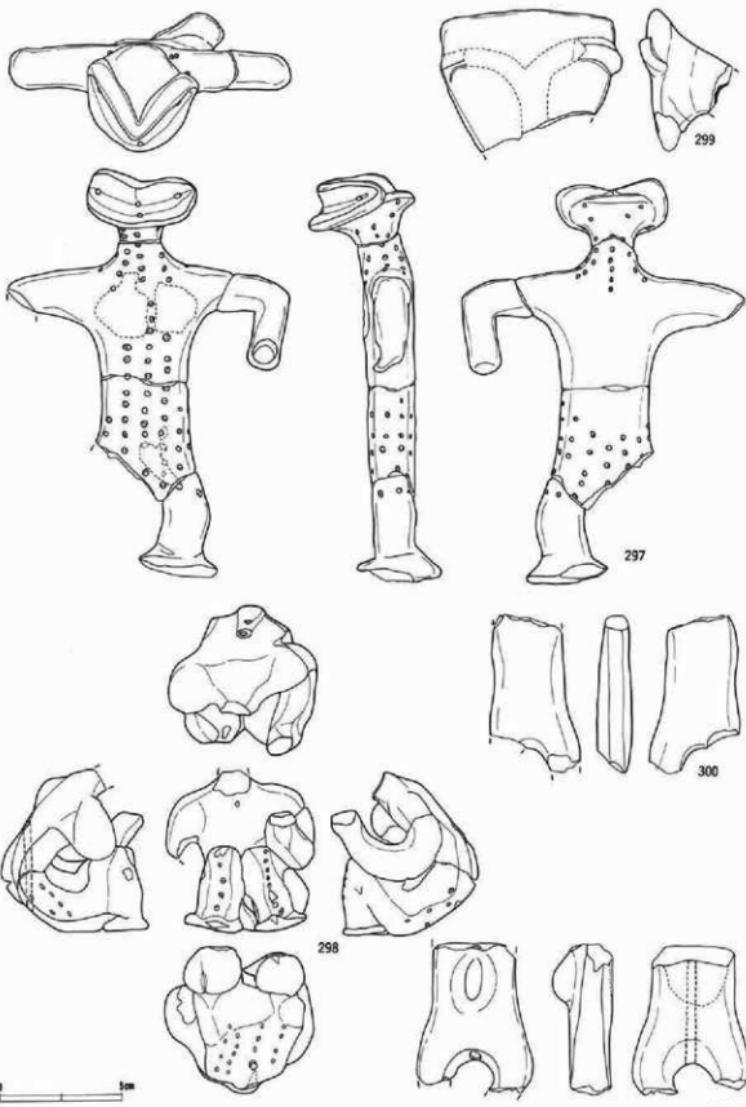
279



第202図 出土遺物土製品 18

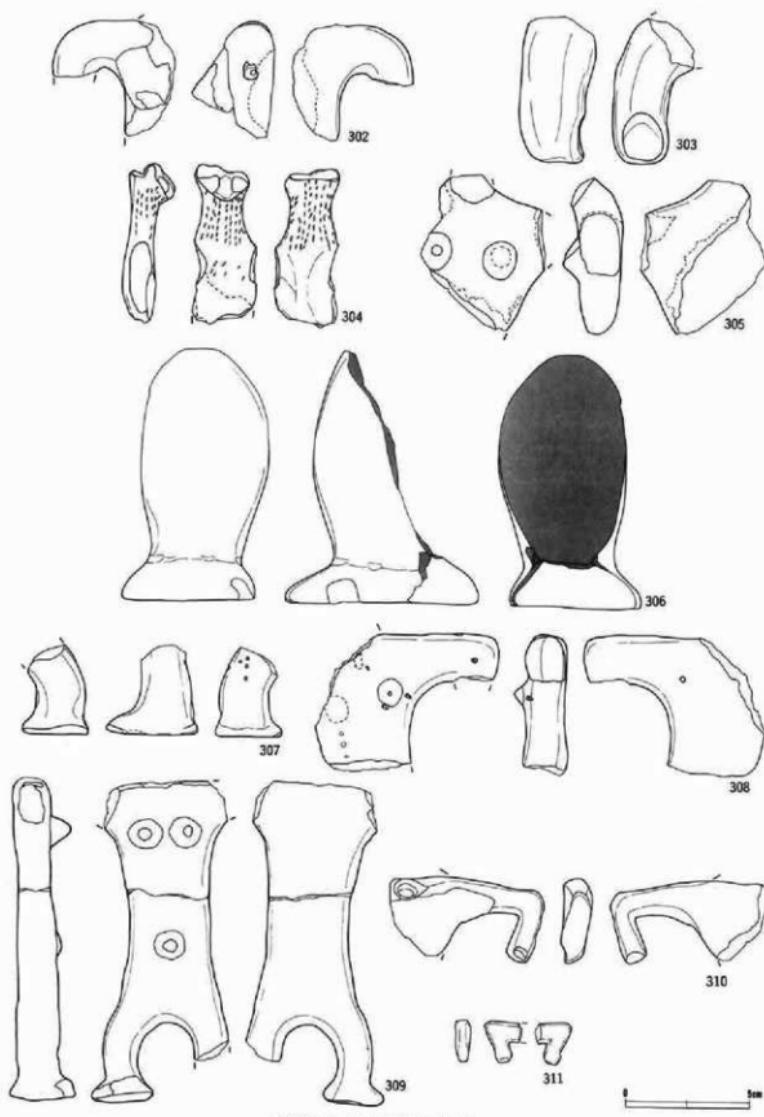


第203図 出土遺物土製品19

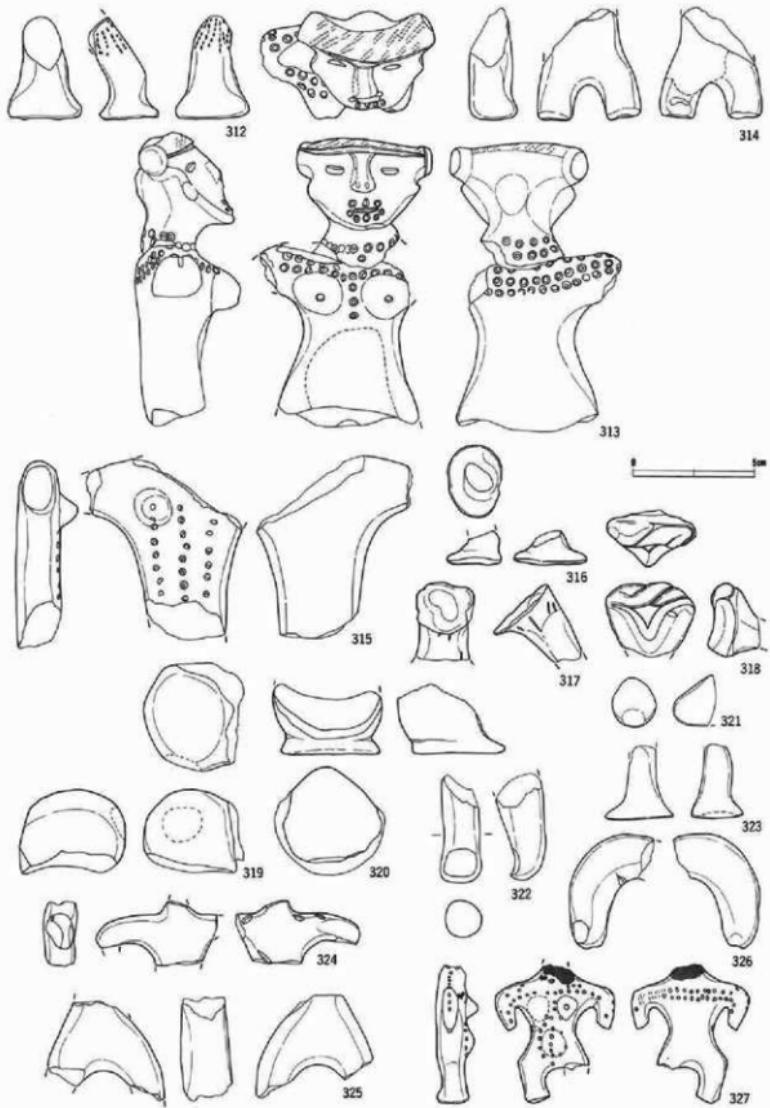


第204図 出土遺物土製品20

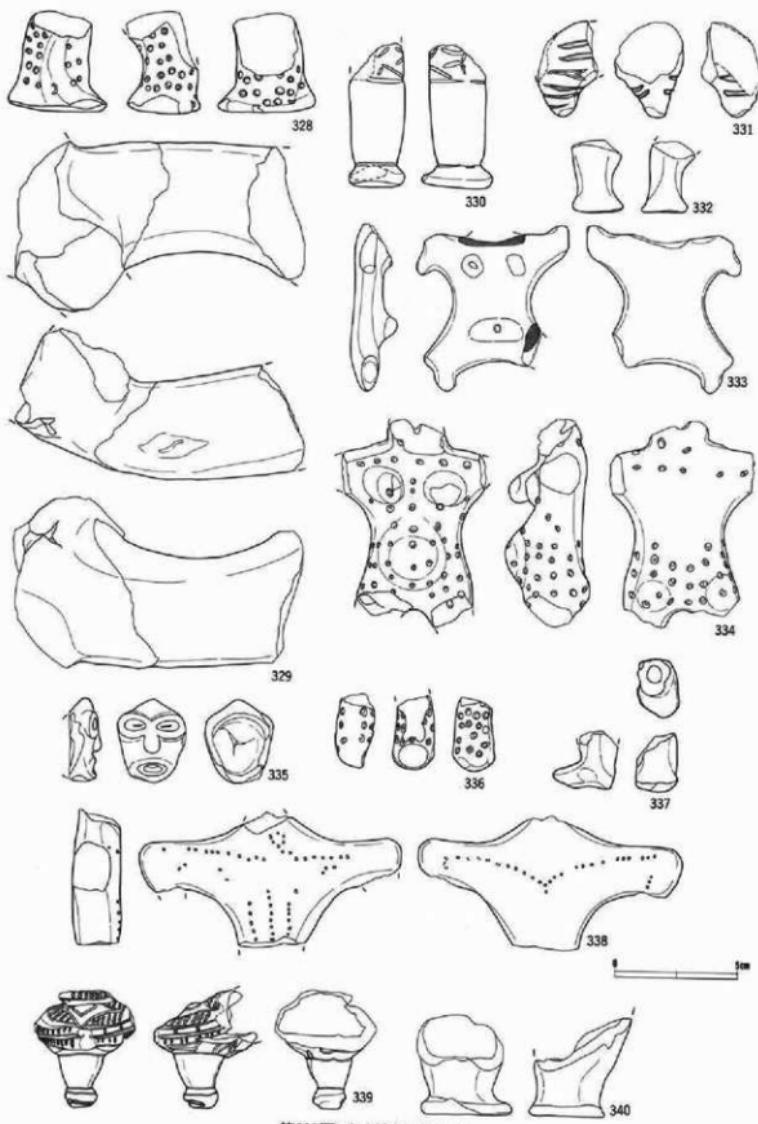
301



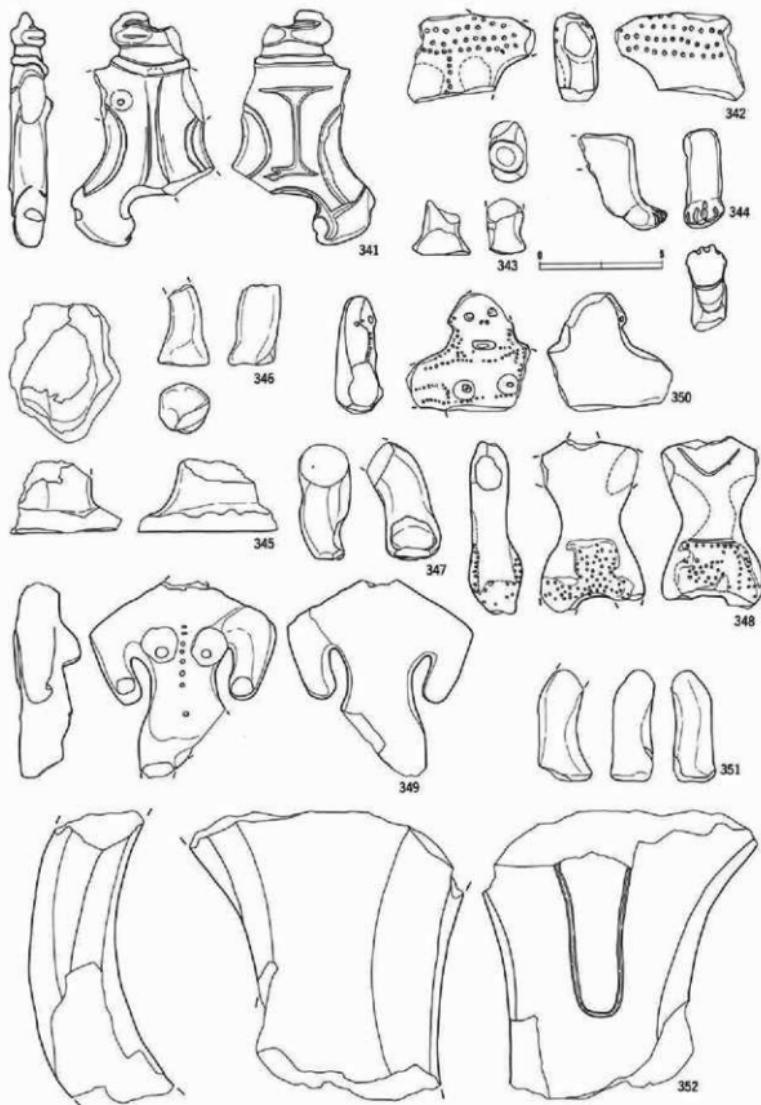
第205図 出土遺物土製品 21



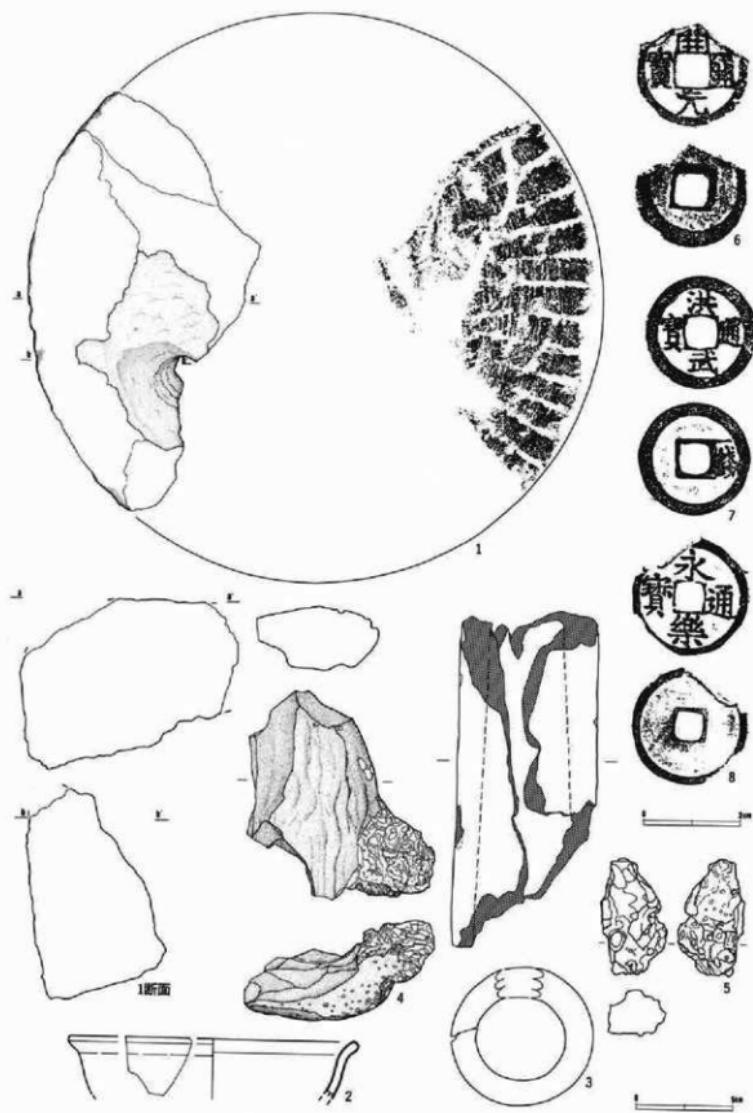
第206図 出土遺物土製品22



第207図 出土遺物土製品23



第208図 出土遺物土製品24



第209図 出土遺物・縄文時代以外の遺物

第3表 漢物観察表(1) 土 壁 点

試験番号	出 現	部 位	解 体	外 面(文様・墨文・刷体)	内 面(溝筋)	備 考
1 1号七舌	深鉢	解	LR・RL	羽状		
2 1号生肉	深鉢	底	LR 横位	鳥文	輪打目で斜筋	
3 1号生肉	深鉢	口縁	LR 横位	鳥文	輪打目に溝筋	
4 1号生肉	口縁	?	LR 横位	口縁・鶴頭 口縁貼付	輪打目に溝筋	
5 2号生肉	深鉢	口縁	LR 横位	口縁貼付	輪打目に溝筋	
6 2号生肉	深鉢	?	LR 横位	口縁・削要	輪打目に溝筋	
7 2号生肉	皿?	?	LR 横位	平行文様・縞位刻印文	透孔11個	
8 2号生肉	鉢	?	LR 横位	竹筋をS字で区切る	透孔7個	
9 2号生肉	深鉢	先	LR 横位	口縁	輪打目に溝筋	
10 2号生肉	深鉢	口縁	LR 横位?	山形口縁・平行文様	輪打目に溝筋	
11 2号生肉	鉢	口縁	LR 横位	直線状文字	輪打目に溝筋	
12 1号生肉	深鉢	?	LR 横位	直線状文字もあらか?		
13 1号生肉	深鉢	口縁	LR 横位	平行文様・縞位刻印		
14 1号生肉	深鉢	底	LR 横位	木雲鉢		
15 2号生肉	深鉢	?	LR 横位	平行文様・斜文様		
16 2号生肉	鉢	?	LR 横位	直線状・無文		
17 2号生肉	深鉢	口縁	LR 横位?	平行文様・S字で区切る	野誠	
18 1号生肉	深鉢	?	口縁	口縁		
19 3号生肉	深鉢	?	口縁	口縁		
20 3号生肉	深鉢	?	?	口縁	輪打目で斜筋1脚・無合	
21 3号生肉	深鉢	?	?	口縁		
22 3号生肉	深鉢	?	?	口縁		
23 2号生肉	深鉢	底	LR 横位	?		
24 2号生肉	深鉢	底	LR 横位	?		
25 4号土瓶	深鉢	口縁	?	木造質		
26 4号土瓶	鉢	?	?	?		
27 4号土瓶	深鉢	口縁	?	?		
28 6号土瓶	深鉢	口縁	1・LR 横位	?	輪打目に溝筋	
29 6号土瓶	深鉢	口縁	1・LR 横位	新所織り丸し	透孔11個	
30 7号土瓶	深鉢	口縁	1・LR 横位	No.12同・團子?		
31 7号土瓶	深鉢	口縁	1・LR 横位	新所織り丸し		
32 9号土瓶	深鉢	口縁	LR 横位	?		
33 9号土瓶	深鉢	口縁	LR 横位	?		
34 9号土瓶	深鉢	口縁	LR 横位	?		
35 10号土瓶	深鉢	口縁	LR・RL	?		
36 10号土瓶	深鉢	?	LR 横位	?		
37 2号瓶十脚	鉢	?	?	?	箱打目	
38 11号土瓶	深鉢	口縁	LR	?		
39 11号土瓶	深鉢	?	?	?		
40 11号土瓶	深鉢	?	?	?		
41 12号土瓶	深鉢	?	?	?	平行文様・輪打目で斜筋	
42 12号土瓶	深鉢	?	?	?	輪打目	
43 12号土瓶	鉢	?	?	?	輪打目	
44 12号土瓶	深鉢	?	?	?	輪打目	
45 13号土瓶	深鉢	?	?	?	?	
46 23号柱穴	鉢	?	?	?	?	

地名	出 土 地 点	墨 體	原 形	外 面 (文様・地文・刷体)	内 面 (調査)	備 考
47 25号柱穴 15号土坑	深林	「 劉	口様 RL標位?	口輪 口輪 R	口輪 口輪 R	
48 16号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
49 16号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
50 16号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
51 18号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
52 19号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
53 21号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
54 21号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
55 21号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
56 22号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
57 25号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
58 25号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
59 26号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
60 27号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
61 27号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
62 29号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
63 29号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
64 29号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
65 29号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
66 32号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
68 32号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
69 33号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
70 33号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
71 33号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
72 34号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
73 34号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
74 34号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
75 34号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
76 36号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
77 39号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
78 38号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
79 39号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
80 39号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
81 40号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
82 40号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
83 40号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
84 41号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
85 41号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
86 41号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
87 41号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
88 42号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
89 42号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
90 44号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
91 44号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
92 44号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	
93 46号土坑	深林	「 劉?	口様 R	口輪 R	口輪 R	

部類名	出 土 地 点	器 種	部 位	山 根	LR 原 位	外面(文様・地文・原体)	内部(調整)		備 考
							工字文・口周部に施文	輪文のみ	
94 48号土瓶		深鉢	山根	山根	山根	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
95 69号土瓶		深鉢	山根	山根	RL原位	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
96 19号土瓶		深鉢	山根	山根	山根	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
97 49号土瓶		林	口根	口根	口根	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
98 14号土瓶		深鉢	口~底	口~底	口~底	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
99 14号土瓶上部		小煎茶碗	口~底	口~底	RL・LR原位	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
100 2号土瓶上部		深鉢	口~底	口~底	口~底	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
101 3号土瓶上部		深鉢	口~底	口~底	口~底	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
102 4号土瓶上部		林	口~底	口~底	RL・LR	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
103 5号土瓶上部		林?	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
104 14号土瓶上部内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
105 3号土瓶上部内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
106 3号土瓶上部内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
107 2号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
108 2号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
109 3号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
110 3号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
111 3号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
112 6号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
113 6号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
114 6号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
115 6号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
116 6号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
117 6号土瓶内		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
118 7号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
119 7号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
120 1号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
121 1号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
122 1号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
123 3号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
124 4号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
125 4号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
126 4号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
127 5号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
128 6号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
129 6号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
130 6号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
131 6号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
132 6号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
133 6号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
134 7号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
135 7号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
136 8号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
137 8号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
138 8号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
139 8号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文
140 8号土瓶		深鉢	口~底	口~底	RL	輪文	輪文	輪文	輪方間に施文

山 土 地 点	物 品	部 位	外 面 (文部・新文・原体)		内 面 (底面)
			IR 検査	触診	
山地名			注記	触診	外観 (文部・新文・原体)
141 8号地・油樽	油樽	注記	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
142 9号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査・斜位	触診	外観 (文部・新文・原体)
143 10号地・油樽	油樽	門縫	平行透視	触診・耳輪筋・耳介筋・頬筋	外観 (文部・新文・原体)
144 10号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
145 10号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
146 10号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
147 12号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
148 16号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
149 16号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
150 17号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
151 17号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
152 20号地・油樽	油樽	門縫	IR 検査	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
153 18号地穴	深鉢	斜	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
154 18号地穴	深鉢	斜	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
155 25号地穴	深鉢	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
156 25号地穴	深鉢	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
157 26号地穴	深鉢	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
158 26号地穴	深鉢	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
159 32号地穴	蓋?	蓋?	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
160 32号地穴	深鉢	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
161 50号地穴	蓋?	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
162 55号地穴	蓋?	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
163 55号地穴	蓋?	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
164 78号地穴	深鉢	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
165 81号地穴	深鉢	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
166 81号地穴	深鉢	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
167 83号地穴	深鉢	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
168 87号地穴	深鉢	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
169 88号地穴	深鉢	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
170 97号地穴	深鉢	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
171 121号地穴	深鉢	門縫	IR 検査?	触診・耳輪筋・咽頭	外観 (文部・新文・原体)
172 140号地穴	蓋?	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
173 140号地穴	深鉢	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
174 140号地穴	深鉢	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
175 24号土瓶	深鉢	門縫	IR 検査	触診	外観 (文部・新文・原体)
176 115号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
177 116号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
178 119号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
179 120号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
180 121号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
181 129号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
182 129号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
183 132号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
184 133号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
185 136号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
186 136号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)
187 137号地穴	深鉢	門縫?	IR 検査?	触診	外観 (文部・新文・原体)

深筋No	出 土 地 点	层 位	器 型	部 位	原 体		外面(彫刻)	内面(彫刻)	编 号
					注 門	口 縁			
188 2-0	田舎		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
189 2-0	田舎		盆	口縁	LR 傷位	彫刻・部位判明			
190 2-0	田舎		盆	口縁	LR 傷位	1文字・口縁部に浅彫			
191 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
192 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
193 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻・中央・周囲			
194 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	平行彫線・部位不明			
195 1-1	田舎上部		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
196 1-1	田舎上部		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
197 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻・沈線			
198 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
199 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻・被状門縫			
200 1-1	田舎上部		盆?	口縁	LR 傷位?	彫刻・刺突・部位不明			
201 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻・刺突・部位不明			
202 1-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻・刺突			
203 1-1	田舎上部		盆	口~脚	LR 傷位	彫刻			
204 1-1	田舎下部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
205 1-1	田舎下部		深盆	口縁	LR 傷位	平行彫線・部位不明・波状門縫			
206 2-1	田舎		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
207 2-1	田舎		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
208 2-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
209 2-1	田舎上部		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
210 2-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
211 2-1	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
212 2-1	田舎上部		盆	口縁	LR 傷位	平行彫線・部位不明			
213 2-1	16YRS.3に付する褐色土		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
214 2-1	16YRS.3に付する褐色土		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
215 3-1	田舎野山(山頂上)		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
216 3-1	田舎野山(山頂上)		深盆	口縁	LR 傷位	平行彫線・S字彫・波状切込			
217 0-2	田舎野山(多頭)		深盆	口縁	P	彫刻			
218 0-2	田舎野山(多頭)		深盆	口縁	P?	彫刻			
219 1-2	渠上(次第褐色土上端より上約)		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
220 1-2	渠上		深盆	口縁	LR 傷位?	平行彫線・部位不明・口縁部彫刻			
221 1-2	渠上		深盆	口縁	LR 傷位?	彫刻			
222 1-2	渠上		盆?	口縁	LR 傷位?	彫刻			
223 1-2	渠上		盆?	口縁	LR 傷位	人面文			
224 1-2	渠下部		深盆	口縁	LR 傷位	平行彫線・部位不明			
225 1-2	渠下部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
226 1-2	田舎上部		盆	口縁	LR 傷位	彫刻・ボタン状凹口			
227 1-2	田舎上部		盆	口~脚	LR 傷位?	彫刻・刺突			
228 1-2	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位?	彫刻			
229 1-2	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	平行彫線・部位不明			
230 1-2	田舎上部		深盆	口縁	LR 傷位	彫刻・刺突			
231 1-2	田舎下部		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
232 1-2	田舎下部		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
233 1-2	田舎下部		盆	口縁	LR 傷位	彫刻			
234 1-2	田舎下部		盆	口縁	LR 傷位	平行彫線・部位不明			
						彫刻方向に直線			

頭筋No	出	土	筋	式	屈	伸	LR 頭位	外屈 (文様・歯文・原形)	内屈 (文様)	備考
235 1-2	III	B	中	屈	口縫	口縫	LR 頭位	新形文	口唇舌系化斜口	
236 1-2	III	B	中	屈	深縫	口縫	LR 頭位	花縫・刺繡	口唇舌系化斜口	
237 1-2	III	B	中	屈	深縫	口縫	LR 頭位	花縫・刺繡	口唇舌系化斜口	
238 1-2	III	B	中	屈	深縫	口縫	LR 頭位	花縫・刺繡	口唇舌系化斜口	
239 1-2	III	B	中	屈	深縫	口縫	LR 頭位	花縫・刺繡	口唇舌系化斜口	
240 1-2	III	B	中	屈	深縫	口縫	LR 頭位	花縫	口唇舌系化斜口	
241 1-2	III	B	中	屈	深縫	口縫	LR 頭位	花縫	口唇舌系化斜口	
242 1-2	III	B	中	屈	深縫	口縫	LR 頭位	花縫・黒色付物あり	口唇舌系化斜口	
243 1-2	III	B	中	屈	竹小鉢	脚~台上半	LR 頭位	花縫	口唇舌系化斜口	
244 1-2	III	B	中	屈	台	脚?	LR 頭位	花縫	口唇舌系化斜口	
245 1-2	B	区	土	筋集中区	一筋土筋	口~底	RL 頭位	口唇舌系化斜口	口唇舌系化斜口	平行舌
246 1-2	B	区	土	筋集中区	一筋土筋	深縫	脚~底	RL 頭位	口唇舌系化斜口	平行舌
247 1-2	B	区	土	筋集中区	一筋土筋	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
248 1-2	B	区	土	筋集中区	一筋土筋	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
249 1-2	C	区	土	筋集中区	一筋土筋	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
250 1-2	D	区	III	B	下	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底
251 1-2	D	区	III	B	下	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底
252 1-2	D	区	III	B	下	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底
253 1-2	D	区	III	B	下	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底
254 1-2	D	区	III	B	下	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底
255 1-2	D	区	III	B	下	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底
256 1-2	D	区	III	B	下	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底
257 1-2	D	区	III	B	下	深縫	脚~底	RL 頭位?	脚~底	脚~底
258 2-2	II	A	上	筋	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
259 2-2	II	A	上	筋	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
260 2-2	II	A	上	筋	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
261 2-2	II	A	上	筋	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
262 2-2	II	A	上	筋	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
263 2-2	II	A	上	筋	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
264 2-2	II	A	上	筋	黑色上唇立ち込み	口縫	RL 頭位	平行文縫	口唇舌系化斜口	
265 2-2	II	A	上	筋	黑色上唇立ち込み	口縫	RL 頭位	平行文縫	口唇舌系化斜口	
266 2-2	II	A	上	筋	黑色上唇立ち込み	口縫	RL 頭位	平行文縫	口唇舌系化斜口	
267 2-2	II	A	上	筋	深縫	脚~底	RL 頭位	脚~底	脚~底	脚~底
268 2-2	II	B	中	屈	ミニギア	口~底	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
269 2-2	II	B	中	屈	深縫	口縫	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
270 2-2	II	B	中	屈	深縫	口縫	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
271 2-2	II	B	中	屈	深縫	口縫	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
272 2-2	II	B	中	屈	深縫	口縫	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
273 2-2	II	B	中	屈	深縫	口縫	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
274 2-2	II	B	中	屈	深縫	脚?	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
275 2-2	II	B	中	屈	深縫	脚?	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
276 2-2	II	B	中	屈	深縫	脚?	RL 頭位	花縫	脚~底	脚~底
277 2-2	D	区	III	B	下	筋(後)	深縫	RL~LR 頭位	花縫	脚~底
278 2-2	D	区	III	B	下	筋(後)	深縫	RL 頭位	花縫	脚~底
279 2-2	D	区	III	B	下	筋(後)	深縫	RL 頭位	花縫	脚~底
280 2-2	D	区	III	B	下	筋(後)	深縫	RL 頭位	花縫	脚~底
281 2-2	D	区	III	B	下	筋(後)	深縫	RL 頭位	花縫	脚~底

説明	出	上	地	山	心	體	部	位	外	内	面	(漢字)	備考
					深	体	口	深	行	行	形	・地文・筋文	
423 2-3 A区 III A 地当腰区黄褐色・唇	深	体	口	深	LR 頭位	平行	次深						深付唇
424 2-3 A区 III A 腹当腰区黄褐色土黃	深	体	口	深	LR 頭位	平行	次深						深付唇
425 2-3 D区 III A 腹当腰区褐色プロック	深	体	口	深	ミニチュア	四つ足	四つ足	口	深	平行	次深		深付唇
426 2-3 B区 III A 腹下部	深	体	口	深	口	口	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
427 2-3 B区 III A 腹下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
428 2-3 B区 III A 腹下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
429 2-3 B区 III A 腹下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
430 2-3 C区 III A 腹下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
431 2-3 C区 III A 腹下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
432 2-3 A区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
434 2-3 A区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
435 2-3 A区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
436 2-3 A区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
437 2-3 B区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
438 2-3 B区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
439 2-3 B区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
440 2-3 B区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
441 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
442 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
443 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
444 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
445 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
446 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
447 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
448 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
449 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
450 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
451 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
452 2-3 B区 III B中段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
453 2-3 A区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
454 2-3 A区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
455 2-3 A区 III B上段	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
456 2-3 2-3-1 No.16	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
457 2-3 2-3-1 No.52	高	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
458 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
459 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
460 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
461 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
462 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
463 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
464 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
465 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
466 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
467 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
468 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇
469 2-3 2区 III B中段下部	深	体	口	深	口	脚	口	深	平行	次深	口	筋文	深付唇

語彙No.	地	点	基	部	原	體	外面(文様・筆文・原体)	内面(調査)	備考
564	1-4 B区 f.c.1.4の2・3層	深鉢	口-側	1	細鉢各部外観	無	横方向に調整		
565	1-4 B区 f.c.1.4 2・3層・最下部	深鉢	口-側	1-7列	細鉢各部外観	口-側に縫合部	横方向に調整		
566	1-4 B区 f.c.1.4の2・3層	深鉢	口-側	1-7列	細鉢各部外観	口-側に縫合部	横方向に調整		
567	1-4 A区 f.c.1.4の2・3層(下部)	小笠透?	網	1-7列	細鉢各部外観	無	横方向に調整		
568	1-4 A区 f.c.1.4の2・3層(下部)	小笠透?	網	1-7列	細鉢各部外観	無	横方向に調整		
569	1-4 A区 f.c.1.4の2・3層(下部)	深鉢	口縁	1	細鉢各部外観	口縁・細鉢各部外観	横方向に調整		
570	1-4 A区 篦子透の上(複数・層を含む)	深鉢	口縁	1	細鉢各部外観	口縁・細鉢各部外観	横方向に調整		
571	1-4 棚下層	深鉢	口縁	1	細鉢各部外観	S字状化・縫合部	横方向に調整		
572	1-4 棚下層	深鉢	口縁	1	細鉢各部外観	S字状化・縫合部	横方向に調整		
573	1-4 A区 篦子透(-一部)	深鉢	口-側	1-12列	細鉢各部外観	口縁・細鉢各部外観	横方向に調整		
574	2-4 A層 美土留	無	無	無	無	無	横方向に調整		
575	2-4 III A層	口縁	口縁	2	口縁部外見	縫合のX字文	横方向に調整		
576	2-4 III A層上部	浅鉢?	網	無	口縁部外見	縫合のX字文	横方向に調整		
577	2-4 III A層上部	煮?	網	無	口縁部外見	縫合のX字文	横方向に調整		
578	2-4 III A層上部	煮?	網	無	口縁部外見	縫合のX字文	横方向に調整		
579	2-4 III A層上部	縫?	網	無	口縁部外見	縫合のX字文	横方向に調整		
580	2-4 III A層上部 地山粘土プロック多量型	縫	口縁	LR 構造	縫	縫合のX字文	横方向に調整		
581	2-4 III A層上部 地山粘土プロック多量型	縫	口縁	RL 構造	縫	縫合のX字文	横方向に調整		
582	2-4 A区 III A層(4)	皿	口縁	RL・LR	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
583	2-4 A区 III A層(4)	皿	口縁	LR 構造	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
584	2-4 A区 III A層(4)	皿	口縁	RL 構造	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
585	2-4 III A層(4)	皿	口縁	RL 構造	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
586	2-4 III A層(5)	皿	口縁	RL 構造	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
587	2-4 III A層(5)	皿	口縁	LR 構造	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
588	2-4 A区 III A層(7)	深鉢	口-側	1	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
589	2-4 A区 III A層(7)	深鉢	口-側	1	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
590	2-4 A区 III A層(7)	鉢	口-側	1	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
591	2-4 A区 III A層(8)	鉢	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
592	2-4 A区 III A層(8)	深鉢	口-側	1	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
593	2-4 D区 III A区黄褐色	深鉢	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
594	2-4 D区 III A区黄褐色	深鉢	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
595	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	深鉢	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
596	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	皿	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
597	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	皿	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
598	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	皿	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
599	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	皿	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
600	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	皿	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
601	2-4 A区 III A層	鉢	口縁	LR 構造	口縁	縫合のX字文	横・纵向に調整		
602	2-4 A区 III A層	皿	口-側	LR 構造	口縁	縫合のX字文	横・纵向に調整		
603	2-4 A区 III A層	皿	口-側	LR 構造	口縁	縫合のX字文	横・纵向に調整		
604	2-4 A区 III A層	皿	口-側	LR 構造	口縁	縫合のX字文	横・纵向に調整		
605	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	深鉢	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
606	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	深鉢	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
607	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	深鉢	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
608	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	深鉢	口-側	1-7列	口縁部外見	縫合のX字文	横・纵向に調整		
609	2-4 B区 III A・III Bの明渠土層上(Ⅱ・Ⅲ段階)	皿	口-側	LR 構造	口縁	縫合のX字文	横・纵向に調整		
610	2-4 III B上層	皿	口-側	LR 構造	口縁	縫合のX字文	横・纵向に調整		

図版番号	出土地点	層位	部位	外面(文様・地文・原体)		内面(側面)		備考
				外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	
657 2-4 B区 田B下層南T部	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
658 2-4 B区 田B下層南T部	深林	唇	唇	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
659 2-4 B区 田B下層南T部	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
660 2-4 1-3東西ベルト下層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
661 2-4 1-3東西ベルト下層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
662 2-4 A-C区 1-4東西ベルト③層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
663 2-4 A-C区 1-4東西ベルト③層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
664 2-4 1-3東西ベルト下層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
665 2-4 1-3東西ベルト下層	口~阿	RL側位?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
666 2-4 1-3東西ベルト下層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
667 2-4 1-3東西ベルト下層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
668 2-4 1-3東西ベルト下層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
669 2-4 A-C区 1-4東西ベルト5層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
670 2-4 A-C区 1-4東西ベルト5層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
671 2-4 A-C区 1-4東西ベルト5層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
672 2-4 1-3東西ベルト下層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
673 2-4 1-3東西ベルト下層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
674 2-4 1-3東西ベルト下層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
675 2-4 A-C区 1-4東西ベルト5層新形	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
676 2-4 A-C区 1-4東西ベルト5層新形	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
677 2-4 A-C区 1-4東西ベルト5層新形	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
678 2-4 A-C区 1-4東西ベルト7層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
679 2-4 A-C区 1-4東西ベルト7層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
680 2-4 A-C区 7層(多)	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
681 2-4 A-C区 1-4東西ベルト8層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
682 2-4 A-C区 1-4東西ベルト8層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
683 2-4 A-C区 1-4東西ベルト8層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
684 2-4 1-3東西ベルト ダリーニング時	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
685 0-5 III B層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
686 0-5 III B層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
687 0-5 C区 田B下層(無鉛金)	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
688 0-5 前場 1-3 A区 1-3東西ベルト8層	口~阿	RL側位	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	外縁	輪刃状に磨耗
689 1-5 田B上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
690 1-5 田B上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
691 1-5 田B上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
692 1-5 田B上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
693 1-5 田A層上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
694 1-5 田A層上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
695 1-5 III A層上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
696 1-5 III A層上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
697 1-5 c-d区 III A層下部	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
698 1-5 D区 田B上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
699 1-5 D区 田B上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
700 1-5 1-3東西ベルト上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
701 1-5 1-3東西ベルト上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
702 1-5 1-3東西ベルト上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗
703 1-5 1-3東西ベルト上層	深林	唇	唇?	外縁	朱竹林	外縁	朱竹林	輪刃状に磨耗

標記名	出 生 地 点	性 別	年 齢	部 位	内面(調節)	
					前面	裏面
704	704-1-5-東西ベベル下部	男	未記	深鉢	口輪	Na.704と同一体 突起は削除
705	705-1-5-東西ベベル上部	男	深鉢	口輪	LR極位	前方に調整 横方向に調整
706	706-1-5-東西ベベル下部中央	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
707	707-1-5-東西ベベル下部中央	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
710	710-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
711	711-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
712	712-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
713	713-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
714	714-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
715	715-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
717	717-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
718	718-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
719	719-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
720	720-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
721	721-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
722	722-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
723	723-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
724	724-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
725	725-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
726	726-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
727	727-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
728	728-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
729	729-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
731	731-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
732	732-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
733	733-1-5-2-1-5-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
734	734-1-5-A区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
735	735-1-A区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
736	736-1-A区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
738	738-1-A区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
739	739-1-A区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
740	740-1-A区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
741	741-1-A区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
742	742-1-A区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
743	743-1-B区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
744	744-1-B区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
745	745-1-B区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
746	746-1-B区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
747	747-1-B区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
748	748-1-B区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
749	749-1-B区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突
750	750-1-B区-1-4-東西ベベルトト槽	男	深鉢	口輪	口輪	後方・歯突

筋番号	出 土 地 点	器 種	部 位	外 面 形 狀	外 面 (文様・地文・底文)	内 面 (溝跡)	備 考
845	1-5-2-5 1.5里西ベル 4回	杯	LR側位	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
846	2.5 1.5里西ベル 5回	深杯	LR側・斜位	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
847	2.5 1.5里西ベル 5回 [中~下]	深杯	RL側・斜位	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
848	2.5 1.5里西ベル 5回 [中~下]	台付鉢	口~脚	台	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
849	2.5 1.5里西ベル 5回 [中~下]	台付鉢	口~脚	台	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
850	2.5 1.5里西ベル 5回 [中~下]	小型壺?	口~脚	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
851	2.5 1.5里西ベル 5回 [中~下]	深杯	LR側位	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
852	2.5 1.5里西ベル 5回 [中~下]	深杯	LR側位	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
853	2.5 1.5里西ベル 5回	盆?	脚	口~脚	横縫・ボタン状凸起? 小輪縁条体羽目附	横方向に調整 七線	
854	2.5 A.C区 1-5里西ベル 5回 [中~下] (很多)	深杯	口~脚	口~脚	十文字・「門」字底浅縫	横方向に調整 横方向に調整	
855	2.5 A.C区 1-5里西ベル 5回 [中~下] (很多)	深杯	LR側位	口~脚	横縫・竹管文	横方向に調整 横方向に調整	
856	2.5 A.C区 1-5里西ベル 5回 [中~下] (很多)	深杯	LR側位	口~脚	横縫・流紋・単体	横方向に調整 横方向に調整	
857	2.5 D区 1-5里西ベル 5回 [中~下]	深杯	口~脚	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
858	2.5 A.C区 1-5里西ベル 5回 [中~下]	深杯	口~脚	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
859	2.5 A.C区 1-5里西ベル 5回 [中~下]	深杯	口~脚	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
860	2.5 A.C区 1-5里西ベル 5回 [中~下]	深杯	口~脚	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
861	2.5 1.5里西ベル 6回 [中~下] (很多)	深杯	口~脚	口~脚	横縫・斜縫	横方向に調整 横方向に調整	
862	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
863	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
864	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
865	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
866	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
867	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
868	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
869	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
870	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
871	2.5 1.5里西ベル 7回	台付杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
872	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
873	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
874	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
875	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
876	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
877	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
878	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
879	2.5 1.5里西ベル 7回	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
880	2.5 壁?	深杯?	脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
881	3.4 地褐色上	碗	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
882	3.4 地褐色原土上	碗	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
883	0-6 美士 1-III腰高下唇	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
884	0-6 美士 1-III腰高下唇	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
885	0-6 A区 III B腰下半	斜杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
886	0-6 A区 III B腰下半	斜杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
887	0-6 B腰下半	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
888	0-6 B腰下半	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
889	0-6 B区 III B腰下半	深杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
890	1.6 C区 III A腰上	注口	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	
891	1.6 C区 III A腰上	杯	口~脚	口~脚	横縫	横方向に調整 横方向に調整	

回数No.	出 土 地 点	面 積	面 位	外 面 文 様 ・ 地 文 ・ 原 体	内 面 (清物)	備 考
980	1-6 B区 1-6東西ベベルトB7層	小面積	口~底	冲縄	横方向に複数	
987	1-6 B区 1-6東西ベベルトB7層	深井	RL-LR側位	冲縄	横方向に複数	
988	1-6 B区 1-6東西ベベルトB7層	片口宣	口~底	横縞・地縞・ミタ・付足・垂れ唇・口部に光沢・刺突	横方向に複数	
989	1-6 B区 1-6東西ベベルトB7層	深井	U~脚	地縞	横方向に複数	
990	1-6 B区 1-6東西ベベルトB7層	深井	U~脚	地縞	横方向に複数	
991	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
992	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
993	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	脚	地縞	横方向に複数	
994	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
995	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
996	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
997	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
998	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
999	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
1000	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
1001	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
1002	1-7 A区 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	魚	LR-LR側位	地縞	No.1003と同一原体	
1003	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	魚	LR-LR側位	地縞	No.1003と同一原体	
1004	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
1005	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
1006	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
1007	1-6 B区 1-6東西ベベルトB7層	深井?	口~脚	地縞	横方向に複数	
1008	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	深井	口~脚	地縞	横方向に複数	
1009	1-6 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	小面積	先形	無文	口横部原体部分・意匠部削除	
1010	1-6 B区 1-6東西ベベルトB7層(6層下部含む可能性有)	小面積	口~底	LR側位	横方向に複数 備付箇	
1011	1-6 A区 簡易型	深井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1012	1-6 A区 深下層 1-6東西ベベルト ドリニーニング時	深井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1014	1-6 A区 深下層	深井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1015	1-6 A区 深下層	深井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1016	1-6 間隔小判	深井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1017	1-6B区ベベルトクリニーニング時	小面積	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1018	1-6 1-6東西ベベルトB7層下部	台形体?	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1019	2-6 田舎上層	井	RL側位?	地縞	横方向に複数 備付箇	
1021	2-6 田舎上層	井	RL側位	地縞	横方向に複数 備付箇	
1022	2-6 田舎上層	井	RL側位	地縞	横方向に複数 備付箇	
1023	2-6 田舎上層	井	RL側位	地縞	横方向に複数 備付箇	
1024	2-6 田舎上層	井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1025	2-6 田舎上層	井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1026	2-6 田舎上層	井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1027	2-6 田舎上層	井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1028	2-6 B区 純褐色上層	井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1029	2-6 B区 純褐色上層	井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1030	2-6 B区 純褐色上層	井	口~脚	地縞	横方向に複数 備付箇	
1031	2-6 D区 地山蛇上層プロックNo.1	井	RL側位	地縞	横方向に複数 備付箇	
1032	2-6 D区 地山蛇上層プロックNo.1	井	RL側位	地縞	横方向に複数 備付箇	

箇所No.	出	土	地	点	標	標	部	位	部	位	外	面	(文様・地文・原体)	内面	(調査)	備考
1033 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土上-一等土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1034 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土上-二等土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1035 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土上-三等土層	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新	新
1036 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土上-黄褐色土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	新	新	新	新	新	新	新	新	新
1037 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土上-深褐色土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1038 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土下-一等土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	新	新	新	新	新	新	新	新	新
1039 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土下-二等土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1040 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土下-三等土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1041 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土下-地山土層下-下部	新	新	新	新	新	新	口~肩	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1042 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 基土下-地山土層下-上部	新	新	新	新	新	新	口~肩	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1043 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1 下の地山土層下-底	新	新	新	新	新	新	口~肩	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1044 2.6 D区 地山粘土層プロック No.1より上の地山土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL・LR	新	新	新	新	新	新	新	新
1045 2.6 D区 反省色土(原生地層)	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 橫位	新	新	新	新	新	新	新	新
1046 2.6 D区 反省色土(原生地層)	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 橫位	新	新	新	新	新	新	新	新
1047 2.6 D区 反省色土(原生地層)	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 橫位	新	新	新	新	新	新	新	新
1048 2.6 D区 田 A型切妻土塊	新	新	新	新	新	新	口~底	LR 橫位	新	新	新	新	新	新	新	新
1049 2.6 D区 田 A型切妻土塊上部10cm	新	新	新	新	新	新	口~底	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1050 2.6 D区 反省色土層	新	新	新	新	新	新	口~肩	LR 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1051 2.6 D区 反省色土	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1052 2.6 D区 反省色土-2-6-(⑤)D区B上層相当	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1053 2.6 D区 反省色土(原生地層)	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1054 2.6 D区 田 B上層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1055 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1056 2.6 D区 田 B下層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1057 2.6 D区 田 B層上半	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1058 2.6 D区 田 B層上半	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1059 2.6 D区 田 B層上半	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1060 2.6 D区 田 B層下部	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1061 2.6 D区 田 B層下部	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1062 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1063 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1064 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1065 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1066 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1067 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1068 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1069 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1070 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1071 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1072 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1073 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1074 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1075 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1076 2.6 D区 田 B中層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1077 2.6 D区 田 B下層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1078 2.6 D区 田 B下層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新
1079 2.6 D区 田 B下層	新	新	新	新	新	新	口~肩	RL 横位	新	新	新	新	新	新	新	新

部類No.	出	土	地	点	基	標	部	位	外	外	文	文	字	編
	Ⅲ	B	下	海	底	深	底	原	回	回	(文釋)	(文釋)	等	
1080	2-6	Ⅲ	B	下	海	底	深	底	原	回	海	海	海	1
1081	2	6	Ⅲ	B	下	海	底	底	原	回	海	海	海	1
1082	2-6	Ⅲ	B	下	海	底	深	底	原	回	海	海	海	1
1083	2-6	Ⅲ	B	下	海	底	底	底	原	回	海	海	海	1
1084	2	6	Ⅲ	B	下	海	底	底	原	回	海	海	海	1
1085	2-6	Ⅲ	B	下	海	底	底	底	原	回	海	海	海	1
1086	2-6	C	Ⅲ	B	下	海	底	底	原	回	海	海	海	1
1087	2	6	C	Ⅲ	B	下	海	底	原	回	海	海	海	1
1088	2	6	C	Ⅲ	B	下	海	底	原	回	海	海	海	1
1089	2-6	Ⅲ	B	下	海	底	底	底	原	回	海	海	海	1
1090	2-6	D	Ⅲ	B	下	海	底	底	原	回	海	海	海	1
1091	2	6	A	C	Ⅲ	B	下	海	底	原	海	海	海	1
1092	2-6	B	Ⅲ	B	下	海	底	底	原	回	海	海	海	1
1093	2	6	B	Ⅲ	B	下	海	底	原	回	海	海	海	1
1094	2	6	A	1-6	西	ベルト	A	1	海	原	海	海	海	1
1095	2-6	A	1-6	東	内	ベルト	A	1	海	原	海	海	海	1
1096	2-6	A	1-6	東	内	ベルト	A	1	海	原	海	海	海	1
1097	2-6	2	西	ベルト	A	2	海	底	原	回	海	海	海	1
1098	2-6	1-6	西	ベルト	A	2	海	底	原	回	海	海	海	1
1099	2-6	1-6	東	内	ベルト	A	2	海	底	原	回	海	海	1
1100	2-6	1-6	西	ベルト	A	2	海	底	原	回	海	海	海	1
1101	2	6	1-6	西	ベルト	A	2	海	底	原	回	海	海	1
1102	2-6	1-6	東	内	ベルト	A	2	海	底	原	回	海	海	1
1103	2-6	A	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	海	1
1104	2-6	A	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	海	1
1105	2-6	C	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	海	1
1106	2-6	C	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	海	1
1107	2	6	C	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	1
1108	2	6	D	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	1
1109	2	6	D	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	1
1110	2-6	D	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	海	1
1111	2	6	D	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	1
1112	2-6	C	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	海	1
1113	2-6	C	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	海	1
1114	2	6	C	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	1
1115	2-6	A	C	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	1
1116	2	6	A	C	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	1
1117	2-6	Ⅲ	D	1-6	東	西	ベルト	A	3	海	原	海	海	1
1118	2-6	A	C	1-6	東	西	ベルト	A	6	海	原	海	海	1
1119	2	6	A	C	1-6	東	西	ベルト	A	6	海	原	海	1
1120	2	6	C	1-6	東	西	ベルト	A	6	海	原	海	海	1
1121	2	6	C	1-6	東	西	ベルト	A	6	海	原	海	海	1
1122	2-6	C	1-6	東	西	ベルト	A	6	海	原	海	海	海	1
1123	2-6	C	1-6	東	西	ベルト	B	3	海	原	海	海	海	1
1124	2	6	B	D	1-6	東	西	ベルト	H	3	海	原	海	1
1125	2-6	B	D	1-6	東	西	ベルト	H	3	海	原	海	海	1
1126	2-6	D	1-6	東	西	ベルト	B	3	海	原	海	海	海	1

レジNo.	出	十	地	点	発	電	電	外側 内面(側面)	備考
1174 1-7	B区	田B下端部	深井	口縫	次織	口唇部に刺繡・地文・原文			
1175 1-7	B区	田B下端部	深井	口縫	次織	刺繡・刺繍・口唇部に刺繡		前方向外に刺繡	
1176 1-7	A区	I端	差込	RL部位?	綿				
1177 1-7	A区	I端	差込	口~綿	差込	地文			
1178 1-7	A区	I端	針	口~綿	差込	地文			
1179 1-7	ⅢB下端部	苗	口縫	LR部位・刺繡?	LR部位	刺繡			
1180 2-6	ⅢB下端部	深井	口縫	口~綿	口縫	刺繡			
1181 1-7	C区	①端	苗	口~綿	苗~綿	次織	確認した結果を記載し削除し削除用?		
1182 1-7	A区	I端	深井	口~綿	深井	次織			
1183 1-7	A区	I端	深井	口~綿	深井	次織	次織・部位・位置		
1184 1-7	A・C区	①端上端	深井	口~綿	深井	次織	次織・部位・位置		
1185 1-7	A・C区	①端上端	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・位置		
1186 1-7	A・C区	①端上端	苗	口縫	口縫	竹文			
1187 1-7	D区	I端(次多)	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・位置		
1188 1-7	D区	I端(次多)	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・位置		
1189 1-7	D区	I端(次多)	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・位置		
1190 1-7	D区	I端下部(次多)	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・位置		
1191 1-7	D区	I端下部(次多)	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・位置		
1192 1-7	B区	增多	口縫	口縫	口縫	竹文			
1193 1-7	D区	芯部(後縫)	深井	口縫	口縫	竹文			
1194 1-7	1-7端西ベント2端相当	鉢	口~綿	LR部位	口~綿	次織			
1195 1-7	1-7端西ベント2端相当	深井	口~綿	口~綿	口~綿	次織・部位			
1196 1-7	1-7端西ベント2端相当	深井	口~綿	LR部位	口~綿	次織			
1197 1-7	1-7端西ベントA端相当(次多)	小品鉢	口~綿	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1198 1-7	1-7端西ベントA端相当(次多)	深井	口~綿	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1199 1-7	1-7端西ベントA端相当(次多)	深井	口~綿	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1200 1-7	1-7端西ベントA端相当(次多)	深井	口~綿	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1201 1-7	A区	1-7端西ベントA端相当	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1202 1-7	A区	1-6端西ベントA端相当	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1203 1-7	A区	1-6端西ベントA端相当	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1204 1-7	A区	1-6端西ベントA端相当	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1205 1-7	A区	1-6端西ベントA端相当	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1206 1-7	A区	1-6端西ベントA端相当	小品鉢	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1207 1-7	A区	1-6端西ベントA端相当	深井	口~綿	口~綿	次織	次織・部位		
1208 1-7	ACK-新織・リットル切替部分(08新)	深井	口~綿	口~綿	口~綿	次織	次織・部位に刺繡・地文・新状態		
1209 1-7	ACK-新織・リットル切替部分(08新)	深井	口~綿	口~綿	口~綿	次織	次織・部位に刺繡・地文・新状態		
1210 1-7	ACK-新織・リットル切替部分(08新)	深井	口~綿	口~綿	口~綿	次織	次織・部位に刺繡・地文・新状態		
1211 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	台	口~綿	次織	次織・部位		
1212 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		
1213 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		
1214 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		
1215 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		
1216 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		
1217 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		
1218 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		
1219 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		
1220 1-7	A区	1-6端西ベントB7端下縫	差込	口~綿	口~綿	次織	次織・部位・刺繡・地文・新状態		

回数	出 土 地 点	器 種	部 位	外面(文様・地文・原体)		内面(調査)	編 号
				左	右		
1315 2-7	D区 III B中層下層	漆杯	口~肩	波状門縫・花銀	波状門縫・花銀	横方向に溝整	
1316 2-7	D区 III B中層下層	漆杯	RL側位	波状門縫・花銀	波状門縫・花銀	横方向に溝整	
1317 2-7	D区 III B中層下層	漆杯	口縫	波状門縫	波状門縫	横方向に溝整	
1318 2-7	D区 III B中層下層	漆杯	肩	波状門縫	波状門縫	横方向に溝整	
1319 2-7	D区 III B中層下層	小漆鉢	L~底	波状門縫	波状門縫	横・縦方向に溝整	
1320 2-7	III B中層下層	漆鉢	口縫	波状門縫・花銀	波状門縫・花銀	横方向に溝整	
1321 2-7	III B下層	漆鉢	口縫	波状門縫	波状門縫	横方向に溝整	
1322 2-7	III B下層	漆鉢	口縫	波状門縫	波状門縫	横方向に溝整	
1323 2-7	III B下層	漆鉢	口(吹手)	波状門縫	波状門縫	横方向に溝整	
1325 2-7	III B下層	漆鉢	口縫	波状門縫	波状門縫	横方向に溝整	
1326 2-7	C区 斧型ペルト1号	漆鉢	口縫	山形文	山形文	横方向に溝整	
1327 2-7	C区 斧型ペルト1号	鉢?	台	波状門縫	波状門縫	横方向に溝整	
1328 2-7	C区 斧型ペルト2号	鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1329 2-7	C区 斧型ペルト2号	漆鉢	口~肩	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1330 2-7	C区 斧型ペルト3号	漆鉢	口(吹手)	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1331 2-7	C区 斧型ペルト3号	漆鉢	口~肩	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1332 2-7	C区 斧型ペルト4号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1333 2-7	C区 斧型ペルト4号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1334 2-7	C区 斧型ペルト5号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1335 2-7	C区 斧型ペルト6号	漆鉢	口?	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1336 2-7	A区 斧型ペルト6号	漆鉢	口~底	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1337 2-7	A区 斧型ペルト7号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1338 2-7	C区 斧型ペルト7号	漆鉢	口~肩	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1339 2-7	C区 斧型ペルト8号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1340 2-7	A区 斧型ペルト8号	漆鉢	台	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1341 2-7	A区 斧型ペルト8号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1342 2-7	A区 斧型ペルト8号	漆鉢	解	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1343 2-7	A区 斧型ペルト9号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1344 2-7	A区 斧型ペルト10号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1345 2-7	A区 斧型ペルト11号	漆鉢	口~肩	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1346 2-7	A区 斧型ペルト12号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1347 2-7	C区 斧型ペルト14号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1348 2-7	C区 斧型ペルト14号	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1349 2-7	台下?	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1350 2-7	台下?	漆鉢	口縫	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1351 3-7	油脂冶陶系土	鉢	口~肩	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1352 3-7	油脂冶陶系土	小漆盞	L~底	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1353 1-8	III B上層	漆盞	口~肩	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1354 1-8	C区 III B上層	漆盞	口~肩	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1355 1-8	B区 III B上層	漆盞	口~肩	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1356 1-8	B区 III B上層	小漆盞	口~底	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1357 1-8	B区 III B上層	漆盞	口~底	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1358 1-8	C区 III B上層	漆盞	口~底	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1359 1-8	C区 III B上層	漆盞	口~底	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1360 1-8	C区 III B上層	漆盞	口~底	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	
1361 1-8	B区 III B上層	漆盞	口~底	漆鉢	漆鉢	横方向に溝整	

語彙	出 生 十 一 地 点	元 體	原 體	部 位	外國 文	内國 (漢文)	備 考
1362 1-8 BIS III B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口邊	舌輪性文・平行行音	舌	舌輪性文・平行行音	舌輪性文・平行行音	
1363 1-8 BIS III B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口輪	舌輪性文・平行行音	舌	舌輪性文・平行行音	舌輪性文・平行行音	
1364 1-8 D区 III B上 ^口 舌 ^舌	深林	安記	LR 舌位	口~脣	口~脣	口~脣	
1365 1-8 B区 III B上 ^口 舌 ^舌	舌	安記	LR 舌位	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1366 1-8 B区 III B上 ^口 舌 ^舌	林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1367 1-8 B区 III B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1368 1-8 B区 III B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1369 1-8 H区 III B上 ^口 舌 ^舌	林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1370 1-8 No.2 II B上 ^口 舌 ^舌	No.2	口形	LR 舌位	口~脣	口~脣	口~脣	地文不明
1371 1-8 B区 III B上 ^口 舌 ^舌	舌	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1372 1-8 No.6 III B上 ^口 舌 ^舌	小脣發	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	無文
1373 1-8 B区 III B上 ^口 舌 ^舌	卦	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1374 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1375 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1376 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1377 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1378 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1379 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	小脣發	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	無文
1380 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1381 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1382 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1383 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1384 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1385 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1386 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1387 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1388 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1389 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1390 1-8 D区 III B中 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1391 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1392 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1393 1-8 C区 III B中 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1394 1-8 B区 III B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1395 1-8 B区 III B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1396 1-8 B区 III B下 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1397 1-8 B区 III B下 ^口 舌 ^舌	林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1398 1-8 C区 III B下 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1399 1-8 B区 III B下 ^口 舌 ^舌	深林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1400 1-8 A区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1401 1-8 A区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1402 1-8 C区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1403 1-8 A区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1404 1-8 A区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1405 1-8 A区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1406 1-8 A区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1407 1-8 A区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整
1408 1-8 C区 1-8 B区 1-8 B上 ^口 舌 ^舌	舌林	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	口~脣	喉方向に調整

原語名	出 土 地 點	層 位	外 形	内 面(側面)	備 考
1456 2-8 HZ 田 B 上層 3号 MYR2/2 頭輪上層	皿	口~底	直壁	直壁 浅鉢	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1457 2-8 CK 朝晴山 3号 刃部等層 CR 0.8長~7号 CR 0.8	口	口~側	LR 斜直	浅鉢 浅鉢	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1458 2-8 AB区 III B上層	深鉢	口縁	口縁	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1459 2-8 AB区 III B上層	深鉢	口縁	口縁	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1460 2-8 AB区 III B上層	深鉢	口縁	口縁	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1461 2-8 AB区 III B上層	深鉢	口縁	口縁	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1462 2-8 III B上層	小頭山竹林	口~台	口~台	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1463 2-8 AB区 III B上層	台付鉢?	台	口~頭	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1464 2-8 AB区 III B上層	鉢	口~頭	LR 斜直	平行直線を区切る 直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1465 2-8 C区 III B上層	鉢	口~頭	口~頭	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1466 2-8 C区 III B上層	鉢	口~底	口~底	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1467 2-8 D区 III B上層	鉢	口縁	口縁	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1468 2-8 C区 III B上層下部(2-4 No.4)	深鉢	口縫(突起)	口縫(突起)	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1469 2-8 C区 III B上層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1470 2-8 C区 III B上層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1471 2-8 C区 III B上層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1472 2-8 A区 III B上層	台付鉢	口~台	口~台	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1473 2-8 B区 III B上層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1474 2-8 B区 III B上層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1475 2-8 D区 III B上層下部	鉢	口~底	口~底	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1476 2-8 III B中層	浅鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1477 2-8 III B中層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1478 2-8 III B中層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1479 2-8 III B中層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1480 2-8 III B中層	鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1481 2-8 III B中層	台付鉢?	台	IR 斜直	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1482 2-8 III B中層	深鉢	口縫	IR 斜直	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1483 2-8 C区 III B中層 2 8 A区 III B中層	高	IR 斜直	IR 斜直	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1484 2-8 A区 III B下層	鉢	口~頭	口~頭	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1485 2-8 A区 III B下層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1486 2-8 A区 III B下層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1487 2-8 A区 III B下層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1488 2-8 C区 III B下層	鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1489 2-8 A区 1.8西ベルト層	皿	口~底	口~底	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1490 2-8 A区 1.8東ベルト層	深鉢	口~頭	RL~LR	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1491 2-8 A区 1.8東ベルト2層	鉢	口~頭	LR 斜直	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1492 2-8 A区 1.8東ベルト3層	鉢	口~頭	LR 斜直	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1493 2-8 1.8西ベルト1層	台付鉢	口~頭	口~頭	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1494 2-8 1.8西ベルト1層	深鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1495 2-8 1.8西ベルト2層	鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1496 2-8 1.8西ベルト3層	深鉢	口~頭	IR 斜直	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1497 2-8 1.8東ベルト1層	深鉢	口~頭	IR 斜直	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1498 2-8 1.8東ベルト3層	深鉢	口~頭	IR 斜直	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1499 2-8 1.8東ベルト4層	台付鉢?	台	口~頭	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1500 2-8 1.8西ベルト3層	深鉢	口縫(突起)	口縫(突起)	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁
1501 2-8 C区 1.8東西ベルト4層	鉢	口縫	口縫	直壁 直壁	輪方向に直壁 輪方向に直壁

説明	出土地点	層別	断面	内面(裏面)
1502-2.6 C区 3.8東ベルト層	遺跡	口明	LR・RL極位	斜交状の断面 下平傾・ガサ
1503 2.8 C区 2.8	遺跡	口横	竹縫	側方に向て調整
1504 2.8 C区 2.8	遺跡	口横	竹縫	側方に向て調整
1505 2.8 C区 2.8	遺跡	口横(底)	口横	側方に向て調整
1506 2.8 C区 2.8	遺跡	口横(底)	口横	側方に向て調整
1507 2.8 1.8東西ベルト層	小切端	口横	竹縫 小切端 小把手孔(ひじき)	斜交
1508 2.8 1.8東西ベルト層	鉢	口横	波状・花紋	側方に向て調整
1509 3.8 H区 3.8	遺跡	口横	花縫・無縫隙条件制約	側方に向て調整
1510 3.8 H区 3.8	遺跡	口横	花縫・無縫隙条件制約	側方に向て調整
1511 3.8 H区 3.8	遺跡	口横	花縫・無縫隙条件制約	側方に向て調整
1512 3.8 A区 黑褐色 土山プロック	口横	口横	平行層	側方に向て調整
1513 3.8 A区 黑褐色 土山プロック	口横	口横	平行層	側方に向て調整
1514 3.8 A区 黑褐色 土山プロック	口横	口横	平行層	側方に向て調整
1515 3.8 A区 黑褐色 土山プロック	口横	口横	平行層	側方に向て調整
1516 3.8 H区 A面	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1517 3.8 B区 黑褐色 土層(III Acより上)	鉢	口横	口横	側方に向て調整
1518 3.8 B区 黑褐色 土層(III Acより上)	鉢	口横	口横	側方に向て調整
1519 3.8 B区 黑褐色 土層(III Acより上)	鉢	口横	口横	側方に向て調整
1520 3.8 B区 黑褐色 土層(III Acより上)	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1521 3.8 B区 黑褐色 土層(III Acより上)	皿	口横	口横	側方に向て調整
1522 3.8 A区 黑褐色 土山半	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1523 3.8 A区 黑褐色 土山半	皿	口横	口横	側方に向て調整
1524 3.8 A区 黑褐色 土山半	口横	口横	平行層	側方に向て調整
1525 3.8 B区 黑褐色 土山半	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1526 3.8 A区 黑褐色 土山半	皿	口横	口横	側方に向て調整
1527 3.8 A区 黑褐色 土山半	口横	口横	平行層	側方に向て調整
1528 3.8 A区 黑褐色 土山半	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1529 3.8 A区 III B上層	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1530 3.8 A区 III B上層	皿	口横	口横	側方に向て調整
1531 3.8 A区 III B上層	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1532 3.8 A区 III B上層	皿	口横	口横	側方に向て調整
1533 3.8 A区 III B上層	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1534 3.8 A区 III B上層	皿	口横	口横	側方に向て調整
1535 3.8 A区 III B上層	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1536 3.8 A区 1.8東西ベルト2層	深鉢	口横	波状・花紋	側方に向て調整
1537 3.8 A区 1.8東西ベルト2層	皿	口横	波状・花紋	側方に向て調整
1538 0.9 D区 0.9	深鉢	口横(変形)	口横	側方に向て調整
1539 0.9 D区 0.9	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1540 1.9 B区 1.9	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1541 1.9 C区 1.9	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1542 1.9 C区 1.9	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1543 1.9 III B上層	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1544 1.9 III B上層	皿	口横	口横	側方に向て調整
1545 1.9 III B上層	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1546 1.9 III B中層	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1547 1.9 III B中層	深鉢	口横	口横	側方に向て調整
1548 1.9 C区 1.9	深鉢	口横	口横	側方に向て調整

回数	出 土 地 点	層 位	高 度	部 位	外 面 形 状	外 面 特 徴	内 面 (骨盤)	備 考
1549 1-9 C区 2-9 A区 1.9内ベルト4回	深井	口縫	浅井	浅井・竹管文・輪郭線(原体)	浅井・竹管文・輪郭線(原体)	浅井・竹管文・輪郭線(原体)	浅井・竹管文・輪郭線(原体)	側方に溝跡
1550 1.9 C区 1.9西ベルト5回	深井	口縫	深井	浅井・口縫・沈縫・竹管文	浅井・口縫・沈縫・竹管文	浅井・口縫・沈縫・竹管文	浅井・口縫・沈縫・竹管文	側方に溝跡
1551 1.9 C区 1.9西ベルト5回	深井	口縫	深井	無文	無文	無文	無文	側方に溝跡
1552 1-9 C区 1.9西ベルト5回	小型深井	口~底	深井	浅井状狀孔文	浅井状狀孔文	浅井状狀孔文	浅井状狀孔文	側方に溝跡
1553 1-9 A区 1.9西ベルト5回	深井	口縫	RL側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1554 1-9 A区 1.9西ベルト5回	深井	口~肩	LR側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1555 1-9 A区 1.9西ベルト5回	深井	口~肩	LR側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1556 1-9 A区 1.9西ベルト5回	深井	口~肩	LR側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1557 1-9 C区 1.9西ベルト5回(很多)	深井	口~肩	RL側位?	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1558 1-9 A区 1.9西ベルト5回(很多)	深井	口~肩	RL側位?	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1559 1-9 C区 1.9西ベルト5回(很多)	深井	口~肩	RL側位?	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1560 1-9 D区 1.9西ベルト6回	口縫	口縫	口縫	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1561 1-9 D区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~台	口縫	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1562 1-9 D区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1563 1-9 D区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1564 1-9 D区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1565 1-9 C区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1566 1-9 C区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1567 1-9 C区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1568 1-9 C区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1569 1-9 C区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1570 1-9 C区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1571 1-9 C区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1572 1-9 C区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1573 1-9 D区 1.9西ベルト6回(很多)	口縫	口~肩	RL側位	口縫	口縫	口縫	口縫	側方向に溝跡
1574 1-9-2 ベルト2リニアシングル(各層別)	深井	口縫	RL側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1575 1-9-2 ベルト2リニアシングル(各層別)	深井	口縫	RL側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1576 1-9-2 ベルト2リニアシングル(各層別)	深井	口縫	RL側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1577 1-9 C区 1.10 周辺(?)	口縫	口~肩	RL側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1578 1-9-2-9 ベルト2リニアシングル	口縫	口~肩	RL側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1579 1-9-2-9 実上~III Ac I	口縫	口~底	RL側位	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1580 2-9 美土 II層	小窓	口縫	RL側・斜面	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1581 2-9 美土 II層	紺	口~底	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1582 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1583 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1584 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1585 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1586 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1587 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~底	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1588 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~底	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1589 2-9 D区 III Ac I	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1590 2-9 D区 III Ac I	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1591 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1592 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~肩	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1593 2-9 C区 黒褐色土層	紺	口~底	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1594 2-9 D区 III Ac I	紺	口~底	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡
1595 2-9 D区 III Ac I	紺	口~底	RL側	浅井	浅井	浅井	浅井	側方向に溝跡

部類	出 生 地 点	通 路	部 位	外 面 形 体		内 面 (筋)	備 考
				深 部	表 面		
1643	2-9海生ベルト2層	深部	胸	U~胸	L.R.・RL.	胸筋文	胸筋
1644	2-9海生ベルト2層	林	口~胸	胸	胸筋文	胸筋	胸筋に筋膜 口筋に平行筋、筋位同日
1645	2-9海生ベルト3層(明)	皿	胸	U~胸	胸筋文	胸筋文	胸筋
1646	2-9海生ベルト3層(明)	深部	胸	U~胸	胸筋文	胸筋文	胸筋
1647	2.9 D区 2-10東南～北2層	胸	胸	U~胸	胸筋文	胸筋文	胸筋
1648	2.9 D区 2-10東南～北2層	林	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1649	2.9 D区 2-10東南～北2層	口	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1650	3.9 美土 1層	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1651	3.9 10YR/2 黑褐色土	林	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1652	3.9 10YR/2 黑褐色土	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1653	3.9 10YR/2 黑褐色土	林	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1654	3.9 10YR/2 黑褐色土	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1655	3.9 10YR/2 黑褐色土	林	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1656	3.9 10YR/2 黑褐色土	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1657	3.9 10YR/2 黑褐色土	林	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1658	3.9 10YR/2 黑褐色土	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1659	3.9 10YR/2 黑褐色土	林	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1660	3.9 田 A相当層黒褐色土より上の黒褐色土	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1661	3.9 田 A相当層黒褐色土より上の黒褐色土	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1662	3.9 A区 水黄褐色土・薄荷青	林	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋	胸筋に筋膜
1663	3.9 A区 水黄褐色土・薄荷青	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1664	3.9 A区 水黄褐色土・薄荷青	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1665	3.9 A区 水黄褐色土・薄荷青	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1666	3.9 A区 水黄褐色土・薄荷青	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1667	3.9 D区 水黄褐色土・薄	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1668	3.9 D区 水黄褐色土・薄	林	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1669	3.9 D区 水黄褐色土・薄	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1670	3.9 D区 水黄褐色土・薄	林	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1671	3.9 D区 水黄褐色土・薄	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1672	3.9 A区 水黄褐色土・薄	口	口	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1673	3.9 A区 水黄褐色土・薄	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1674	3.9 B層 水黄褐色土・薄	深部	胸	口～胸	LR 横位	胸筋文	胸筋
1675	3.9 水黄褐色土・薄下半	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1676	3.9 水黄褐色土・薄下半	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1677	3.9 水黄褐色土・薄下半	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1678	3.9 水黄褐色土・薄下半	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1679	3.9 水黄褐色土・薄下半	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1680	3.9 A区 水黄褐色土・薄	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1681	3.9 A区 III Ac 間	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1682	3.9 A区 III Ac 間	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1683	3.9 A区 III Ac 間	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1684	3.9 A区 III Ac 間	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1685	3.9 A区 III B上	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1686	3.9 A区 III B上	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1687	3.9 C区 III B上	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1688	3.9 C区 III B上	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋
1689	3.9 C区 III B下四 深黃褐色土・薄	深部	胸	口	口	胸筋文	胸筋

H	土	地	点	學種	部位	原體	外觀(文様・地文・原体)	内面(彌空)	備考
1782	2-10	DX	III B上唇	深絆	口縫	新絆織状・花形・透孔山彌空	彌空向外擴張		
1783	2-10	DR	III B下唇	小圓絆	口~底	無文	施方向外擴張	口唇部向外擴張	
1784	2-10	CK	III B中唇	圓	口縫	無文	施方向外擴張	口唇部向外擴張	
1785	2-10	C区	III 中唇	深絆	口縫	門形(突起)	新絆織状・全縫口・牙4	彌空向外擴張	
1786	2-10	C区	III B中唇	深絆	口縫	LR 開口	新絆織状・花形・透孔	彌空向外擴張	
1787	2-10	C区	III B中唇	深絆	口~胸	LR · RL	新絆狀・平行花綱	彌空向外擴張	
1788	2-10	區	III B中唇	深絆	口~胸	LR 開口	新絆狀・平行花綱・黑色的植物	彌空向外擴張	
1789	2-10	區	III B中唇	深絆	口~底	LR 開口	新絆狀・平行花綱・黑色的植物	彌空向外擴張	
1790	2-10	C区	III B中唇	深絆	口~胸	LR 開口	新絆狀・平行花綱・黑色的植物	彌空向外擴張	
1791	2-10	區	III B中唇	深絆	口~胸	LR 開口	新絆狀・平行花綱	彌空向外擴張	
1792	2-10	區	III B中唇	深絆	口~胸	口字文	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1793	2-10	區	III B中唇	深絆	口縫	RL 開口	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1794	2-10	區	III B中唇	台形絆	台	口字文	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1795	2-10	區	III B中唇	林	口縫	RL 開口	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1796	2-10	區	III B中唇	深絆	口縫	口縫	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1797	2-10	區	III B中唇	深絆	口縫	口縫	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1798	2-10	區	III B中唇	深絆	口縫	口縫	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1799	2-10	區	III B中唇	深絆	口縫	口縫	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1800	2-10	區	III B中唇	深絆	口縫	RL 開口	新絆狀・花形	彌空向外擴張	
1801	2-10	A区	1-9	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1802	2-10	A区	1-9	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1803	2-10	B区	1-9	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1804	2-10	A区	1-9	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1805	2-10	A区	1-9	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1806	2-10	區	1-9	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1807	2-10	1-9	深絆	深絆	口縫	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1808	2-10	1-9	深絆	深絆	口縫	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1809	2-10	1-9	深絆	深絆	口縫	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1810	2-10	B区	5-10	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1811	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1812	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1813	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1814	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1815	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1816	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1817	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1818	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1819	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1820	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1821	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1822	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1823	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1824	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1825	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1826	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1827	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	
1828	2-10	1-9	深絆	深絆	口~胸	新絆狀・花形	口縫	新絆狀・花形	

回数	出 土 地 点	層 位	部 位	原 形	部 位	原 形	内面 (側面)	備 考
1923 1-11	死當時地土(埋土)最下層	深井	口縫	深井口縫・沈縫・通縫等外縫頭	r	深井口縫・沈縫・外縫	外面(外縫・外縫)	
1924 2-11	田舎半引山川	井	口~肩	LR 頭位	LR 頭位	井~肩	井~肩	井~肩
1925 2-11	田舎	井	口~肩	RL 頭位	RL 頭位	井~肩	井~肩	井~肩
1926 2-11	田舎	地蔵	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1927 2-11	田A 番	井	口~肩	LR 頭位	LR 頭位	井~肩	井~肩	井~肩
1928 2-11	田A 番	井	口縫	LR 頭位	LR 頭位	井~肩	井~肩	井~肩
1929 2-11	田A 番	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1930 2-11	B区 III B上層	井	口~肩	LR 頭位	LR 頭位	井~肩	井~肩	井~肩
1931 2-11	C区 III B上層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1932 2-11	C区 III B中層	井	口縫	LR 頭位	LR 頭位	井~肩	井~肩	井~肩
1933 2-11	C区 III B中層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1934 2-11	C区 III B中層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1935 2-11	D区 III B中層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1936 2-11	C区 III B中層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1937 2-11	C区 III B中層	井	口~肩	LR 頭位	LR 頭位	井~肩	井~肩	井~肩
1938 2-11	田B 下層(3-11 田園)	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1939 2-11	田B 下層(3-11 田園)	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1940 2-11	C区 3-11 田層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1941 2-11	C区 3-11 田層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1942 2-11	C区 3-11 田層	台付井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1943 2-11	D区 3-11 田層	注門	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1944 2-11	C区 3-11 田層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1945 2-11	C区 3-11 田層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1946 2-11	C区 3-11 田層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1947 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1948 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1949 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1950 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1951 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1952 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1953 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1954 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1955 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1956 2-11	C区 3-11 田層下半	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1957 2-11	D区 3-11 田層	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1958 2-11	D区 3-11 田層	井付井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1959 2-11	B区 3-11 田園	井付井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1960 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1961 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1962 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1963 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1964 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1965 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1966 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1967 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1968 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩
1969 2-11	B区 3-11 田園	井	口縫	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩	井~肩

標号	場所	出 土 地 点	器 物	部 位	外 表 (文様・書文・原体)	内面 (調査)	
2065	3-11	IIIA 残褐色土層四 2064	3-11 A区 灰黃褐色土層上半	深鉢 浅鉢	口~野 口~野	單線文・口體部に施文	東方面に調整
2065	3-11	A区 灰黃褐色土層上半	圓鉢	口~野	單形文・口體部に施文	東方面に調整	
2066	3-11	A区 灰黃褐色土層	圓鉢	口~野	單形文・口體部に施文	東方面に調整	
2067	3-11	A区 灰黃褐色土層	深鉢	口~野	單形文・口體部に施文	東方面に調整	
2068	3-11	A区 灰黃褐色土層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2069	3-11	A区 灰黃褐色土層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2070	3-11	A区 灰黃褐色土層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2071	3-11	A区 灰黃褐色土層	圓鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2072	3-11	A区 灰黃褐色土層	圓鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2073	3-11	A区 灰黃褐色土層	圓鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2074	3-11	A区 灰黃褐色土層下部	圓鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2075	3-11	A区 灰黃褐色土層下部	圓鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2076	3-12	III A層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2077	3-12	III A層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2078	3-12	III A層	圓鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2079	3-12	III A層	圓鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2080	3-12	III A層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2081	1-12	III A層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2082	1-12	III A層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2083	1-12	III A層	深鉢	口~野	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2084	1-12	D区 灰黃褐色土	深土圓より上	直	平行文様・口部に施文	北側	
2085	1-12	D区 灰黃褐色土	深土圓より上	直	平行文様・口部に施文	北側	
2086	1-12	D区 灰黃褐色土	深土圓より上	直	平行文様・口部に施文	北側	
2087	1-12	D区 灰黃褐色土	深土圓より上	直	平行文様・口部に施文	北側	
2088	1-12	D区 灰黃褐色土	深土圓より上	直	平行文様・口部に施文	北側	
2089	1-12	D区 灰黃褐色土	深土圓より上	直	平行文様・口部に施文	北側	
2090	1-12	C区 灰黃褐色土	深土圓より下部	直	平行文様・口部に施文	北側	
2091	1-12	C区 灰黃褐色土	深土圓より下部	直	平行文様・口部に施文	北側	
2092	1-12	C区 灰黃褐色土	深土圓より下部	直	平行文様・口部に施文	北側	
2093	1-12	C区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2094	1-12	C区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	白付鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2095	1-12	C区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2096	1-12	C区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2097	1-12	C区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2098	1-12	C区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2099	1-12	C区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2100	1-12	B区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2101	1-12	B区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2102	1-12	B区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2103	1-12	B区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2104	1-12	B区 灰黃褐色土	海山プロック沉积在	深鉢	施文・口形 施文・口形	東方面に調整	
2105	2-12	III A層より上へIII A層	圓鉢	口~野	平行文様・口部に施文	北側	
2106	2-12	III A層より上へIII A層	圓鉢	口~野	平行文様・口部に施文	北側	
2107	2-12	III A層より上へIII A層	圓鉢	口~野	平行文様・口部に施文	北側	
2108	2-12	III A層より上へIII A層	圓鉢	口~野	平行文様・口部に施文	北側	
2109	2-12	III A層より上へIII A層	圓鉢	口~野	平行文様・口部に施文	北側	

回数	出土 地 点	形 状	器 種	部 位	日 本	原 体	外國(文書・地文・原体)	右端(横幅)	横方向にテラ質
2297	2-13 3-11 II層	2-13年西カルト南東西4・6層	剥離	LR側位	大筒等の戸門・平洋文鏡	山形空文	山形空文	ミガキ	ミガキ
2298	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	木林	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2299	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	剥離	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2300	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	白行体	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2301	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	白行体	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2302	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2303	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位?	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2304	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位?	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2305	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位?	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2306	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2307	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2308	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2309	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位?	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2310	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位?	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2311	2-13	2-13年西カルト南東西4・6層	深井	LR側位?	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2312	3-13	黒褐色土灰質陶土に近い)	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2313	3-13	黒褐色土灰質陶土に近い)	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2314	1-14 C3 3-11 II	鉢	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2315	1-14 C3 3-11 II	鉢	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2316	1-14 C3 3-11 II	鉢	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2317	2-14 壁南北ベントリーニング跡	浅井	浅井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2318	1-14 法士木の壇元	浅井	浅井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2319	1-14 III層	浅井	浅井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2320	1-14 III層	鉢	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2321	1-14 III層	鉢	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2322	1-14 III層	鉢	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2323	1-14 III層	深井	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2324	1-14 III層	鉢	鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2325	1-14 III層	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2326	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2327	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2328	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2329	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2330	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2331	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2332	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2333	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2334	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2335	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2336	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2337	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2338	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2339	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2340	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2341	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2342	1-14 B1区	田B上層	深井	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ
2343	1-14 C3 10YR 7/3 地下層	小型鉢	小型鉢	LR側位	口縁	口縁	口縁	ミガキ	ミガキ

試験No	出 土 地 点	層 位	層 面	部 位	原 体	外 面 (文様・地文・原体)	内 面 (調査)	備 考
2438 2-6	III B 下層下部	深林	底		木製底			
2439 2-6	C 区 1-9 壁面ペルト 3層中層(底多く)	林	底		2枚の木製板			
2440 1-7	1 層(底多く)	林	底		木製板			
2441 2-7	D 区 III B 中層下部	苔林	底		木製板			
2442 2-7	D 区 III B 中層下部	苔林	底		木製板			
2443 2-7	B 区 III B 中層下部	苔林	底		木製板			
2444 1-8	C D 区 III B 上層	苔林	底		木製板			
2445 1-8	C 区 III B 中層(底多く)	苔林	底		木製板			
2446 1-8	C 区 III B 中層(底多く)	苔林	底		木製板			
2447 1-8	A C 区 1-9 壁面ペルト 4層	苔林	底		木製板			
2448 1-8	C 区 2-8 A 区 1-8 壁面ペルト 4層	苔林	底		木製板			
2449 2-8	A B 区 III B 上層	浅林	斜~底		木製板			斜代木・木製板の接觸なし
2450 1-9	D 区 1-9 壁面ペルト 6層相当(底多く)	苔林	底		木製板			木製板接觸なし?
2451 1-9	D 区 1-9 壁面ペルト 6層相当(底多く)	林	底		木製板			
2452 2-10	2-10 壁面ペルト 6層	苔林	底		木製板			木製板・やや上部
2453 2-12	D 区 2層	苔林	底		木製板			

アスファルト付き土器

試験No	出 土 地 点	層 位	層 面	部位	文 様	内 面 (調査)	備 考
18	1-9	III B 層 1-~ト底	台付林	脚	木板と脚の間に泥棒	脚部内部にアスファルト塗付跡	
19	2-4壁面ペルト B	クリーニング時	深林	底		アスファルト塗付形状に行方	
20	1-8 C 区	III B 中層(底多く)	林	底	平行行線	アスファルト塗付工具なり付けている	
21	1-8 No.2	III B 上層下部	土壁	No.1270 のアスファルト			

図名	出土地点	層位	形式	器組	大きさ(cm)	幅(cm)	重積(g)	石質	層地	備考
1 2-4 A区 1-東西ベント	③層上・中 Ⅲ B層上半 Ⅲ B層上半	石燃	1.50	0.25	0.39	チャート質粘板岩	北上山地			
2 1-4 ACK		石燃	(2.40)	1.40	0.25	0.60	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
3 1-8 A区		石燃	2.10	1.25	0.15	0.26	チャート質粘板岩	北上山地		
4 2-8 DK	Ⅲ B層下部 Ⅲ B層上層 Ⅲ B層上層	石燃	1.40	1.20	0.20	0.22	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井)		
5 2-9 AK		石燃	2.70	1.25	0.20	0.62	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井)		
6 2-5 1-東西ベント		石燃	1.80	1.10	0.30	0.45				
7 2-6 DK	Ⅲ B層上層上部 Ⅲ B層上層上部	石燃	1.90	1.25	0.30	0.60	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
8 2-6 AK		石燃	(1.95)	1.60	0.35	0.60	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
9 1-7 C区 東西ベントA		石燃	1.60	1.25	0.25	0.36	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
10 2-8 DK	Ⅲ A層高 6号柱所(後多)	石燃	(1.75)	1.40	0.30	0.40	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
11 1-10 DK 1-9東西ベント	Ⅲ B層上層 Ⅲ B層上層 Ⅲ B層上層	石燃	(2.20)	1.30	0.35	0.44	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井)	不詳	
12 2-10 DK		石燃	2.80	1.60	0.20	0.63	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井・気仙)		
13 2-12 AK		石燃	(2.10)	1.45	0.30	0.63	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井)		
14 0-5		石燃	2.20	1.10	0.30	0.58	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井)		
15 2-11 B区	奥山崎溶岩ブロック下の地山に奥山崎溶岩土 奥山崎溶岩土	石燃	2.05	1.10	0.40	0.72	チャート質粘板岩	奥羽山地(一関方面)		
16 2-9山跡 D区		石燃	1.70	1.40	0.30	0.40	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井・気仙)		
17 1-3 CK	Ⅲ B層上層 A 3層(後多)	石燃	2.10	1.40	0.30	0.62	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井・気仙)		
18 2-7 BK 1-7東西ベント		石燃	2.25	1.20	0.30	0.72	チャート質粘板岩	北上山地		
19 2-5	6号柱土壌 6号柱土壌	石燃	2.15	1.00	0.30	0.59	チャート質粘板岩	奥羽山地(一関方面)		
20 2-5		石燃	2.20	1.00	0.40	0.83	チャート質粘板岩	奥羽山地(一関方面)		
21 2-4 BK		石燃	(1.60)	0.90	0.35	0.41	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
22 1-6 BK 1-6東西ベントA	1層 一括土壌附近	石燃	2.50	1.40	0.38	0.74	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
23 1-6		石燃	2.65	1.45	0.35	1.00	粘板岩	北上山地		
24 2-6-3 6-1-6東西ベントA	1層 奥山崎溶岩ブロック No.1より下の黒色土	石燃	2.40	1.25	0.40	0.90	チャート質粘板岩	北上山地		
25 2-6 AK	奥山崎溶岩ブロック No.1より下の黒色土 Ⅲ A-Ⅲ B層	石燃	(4.90)	1.35	0.45	2.27	チャート質粘板岩	北上山地		
26 2-7		石燃	1.90	1.20	0.30	0.59	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
27 2-7 BK		石燃	4.10	1.40	0.50	2.25	チャート質粘板岩	北上山地		
28 2-7 AK 東西ベント		石燃	3.35	1.25	0.40	1.40	粘板岩	東磐井・気仙		
29 2-10 CK	Ⅲ A相生層 10YRS/4 炭質褐色・薄砂層	石燃	3.20	1.20	0.30	1.18	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
30 3-10 BK		石燃	(3.45)	1.35	0.45	1.77	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
31 2-11 DK	3-11 1層 エリモモロコシ土壌	石燃	3.25	1.60	0.35	1.76	チャート質粘板岩	東磐井・気仙		
32 2-11 DK		石燃	4.70	1.15	0.45	2.12	チャート質粘板岩	北上山地		
33 0-4 PI	深埋土	石燃	1.20	1.00	0.30	0.34	黑曜石	不詳		
34 1-2 DK	Ⅲ B層上層 Ⅲ B層上層 Ⅲ B層上層	石燃	1.10	0.95	0.25	0.18	赤褐色灰岩	東磐井・気仙		
35 0-3 CK		石燃	1.70	1.20	0.20	0.33	黑曜石	不詳		
36 1-3 AK		石燃	2.30	1.10	0.35	0.52	赤褐色灰岩	北上山地		
37 1-4 BK	4号柱土壌2-3層 Lc14の2-3層(4層6合目)	石燃	1.50	1.55	0.31	0.46	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井・気仙)		
38 1-4 BK	南北ベルト36 ②層	石燃	2.15	1.30	0.25	0.46	チャート質粘板岩	北上山地(東磐井・気仙)		
39 1-4 BK		石燃	1.70	1.25	0.30	0.35	赤褐色灰岩	北上山地(東磐井・気仙)		

断面No	出土地点	層位	形式	層高	高さ(cm)	幅(cm)	面積(cm ²)	石	質	石	質	地	備考	
40	I-4 A区 東西ベルト	⑥層	石織	1.20	1.00	0.20	0.18	無縫石	不詳					
41	2-4 B区	III B中層	石織	1.60	1.60	0.30	0.43	黒曜石	不詳					
42	1-5東西ベルト	5層下層	石織	1.20	1.30	0.30	0.23	黒曜石	不詳					
43	I-5 H区 1-9東西ベルト A	6層相当	石織	1.75	1.50	0.35	0.65	チャート質赤褐色灰岩	北上山地(赤鶴井・気仙)					
44	I-5 B区 1-6東内ベルト A	6層相当	石織	1.50	1.50	0.30	0.50	チャート質赤褐色灰岩	北上山地(赤鶴井・気仙)					
45	2-5 1-5東西ベルト	7層	石織	(2.40)	1.60	0.40	1.20	練習鉛板岩	奥羽山地(寒風)					
46	0-6 A区	III B下層	1d	石織	1.80	1.55	0.30	0.52	練習鉛質チャート	奥羽井・氣仙				
47	B区 東内ベルト B	7層(東内7%散在)	石織	1.30	1.20	0.30	0.35	赤褐色灰岩	東内井・氣仙					
48	1-6 D区 C区	6層下層	石織	(1.80)	1.35	0.25	0.28	練習鉛板岩	北上山地					
49	2-6 1-6東南北ベルト A	2層	石織	1.70	1.35	0.20	0.30	黒曜石	不詳					
50	1-6 A区	泉下層	石織	2.50	1.80	0.65	0.36	黒曜石	不詳					
51	0-7 D区	III B上層	1d	石織	(2.80)	1.75	0.30	0.58	練習鉛板岩	北上山地				
52	1-7 B区 東西ベルト B	7層に相当(化成物約10%散在)	石織	2.05	1.60	0.25	0.32	練習石	不詳					
53	1-7 A区 東西ベルト	7層相当(底層下層)	石織	2.20	1.35	0.30	0.55	チャート質赤褐色灰岩	北上山地(東鶴井・気仙)					
54	2-7 D区	III A中層	石織	1.20	0.95	0.30	0.22	黒曜石	不詳					
55	1-8 B区	III B上層	石織	(2.00)	1.30	0.25	0.36	練習石	奥羽井・氣仙					
56	1-8東南北ベルト	2層(東南北3層相当)	石織	1.50	1.30	0.30	0.36	黒曜石	不詳					
57	1-10 A区 1-9東西ベルト	6層相当(很多)	石織	2.15	1.50	0.30	0.51	赤褐色灰岩	北上山地(東鶴井・気仙)					
58	1-10 C区 1-9東南北ベルト	6層相当? (很多)	石織	(2.85)	1.25	0.30	0.20	チャート質粘板岩	北上山地					
59	1-10 A区 1-9東南北ベルト	6層相当(很多)	石織	(1.40)	1.20	0.30	0.38	チャート質粘板岩	北上山地					
60	1-10 B区	III B上層	石織	1.80	1.70	0.30	0.45	チャート質粘板岩	北上山地					
61	2-11 D区	空管所付近山小谷ラッタニウム層	石織	1.20	1.30	0.30	0.32	チャート質赤褐色灰岩	北上山地(東鶴井・気仙)					
62	2-11 B区	2-9東南北ベルト	石織	2.60	1.60	0.25	0.49	練習鉛質チャート	東鶴井・氣仙					
63	2-11東南北ベルト	5層(厚1%)	石織	1.60	1.35	0.25	0.23	練習鉛質灰岩	奥羽山地(一關方面)					
64	2-12 D区	5層+~1-9東南北(底層小谷ラック%)	石織	1.50	1.25	0.30	0.38	チャート質灰岩	北上山地(東鶴井・気仙)					
65	2-12 C区	3-11層	石織	2.75	1.50	0.30	0.63	赤褐色灰岩	北上山地(東鶴井・気仙)					
66	2-12南北ベルト A	1・9層	石織	2.20	1.70	0.25	0.58	黒曜石	不詳					
67	南北		石織	2.40	1.90	0.30	0.50	チャート質粘板岩	北上山地					
68	2-12南北 F区	堆土	石織	1.80	1.70	0.30	0.67	チャート質赤褐色灰岩	北上山地(東鶴井・気仙)					
69	17号土坑	堆土	石織	2.15	1.95	0.50	2.19	練習鉛質灰岩	奥羽山地(一關方面)					
70	23号土坑	堆土	石織	(2.40)	1.60	0.40	0.93	練習鉛質粘板岩	奥羽山地(一關方面)					
71	2-6	8号燃土池	石織	1.85	1.70	0.50	1.34	チャート質粘板岩	北上山地					
72	0-3 0-4	III B中層(III B上層)	1c	石織	2.30	1.80	0.80	3.41	練習鉛質灰岩	奥羽山地(一關方面)				
73	2-4 B区	III B中層	石織	(2.80)	2.00	0.40	1.62	練習鉛質チャート	奥羽井・氣仙					
74	0-5	田園下層	1e	石織	1.50	1.50	0.40	0.49	無縫石	不詳				
75	1-5 A区	4号土坑	石織	1.80	1.20	0.30	0.45	練習鉛質粘板岩	北上山地					
76	1-6B区南北 T B	1層上部	石織	3.35	1.90	1.00	5.38	チャート質粘板岩	奥羽山地(一關方面)					
77	1-6 A区	裏下層	石織	1.90	1.70	0.55	1.06	練習鉛質灰岩	奥羽山地(一關方面)					
78	2-6 C区 1-9東南北	3層中部	石織	3.00	1.50	0.70	2.07	チャート質粘板岩	北上山地					
79	1-7 D区	III B上部	石織	2.60	2.60	0.50	1.66	チャート質粘板岩	單岩井・氣仙					

地図No.	出土地点	層位	形式	岩種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	産地	備考
69 1-7 R区	III層上部	平面	石板	1.30	1.40	0.45	0.65	黑色石	不詳		
81 2-7 C区	III中層下部	石板	(2.70)	1.90	0.45	1.26	赤褐色板状岩	栗野井・氣仙			
82 2-7 C区	東西ベルト	石板	1.30	1.45	0.25	0.95	チート質板状岩	栗野井・氣仙			
83 3-8 A区	無陶色土層	地山小ブロック合 成層相当(很多)	石板	1.75	1.60	0.25	0.40	黑色石	小坪		
84 1-9 C区	東西ベルト	石板	1.85	2.00	0.40	1.23	褐色板状岩	北上山地			
85 2-11 D区	後輪色土層(7%) 3段中～下層	石板	2.60	1.50	0.40	1.42	黑色石	不詳			
86 2-9 A区	1-2南北ベルト	石板	1.90	2.10	0.60	1.45	赤褐色板状岩	北上山地(栗野井・氣仙)			
87 1-10 B区	III中層	石板	2.70	1.90	0.50	1.85	褐色板状岩	不詳			
88 2-13 A区	灰黃褐色土層	石板	1.70	1.65	0.30	0.54	褐色石	栗野井・氣仙			
89 地土	地山小ブロック？分類在 灰黃褐色土層	石板	2.60	2.50	0.80	3.28	チート質板状岩	栗野井・氣仙			
90 5号坑	土土	石板	3.40	2.50	0.60	3.42	褐色石	北上山地			
91 2.5	6号坑上層帽	石板	2.65	1.20	0.35	0.96	チート質板状岩	栗野井(栗野井)			
92 1-2 A区	塊土下層	石板	2.65	1.50	0.50	2.24	赤褐色板状岩	栗野井・氣仙			
93 1-3南北ベルト	6号坑	石板	2.55	1.90	0.50	1.65	褐色板状岩	北上山地			
94 1-5 B区	1-2南北ベルト	石板	1.60	1.50	0.40	0.69	褐色石	不詳			
95 2-6 B区	地山小ブロック Neol. 下の褐色土 III A区層相当	石板	2.00	1.65	0.65	1.77	チート	栗野井(栗野井)			
96 1-7 D区	1-3 A区層相当	石板	3.40	1.90	0.60	3.77	赤褐色板状岩	北上山地(栗野井・氣仙)			
97 1-8南北・南北ベルト	II層	石板	2.36	1.95	0.45	1.42	褐色板状岩	栗野井(栗野井)			
98 3-12	被下層 10YS5/4	石板	3.90	2.70	1.15	9.34	褐色石	栗野井・氣仙			
99 1-9 B区	東西ベルト	石板	(3.50)	1.40	0.40	1.52	チート質板状岩	北上山地(栗野井)			
100 1-11	7層相当	石板	(2.70)	1.35	0.45	1.07	褐色板状岩	栗野井(栗野井)			
101 1-3	III B区	石板	1.45	1.65	0.30	0.29	赤褐色板状岩	栗野井・氣仙			
102 1-3 A区	III層上部	石板	1.85	1.50	0.45	0.56	チート質板状岩	栗野井・氣仙			
103 1-4 C区	III B区	石板	2.10	1.75	0.40	0.63	チート質板状岩	北上山地			
104 1-7 A区	東西ベルト	石板	1.80	1.40	0.30	0.41	褐色石	北上山地			
105 2-9 C区	5号坑相当	石板	1.65	1.35	0.45	0.62	チート質板状岩	北上山地(栗野井・氣仙)			
106 1-10 A区	1-9南北ベルト	石板	(1.40)	0.40	0.40	0.17	褐色板状岩	北上山地(栗野井)			
107 2-10 A区	東西ベルト	石板	1.20	1.20	0.20	0.18	黑色石	不詳			
108 1-10 A区	差土層	石板	2.00	1.70	0.30	0.56	チート質板状岩	北上山地(栗野井)			
109 1-11	Sno.2	石板	1.50	1.35	0.30	0.26	黑色石	不詳			
110 レンジン No.3	石板	2.10	1.65	0.40	0.65	黑色石	不詳				
111 0-3	III B区上層	石板	(1.95)	1.90	0.30	0.40	チート	栗野井(栗野井)			
112 1-5 B区	1-6南北ベルト A	6号坑相当	石板	(1.75)	1.35	0.30	0.41	赤褐色板状岩	栗野井・氣仙		
113 1-5	東西ベルト	石板	2.05	(1.40)	0.40	0.67	褐色石	北上山地			
114 1-6 D区	7層相当	石板	3.10	2.25	0.50	1.97	褐色板状岩チャート	栗野井・氣仙			
115 2-9 C区	底質相当土層	石板	(1.90)	1.30	0.20	0.35	チート質板状岩	北上山地			
116 1-11 B区	III B区	石板	(2.10)	1.30	0.35	0.56	チート質板状岩	栗野井・氣仙			
117 1-3 B区	III B区	石板	1.30	1.60	0.20	0.19	褐色石チャート	栗野井・氣仙			
118 0-7	差土 屋根上層	粘土	1.20	0.95	0.30	0.16	黑色石	不詳			
119 1-4 C区	東西ベルト	不明	石板	1.65	1.20	0.30	0.16	黑色石	不詳		

剖面No.	出士・地点	層位	形式	高さ	長さ(cm)	重量(g)	石質	産地	備考
120 1-6 C区	III A上層	石板		1.80	1.30	0.35	0.45 黒雲石	不詳	
121 1-7 C区	東西ベルトA	石板	⑥砂岩	1.65	1.30	0.25	0.25 赤褐色凝灰岩	北上山地(東磐井・気仙)	
122 1-7 C区	東西ベルトA	⑥砂岩	石板	1.50	1.00	0.30	0.21 赤褐色凝灰岩	不詳	
123 1-9 D区	東西ベルト	⑥砂岩(炭多)	石板	1.65	1.30	0.40	0.50 黒雲石	小詳	
124 3-8 E区	III B上層	石板	1.70	1.65	0.30	0.23 粘板岩	東磐井・気仙		
125 1-2	III B上層	石板	2.60	1.25	0.40	1.06 チャート	東磐井粘板岩		
126 1-2 D区	III B中層上部	石板	2.90	1.25	0.30	0.60 粘板岩(原灰岩)	東磐井(一端古削)		
127 2-2	III B中層	石板	2.65	1.20	0.30	0.45 粘板岩質チャート	東磐井・気仙		
128 2-3	III B中層	石板	1.90	1.30	0.30	0.42 黒雲石	小詳		
129 2-3	III B中層	石板	2.30	1.00	0.30	0.49 粘板岩	北上山地		
130 1-4 A区	東西ベルト(5番)	石板	3.00	1.40	0.50	1.13 チャート	東磐井粘板岩		
131 2-6 B区	III A上層	石板	1.80	1.00	0.20	0.24 黒雲石	北上山地		
132 2-7 A区	III B中層上部	石板	2.30	1.35	0.35	0.71 黒雲石	不詳		
133 1-9	III B中層	石板	2.05	1.05	0.30	0.36 チャート	東磐井・気仙		
134 1-9 C区	東西ベルト	石板	2.40	1.50	0.20	0.54 粘板岩	北上山地		
135 1-11 B区	灰岩地帯土壌より下剥	石板	2.35	1.53	0.40	0.57 粘板岩	北上山地		
136 0-3 C区	2a・3層	石板	1.50	1.00	0.40	0.34 黒雲石	不詳		
137 1-5砂岩ベルト	5層下部	石板	1.60	1.00	0.30	0.32 黒雲石	不詳		
138 1-5東西ベルト	5層下部	石板	1.20	0.70	0.20	0.13 粘板岩	不詳		
139 2-5 B区	III A中層	石板	1.50	1.00	0.30	0.33 粘板岩質チャート	東磐井・気仙		
140 2-8	III A上層	石板	(2.00)	1.20	0.40	0.62 黒雲石	不詳		
141 2-8 D区	III A中層	石板	1.70	0.90	0.30	0.36 チャート	東磐井・気仙		
142 2-8 B区	東西ベルト	石板	1.30	0.95	0.25	0.36 赤褐色粘板岩	東磐井・気仙		
143 2-8 C区	III A上層	石板	(2.00)	1.30	0.40	0.54 チャート	北上山地(東磐井・気仙)		
144 2-8	III A上層	石板	(1.95)	1.40	0.70	0.93 粘板岩	不詳		
145 2-8 C区	III A中層	石板	(2.00)	1.30	0.40	0.68 黒雲石	不詳		
146 2-8 B区	III B上層	石板	(1.80)	1.85	0.30	0.56 粘板岩	不詳		
147 2-11	III A中層	石板	1.35	0.90	0.30	0.28 黒雲石	不詳		
148 1-9	III B上層	石板	(1.35)	1.30	0.30	0.37 黒雲石	不詳		
149 2-3東西ベルト北西面	6層	石板	1.45	1.20	0.35	0.26 黒雲石	不詳		
150 1-1	川原下部	石板	2.25	1.20	0.30	0.51 粘板岩	不詳		
151 2-1	III B中層下層	石板	3.75	1.00	0.60	1.38 粘板岩(原灰岩)	東磐井(一端古削)		
152 1-2	川原下部	石板	2.00	1.60	0.30	0.53 チャート	東磐井・気仙		
153 1-3	III B上層	石板	3.10	1.50	0.45	1.14 チャート	東磐井・気仙		
154 1-4 A区	III B上層	石板	2.30	1.00	0.45	0.56 チャート	北上山地(東磐井・気仙)		
155 1-4	III B上層	石板	1.70	1.40	0.30	0.48 黒雲石	不詳		
156 2-4 B区	III AとIII Bの削除(1層)(原灰岩)	石板	3.30	1.20	0.50	1.54 チャート	東磐井粘板岩		
157 2-4 B区	III AとIII Bの削除(1層)(原灰岩)	石板	(3.60)	1.65	0.50	1.13 黒雲石	不詳		
158 2-4 A区	III B中層下部(寄多)	石板	(4.25)	1.55	0.45	1.51 チャート	北上山地(東磐井・気仙)		
159 2-4 A区	III B中層下部(寄多)	石板	2.10	1.00	0.40	0.37 黒雲石	不詳		

試験No.	出土地点	位	形式	層	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	質	地	備考
160	16-3 6番西ベルトB	クリニンダ時 クリーニング時	石板 石板	石板	4.45	1.20	0.50	1.72	チャート	西端灰岩質板岩	東密井・氣仙	
161	1-5 A区	III Ab層	石板	石板	1.45	1.15	0.20	0.16	黒雲母石	II	不詳	
162	2-7 D区	III Ab層	石板	石板	3.15	1.20	0.35	0.76	黒雲母石	II	不詳	
163	2-7 C区	III Ab層	石板	石板	3.25	1.50	0.60	1.89	淡青色板岩	奥羽山脈(一関以北)	奥羽山脈(一關以北)	
164	1-8 C区	III B中層	石板	石板	(2.70)	1.20	0.30	0.57	淡青色	II	北上山地	
165	2-8 D区	III B中層下部	石板	石板	(2.50)	1.85	0.30	0.70	チャート	東密井・氣仙	東密井・氣仙	
166	2-9 C区 3-9 A区	薄相当	石板	石板	(2.50)	1.40	0.60	1.36	板岩質板岩チャート	II	東密井・氣仙	
167	3-9 A区	10Y3-2 黑褐色土	石板	石板	(2.55)	0.85	0.50	0.74	黑雲母石	II	不詳	
168	1-10 B区	III B上層	石板	石板	(2.10)	1.25	0.35	0.64	チャート	西端灰岩	東密井・氣仙	
169	2-10	Ⅲ層	石板	石板	3.65	1.80	0.70	2.26	板岩質板岩	奥羽山地	奥羽山地	
170	2-10 B区 東西ベルト	5層相当	石板	石板	2.80	1.40	0.40	0.71	板岩質板岩チャート	II	東密井・氣仙	
171	2-12南北ベルト	2-5層	石板	石板	2.75	1.00	0.40	0.46	板岩質板岩	II	不詳	
172	3-12 A区	新II型地塊地(カツカツ)地帯	石板	石板	(1.90)	1.15	0.25	0.34	板岩質板岩	II	不詳	
173	1-13 1.13南北ベルト北面	3層	石板	石板	(1.70)	1.00	0.30	0.37	板岩質板岩チャート	II	東密井・氣仙	
174	2-13 A区	床筋色土(地小)プロトクル7%以上	石板	石板	(2.35)	0.75	0.60	1.57	黑雲母石	II	不詳	
175	1-4	Ⅲ B上層	石板	石板	(1.60)	1.10	0.30	0.43	チャート	東密井・氣仙	東密井・氣仙	
176	1-7	Ⅲ層上面	石板	石板	1.80	1.00	0.35	0.48	黑雲母石	II	不詳	
177	1-9 B区	黒褐色土層	石板	石板	(2.45)	1.50	0.35	0.50	チャート	北上山地	北上山地	
178	1-1 B区	Ⅲ B上層	石板	石板	2.90	1.95	0.60	0.39	黑雲母石	II	不詳	
179	1-1 C区	Ⅲ B中層	石板	石板	(2.20)	1.20	0.30	0.39	板岩質板岩	奥羽山地(一關西面)	奥羽山地(一關西面)	
180	1-2 C区	Ⅲ B中層上部	石板	石板	(2.85)	1.30	0.50	1.27	板岩質板岩	奥羽山地(一關西面)	奥羽山地(一關西面)	
181	2-6	Ⅲ A中層	石板	石板	3.15	1.45	0.50	1.40	板岩質板岩	II	不詳	
182	2-6 B区	18A ①	石板	石板	3.70	1.50	0.50	1.50	板岩質板岩	奥羽山地(一關西面)	奥羽山地(一關西面)	
183	2-6	Ⅲ A中層 ②	石板	石板	3.50	2.05	0.70	3.14	板岩質板岩	奥羽山地(一關内面)	奥羽山地(一關内面)	
184	2-7	表土 1層	石板	石板	(3.50)	1.60	0.50	1.87	チャート	北上山地	北上山地	
185	1-8 D区	Ⅲ B中層上部(足少)	石板	石板	2.00	1.35	0.35	0.70	チャート	東密井・氣仙	北上山地	
186	1-9 C区	Ⅲ B上層	石板	石板	3.05	1.50	0.30	0.92	板岩質板岩	II	不詳	
187	2-10 A区 東西ベルト	薄相当	石板	石板	3.20	0.60	0.45	1.03	板岩質板岩	東密井・氣仙	東密井・氣仙	
188	1-11 A区	奥羽山地(カツカツ)のアラスカ岩層(上地山)	石板	石板	2.35	1.30	0.30	0.53	黑雲母石	II	不詳	
189	2-11 D区	大蛇土(留含む層)	石板	石板	3.00	1.50	0.30	0.97	チャート	北上山地(東密井・氣仙)	北上山地(東密井・氣仙)	
190	2-12南北ベルト A	1・9層	石板	石板	4.40	1.80	0.80	2.99	板岩質板岩	奥羽山地(一關内面)	奥羽山地(一關内面)	
191	2-6 AC区	III A層 ①	石板	石板	2.85	1.20	0.70	1.71	板岩質板岩	奥羽山地	奥羽山地	
192	2-13東西ベルト北西面	6層	石板	石板	(2.80)	1.40	0.45	1.35	チャート	東密井・氣仙	東密井・氣仙	
193	2-11 D区	東端地帯(カツカツ)のアラスカ岩層	石板	石板	2.70	1.20	1.50	1.00	板岩質板岩	II	不詳	
194	2-8 D区	III A中層下部	石板	石板	2.00	1.00	0.45	0.50	板岩質板岩	東密井・氣仙	東密井・氣仙	
195	1-10 D区	木根 Ⅲ A中層	石板	石板	3.30	1.15	0.40	0.88	板岩質板岩	II	不詳	
196	1-7 B区	①層	石板	石板	2.85	0.65	0.40	0.88	板岩質板岩	奥羽山地(一關西北面)	奥羽山地(一關西北面)	
197	2-10 C区	Ⅲ B中層 上層の可能性有り	石板	石板	2.00	0.95	0.50	0.67	板岩質板岩	奥羽山地	奥羽山地	
198	2-10 D区	灰青色土・黒褐色土	石板	石板	2.60	1.10	0.40	1.57	板岩質板岩チャート	北上山地	北上山地	
199	2-7 C区	III Ab層	石板	石板	3.25	1.75	0.85	4.27	チャート	東密井・氣仙	東密井・氣仙	

地名	山 土 地 A	山 土 地 B	山 土 地 C	山 土 地 D	山 土 地 E	山 土 地 F	山 土 地 G	山 土 地 H	山 土 地 I	山 土 地 J	山 土 地 K	山 土 地 L	山 土 地 M	山 土 地 N	山 土 地 O	山 土 地 P	山 土 地 Q	山 土 地 R	山 土 地 S	山 土 地 T	山 土 地 U	山 土 地 V	山 土 地 W	山 土 地 X	山 土 地 Y	山 土 地 Z	
200 2-5 A区	III A山地半 IV B山地半上半																										
201 1-4 D区																											
202 2-10 A区																											
203 2-1 B区																											
204 2-4 A区	1-4東西ベット																										
205 1-6 A区	東西ベット																										
206 2-6 A区																											
207 1-7 D区																											
208 2-8 D区																											
209 2-5 H区																											
210 1-8 B区																											
211 1-3 C区																											
212 1-7 BDK																											
213 1-7 A区	東西ベットB																										
214 2-8 不明																											
215 2-3 H区																											
216 2-3 B区																											
217 1-5 A区	1-4南北ベット	1.96																									
218 1-5 B区																											
219 2-5 B区																											
220 1-6-2-6 西東ベットA																											
221 1-7 BDK 西東ベットA																											
222 2-7 C区																											
223 2-8 C区																											
224 2-9 C区	3-9 AK 1-9東西ベット																										
225 2-9 C区	5個相当																										
226 2-9南北ベット																											
227 2-11 BK																											
228 3-11 BK																											
229 3-12 BK																											
231 2-13南北ベット北西面																											
232 1-2 C区																											
233 1-2 C区																											
234 1-8 C区																											
235 2-9 2-10東西ベット																											
236 1-2 C区																											
237 2-3 C区																											
238 1-4 A区	東西ベット																										
239 2-4 A区	1-4東西ベット																										

試験No.	出 土 地 点	層	形 式	厚 (cm)	長さ(cm)	石 質	備考
240	2-4	山ノ上層	白鐵	(5.90)	1.15	2.66 泥質鉄板岩質	奥羽山地(-側面)
241	2-4 A区	山ノ上層	白鐵	4.60	2.10	1.15 研磨削治	奥羽山地(東斜)
242	2-5	山ノ上層	石鐵	5.30	1.55	0.60 粘板岩質チート	北上山地
243	1-6 A区	東西ベルト	石鐵	3.40	—	—	北上山地(東斜)
244	1-6 B区	東西ベルト B	石鐵	5.20	0.80	0.30 チャート	北上山地(東斜)
245	2-6 1-6東西ベルト B	1層 (下層) (複数)	石鐵	(2.20)	1.20	0.30 粘板岩質板岩	北上山地(東斜)
246	2-6 D区	1-6東西ベルト B	石鐵	3.70	1.50	0.70 粘板岩質板岩	北上山地(東斜)
247	2-7 D区	山中層下部	石鐵	4.90	1.95	0.65 粘板岩質チート	北上山地
248	2-7 B区	山中層	石鐵	5.70	1.80	0.80 粘板岩質チート	北上山地
249	2-7 A区	山中層	石鐵	3.80	1.75	0.75 粘板岩質	北上山地
250	1-8 D区	山中層	石鐵	2.10	1.20	0.50 粘板岩質チート	北上山地(東斜)
251	1-8 D区	山中層下層 (複数)	白鐵	1.95	0.60	0.20 粘板岩質チート	北上山地
252	2-8 A区	山中層	石鐵	3.41	0.90	0.50 粘板岩質チート	北上山地
253	2-8 D区	山中層下の火成岩層上部	石鐵	3.75	1.50	0.40 粘板岩質板岩	奥羽山地
254	1-11 B区	大巣土面の下層	石鐵	5.90	0.95	0.50 粘板岩質板岩	奥羽山地
255	1-9 C区	東西ベルト	7層相当 (複数)	6.50	2.05	0.90 粘板岩質チート	北上山地
256	2-13 C区	山中層	石鐵	(3.35)	1.20	0.30 粘板岩質チート	北上山地
257	1-9 C区	山中層上部	白鐵	3.65	1.65	0.50 粘板岩質	北上山地
258	2-3 A区	山中層	石鐵	(1.10)	0.90	0.20 黒曜石	小谷
259	2-3 B区	山中層上部	石鐵	1.20	0.30	0.41 チャート質板岩質灰岩	東磐井・氣仙
260	1-8 C区	山中層上部	石鐵	1.40	1.35	0.55 粘板岩	北上山地
261	2-12	火成岩	石鐵	2.20	1.65	0.70 チャート質板岩質灰岩	東磐井・氣仙
262	2-9 A区	糞塊	石鐵	4.25	2.55	1.15 チャート質板岩質灰岩	東磐井・氣仙
263	2-7 A区	山中層	石鐵	1.50	1.60	0.40 粘板岩質	北上山地
264	1-8	山中層	石鐵	2.55	0.85	0.70 粘板岩質	北上山地
265	3-9	黑褐色土層	石鐵	2.40	0.95	0.40 粘板岩質チート	北上山地
266	1-7 B区	東西ベルト A	②層下部	(15.85)	3.25	1.65 粘板岩質板岩	奥羽山地
267	2-8 1-3東西ベルト	4層	石鐵	2.00	1.70	1.00 粘板岩質	北上山地(東斜・氣仙)
268	1-9 A-B区	東西ベルト	6層	2.90	2.40	1.00 チャート質板岩	東磐井・氣仙
269	2-10 B区 2-1東西ベルト	6層(地山地更ブロック突出部)	石鐵	3.10	2.10	1.00 粘板岩質	奥羽山地(-側面)
270	1-6 A-C区	東西ベルト A	3層下層	2.50	2.20	1.10 粘板岩質	奥羽山地(東斜)
271	2-15 B区	先端上層	石鐵	4.90	1.50	0.80 粘板岩質	奥羽山地(東斜)
272	2-8 A区	Ac 隅	石鐵	5.30	1.40	0.75 粘板岩	北上山地
273	1-11 A-C区	1-6東西ベルト H	所選器	3.20	3.40	1.10 粘板岩質	—
274	1-3-3東西ベルト	最下層	所選器	4.50	3.70	1.00 粘板岩質	—
275	1-4 A区	東西ベルト	所選器	8.00	4.10	1.50 粘板岩質灰岩	奥羽山地(-側面)
276	1-9 C区	東西ベルト	⑤層	10.60	4.30	1.70 粘板岩質	奥羽山地(-側面)
277	1-2 D区	6層相当	所選器	8.90	2.00	1.20 粘板岩質灰岩	奥羽山地(東斜)
278	4号機土壠跡	山中層上部	石鐵	3.20	4.10	0.80 粘板岩質	奥羽山地(東斜)
279	2-4	山中層上部	石鐵	2.30	5.75	0.90 粘板岩質	奥羽山地(東斜)
				3.60	7.00	1.20 粘板岩質	奥羽山地(東斜)

出土地点	層位	形式	岩相	長さ(cm)	幅(cm)	高さ(cm)	石質	層地	備考
280 2-5	ⅢA層上部	石塊	石塊	3.60	(4.90)	1.10	14.50	チャート質砂岩	露頭・気仙
281 1-6	B DK 東西ベルト B	石塊	石塊	3.80	4.20	0.90	8.62	流紋岩	北上山地
282 2-6	B DK	石塊	石塊	5.00	7.70	1.25	28.90	礫質砂岩	東羽根地(東部)
283 2-6	B DK	石塊	石塊	4.45	4.90	1.10	15.81	礫質砂岩	東羽根地(東部)
284 2-6	A E DK 1-6東西ベルト A	石塊	石塊	3.40	5.70	1.10	14.04	礫質砂岩	東羽根地(東部)
285 3-6	2-6	石塊	石塊	3.90	7.10	1.50	31.76	礫質砂岩	東羽根地(東部)
286 2-7	1-7東西ベルト A	石塊	石塊	3.90	5.80	1.40	14.61	粘板岩	北上山地
288 2-9	風化極度土層中層 25cm 程で	石塊	石塊	4.60	6.70	1.00	17.64	礫質砂岩	東羽根地(東部)
288 2-8	A DK	石塊	石塊	4.40	5.80	1.20	20.27	粘板岩	北上山地
289 3-9	A DK	石塊	石塊	1.60	2.76	0.76	無	無	不詳
290 1-2	II B層上部	7層	石塊	6.55	2.80	1.20	15.79	礫質砂岩	東羽根地(東部)
291 1-4	A DK	石塊	石塊	5.55	1.90	0.80	7.57	巨礫粘板岩	北上山地
292 2-4	B DK 1-4東西ベルト	石塊	石塊	5.40	3.30	0.75	9.51	粘板岩	東羽根地(東部)
293 1-5~2-5	東西ベルト	4層	石塊	5.30	2.60	0.60	6.93	礫質砂岩	東羽根地(東部)
294 2-3	II A 層	3層	石塊	7.15	4.80	1.70	55.28	礫質砂岩	東羽根地(東部)
295 1-6	C DK	田舎上層	石塊	3.00	1.85	0.50	4.22	無	北上山地
296 2-6	B DK	田舎下層	石塊	5.85	2.15	0.70	6.31	礫質砂岩	東羽根地(東部)
297 2-6	B DK	田舎下層	石塊	5.05	2.45	1.00	7.81	粘板岩	東羽根地(東部)
298 2-4~3-6	III B層下層	地山風化物質ブロック No.1底下層	石塊	6.75	5.70	1.00	27.71	礫質砂岩	東羽根地(東部)
299 2-7	III B層中層地化物質底北区	石塊	石塊	7.10	4.10	0.80	28.10	白色細粒變質岩	東羽根地(東部)
300 2-8	D DK	II A 層中層	石塊	6.20	1.75	0.90	6.76	礫質砂岩	東羽根地(東部)
301 2-9	II A 層中層上部弱變質帶	4層	石塊	6.60	2.26	0.80	9.77	礫質砂岩	東羽根地(東部)
302 2-10	南北ベルト	7層	石塊	8.70	3.00	1.10	28.84	礫質砂岩	東羽根地(東部)
303 17号坑	1-10	堆土	石塊	2.20	1.40	0.40	9.95	粘板岩	北上山地
304 3-9	C DK 1-9 A DK 1-9西ベルト A	堆土	石塊	2.30	1.70	0.55	1.70	チャート質粘板岩	北上山地
305 1-6~2-6東西ベルト A	25cm	堆土	石塊	4.30	4.60	1.00	15.10	礫質砂岩	東羽根地(東部)
306 2-14	A DK	II A層相当層	石塊	5.25	4.65	1.20	19.47	粘板岩	北上山地
307 2-6	D DK 1-6東西ベルト A	海面下层	石塊	7.70	10.70	2.00	161.00	粘板岩	本吉
308 2-8	B DK	II B層上層	投入石塊	6.50	13.90	1.50	120.00	板状質砂岩	藤沢
309 1-11	D DK	II B層下層(一帯中層混合?)	投入石塊	5.20	10.50	0.90	40.00	粘板岩	東羽根
310 2-11	石井地質 No.1	石井地質 No.1	石井地質	9.85	4.70	1.80	150.00	板状質砂岩	東羽根
311 2-11	石井地質 No.2	石井地質	石井地質	9.85	4.20	2.40	150.00	板状質砂岩	東羽根
312 2-11	石井地質 No.3	石井地質	石井地質	16.30	4.70	3.00	380.00	板状質砂岩	東羽根
313 2-2	B DK	II B中層	投入石塊	10.90	4.80	7.40	210.00	板状質粘板岩	東羽根
314 2-3		II B中層	投入石塊	9.10	4.75	2.40	160.00	板状質砂岩	東羽根
315 0-4		II B層 活土層 No.1 と伴う	投入石塊	6.15	3.05	1.20	40.00	板状質砂岩	東羽根
316 1-4		表土	投入石塊	9.15	5.25	2.65	150.00	板状質砂岩	東羽根
317 2-4	A DK	II B層	投入石塊	11.40	4.30	2.75	190.00	板状質砂岩	東羽根
318 0-5		II B層	投入石塊	6.10	4.90	2.50	130.40	板状質砂岩	東羽根
319 1-5	D DK	表土層	投入石塊	10.40	5.40	3.00	220.00	板状質砂岩	東羽根

断面No.	出土地点	層	位	形式	厚さ(cm)	幅(cm)	面積(cm ²)	石	質	地	備考
320 2-7 DK	田中層	ⅢB中層	石井	打鑿石井	(13.65)	5.75	3.15	495.00	砂質砾岩	東磐井	
321 2-7	田中層	ⅢB中層下部	石井	打鑿石井	(9.90)	4.30	2.90	234.30	砂質砾岩	東磐井	
322 2-8 DK	田中層	ⅢB中層下部	石井	打鑿石井	(17.65)	(5.00)	4.40	980.00	砂質砾板岩	東磐井・気仙	
323 2-8	田中層	ⅢB上層	石井	打鑿石井	7.40	4.40	2.40	143.40			
324 2-8 BK	田中層	ⅢB上層下部(浅手)	石井	打鑿石井	(8.75)	4.65	2.35	175.00	砂質砾岩	東磐井・気仙	
325 2-9 BK	1-9西ベルト	5m中~下層相当(浅手)	打鑿石井	13.70	5.20	3.30	346.40	砂質砾岩	東磐井		
326 2-10 BK	北山地	打鑿石井	打鑿石井	11.40	5.70	2.50	257.40				
327 3-11 AK	黒褐色土層	瓦礫層土+上とⅢB上層の裏台	器蓋石井	9.15	4.50	2.60	164.50	砂質砾岩	東磐井		
328 3-11 AK	瓦礫層土+上とⅢB上層の裏台	瓦礫層土+上とⅢB上層の裏台	器蓋石井	9.50	4.20	1.90	180.00	砂質質千枚岩	東磐井		
329 1-13 C区 2-13東西ベルト南側面	4-6層	打鑿石井	打鑿石井	8.70	6.20	2.90	187.70	砂質砾岩	東磐井		
330 2-15 BK	木橋	瓦礫層土+上とⅢB上層の裏台	打鑿石井	9.30	4.60	2.90	207.30	砂質砾岩	東磐井		
331 2-16 AK	木橋	瓦礫層土+上とⅢB上層の裏台	打鑿石井	(6.20)	4.50	2.30	83.40				
332 不明	田中層	打鑿石井	打鑿石井	9.40	(4.10)	2.00	110.00	砂質砾岩	東磐井		
333 2-6 AK	田中層下部	小窓土井	打鑿石井	2.60	1.50	1.30	3.50	砂質砾岩	木沢東部(須田地区)		
334 1-8 DK	田中層下部	打鑿石井	打鑿石井	(4.45)	2.45	0.90	20.00	砂質砾岩	北上山地		
335 2-9東ベルト	2層	小窓土井	打鑿石井	2.60	1.60	0.70	10.20	砂質砾岩	東磐井		
336 2-9 DK	1-9東ベルト	2層	小窓土井	2.35	1.60	0.65	9.00	砂質砾岩	東磐井・気仙		
337 1-10	田中層	打鑿石井	打鑿石井	3.20	1.10	0.60	5.40	砂質砾岩	東磐井		
338 1-3 DK	ペルト3層	打鑿石井	打鑿石井	14.50	6.20	3.40	315.40	砂質砾岩	北上山地		
339 2-3 BK	田中層下部	打鑿石井	打鑿石井	16.30	9.30	3.00	486.00	砂質砾岩	東磐井・気仙		
340 1-4 DK	田中層下部	打鑿石井	打鑿石井	11.70	5.70	1.80	130.00	砂質砾岩	東磐井・気仙		
341 2-6	表土1号	打鑿石井	打鑿石井	20.00	9.50	3.20	610.00	砂質砾岩	東磐井・気仙		
342 1-11	瓦礫層土+地小ヶ谷?壁走土+瓦上	打鑿石井	打鑿石井	12.70	8.15	1.30	140.00	砂質砾岩	東磐井・気仙		
343 1-8 C区 1-8東ベルト	4層	打鑿石井	打鑿石井	(13.25)	5.10	2.55	300.00	砂質砾板岩	東磐井・気仙		
344 1-9	表土兼下部	打鑿石井	打鑿石井	19.10	6.35	2.40	555.40	砂質砾板岩	東磐井・気仙		
345 2-10	10Y6.5-4層	打鑿石井	打鑿石井	16.20	7.20	4.00	410.00	砂質砾岩	東磐井・気仙		
346 2-12 C区	10Y3.2-馬場地上	打鑿石井	打鑿石井	(21.00)	(13.45)	1.95	440.00	砂質砾板岩	東磐井・気仙		
347 レンチ No.4	表土1号	打鑿石井	打鑿石井	20.60	7.80	2.60	500.00	砂質砾板岩	東磐井・気仙		
348 2-10 AK	不明?	打鑿石井	打鑿石井	11.85	5.30	2.45	160.00	砂質砾岩	東磐井・気仙		
349 不明	不明?	打鑿石井	打鑿石井	6.40	3.10	1.30	30.00	砂質砾板岩	東磐井		
350 2-7 AC区	不明?	打鑿石?	打鑿石?	12.20	5.60	1.20	130.00	砂質砾岩	海沢		
351 1-10	田中層	打鑿石?	打鑿石?	13.50	8.50	1.50	2.90	砂質質千枚岩	海沢		
352 4891	土蛇より下の層土:	堆土	打鑿石井	35.10	21.50	3.10	2380.00	砂板岩	東磐井・気仙		
353 4919	土蛇?	堆土	打鑿石井	16.20	9.30	4.60	650.00	砂質砾岩	東磐井・気仙		
354 25号土蛇	土蛇下部	打鑿石?	打鑿石?	11.20	8.15	1.30	400.00	砂質砾岩	海沢		
355 1-2	田中層	打鑿石?	打鑿石?	25.30	8.15	6.95	2080.00	砂質質千枚岩	一關西部		
356 1-3	田中層	打鑿石?	打鑿石?	8.10	5.25	3.90	160.00	砂質質千枚岩	東磐井		
357 1-3 DK	ペルト3層	打鑿石?	打鑿石?	(14.00)	4.20	4.35	250.00	砂質砾岩	東磐井		
358 1-4 CK	東西ベルト	壁	壁	15.45	6.00	3.45	340.00	砂質砾岩	東磐井		
359 1-3	瓦質褐色土層	壁	壁	11.40	7.50	6.60	990.00				

地番No.	出土地点	層位	形式	面	幅(㎝)	高さ(㎝)	重量(g)	石質	性状	产地	備考
360 2-3	AB区 2-3	ⅢB中層	凹凸面	凹凸面	9.20	5.60	4.10	15.00	ディサイド	平泉—ノ西～石城	
361 2-3	AK区 1-5	ⅢA相当層 f.c.51.4 2・3層	凹凸面	凹凸面	11.30	6.20	4.50	175.00	繊維質砂岩	福井	
362 1-5	AK区 1-5	B区 1-6東西ベルトA	1層	凹凸面	9.60	8.90	4.50	440.00	アルコース砂岩	福井一千瀬	
363 1-5	C区 3-6	ⅢA相當層	凹凸面	凹凸面	17.30	6.60	4.10	175.00	繊維質砂岩	福井	
364 1-7	C区 3-6	表土	凹凸面	凹凸面	11.75	4.60	3.50	300.00	繊維質砂岩	東磐井	
365 1-7	D区 3-6	ⅢB中層	凹凸面	凹凸面	13.00	7.50	7.00	565.00	砂粒質灰岩	東磐井	
366 1-10	D区 3-6	ⅢB下層配石上部	凹凸面	凹凸面	7.80	6.90	4.50	245.00	針葉樹木節灰岩	湖川名	
367 1-8	C区 3-6	ⅢB中層下層(底付)	凹凸面	凹凸面	10.20	3.00	4.13	460.00	繊維質灰岩	一関市新	
368 1-8	C区 3-6	ⅢB中層下層(底付)	凹凸面	凹凸面	(7.80)	8.20	4.90	430.00	繩文安山岩		
369 2-10	B区 1-9東西ベルト	5層相当層(多)	無地色土	凹凸面	11.40	8.20	4.10	350.00	繩文安山岩	一関市新	
370 3-12		無地色土	凹凸面	凹凸面	13.30	6.90	2.55	310.00	繩文質灰岩	東磐井	
371 2-14		ⅢB中層	表土・B層上層	凹凸面	7.80	7.40	4.10	340.00	繩文灰岩	東磐井	
372 1-4	C区 3-4	ⅢB上層	凹凸面	凹凸面	6.00	3.30	2.50	71.60	ディサイド質砂岩	一關市新	
373 1-4		不明	無地	無地	11.30	4.20	3.00	275.30	繩文質灰岩	福井	
374 1-8	D区 3-7	ⅢB上層	無地	無地	5.40	3.45	2.50	70.00	繩文質灰岩	福井	
375 1-12		無地海苔上層	無地	無地	8.90	6.60	4.80	270.00	繩文質灰岩	福井	
376 2-12		無地土	無地	無地	14.00	6.00	4.90	2.50	ホルンフェルス	本吉周辺	
377 1-3	B区 7層(8号)	7層(8号)	無地	無地	9.50	3.00	2.20	100.00	繩文灰岩	東磐井	
378 2-14	A区 3-9	ⅢA相當層	無地	無地	8.70	6.40	4.30	300.00	繩文質灰岩	福井	
379 2-11・12		ⅢB上層	無地(特殊)	無地	15.40	6.30	2.50	300.00	繩文質砂岩	東磐井	
380 2-2	B区 1-6	ⅢB上層	無地	無地	19.55	12.20	9.80	3620.00	繩文安山岩	東磐井	
381 1-6	B区 1-6	東西ベルトB	5層上層	無地	5.50	5.00	4.40	80.00	繩文質灰岩	本吉	
382 2-11	A区 3-11	大蛇上層内	無地	無地	12.40	8.00	6.00	110.00	本吉		
383 1-14	D区 3-11	3-11上層	無地	無地	15.55	8.65	6.05	1224.50	本吉		
384 2-15		ⅢA相當層10YR3/2無地色土層	無地	無地	4.10	3.65	2.10	30.00	安山岩	本吉	
385 1-6		木板	無地	無地	7.80	7.00	3.90	360.00	繩文質灰岩	東磐井・磐梯	
386 1-6		3-11上層	無地	無地	(22.20)	14.50	13.60	1440.00	アルコース砂岩	本吉	
387 1-4		5号船石遺構	無地	無地	(19.50)	18.30	6.10	1640.00	ディサイド質灰岩	石城	
388 1-3	D区 3-8	ⅢB中層下層 7層	無地	無地	26.00	21.10	4.50	1620.00	繩文質灰岩	石城方面	
389 1-4	A区 3-8	ⅢA相當層の混合土	無地	無地	(19.30)	(20.90)	6.60	2200.00	ディサイド	石城	
390 1-6	A区 3-8	東西ベルトB 1-7	5層	無地	(26.50)	(15.00)	3.10	1710.00	ディサイド	石城	
391 1-6	A区 3-8	東西ベルト	3-8上層	無地	(17.85)	(15.50)	5.80	1500.00	繩文質灰岩	本吉	
392 1-6		無地	無地	無地	(16.90)	(9.80)	3.90	510.00	繩文質灰岩	石城	
393 2-7	A区 3-8	東西ベルト	7層(重複)	無地	(16.75)	(13.10)	5.70	1450.00	繩文質砂岩	本吉	
394 1-8	B区 3-8	東西ベルトB 1-7	5層相当	無地	(25.40)	(15.30)	3.90	1990.00	ディサイド	本吉	
395 2-10	B区 3-8	1-9東西ベルト	ⅢB相當層?	地山層上層	(36.80)	(25.60)	5.50	4600.00	ディサイド	石城	
396 1-15		表土	1層	無地	(22.40)	(24.70)	6.90	2770.00	ディサイド	石城	
397 2-9		5層	無地	無地	(16.40)	(15.90)	3.00	1550.00	安山岩(浮石)	湖川西(北上川流域)	
398 2-9	A区 3-8	1-9東西ベルト	5層	無地	(15.95)	(19.80)	3.40	2000.00	ディサイド	石城	
399 1-15		田柵	無地	無地	9.30	7.60	1.40	149.70	繩文質灰岩	本吉	

器物名	出土地点	層位	形式	墜	巻き(m)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	古度	地質	備考
400	義理	表層	石皿	(28.40)	25.50	5.00	4500.00	扁天岩	本吉			
401	義理		板石	9.50	9.00	3.30	266.60					
402	1-11-15 石臼,不明		板石	28.50	16.60	8.20	5880.50	細粒花崗岩	本吉			
403	1-11-15 No.14		板石	(23.20)	(9.70)	6.30	3870.20	細粒花崗岩	本吉			
404	2-0	田舎	石皿	(15.00)	(6.40)	6.70	1050.00	扁天青麻粒岩	石造			

(3) 石製品

箇所名	出土地点	層	位置	形態	大きさ(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	产地	参考
1 1-1 A区	田園下層	平塗		半玉	0.80	0.45	0.50	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
2 1-1 A区	田B層上層	半玉		半玉	1.15	0.30	0.60	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
3 2-1	川層下部(通称内?)	半玉		半玉	0.65	0.55	0.50	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
4 2-1	田間下層	半玉		半玉	0.75	0.75	0.50	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
5 2-1	田間下層	半玉		半玉	0.80	0.80	0.45	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
6 1-2	表様	半玉		半玉	0.95	0.95	0.40	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
7 1-2 D区	田B層上層	半玉		半玉	0.95	0.80	1.30	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
8 1-2 D区	田B層上層	半玉		半玉	1.05	1.05	1.10	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
9 1-2 C区	六地土塗含む層	半玉		半玉	0.90	0.90	0.60	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
10 2-11 C区	田B層上部	半玉		半玉	0.70	0.75	0.40	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地	
11 1-3 B区	田A層④	石製品		石製品	2.20	2.65	0.40	0.96	片板片	
12 1-3 B区	田A層④	石製品		石製品	3.30	0.90	0.60	2.80	-	
13 1-6 B区	東西ベント	石製品		石製品	3.20	2.40	0.50	4.09	-	
14 1-6 BD区	東西ベントB	5層中間		石製品	4.50	1.50	0.60	4.16	鶴見工場	
15 2-6	田B層上層	石製品		石製品	2.60	1.70	2.00	30.30	蛋白石	北上山地
16 1-8 B区	田B層	三角状		石製品	4.00	2.15	0.35	3.75	-	
17 1-8	田B層	石製品(未調査)		石製品	3.20	2.50	0.60	4.57	-	
18 1-14~2-4(西ベント)	3層	長方形		石製品	5.40	5.95	0.65	24.03	粘板岩	東吾井・久慈
19 2-4 B区	田A層相当	石製品		石製品	3.90	2.30	1.60	18.40	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地
20 3-6	表土1層	美術品(未調)		美術品(未調)	3.40	0.90	0.90	4.60	-	
21 2-7 B区	田A層	石製品		石製品	2.90	0.70	0.75	8.75	-	
22 1-7	表土1層	有孔石製品		有孔石製品	5.10	5.20	0.65	28.90	-	
23 1-8 C区	田B層	耳飾?		耳飾?	5.25	3.70	2.10	42.47	-	
24 2-9 C区	1-9西ベント	5層		有孔石製品	4.50	3.90	2.50	37.47	-	
25 1-9 AC区	東西ベント	4層中間		美術品(未調)	2.60	4.10	2.40	15.92	-	
26 2-9 D区	田Ac層	有孔石製品		有孔石製品	7.10	6.65	1.60	80.80	安山岩	北上山地
27 2-11 D区	3-11-1田B層上部	有孔石製品		有孔石製品	4.00	4.10	1.40	27.34	-	
28 1-12	田B層上部	ボタル石製品		ボタル石製品	2.50	2.80	1.30	9.02	地衣岩質細粒凝灰岩片	北上山地
29 2号住居跡 F区	表土	有孔石製品		有孔石製品	4.20	3.70	1.30	19.36	-	
30 1-14 C区	表土下層	有孔石製品		有孔石製品	3.55	5.05	1.70	28.69	-	
31 2-12	トレンチ No.3 東壁	七輪		七輪	2.80	1.70	1.20	2.91	-	
32 3-4	田層④	石器		石器	(4.50)	4.50	1.20	13.87	地衣岩質細粒凝灰岩片	東吾井・久慈
34 2-4 A区	田A層④	台板		台板	2.50	6.20	1.10	69.40	-	
35 2-5	焼土面	粘板?		粘板?	4.50	4.60	0.70	9.80	-	
36 2-7	表土1層	粘板		粘板	4.30	2.50	0.90	7.75	-	
37 3-9	黒褐色土層	粘板		粘板	3.30	4.00	1.00	12.10	-	
38 1-3 D区	7層	石製品		石製品	2.80	2.90	0.70	4.96	-	

巡回點番号	出土地	地點	層位	階級	形式	巻き(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石質	産地	備考
39	1-5東西ベルト	5号下部	不明	不明	3.60	1.60	1.35	9.34	—	—	—	
40	1-1 BK	III B 上層	石塊	石塊	2.70	3.20	1.55	18.78	—	—	—	
41	1-3 CK	9号	石塊	石塊	3.05	4.65	1.50	35.02	—	—	—	
42	1-6 AK	合下層	石塊	石塊	3.20	5.00	2.35	50.53	細粒質砂岩	本古(海岸)	—	
43	2-4 AK	上層	石塊	石塊	3.40	2.65	0.65	11.39	粘板岩	東磐井・氣仙	—	
44	2-4	表層?	岩塊?	岩塊?	6.20	3.80	3.50	69.70	—	—	—	
45	1-8 CK	III B 中層	斜面状石塊	石塊	7.60	4.70	2.20	5.75	—	—	—	
46	1-5 CK	表土巣上部	円筒状	石塊	3.05	3.00	0.40	4.60	—	—	—	
47	1-11 CK	大巣地山根山塊高ブロックより下層	ときか状	石塊	8.70	9.20	2.50	152.56	細粒質砂岩	奥山地	—	
49	2-14	III A 相手層	片理石塊	石塊	8.20	2.30	1.40	30.70	—	—	—	
50	2-10 DK	II B 上層	岩板状岩塊	石塊	8.10	5.15	2.00	63.25	珪化木	奥山地	—	
51	3-9 CK	黒褐色土層	石塊	石塊	14.30	8.60	7.00	660.00	安山岩質風化岩	奥羽山地	—	
52	2-11 DK	3-11号下半下部	鰐口輪骨子	石塊	(14.10)	7.10	3.20	131.50	滑面	奥羽山地	—	
53	3-1 レンチ No. 4	表土巣	块状	石塊	10.00	6.30	5.20	427.00	—	—	—	
54	1-6 BD区 東西ベルト B	5号	石塊	石塊	4.20	1.70	1.20	15.00	塊状	東磐井	—	
55	2-5	木根側山頂付近TR/7区南端付近	片理品	石塊	25.30	7.10	5.00	397.24	輝石安山岩	本古	—	
56	2-5 1-5東西ベルト	5号下部	石塊	石塊	25.20	6.20	4.10	820.00	透紋岩質風化岩	東磐井・氣仙	—	
57	2-8 No. 9	III B 上層	石塊?	石塊?	59.70	9.20	4.35	2700.00	—	—	—	
58	2-9 2-9西北ベルト	2層	円盤状	石塊	47.15	8.10	4.20	1730.00	ホルンフェルス	東磐井	—	
59	2-10	田澤地山根山塊高ブロック集巾部	円盤状	石塊	3.85	3.45	1.20	29.00	細粒質砂岩	本古	—	
60	3-10	灰質地土層	円盤状	石塊	7.30	6.70	1.20	78.20	ホルンフェルス	東磐井・氣仙	—	
61	1-11 CK	II B 上層	円盤状	石塊	6.50	6.15	(2.50)	119.00	安山岩	千畠町近	—	
63	2-8	II B 上層	円盤状	石塊	5.80	6.20	1.90	114.00	海灰質砂岩	東磐井・氣仙	—	
64	2-13	表土巣	円盤状	石塊	5.90	5.85	1.35	53.10	ホルンフェルス	千畠町近	—	
65	2-1	II B 上層	円盤状	石塊	7.60	7.90	1.50	141.10	海灰質砂岩	東磐井・氣仙	—	
66	2-1	II B 上層	円盤状	石塊	(6.35)	2.85	0.95	29.70	粘板岩	東磐井・氣仙	—	
67	2-1 BK	III B 中層2-1-1995.06/09-No.1	石塊	石塊	27.90	2.70	1.60	180.00	粘板岩	東磐井・氣仙	—	
68	1-3 AK	4層(明)	石塊	石塊	(6.20)	2.60	1.90	34.30	粘板岩	東磐井・氣仙	—	
69	1-3 AK	自燃火口層	圓錐形堆積物	石塊	17.10	3.60	1.80	140.00	海灰岩	東磐井・氣仙	—	
70	2-3	II B 中層下部	石塊	石塊	16.90	2.75	2.25	60.00	粘板岩	東磐井・氣仙	—	
71	2-4 BK	II B 上層	石塊	石塊	(20.00)	3.10	1.80	130.00	粘板岩	東磐井・氣仙	—	
72	1-5 BK	II B 上層	石塊	石塊	(13.20)	(2.80)	(1.85)	140.00	粘板岩	東磐井・氣仙	—	
73	2-3號上層	黑色土	石塊	石塊	16.50	3.50	1.40	170.30	砂質粘板岩	東磐井	—	
74	1-5東西ベルト	5号下部	石塊?	石塊?	(17.85)	3.30	1.00	57.70	ホルンフェルス	東磐井	—	
75	2-5 1-5東西ベルト	7号	石塊	石塊	28.90	2.20	1.60	157.60	粘板岩	東磐井・氣仙	—	
76	1-6 CK区 東西ベルト	3層中層	石塊	石塊	(19.45)	5.15	3.50	362.30	海灰岩	東磐井・氣仙	—	
77	2-7	III Aa 層	石塊	石塊	(11.90)	2.20	1.70	60.00	粘板岩	東磐井	—	

試験番号	出 土 場 所	層 位	層 幅	形 式	長 さ(cm)	幅 (cm)	厚 さ(cm)	石 質	底 質	備 考
78 1-7 D区 東西ベルト	III B上層 60cm相当(深多)	石刀 石棒	2.50 2.50	1.35 1.45	126.10 125.00	粘灰岩		東磐井・氣仙		
79 2-7	IIIA層上部	石棒、劍?	25.90 (10.00)	1.60 1.65	2.50 35.30	粘板岩		東磐井・氣仙		
80 1-8 C区	III B中層	石棒	25.90 (10.00)	1.60 1.65	2.50 35.30	粘板岩		東磐井・氣仙		
81 2-8 B区	灰黃褐色土層地山巣層	石棒	9.40 (12.60)	3.00 2.50	1.20 1.10	粘板岩		東磐井・氣仙		
82 3-8 A区	田B上層	石棒?	9.40 (7.10)	3.00 2.50	41.30 34.20	粘板岩		東磐井・氣仙		
83 1-9	灰黃褐色土下半—III B上層?組合	石棒	9.40 (8.20)	3.00 3.50	139.70 139.70	ホルンフェルス		東磐井		
84 2-9 A区 1 9号ベルト	美十橋下部	石棒 石刀?	7.70 (7.70)	2.20 2.20	1.70 1.70	粘板岩		東磐井・氣仙		
85 2-9 A区 1 9号ベルト	5号中層相当	石棒	24.70 (8.30)	3.40 2.90	1.90 1.90	粘板岩		東磐井		
86 2-9 B区 1 9号ベルト	5号中層相当	石棒	24.70 (8.30)	3.40 2.90	1.90 1.90	粘板岩		東磐井		
87 2-9	美十 1層	石棒	119.30 (4.10)	4.00 (2.60)	255.60 255.60	ホルンフェルス		東磐井		
88 1-10	田西山林土壤層プロック集中部	石棒	77.30 (12.60)	4.00 3.00	2.50 0.90	粘板岩		北上山地		
89 2-10	10YRS/4	石棒	77.30 (12.60)	4.00 3.00	69.30 42.20	粘板岩		東磐井・氣仙		
90 2-11 B区	灰黃褐色地帯[山ノロコク多孔質石]	石棒	118.05 (14.10)	2.50 (2.60)	1.95 1.35	粘板岩		東磐井・氣仙		
91 2-11 B区	美十 1層 3-11-1層	石棒	118.05 (14.10)	2.50 (2.60)	1.95 1.35	粘板岩		東磐井		
92 2-12 3-12 A区	田層上部	石刀	118.90 (19.30)	6.40 4.00	1.65 1.55	粘板岩		東磐井		
93 1-12	黒褐色土	石棒	118.90 (19.30)	6.40 4.00	1.65 1.55	粘板岩		東磐井・氣仙		
94 2-12	灰褐色土	石棒	118.90 (19.30)	6.40 4.00	1.65 1.55	粘板岩		東磐井・氣仙		
95 2-12	灰褐色土	石棒	118.90 (19.30)	6.40 4.00	1.65 1.55	粘板岩		東磐井・氣仙		
96 2-12 西側・南北ベルト	石上	石刀?	112.20 (15.70)	4.00 2.85	1.40 1.30	粘板岩		東磐井・氣仙		
97 3-12	灰褐色土	石棒	112.20 (15.70)	4.00 2.85	1.40 1.30	粘板岩		東磐井		
98 2-13	木根	石棒	112.50 (14.95)	3.70 3.00	121.10 90.80	粘灰質粘板岩		東磐井・氣仙		
99 2-15	木根	石棒	112.50 (14.95)	3.70 3.00	1.60 1.60	粘板岩		東磐井・氣仙		
100 テレンチ No. 4	美十 1層	石棒	112.50 (6.40)	5.70 (2.65)	70.00	粘板岩		東磐井・氣仙		

(4) 土 質 品

試験No.	出 上 地 点	長さ(cm)	幅さ(cm)	重量(g)	周辺加工	残存粒径	利用土器	有孔 文 様
1 373 7号柱下部 堆土		5.0	4.7	0.9	21.72 打欠	光形	斜面文・沈縫	
2 384 6号柱下部 堆土		6.3	5.4	0.9	31.19 打欠	光形	斜面文・沈縫	
3 384 6号柱下部 堆土		5.3	5.1	0.8	22.41 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
4 382 6号柱下部 堆土		3.1	3.0	0.5	4.31 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
5 374 1-2 DK III中層		4.6	4.5	0.5	11.13 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
6 330 1-2 DK III下層		3.5	3.4	0.7	9.05 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
7 338 2-2 III層		3.6	3.5	1.0	11.23 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
8 334 1-3 売土:		3.8	3.8	0.6	7.39 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
9 375 1-3 売土～II層上面		5.6	5.0	0.7	26.11 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
10 331 1-3 III層上面		4.1	3.8	0.6	8.74 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
11 332 1-3 BK III中層		3.7	3.2	0.7	9.37 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
12 333 1-3 C区 9層		4.5	4.0	0.9	14.81 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
13 397 2-3 III中層		6.2	5.8	0.9	33.62 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
14 355 1-4 III層上面		6.3	5.8	0.6	26.79 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
15 381 2-4 III層上面		5.4	4.7	0.5	12.05 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
16 376 1-5 1-6層西ペルト6層		4.9	4.5	0.8	22.50 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
17 367 2-5 東西ペルト層下部		3.6	3.4	0.7	9.35 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
18 368 2-5 1-5層西ペルト6層	燃土面の炭化土集積層	3.5	3.2	0.9	12.32 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
19 385 2-5 C区 骨軸輪出跨		4.1	3.6	0.9	15.85 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
20 365 3-5 通路沿い客土		6.2	5.0	0.8	31.61 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
21 365 3-5 通路沿い客土		4.8	4.2	1.0	27.28 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
22 345 1-6 ACK 1-6層西ペルト6層		7.3	7.0	0.9	60.81 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
23 346 1-6 BK 1-6層西ペルト6層(炭化物～10%)		4.2	4.1	0.8	17.87 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
24 347 1-6 BK 1-6層西ペルト6層(炭化物～10%)		4.7	4.4	0.8	20.36 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
25 377 1-6 BD区 1-6層西ペルト6層(炭化物～10%数値)		5.0	4.6	1.4	34.65 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
26 385 2-6 III層		7.3	6.9	1.0	49.86 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
27 342 2-6 BK III A層③		4.7	4.3	0.8	15.08 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
28 339 2-6 BK 地山粘土層ブロック No.1より下の黒色土層		4.1	4.1	0.8	13.67 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
29 340 2-6 BK 地山粘土層ブロック No.1より下の黒色土層		3.9	3.4	0.8	10.33 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
30 341 2-6 BK 地山粘土層ブロック No.1より下の黒色土層		4.5	4.3	0.8	15.72 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
31 394 2-6 地山粘土層ブロック No.1より下の黒色土層		6.1	5.9	1.1	45.03 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
32 369 2-6 ACK 1-6層西ペルト6層		4.5	4.2	1.0	20.96 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
33 336 1-7 DK III B上層		3.6	3.5	0.8	9.11 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
34 378 1-7 DK III B上層		5.4	5.2	0.7	18.08 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
35 348 1-7 BK 1-6層西ペルト6層(炭化物～10%数値)		4.8	4.3	1.0	21.80 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
36 343 2-7 C区 III中層		3.9	3.7	0.8	16.12 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
37 386 2-7 DK III B中層	底部	4.3	4.1	0.7	15.30 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
38 366 3-6 BK 10号3/2 黒褐色土層		3.5	3.1	0.6	6.94 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫
39 353 1-9 C区 III B上層		4.7	4.2	0.8	20.23 打欠	光形	斜面文・沈縫	斜面文・沈縫

試験No.	試験名	出 土 地 点	長径(cm)	短径(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	混合割合	利田土層	有孔 筒	文 様
40	349	1-9 DK 1-10 C区 1-9東西ベルト4-4・幅相当	4.1	3.8	0.7	12.65	打欠	泥鉢	新清瀬文・北緯	
41	344	2-9 DK III A層(灰褐色土層)	2.7	2.4	0.7	4.27	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
42	351	2-9 DK 1-9東西ベルト5層	2.2	2.2	0.7	2.20	完形	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
43	350	2-9 BK 1-9東西ベルト5層相当	3.2	2.7	0.7	1.26	完形	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
44	379	1-9東西ベルトクリーニング時	(4.7)	(3.0)	(0.8)	13.27	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
45	352	2-9 2-9東北ベルト泥質白色土	(5.4)	(3.0)	(0.7)	12.03	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
46	354	1-10 DK 鹿鳴園色土・鷺山アロカタ 鷺山アロカタ・鷺山アロカタ	5.3	4.7	0.8	23.76	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
47	387	2-10 DK 水質褐色土・黒色土	3.7	3.3	0.6	9.36	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
48	385	2-10東北ベルト6層	6.9	6.8	1.2	44.86	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
49	357	1-11 III A~III B層	5.5	5.3	0.5	15.42	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
50	355	1-11 III B層	4.6	4.1	0.7	15.72	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
51	356	1-11 B区 大熊土層	4.8	4.4	0.7	15.66	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
52	391	1-11 B区 大熊土層	6.6	6.45	1.3	61.54	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
53	380	2-11 田舎者褐色土・鷺山アロカタ 鷺山アロカタ・鷺山アロカタ	5.1	4.8	1.0	28.33	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
54	358	2-11 田舎者褐色土・鷺山アロカタ 鷺山アロカタ・鷺山アロカタ	4.2	3.9	0.6	9.48	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
55	360	2-11 田舎者褐色土・鷺山アロカタ 鷺山アロカタ・鷺山アロカタ	4.0	4.0	0.6	13.03	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
56	351	2-11 水質褐色土・鷺山アロカタ 鷺山アロカタ・鷺山アロカタ	4.7	3.2	0.5	8.49	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
57	370	2-11東西・南北ベルト 5層(鷺山アロカタ)	2.7	2.6	0.6	4.96	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
58	362	2-11 水質褐色土・鷺山アロカタ 鷺山アロカタ・鷺山アロカタ	4.8	4.7	0.7	14.08	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
59	371	2-11東西・南北ベルト 5層(鷺山アロカタ)	3.0	2.9	0.6	5.42	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
60	359	2-11 DK 3-11 層上半断	4.2	3.7	0.5	8.32	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
61	388	2-11 B区 III B層(3-11 層)	4.1	4.0	0.5	10.72	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
62	390	1-11 A区 10YR 5.2 褐色土	6.1	5.4	0.6	24.00	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
63	337	1-13 黒土面を含む層 水質褐色土・鷺山アロカタ	4.5	4.4	0.8	15.25	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
64	363	1-14 B区 III A相当	5.0	4.1	0.7	14.17	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯
65	372	1-14 水質褐色土・鷺山アロカタ(数多)	6.1	6.0	0.7	27.18	打欠	泥鉢	○	新清瀬文・北緯

試験No.	出 土 地 点	層	類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	備 考
66	1-1	III B層	鷺形土製品	(2.5)	(3.3)	0.6	
67	1-2 CK	III B中層	鷺形土製品	(3.2)	(3.4)	0.35	
68	2-2 BK	III B中層	鷺形土製品	(6.0)	4.8	0.4~0.7	
69	1-4 CK	III B層上半	鷺形土製品	4.5	2.6	0.4	
70	1-4 AC区	1-4東西ベルト7層	鷺形土製品	(2.4)	(3.1)	0.6	
71	2-5	1-5東西ベルト7層	鷺形土製品	—	4.6	3.3	0.3~0.5
72	1-6 BD区	1-6東西ベルト B1層	鷺形土製品	—	4.1	(3.5)	0.3~0.8
73	1-6 BD区	1-6東西ベルト B1層～下層	鷺形土製品	(3.7)	(3.3)	0.4~0.9	
74	2-13	III B下層 III A層～一部泥じご	鷺形土製品	(2.5)	(2.8)	0.5~0.7	
75	2-6 CK	III B層上部6層	鷺形土製品	(3.8)	(7.0)	1.9	
76	2-6	1-6東西ベルト7層(数多)	鷺形土製品	—	6.4	(5.3)	1.0~1.4
77	1-7 BD区	①層下層(数多)	鷺形土製品	—	8.4	(0.3)	1.0~1.9

試験番号	出土地点	層位	種類	長さ(cm)	幅(cm)	備考
78 2-7	BD区 1-7	表土～Ⅲ層上部表面 ①層上部	動物形土製品 動物形土製品	6.5 4.7	(4.9) (5.3)	1.3 0.9-1.3
79 1-9	1-9	1-6層ベルトA層 ⅢB中層	動物形土製品	6.15 ?	3.2 5.3	0.9-1.6 _{0.8-1.5} 0.5-2.0
81 1-2	DK 3-9 AK	灰褐色土・後層 表土黑色土層	土版	6.6	5.3	1.5
82 1-10	1-10	1-6層ベルトA層 ①層上部	土版	6.0 (6.1)	3.9 (4.1)	0.7-0.9 2.6
84 1-7	BD区 2-6	1-6層ベルトA層 表土～ⅢA上部	土板 土板	(2.6) (4.9)	3.3 (3.9)	1.9
85 2-7	7回	クルミ状 土版	クルミ状	2.5	3.1	1.6
87 1-4 CR	88 1-4 DK	ⅢB中層上部 1-5層ベルトA層	土版 土版	(3.13) (2.9)	4.35 (2.7)	4.2 1.1
89 2-5	90 2-4 BK	ⅢB中層下部 鳥山粘土塊ブロック	土版 土版	(2.7) (5.7)	3.0 (4.7)	3.0 2.0
91 2-6 DK	92 1-9	ⅢB中層上部 ⅢB中層上部	土版 土版	(5.7) (6.4)	3.5 (4.7)	0.5-0.6 0.5-0.9
94 1-9 AK	95 1-3 BK	ⅢB中層 7回	土版 土版	(11.3) (9.3)	7.8 6.5	1.2 2.5
96 1-9	96 1-9	ⅢB中層 1-6層ベルト5層下部	土版 土版	(9.3) (9.3)	6.2 (2.1)	1.1 0.3-1.1
101 1-2	102 0-2	ⅢB中層上部 ⅢB中層上部	土版 土版	0.9 0.8	1.0 1.0	0.7
103 1-2	104 2-13	灰褐色土 ⅢB中層上部 10YRS/4cmない青褐色土層	土版 耳飾 耳飾	0.8 2.6 (1.5)	0.9 2.5 (1.6)	0.6 1.7
105 2-2	106 0-3	ⅢB中層 ⅢB中層	耳飾 耳飾	1.5 (1.55)	1.7 (1.6)	0.7
107 0-3 CK	108 1-3 DK	ⅢB中層 ⅢB中層下部	耳飾 耳飾	1.5 (1.55)	1.7 (1.6)	1.0
109 2-3 CK	110 1-4	ⅢB中層下部 ⅢB中層 1-6層ベルト96 ⑤・⑥層相当	耳飾 耳飾 耳飾	2.6 (2.45) (1.3)	2.6 (2.5) (1.2)	1.9 0.8
111 1-4 AK	112 1-4 CK	8回 Lc.5.14の4回	耳飾 耳飾 耳飾	1.5 (1.85) (1.85)	1.53 (2.1)	1.3
113 1-5 AK	114 2-5 DK	最終検出時	耳飾	1.9	1.9	0.7
115 0-6 BK	116 1-6 BD区	ⅢB中層下部 1-6層ベルトB7層(候化物～10%)	耳飾 耳飾	2.6 (1.5)	2.4 (1.5)	1.95 0.8
117 65層上部構 118 1-6 BD区	119 2-6 DK	1-6層ベルトB7層 ⅢB中層 1-6層ベルトB7層	耳飾 耳飾 耳飾	5.2 2.55 (2.4)	5.1 2.5 (1.8)	1.8 2.0 1.8
120 2-6 BD区	121 1-6 BDK 1-7 ACK	1-6層ベルトB7層(候化物)	耳飾 耳飾	(2.9) (1.6)	(3.2) (1.6)	2.2 1.0

試験番号	出土地点	層位	層	層	層	層	層	層	層
122 1-8	D区	ⅢB層	耳鈍			2.6	2.0	1.6	
123 1-8	D区	ⅢB中層	耳鈍			3.7	3.5	1.05	
124 1-8	D区	ⅢB中層多	耳鈍		(1.25)	0.7			
125 1-8	A区	ⅢB中層下部	耳鈍			(2.7)	(2.5)	1.7	
126 2-8	D区	ⅢB中層	耳鈍			1.3	1.5	1.2	
127 2-10		2-10東北～4-1ト3層	耳鈍			3.9	4.0	1.5	
128 1-9西～ベルト		タリ～ニアタ時	耳鈍			1.75	1.8	1.6	
129 19号土坑		端土	土鈍			5.8	2.15	1.6	
130 6-3		ⅢB上層	土鈍			4.55	2.45	2.0	
131 1-3 A区		ⅢB中層多(原)	土鈍			3.9	2.3	1.65	
132 1-3 D区		3層	土鈍			4.65	1.8	1.6	
133 2-3 A区		ⅢB上層	土鈍			3.2	1.9	2.3	
134 2-13		2-13東西ベルト南東面7層	土鈍			(2.5)	2.1	1.5	
135 1-4 B区		I.c.5.14の層	土鈍			4.1	1.8	1.4	
136 1-5		1-38西ベルト下部	土鈍			3.8	1.6	1.85	
137 2-5		1-38西ベルト層	土鈍			4.9	2.3	2.2	
138 1-5	A区	I.c.5.14 0%・3層	土鈍			5.2	1.9	1.4	
139 1-5 A区		1-38西ベルト96%相当	土鈍			4.9	1.8	1.4	
140 1-6 C区		ⅢA上層	土鈍			3.7	3.3	2.0	
141 1-7 A区		1-7西ベルト A⑤層相当	土鈍			4.2	3.0	1.7	
142 1-7 A区		金F層	土鈍			4.8	1.9	1.65	
143 2-7 D区		ⅢA最下部	土鈍			3.45	2.6	1.8	
144 2-7 B区		ⅢB中層多	土鈍			5.8	3.4	2.3	
145 1-10		輪出時	土鈍			2.9	2.2	1.45	

(5) 上 罩

器物名	出 土 地 点	器 位	部 位	正 中 隅	下 隅 隅	乳 隅	文 横・彩 色・付 箔 物・隙 口
97 1-7	田 A 墓下部	灰褐色土・黑色土	不明				土質變面 口輪胎突起?(人面付)
98 2-10 D区	灰褐色土・黑色土	不明	イノシシ イノシシ				
99 2-8	No.6 田 B 墓上層	不明					組合入多 組合入多、留置孔
100 1-8	1号-No.1 堆・北平	脚・弓形 脚・脚部	○	○			
146 11号土坂	田 B 中层	脚・弓形					首・頭頂アスファルト?付骨・穿孔
147 2-1 B区	田 B 上层	脚部					首・骨に刺穴 全体に穿孔
148 1-2 C区	田 B 上层	脚部					共裏千枚凹状 全体に穿孔
149 1-2	田 B 上层	脚部					
150 1-2 A区	田 B 上层	脚部					
151 1-2	田 B 上层	脚部・腰带・上半・面部		○			全体に穿孔、表皮に穿孔
152 1-2 D区	田 B 中层	脚部・下半					手形狀、洞・穿孔
153 1-2	炭化物點中区	脚部					手形狀、洞・穿孔
154 1-2	炭化物點中区	脚部上・下半					削り痕
155 2-2 E区	田 B 上层	脚部					
156 2-2	田 B 上层	脚部					
157 2-2 B区	田 B 中层	脚・脚部					手形狀、深さ2cmの手、左右不对称
158 0-3	田 B 上层	脚・脚部					
159 0-3	田 B 上层	脚部上・下半					全体に穿孔、穿孔文
160 2-2	B区	田 B 中层	脚部下半・脚部上・下半				脚部表面剥落いた?
161 1.3 A区	4脚(破多)	脚部下半					片右等
162 1-3	7脚(破多)	脚・脚部等					
163 2-3 A区	田 B 上层	脚部					
164 2-3 B区	田 B 上层	脚部					
165 2-3 B区	田 B 上层	脚部					
166 2-3 A区	田 B 上层	脚部					
167 2-3 D区	田 B 中(灰褐色土)	脚部上・下半					
168 2-3 C区	田 B 中层	脚部					
169 2-3	田 B 中层	脚部					
170 2-3 B区	田 B 中层	脚部					
171 2-3 B区	田 B 中层下部(破多)	脚部					
172 2-3	田 B 中层下部	脚部上・下半・脚・脚部		○	○		脚口堅しい、脚部黒斑
173 2-3 E区	田 B 中层下部	脚部上・下半					
174 1-4	田 B 上层	脚部下半					左右不对称、全体に穿孔、網突
175 1-4 C区	田 B 上层	脚部					
176 1-4 D区	田 B 上层	脚・脚部					手形狀、脚・脚部
177 2-4 A区	田 B 中层	脚部上・下半		○	○		脚口堅い、脚部
178 2-4 A区	田 B 中层下部	脚・脚部上・下半		○	○		脚口堅い、正中線下と左右に穿孔文(計4)
179 2-4 B区	田 B 中层下部	脚部					左打き等
180 2-4 B区	田 B 中层A(漆物相当層)	脚部					92・54・198・和合、脚部剥落、新突文、脚口堅い

回数No.	山 土 地 点	場 位	器 位	脚・腰带下半	脚・腰带下半	正中線	上腹部	乳 腹	文様・彩色・付着物・觸口
181	2-4	III B 上腹				○		○	肩帶口アヌアルト？付着、鶴文文、ハニツ伏表現
182	2-4	1-6東西ペルト 延長化筋(へひがし)		脚・腰带下半					
183	2-4 A区	III B 上腹		脚・腰带下半・日高		○	○	○	脚断口に點線の空洞？
184	2-4 A区	1-6東西ペルト 5-7腰		脚・腰带		○	○	○	鶴文、脚断口に點線の空洞？
185	2-4	1-6東西ペルト 7腰		脚・腰带		○	○	○	鶴文、脚断口に點線の空洞？
186	3-4	表土上～III B 腹	透析剖面落土	頭～腰带	脚底上・下半				頭～腰带、脚底上・下半
187	3-4	透析剖面落土上		脚底上・下半					脚底上・下半
188	0-5 C区	III B 下腹(黒色落合)		不明		○			1. 破壊品？
189	1-5	1-6東西ペルト(腰)				○	○	○	
190	1-5 C区 2-5	III B 腹・腰	1-6東西ペルト 2腰中筋	兔・腰带下半		○	○	○	12・122と接合、指口摩滅、首の前口合状、胸口狀、手指凹状
191	1-5	1-6東西ペルト 2腰下部(3腰合?)		脚底下半					全体に摩滅
192	1-5	1-6東西ペルト 5腰上部		脚・腰带上半					
193	1-5	1-6東西ペルト 5腰上部		脚底下半					
194	1-5-2-5	1-6東西ペルト 5腰上部		脚・腰带					
195	1-5	1-6東西ペルト 5腰下部		脚底上・下半					
196	1-5-2-5	1-6東西ペルト 5腰上部		脚・腰带下半					
197	2-5 A区	III A ⑥		脚底上半		○	○	○	鶴文
198	2-3 A B区	III A 各などの短土質		脚・腰带					
199	2-3	1-6東西ペルト 2腰中筋		脚底上半					
200	2-5	1-6東西ペルト 2腰(腰多)		脚底上半					
201	2-5	1-6東西ペルト 5腰下部		脚底上半					
202	2-5	1-6東西ペルト 7腰		脚底上半					
203	2-5	1-6東西ペルト 6腰		脚底上半・脚底多層					
204	3-5	透析剖面落土		脚・腰带					
205	1-6	表土最上部		脚・腰带		○	○	○	手掘り跡
206	1-6	表土最下部		脚底上・下半					
207	1-6	III B 上腹		脚部					
208	1-6	III B 上腹		脚底上半					
209	1-6 A区	III B 下半・脚下半		脚底下半					
210	1-6 A区	III B 下半・脚下半		脚底上半					
211	1-6 A区	III B 下半上部		脚底上・下半					
212	1-6 A区	III B 下半上部		脚底下半					
213	1-6 A区 1-5 10 10	1-6東西ペルト 3腰中筋多層							
214	1-6 D区	1-6東西ペルト 3腰中・下部		脚・腰带					
215	1-6 D区	1-6東西ペルト B5腰		脚底上・下半					
216	1-6 D区	1-6東西ペルト B7腰(腰下筋)		脚部					
217	1-6 D区 1-7 A区	1-6東西ペルト B7腰(腰多)		脚部					
218	2-6 D区	III B ⑨		脚部					
219	2-6 B区	瓦礫褐色土層	2 6 ②	脚底上半					
220	2-6	III B 下腹		脚・耳輪					

地図No.	山 土 地 点	圖	位	位	位	位	JIS中綴	下綴部	乳 犀	文様・彩色・付器物・割口
221 2 6	III B下層上部	圖	胸部・腹部上半・背～頭部	胸部・腹部上半・背～頭部	胸部・腹部上半・背～頭部	胸部・腹部上半・背～頭部	○	刺突尖、子指凹状、側口穿孔	○	刺突尖、子指凹状、側口穿孔
222 2-6	III B下層 腹	圖	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺突尖	○	刺突尖
223 2 6	B DK	III B下層(黒色部分相当)	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	手括凹状	○	刺口凹状・アスファルト?
224 2-6		1-6張西ベルト B層中部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	○	刺口凹状・アスファルト?	○	刺口凹状・アスファルト?
225 2-6	B DK	1-6張西ベルト B層(很多)	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	○	刺口凹状・アスファルト?	○	刺口凹状・アスファルト?
226 2-6	B DK	1-6張西ベルト B層上部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	○	刺口凹状・アスファルト?	○	刺口凹状・アスファルト?
227 2-6	B DK	1-6張西ベルト B層下部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	○	刺口凹状・アスファルト?	○	刺口凹状・アスファルト?
228 2-6	B DK	1-6張西ベルト B層(餘土)	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	○	刺口凹状・アスファルト?	○	刺口凹状・アスファルト?
229 2-6	B DK	1-6張西ベルト B層(餘土)	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	○	刺口凹状・アスファルト?	○	刺口凹状・アスファルト?
230 1 7	CB	III Ac 腹部下部	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	全体に刺突、刺突、刺突、半空	○	全体に刺突、刺突、刺突、半空
231 1-7	CB	III B上層	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺突、刺突?	○	刺突、刺突?
232 1-7	D DK	表根 田山土層	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	○	54-87と融合、頭口に刺突、側口にアスファルト?	○	54-87と融合、頭口に刺突、側口にアスファルト?
233 1-7	DK	III B下層	胸山林立プロック層	胸～頭部	胸～頭部	胸～頭部	○	首にアスファルト?付着、左脚側口穿孔で、手指凹状	○	首にアスファルト?付着、左脚側口穿孔で、手指凹状
234 1-7		①瘤	胸部・腹部上半・胸部上半・胸部上半	胸部・腹部上半・胸部上半	胸部・腹部上半・胸部上半	胸部・腹部上半・胸部上半	○	パンツ仕事服、右脚口穿孔?ある?	○	パンツ仕事服、右脚口穿孔?ある?
235 1-7	B DK	②瘤	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
236 1-7	ACR	③瘤	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
237 1-7	CB	④瘤(很多)	胸部・下半・胸部上半	胸部・下半・胸部上半	胸部・下半・胸部上半	胸部・下半・胸部上半	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
238 1-7	B DK	1-6張西ベルト A⑤層	胸部	胸部	胸部	胸部	○	刺口凹状、刺突、沈縫文	○	刺口凹状、刺突、沈縫文
239 1-7	BDK	1-6張西ベルト A⑥層	胸部	胸部	胸部	胸部	○	刺突文、耳に丸、背に刺突文	○	刺突文、耳に丸、背に刺突文
240 1 7		1-6張西ベルト クリーニング時	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
241 2-7	DK	III Ac 腹部下部	胸部・腹部上半・胸部	胸部・腹部上半・胸部	胸部・腹部上半・胸部	胸部・腹部上半・胸部	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
242 2-7	B DK	III B上層	胸・腹部	胸・腹部	胸・腹部	胸・腹部	○	全体に刺突、背上帝、背上帝、刺突文	○	全体に刺突、背上帝、背上帝、刺突文
243 2-7	AK	III B上層	胸部上・下半	胸部上・下半	胸部上・下半	胸部上・下半	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
244 2-7		III B上層 腹	胸部上・下半・胸部上・下半	胸部上・下半・胸部上・下半	胸部上・下半・胸部上・下半	胸部上・下半・胸部上・下半	○	全体に刺突	○	全体に刺突
245 2-7	DK	III B中層	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺口凹状、刺突、沈縫文	○	刺口凹状、刺突、沈縫文
246 2-7	CK	III B中層(很多)	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺突文、胸部側面(胃油)?	○	刺突文、胸部側面(胃油)?
247 2-7	CK	III B中層(很多)	胸部	胸部	胸部	胸部	○	胸?	○	胸?
248 2-7	CK	III B中層下部	胸部	胸部	胸部	胸部	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
249 2-7	CK	III B中層下部	胸部上・胸部上～胸部上半	胸部上・胸部上～胸部上半	胸部上・胸部上～胸部上半	胸部上・胸部上～胸部上半	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
250 2-7	DK	III B中層下部	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	全体に刺突	○	全体に刺突
251 2-7	ACR	1-6張西ベルト胸	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺口凹状、刺突、沈縫文	○	刺口凹状、刺突、沈縫文
252 2-7	B DK	1-6張西ベルト胸	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	首の側口凹状、アスファルト?	○	首の側口凹状、アスファルト?
253 2-7	A DK	東西～4 8層	胸部上	胸部上	胸部上	胸部上	○	首の側口凹状、アスファルト?	○	首の側口凹状、アスファルト?
254 1 8		III B上層	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	刺突、刺突文	○	刺突、刺突文
255 1-8	DK	III B上層	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	首の側口凹状、アスファルト?	○	首の側口凹状、アスファルト?
256 1-8	DK	III B上層	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	胸部・下半	○	首の側口凹状、アスファルト?	○	首の側口凹状、アスファルト?
257 1-8	DK	III B中層(很多)	胸部	胸部	胸部	胸部	○	首の側口凹状、アスファルト?	○	首の側口凹状、アスファルト?
258 1-8	CK	III B中層(很多)	胸部	胸部	胸部	胸部	○	手括凹状	○	手括凹状
259 1-8	AK	III B下層	胸部上・下半	胸部上・下半	胸部上・下半	胸部上・下半	○	脚の側口凹状、刺突文入り多	○	脚の側口凹状、刺突文入り多
260 1-8		1-6張西ベルト 胸介肥	胸部上・下半	胸部上・下半	胸部上・下半	胸部上・下半	○	脚の側口凹状の側面入り	○	脚の側口凹状の側面入り

測定No.	出	土	地	点	層	位	部	部・骨・筋	位	正中線	下腹部	乳	液	音と色彩、形態、音質物・音
261	1-8	A区			III B上層下部		頭部	頭部・胸筋・頸筋	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
262	2-8	B区			頭・A区	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
263	2-8	B区			頭・A区	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
264	2-8	D区			III B上層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
265	2-8	C区			III B上層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
266	2-8	B区			III B上層下部		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
267	2-8	C区			III B上層下部		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
268	2-8	No.8			III B上層下部		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
269	2-8				1-8頭面・頭部下4層		頭部上・下	頭部上・下	頭部上・下	頭部上・下	頭部上・下	頭部上・下	頭部上・下	頭部上・下
270	2-8				III A頭	2-8-No.1	頭～頭部下4層	頭～頭部上半	頭・胸筋	頭～頭部上半	頭・胸筋	頭～頭部上半	頭～頭部上半	頭～頭部上半
271	3-8	B区			III Aより4段の頭	3-8-No.1	頭～頭部上半	頭・胸筋	頭～頭部上半	頭・胸筋	頭～頭部上半	頭・胸筋	頭～頭部上半	頭～頭部上半
272	2-8	A区			1-8頭面・頭部下4層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
273	2-8				1-8頭面・頭部下4層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
274	2-8	A区			1-8頭面・頭部下4層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
275	3-8	A区			III B上層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
276	1-9	A区			1-9頭面・頭部下4層中・下層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
277	1-9	A区			1-9頭面・頭部下6層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
278	1-9	B区			1-9頭面・頭部下6層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
279	1-9	BDK			1-9頭面・頭部下6層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
281	1-9				1-9頭面・頭部下6層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
282	1-9	B区			1-9頭面・頭部下6層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
283	1-9	B区			III B上層～竹園樹木屋周辺		不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
284	1-9				クリニーシタ跡		頭・胸筋	頭・胸筋	頭・胸筋	頭・胸筋	頭・胸筋	頭・胸筋	頭・胸筋	頭・胸筋
285	1-9	-2-9			ケベクリニーシタ跡		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
286	2-9	D区			深青褐色土被施設		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
287	2-9	A区			1-9東内ベッド5層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
288	2-9	C区			1-9東西・頭部5層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
289	2-9				1-9東西・頭部5層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
290	2-9				1-9東内ベッド5層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
291	2-9	A区			1-9東内ベッド5層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
292	2-9	C区			1-9東内ベッド5層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
293	2-9				1-9東内ベッド5層		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
294	2-9	C区			1-9東内ベッド5層相当		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
295	2-9	H区			1-9東内ベッド5層相当		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
296	2-9	C区			1-9東内ベッド5層相当		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
297	1-9	C区			1-9東内ベッド5層相当		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
298	2-9	A区			1-9東内ベッド5層相当		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
299	2-9				1-9東内ベッド5層相当		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
300	2-9	C区			1-9東内ベッド5層相当		頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部	頭部
301	3-9	A区			樹葉土		樹葉土	樹葉土	樹葉土	樹葉土	樹葉土	樹葉土	樹葉土	樹葉土

学名	日本名	生息地	点	層	位	位	部	部位	位	生息地	下顎部	乳頭	文様・色彩・付着物・器口
302	3-9	A区	III B 上層				胸部・腹部・手・足部					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
303	3-9	A区	III B 上層				肩・胸部					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
304	0-10	B区	III B 中層以下當				頭・頸部・手・足部					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
305	1-10		III B 上層				頭部・腹部・手・足部					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
306	1-10	B区	III B 1-中層以上層				頭部上・下半					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
307	-10	C区	1-9西ベルト	中層上層に相当			胸部上・手半					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
308	-10	D区	1-9西ベルト	中層相当(状多)			胸部・腹部上・手・足部					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
309	-10	A区	1-9西ベルト	中層相当(状多)			胸部・腹部					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
310	-10	D区	1-9西ベルト	中層相当(状多)			胸部・四肢					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
311	-10	C区	1-9西ベルト	中層下部相当			胸部・四肢					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
312	2-10	B区	III B 上層				頭部上・下半					○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
313	2-10	C区	3-10 A区	1-9西ベルト	5層	III B 1-中層	頭部～腹部	頭部～腹部上～下半				○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
314	3-10	B区	3-10 A区	1-9西ベルト	5層	III B 1-中層	頭部～腹部	頭部～腹部上～下半				○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
315	2-10		3-10 A区	1-9西ベルト	5層	III B 1-中層	頭部～腹部	頭部～腹部上～下半				○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
316	2-10		3-10 A区	1-9西ベルト	5層	III B 1-中層	頭部～腹部	頭部～腹部上～下半				○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
317	2-10		3-10 A区	1-9西ベルト	5層	III B 1-中層	頭部～腹部	頭部～腹部上～下半				○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
318	2-10		3-10 A区	1-9西ベルト	5層	III B 1-中層	頭部～腹部	頭部～腹部上～下半				○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
319	3-10	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
320	3-10	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
321	1-11	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
322	1-11		III A 前上部				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
323	1-11	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
324	2-11	D区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
325	2-11	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
326	2-11						頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
327	2-11	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
328	2-11	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
329	2-11	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
330	2-11	A区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
331	3-11	B区					頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
332	1-12		表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
333	1-12	C区	表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
334	1-12	C区	表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
335	2-12	C区	表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
336	2-12	A区	表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
337	1-13	B区	表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
338	1-13	C区	表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
339	2-13	C区	表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?
340	2-13	A区	表色+田園				頭部	頭部	頭部			○	新月状或、器口に鋸歯をもつたがたれ?

標本番号	出土地點	層位	部位	正中線	下腹部	乳房	文様・彩色・付着物・洞口
342	2-13	2-3Ⅲ西ベルト南東面ノ層	胸・肩部 胸筋下半	○	○	○	全体に溝線、正中線と肩の表裏に網状文
343	1-14	III層	柳木頭部表裏上下部	解剖上・下半			土偶の目?
344	1-14	C区	III層用当層	解剖上・下半			足指・脚趾使用
345	1-14	B区	III~IV八層相当層	解剖上・下半			左右手背、脚趾屈曲
346	2-14						
347	1-15	II層	目 鼻部	手指四枚			表面剥離多、パンツ文、輪物文、腕に網突
348	2-14	A区	III A 局部用	胸・腹部下半	○	○	手指四枚、細砂混入多、全体に螺旋文
349	1-15		III B 局部用層	股・腰带・上半	○	○	全体に螺旋文
350	1-18		頭 頸	頭 頸	○	○	全体に螺旋文
351	トレンチ No.4	英土 I層	胸筋上・下半				全体に螺旋文
352	不明	過路台跡蓋上	胸・腹部下半				屈折象文題、沈線文

(6) 骨器類・軟骨

出土地点	層位	種名	部位	左右・数	備考
1 0-4	Ⅲ層(B層上部)	シカ			3.32
2 0-5	山層	シカ		0.10	
3 1-1	山地下部	シカ		0.74	
4 1-2	山地下部	シカ			
5 2-4 BK	ⅢB中間(軟骨在)	イノシシ・不明	四肢骨	1・1(左右不明)	28.50 大型哺乳類
6 2-11	山層(山地セメント化?)	アゲツメ?	頭骨	1	1.81
0-4	Ⅲ層(B層上部)	イノシシ	右二小足骨	1	2.01 遺伝端
2-8 BK	ⅢA層上部	シカ	断骨	左1	10.92 遺伝端
2-9 BK	ⅢA層	シカ	角	2	2.41
2-4 BK	ⅢA・B層接合面	シカ	断骨	1	2.04
1-4	灰黄色土	シカ	第三山足骨	右1	6.47 低位端切歯
1-12	灰黄色粘土	シカ	鼻骨	1	4.30 低位端
2-8 BK	灰黄色土(上10cm)	シカ	鼻骨	1	6.35
2-10 BK	灰黄色土	シカ	鼻骨	右1	12.42 鼻筋部
2-10 DK	灰黄色粘土	シカ	中手巾足骨	1	34.09 遺伝端
2-10 DK	灰黄色土	シカ	鼻骨	1	2.20 遺伝端・脊椎歩合
2-10 DK	灰黄色土	シカ	鼻骨	1	0.71
2-10 DK	灰黄色土	シカ	鼻骨	1	0.23
2-11 DK	灰黄色土(上10cm)	シカ	鼻骨	1	1.48 骨端未結合
2-11 DK	灰黄色土(上10cm)	シカ	角	1	4.70
2-12 A2	灰黄色土	シカ	角?	1	6.04 No.15・46上回種
3-10 A2	灰黄色土下部	シカ	中手足骨	左1	2.42 遺伝端
3-10 BK	灰黄色土(断滅層)	シカ	鼻骨	1	0.97 簡小形
1-2 DK	ⅢB中層	シカ	鼻骨	1	6.94
1-2 DK	ⅢB中層	シカ	鼻骨	右1	17.19
1-4 CK	ⅢB中層	シカ	鼻骨	右1	6.40
1-4 DK	ⅢB中層	シカ	鼻骨	3	46.25 同一骨体?
1-4 AR	ⅢB上層	シカ	鼻骨	1	後缺損
1-4 CK	ⅢB中層	シカ	鼻骨	右1	10.93 低位端
1-4 DK	ⅢB中層上部5mm	シカ	鼻骨	1	8.02 低位端
1-4 CK	ⅢB中層6mm	シカ	鼻骨	右1	
1-4 CK	ⅢB中層(底多く)7mm	シカ	鼻骨	右1	8.19
1-4 AR	ⅢB中層(底多く)8mm	シカ	鼻骨	右1	20.25 開閉部
1-4 AR	ⅢB中層	シカ	鼻骨	左1	3.53
1-4 DK	ⅢB中層	シカ	鼻骨	右1	2.82
1-4 DK	ⅢB中層	シカ	鼻骨	1	1.52
1-7 CK	ⅢB上層	シカ	足骨?	1	7.76
1-7 DK	ⅢB中層	シカ	足骨?	1	5.82
1-8 CK	ⅢB中層上部	シカ	足骨?	右1	12.04 遺伝端

地番	出土地点	層位	種名	部位	位	左石・数	重さ(g)	備考
1-8 C区	III B中層(很多)		不明	板状	左1	1	3.72	
1-9 B区	III B上層		イノシシ	後頭骨	左2	1	7.31	1つ砂岩
2-4 B区	III B下層		シカ	頭?	右1	26.50	1つ砂岩	
2-4 AK	III B上・中層		イノシシ	上顎骨	右1	8.48	13	
2-4 B区	III B中層		イノシシ	中手 or 中足骨・後脛骨	左1	1.41	1.57	遠位端・頭部部
2-4 B区	III B中層		シカ	前脚骨	右1	17.66		
2-4 AK	III B小層中10YR5/4		イノシシ	後頭骨・下顎骨	右1・左1	30.30	頭部・関節部の骨有	
2-4 AK	III B中層		イノシシ	前脚骨・足趾・上顎骨・中顎骨	左1	53.18	かみ合	
2-7 B区	南北ベルト		イノシシ	中頭骨	1	7.36		
2-7 B区	III B上層		イノシシ	上顎骨	右1	12.01		
2-7 B区	III B中層(很多)		シカ	上顎骨	1	36.39		
1-3 A区	4層(很多層)		イノシシ	後足骨	1	11.46	後頭部	
1-3 D区	7層(很多層)		シカ	中頭骨	1	11.43	かみ合	
1-4 G区	6層		イノシシ	下顎骨	右1	56.27		
2-10 C区	10YR5/4 下層		シカ	上顎骨・ノミ骨	左1	21.10	底工具・遠位端	
2-10 C区	10YR5/4 下層(10YR5/4 地山プロフク7%)		シカ	角?	2	2.01	No.15と同様	
2-12 C区	樹木倒伏辺の地上		シカ	頭骨	右1	11.08	遠位端	
2-10	炭化物0.1土上半		イノシシ	頭骨	2	12.56		
1-5 C区	(L=5.14 D=2.345)		イノシシ	下顎骨	1	16.35		
1.5 1.5束西ベルト	5層中層		イノシシ	海綿骨	右1	14.62	遠位端	
1-5 1-5束西ベルト	5層中層		シカ	ノミ骨	左1	45.13	かみ合・遠位端・頭部部	
1-5 1-5束西ベルト	5層下層		イノシシ	下顎骨	右1	31.77		
1-6 B区	7層		イノシシ	後頭骨	右1	3.93		
1-6 B区	7層(炭化物少數)		シカ	中手 or 足骨	1	8.99	遠位端・未命名	
1-9 C区	1-9束西ベルト	6層相当(炭化物約~10%数有)	イノシシ	頭骨	左1	8.25	幼体	
2-4 A区1-4束西ベルト	5層中層		イノシシ	頭骨	左1	11.96		
2-5 1-5束西ベルト	5層中層~下層(很多)		イノシシ	頭骨	左1	68.63		
2-6 D区 1-6束西ベルト B	3層上層		シカ	中手 or 足骨	1	5.53	頭部・遠位端	
2-9 A区 1-9束西ベルト	5層		シカ	頭骨	1	4.65		
3-9 D区 2-9束西ベルト	3層相当		シカ	手	1	4.10		
2-10 南北ベルト	3層		イノシシ	下顎骨	右1	18.85		
2-10 南北ベルト	4層		イノシシ	下顎骨	右1	17.69		
2-11 東西ベルト	7層下層		イノシシ	ト手骨	左1	20.02		
8号土塁櫓(No.3)	堆土(奥)		コクリス類	下顎骨	右1	4.33	頭部部	
2-7 A区	地山階下層裏ロック No.1 階下の地山多層帶の状況		シカ	角	1	2.73		
				歯	歯片5	1.87		

1719 AK 1 頭帶

VI 考察

VIIのまとめと重複するが、相ノ沢遺跡の集落は、①居住域 ②石器・土器の生産に関わる場 ③墓域・「捨て場」=「物送りの場」等祭祀に関わる場の、3要素を持ち、周辺集落の中心的存在ではないかと推定される。今回の調査では、調査区の大部分を「捨て場」であり、①居住域 ②生産に関わる場について多く述べることはできないが、廃棄されたものの器種・組成・量は母村の集落機能を、十分に示すものではないだろうか。

廃棄の様相は、破損品が90%以上を占め、完形品はごくわずかである。残念なことは、土器や石器の破損が、故意に(廃棄に際して)行われたものか、日常生活の中で破損したものの区別が、難しいことである。土器片の欠け口の磨滅等から、ある程度の推定は可能だが、多くの遺物では不可能に近い。

各層に、土器・石器・土製品・石製品・焼土粒・炭化物・廃土が混在するのだが、どのような行為によってこの「捨て場」が形成されたのか非常に興味深い。

焼土では、「投げ捨て焼土」である21号焼土が最大量を示しているが、1度に廃棄されたと仮定した場合、日常の炉の清掃等でこれだけの量になるものか疑問を感じる。(他の「投げ捨て焼土」とは体積が桁違いである)晩期の遺構と考えられるが、類例をご教示いただければ幸いである。

この報告書中、埋納と解釈されたものに磨製石斧と中空土偶がある。同時期の遺跡でも、同種の石器を何点かまとめて埋める、あるいは副葬品とする例は見られる。おそらく皮袋等に入れ、埋めたものと考えられるが、石斧にはそのような状態を窺わせる付着物は見られなかった。ほぼ完形品であるが、1度使用し、未だ使用に耐えるものを埋めた行為の背景が興味深い。

中空土偶は石斧と異なり、実用の道具ではないとされているので、同様に考えるのは無謀であるが、埋納された時点での破損していたのは、右肩のごく一部で、残りの破損は埋納以後の土圧によるものと考えられる。いくつかの土偶(特に図版番号306は顕著)はアスファルトを使用し、修理・再度使用した跡が見られるが、この土偶は修理されずに埋納されたと考えられる。

両者に「埋納」という解釈を与えてきたが、その根拠は斜面に水平な状態で検出されたこと、周囲に比較的土器片等が少なかったことのみで、明確な掘り方を伴うものではないので、当然反論も予想されよう。

最後に筆者の勉強不足から、調査時の観察・記録・室内調査の方針決定等の不備が多くあり、豊富な要素を持つ遺跡の内容を、十分に報告できなかつたことを深くお詫び申し上げます。

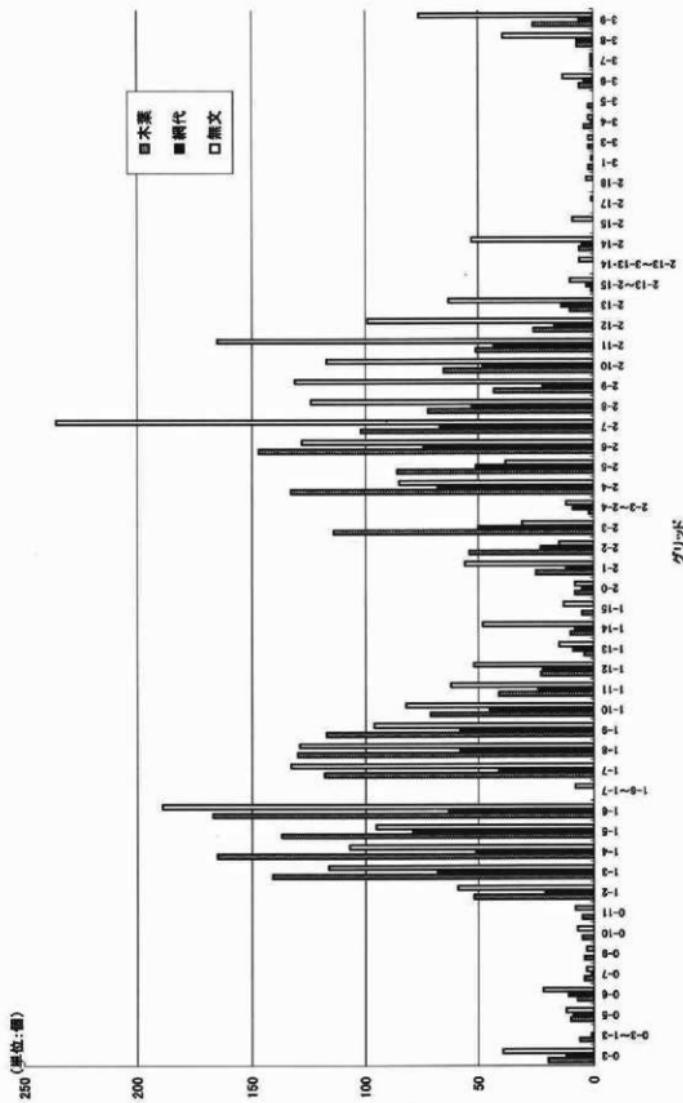
黒曜石・翡翠をはじめとする石材・アスファルト・北と南の要素を持つ大量の土器等を、当時の交易ルートから考察する。石器の後期～晩期の推移(形態・石材の選択・法量の変化等)を考察する等、さまざまな材料を提供してくれる遺跡のひとつではないかと思います。

相ノ沢遺跡への新たな視点を、また御批判をぜひいただきたいと思っております。

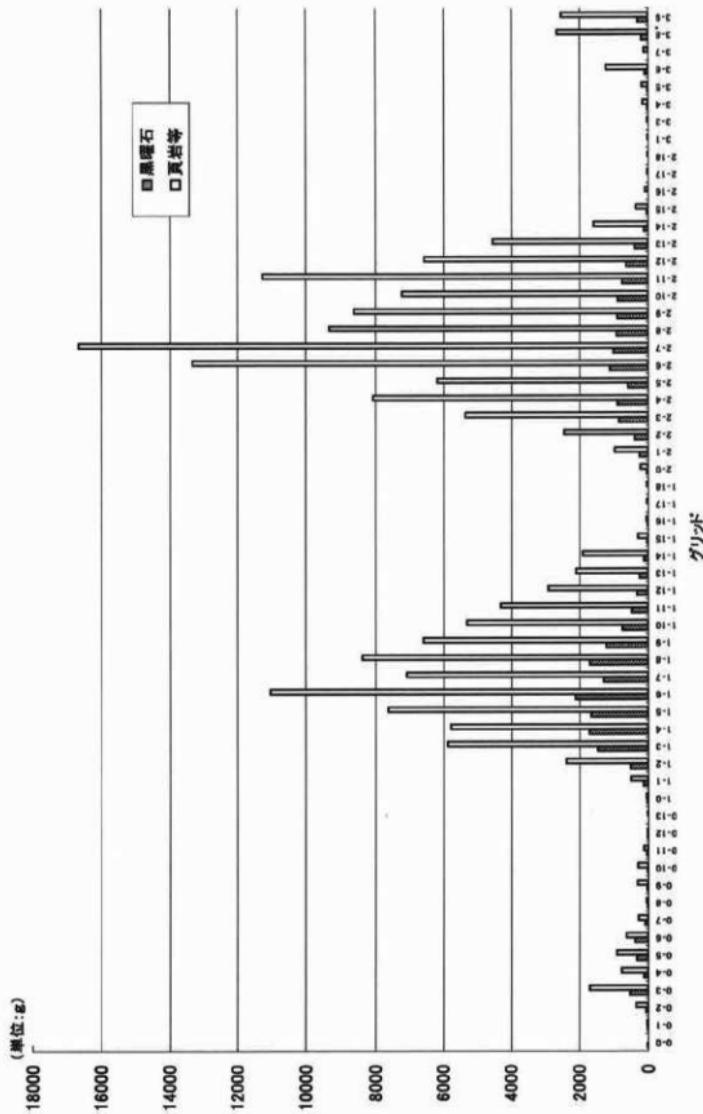
本報告書の発行以前に略報・各遺跡発表会のレジメ等が、作成されました。本書を以って正式な報告書といたします。

なお、この場を借りて報告書作成に際し、多大なご協力・ご理解をいただいた、岩手県千厩地方振興局両磐土地改良事業所、藤沢町教育委員会、千葉忠氏はじめ藤沢町黄海地区の野外作業員の方々、4年間、膨大な遺物の整理に携わった埋蔵文化財センター・大久保文子氏はじめ多くの室内作業員の方々にあらためて感謝いたします。本当にありがとうございました。

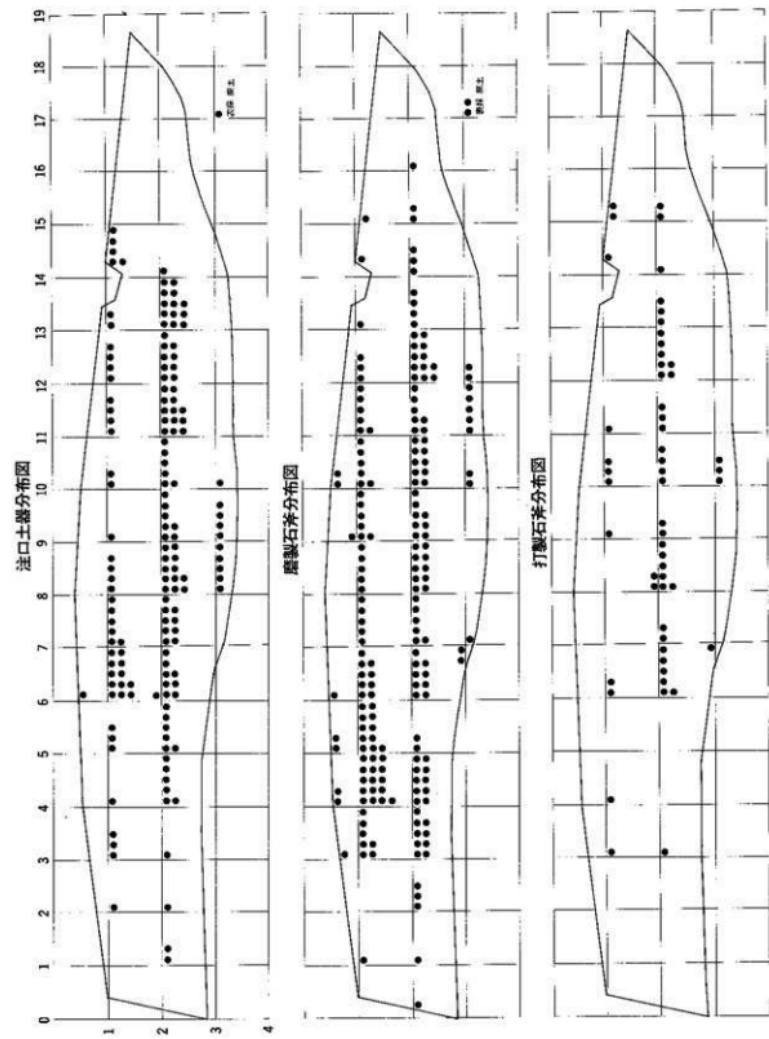
第4表 後期縄文土器底面部資料 グリッド別文様比較



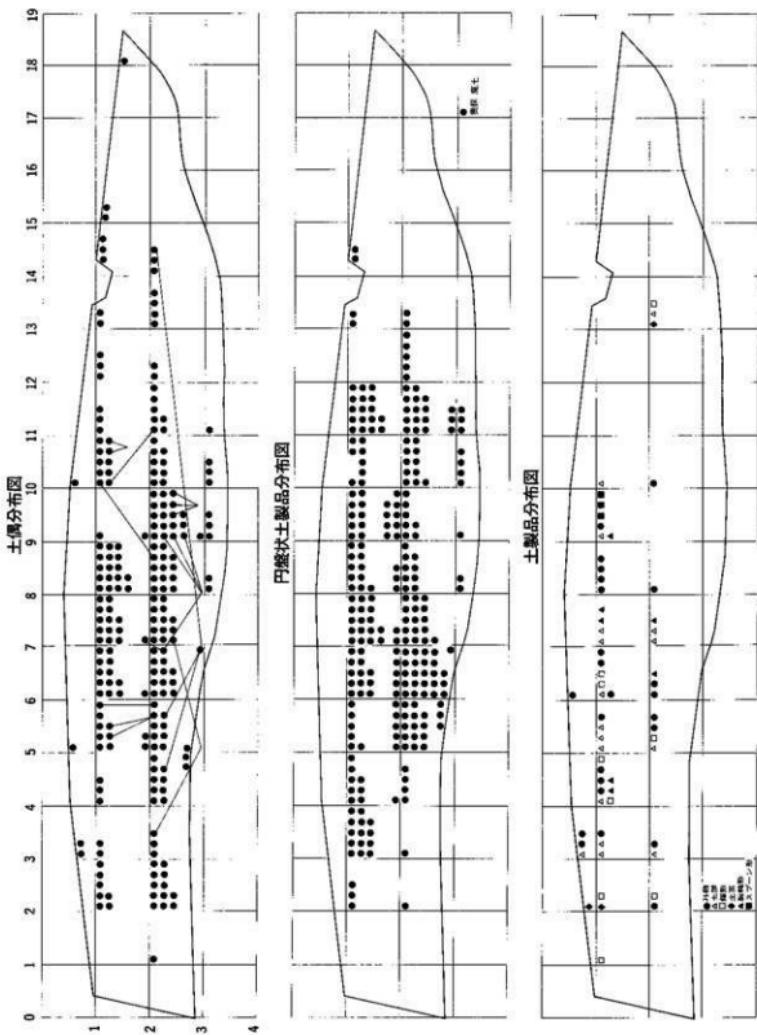
第5表 グリッド別削片出土量



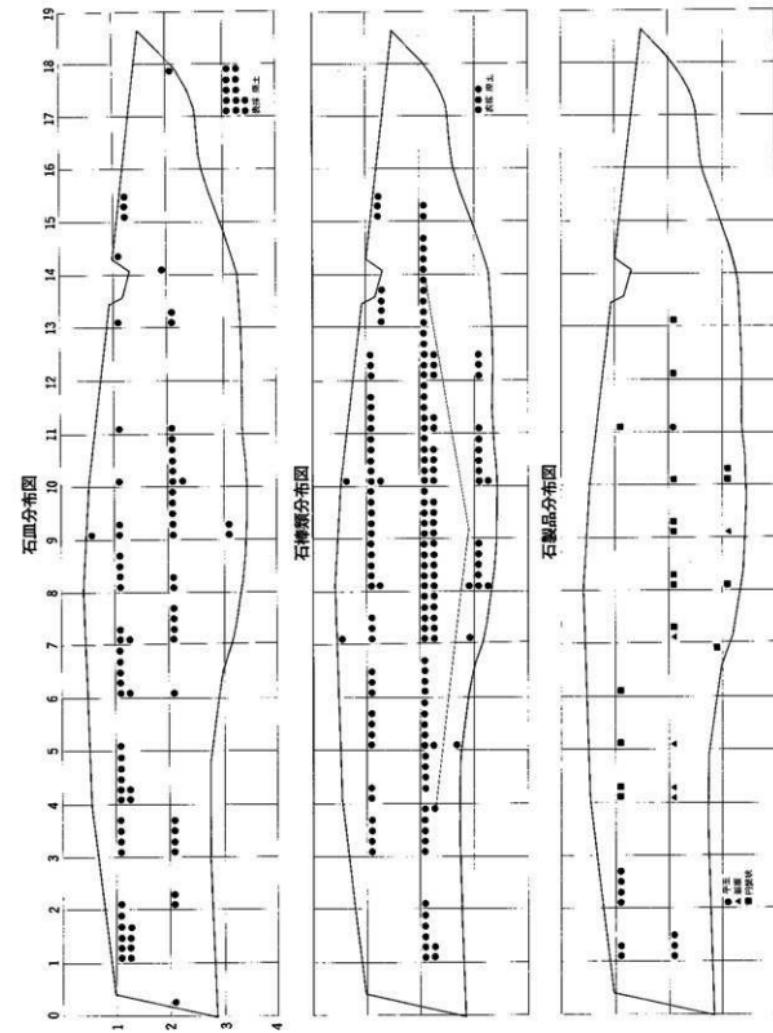
第6表 グリッド別土器・石器出土分布図



第7表 クリッド別土製品出土分布図



第8表 グリッド別石器・石製品出土分布図



VIIまとめ

(1) 遺構

今回の調査で検出された主な遺構は、縄文時代の竪穴住居跡（以下、住居跡と略す）2棟、及び住居状遺構2棟、土坑50基、配石遺構7基、焼土遺構21基、埋設土器5基、地山甕窯ブロック3基、柱穴状小ビット（以下柱穴と略す）、「捨て場」、その他の時代では中世の土器1基、溝1条、道路状遺構1基、近代の炭窯1基が検出されている。なお土坑・配石遺構は形態・規模から考えて、墓壙である可能性が高い。

これらの検出遺構から相ノ沢遺跡の性格は、縄文時代の集落跡として位置づけることができよう。さらに集落跡の構成要素面からは、住居跡群=居住域と墓壙・埋設土器=墓域としての2つの側面を持っていることができよう。ここでは遺構と「捨て場」から出土した遺物の関係から、集落の性格を考察してみたい。

居住域を構成する住居跡は後期中葉以降が1棟、晩期中葉以降が1棟、住居状遺構は、後期前葉以降が1棟、晩期中葉以降が1棟に細分される。分布状況を見ると、いずれも調査区中央（11グリッド）より南東側の、平坦部から緩斜面にかけて集中している。住居間での切り合いは見られない。居住域は調査区外の平坦部にも広がっていることが推定されるが、人口に対して十分な面積を有していたためか、あるいは1度住居として使用した区域は、一定期間は住居としない等の規制があったためか。

後期の住居跡・住居状遺構2棟は硬い地山層（IV層）を掘り込んで構築されるが、晩期の住居跡・住居状2棟は、包含層を掘り込み構築されている。調査員の不注意による、遺構の見落としの可能性（特に晩期に關して）があり反省と共に、ご指摘をいただきたいと思う。

住居跡は2棟ともほぼ円形の石圓い炉を持ち、後期中葉以降のものは巨礫で覆われている。著者は、大日向II遺跡1例しか類例を探せなかったため、この点もご教示いただければ幸いである。また今回の調査では、明確に住居跡に付随する柱穴を検出することはできなかった。晩期中葉以降のものは、出土状況から焼失住居と考えられるが、住居に付隨する土坑に土器が埋設されていた以外に、床面等からの遺物の出土は少なく、住居使用中の火災と考えるよりも、使用後（あるいは廃棄時）の焼失の可能性が高いのではないだろうか。

墓域（土坑・配石遺構）は、急斜面の中位から平坦部にかけて、ほぼ調査区全域に分布している。また埋設土器については、すべて晩期の土器が使用、1-6、1-8グリッドに集中している。後期～晩期の包含層を掘り込んで構築されているが、胎土分析等は行っていないため詳細は不明である。

土坑は開口部の形状からは、ほぼ円形・楕円形に二分される。埋土は大部分が単層で、人為的に埋め戻されたと考えられるが、25号、34号の2基には巨礫が埋められ、他の土坑とは構築目的が異なるかもしれない。土坑の構築時期は、後期前葉～晩期前葉以降の長期に渡り、途中で集落の衰退はあったと考えられるが、出土遺物の時期と一致している。

配石遺構の分布状況に特定の傾向は見られない。形状からは、土坑の周辺に礫を配したもの（2号、また6号土坑もここに分類されるべきか？）、立石状の礫を伴うもの（1号・4号・5号・6号）、斜面に階段状に、粘板岩を配したもの（3号・8号）に三分される。いずれも構築目的は不明だが、形態から墓壙であった可能性も高い。構築時期については、後期前葉～中葉が大部分を占めると考えられる。これらが構築された後、同じ場所が「捨て場」として長期間使用されていくのである。

焼土遺構の分布状況は、1-8、2-9グリッドに集中しており、他のグリッドの焼土が“投げ捨て焼土”が大部分などに対し、地床炉等とも考えられる現地性のものが集中している。調査では検出できなかつたが

住居の存在、あるいは長期にわたる焚き火跡と考えられる。“投げ捨て焼土”については南小梨蛇王遺跡、樺山遺跡、九年橋遺跡、天神ヶ丘遺跡、煤孫遺跡（以上、岩手県）　里浜貝塚、田柄貝塚（以上、宮城県）を参照されたい。

（2）遺物

遺構内および包含層内からの出土遺物は、コンテナ 260 箱である。このうち 9 割以上を土器が占める。筆者も勉強不足から、土器を分類し從来のように、群別に掲載することができず反省している次第である。土器については前述したが、掲載土器選択時に、各グリッド・層位からの時期別の出土数に比例するよう 4 回の抽出を行ったので、主体を形成しているのは、後期前葉～中葉、晚期前葉～中葉として差し支えないだろう。全体では後期初頭～後葉、晚期初頭～末葉が出土しており、土製品（特に土偶）等の時期とも一致している。今回の室内整理では着手できなかつたが、土器の個体数・容量等の計量を行えば、集落の規模、生活が営まれた時期についての考察が可能だったかも知れない。

相ノ沢遺跡の特徴は、調査区の面積・土量に対して、多量かつ多様なことだといえるだろう。同時期の通常の集落遺跡では出土しない、あるいは出土しても少量である遺物が、100～1000 単位の数で出土している。土製品（土偶・円盤状土製品・装飾品）、石製品（石棒・石劍・石刀類・円盤状石製品・装飾品）等、祭祀に関わるとされている出土品が非常に多いことに注目したい。

また 8,000 点を超える石鐵が注目されるが、その生産地（あるいは周辺の集落への供給地）としての性格について考えてみたい。完成品の他に、多数の未製品、多量の剝片が出土している（第 4 表グリッド別剝片出土量を参照されたい）。すべての石器・石製品の産地同定の結果から、礫石器の石材は、黄海川・千厩川・砂鉄川の下流域、北上川の下流域で採取、剝片石器の石材は、一関から登米地域（千厩・大東の低位丘陵を形成する真滝層）からチャート・頁岩を探取し、遺跡に搬入している可能性が高い。搬入の後、剝片石器は直接打法で、第 1 次素材（ブランク）を生産、間接打法で細部加工し、押圧剝離等で仕上げている。

剝片石器（特に石鐵）の石材として、黒曜石が多用様されていることも相ノ沢遺跡の大きな特徴といえるだろう。黒曜石・翡翠の産地同定について詳細は 340～352 ページを参照されたい。

遺跡に近い黒曜石の産地として、隣接する花泉町、県南部では前沢町、県北では零石町があげられる。

また、同時期の遺跡から出土した黒曜石の産地としては、秋田県の男鹿、宮城県の中中新井田等があげられる。産地同定を依頼した石器以外にも、黒曜石製の石器は多数出土しており、産地不詳と判定されたものも多数あるが、上記の産地から搬入された可能性が高いのではないだろうか。

「捨て場」という遺跡の性格上、正確なことは述べられないが、石鐵総数の中で、黒曜石の占める割合は後期が 20～30 %、晚期が 10～20 % 前後ではないだろうか。

石鐵の接着、土偶の修復に使用されているアスファルトの産地同定について、詳細は 353 ページ～355 ページを参照されたい。

相ノ沢遺跡発掘報告書 参考・引用文献

- 鈴木道之助 (1980) 「石器の基礎知識III 繩文」 柏書房
- 青森県埋蔵文化財調査センター (1992) 「青い森の縄文人とその社会 縄文時代中期・後期編」
- 青森県埋蔵文化財調査センター (1990) 「北の誇り・亀ヶ岡文化 縄文時代晚期編」
- 工藤雅樹 (1984) 「日本の古代遺跡 15 宮城」 保育社
- 高橋信雄・昆野靖 (1996) 「日本の古代遺跡 51 岩手」 保育社
- 小田野哲憲・熊谷常正・高橋信雄 (1982) 「岩手の土器」 岩手県立博物館
- 小林達雄・小川忠博 (1989) 「縄文土器大観 後期・晩期・続縄文」 小学館
- 野口義麿 (1981) 「縄文土器大成 後期」 講談社
- 鈴木公雄・林謙作 (1981) 「縄文土器大成 晩期」 講談社
- 山之内清男 (1979) 「日本先史土器の縄文」 先史考古学会
- 加藤晋平・小林達雄・藤本強 (1982) 「縄文文化の研究 1 縄文人とその環境」 雄山閣出版
- 加藤晋平・小林達雄・藤本強 (1994) 「縄文文化の研究 4 縄文土器II」 雄山閣出版
- 加藤晋平・小林達雄・藤本強 (1983) 「縄文文化の研究 5 縄文土器III」 雄山閣出版
- 加藤晋平・小林達雄・藤本強 (1982) 「縄文文化の研究 8 社会・文化」 雄山閣出版
- 加藤晋平・小林達雄・藤本強 (1983) 「縄文文化の研究 9 縄文人の精神文化」 雄山閣出版
- 戸沢充則 (1989) 「縄文人と貝塚」 六興出版
- 鈴木公雄 (1989) 「貝塚の考古学」 東京大学出版会
- 宇田川洋 (1989) 「イオマンテの考古学」 東京大学出版会
- 江坂輝爾 (1990) 「日本の土偶」 六興出版
- 永峰光一・水野正好 (1977) 「日本原始美術体系 土偶・埴輪」 講談社
- 三輪茂雄 (1978) 「ものと人間の文化史 25 白」 法政大学出版局
- 林謙作 他 (1984) 「縄文人のムラとくらし 季刊考古学第7号」 雄山閣出版
- 金子弘昌・丹羽百合子 他 (1986) 「動物の骨が語る世界 季刊考古学第11号」 雄山閣出版
- 戸沢充則 他 (1985) 「縄文時代のものと文化的交流 季刊考古学第12号」 雄山閣出版
- 小林達雄 他 (1990) 「縄文土偶の世界 季刊考古学第30号」 雄山閣出版
- 藤沢町史編纂委員会 (1979) 「藤沢町史 本編 上」
- 岩手県一戸町教育委員会 (1993) 「御所野遺跡I」 一戸町文化財調査報告書第32集
- 岩手県一戸町教育委員会 (1986) 「蔵前」 一戸町文化財調査報告書第17集
- 岩手県大槌町教育委員会・草間俊一 (1974) 「崎山弁天遺跡」
- 岩手県陸前高田市教育委員会 (1992) 「門前貝塚」 陸前高田市文化財調査報告第16集
- 岩手県大迫町教育委員会 (1979) 「立石遺跡」 大迫町埋蔵文化財報告第3集
- 岩手県大迫町教育委員会 (1986) 「觀音堂遺跡」 大迫町埋蔵文化財報告第11集
- 岩手県大迫町教育委員会 (1979) 「小田遺跡」 大迫町埋蔵文化財報告第4集
- 岩手県花泉町教育委員会・草間俊一・金子浩昌 (1971) 「貝島貝塚」
- 岩手県千厩町教育委員会 (1977) 「南小梨蛇王遺跡」 千厩町文化財報告書第1集
- 岩手県滝沢村教育委員会 (1988) 「外久保遺跡」 滝沢村文化財調査報告書第8集

- 岩手県盛岡市教育委員会（1990）「上平遺跡群 第4次発掘調査概報（遺構・土器）」
- （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（1993）「新山権現社遺跡発掘報告書」第188集
- （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（1997）「上磨生遺跡発掘報告書」第253集
- （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（1984）「安堵屋敷遺跡発掘報告書」第74集
- （財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（1991）「上村貝塚発掘報告書」第158集
- 宮城県教育委員会（1986）「田柄貝塚I 遺構・土器編」宮城県文化財調査報告書第111集
「田柄貝塚III 骨角牙貝製品・自然遺物」
- 宮城県教育委員会（1984）「東北自動車道遺跡調査報告書IX 二屋敷遺跡」宮城県文化財調査報告書
第99集
- 宮城県教育委員会（1990）「摺萩遺跡」宮城県文化財調査報告書第132集
- 岩木山刊行会・村越潔（1968）「岩木山」岩木山麓遺跡調査報告書
- 青森県教育委員会（1988）「上尾駒（2）遺跡（B・C地区）発掘調査報告書」青森県埋蔵文化財調査
報告書第115集
- 青森県教育委員会（1987）「大石平遺跡発掘調査報告書III 第1・第2分冊」青森県埋蔵文化財調査
報告書第103集
- 秋田県埋蔵文化財センター（1989）「八木遺跡発掘調査報告書」秋田県文化財調査報告書第181集

附編 1. 岩手県相ノ沢遺跡出土の黒曜石製石器の原材産地分析

薦 科 哲 男

(京都大学原子炉実験所)

はじめに

石器石材の産地を自然科学的な手法を用いて、客観的に、かつ定量的に推定し、古代の交流、交易および文化圏、交易圏を探ると言う目的で、蛍光X線分析法によりサヌカイトおよび黒曜石遺物の石材産地推定を行なっている^{1,2,3)}。

黒曜石、サヌカイトなどの主成分組成は、原産地ごとに大きな差はみられないが、不純物として含有される微量元素組成には異同があると考えられるため、微量元素を中心元素分析を行ない、これを産地を特定する指標とした。分類の指標とする元素組成を遺物について求め、あらかじめ、各原産地ごとに数十個の原石を分析して求めておいた各原石群の元素組成の平均値、分散などと遺物のそれを対比して産地を推定する。この際多変量解析の手法を用いて、各産地に帰属される確率を求めて産地を同定する。

蛍光X線分析法は試料を破壊せずに分析することができて、かつ、試料調整が単純、測定の操作も簡単である。石器のような古代人の日用品で多数の試料を分析しなければ遺跡の正しい性格が分からぬといふ場合にはことさら有利な分析法である。今回分析を行なった試料は、岩手県東磐井郡藤沢町黄海字深田和 263 番地他に位置する相ノ沢遺跡の縄文時代後期～晩期の黒曜石製石器、剣片の合計 36 個について産地分析の結果が得られたので報告する。

黒曜石原石の分析

黒曜石原石の風化面を打ち欠き、新鮮面を出し、塊状の試料を作り、エネルギー分散型蛍光X分析装置によって元素分析を行なう。主に分析した元素は K、Ca、Ti、Mn、Fe、Rb、Sr、Y、Zr、Nb の各元素である。塊試料の形状差による分析値への影響を打ち消すために元素量の比を取り、それでもって産地を特定する指標とした。黒曜石は、Ca/K、Ti/K、Mn/Zr、Fe/Zr、Rb/Zr、Sr/Zr、Y/Zr、Nb/Zr の比量をそれぞれ用いる。黒曜石の原産地は北海道、東北、北陸、東関東、中信高原、伊豆箱根、伊豆七島の神津島、山陰、九州の各地に黒曜石の原産地は分布する。調査を終えた原産地を図 1 に示す。黒曜石原産地のほとんどすべてがつくされている。元素組成によってこれら原石を分類し表 1 に示す。この原石群に原石産地は不明の遺物で作った遺物群を加えると 166 個の原石群になる。ここでは北海道地域および一部の東北地域の産地について記述すると、白滝地域の原産地は、北海道紋別郡白滝村に位置し、鹿岳北方 2 km の採石場の赤石山の露頭、鹿岳東方約 2 km の幌加沢地点、また白土沢、八号沢などより転出として黒曜石が採取できる。赤石山の大産地の黒曜石は色に關係無く赤石山群(旧白滝第 1 群)にまとまる。また、あじさいの滝の露頭からは赤石山と肉眼観察では区別できない原石が採取でき、あじさい群を作った(旧白滝第 2 群)、また、八号沢の黒曜石原石と白土沢の転出は梨肌の黒曜石で組成はあじさい群に似るが石肌で区別できる。幌加沢よりの転出の中で 70 % は幌加沢群になりあじさい群と元素組成から両群を区別できず、残りの 30 % は赤石山群に一致する。置戸産原石は、北海道常呂郡置戸町の清水の沢林道より採取され、この原石の元素組成は置戸群にまとまる。この原産地は、常呂川に通じる流域にあり、この常呂川流域で黒曜石の円礫が採取される

が現在まだ調査していない。十勝三股産原石は、北海道河東郡上士幌町の十勝三股の十三ノ沢の谷筋および沢の中より原石が採取され、この原石の元素組成は十勝三股群にまとまる。この十勝三股産原石は十三の沢から音更川さらに十勝川に流れた可能性があり、十勝川から採取される黒曜石円礫の組成は、十勝三股産の原石の組成と相互に近似している。また、上士幌町のサンケオルベ川より採取される黒曜石円礫の組成も十勝三股産原石の組成と相互に近似している。これら組成の近似した原石の原産地は区別できず、遺物石材の産地分析でたとえ、この遺物の原石産地が十勝三股群に同定されたとしても、これら十勝三股、音更川、十勝川、サンケオルベ川の複数の地点を考えなければならならない。しかし、この複数の産地をまとめて、十勝地域としても、古代の地域間の交流を考察する場合、問題はないと考えられる。また、清水町、新得町、鹿追町にかけて広がる美蔓台地から産出する黒曜石から2個の美蔓原石群が作られた。この原石は座地近傍の遺跡で使用されている。名寄市の智南地域、智恵文川および忠烈布貯水池から上名寄にかけて黒曜石の円礫が採集される。これらを組成で分類すると88%は名寄第一群に、また12%は名寄第二群にそれぞれなる。旭川市の近文台、嵐山遺跡付近および兩文台北部などから採取される黒曜石の円礫は、20%が近文台第一群、69%が近文台第二群、11%が近文台第三群それぞれ分類された。また、滝川市江別乙で採取される親指大的黒曜石の礫は、組成で分類すると約79%が滝川群にまとまり、21%が近文台第二、三群に組成が一致する。滝川群に一致する組成の原石は、北竜市恵賀別川端本社からも採取される。秩父別町の雨竜川に開析された平野を見下す丘陵中腹の緩斜面から小円礫の黒曜石原石が採取される。産出状況とか礫状は滝川産黒曜石と同じで、秩父別第一群は滝川第一群に組成が一致し、第二群も滝川第二群に一致しさらに近文台第二群にも一致する。赤井川産原石は、北海道余市郡赤井川村の土木沢上流域およびこの付近の山腹より採取できる。こここの原石には、少球果の列が何層にも重なり石器の原材として良質とはいえない原石で赤井川第1群を、また、球果の非常に少ない振り參半分大の良質な原石などで赤井川第2群を作った。これら第1、2群の元素組成は非常に似ていて、遺物を分析したときしばしば、赤井川両群に同定される。豊泉産原石は豊浦町から産出し、組成によって豊泉第1、2群の2群に区別され、豊泉第2群の原石は斑晶が少なく良質な黒曜石である。豊泉産原石の使用調は道南地方に広がり、一部は青森県に伝播している。出来島群は青森県西津軽郡木造町七里長浜の海岸部より採取された円礫の原石で作られた群で、この出来島群と相互に似た組成の原石は、岩木山の西側を流れ鰐ヶ沢地区に流入する中村川の上流で1点採取され、また、青森市鶴ヶ坂および西津軽郡森田村鶴ばみ地区より採取されている。青森市西津軽郡深浦町の海岸とか同町の六角沢およびこの沢筋に位置する露頭より採取された原石で六角沢群をまた、八森山産出の原石で八森山群をそれぞれ作った。深浦の向群と相互に似た群は青森市戸門地区より産出する黒曜石で作られた戸門第二群である。戸門第一群、成田群、浪岡町県民の森地区より産出の大沢遊群(旧浪岡群)は赤井川産原石の第1、2群と弁別は可能であるが原石の組成は比較的似ている。戸門、大沢遊黒曜石の産出量は非常に少なく、希に石錐が作れる大きさがみられる程度であるが、鷹森群は鷹森山麓の成田地区産出の黒曜石で中には5cm大のものもみられる。また、考古学者の話題になる下湯川塗黒曜石についても原石群を作った。男鹿群は秋田県男鹿市の男鹿半島の金ヶ崎温泉のあった海岸より採取された原石で作られ、男鹿半島の脇本地区で採取された原石の組成は男鹿群と相互に近似していることから、この両産地の原石の起源は同じと考えられる。岩手県の黒曜石現産地は北上川に沿った範囲に点々と見られ、栗石群は岩手郡零石町の小赤沢地区的礫層から採取された原石で作られ、折居群は水沢市真城の折居地区の礫層より採取された円礫で作られ、花泉群は西磐井郡花泉町の弘田および金沢の両地区の礫層より採取された小円礫の原石で作られた原石群である。これら岩手県の原石群の組成は相互に似ていて、これら原産地を元素組成で明確に区別できなく、遺物を分析してたとえこ

これら岩手県下の原石群の中の一地点に同定されても、この遺物の原石産地はこれら岩手県内の複数の原産地を考えなければならない。月山群は羽黒山から月山にかけての西麓付近に点々と分布する黒曜石産出地点より採取した原石で作った群である。湯倉群は宮城県加美郡宮崎町柳瀬の湯倉真珠岩層の露頭付近で採取された原石で作られた群である。新潟県内の原産地では、佐渡島は大佐渡山地の南部に位置し、所在地は佐渡郡金井町堂林、二ツ坂地域から佐和田町との境にかかる地帯である。今回分析した黒曜石は林道工事のときに産出した円錐状の原石で、1 cm から 3 cm の大きさのものが大部分で、大きな原石は長径約 10 cm のものが確認できた。現在、林道での採取は困難で、僅かに同地域の沢で少量採取できるにすぎない。この沢で採取した最大の原石は長径が約 5 cm の円錐で、小型の石鎌を作るには十分の大きさである。元素比の組成の似たもので群を作ると、佐渡第一群と佐渡第二群の 2 つの群にまとまる。これら佐渡第一、二群は佐渡固有の群で他の産地の原石群と区別することができる。新発田市の板山原石は牧場内に露頭があり、小粒の黒曜石は無数に採取され、牧場整備で土木工事で露出した露頭からは握り拳大の原石を採取することができた。板山産地から北方約 5 km に上石川黒曜石産地があり良質の黒曜石を産出している。また、新津市の秋葉山地区から小粒の黒曜石が産出することが知られていた。また、秋葉山南方約 3 km の金津地区から新たに黒曜石が産出している地点が明らかになり金津産原石で金津群を作った。この他新潟県では入広瀬村の大白川地区から採取できる黒曜石は大半が親指大で肉眼的には良質であるが石器原材として使用された例はない。中信高原地域の黒曜石産地の中で、霧ヶ峰群は、長野県下諏訪町金明水、星ヶ塔、星ヶ台の地点より採取した原石でもって作られた群で、同町観音沢の露頭の原石も、霧ヶ峰群に一致する元素組成を示した。和田岬地域原産の原石は、星ヶ塔の西方の山に位置する旧和田岬トンネルを中心とした数百メートルの範囲より採取され、これらを元素組成で分類すると、和田岬第一、第二、第三、第四、第五、第六の各群に分かたれる。和田岬第一、第三群に分類された原石は旧トンネル付近より北側の地点より採取され、和田岬第二群のものは、トンネルの南側の原石に多くみられる。和田岬第四群は男女倉側の新トンネルの入り口、また、和田岬第五、第六群は男女倉側新トンネル入り口左側で、和田岬第一、第三の両群の産地とは逆の方向である。男女倉原産地の原石は男女倉群にまとまり組成は和田岬第五群に似る。鷹山、單糞岬の黒曜石の中に和田岬第一群に属する物が多数みられる。麦草岬群は大石川の上流および麦草岬より採取された原石で作られた。これら中信高原の原産地は、元素組成で和田岬、霧ヶ峰、男女倉、麦草岬の各地域に区別される。伊豆箱根地方の原産地は笛塚、畠宿、鍛冶屋、上多賀、柏岬西の各地にあり、良質の石材は、畠宿、柏岬西で斑晶の多いやや石質の悪いものは鍛冶屋、上多賀の両原産地でみられる。笛塚産のものはピッチストーン様で、石器原材としては良くないであろう。伊豆諸島の神津島原産地は砂精崎、長浜、沢尻湾、恩馳島の各地点から黒曜石が採取され、これら原石から神津島第一群および第二群の原石群にまとめられる。浅間山の大窪沢の黒曜石は貝殻状剝離せず石器の原材料としては不適当ではあるが、考古学者の間でしばしば話題に上るため大窪沢群として遺物と比較した。

結果と考察

遺跡から出土した石器、石片は風化しているが、黒曜石製のものは風化に対して安定で、表面に薄い水和層が形成されているにすぎないため、表面の泥を水洗するだけで完全な非破壊分析が可能であると考えられる。産地分析で水和層の影響は、軽い元素の分析ほど大きいと考えられるが、影響はほとんど見られない。Ca/k、Ti/K の両元素比重を除いて産地分析を行った場合、また餘かずして産地分析を行った場合同定される原産地には差はない。他の元素比重についても風化の影響が完全に否定することができないので、得られた確率の数値にはやや不確実さを伴うが、遺物の石材産地の判定を誤るようなことはない。

今回分析した相ノ沢遺跡出土の黒曜石製石器の分析結果を表2に示した。石器の分析結果から石材産地を同定するためには数理統計の手法を用いて原石群との比較をする。説明を簡単にするため Rb/Zr の一変量だけを考えると、表2の試料番号 50777 番の遺物では Rb/Zr の値は 1.405 で、男鹿・金ヶ崎群の[平均値]土[標準偏差]は、 1.493 ± 0.081 である。遺物と原石群の差を標準偏差 (σ) を基準にして考えると遺物は原石群から 1σ 離れている。ところで男鹿・金ヶ崎原産地から 100 ヶの原石を探ってきて分析すると、平均値から $\pm 1\sigma$ のずれより大きいものが 31 個ある。すなわち、この遺物が、男鹿・金ヶ崎群の原石から作られていたと仮定しても、 1σ 以上離れる確率は 31 % であると言える。だから、男鹿・金ヶ崎群の平均値から 1σ しか離れていないときには、この遺物が男鹿・金ヶ崎群の原石から作られたものでないとは、到底言い切れない。ところがこの遺物を月山群に比較すると、月山群の平均値からの隔たりは、約 7σ である。これを確率の言葉で表現すると、月山群の原石を探ってきて分析したとき、平均値から 7σ 以上離れている確率は、千万分の一であると言える。このように、千万個に一個しかないような原石をたまたま採取して、この遺物が作られたとは考えられないから、この遺物は、月山群の原石からつくられたものではないと断定できる。これらのことを見やすく、「この遺物は男鹿・金ヶ崎群に 31 % の確率で帰属され、信頼限界の 0.1 % を満たしていることから男鹿・金ヶ崎原産石が使用されていると同定され、さらに月山群に十万分の一% の低い確率で帰属され、信頼限界の 0.1 % に満たないことから月山産原石でないと同定される」。遺物が一ヶ所の産地（男鹿・金ヶ崎産地）と一致したからと言って、例え男鹿・金ヶ崎群と月山群の原石は成分が異なっていても、分析している試料は原石ではなく遺物で、さらに分析誤差が大きくなる不定形（非破壊分析）であることから、他の産地にも一致しないと言えない、同種岩石の中での分類である以上、他の産地にも一致する可能性は推測される。即ちある産地（男鹿・金ヶ崎産地）に一致したと言っても一致した産地の原石とは限らないために、帰属確率による判断を表1の 166 個すべての原石群について行い、低い確率で帰属された原石群を消していくことにより、はじめて男鹿・金ヶ崎産地の石材のみが使用されていると判定される。実際は Rb/Zr といった唯一の変量だけでなく、前述した 8 ヶの変量を取り扱うことで変量間の相関を考慮しなければならない。例えば A 産地の A 群で、Ca 元素と Rb 元素との間に相関があり、Ca の量を計れば Rb の量は分析しなくても分かるようなときは、A 群の石材で作られた遺物であれば、A 群と比較したとき、Ca 量が一致すれば当然 Rb 量も一致するはずである。したがって、もし Rb 量だけが少しづれている場合には、この試料は A 群に属していないと言わなければならない。このことを数量的に導き出せるようにしたのが相関を考慮した多変量統計の手法であるマハラノビスの距離を求めて行うホテリングの T² 検定である。これによって、それぞれの群に帰属する確率を求めて産地を同定する⁴³⁾。産地の同定結果は 1 個の遺物に対して、黒曜石製では 166 個の推定確率結果が得られている。今回産地分析を行った遺物の産地推定結果については低い確率で帰属された原産地の推定確率は紙面の都合上記入を省略しているが、本研究ではこれら産地の可

能性が非常に低いことを確認したという非常に重要な意味を含んでいる、すなわち、男鹿・金ヶ崎産原石と判定された遺物について、カムチャッカ産原石とかロシア、北朝鮮の遺跡で使用されている原石および信州和田岬産の原石の可能性を考える必要がない結果で、高い確率で同定された産地のみの結果を表3に記入した。原石群を作った原石試料は直径3 cm以上であるが、多数の試料を処理するために、小さな遺物試料の分析に多くの時間をかけられない事情があり、短時間で測定を打ち切る。このため、得られた遺物の測定値には、大きな誤差範囲が含まれ、ときには原石群の元素組成のバラツキの範囲を越えて大きくなる。したがって、小さい遺物の産地推定を行ったときに、判定の信頼度としている0.1%に達しない確率を示す場合が比較的多くみられる。この場合には、原石産地（確率）の欄の確率値に替えて、マハラノビスの距離D²の値を記した。この遺物については、記入されたD²の値が原石群の中で最も小さなD²値で、この値が小さい程、遺物の元素組成はその原石群の組成と似ていると言えるため、推定確率は低いが、その原石産地と考へてほほ間違ないと判断されたものである。今回分析した相ノ沢遺跡出土の36個の遺物の各産地別使用頻度の中で最も多く使用された原石は地元、北上川に沿った範囲に点々と見られる、零石町・小赤沢地区の疊層、水沢市真城の折居地区、花泉町の払田、金沢の各産地の疊層より採取される原石が64%（23個）使用され、遺跡から近い花泉町産の原石が多用されたと推測した。次に男鹿産原石で8%（3個）が、月山産が6%（2個）使用されている。また、原石産地が特定できなかった遺物は22%（8個）で、産地が特定できなかった遺物については、遺物試料が小さい、または被熱などにより風化層が異常に厚くなっている。試料が薄すぎる小さすぎるなど遺物試料に起因する理由で本来の原石産地に同定されなかった場合、また未発見の原石産地の原石が使用されているなどが考えられる。不明の8個の中の分析番号50792番の遺物は風化層が厚く産地が特定できなかったと推測されたが、他の7個は未発見の産地の原石が使用されていると考えられ、これら不明の遺物の分析箇所を変えて数十回分析して遺物群をつくった。遺物群は、分析番号50800でA I 1群、58789でA I 2群、58790でA I 3群、58781と58791でA I 4群、58793と58794でA I 5群をそれぞれ作り、これら遺物群の使用範囲から他の不明群を使用した遺跡と本遺跡との関係を考察できるようにした。遺物が無作為に遺跡から抽出されたものであれば、本遺跡と交流が活発であった産地の原材がより多く遺跡に伝播すると仮定すると、本遺跡では地元交流に加えて男鹿、月山との交流をもっていたと推測しても産地分析の結果と矛盾しない結果が得られた。

参考文献

- 1) 藤井哲男・東村武信（1975），蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（II）。考古学と自然科学，8：61-69
- 2) 藤井哲男・東村武信・鈴木義昌（1977），（1978），蛍光X線分析法によるサヌカイト石器の原産地推定（III）。（IV）。考古学と自然科学，10,11：53-81；33-47
- 3) 藤井哲男・東村武信（1983），石器原材料の産地分析。考古学と自然科学，16：59-89
- 4) 東村武信（1976），産地推定における統計的手法。考古学と自然科学，9：77-90
- 5) 東村武信（1990），考古学と物理化学。学生社

表1-1 各黒曜石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差値

原 産 地	分析 数	元素比の平均値と標準偏差値									
		Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sc/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
北海道 厚別 半島 等地名	114	0.478±0.011	0.121±0.005	0.035±0.007	2.91±0.063	0.614±0.032	0.571±0.022	0.120±0.017	0.024±0.016	0.133±0.002	0.45±0.010
北海道 宗谷 半島 等地名	35	0.369±0.015	0.103±0.005	0.021±0.006	0.566±0.044	0.255±0.011	0.391±0.022	0.059±0.005	0.075±0.002	0.128±0.002	0.39±0.010
北海道 石狩 半島 等地名	130	0.177±0.014	0.061±0.005	0.079±0.013	2.714±0.142	1.340±0.059	0.383±0.019	0.341±0.030	0.075±0.008	0.128±0.010	0.37±0.010
北海道 幌尻 半島 等地名	30	0.138±0.010	0.022±0.005	0.027±0.015	2.773±0.102	1.734±0.077	0.075±0.019	0.475±0.045	0.078±0.045	0.127±0.027	0.359±0.032
北海道 根室 半島 等地名	23	0.139±0.009	0.099±0.005	0.099±0.015	3.658±0.125	0.767±0.076	0.194±0.010	0.470±0.037	0.103±0.027	0.162±0.027	0.365±0.007
北海道 稚内 半島 等地名	29	0.142±0.010	0.101±0.014	0.023±0.001	2.638±0.115	0.396±0.111	0.044±0.031	0.341±0.030	0.089±0.016	0.059±0.002	0.163±0.008
北海道 日高 半島 等地名	30	0.818±0.013	0.165±0.006	0.081±0.010	2.750±0.125	0.616±0.068	0.812±0.037	0.484±0.023	0.255±0.024	0.144±0.019	0.444±0.009
北海道 日高 半島 等地名	107	0.517±0.010	0.099±0.005	0.097±0.006	2.750±0.101	0.616±0.068	0.812±0.037	0.484±0.023	0.255±0.024	0.144±0.019	0.444±0.009
北海道 日高 半島 等地名	17	0.314±0.012	0.098±0.005	0.086±0.014	2.765±0.125	0.614±0.068	0.812±0.037	0.484±0.023	0.255±0.024	0.144±0.019	0.444±0.009
北海道 日高 半島 等地名	31	0.258±0.015	0.122±0.006	0.070±0.011	2.750±0.125	0.616±0.068	0.812±0.037	0.484±0.023	0.255±0.024	0.144±0.019	0.444±0.009
北海道 日高 半島 等地名	25	0.366±0.016	0.098±0.005	0.098±0.005	2.750±0.125	0.616±0.068	0.812±0.037	0.484±0.023	0.255±0.024	0.144±0.019	0.444±0.009
北海道 日高 半島 等地名	15	0.318±0.015	0.098±0.005	0.098±0.005	2.750±0.125	0.616±0.068	0.812±0.037	0.484±0.023	0.255±0.024	0.144±0.019	0.444±0.009
北海道 日高 半島 等地名	65	0.326±0.016	0.098±0.005	0.098±0.005	2.750±0.125	0.616±0.068	0.812±0.037	0.484±0.023	0.255±0.024	0.144±0.019	0.444±0.009
北海道 日高 半島 等地名	60	0.236±0.010	0.107±0.005	0.068±0.010	2.811±0.067	1.097±0.059	0.454±0.023	0.334±0.029	0.564±0.029	0.164±0.022	0.376±0.013
北海道 日高 半島 等地名	41	0.489±0.020	0.128±0.007	0.068±0.010	2.638±0.181	0.892±0.061	0.767±0.044	1.099±0.029	0.564±0.029	0.164±0.022	0.442±0.015
北海道 日高 半島 等地名	25	0.389±0.016	0.128±0.007	0.066±0.010	2.638±0.181	0.892±0.061	0.767±0.044	1.099±0.029	0.564±0.029	0.164±0.022	0.442±0.015
北海道 日高 半島 等地名	50	0.258±0.029	0.070±0.014	0.086±0.010	2.613±0.104	0.969±0.069	0.428±0.021	0.349±0.024	0.668±0.024	0.167±0.022	0.371±0.013
北海道 日高 半島 等地名	30	0.258±0.025	0.070±0.014	0.086±0.010	2.613±0.104	0.969±0.069	0.428±0.021	0.349±0.024	0.668±0.024	0.167±0.022	0.371±0.013
北海道 日高 半島 等地名	75	0.477±0.019	0.148±0.007	0.068±0.015	1.761±0.072	0.438±0.027	0.387±0.028	0.157±0.016	0.662±0.021	0.167±0.022	0.371±0.013
北海道 日高 半島 等地名	40	0.377±0.019	0.133±0.006	0.055±0.008	1.723±0.066	0.516±0.019	0.513±0.016	0.177±0.016	0.667±0.015	0.167±0.022	0.371±0.013
北海道 日高 半島 等地名	35	0.198±0.015	0.075±0.013	0.048±0.008	1.578±0.066	1.241±0.046	0.318±0.014	0.141±0.013	0.667±0.015	0.167±0.022	0.371±0.013
北海道 日高 半島 等地名	27	0.348±0.012	0.132±0.007	0.231±0.019	2.388±0.085	0.985±0.044	1.006±0.036	0.339±0.038	0.179±0.031	0.644±0.022	0.371±0.013
北海道 日高 半島 等地名	36	0.089±0.008	0.097±0.011	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.084±0.007	0.038±0.003	0.085±0.003	0.371±0.013
北海道 日高 半島 等地名	41	0.077±0.005	0.098±0.005	0.013±0.002	0.697±0.021	0.128±0.008	0.002±0.002	0.084±0.007	0.038±0.003	0.085±0.003	0.371±0.013
北海道 日高 半島 等地名	28	0.259±0.024	0.068±0.013	0.048±0.012	2.588±0.257	1.168±0.062	0.321±0.063	0.277±0.065	0.479±0.065	0.085±0.015	0.386±0.009
北海道 日高 半島 等地名	40	0.258±0.024	0.068±0.013	0.048±0.012	2.588±0.257	1.168±0.062	0.321±0.063	0.277±0.065	0.479±0.065	0.085±0.015	0.386±0.009
北海道 日高 半島 等地名	35	0.341±0.017	0.232±0.013	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	47	0.238±0.017	0.068±0.009	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	36	0.671±0.017	0.232±0.013	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	41	0.238±0.017	0.068±0.009	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	27	0.238±0.017	0.068±0.009	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	41	0.238±0.017	0.068±0.009	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	28	0.238±0.017	0.068±0.009	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	43	0.238±0.017	0.068±0.009	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	45	0.238±0.017	0.068±0.009	0.075±0.013	2.548±0.131	0.861±0.052	1.081±0.060	0.386±0.039	0.168±0.037	0.631±0.062	0.396±0.018
北海道 日高 半島 等地名	44	0.238±0.017	0.123±0.007	0.182±0.016	1.905±0.096	0.966±0.069	1.022±0.071	0.276±0.036	0.119±0.033	0.163±0.033	0.441±0.014

表 1-2 各黒鑿石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差

表1-3 各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差

表1-4 各黒耀石の原産地における原石群の元素比の平均値と標準偏差

表1-5 各黒耀石の原産地における黒耀石製造物群の元素比の平均値と標準偏差値

● カルマ・スミス(1911-1997)は、イギリスの作曲家。主に歌劇やオペラを手がけたが、その他の音楽分野でも活躍した。代表作には「アーヴィング・スミス」、「カルマ・スミス」などがある。

表2 相ノ沢遺跡出土黒曜石製遺物の元素比分析結果

分析番号	元素比									
	Ca/K	Ti/K	Mn/Zr	Fe/Zr	Rb/Zr	Sr/Zr	Y/Zr	Nb/Zr	Al/K	Si/K
50777	0.296	0.082	0.232	1.571	1.405	0.889	0.319	0.119	0.027	0.382
50778	0.283	0.080	0.226	1.792	1.623	1.036	0.320	0.099	0.000	0.358
50779	0.300	0.122	0.178	1.622	0.781	0.842	0.246	0.112	0.029	0.432
50780	0.540	0.165	0.052	1.718	0.326	0.348	0.228	0.037	0.041	0.616
50781	1.720	0.398	0.065	2.195	0.075	0.511	0.165	0.006	0.080	1.152
50782	0.302	0.115	0.152	1.798	0.894	1.003	0.258	0.079	0.030	0.431
50783	0.681	0.191	0.061	1.826	0.307	0.451	0.217	0.010	0.040	0.577
50784	0.651	0.185	0.077	2.009	0.330	0.494	0.186	0.073	0.037	0.624
50785	0.671	0.203	0.061	1.823	0.295	0.454	0.203	0.000	0.043	0.607
50786	0.672	0.202	0.053	1.965	0.277	0.468	0.195	0.026	0.038	0.596
50787	0.685	0.194	0.067	2.065	0.306	0.441	0.213	0.052	0.037	0.606
50788	0.670	0.201	0.055	1.827	0.323	0.460	0.219	0.000	0.044	0.616
50789	0.699	0.154	0.052	1.895	0.189	0.232	0.544	0.033	0.063	0.865
50790	0.664	0.203	0.053	1.806	0.335	0.471	0.207	0.054	0.035	0.639
50791	0.617	0.191	0.059	1.946	0.342	0.420	0.194	0.039	0.036	0.601
50792	0.243	0.117	0.063	1.830	0.328	0.384	0.237	0.000	0.028	0.483
50793	0.542	0.162	0.069	2.009	0.318	0.393	0.240	0.021	0.000	0.590
50794	0.619	0.172	0.052	1.841	0.278	0.429	0.211	0.036	0.047	0.567
20795	0.602	0.160	0.061	2.040	0.353	0.421	0.260	0.056	0.038	0.591
50796	0.653	0.190	0.070	2.082	0.301	0.445	0.235	0.000	0.006	0.630
50797	0.542	0.156	0.069	1.926	0.326	0.444	0.254	0.032	0.040	0.621
50798	0.562	0.159	0.061	1.894	0.326	0.412	0.244	0.026	0.000	0.588
50799	0.683	0.202	0.064	1.877	0.291	0.464	0.219	0.000	0.043	0.622
50800	1.515	0.293	0.073	2.865	0.148	0.494	0.262	0.000	0.064	0.945
50801	0.606	0.163	0.048	1.837	0.358	0.451	0.245	0.014	0.000	0.595
50802	0.302	0.088	0.256	1.801	1.483	0.928	0.288	0.056	0.030	0.366
50803	0.535	0.162	0.059	1.774	0.314	0.372	0.232	0.100	0.044	0.592
50804	0.589	0.164	0.067	1.990	0.376	0.447	0.258	0.063	0.039	0.614
50805	0.560	0.165	0.055	1.674	0.309	0.409	0.224	0.012	0.040	0.547
50806	0.578	0.173	0.052	1.996	0.344	0.412	0.214	0.042	0.038	0.608
58789	3.008	0.512	0.068	2.718	0.087	0.727	0.252	0.000	0.000	1.319
58790	0.951	0.218	0.130	4.379	0.110	0.962	0.266	0.030	0.028	0.370
58791	1.886	0.468	0.066	2.157	0.082	0.545	0.160	0.021	0.071	1.140
58792	0.564	0.167	0.059	1.652	0.344	0.428	0.221	0.054	0.042	0.565
58793	2.918	0.636	0.119	4.135	0.106	0.914	0.239	0.039	0.094	1.253
58794	3.072	0.671	0.113	3.794	0.123	0.909	0.230	0.038	0.102	1.264
JG-1	0.793	0.216	0.066	4.010	0.928	1.348	0.282	0.039	0.000	0.296

JG-1 : 標準試料-Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E. 1974 compilation of date on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochemical Journal, Vol. 8 175-192 (1974)

表3 相ノ沢遺跡出土の縄文時代後期～晩期の黒曜石製石器、剥片製遺物の原材産地分析結果

分析番号	整理番号	遺物グリッド	原石产地(確率)	判定	遺物品名
50777	1-12		金ヶ崎(77 %), 脇本(45 %)	男鹿	剝片
50778	2-13		脇本(34 %), 金ヶ崎(11 %)	男鹿	剝片
50779	3-14		月山(14 %)	月山	剝片
50780	4-15		折居(40 %), 花泉(28 %), 零石(5 %)	花泉	剝片
50781	5-16	A I 4群(27 %)			剝片
50782	6-17	月山(59 %)		月山	剝片
50783	7-18	零石(23 %), 花泉(8 %), 折居(12 %)		花泉	剝片
50784	8-19	花泉(3 %), 折居(6 %)		花泉	石鐵
50785	9-20	零石(25 %), 花泉(5 %), 折居(5 %)		花泉	石鐵
50786	10-21	零石(22 %), 花泉(7 %), 折居(3 %)		花泉	石鐵
50787	11-22	花泉(5 %), 零石(3 %), 折居(3 %)		花泉	石鐵
50788	12-23	花泉(10 %), 零石(11 %), 高原山(4 %)		花泉	石鐵
50789	13-24	折居(1 %)		花泉	石鐵
50790	14-25	花泉(54 %), 折居(29 %), 零石(9 %)		花泉	石鐵
50791	15-26	零石(9 %), 花泉(5 %), 折居(10 %)		花泉	石鐵
50792	16-27	風化層厚い(焼け、表面発泡?)			石鐵
50793	17-28	花泉(1 %)		花泉	石鐵
50794	18-29	花泉(33 %), 零石(12 %), 折居(9 %)		花泉	石鐵
50795	19-30	花泉(1 %), 折居(2 %)		花泉	石鐵
50796	20-31	花泉(0.2 %), 折居(0.4 %)		花泉	石鐵
50797	21-32	花泉(12 %), 零石(2 %)		花泉	石鐵
50798	22-33	花泉(36 %), 零石(7 %), 折居(7 %)		花泉	石鐵
50799	23-34	零石(13 %), 花泉(5 %), 折居(1 %)		花泉	石鐵
50800	24-35	A I 1群(15 %)			石鐵
50801	25-36	花泉(4 %), 零石(3 %)		花泉	石鐵
50802	26-37	金ヶ崎(47 %), 脇本(8 %)		男鹿	石鐵
50803	27-38	花泉(3 %), 零石(3 %)		花泉	石鐵
50804	28-39	花泉(2 %), 零石(1 %), 折居(1 %)		花泉	石鐵
50805	29-40	花泉(62 %), 折居(26 %), 零石(9 %)		花泉	石鐵
50806	30-41	花泉(5 %), 零石(1 %), 折居(2 %)		花泉	石鐵
58789	31-42	A I 2群(35 %)			剝片
58790	32-43	A I 3群(56 %)			剝片
58791	33-44	A I 4群(45 %)			剝片
58792	34-45	花泉(60 %), 折居(48 %), 零石(21 %)		花泉	剝片
58793	35-46	A I 5群(2 %)			剝片
58794	36-47	A I 5群(11 %)			剝片

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告させる場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように）にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェックなし）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察をする必要があります。

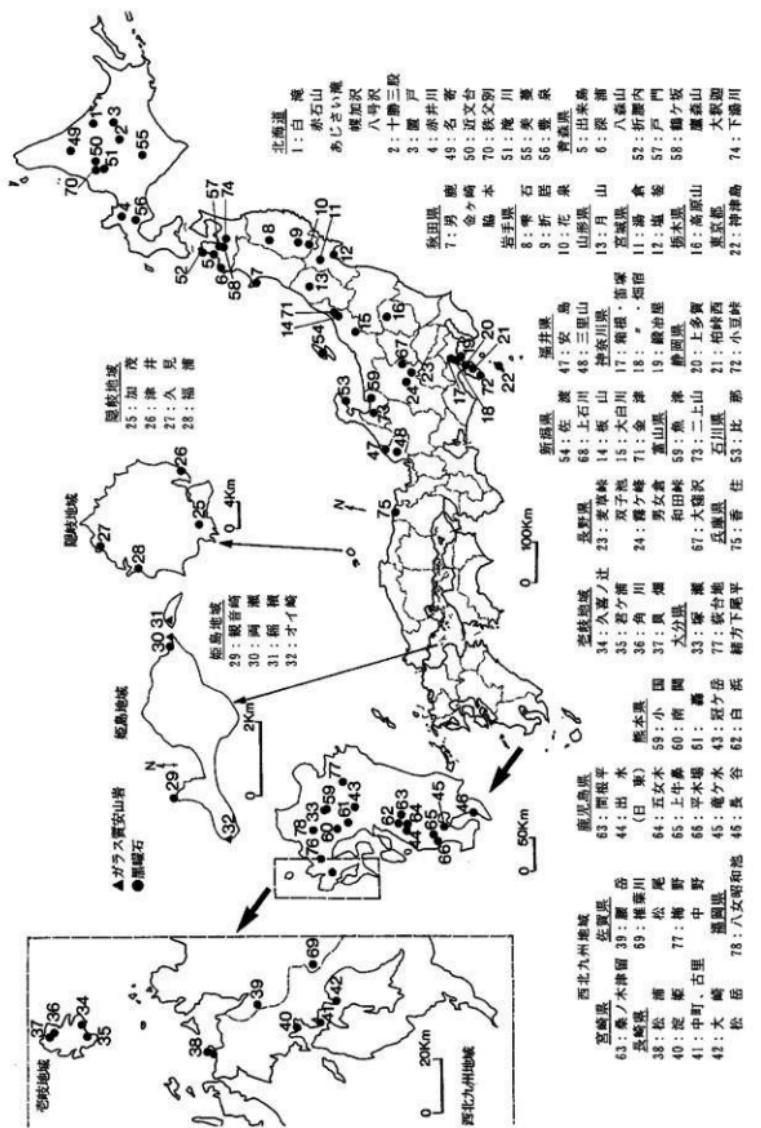


図1 黒曜石原产地

附編 2. 岩手県相ノ沢遺跡から出土したアスファルトの成分分析

北海道大学高等教育機能開発総合センター 小笠原 正 明

最近、遺跡出土アスファルトの成分分析からその原産地を推定する方法について研究が進んでいる（小笠原 1994, 1998, 1999）。ここでは、岩手県南部の藤沢町相ノ沢遺跡から出土したアスファルトからパラフィン成分を分離してその質量（マス）スペクトルを測定して解析を行った。また、他の遺跡から出土した試料から得られたものと比較して検討した。

実験

試料の一部をとって元素分析を行った。他の一部をベンゼン-メタノール混合溶媒で抽出し、可溶分の溶媒部分を減圧蒸留で除いて乾燥したあと、n-ヘキサンで抽出した。ヘキサン可溶分をオイル分、不溶分をアスファルテンと呼ぶ。オイル分に含まれている溶媒を減圧蒸留で除いたあと、高速液体クロマトグラフィー（HPLC）にかけて、飽和炭化水素（パラフィン）成分、1環芳香族成分、2環芳香族成分、極性成分などに分割した。このように分離したパラフィン成分について、FI-マススペクトルを測定した。

HPLC 測定には、島津製作所の高速液体クロマトグラフ装置（LC-8A、RID-10A、SPD-10A、C-R6A）に ZOBAX-BP-NH₂ カラム（内径 10 mm、長さ 250 mm）を装着したものを用いた。移動層溶媒としては、主としてクロマトグラフィー用 n-ヘキサン（和光純薬製）を超音波脱気したものを用いた。

元素分析は、北海道大学機器分析センターに依頼して行った。

FI-マススペクトルの測定は、北海道大学農学部共同利用 GC-MS・NMR 室設置の日本電子製 JMS-01SG-2 型質量分析計を用いて測定した。

結果と考察

溶媒分割の結果、ベンゼン-メタノール不溶分が 39 %、アスファルテンが 31 %、またオイル分が 30 % 含まれていることがわかった。

元素分析の結果を表 1 に示した。主成分は炭素と水素で、H/C=1.16 と典型的なアスファルトよりも低い値を示した（小笠原 1994）。硫黄含有量は 1 % 以下であり、国産のアスファルトとしては硫黄分の少ない部類に属する。

図 1 にパラフィン成分の FI-マススペクトルを示した。m/z=400 付近にホパンまたはステランなどのバイオマーカーのピークが現れている。アスファルトのパラフィン成分のマススペクトルの 300 < m/e < 600 の領域は、z 数が -6 と -8 の 2 種類の成分スペクトルに分割して解析できることが最近の研究からわかっている。

（注 1）この 2 種類の成分スペクトルの強度比 R は、パラフィン成分の性質をあらわす 1 つの指標として利用用することができる。

これまでに、秋田県の米代川流域の二ツ井で産出するアスファルトの R 値について詳細な研究が行われており、 0.632 ± 0.036 という平均値が得られている。これに対して、本試料の R 値は 0.930 と非常に大きい。出土した試料が参照試料と似ているかどうかを比較するためには、測定値と参照試料の平均値からのずれを標準試料の標準偏差で割って相対偏差を求めてみればよい。1 つの目安として、スペクトル解析の精度も考

虚すれば、相対偏差が約2よりも小さければ参考試料と明確には区別できない。表2に示すように、本試料の相対偏差は8以上とこの基準をはるかに越えており、参考試料の二ツ井産のアスファルトと同じ系統のものとはとうてい言えない。一方、同じ岩手県でも三陸沿岸の山田町の沢田I遺跡から出土したアスファルト試料の相対偏差は0.399であり、かなりの正確さで二ツ井産のものということができる。

結論

本試料は、米代川・馬渕川流域および三陸海岸の山田町などの遺跡から出土する秋田県二ツ井産と推定される系統のアスファルトとは別の系統に属するものである。その起源は、現時点では不明である。

謝辞

本報告をまとめるにあたり、北海道大学大学院工学研究科修士課程の浅野克彦氏、同工学部の伊東潤氏の協力をいただきました。ここに記して感謝いたします。注

1. Z数の定義などは、文献（小笠原1999）に説明している。

文献

- 小笠原正明、阿部千春、前川靖明、横山晋「豊崎N遺跡出土の天然アスファルト魂」『考古学ジャーナル』373号、25-29頁、1994
小笠原正明、浅野克彦「北日本の縄文遺跡出土アスファルトの質量スペクトル分析による产地の同定」『文化財科学会第15回大会研究発表要旨』30-31頁、1998
小笠原正明「伊勢堂岱遺跡出土アスファルトの产地同定」『伊勢堂岱遺跡発掘調査報告書』、秋田県埋蔵文化財センター、印刷中、1999

図の説明

図1 相ノ沢遺跡出土アスファルトのパラフィン成分のFI-マススペクトル

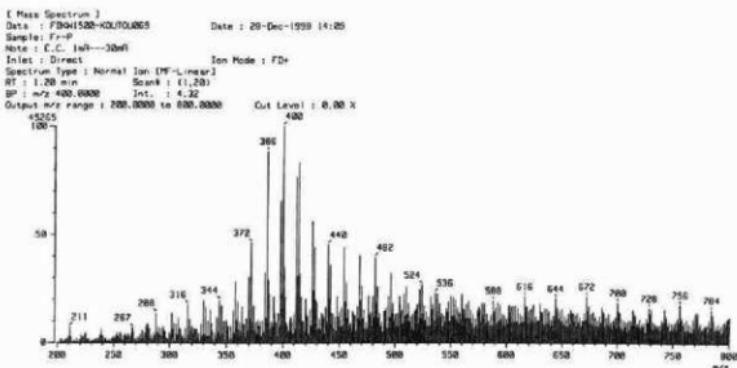


表1 相ノ沢遺跡出土アスファルトの元素分析の結果

元素	重量%
C	83.24
H	8.06
N	1.72
S	0.80
残	6.18

表2 アスファルト資料のパラフィン成分のR値

遺跡名・原産地	R値	相対偏差
秋田県二ツ井	0.632±0.036	-
岩手県沢田I	0.646	0.399
岩手県相ノ沢	0.930	8.192

R値：パラフィン成分の $300 < m/e < 600$ のマススペクトルにおいて、 $Z = -6$ の成分スペクトルの強度を $Z = -8$ の成分スペクトルの強度で割ったもの。

附編3. 岩手県相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の産地分析

薦 科 哲 男

(京都大学原子炉実験所)

はじめに

玉類の観察は、一般的に肉眼観察で岩石の種類を決定し、それが真実のよう思われているのが実態である。岩石製では玉類の原材料として硬玉、滑石、軟玉(角閃石)、蛇紋岩、結晶片岩、碧玉などが推測される。それぞれの岩石の命名定義に従って岩石名を決定するが、非破壊で命名定義を求めるには限度があり、若干の傷を覺悟して硬度、光沢感、比重、結晶性、主成分組成を求めるなどで、非破壊で命名の主定義の結晶構造、屈折率などを正確には求められない。原石名が決定されたのみでは考古学の資料としては不完全で、どこの産地の原石が使用されているかの産地分析が行われて初めて、考古学に寄与できる資料となる。遺跡から出土する勾玉、管玉など玉類の産地分析というは、玉類の製品が何処の玉造遺跡で加工されたということを調査するのではなくて、何ヶ所かあるヒスイ(硬玉、軟玉)とか碧玉の原産地うち、どこの原産地の原石を使用しているかを明らかにするのが、玉類の原産地推定である。玉類の原石の産地を明らかにすることは考古学上重要な意味をもっている。糸魚川市でヒスイが発見されるまでは、中国、雲南、ビルマ説、発見後は、専ら国内説で、岩石学の方法¹⁾および貴重な考古遺物を非破壊で産地分析を行った蛍光X線分析で行う元素比法^{2),3),4)}が報告されている。また、碧玉製管玉の産地分析で系統的に行った研究は蛍光X線分析法と電子スピン共鳴法併用で行なった例⁵⁾が報告されている。石器など石器と玉類の製品はそれぞれ使用目的が異なるため、それぞれの産地分析が得られた結果の意味も異なる。

(1) 石器の原材料产地推定で明かになる、遺跡から石材原産地までの移動、活動範囲は、石器は生活必需品であるため、生活上必要な生活圏と考えられる。

(2) 玉類は古代人が生きるために必ずしもいるものではない。勾玉、管玉は権力の象徴、お祭、御守り、占いの道具、アクセサリーとして、精神的な面に重要な作用を与えると考えられる。従って、玉類の産地分析で、明らかになるヒスイ製玉類の原石の分布範囲は、権力の象徴としての玉類であれば、権力圈を現しているかもしれない。お祭、御守り、占いの道具であれば、同じような習慣を持つ文化圏を考えられる。石器の原材料产地分析の得られない貴重な資料を考古学の分野に提供することができる。

今回分析を行った玉類は岩手県東磐井郡藤沢町黄海字深田和263番地に位置する相ノ沢遺跡出土の縄文時代後期～晩期の小玉、垂飾玉の合計11個で、産地分析結果が得られたので報告する。

非破壊での産地分析の方法と手段

原産地推定の第一歩は、原産地間を区別する人間で言えば指紋のような、その原産地だけにしかないという指標を見つけなければならない。その区別するための指紋は軽物組成の組合せ、比重の違い、原石に含有されている元素組成の違いなどにより、原産地同士を区別できなければ産地分析はできない。成功するかどうかは、とにかく行ってみなければわからない。原産地同士が指紋でもって区別できたならば、次に遺跡から出土する遺物の指紋と原産地の指紋を比較して、一致しない原産地を消去して一致する原産地の原石が使用されていると判定する。

ヒスイ、碧玉製勾玉、大珠、珠などは、国宝、重要文化財級のものが多くて、非破壊で産地分析が行える方法でなければ発展しない。石器の原材料産地分析で成功している⁴⁾非破壊で分析を行う蛍光X線法を用いて玉類に含有されている元素を分析する。

遺跡から出土した大珠、勾玉、管珠などを水洗いして、試料ホルダーに置くだけの、完全な非破壊で産地分析を行った。ヒスイ製玉類は蛍光X線分析法で元素の種類と含有量を求め、試料の形や大きさの違いの影響を打ち消すために分析された元素同士で含有量の比を測り、この元素比の値を原産地を区別する指紋とした。碧玉製玉類はE S R法を併用するが試料を全く破壊することなく、碧玉に含有されている常磁性種を分析し、その信号から碧玉産地間を区別する指標を見つけて、産地分析に利用した⁵⁾。

ヒスイの原産地

分析したヒスイ原石は、日本国内産では（1）新潟県糸魚川市と、それに隣接する同県西頸城郡青海町から産出する糸魚川産、（2）軟玉ヒスイと言われる北海道沙流郡日高町千栄の日高産⁶⁾（3）鳥取県八頭郡若桜町角谷の若桜産、（4）岡山県阿哲郡大佐町の大佐産、（5）長崎県長崎市三重町の長崎産であり、さらに（6）西黒田ヒスイと呼ばれている静岡県引佐郡引佐町の引佐産の原石、（7）兵庫県養父郡大屋町からの原石、（8）北海道旭川市神居町の神居コタン産、（9）岐阜県大野郡丹生川村の飛驒原石、また、肉眼的にヒスイに類似した原石で玉類等の原材になったのではないかと考えられる。（10）長崎県西彼杵郡大瀬戸町雪浦からの原石である。国内産のヒスイ原産地は、これでほぼつくされていると思われる。これら原石の原産地を図1に示す。これに加えて外国産として、ミャンマー産の硬玉と台湾産軟玉および韓国、春川産軟玉などのヒスイの分析も行われている。

ヒスイ試料の蛍光X線分析

ヒスイの主成分元素はナトリウム（Na）、アルミニウム（Al）、珪素（Si）などの軽元素⁷⁾で、次いで比較的含有量の多いカルシウム（Ca）、鉄（Fe）、ストロンチウム（Sr）である。また、ヒスイに微量含有されている、カリウム（K）、チタニウム（Ti）、クロム（Cr）、マンガン（Mn）、ルビジウム（Rb）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）、ニオビウム（Nb）、バリウム（Ba）、ランタニウム（La）、セリウム（Ce）の各元素を分析した。主成分の珪素など軽元素の分析を行わないときには、励起線源のX線が試料によって散乱されたピークを観測し、そのピークの大きさが主に試料の分析面積に比例することに注目し、そのピークを含有元素と同じく産地分析の指標として利用できる。ナトリウム元素はヒスイ岩を構成するヒスイ輝石に含有される重要な元素で、出土した遺物が硬玉か否かを判定するには直接ヒスイ輝石を観測すればよい、しかし、ヒスイ輝石を非破壊で検出できる方法が確立されるまでは、蛍光X線分析でNa元素を分析し間接的にヒスイ輝石の存在を推測する方法にたよる他ないのでなかろうか。各原産地の原石のなかで、確実にNa元素の含有が確認されるヒスイ原産地は糸魚川、大屋、若桜、大佐、神居コタン、長崎の各原産地の原石でこれらは硬玉に属すると思われる。Na元素の含有量が析誤差範囲の産地は日高、引佐、飛驒の各産地の原石である。糸魚川産原石のうち緑色系の硬玉に、肉眼的に最も似た原石を産出する産地は、他の硬玉産地よりも後述した日高、飛驒、引佐の原石に見られる。各原産地の原石の他の特徴を以下に記述する。若桜産のヒスイ原石はSrのピークがFeのピークに比べて相当大きく、またZrの隣に非常に小さなNbのピークが見られ、Baのピークも大きく、糸魚川産では見られないLa、Ceのピークが観測されている。このCeのピークは大佐産と長崎産ヒスイ原石のスペクトルにも見られ、これをCeを含有する原石の産地は、糸魚川の産地と区別

するときに有効な判定基準になる。長崎産ヒスイは、Tiの含有量が多く、Yのピークが見られるのが特徴的である。日高産、引佐産、飛騨産ヒスイ原石は、Caピークに比べてTiとかK、またはFeピークに比べてSrなどのピークが小さいのが特徴で糸魚川産のものと区別するときの判断基準になる。

春川軟玉原石は、優白色の工芸加工性に優れた原石で、軟玉であるが、古代では勾玉などの原材料となつた可能性も考えられることから分析を行った。この原石には、Sr、Zrのピークが全く見られないため、糸魚川産などのSr、Zrを含有する原石と容易に区別できる。また、長崎県皆浦のヒスイ類似岩をヒスイの代替品として勾玉、大珠などの原材料に使用している可能性が考えられ、分析を行った。この岩石は比重が2.91と小さく、比重でもって他の産地のものと区別できる。また、砒素(As)のピークが見られる個体が多いのも特徴である。

これら各原産地の原石は同じ産地の原石であっても、原石ごとに元素の含有量には異同がある。したがって、一つの原産地について多数の原石を分析し、各元素の含有量の変動の範囲を求めて、その産地の原石の特徴としなければならない。

糸魚川産のヒスイは、白色系が多いが、緑色系の半透明の良質のもの、青色系、コバルト系、およびこれらの色が白地に縞となって入っているものなど様々である。分析した糸魚川産原石の比重を調べると、硬玉の3.2~3.4の範囲のものと、3.2に達しない軟玉に分類される原石もある。若桜産、大佐産の分析した原石には、半透明の緑色のものはないが、全体が淡青緑かかった乳白色のような原石、また大屋産は乳白色が多い。このうち大佐産、大屋産の原石では比重が3.20に達したものはなく、これらの原石は比重からは軟玉に分類される。しかし、ヒスイ輝石の含有量が少ない硬玉とも考えられる。長崎産のヒスイ原石は3個しか分析できなかったが良質である。このうち1個は濃い緑色で、他の2個は淡い緑色で、少しガラス質である。日高産ヒスイの原石は肉眼観察では比較的糸魚川産のヒスイに似ている。ミャンマー産のヒスイ原石は、質、種類とも糸魚川産のヒスイ原石と同じものが見られ肉眼で両産地の原石を区別することは不可能と考えられる。分析した台湾産のヒスイは軟玉に属するもので、暗緑色のガラス質な原石である。これら各原産地の原石の分析結果から各産地を区別する判断基準を引き出し産地分析の指標とする。

ヒスイ原産地の判別基準

原石産地の判定を行うときの判断基準を原石の分析データーから引き出すが、分析個数が少ないため、必ずしもその原産地の特徴を十分に反映したと言えない産地もある。表1-1、2に各原産地ごとの原石の比重と元素比重をまとめた。元素比重の数値は、その原産地の分析した原石の中での最小値と最大値の範囲を示し、判定基準(1)とした。ヒスイで比重が3.19未満の軽い原石は、硬玉ヒスイではない可能性があるが、糸魚川産の原石で比重が3.19未満のものも分析を行った。大佐産のヒスイは比重が3.17未満であった。したがって、遺物の比重が3.3以上を示す場合は判定基準(1)により大佐産のヒスイでないと言える。日高産、引佐産の両ヒスイではSr/Feの比の値が小さくて、糸魚川産と区別する判定基準(1)になる。表1の判定基準(2)にはCr、Mn、Rb、Y、Nb、Ba、La、Ceの各元素の蛍光X線ピークが観測できた個体数を%で示した表である。例えば遺物を分析しBaのピークが観測されなかつたとき、その遺物は、若桜、大佐、長崎産のヒスイでないといえる。

図2はヒスイ原石のSr/Feの比の値とSr/Zrの比の値の分布を各原産地ごとにまとめて分布範囲を示したものである。●は糸魚川産のヒスイで、分布の範囲を実線で囲み、この枠内に遺物の測定点が入れば糸魚川産の原石である可能性が高いと判断する。□はミャンマー産のヒスイの分布で、その範囲を短い破線で囲む。

糸魚川の実線の範囲とミャンマーの破線の範囲の大部分は重なり両者は区別できないが、ミャンマーと糸魚川が区別される部分が Sr/Fe の値（横軸）2.5 以上の範囲で見られる。この範囲の中に、遺物の測定点が入ればミャンマー産と考えるより、糸魚川産である可能性の方が高いと考えられる。▲は大佐産の、△は若桜産の、▽は大屋産のヒスイの分布を示している。

糸魚川と大佐、若桜、大屋のヒスイが重なる部分に遺物の測定点が入った場合、これら複数の原産地を考えなければならない。しかし、この遺物に Ba の蛍光X線スペクトルのピークが見られなかった場合、表1-2 の判定基準（2）に従えば糸魚川産または大屋産のヒスイであると判定でき、その遺物の比重が 3.2 以上あれば大屋産でなくて、糸魚川産と推定される。■は長崎産ヒスイの分布で、独立した分布の範囲を持っていて他の産地のヒスイと容易に区別できる。台湾産の軟玉はグラフの左下に外れる。★印の日高産および*印の引佐産ヒスイの分布の一部分が、糸魚川産と重なり区別されない範囲がみられる。しかし、Ca/Si 比と Sr/Fe 比を指標とすることにより（図3）、糸魚川産ヒスイは日高産および引佐産の両ヒスイと区別することができる。Na/Si 比と Mg/Si 比を各原産地の原石について分布を示すことにより（図4）、遺物がどこの原産地の分布内に帰属するかにより、硬玉か軟玉かの判別の手段の一つになると考えられる。

相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾珠の分析結果

これら小玉、垂飾珠の中で比重が 3.2 以上（アルキメデス法）を示す No. 3 (50766)、6 (50769)、7 (50770)、8 (50771)、11 (50774) は硬玉の可能性の範囲に入り、蛍光X線スペクトル（図10、13、14、15、18）には硬玉の主成分の一つの Na 元素が観測されることから、これら玉類を硬玉と推測しても矛盾しない。No. 1 (50764)、10 (50773) はグリーンタフで吸水のため比重は測定できなかった。また、蛍光X線スペクトルも 1、10 が相互に似ているたる同質の石材の可能性が推測される。No. 5 (50768)、9 (50772) は比重が 2.5~2.6 で、蛍光X線スペクトルも珪素が主体で着色元素と思われる Cr 元素が比較的大きく観測されていることから着色石英質岩石と推測される。No. 2、4 は比重が 2.7~2.8 で蛇紋岩系、滑石系、軟玉などが考えられるが、Mg/Si の比重が小さく日高、飛驒、引佐の軟玉には一致しない。蛍光X線分析でこれら玉類の原石産地を明らかにするために、K/Ca、Ti/Ca、Sr/Fe、Zr/Sr、Ca/Si、Na/Si、Mg/Si などの各比値を求め表2 に示した。これら分析値を各原産地の原石の元素比重 Sr/Fe 対 Zr/Sr の分布範囲と比較すると、No. 9 (50772) はどの原石の範囲からも外れるが、他の玉類は糸魚川産の範囲に入り、糸魚川産以外にも神居コタン、引佐、日高、大佐、若桜、大屋の重なる範囲に入る玉類が見られ、これら入った原石産地のヒスイの可能性を示し結果を図5 に示す。また、Sr/Fe 対 Ca/Si でも糸魚川産の範囲に入る玉類は 50764、50766、50769、50770、50771、50773、50774 で、また大佐、若桜、大屋の重なる範囲に入る玉類が見られるが、神居コタン、引佐、日高の重なる範囲に入る玉類は見られない（図6）。Na/Si 対 Mg/Si で糸魚川産原石の範囲に入る玉類は 50766、50769、50770、50771、50774 で、若桜、神居コタン産の原石範囲に入っている玉類が見られた（図7）。これら玉類の蛍光X線スペクトルでは Ba 元素が観測されない玉類の原石産地を若桜、大佐、長崎産の原石の可能性を考える必要はなく、また、比重などヒスイ製遺物の判定基準（1）、（2）を参考に玉類の原石産地を推測すると、判定の全ての条件を満たす原石産地が玉類の玉材産地であると推測し結果を表4 に示す。

結論

今回分析した相ノ沢遺跡出土の縄文時代後期～晩期の小玉 10 個及び垂飾玉 1 個の中で No. 3 (50766)、No. 6 (50769)、No. 7 (50770)、No. 8 (50771) の小玉と No. 11 (50774) の垂飾玉は糸魚川産硬玉が使用されていると判定され、No. 1 (50764)、10 (50773) はグリーンタフ系の玉材が使用されていると推定した。このグリーンタフ系の玉材の原石産地は不明であるが、また、No. 5 (50768)、9 (50777) はメノウ系の玉材が使用されているようで、メノウの原産地も非常に多くこれら産地同士が区別できなければ産地同定ができない。No. 2 (50765)、4 (50767) は蛇紋石系、滑石系、軟玉系などが考えられるが、日高、飛騨、引佐の軟玉には一致しない。これら産地の特定できなかった玉類の蛍光 X 線分析結果は、他の遺物から出土する玉の分析の結果と相互に似た組成を示す場合がみられ、原材料産地が特定できなかった玉類についても組成が一致する玉類を相互に遺跡間で結ぶことにより、玉の分布図に関する情報がえられる。

糸魚川産ヒスイが縄文時代後期に使用されている遺跡は、本遺跡以外に抜粋して示すと例えば北海道千歳市美々遺跡から青森県大石平遺跡、岩手県大日向 II 遺跡、山梨県石堂遺跡、岐阜県西田遺跡、愛知県白石遺跡、三重県森派遺跡、大分県二反田遺跡、熊本県ワクド石遺跡、宮崎県学頭遺跡まで日本全国におよび、これら遺跡では糸魚川産ヒスイが尊重される共通の基盤を持っていたと思われ、糸魚川産地から遠くなるにしたがって、希少価値が増すと推測され本遺跡がヒスイの玉類入手できる力（経済力）が大きかったことが推測される（図 1）。

参考文献

- 1) 芽原一也 (1964)、長者ヶ原遺跡産のヒスイ (翡翠) について (概報)。長者ヶ原、新潟県糸魚川市教育委員会: 63-73
- 2) 菊科哲男・東村武信 (1987)、ヒスイの産地分析。富山市考古資料館紀要 6: 1-18
- 3) 菊科哲男・東村武信 (1990)、奈良県内遺跡出土のヒスイ製玉類の産地分析。
- 4) 菊科哲男・東村武信 (1983)、石器原材の産地分析。考古学と自然科学、16: 59-89
- 5) Tetsuo Warashian (1992)、Allotment of Jasper Archeological Implements By Means of ESR and XRF. Journal of Archaeological Science 19:357-373
- 6) 番場猛夫 (1967)、北海道日高産軟玉ヒスイ。調査研究報告会講演要旨録 No.18:11-15
- 7) 河野義礼 (1937)、本邦における翡翠の新産出及び其化学的性質。岩石礦物鉱床学雑誌 22: 195-201

表1-1 ヒスイ製造物の原石産地の判定基準(1)

原産地名	分析個数	蛍光X線法による元素比の範囲					
		比重	K/Ca	Ti/Ca	Sr/Fe	Zr/Sr	Ca/Si
糸魚川産	41	3.00~3.35	0.01~0.17	0.01~0.56	0.15~30	0.00~2.94	0.72~27.6
若桜産	12	3.12~3.29	0.01~0.91	0.03~0.59	3.45~47	0.00~0.25	4.33~48.4
大佐産	20	2.85~3.17	0.01~0.07	0.00~1.01	3.18~61	0.00~12.4	3.47~28.6
長崎産	3	3.16~3.23	0.01~0.14	0.17~0.33	0.02~0.06	4.30~16.0	
日高産	22	2.98~3.29	0.00~0.01	0.00~0.02	0.00~0.37	0.00~0.063	5.92~51.6
引佐産	8	3.15~3.36	0.04~0.04	0.00~0.03	0.03~0.33	0.00~0.018	36.3~65.9
大屋産	18	2.96~3.19	0.03~0.08	0.04~0.16	1.08~79	0.02~0.48	0.95~4.81
神居コタン産	9	2.95~3.19	0.02~0.49	0.09~0.17	0.04~0.22	0.12~0.85	2.22~17.3
飛騨産	40	2.85~3.15	0.01~0.04	0.00~0.00	0.02~0.10	0.00~1.24	12.7~28.5
ミャンマ産	26	3.15~3.36	0.02~0.14	0.01~0.26	0.09~2.5	0.01~23	
台湾産	1	3.00	0.003	ND	ND	ND	

ND: 検出限界以下の濃度

表1-2 ヒスイ製造物の原石産地の判定基準(2)

原産地名	蛍光X線法による分析元素 (各元素が確認できた個体数の百分率)							
	Cr	Mn	Rb	Y	Nb	Ba	La	Ce
糸魚川産	26%	6%	20%	ND	13%	33%	ND	ND
若桜産	ND	ND	16%	ND	100%	100%	67%	67%
大佐産	ND	ND	44%	ND	33%	100%	67%	67%
長崎産	ND	ND	ND	100%	100%	100%	100%	100%
日高産	tr	tr	ND	ND	ND	tr	ND	ND
引佐産	88%	75%	ND	ND	ND	ND	ND	ND
大屋産	tr	ND	31%	ND	6%	90%	100%	100%
神居コタン産	ND	100%	22%	100%	ND	55%	ND	ND
飛騨産	100%	100%	ND	ND	ND	ND	ND	ND
ミャンマ産	13%	4%	ND	ND	ND	35%	ND	ND
台湾産	tr	tr	ND	ND	ND	ND	ND	ND

ND: 検出限界以下 tr: 検出確認

表2-1 相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の元素分析値の比重と比重

遺物番号	分析番号	元素分析値の比重									
		Na/Si	Mg/Si	Al/Si	K/Ca	Ca/Si	Ti/Ca	Cr/Fe	Mn/Fe	Ni/Fe	Sr/Fe
1	50764	0.000	0.299	0.09	2.23	3.356	1.37	0.000	0.011	0.000	1.563
2	50765	0.009	0.157	0.14	556.7	0.011	30.13	0.039	0.004	0.016	0.371
3	50766	0.170	0.318	0.13	0.00	4.910	0.02	0.007	0.010	0.012	0.900
4	50767	0.027	0.257	0.12	3.34	0.463	7.92	0.000	0.003	0.000	0.197
5	50768	0.001	0.046	0.00	19.61	0.002	5.29	0.793	0.043	0.388	0.258
6	50769	0.122	0.429	0.12	0.01	4.572	0.03	0.009	0.004	0.018	0.458
7	50770	0.160	0.701	0.11	0.00	10.271	0.00	0.029	0.010	0.039	1.559
8	50771	0.087	0.912	0.10	0.01	15.024	0.01	0.013	0.011	0.050	3.048
9	50772	0.000	0.038	0.00	—	0.000	—	4.147	0.012	0.063	0.118
10	50773	0.000	0.250	0.07	0.44	5.267	1.49	0.000	0.015	0.001	5.951
11	50774	0.190	0.552	0.14	0.01	4.821	0.02	0.001	0.010	0.009	1.191
JG-1		0.001	0.041	0.06	1.29	4.484	0.30	0.001	0.023	0.000	0.370

表2-2 相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の元素分析値の比重と比重

遺物番号	分析番号	元素分析値の比重						試料比重	試料重量(gr)	遺物種類
		Zr/Sr	Nb/Sr	Ba/Sr	Rb/Sr	Y/Sr	吸水			
1	50764	0.039	0.00	10.39	0.05	0.00	吸水	0.59432		小玉
2	50765	0.020	0.00	7.27	0.72	0.00	2.723	0.47290		小玉
3	50766	0.053	0.01	0.00	0.01	0.00	3.300	1.16784		小玉
4	50767	0.558	0.01	0.68	0.02	0.11	2.757	0.52644		小玉
5	50768	0.000	3.53	38.51	1.88	0.26	2.547	1.04841		小玉
6	50769	0.444	0.01	0.20	0.01	0.01	3.317	0.97273		小玉
7	50770	0.110	0.02	0.15	0.00	0.00	3.233	0.32372		小玉
8	50771	0.327	0.00	0.38	0.01	0.00	3.285	0.51611		小玉
9	50772	6.646	0.00	—	17.22	2.29	2.620	0.42741		小玉
10	50773	0.035	0.00	7.58	0.03	0.00	吸水	0.13719		小玉
11	50774	0.061	0.00	0.63	0.02	0.00	3.282	30.39116		垂飾玉
JG-1		0.799	0.05	5.31	0.75	0.16				

JG-1: 標準試料、Ando, A., Kurasawa, H., Ohmori, T. & Takeda, E.(1974).

1974 compilation of data on the GJS geochemical reference samples JG-1 granodiorite and JB-1 basalt. Geochimical Journal, Vol.8 175-192.

表3 相ノ沢遺跡出土の小玉、垂飾玉の原石産地分析結果

遺物番号	分析番号	各分類基準による判定					原材産地 総合判定	遺物種類
		図5判定	図6判定	図7判定	比重&基準(2)	Ni/Fe判定 ^{a)}		
1	50764	IT	IT,OY					小玉
2	50765	IT,HK,IN						小玉
3	50766	IT	IT	IT,KM,WK	IT,IN		糸魚川産	小玉
4	50767	IT,KM		WK				小玉
5	50768	IT,HK,IN						小玉
6	50769	IT	IT	IT,KM,WK	IT,IN		糸魚川産	小玉
7	50770	IT	IT	IT,KM,WK	IT,IN		糸魚川産	小玉
8	50771	IT,OY,OS	IT,WK	IT,WK	IT,IN,WK,HK,NG		糸魚川産	小玉
9	50772							小玉
10	50773	IT,OY,OS,WK	IT,OY,OS					小玉
11	50774	IT	IT	IT,KM,WK	IT,IN		糸魚川産	垂飾玉

IT：糸魚川 WK：若桜 OS：大佐 NG：長崎 HK：日高 IN：引佐 OY：大屋 KM：神居コタン
HD：飛驒

a)：日高、飛驒ヒスイの区別用元素比

(飛驒産原石、42個の平均値土標準偏差) Ni/Fe = 0.091 ± 0.030

(日高産原石、14個の平均値土標準偏差) Ni/Fe = 0.065 ± 0.028

注意：近年産地分析を行う所が多くなりましたが、判定根拠が曖昧にも関わらず結果のみを報告される場合があります。本報告では日本における各遺跡の産地分析の判定基準を一定にして、産地分析を行っていますが、判定基準の異なる研究方法（土器様式の基準も研究方法で異なるように）にも関わらず、似た産地名のために同じ結果のように思われるが、全く関係（相互チェック）ありません。本研究結果に連続させるには本研究法で再分析が必要です。本報告の分析結果を考古学資料とする場合には常に同じ基準で判定されている結果で古代交流圏などを考察する必要があります。

図1 ヒスイ原産地およびヒスイ製玉の原料使用分布図

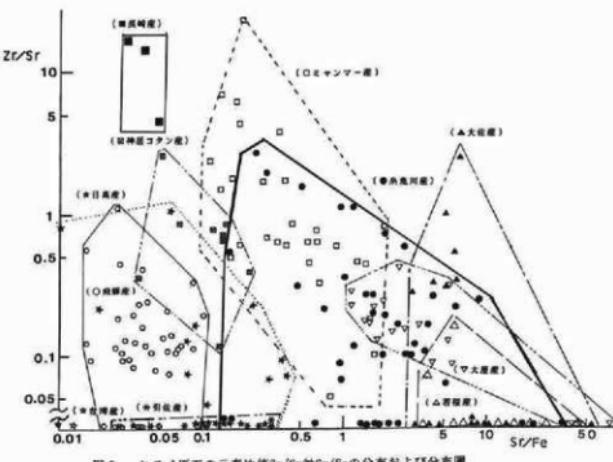
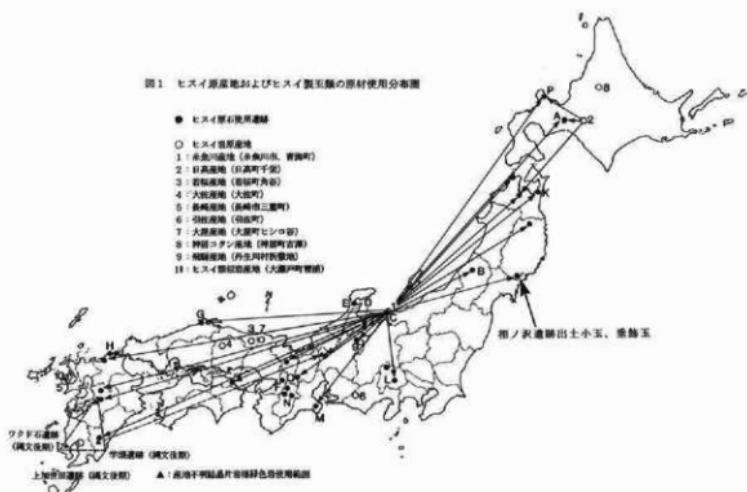


図2 ヒスイ原石の元素比値Zr/Sr対Sr/Feの分布および分布図

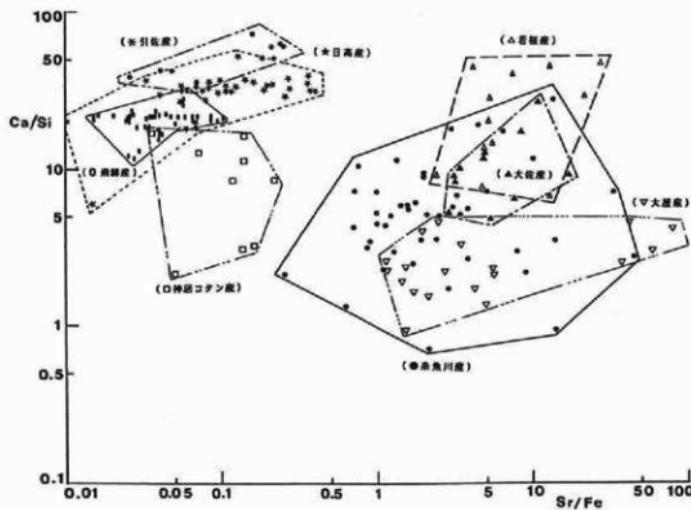


図3 ヒスイ原石の元素比値Ca/Si対Sr/Feの分布および分布図

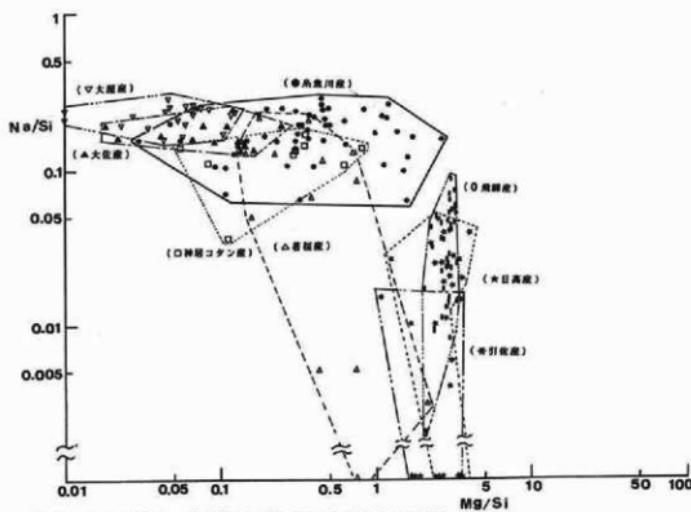


図4 ヒスイ原石の元素比値Na/Si対Mg/Siの分布および分布図

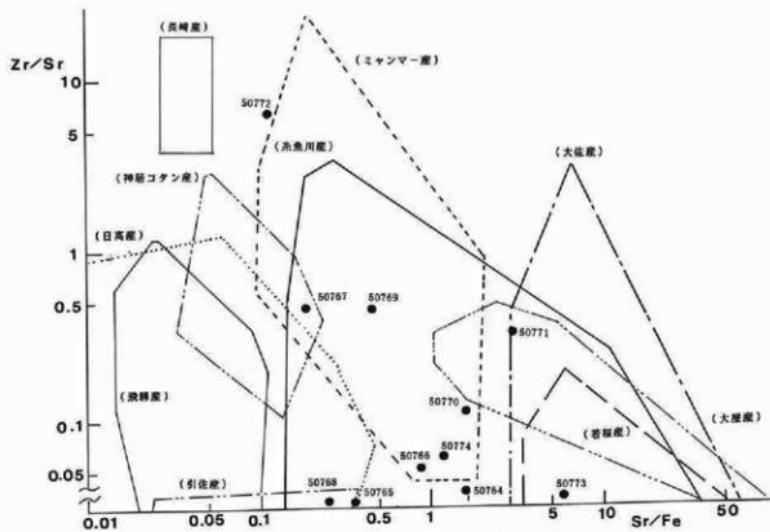


図5 相ノ沢遺跡出土小玉、垂飾玉の Zr/Sr 対 Sr/Fe の分布

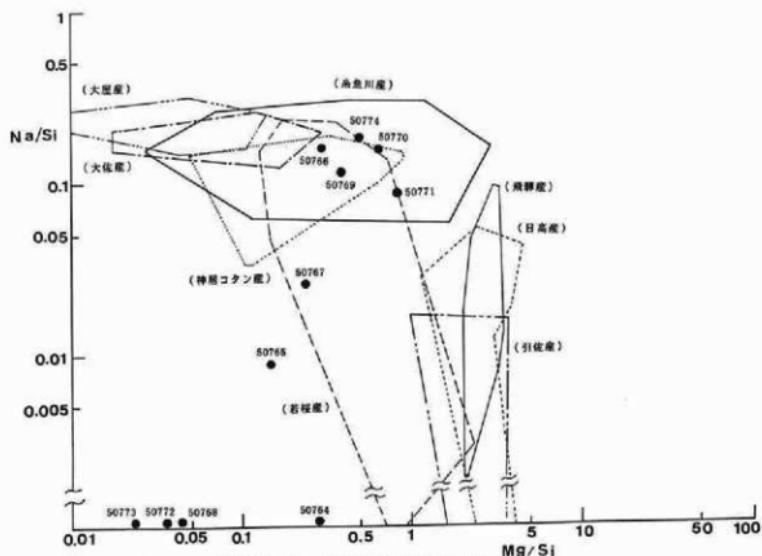


図7 相ノ沢遺跡出土小玉、垂飾玉の Na/Si 対 Mg/Si の分布

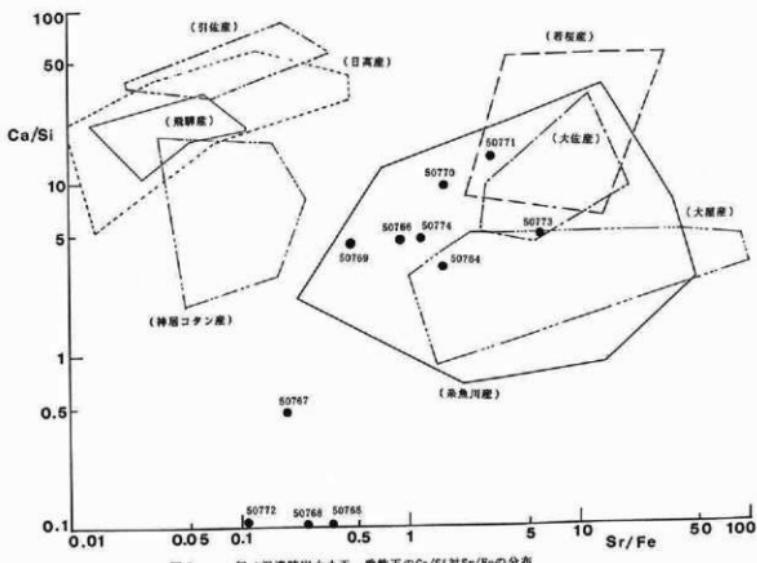
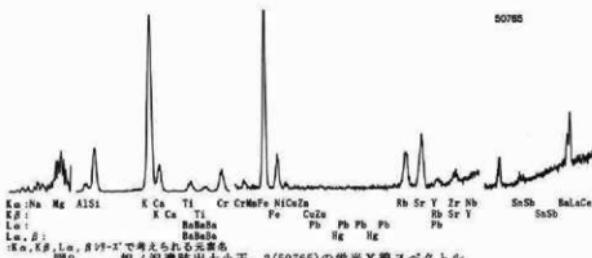
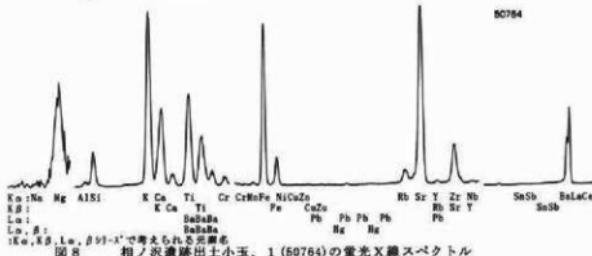


図6 相ノ沢遺跡出土小玉、兼飾玉のCa/Si対Sr/Feの分布



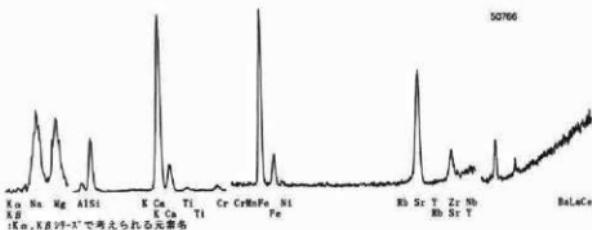


図10 相ノ沢遺跡出土小玉、3(50766)の蛍光X線スペクトル

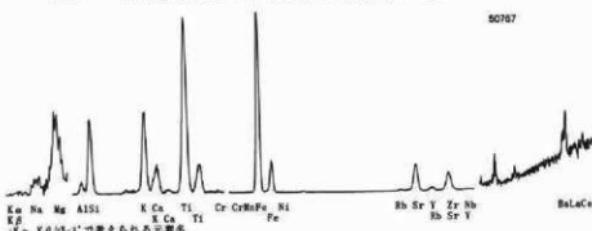


図11 相ノ沢遺跡出土小玉、4(50767)の蛍光X線スペクトル

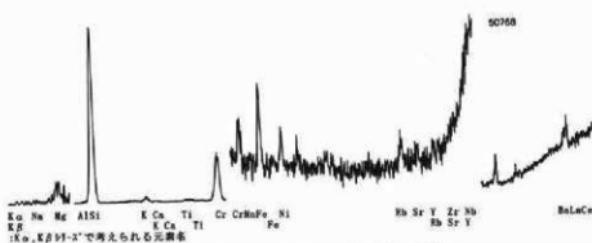


図12 相ノ沢遺跡出土小玉、5(50768)の蛍光X線スペクトル

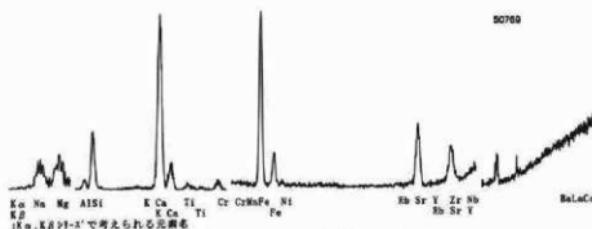


図13 相ノ沢遺跡出土小玉、6(50769)の蛍光X線スペクトル

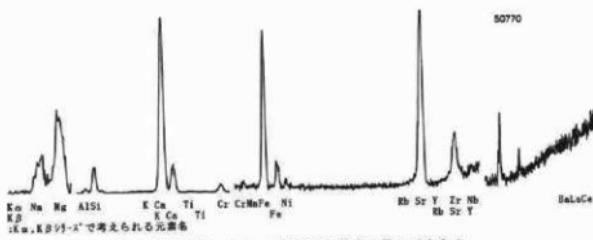


図14 相ノ沢遺跡出土小玉、T(50770)の蛍光X線スペクトル

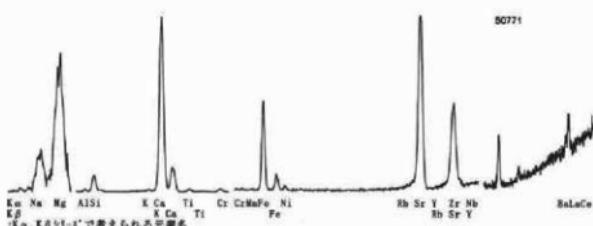


図15 相ノ沢遺跡出土小玉、B(50771)の蛍光X線スペクトル

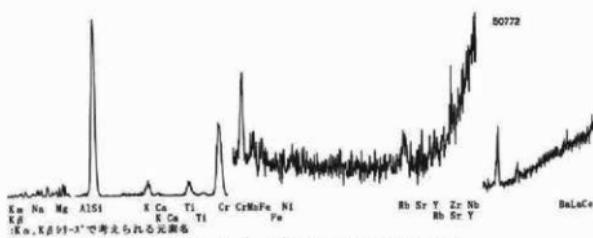


図16 相ノ沢遺跡出土小玉、N(50772)の蛍光X線スペクトル

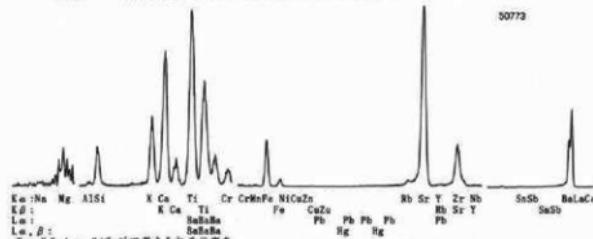


図17 相ノ沢遺跡出土小玉、10(50773)の蛍光X線スペクトル

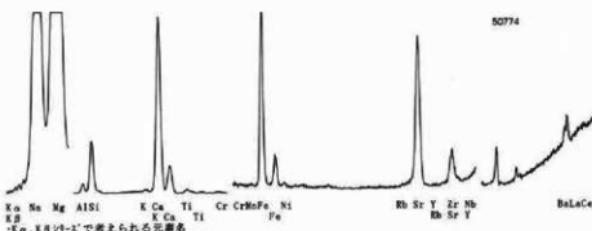


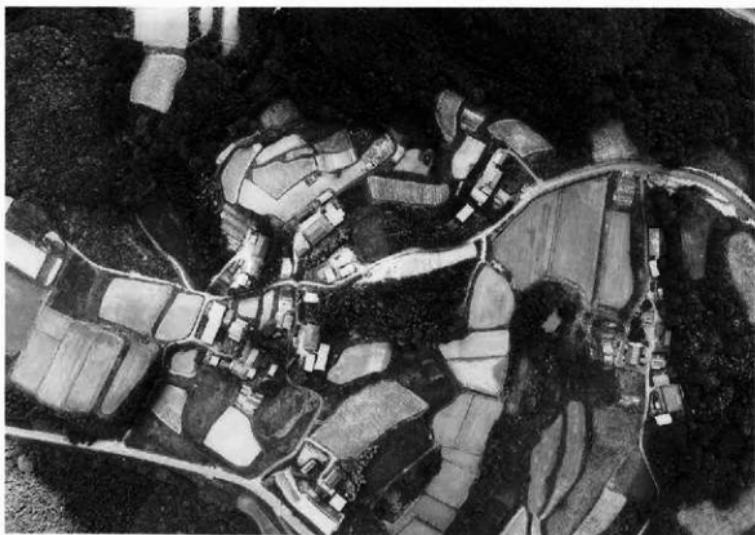
図18 相ノ沢遺跡出土垂飾玉、11(50774)の蛍光X線スペクトル

写 真 図 版





道路遠景（南から）



道路近景
写真図版1 遺跡遠景（空中写真）



調査区近景（西北西から）



2-13 グリッド切り出された段（東南東から）



炭窯・炭化材検出状況



炭窯

写真図版2 調査区近景 炭窯



2-6グリッド 2-6南北ベルト土層断面



2-6グリッド 1-6東西ベルト土層断面



(拡大)



(拡大)

写真図版3 土層断面



2-2東西ベルト・6号土坑土層断面



1-4南北ベルト 95 土壘土層断面



1-4南北ベルト 95 溝土層断面



2-13東西ベルト 土層断面



2-12南北ベルト 土層断面



2-12東西ベルト 土層断面



1号住居跡石西炉焼出状況

写真図版 4 溝、土壘、土層断面、1号住居跡





1号住居 石窯 石をはずした状況



1号住居 土層断面



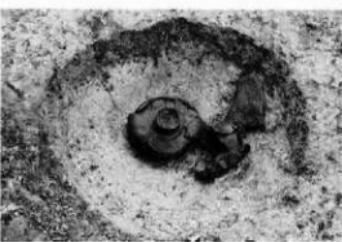
1号住居 土層断面



2号住居 炭化材検出状況



2号住居 土層断面



2号住居、39号土坑



2号住居 石窯

(平面)

写真図版 5 1・2号住居跡



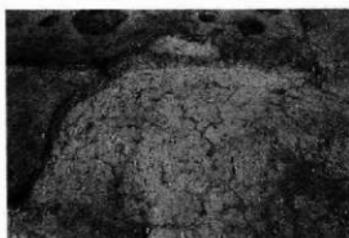
(断面)



1号住居状遺構



1号住居状遺構



1号住居状 完掘



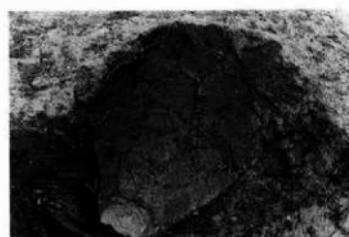
2号住居状 完掘



1号埋設土器 断面



2号埋設土器 断面



2号埋設土器 完掘



3号埋設土器 断面

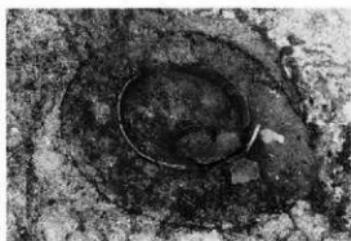
写真図版 6 1・2号住居状遺構、1～3号埋設土器



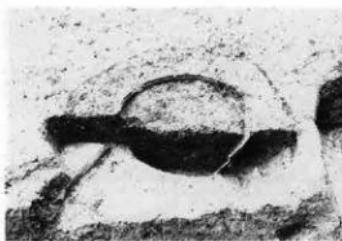
4号埋設土器 平面



4号埋設土器 断面



5号埋設土器 平面



5号埋設土器 断面



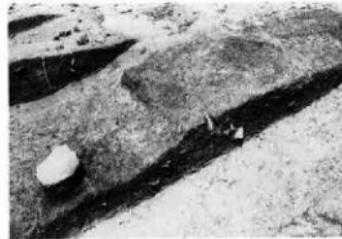
地山ハイキブロック1 断面



地山ハイキブロック2 平面

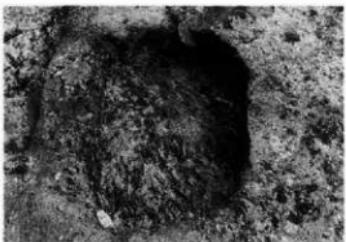


地山ハイキブロック2 断面



地山ハイキブロック3 断面

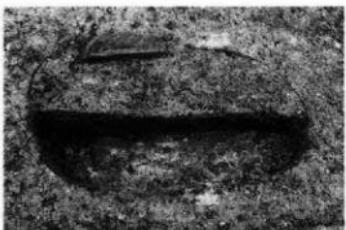
写真図版7 4・5号埋設土器、1~3号地山ハイキブロック



1号土坑 平面



2号土坑（中央） 平面



3号土坑 断面



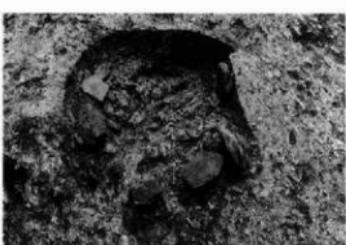
3号土坑 平面



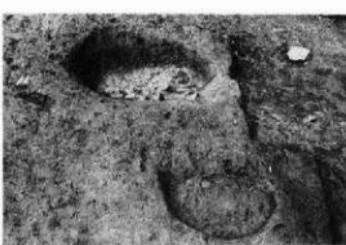
4号土坑 平面



5号土坑 平面

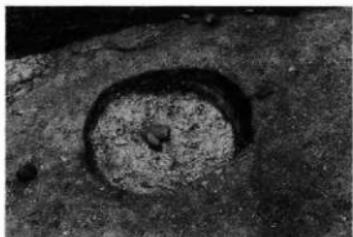


6号土坑 平面



8号土坑（大）、5号土坑（小） 平面

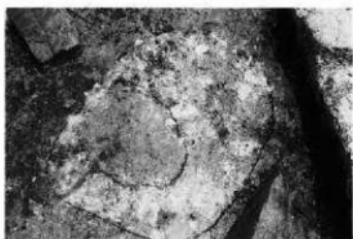
写真図版 8 1～8号土坑



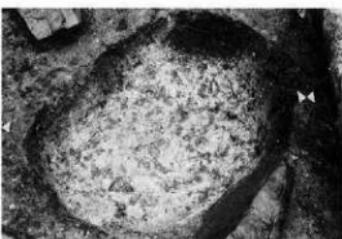
9号土坑 平面



10号土坑 平面



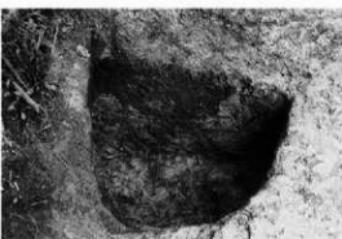
11号土坑 挖出时



11号土坑 平面



12号土坑 断面

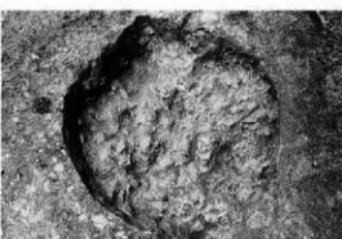


13号土坑 断面

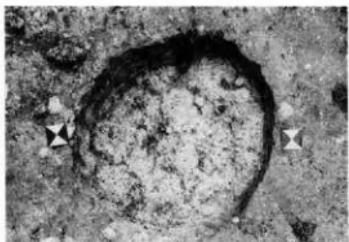


13号土坑 平面

写真図版 9 9 ~ 14号土坑



14号土坑 平面



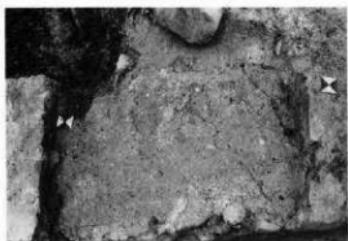
15号土坑 平面



16号土坑 平面



18号土坑 断面



18号土坑 平面



19号土坑 断面

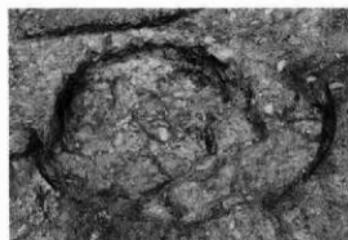


19号土坑 平面



21号土坑(右)、49号柱穴(左) 断面

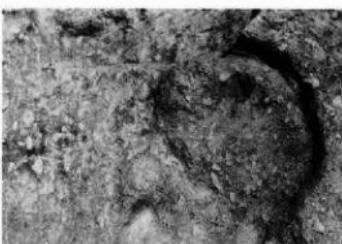
写真图版10 15~21号土坑



21号土坑(右)、49号柱穴(左) 断面



22号土坑 (断面)



22号土坑 (平面)



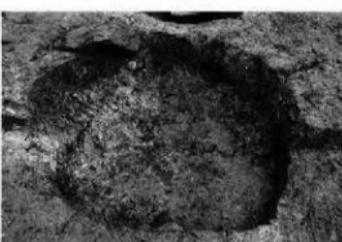
23号土坑 (断面)



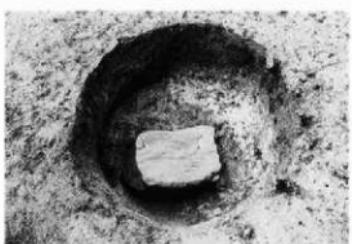
23号土坑 (平面)



24号土坑 (断面)



24号土坑 (平面)



25号土坑 (平面)

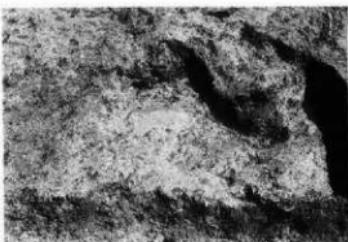


26号土坑 (平面)

写真図版11 22～26号土坑



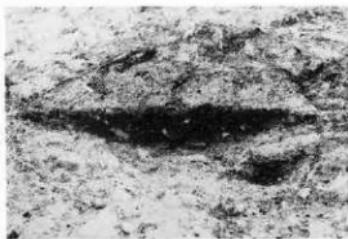
27号土坑 (平面)



28号土坑 (平面)



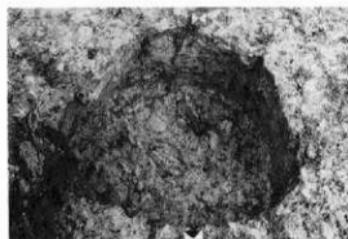
29号土坑 (平面)



31号土坑 (平面)



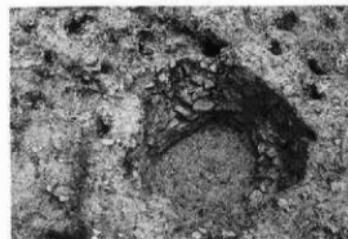
32号土坑 (平面)



33号土坑 (平面)



34号土坑 (平面)



34号土坑 (平面)

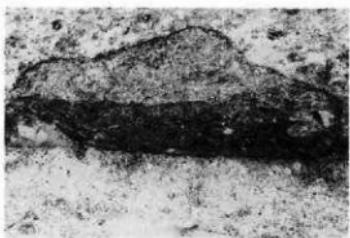
写真图版12 27~34号土坑



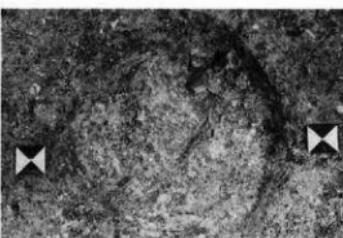
35号土坑 检出物



35号土坑 断面



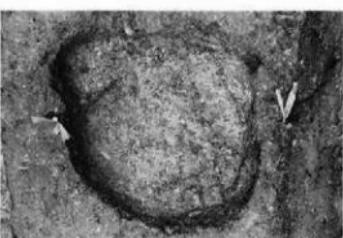
36号土坑 断面



38号土坑 平面



40号土坑 平面



41号土坑 平面



42号土坑 平面

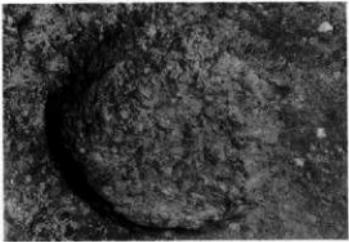


43号土坑 平面

写真図版13 35~43号土坑



46号土坑 平面



47号土坑 平面



48号土坑 平面



作業風景



1号配石遺構 掘出時



1号配石遺構 断面



2号配石遺構 断面



2号配石遺構 平面

写真図版14 46~48号土坑、1・2号配石遺構



3号配石遺構 平面



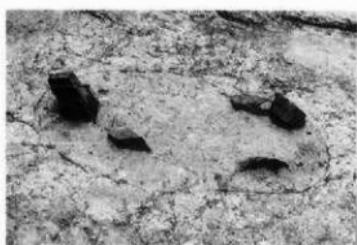
3号配石遺構 断面



4号配石遺構 検出時



4号配石遺構 断面



5号配石遺構 検出時



5号配石遺構 断面



5号配石遺構 平面

写真図版15 3～5配石遺構



作業風景



6号配石遗構 掘出時



6号配石遺構



6号配石遺構 平面



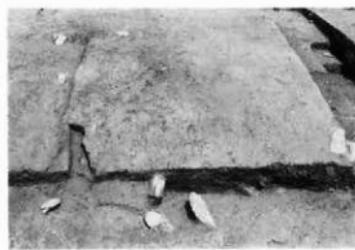
7号配石遺構 断面



7号配石遺構 平面



8号配石遺構 平面

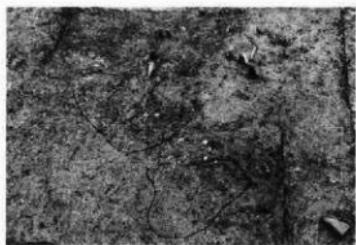


1号燒土遺構 平面



1号燒土遺構 断面

写真圖版16 6～8配石遺構、1号燒土遺構



2号(左)、3号(右) 烧土遗構 平面



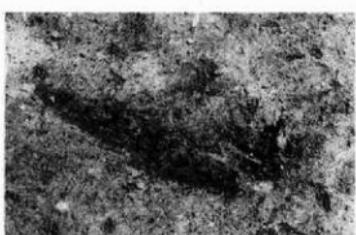
3号烧土遗構 断面



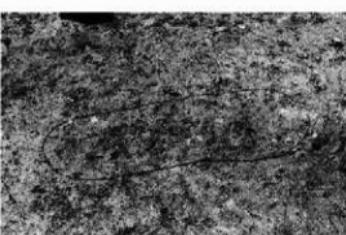
3号烧土遗構 炭化物突出状况



4号烧土遗構 平面



4号烧土遗構 炭化物突出



5号烧土遗構 平面



5号烧土遗構 断面



6号烧土遗構 断面

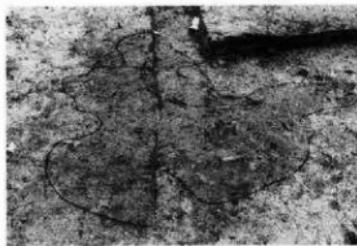
写真図版17 2～6号烧土遗構



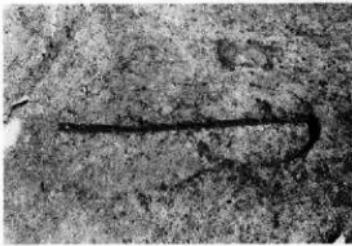
7号焼土遺構 平面



7号焼土遺構 断面



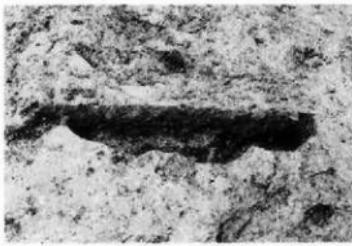
8号焼土遺構 平面



9号焼土遺構 断面



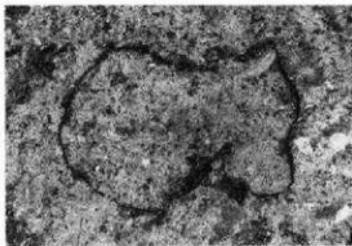
10号焼土遺構 断面



11号焼土遺構 断面

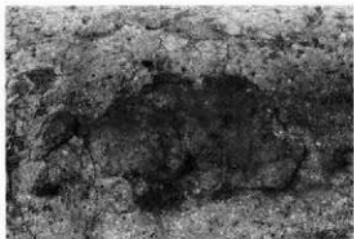


12号焼土遺構 断面

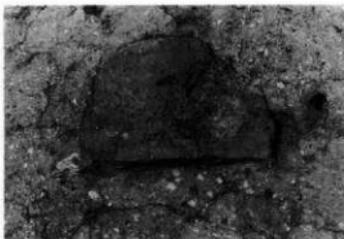


14号焼土遺構 平面

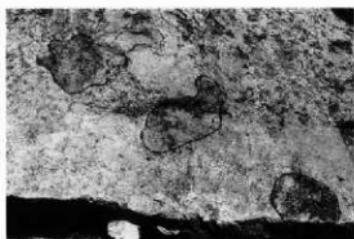
写真図版18 7～14号焼土遺構



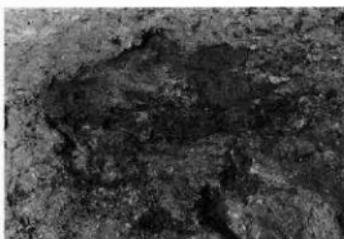
15号烧土遗構 平面



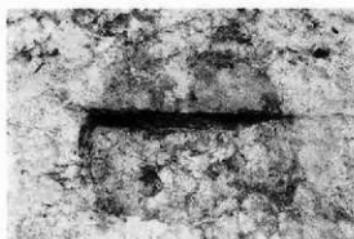
15号烧土遗構 断面



16号(左)、17号、18号(右) 烧土遗構 平面



16号 烧土遗構 断面



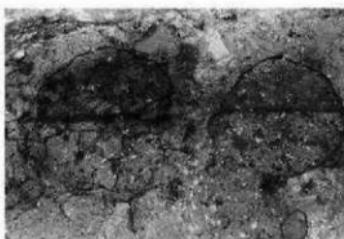
17号烧土遗構 断面



18号烧土遗構 断面



19号(上)、20号(下) 烧土遗構 平面



20号(左)、19号(右) 烧土遗構 断面

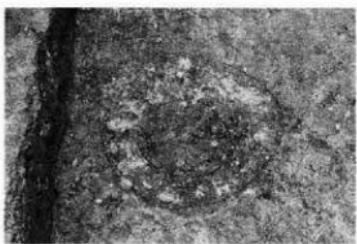
写真図版19 15~20号烧土遗構



21号烧土遗構 断面



扩大



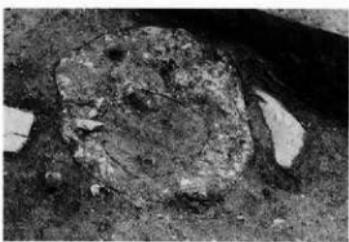
2号柱穴 检出時



2号柱穴 断面



2号柱穴 平面



10号柱穴 检出時



27号(左)、28号(右) 柱穴 检出時



27号(左)、28号(右)柱穴 断面

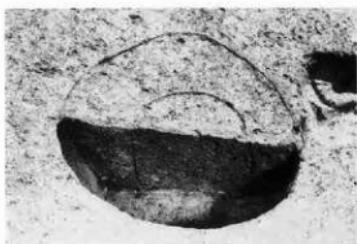
写真図版20 21号烧土遗構 2・10・27・28号柱穴



25号柱穴 断面



36号(左)、37号(右) 柱穴 平面



57号柱穴 断面



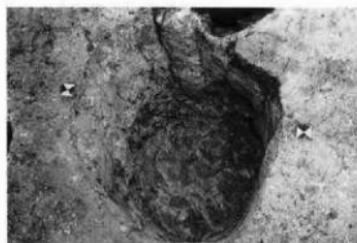
57号柱穴 平面



140号柱穴 挖出時



140号柱穴 断面



140号柱穴 平面

写真図版21 25・36・37・140号柱穴



2-8グリッド 土偶出土状況



2-8グリッド 土偶出土状況



3-8グリッド 土偶出土状況



2-11グリッド 石斧埋納状況



2-4グリッド土偶出土状況 III B 土層



1-8グリッド III B中層土器出土状況 写真図版22 遺物出土状況1



2-3グリッド 中層下部土器出土状況



皿出土状況



注口土器出土状況



耳飾出土状況



香炉型土器出土状況



アスファルト入り土器出土状況



皿出土状況



注口土器出土状況



石棒出土状況

写真図版23 遺物出土状況2



特殊石器出土状况



石皿出土状况



壺出土状况



壺出土状况

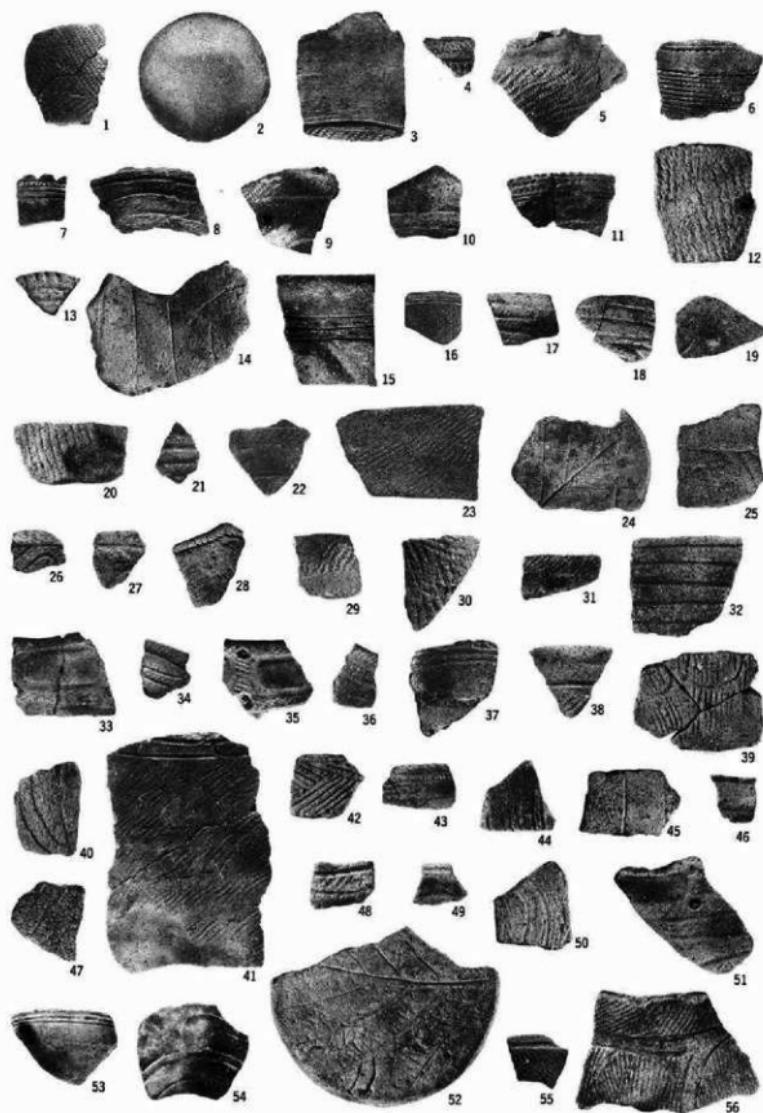


獸骨出土状况

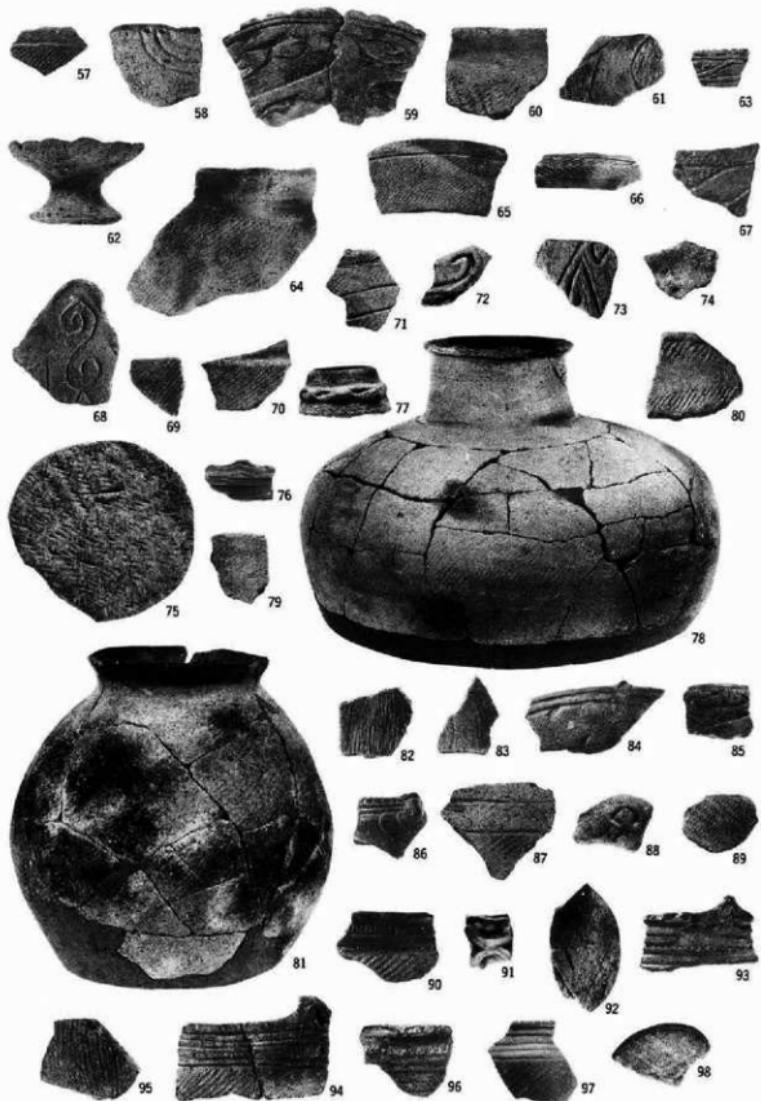


作業風景

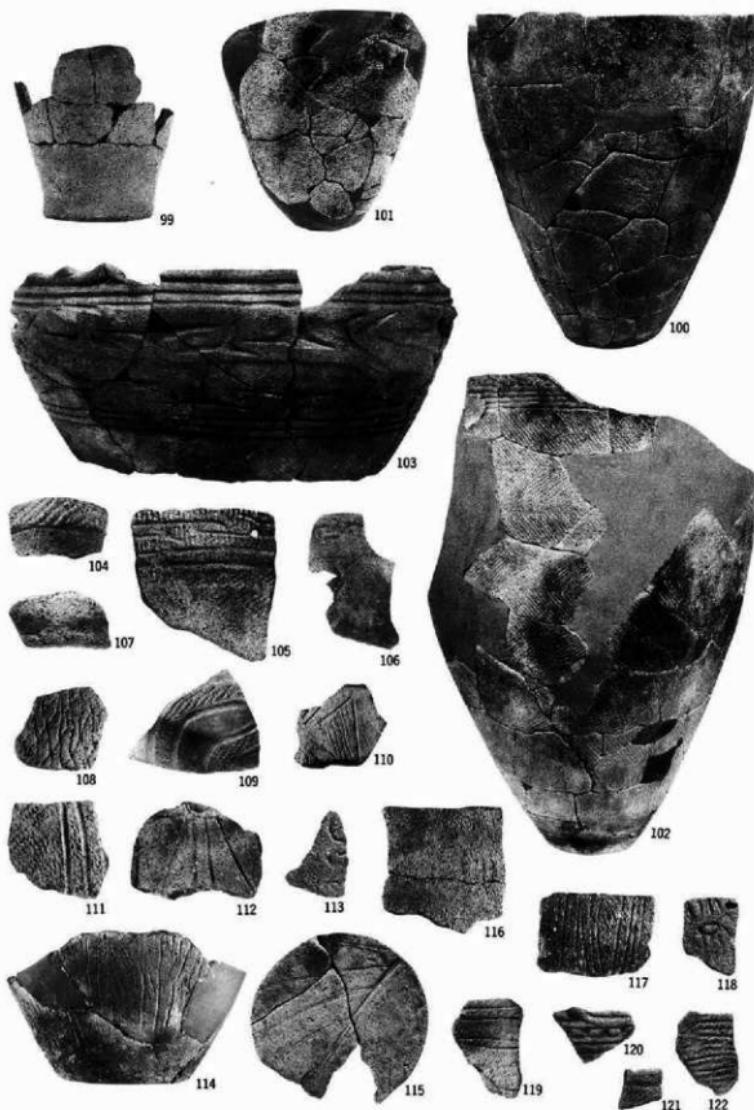
写真図版24 遺物出土状況3



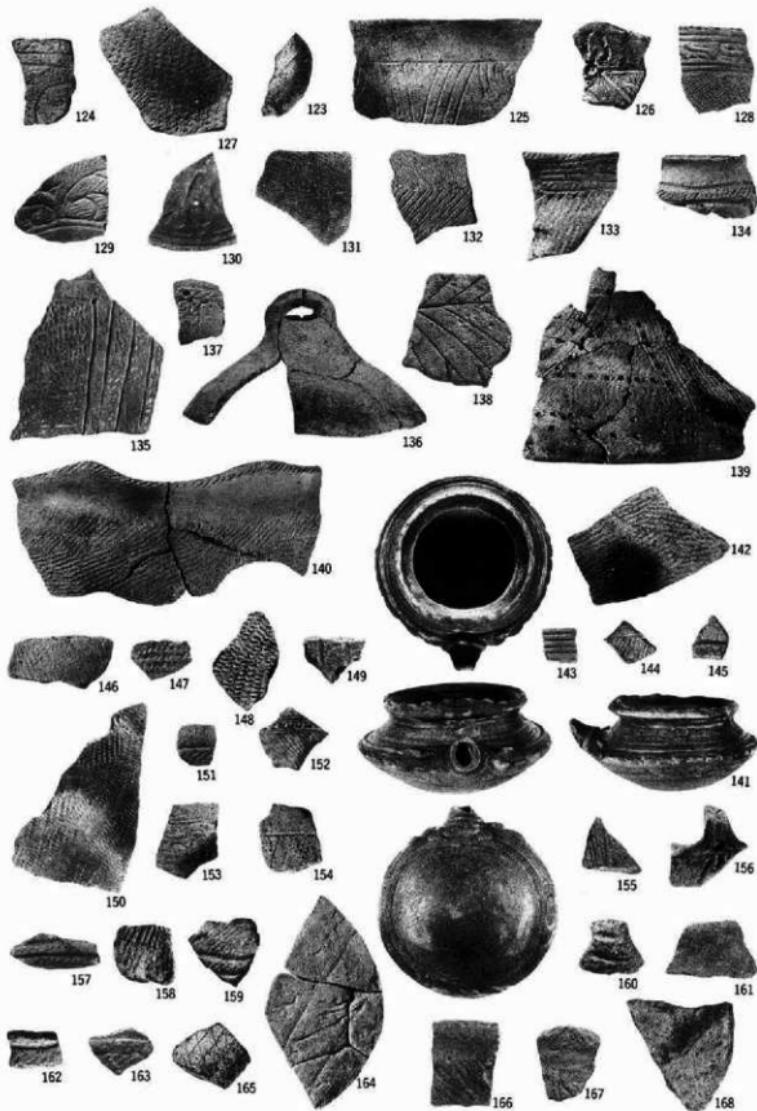
写真図版25 遺構内出土遺物・土器1



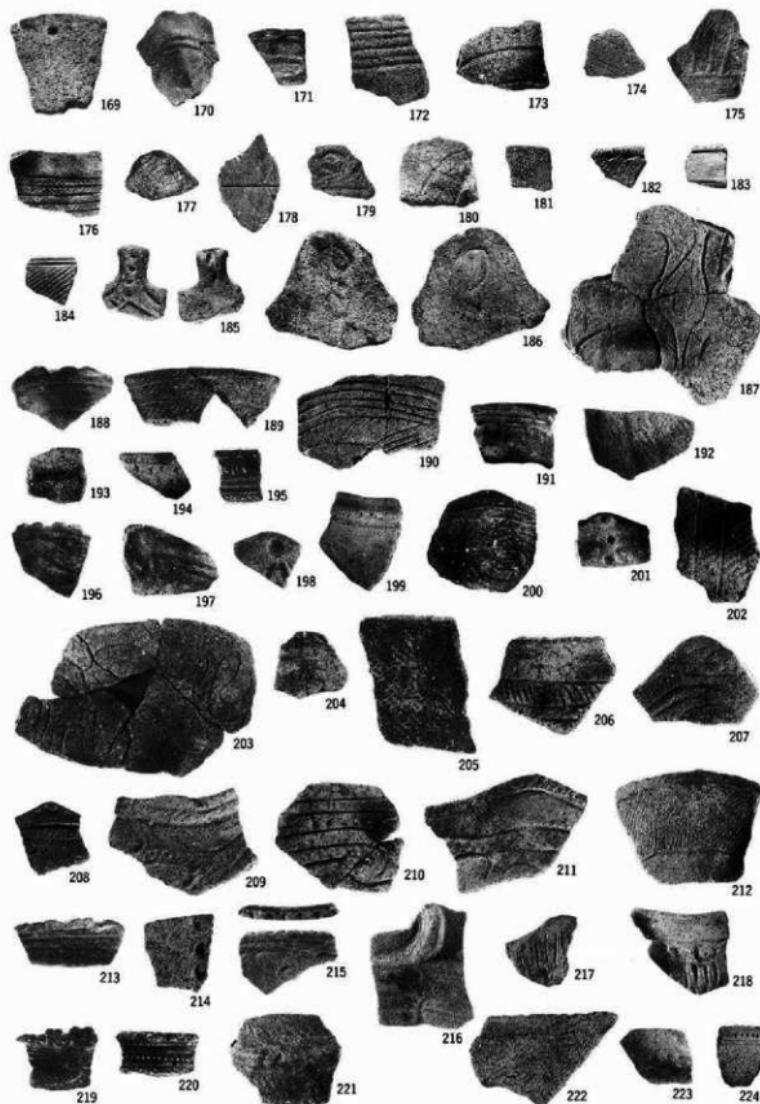
写真図版26 遺構内出土遺物・土器2



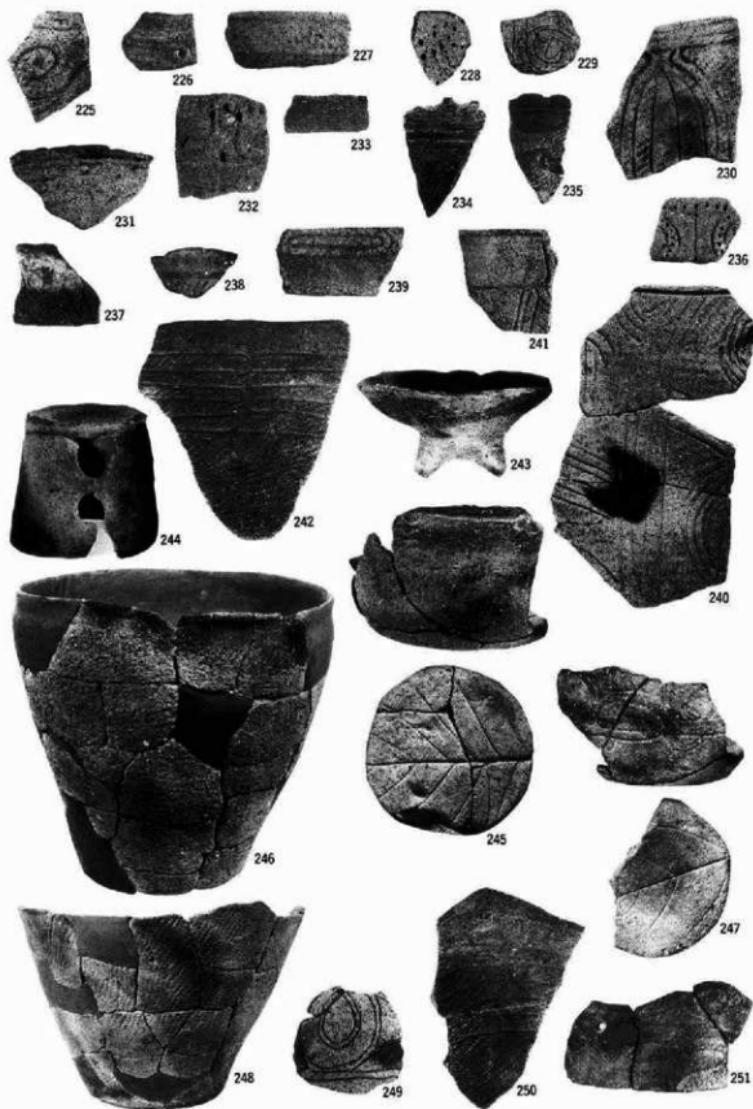
写真図版27 遺構内出土遺物・土器 3



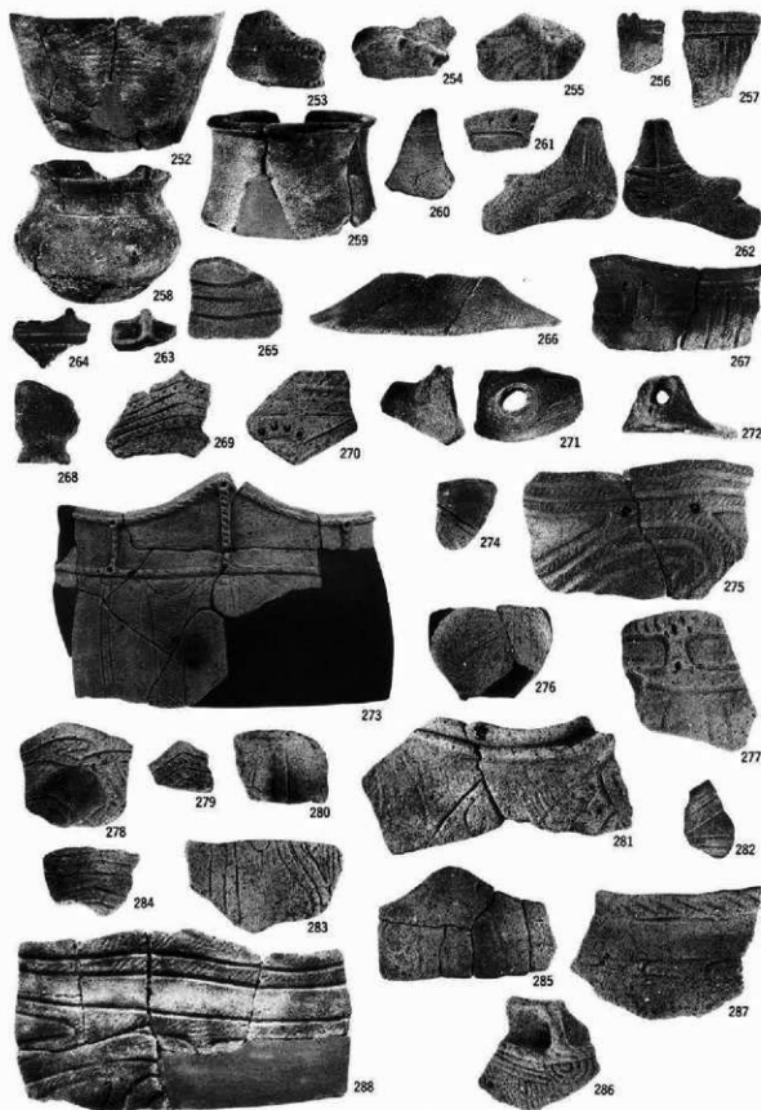
写真図版28 遺構内出土遺物・土器 4



写真図版29 遺構内出土遺物・土器5、遺構外出土遺物・土器1



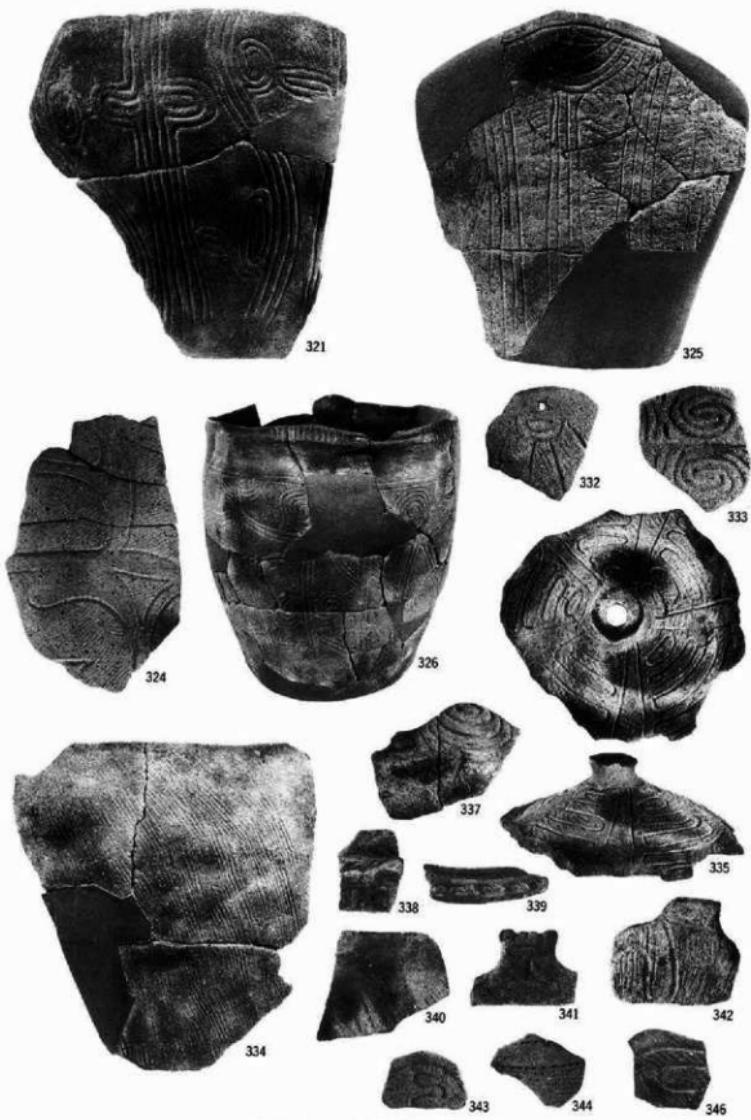
写真図版30 遺構外出土遺物・土器2



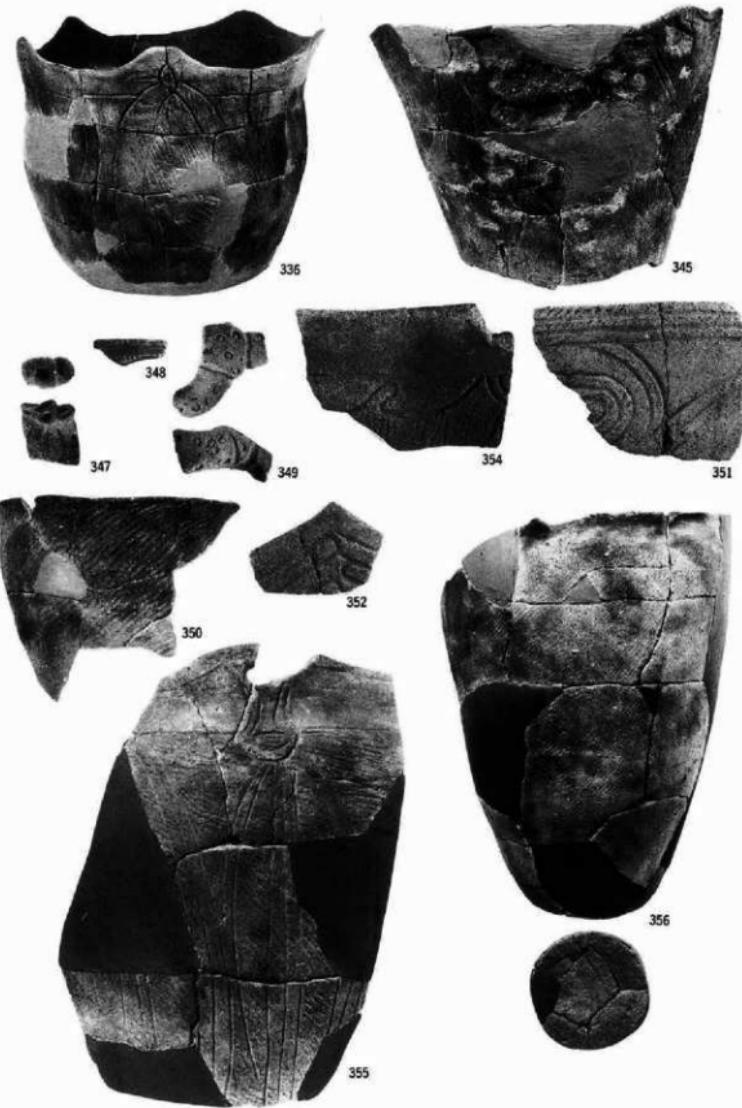
写真図版31 遺構外出土遺物・土器3



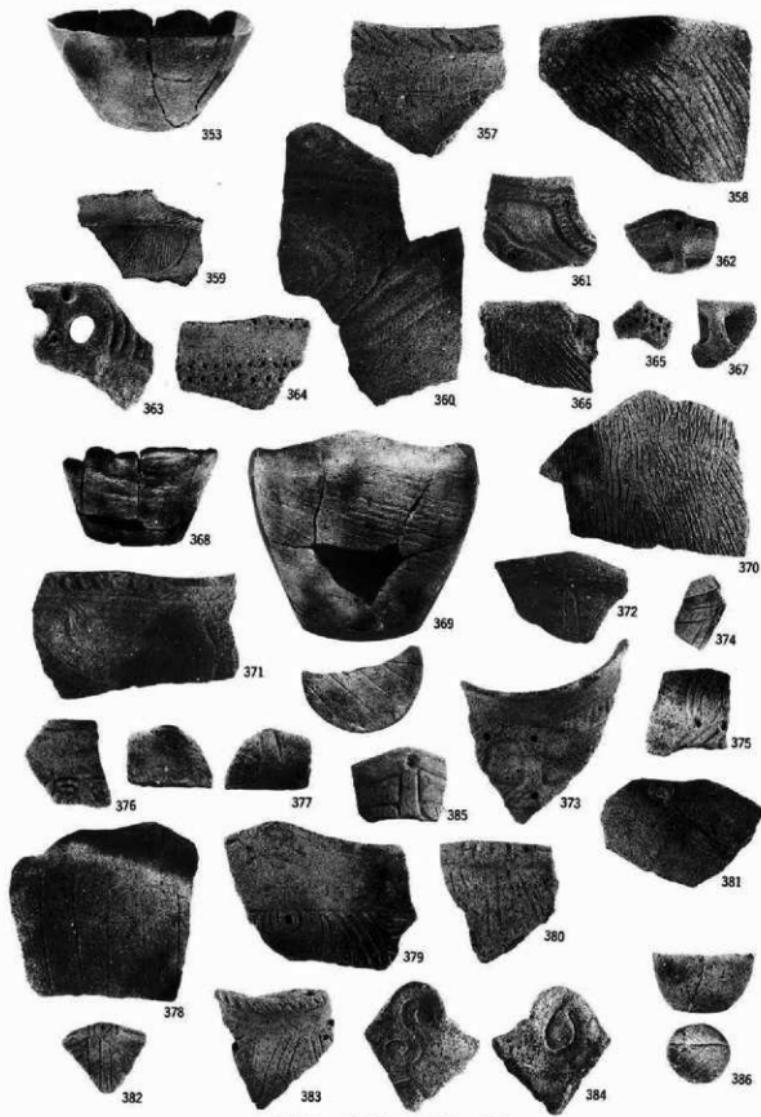
写真図版32 遺構出土遺物・土器 4



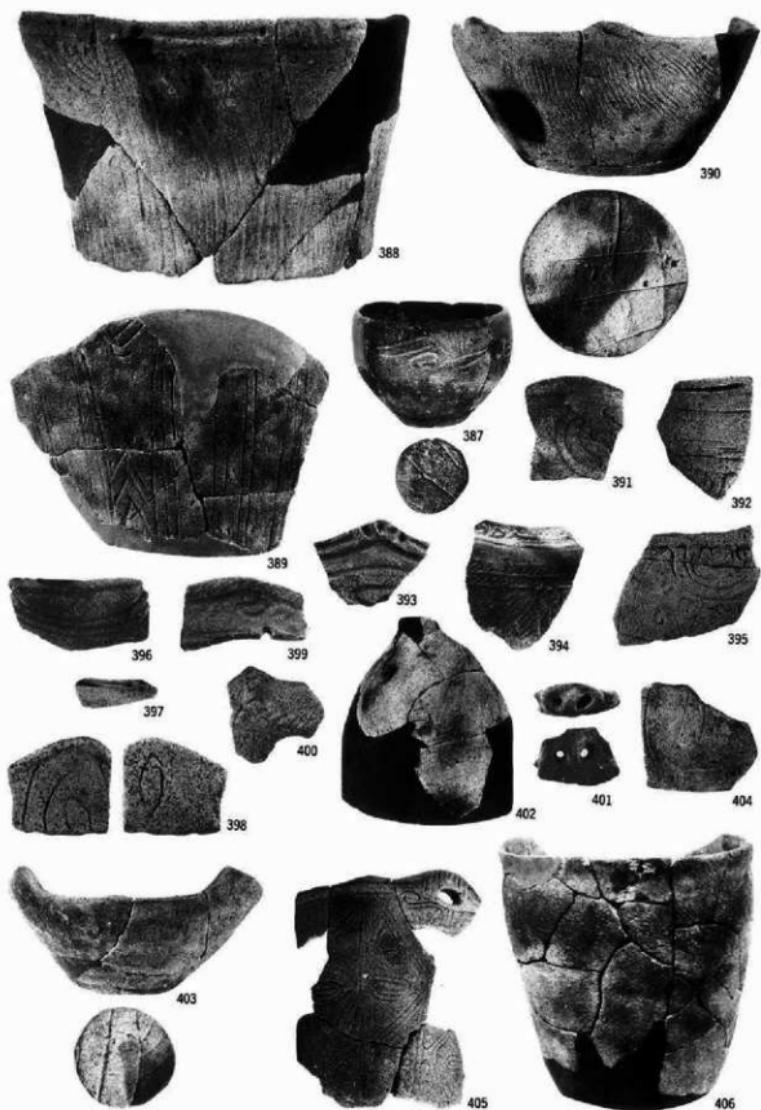
写真図版33 遺構外出土遺物・土器 5



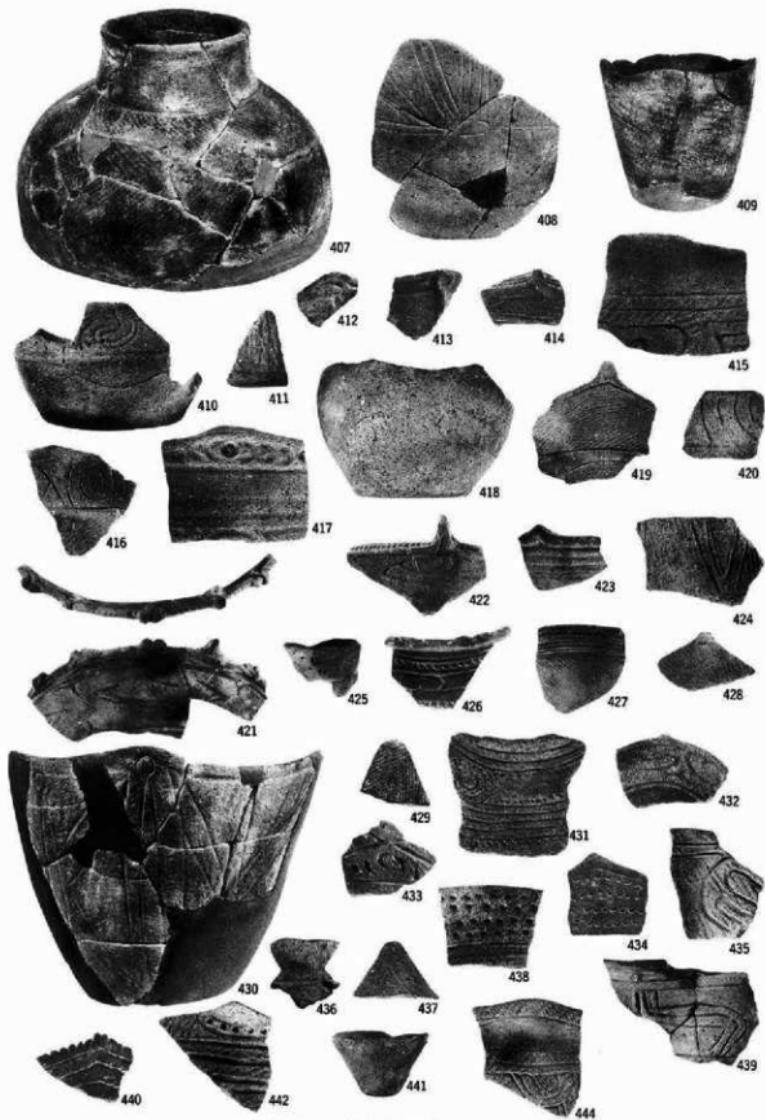
写真図版34 遺構出土遺物・土器 6



写真図版35 遺構外出土遺物・土器 7



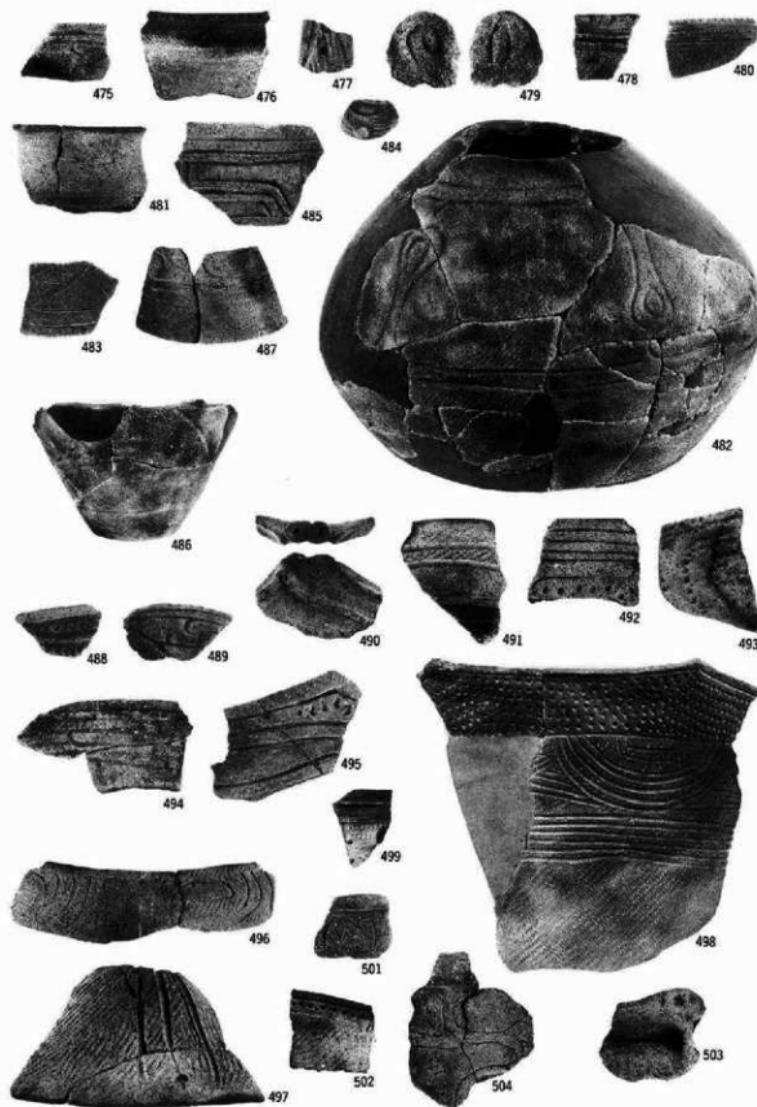
写真図版36 遺構外出土遺物・土器 8



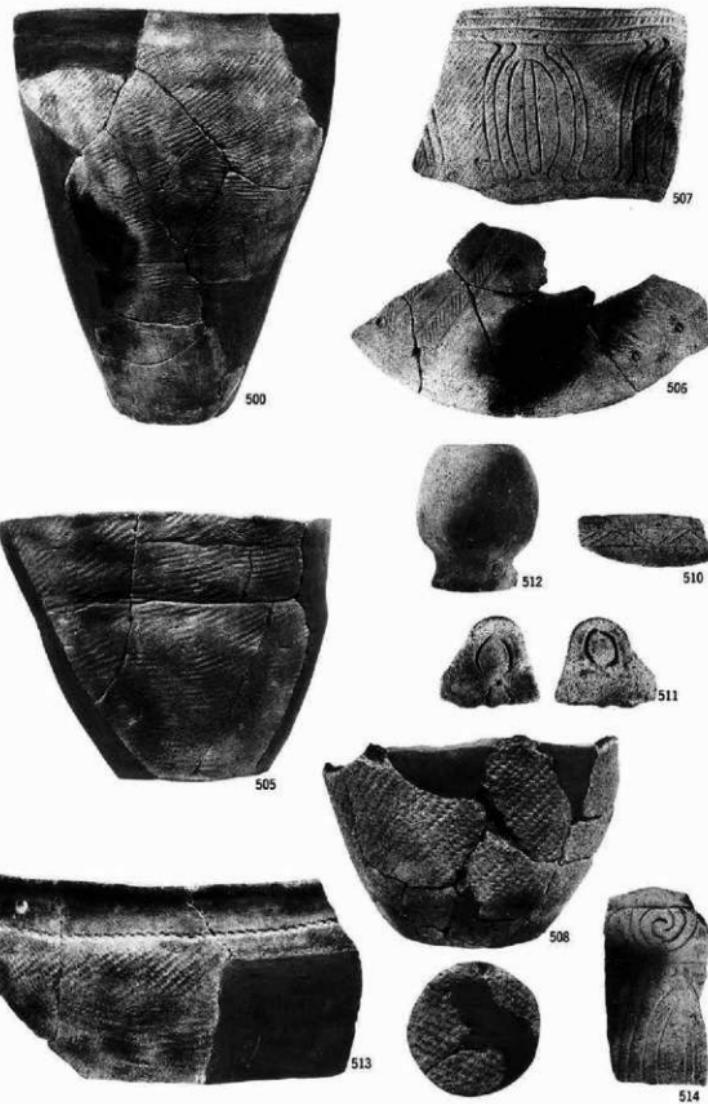
写真図版37 遺構出土遺物・土器 9



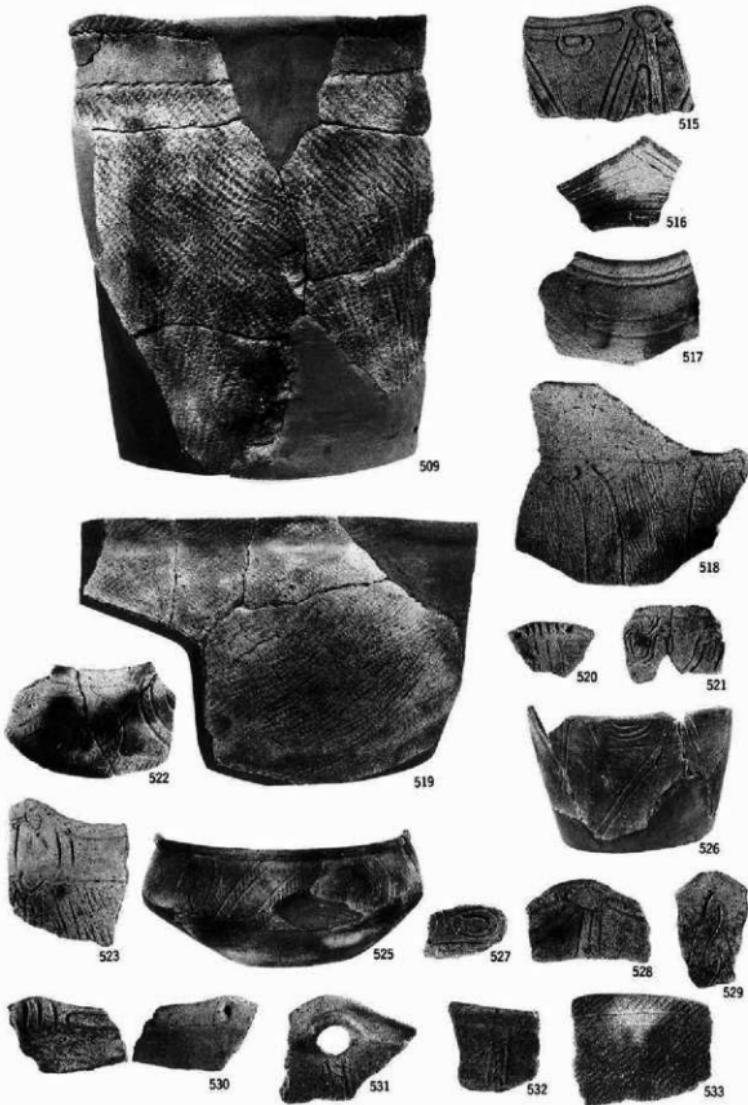
写真図版38 造構外出土遺物・土器10



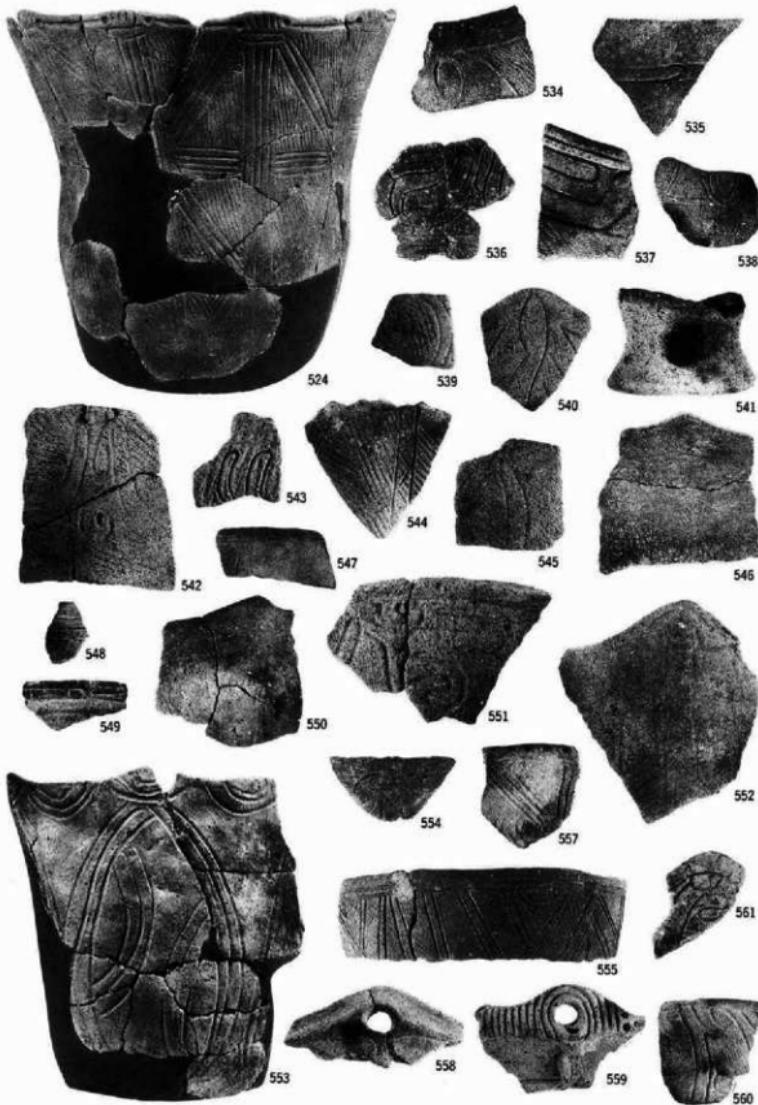
写真図版39 遺構外出土遺物・土器11



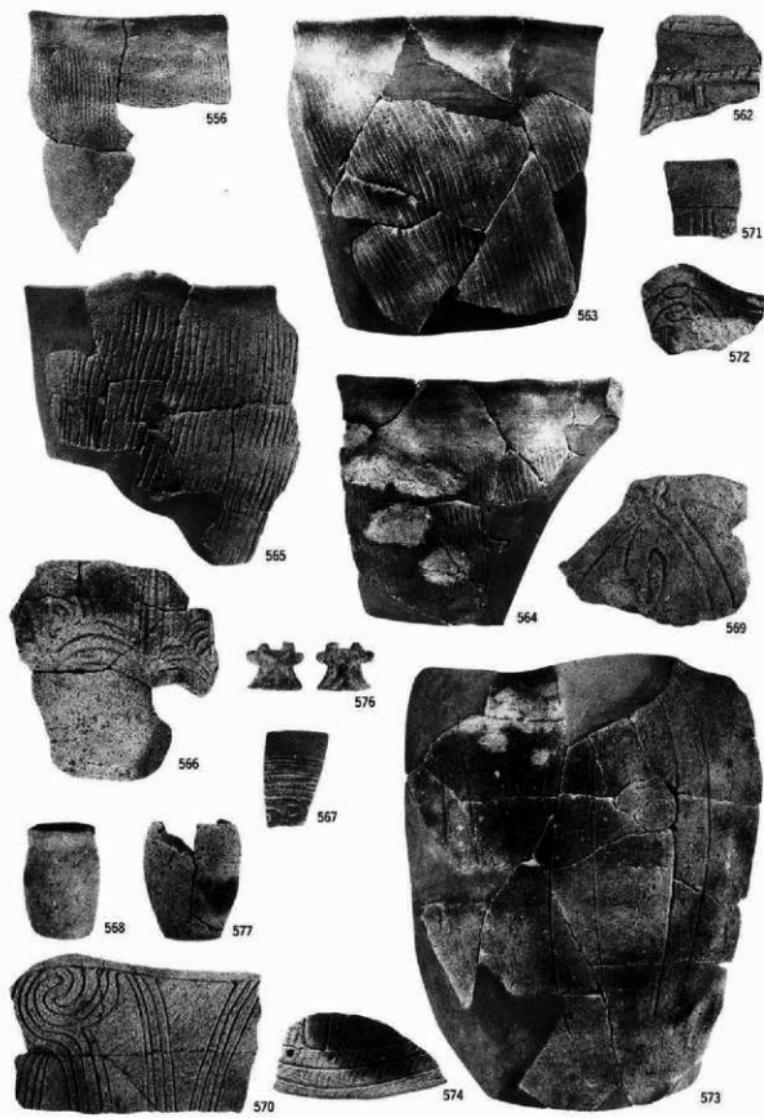
写真図版40 遺構外出土遺物・土器12



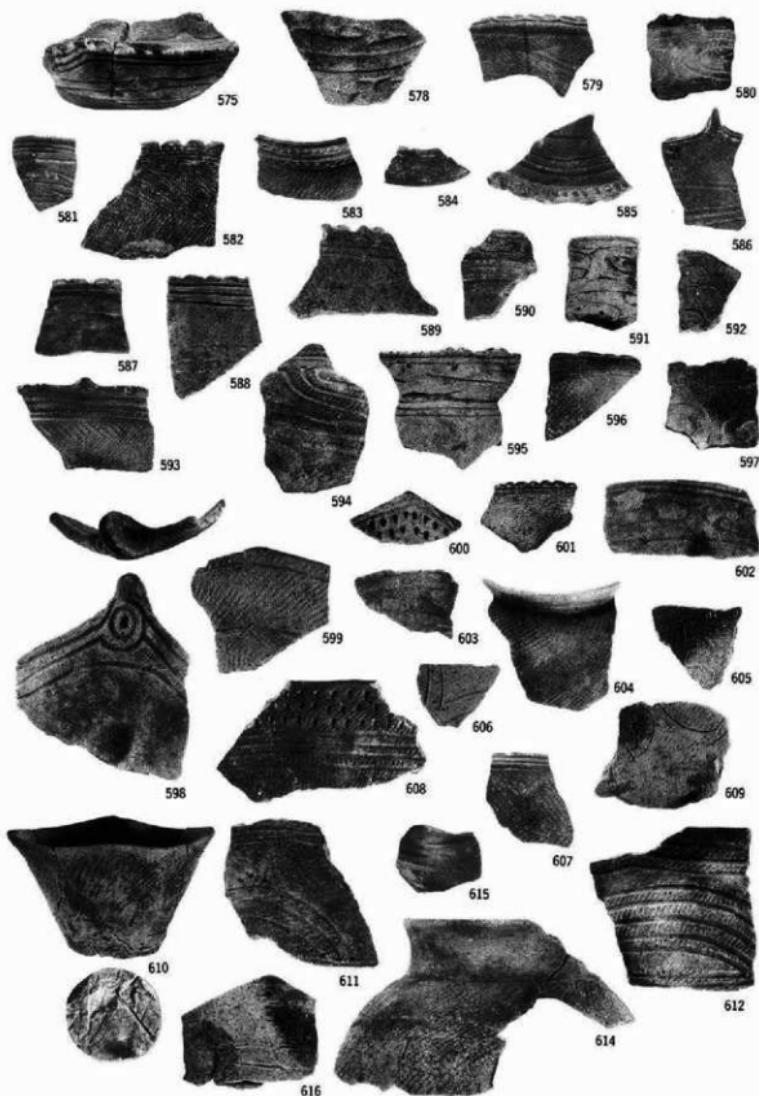
写真図版41 遺構外出土遺物・土器13



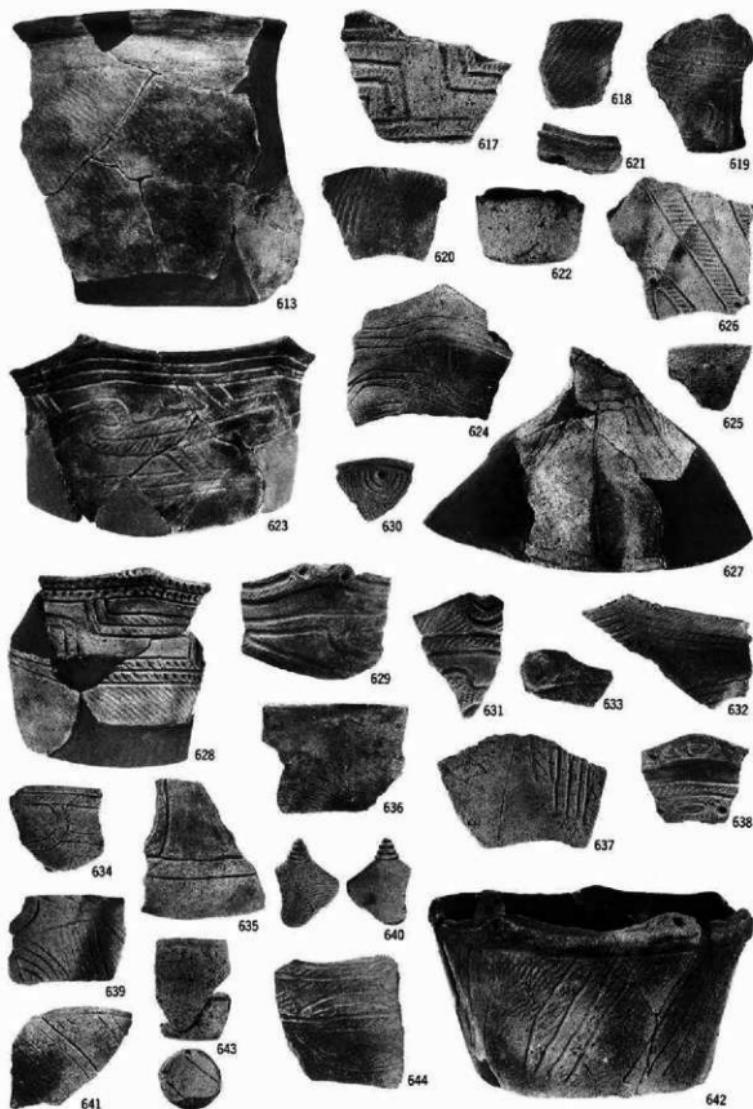
写真図版42 遺構外出土遺物・土器14



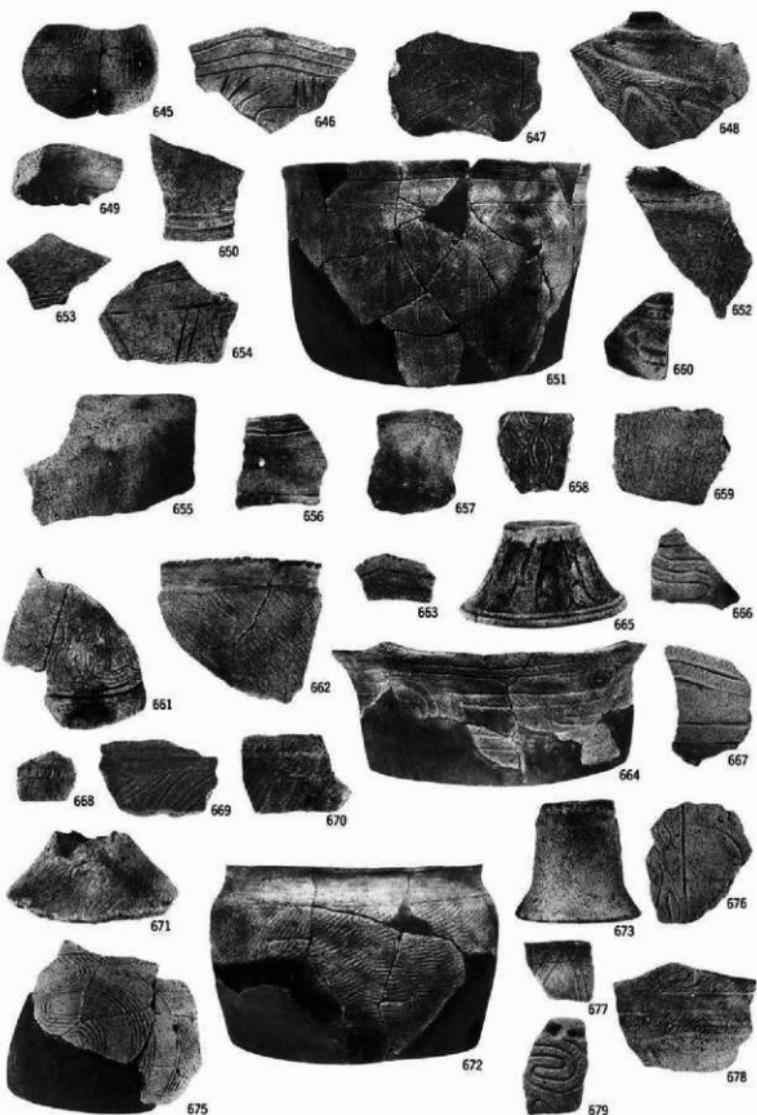
写真図版43 遺構外出土遺物・土器15



写真図版44 遺構外出土遺物・土器16



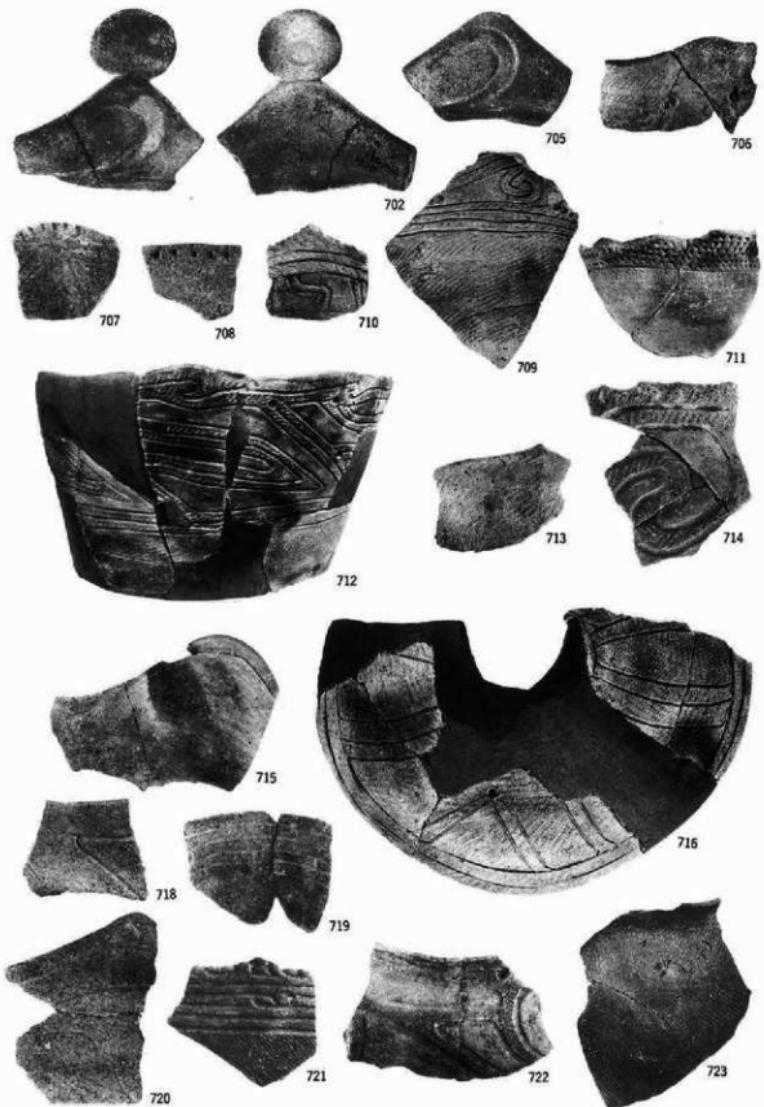
写真図版45 遺構外出土遺物・土器17



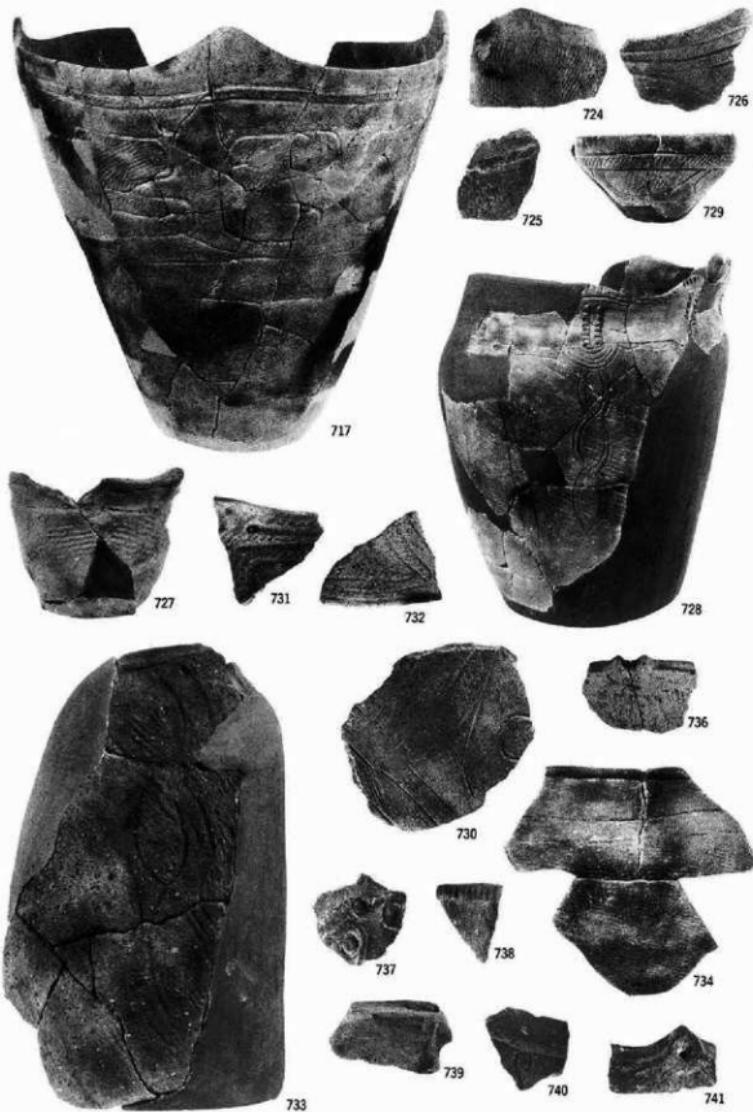
写真図版46 遺構外出土遺物・土器18



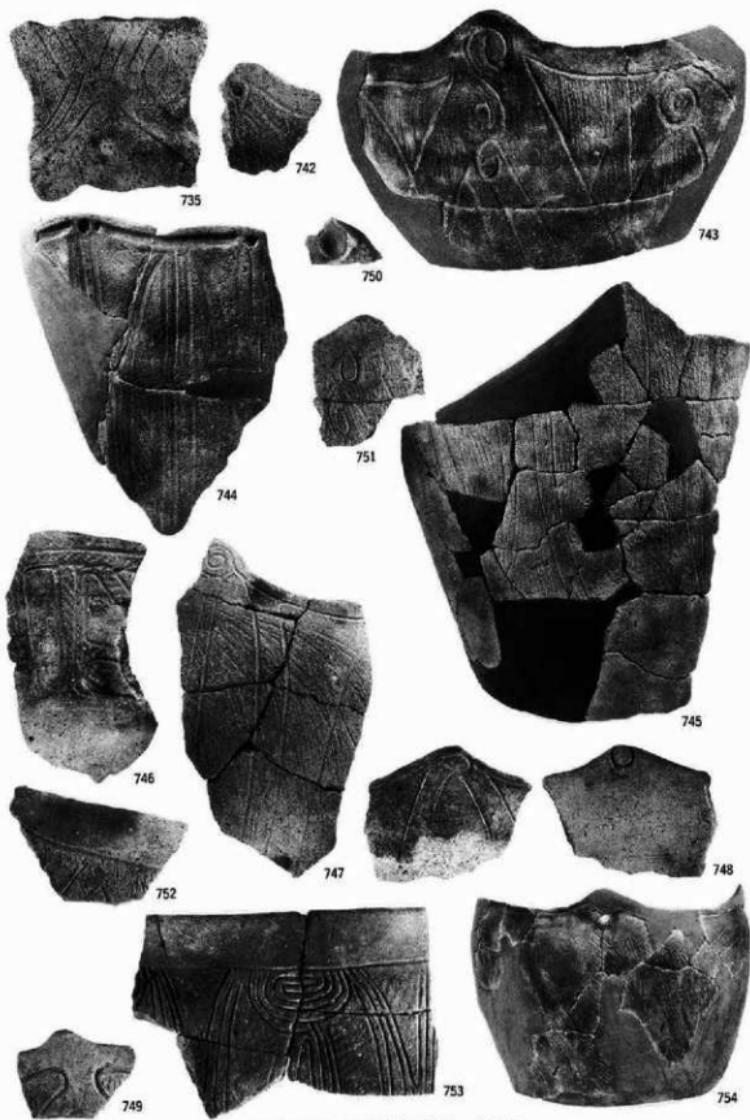
写真図版47 遺構外出土遺物・土器19



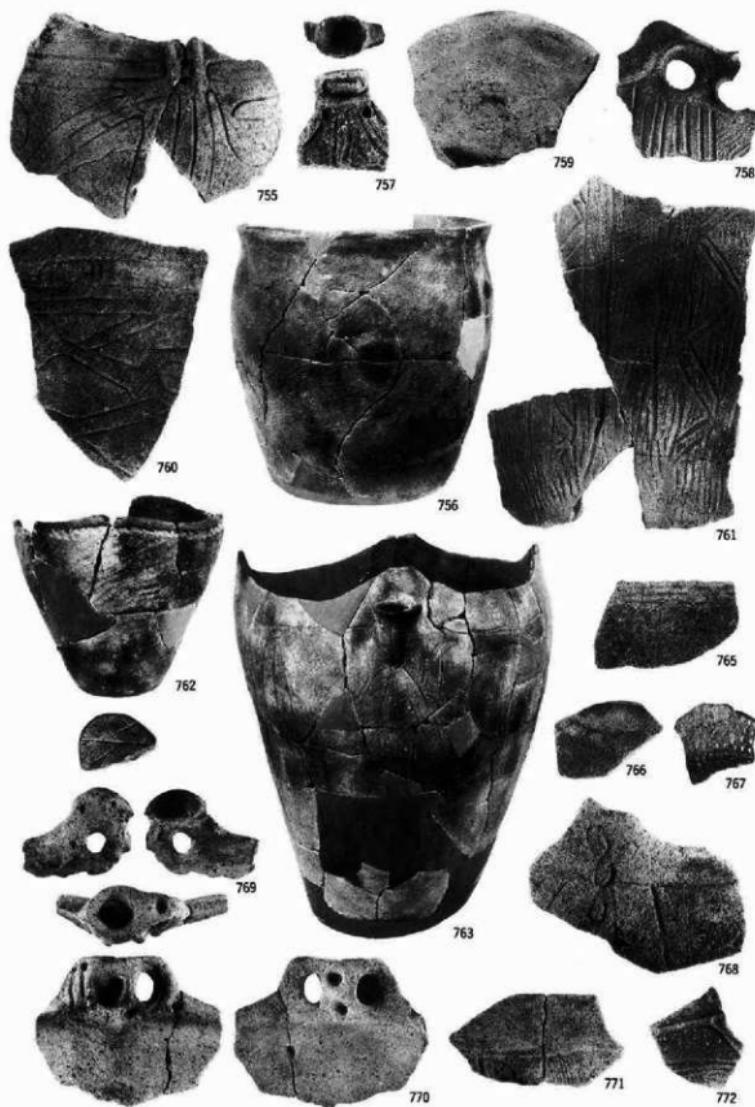
写真図版48 遺構外出土遺物・土器20



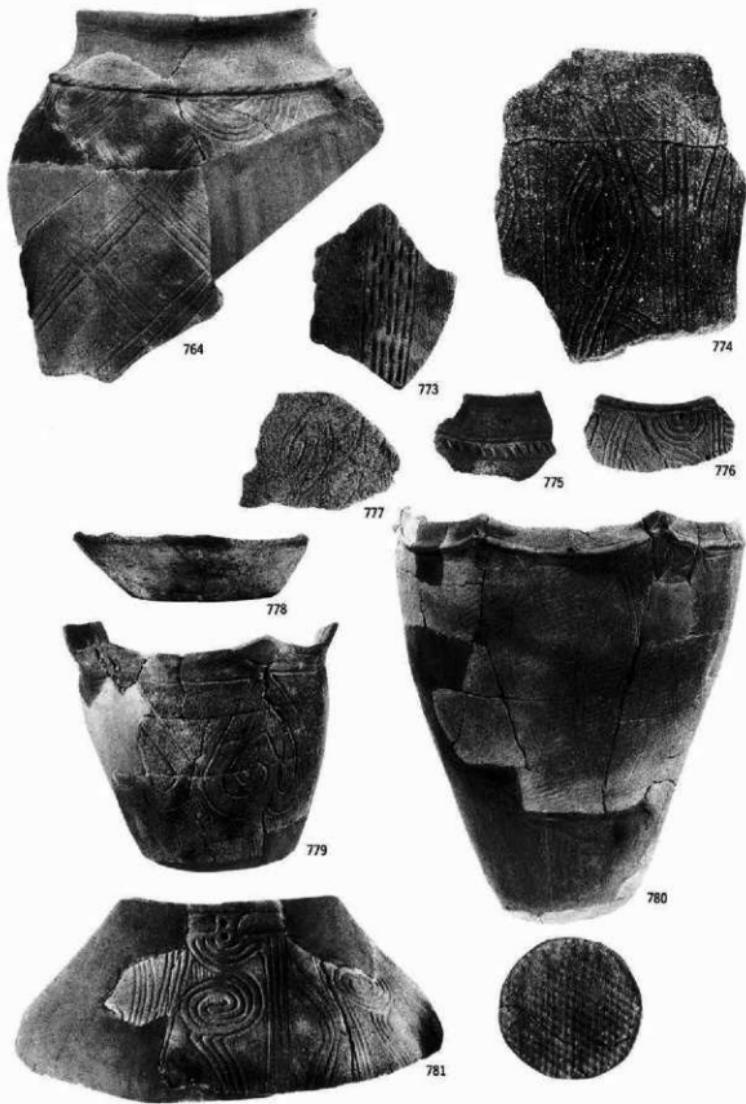
写真図版49 遺構外出土遺物・土器21



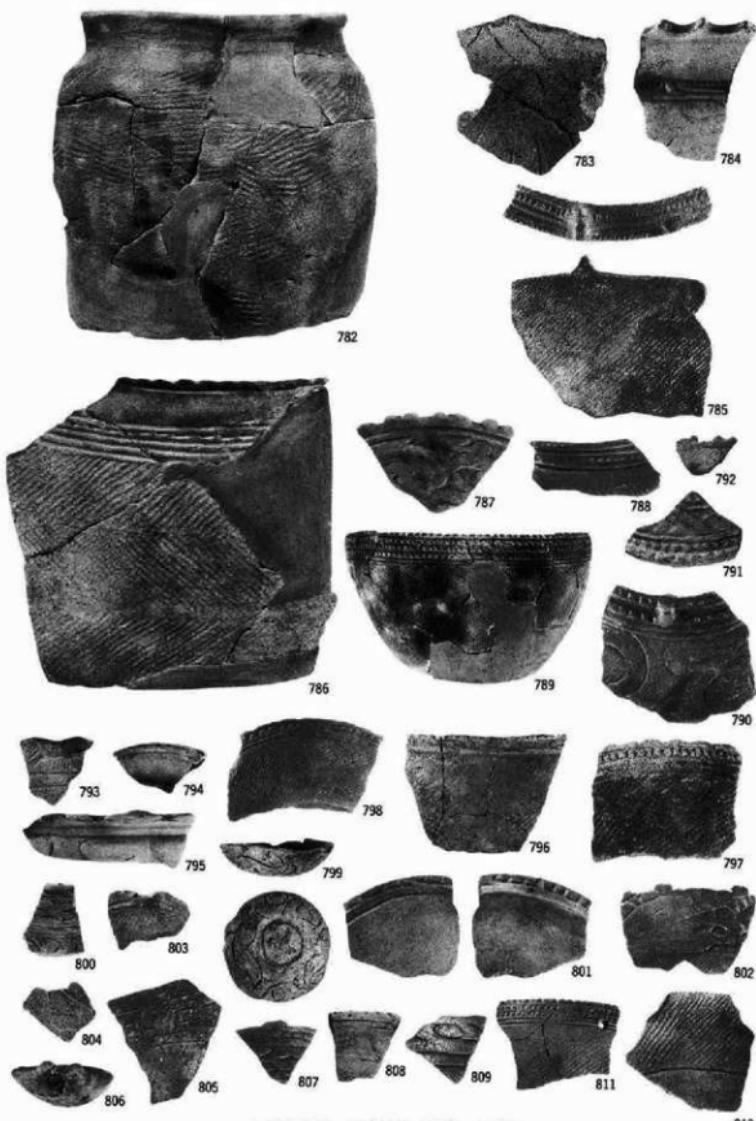
写真図版50 遺構外出土遺物・土器22



写真図版51 遺構外出土遺物・土器23

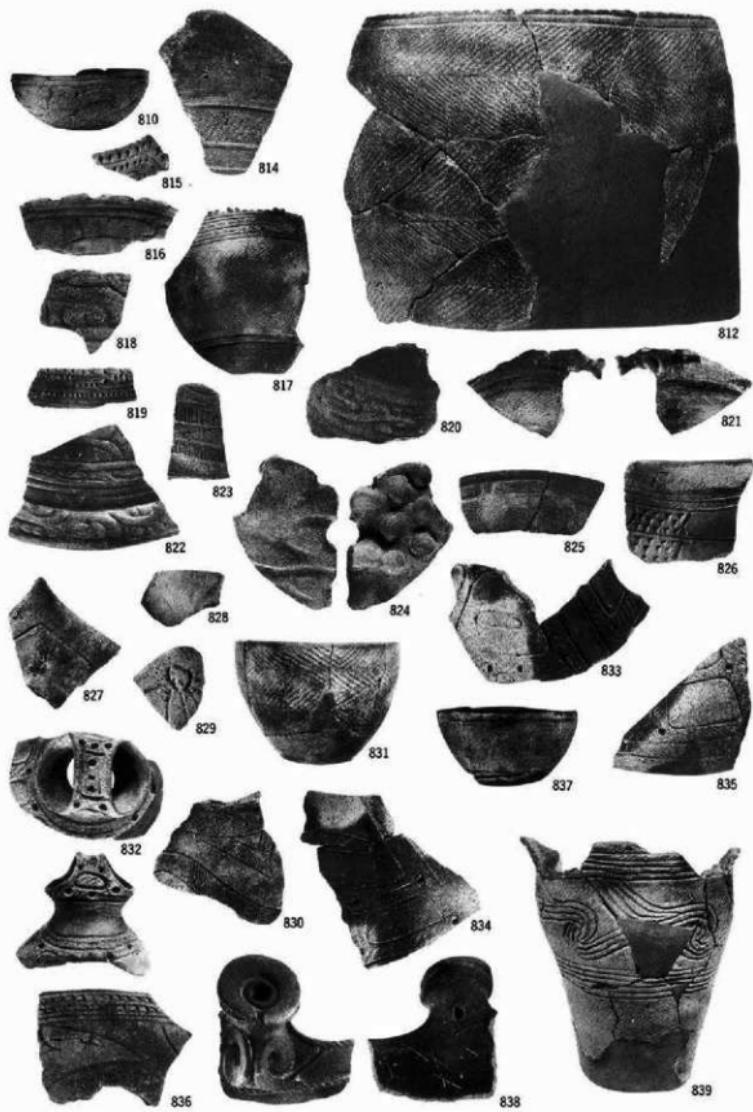


写真図版52 遺構外出土遺物・土器24

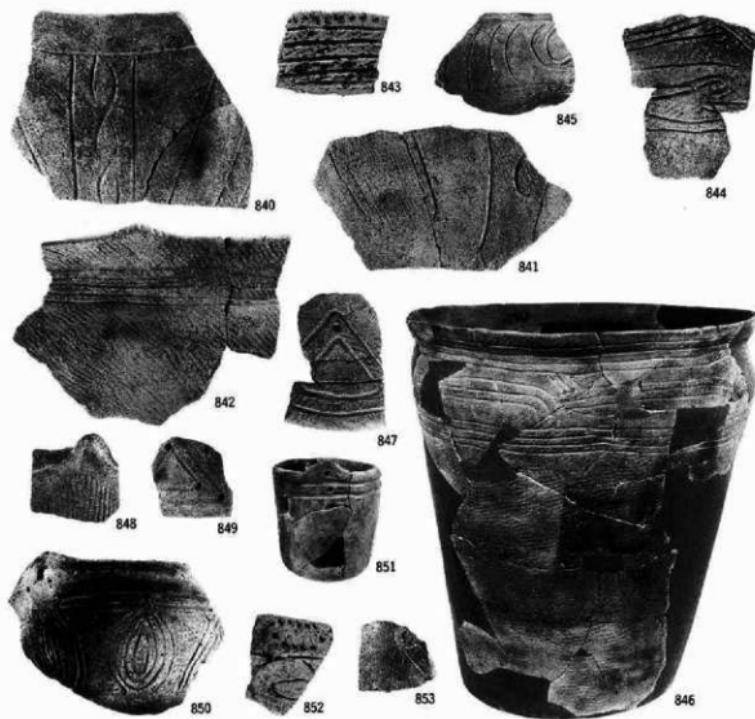


写真図版53 造構外出土遺物・土器25

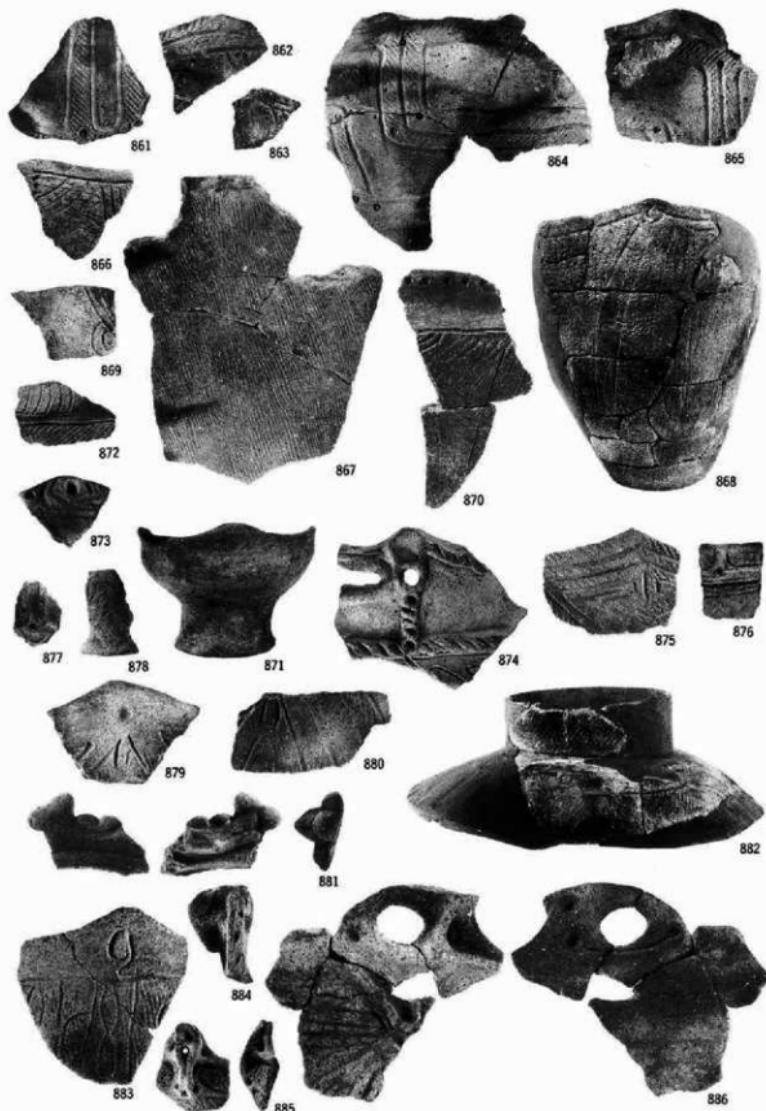
813



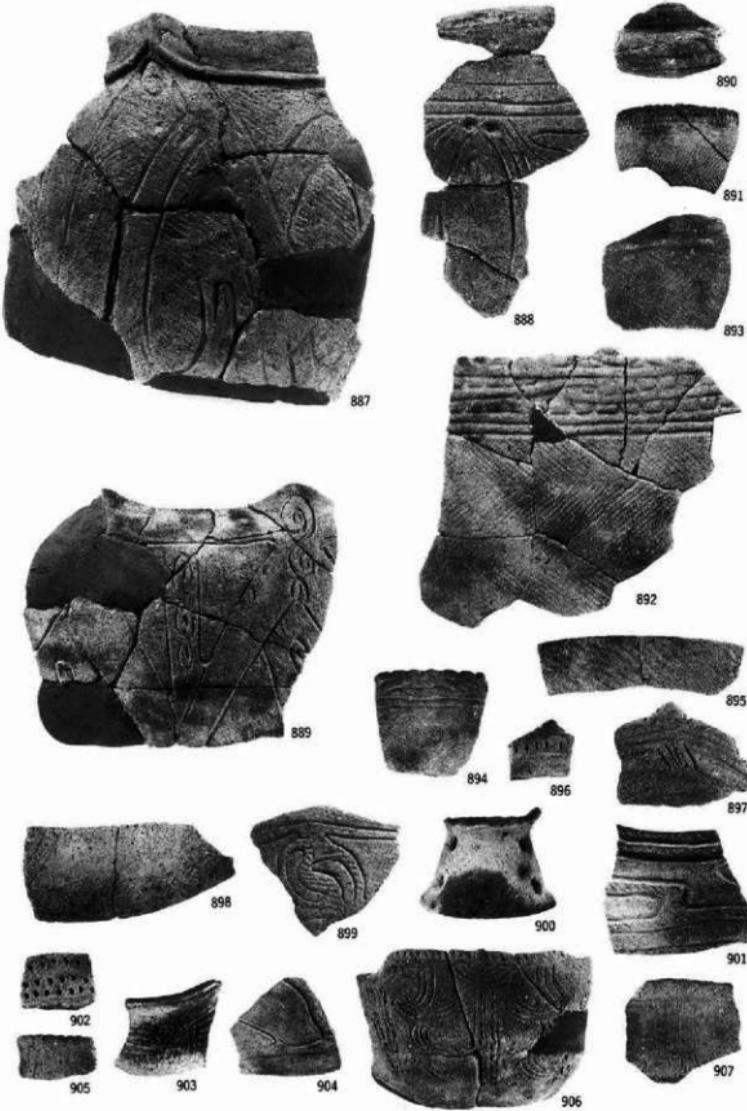
写真図版54 遺構外出土遺物・土器26



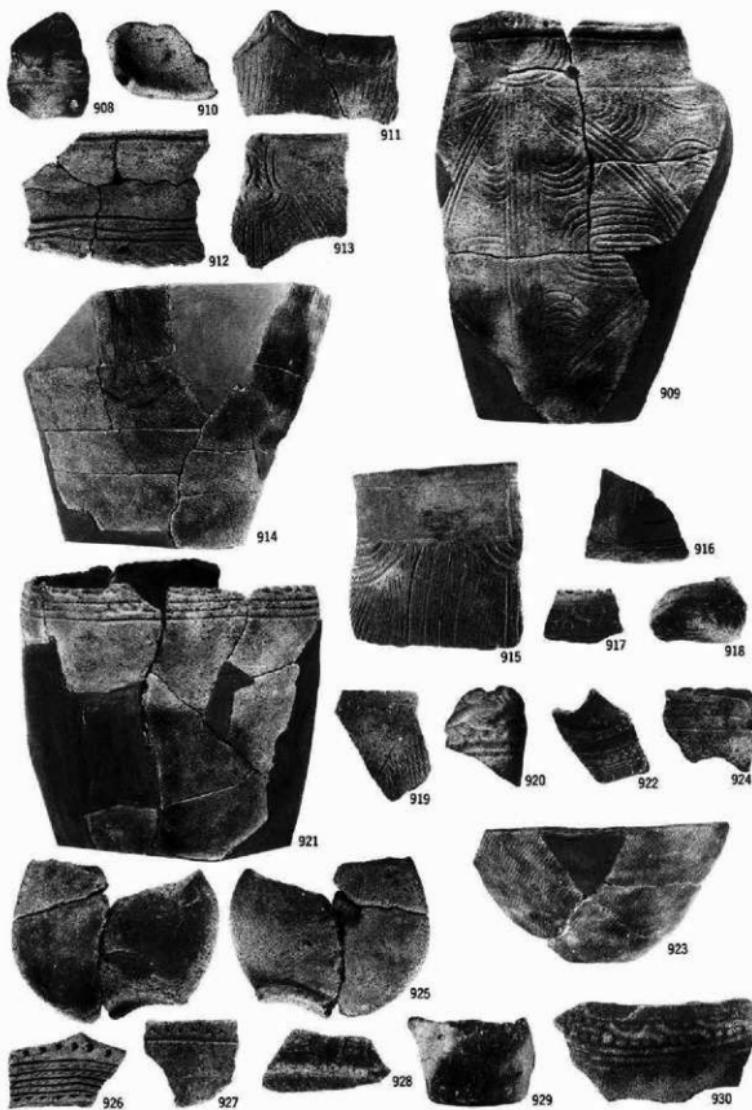
写真図版55 遺構外出土遺物・土器27



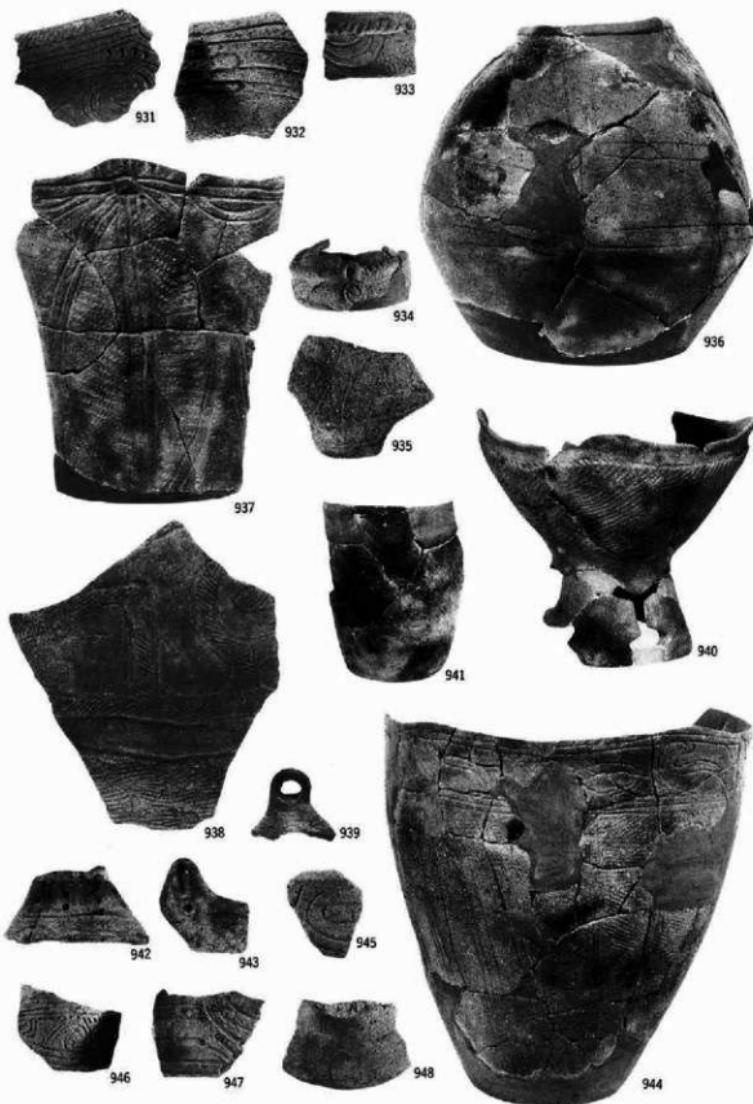
写真図版56 造構外出土遺物・土器28



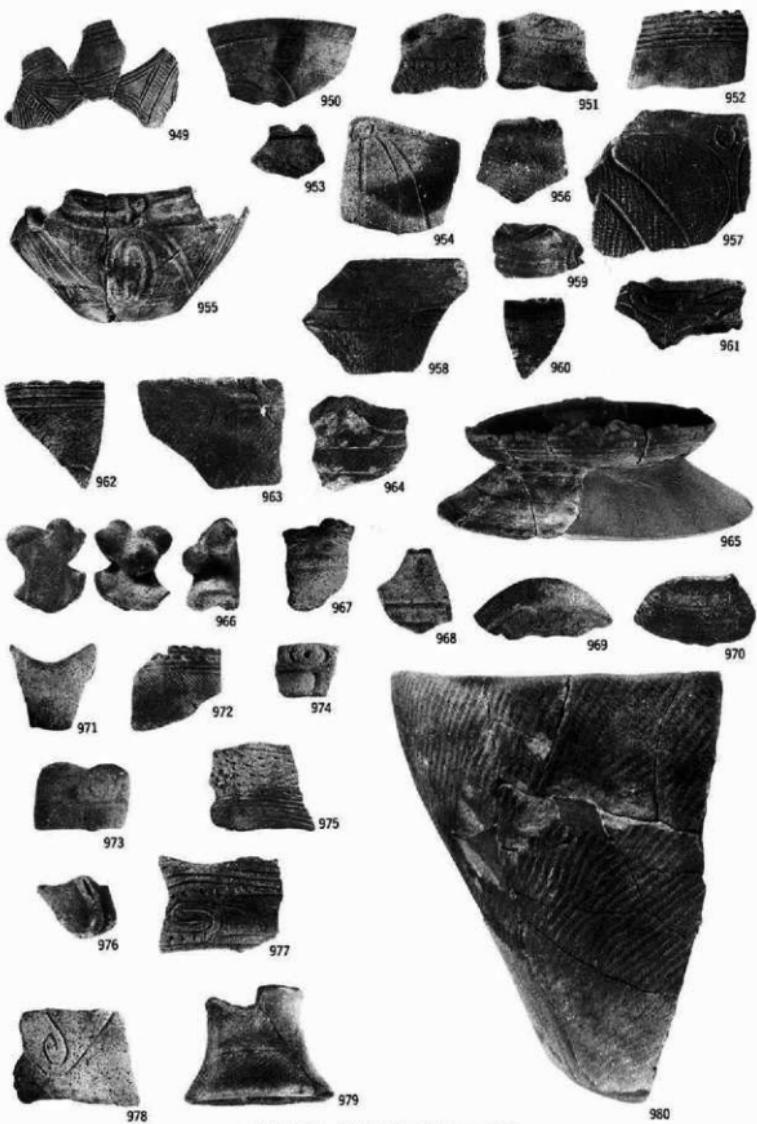
写真図版57 遺構外出土遺物・土器29



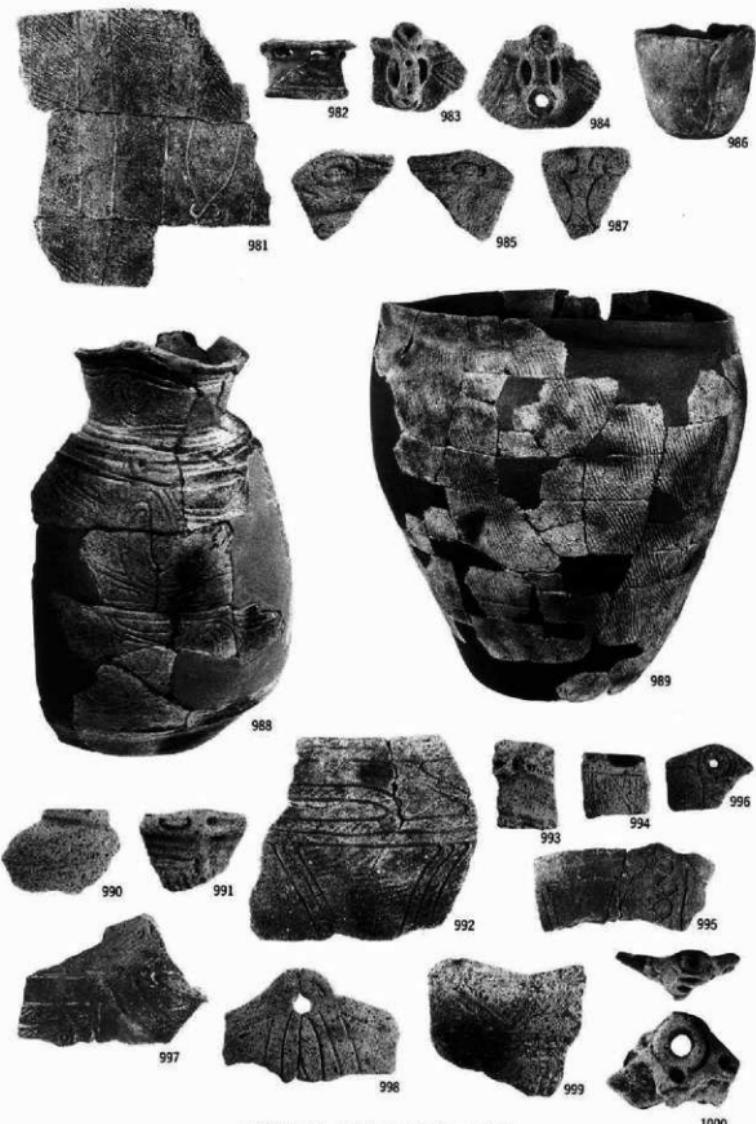
写真図版58 遺構外出土遺物・土器30



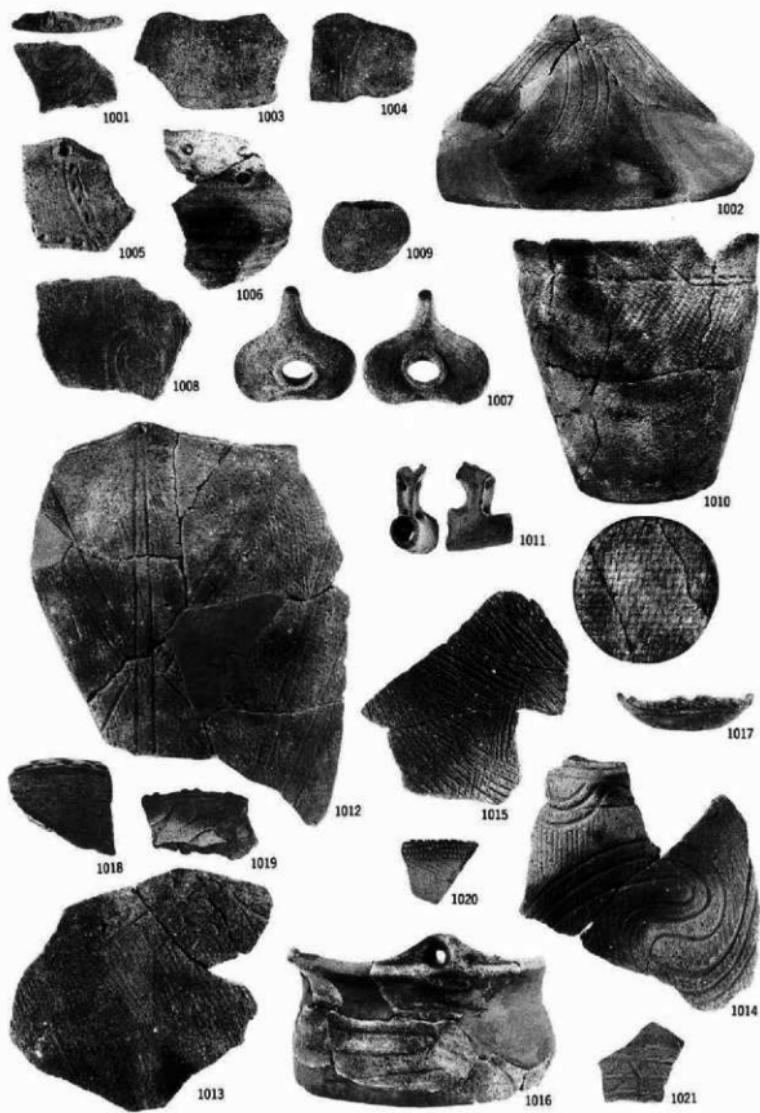
写真図版59 遺構外出土遺物・土器31



写真図版60 造構外出土遺物・土器32



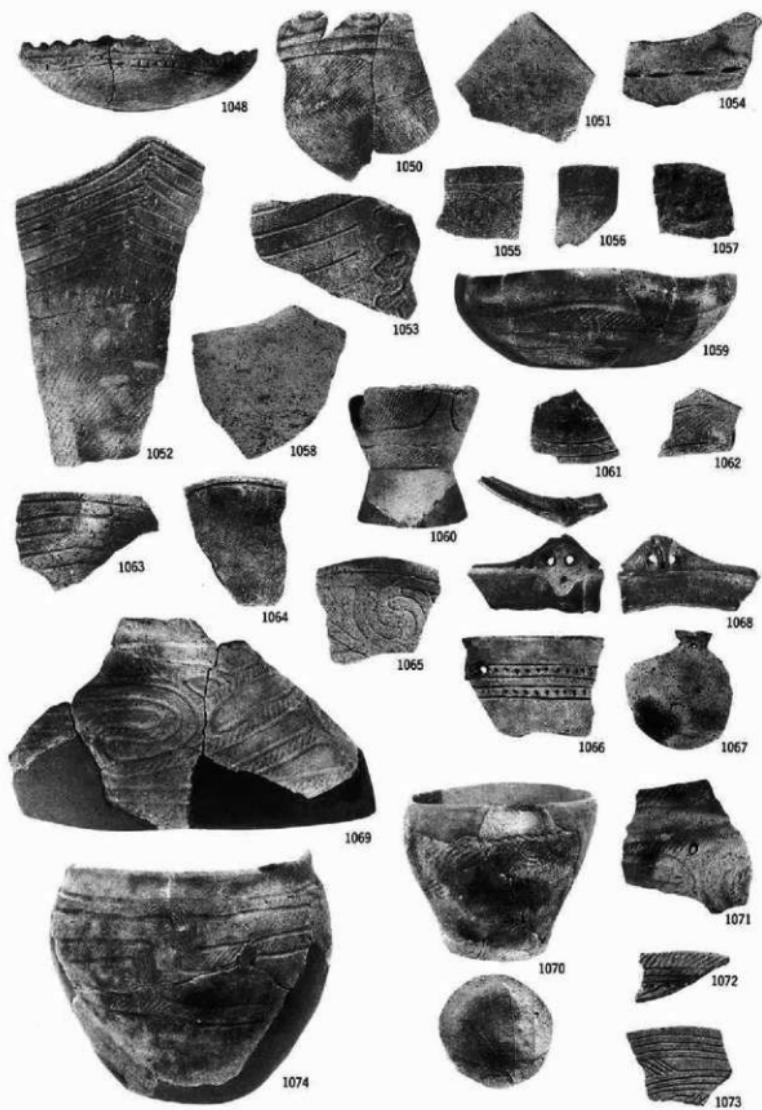
写真図版61 遺構外出土遺物・土器33



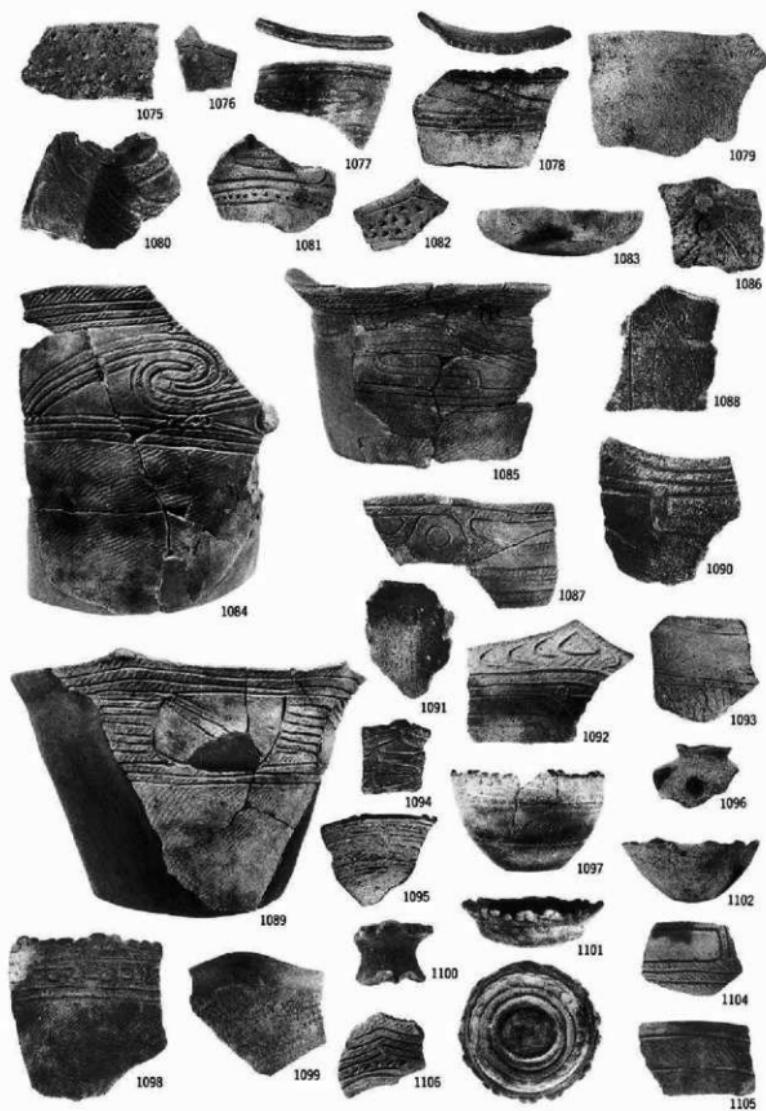
写真図版62 遺構外出土遺物・土器34



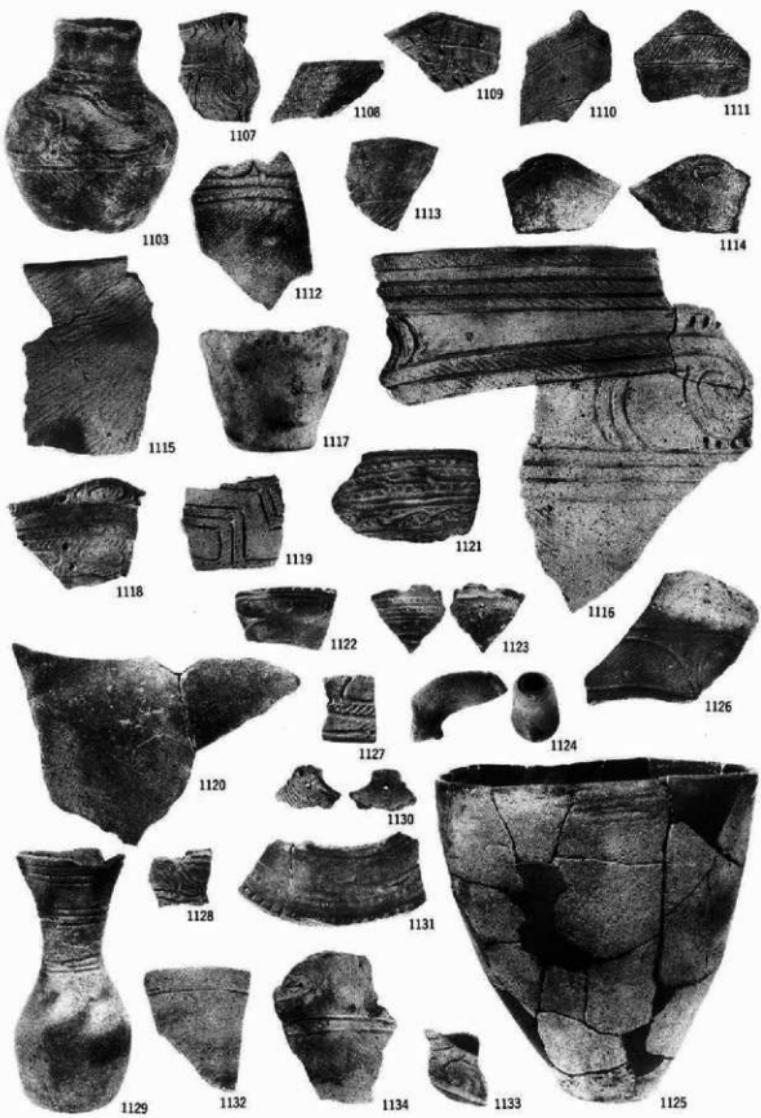
写真図版63 遺構外出土遺物・土器35



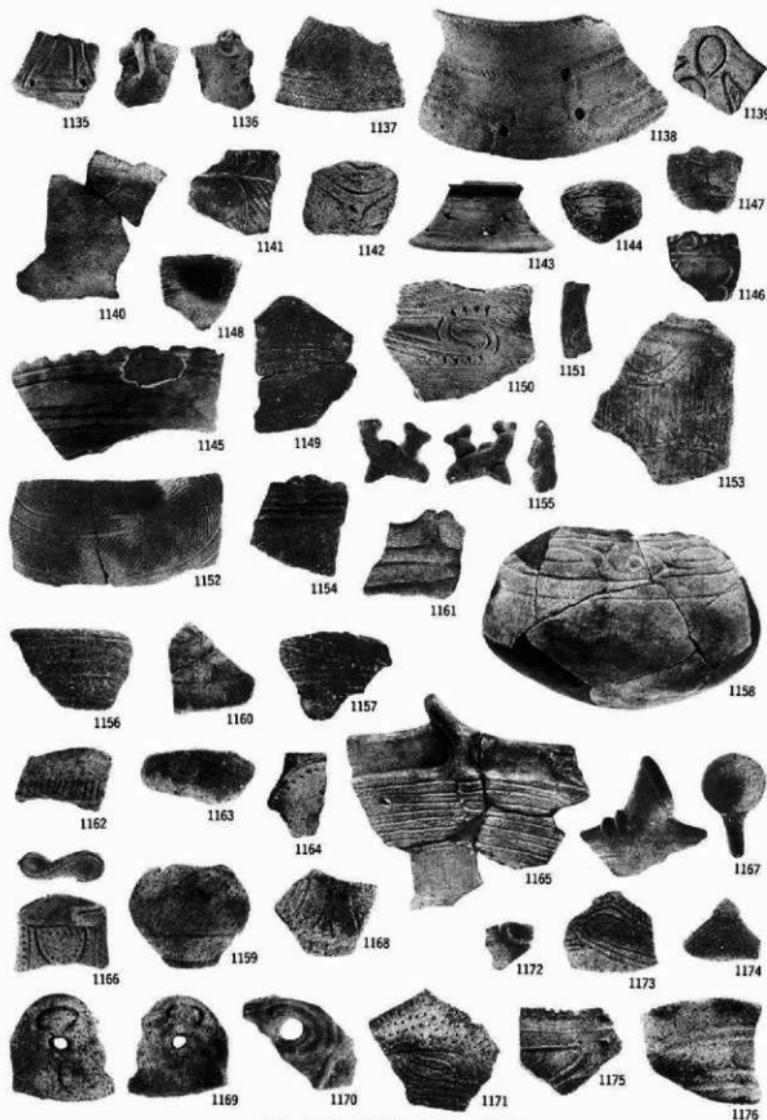
写真図版64 遺構外出土遺物・土器36



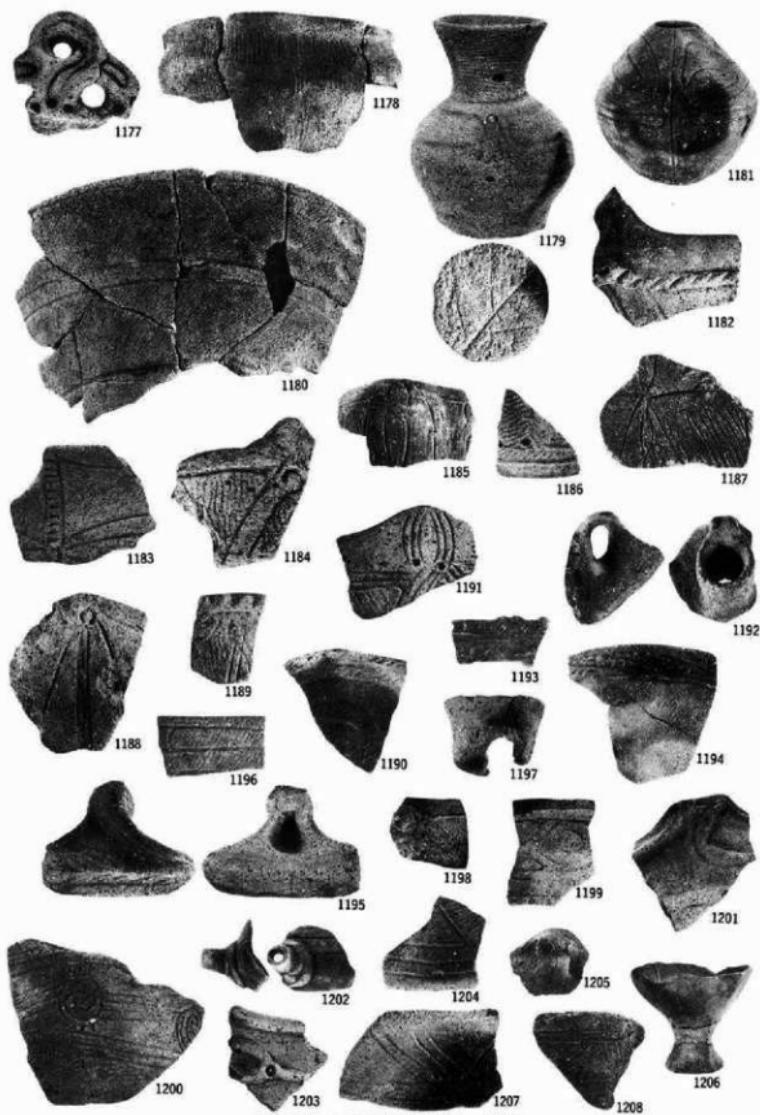
写真図版65 遺構外出土遺物・土器37



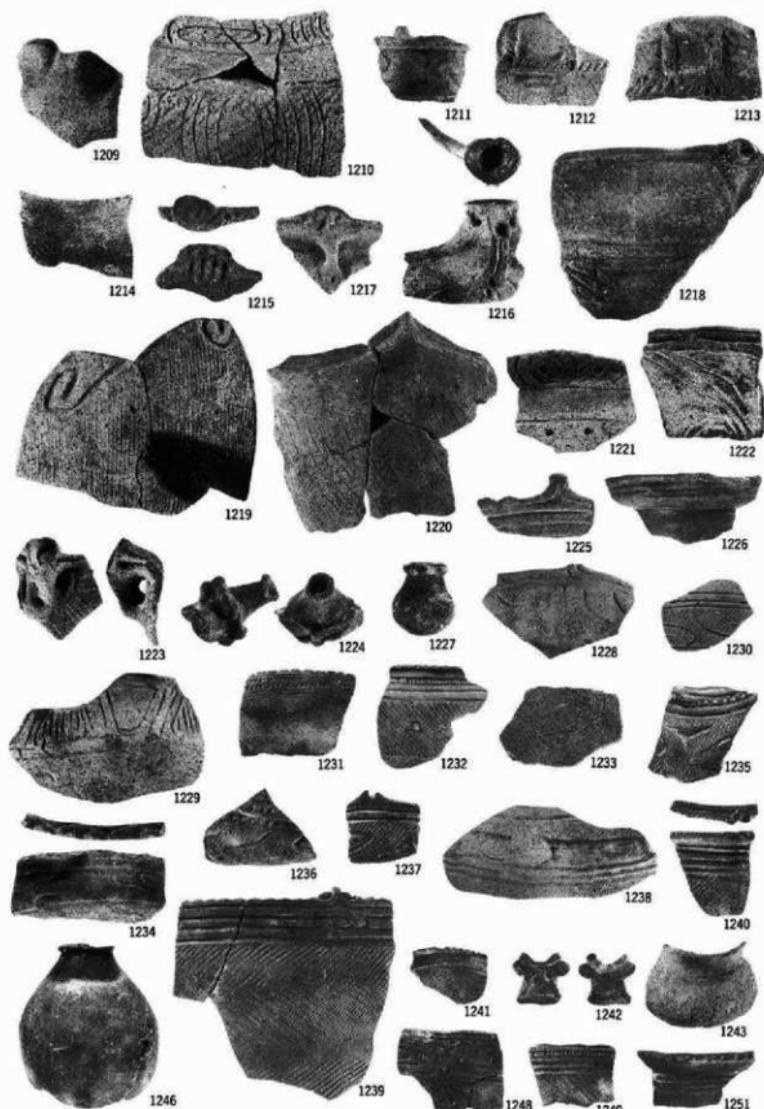
写真図版66 遺構外出土遺物・土器38



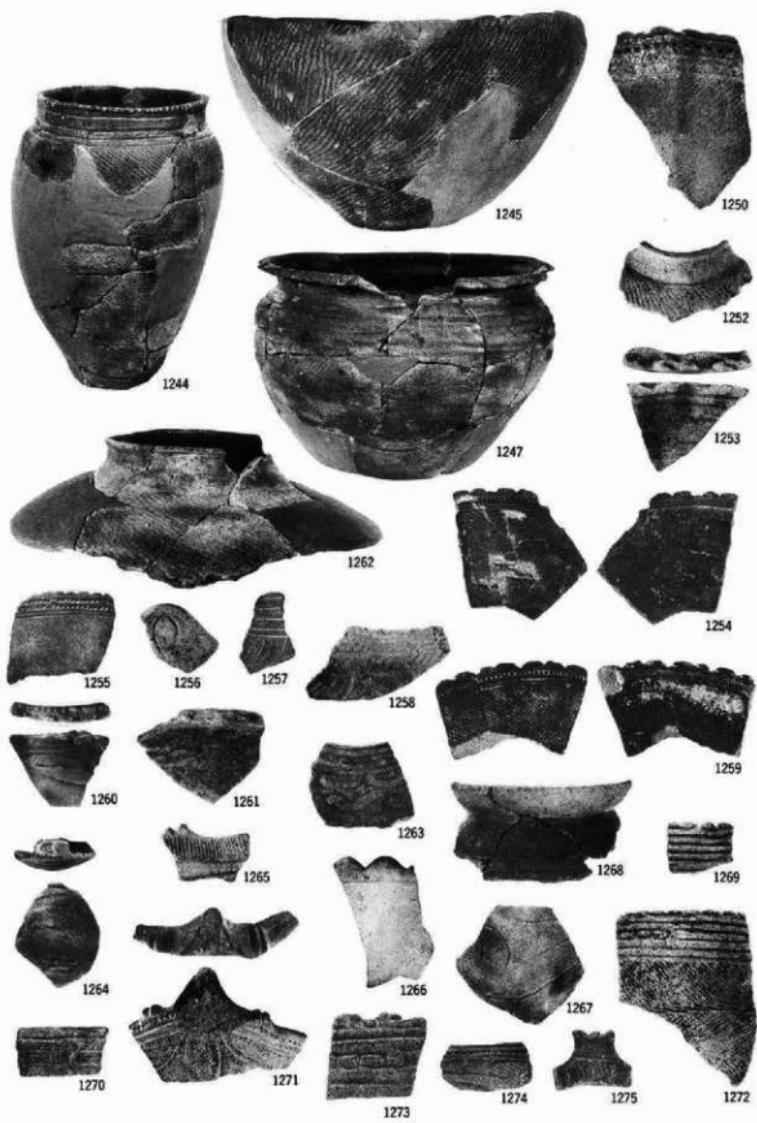
写真図版67 遺構外出土遺物・土器39



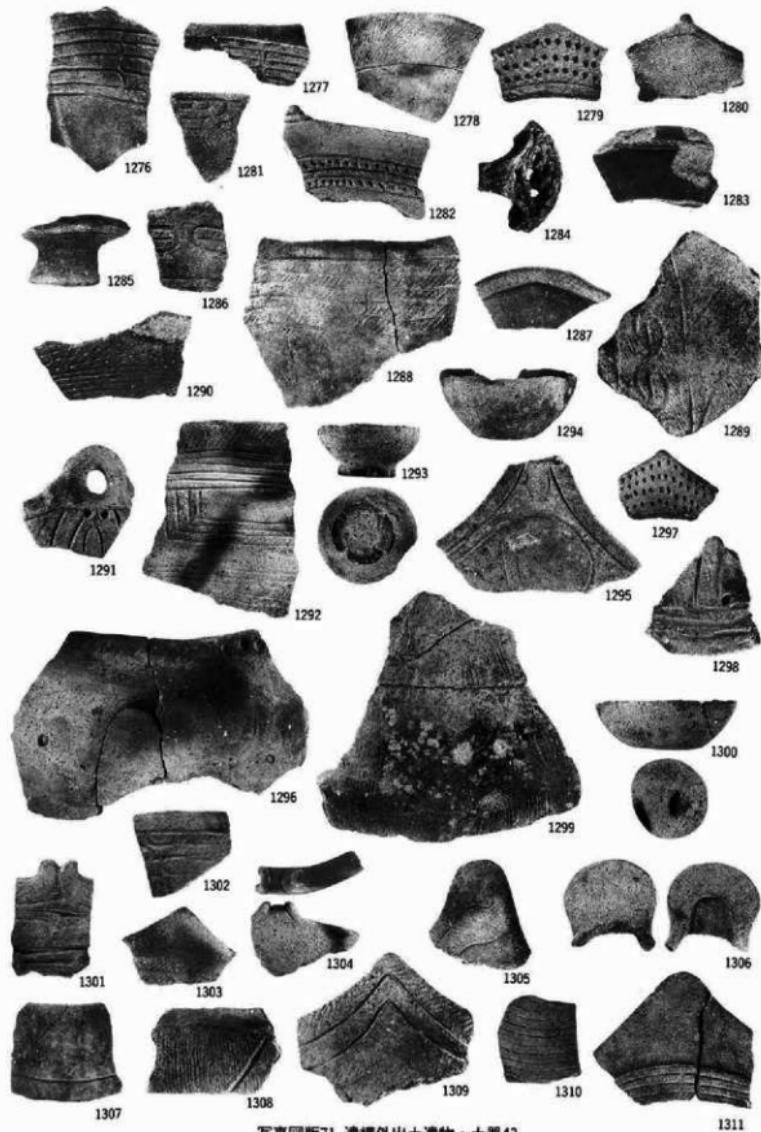
写真図版68 遺構出土土器40



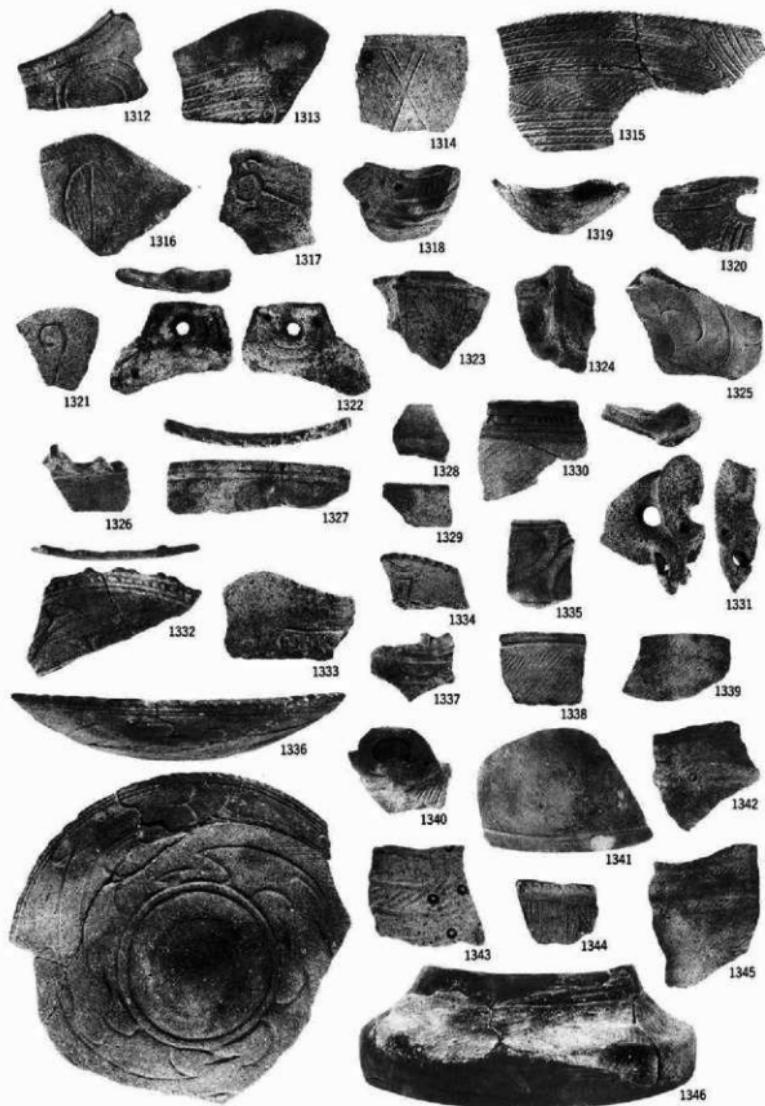
写真図版69 造構外出土遺物・土器41



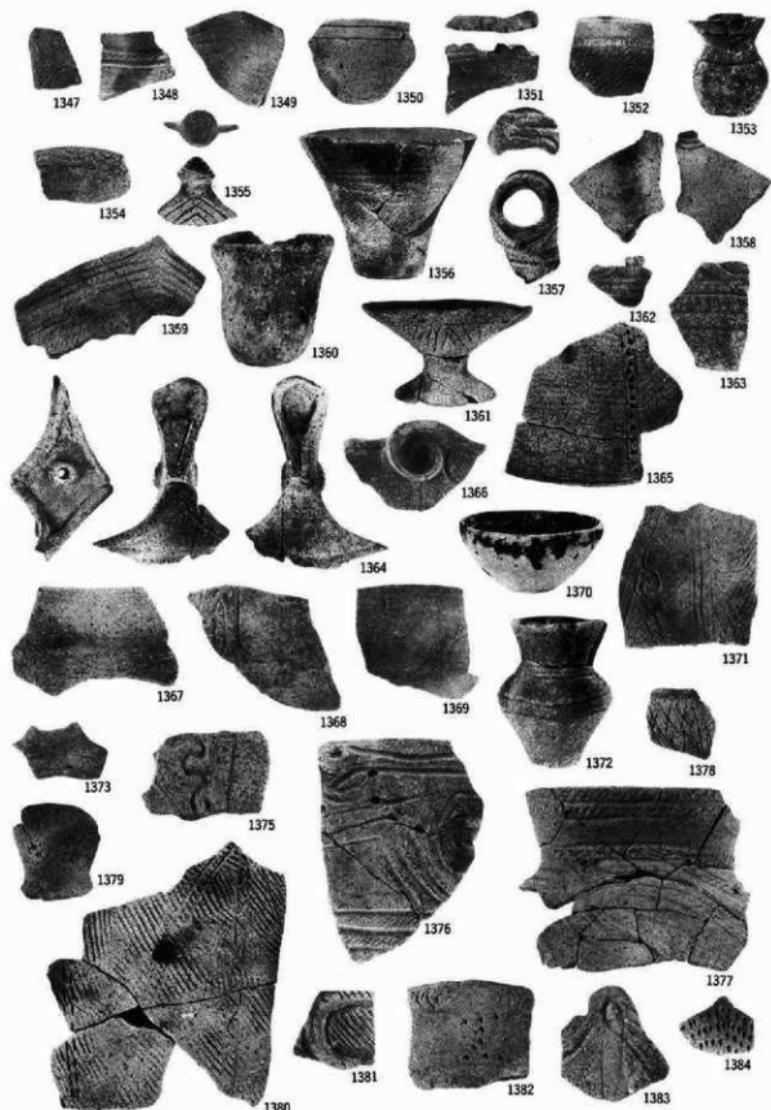
写真図版70 遺構外出土遺物・土器42



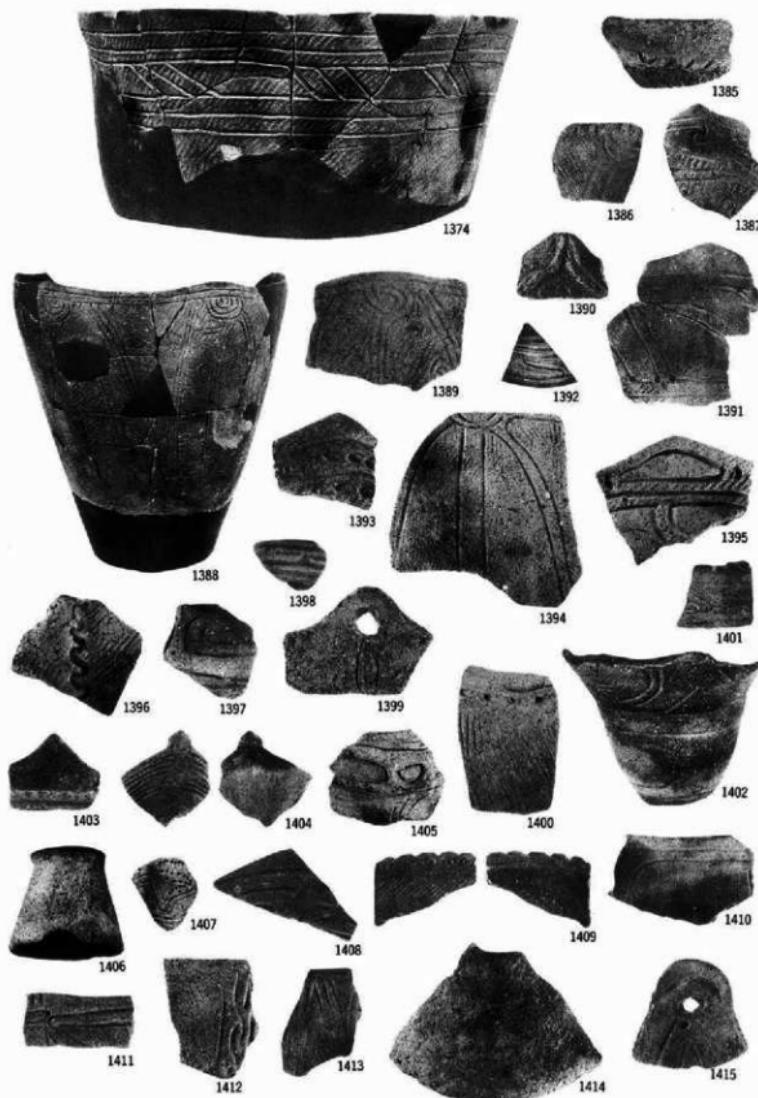
写真図版71 遺構出土土器・土器43



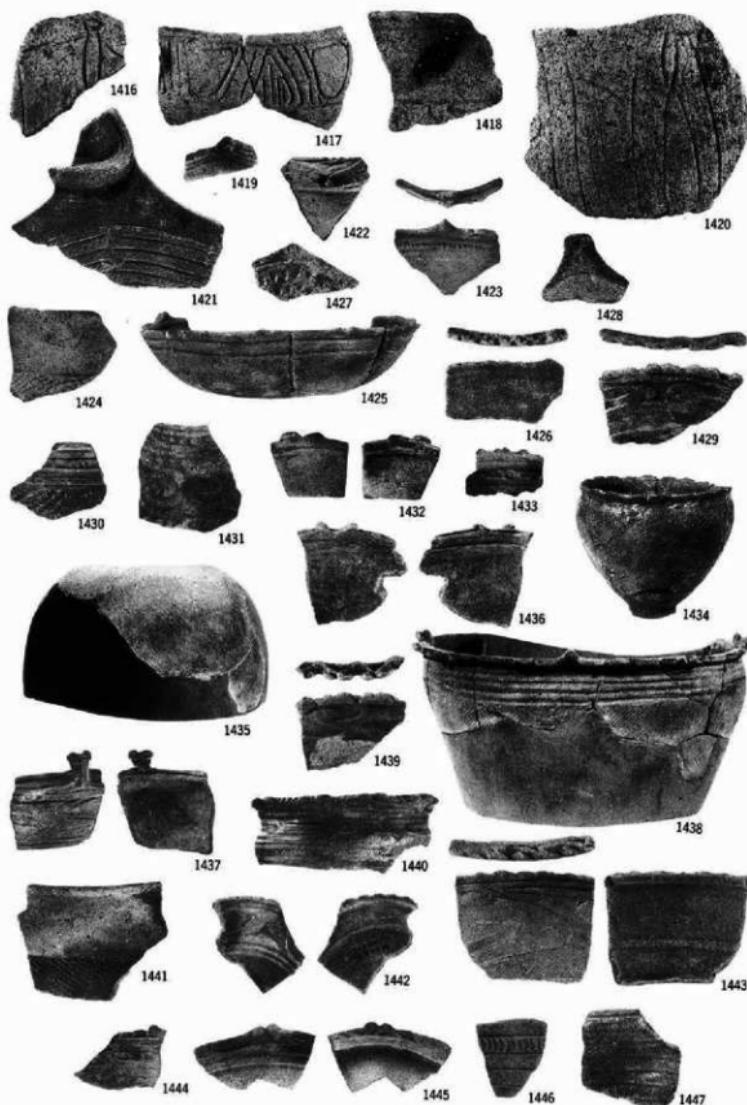
写真図版72 遺構出土遺物・土器44



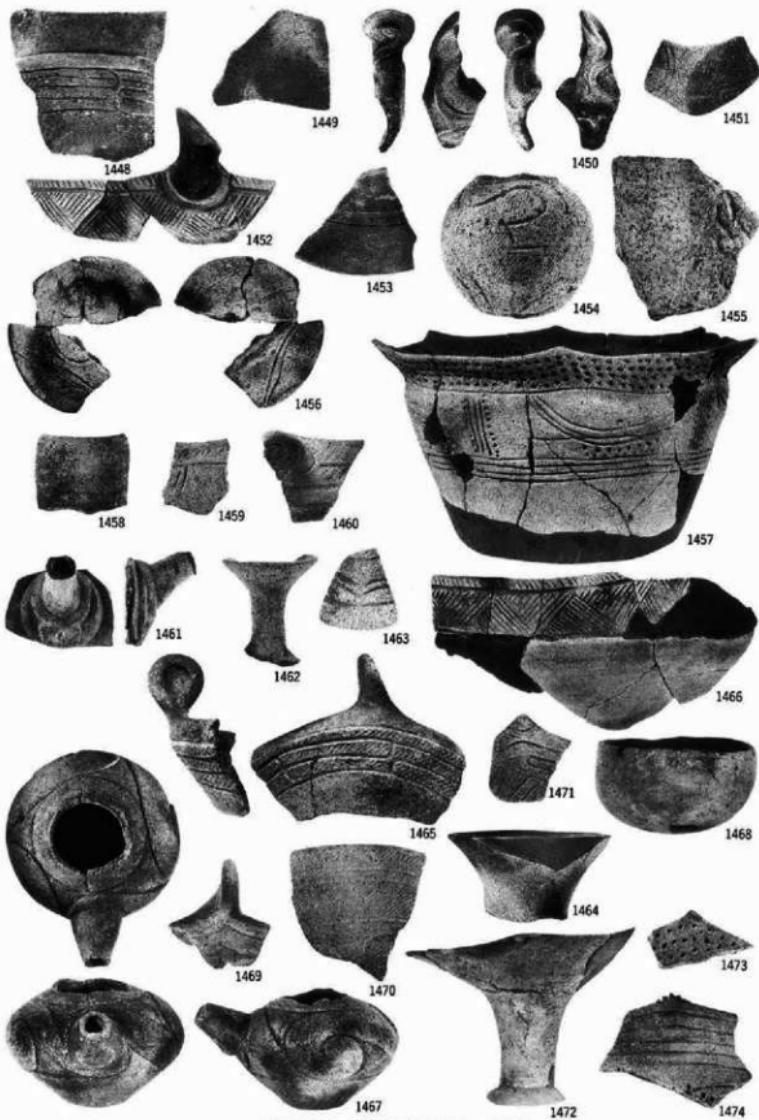
写真図版73 遺構外出土遺物・土器45



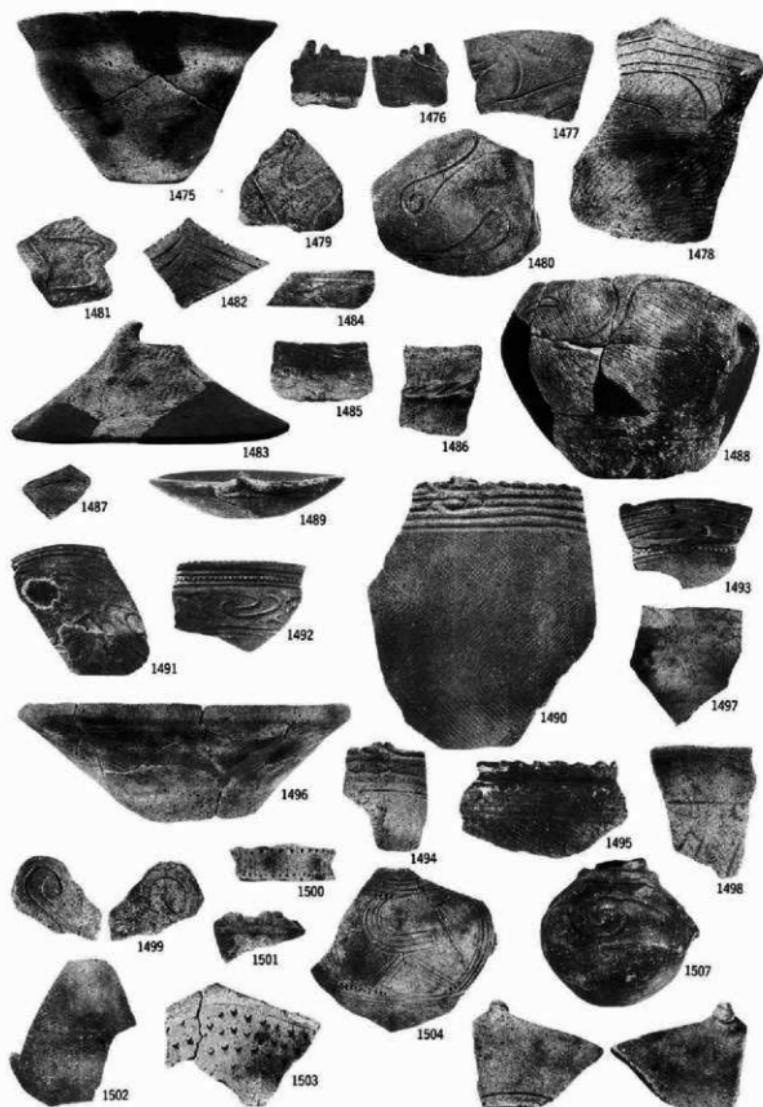
写真図版74 遺構外出土遺物・土器46



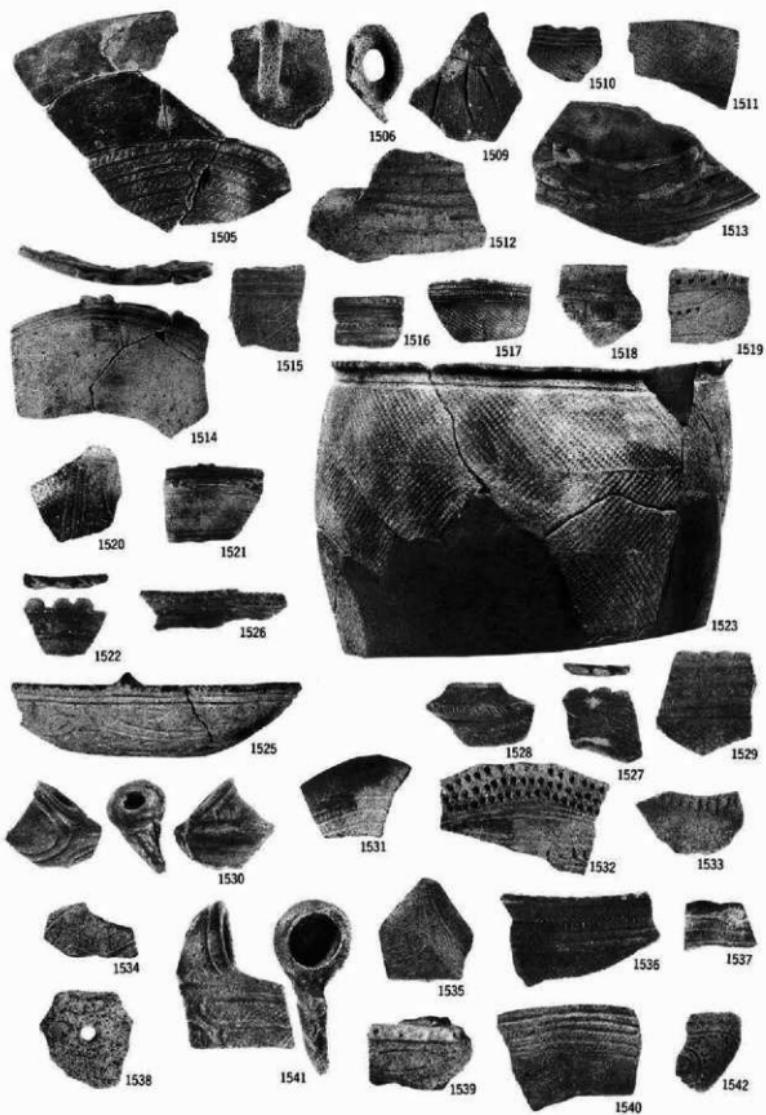
写真図版75 遺構外出土遺物・土器47



写真図版76 遺構外出土遺物・土器48



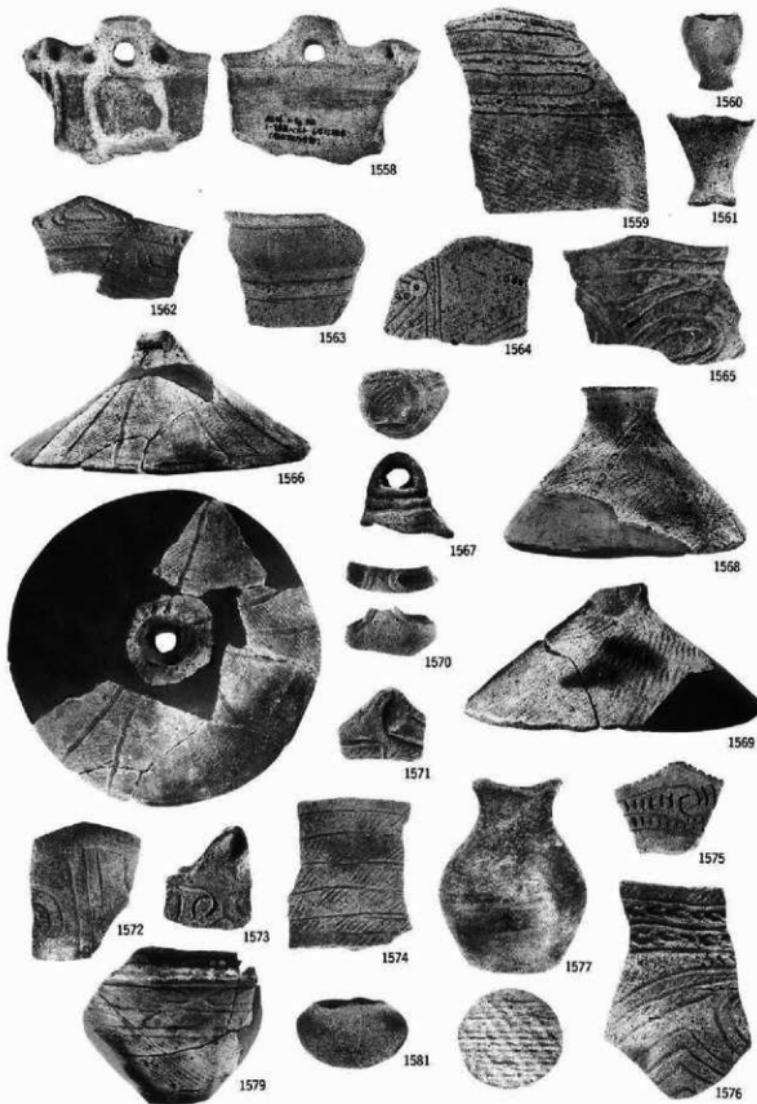
写真図版77 遺構外出土遺物・土器49



写真図版78 遺構外出土遺物・土器50



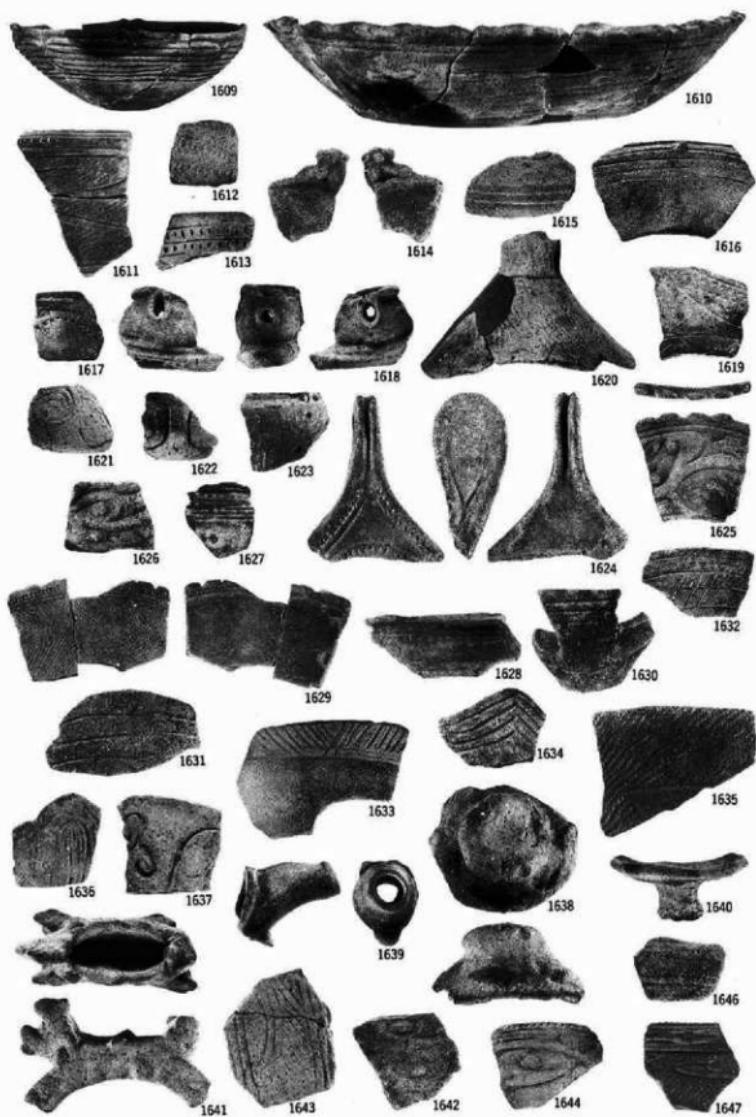
写真図版79 遺構外出土遺物・土器51



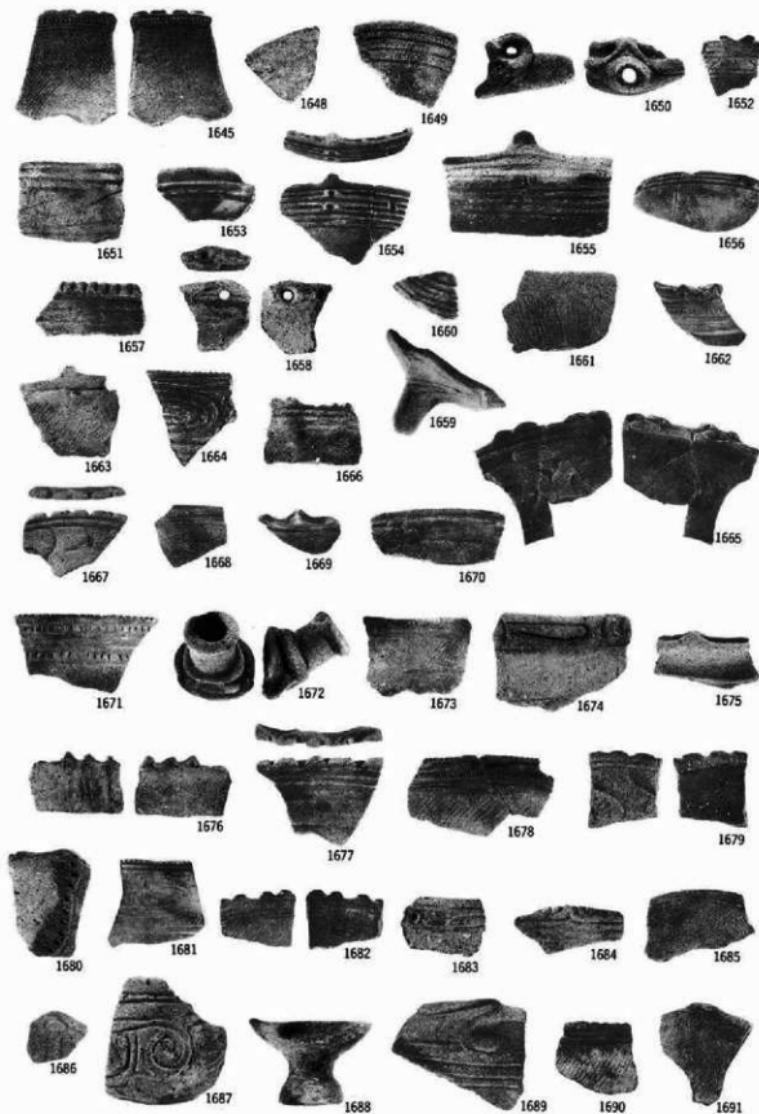
写真図版80 遺構外出土遺物・土器52



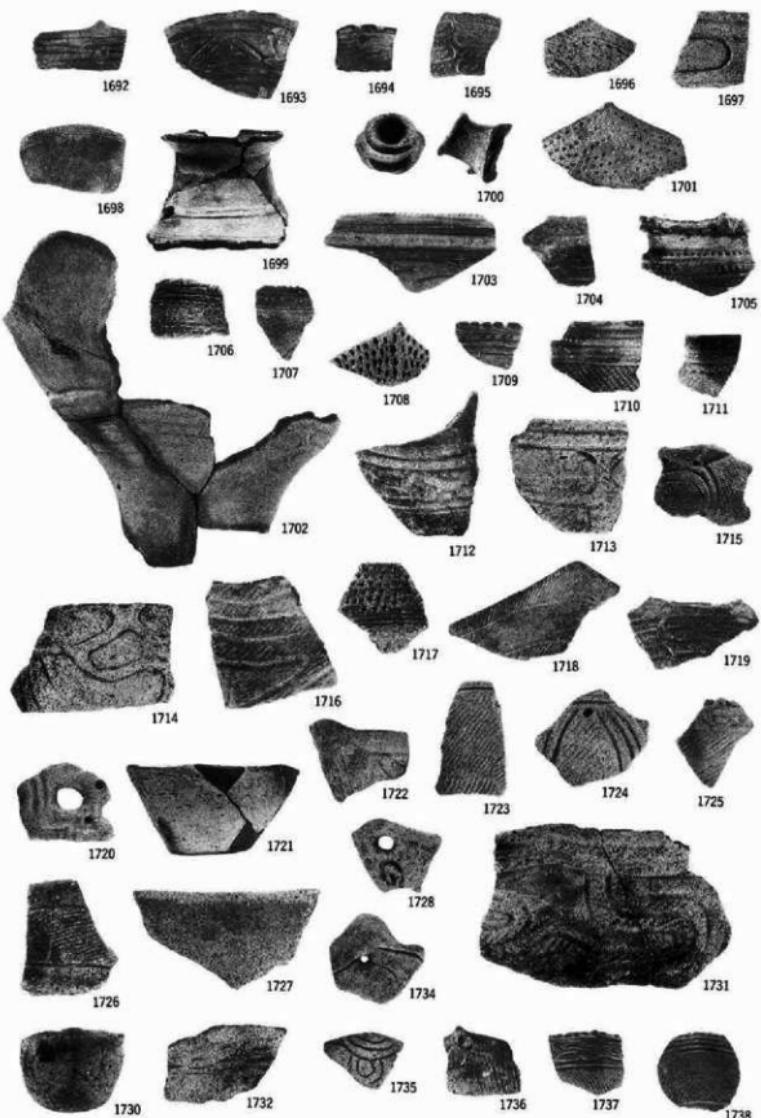
写真図版81 遺構出土遺物・土器53



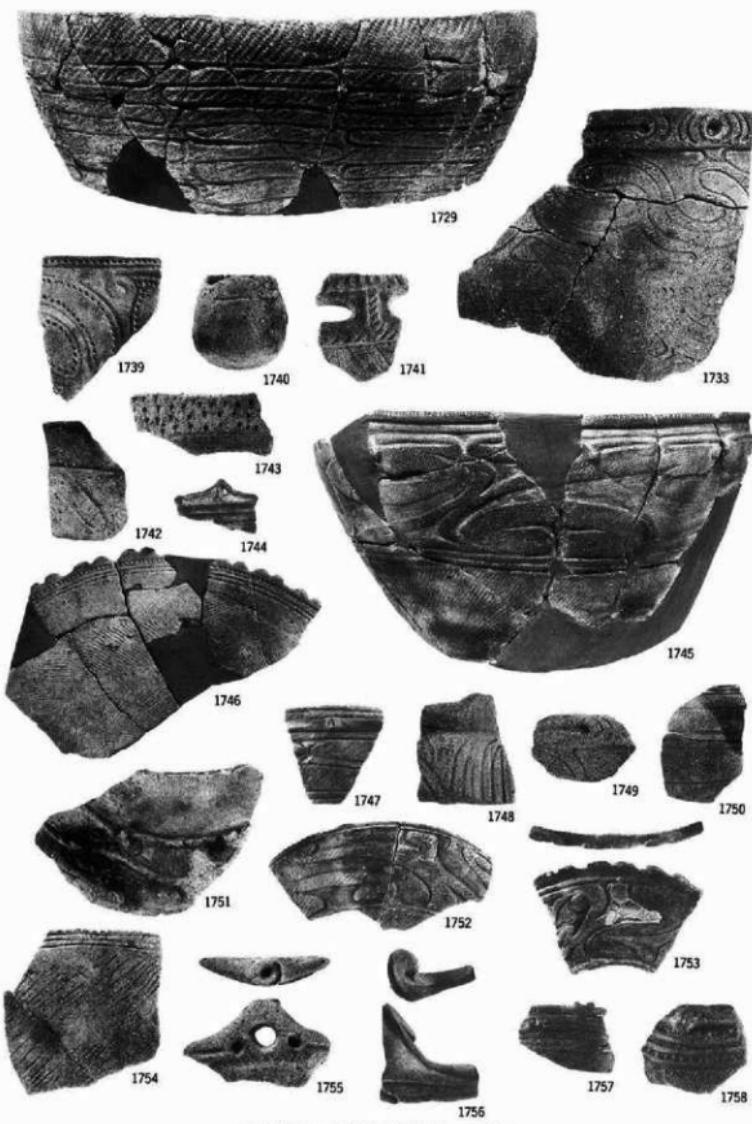
写真図版82 遺構出土遺物・土器54



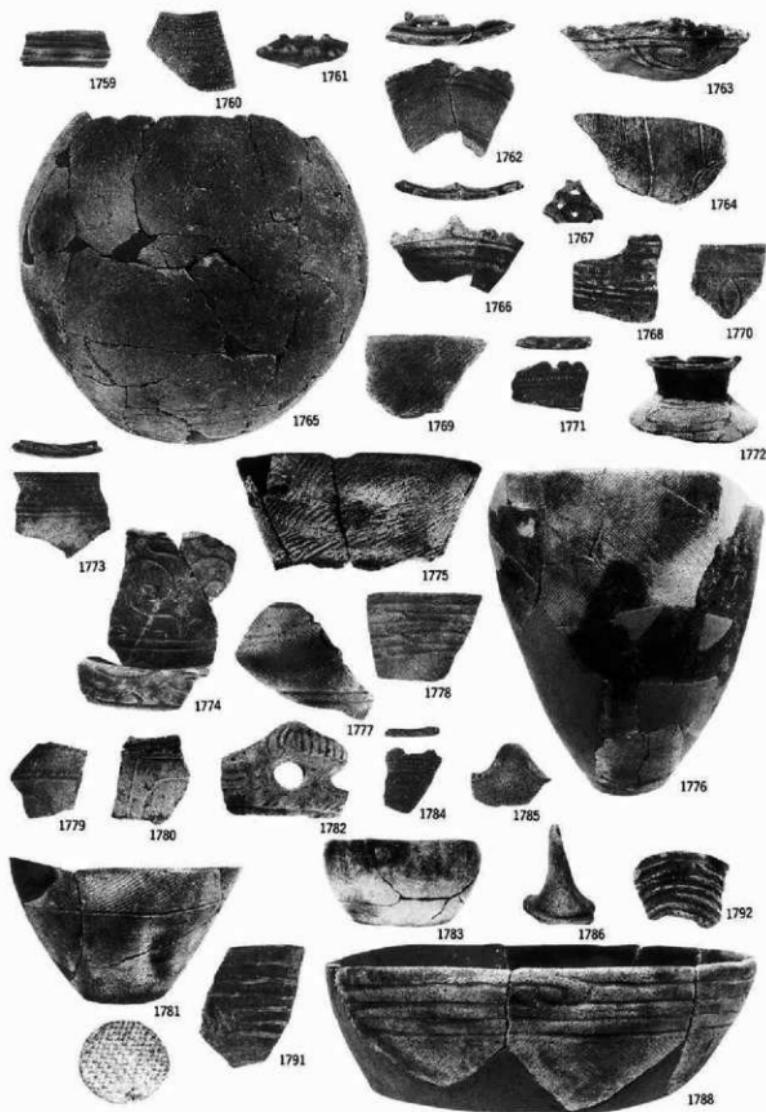
写真図版83 造構外出土遺物・土器55



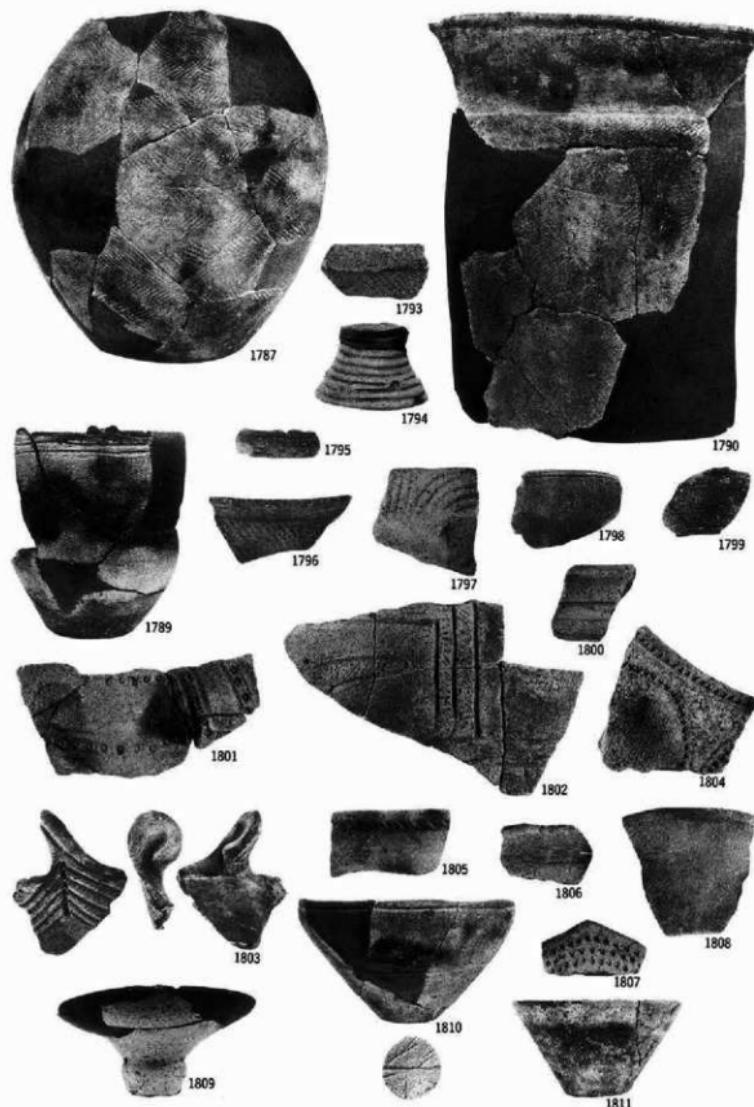
写真図版84 遺構外出土遺物・土器56



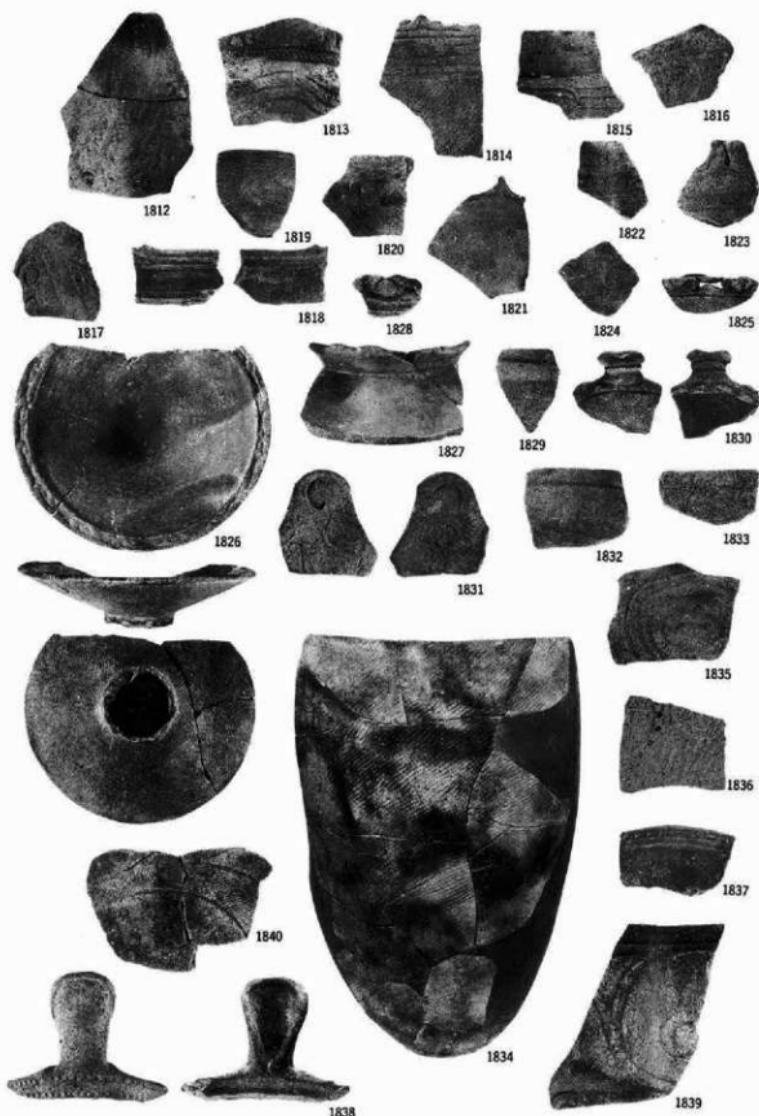
写真図版85 遺構外出土遺物・土器57



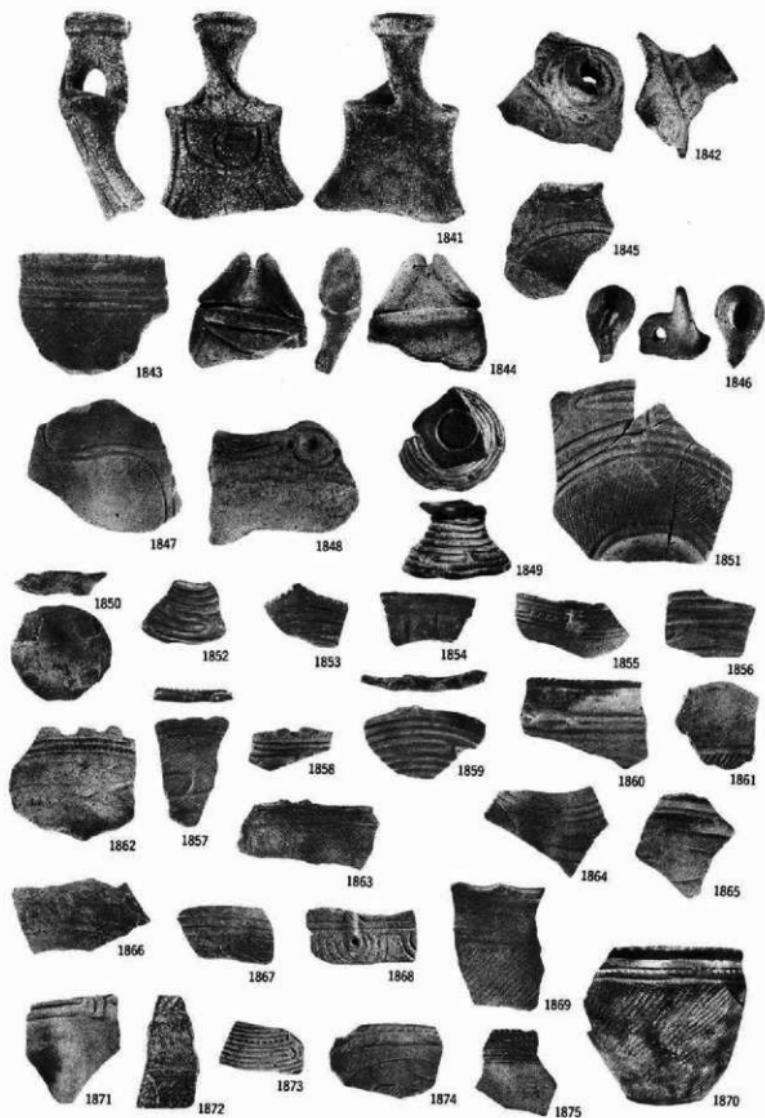
写真図版86 遺構外出土遺物・土器58



写真図版87 造構外出土遺物・土器59



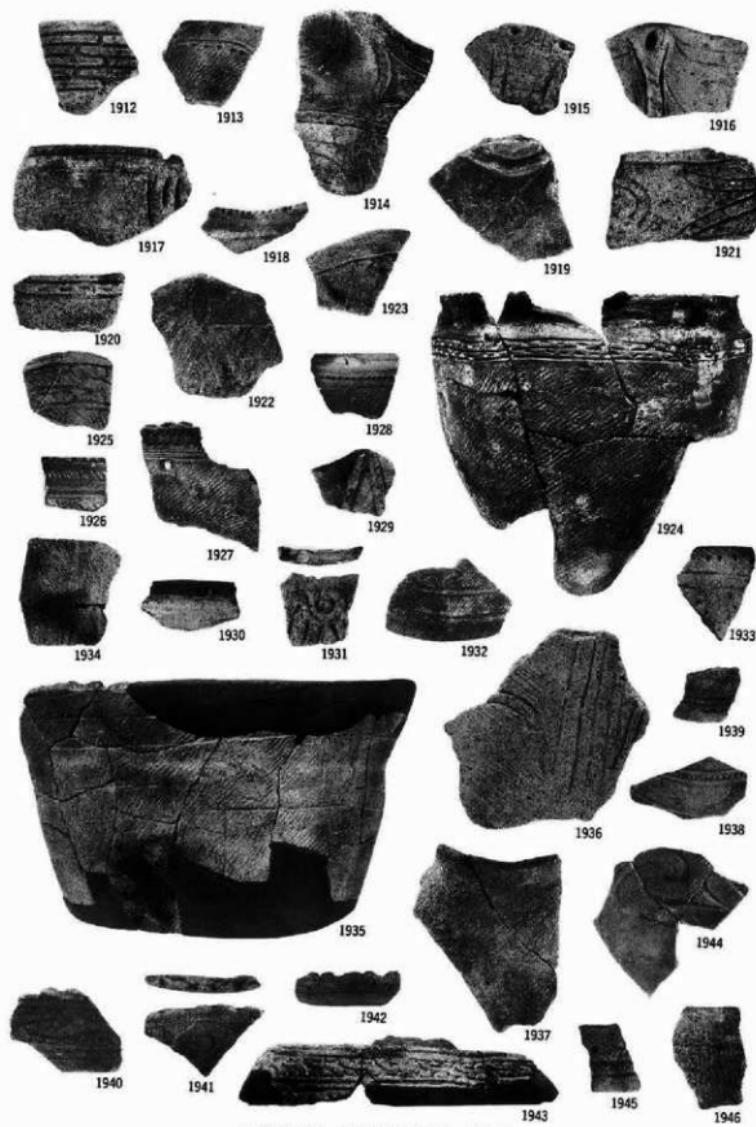
写真図版88 遺構外出土遺物・土器60



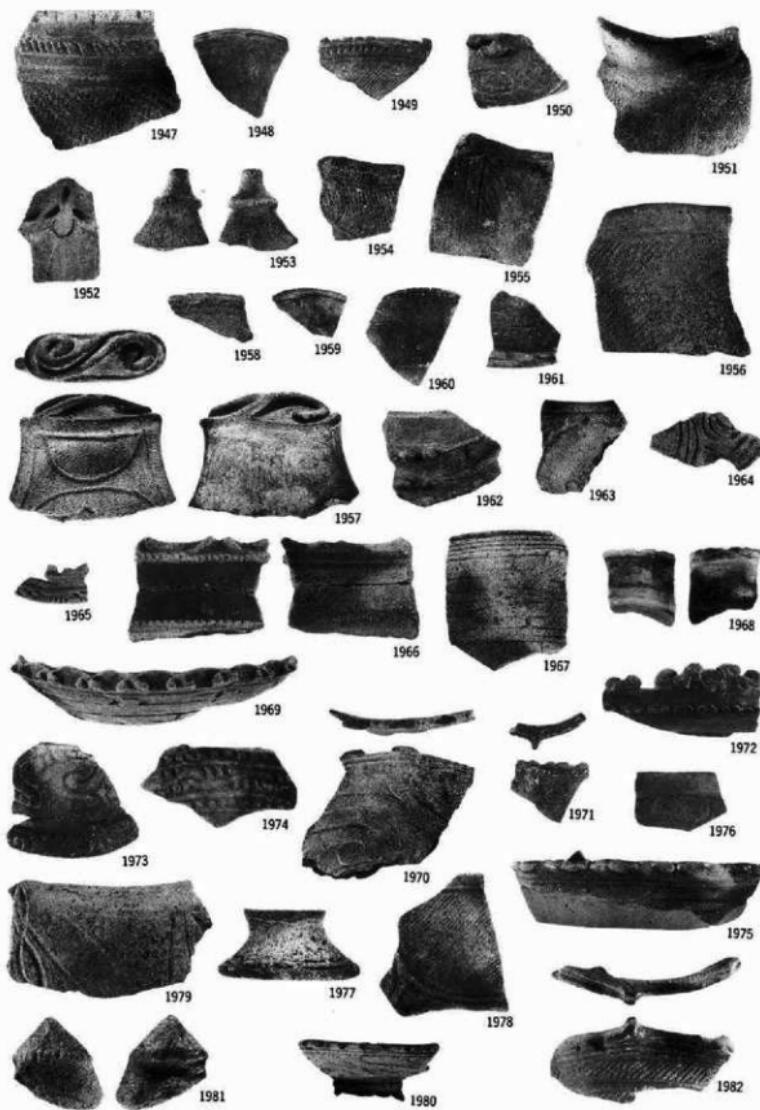
写真図版89 遺構外出土遺物・土器61



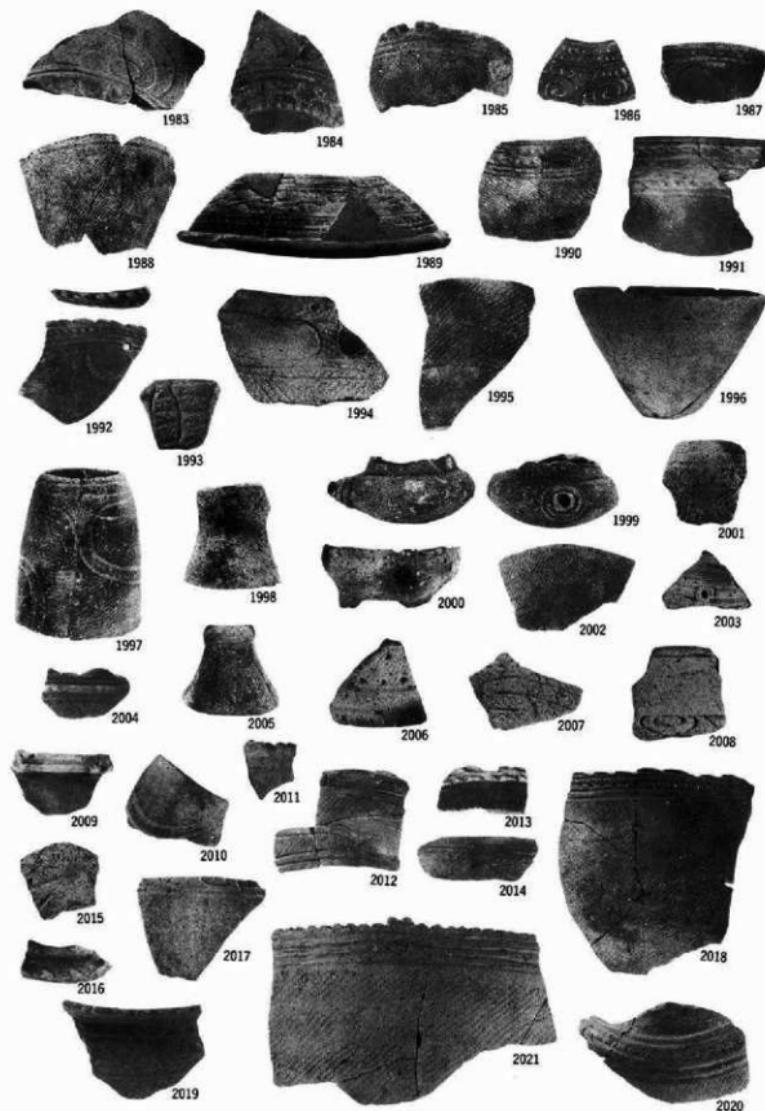
写真図版90 遺構外出土遺物・土器62



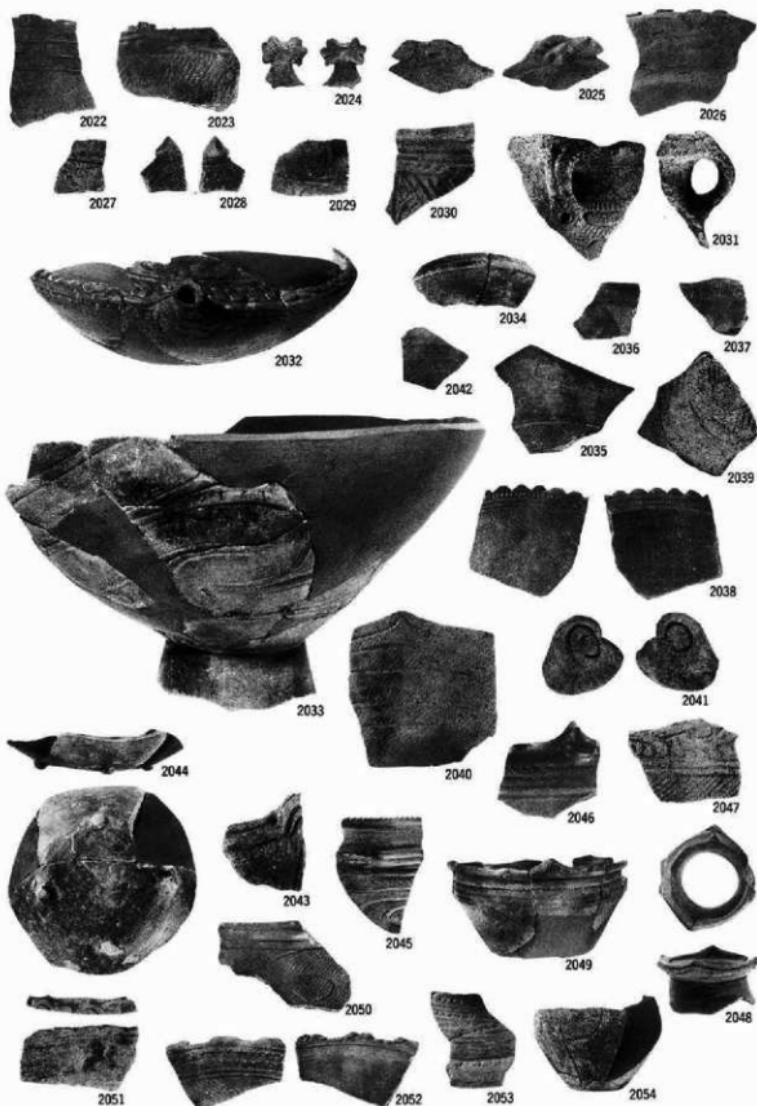
写真図版91 遺構外出土遺物・土器63



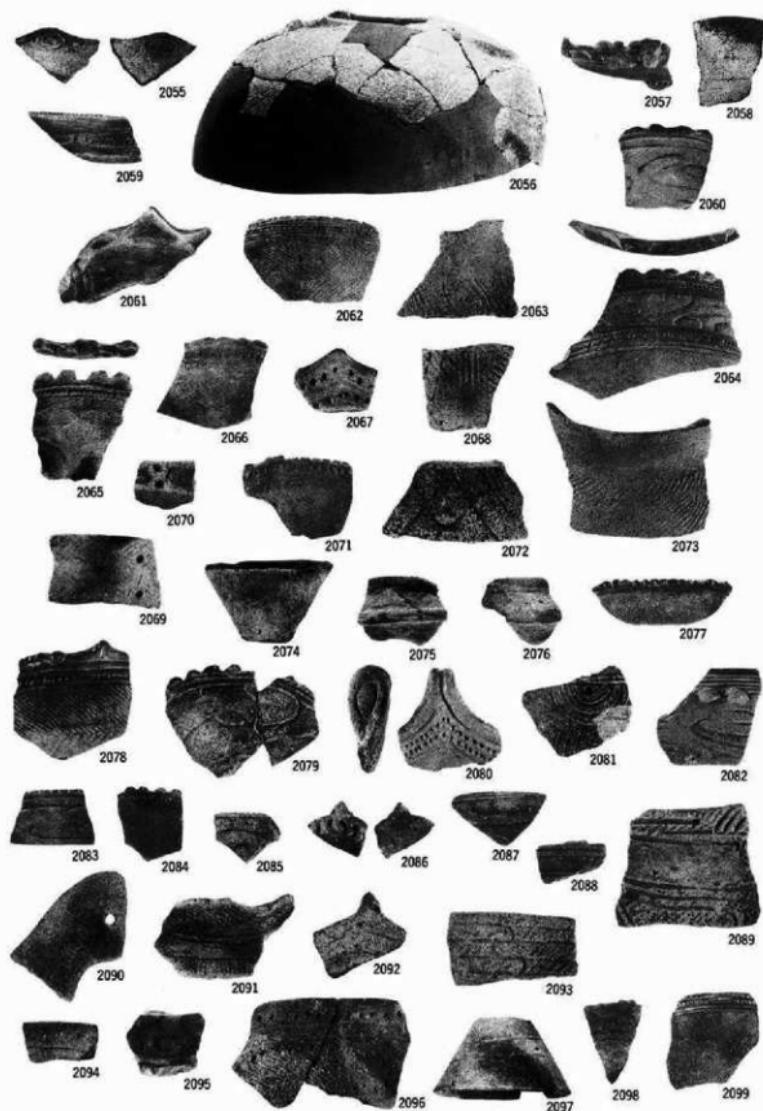
写真図版92 遺構外出土遺物・土器64



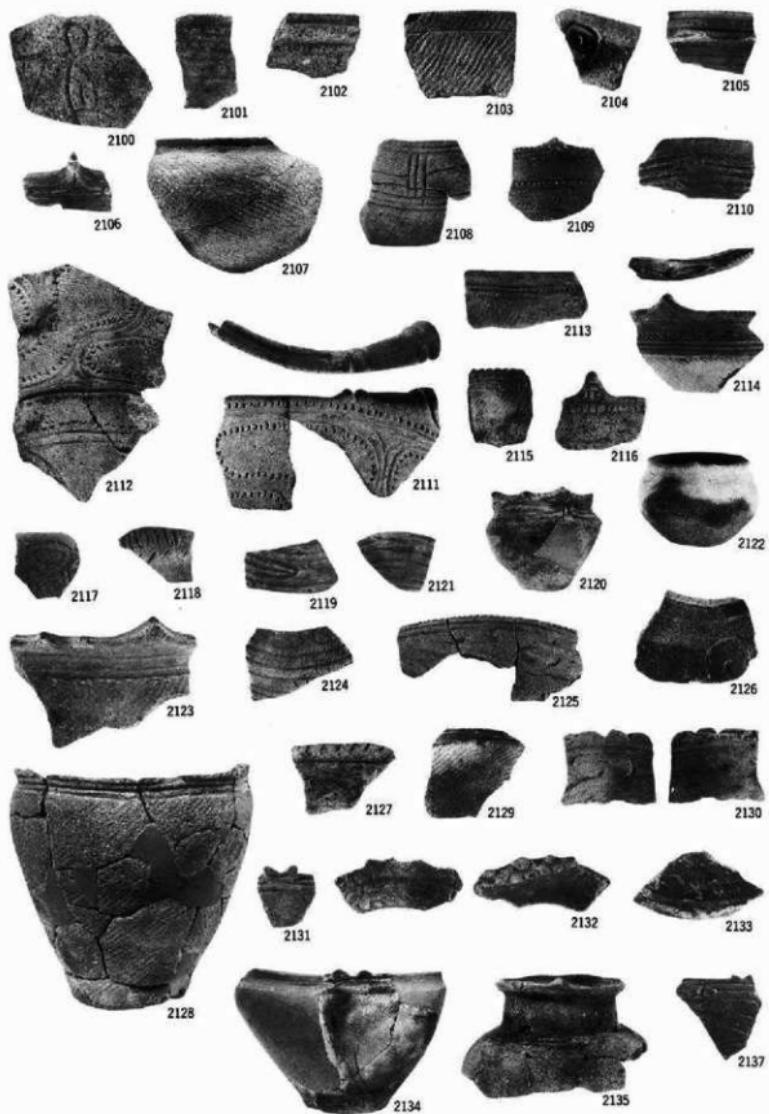
写真図版93 遺構外出土遺物・土器65



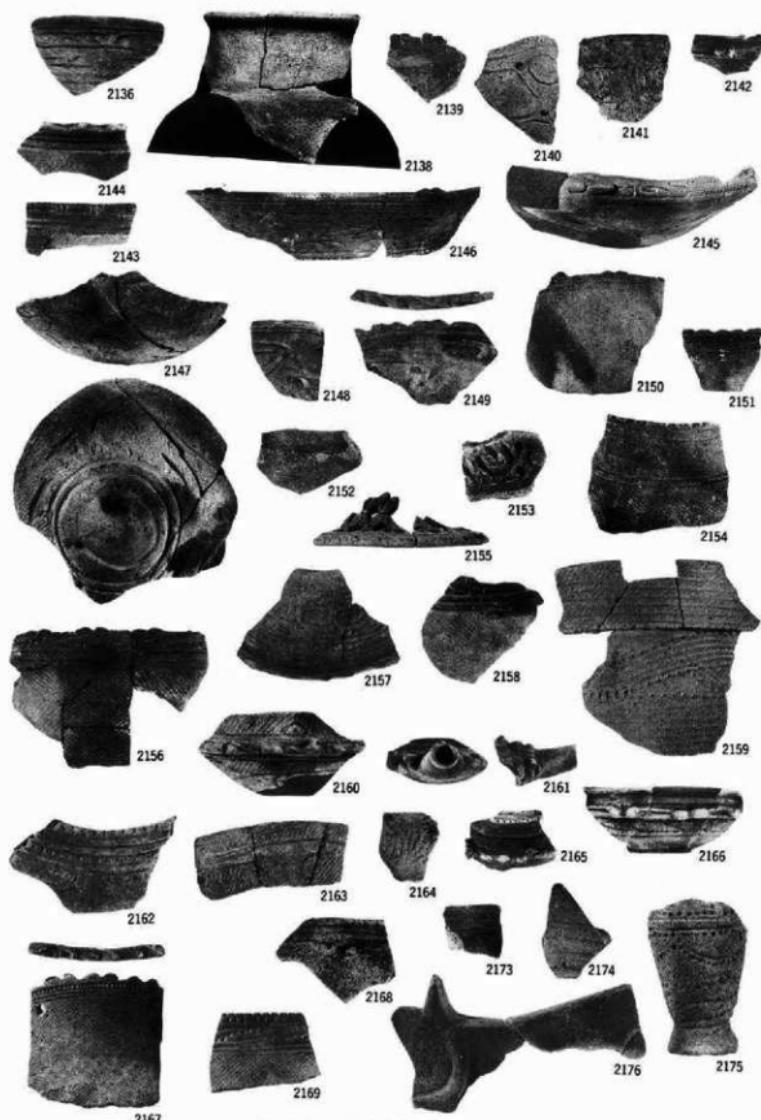
写真図版94 遺構出土遺物・土器66



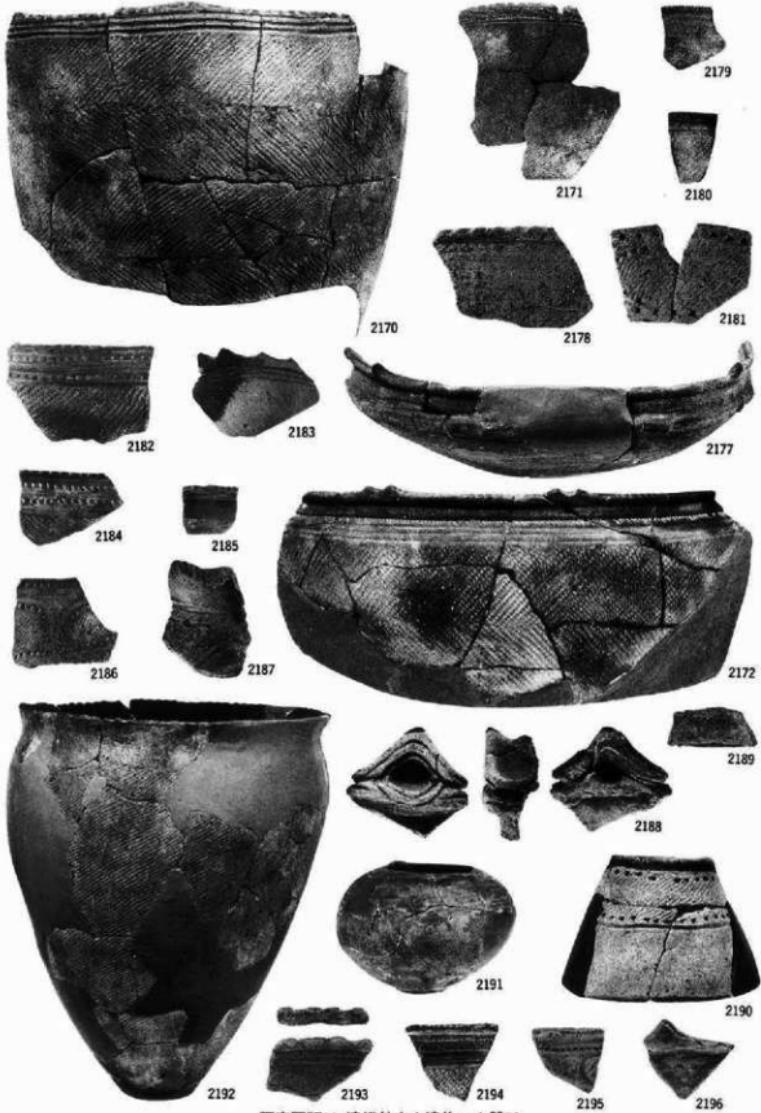
写真図版95 造構外出土遺物・土器67



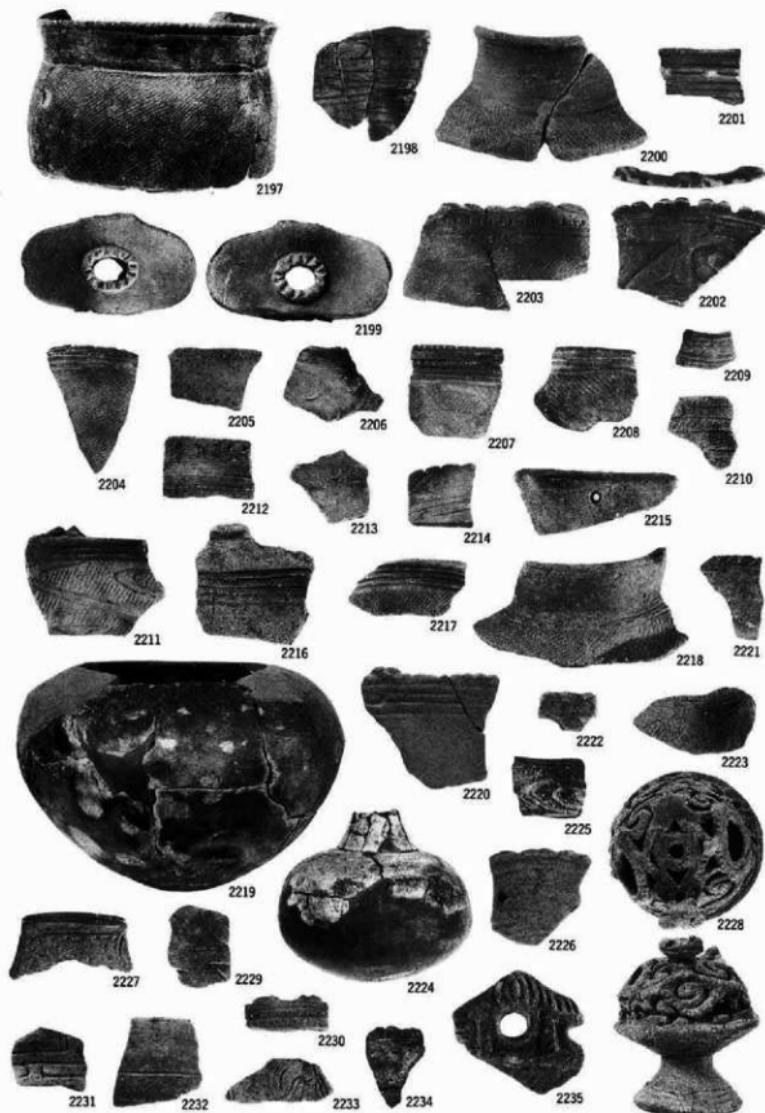
写真図版96 遺構外出土遺物・土器68



写真図版97 遺構外出土遺物・土器69



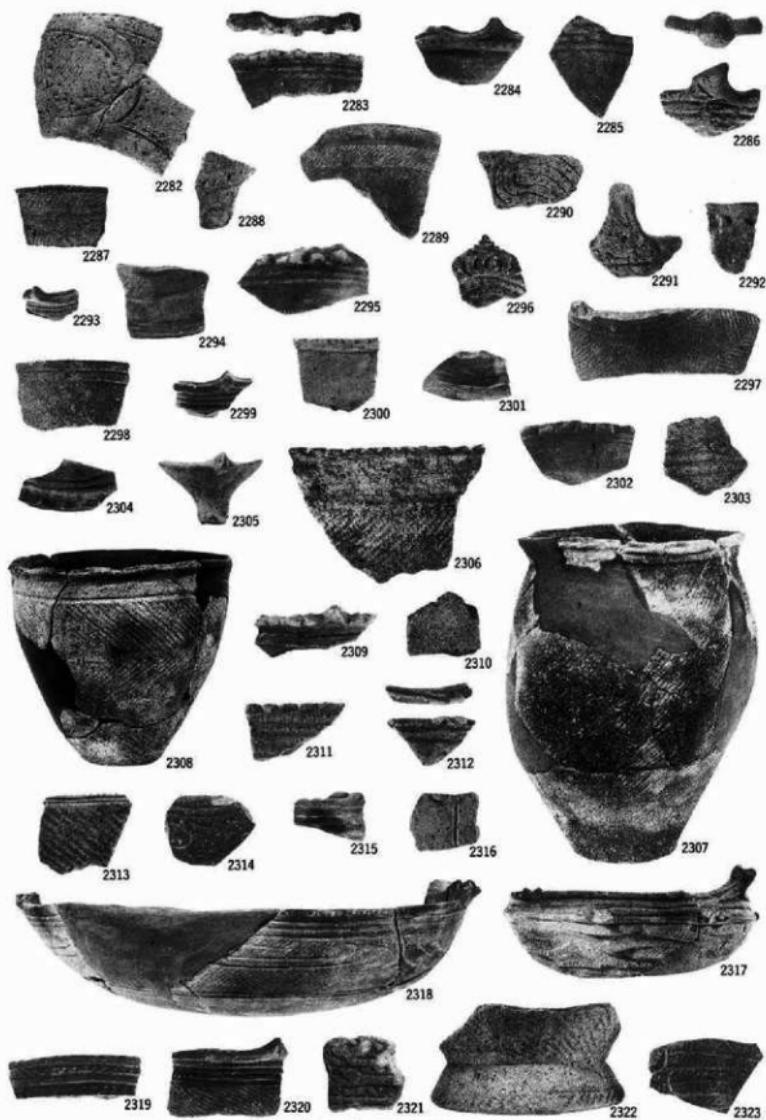
写真図版98 遺構外出土遺物・土器70



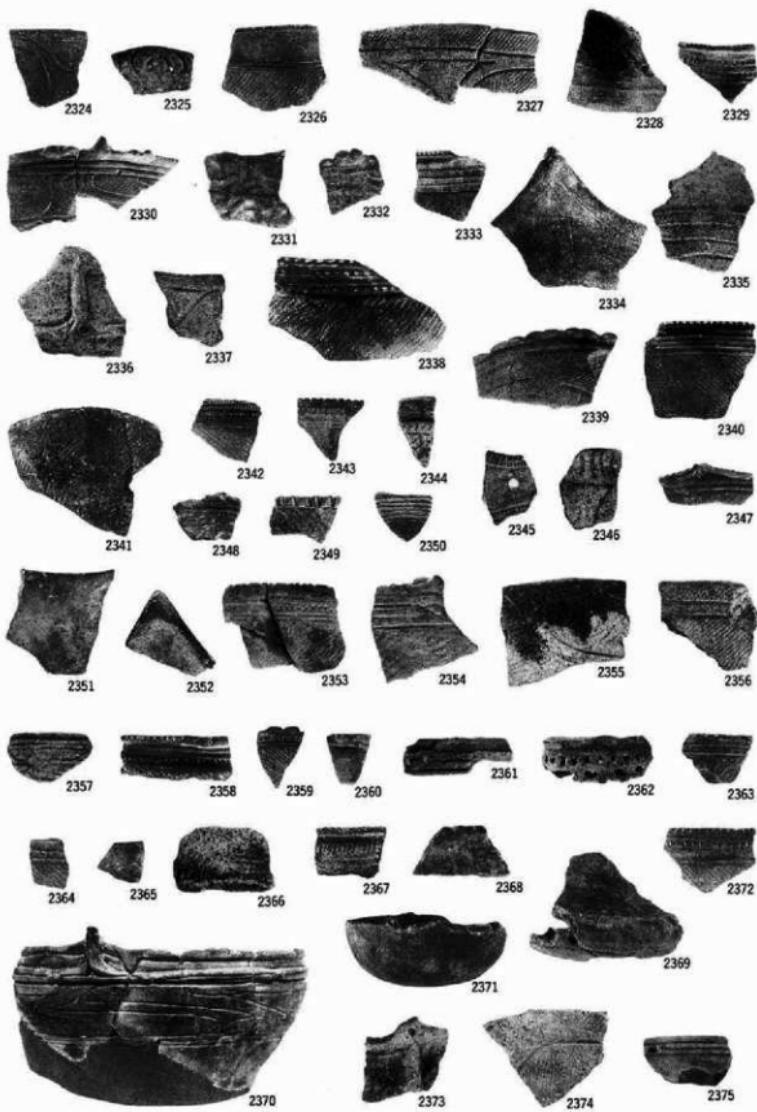
写真図版99 造構外出土遺物・土器71



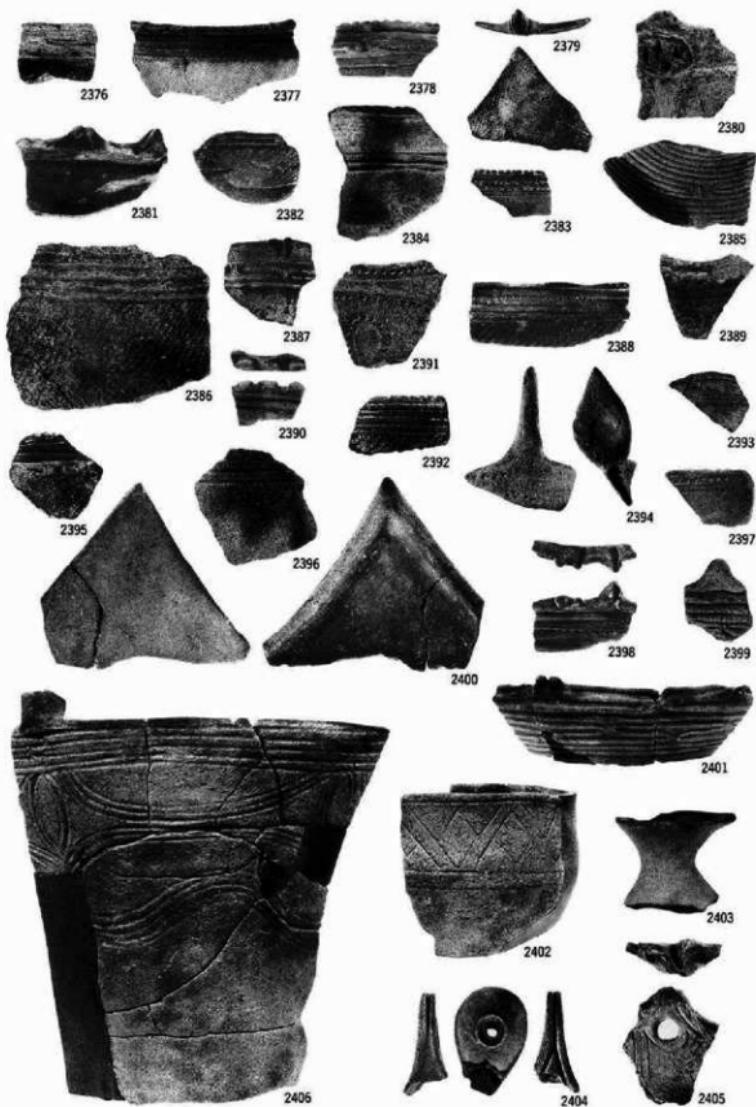
写真図版100 遺構外出土遺物・土器72



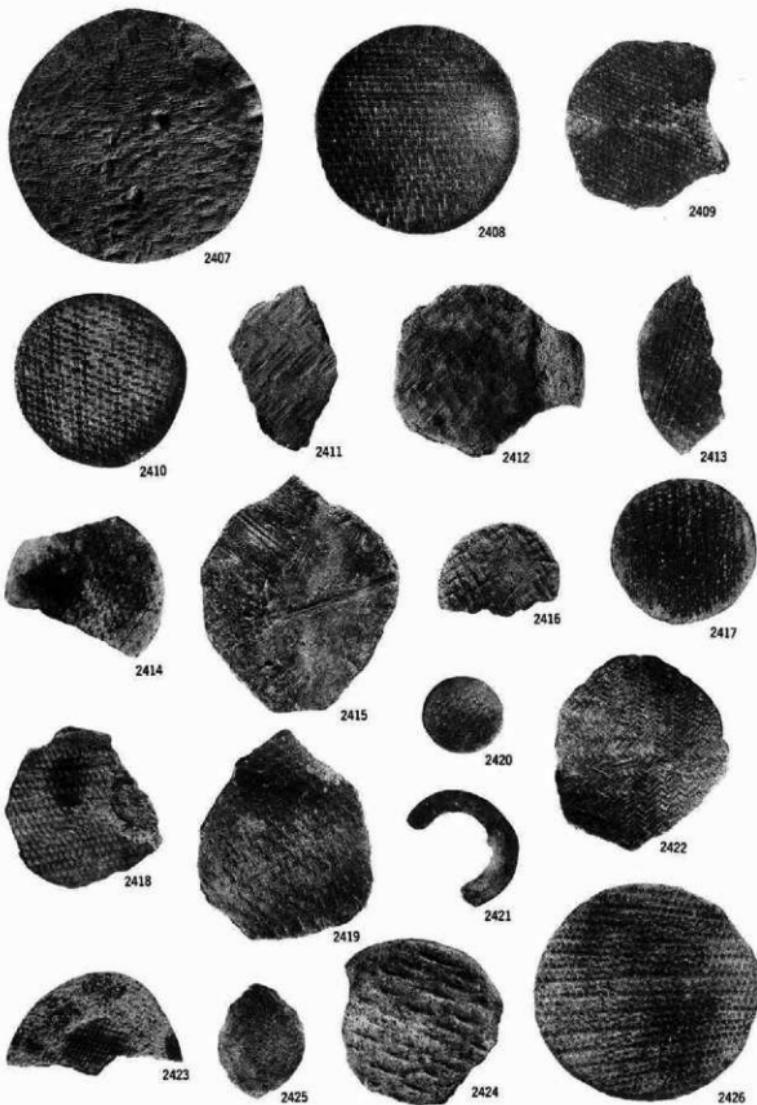
写真図版101 遺構外出土遺物・土器73



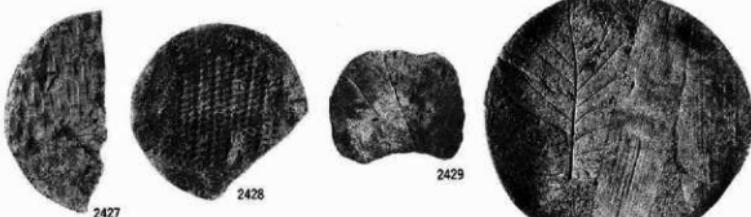
写真図版102 遺構外出土遺物・土器74



写真図版103 造模外出土遺物・土器75



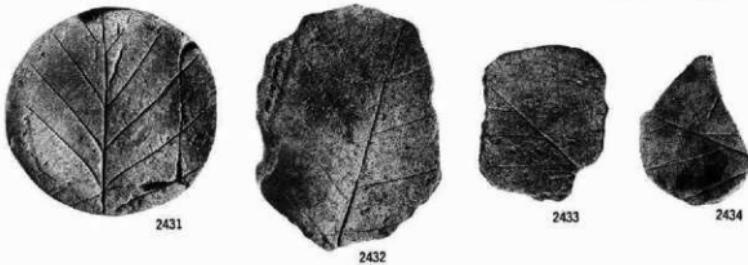
写真図版104 遺構外出土遺物・底部1



2427 2428

2429

2430



2431

2433

2434

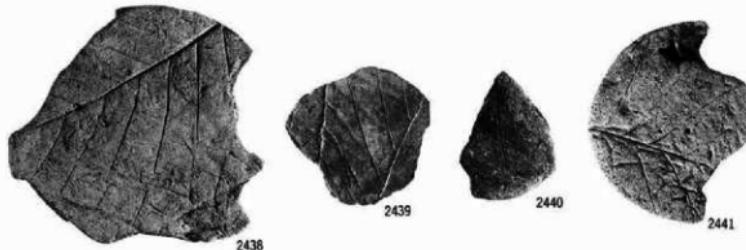
2432



2435

2436

2437



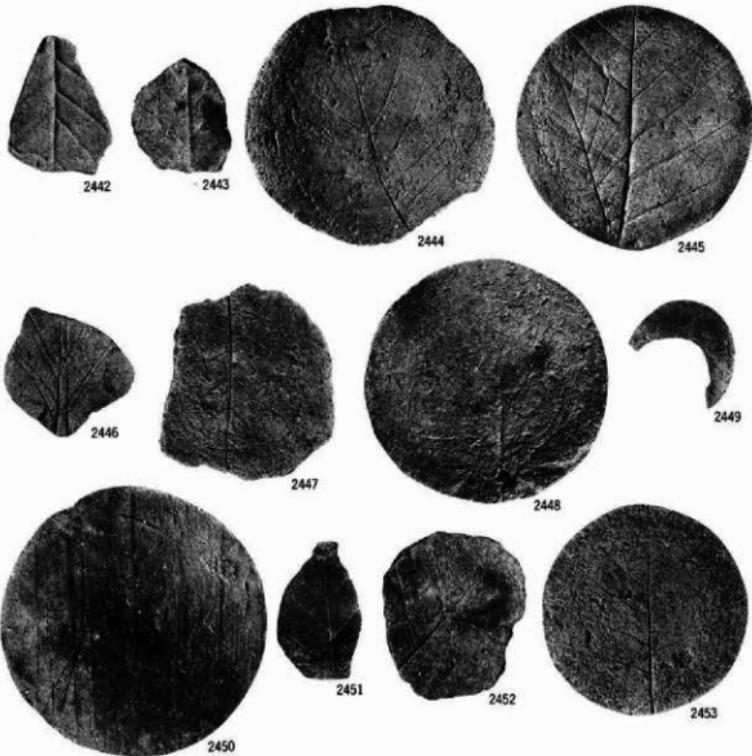
2438

2439

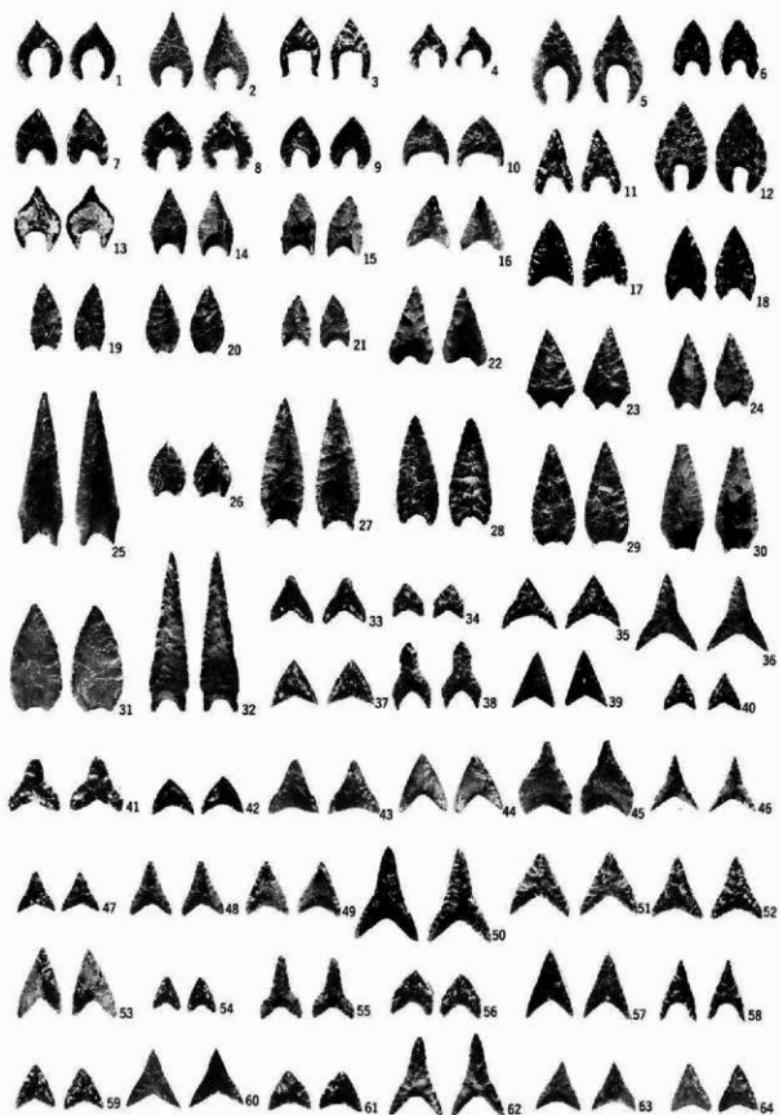
2440

2441

写真図版105 造構外出土遺物・底部2

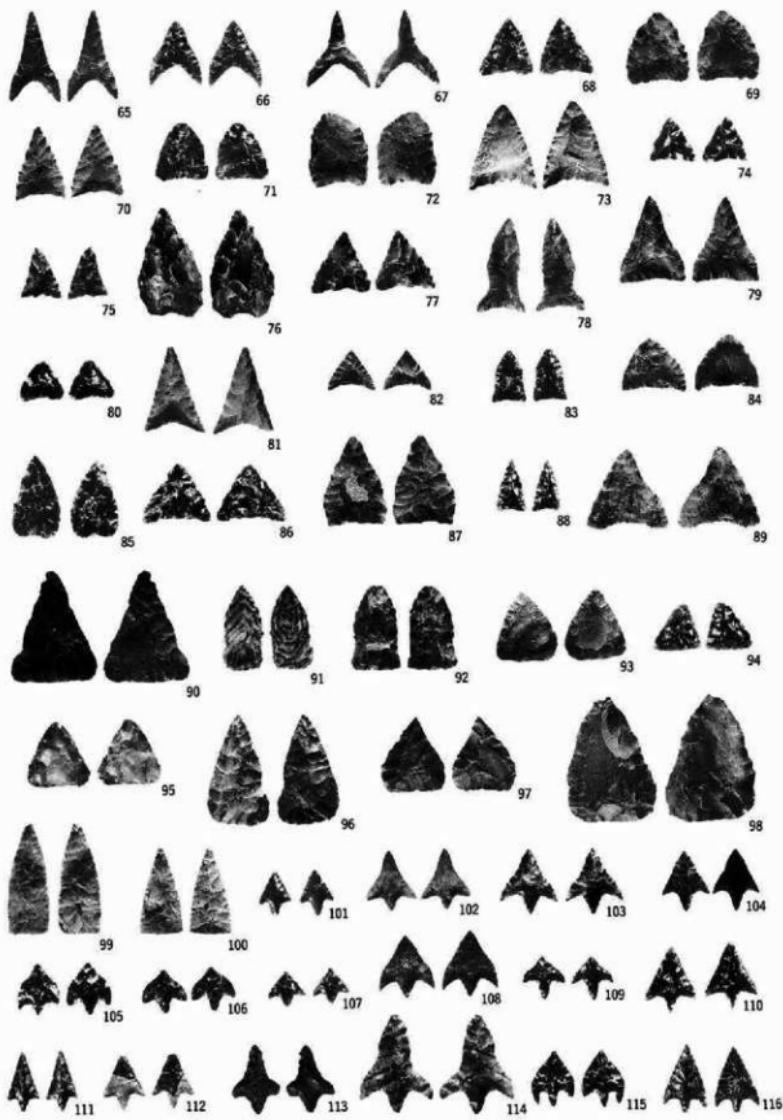


写真図版106 遺構外出土遺物・底部3



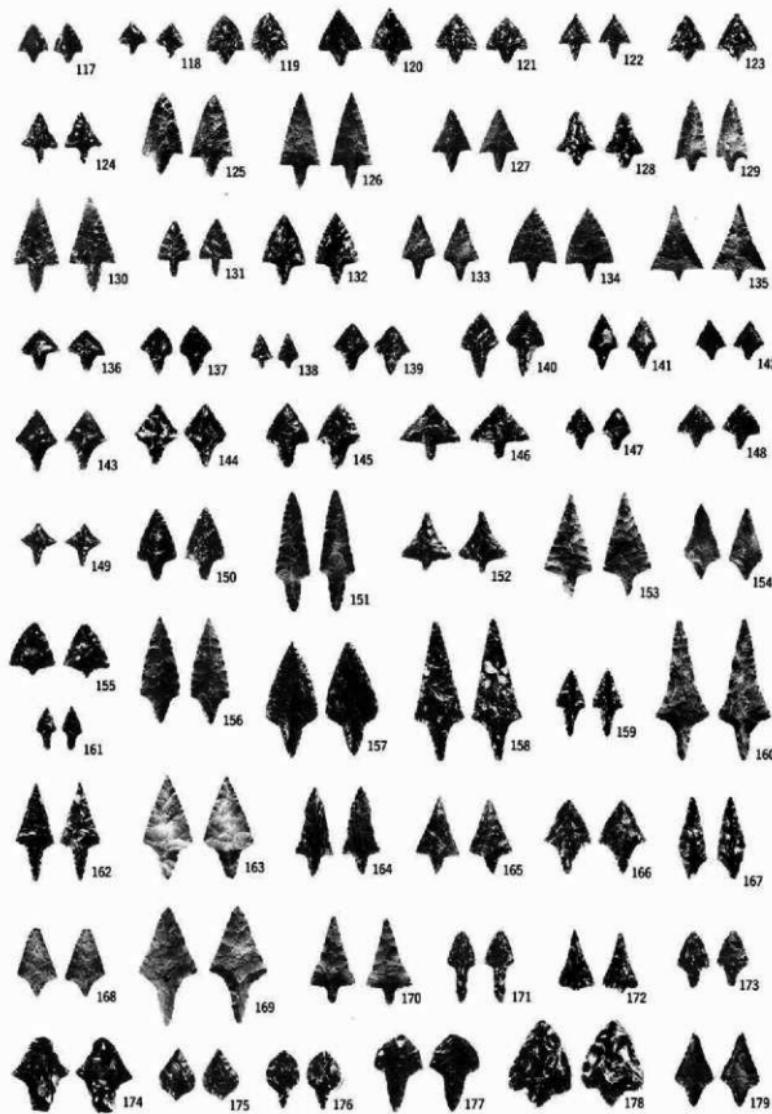
写真図版107 出土遺物石器 1

S=2/3



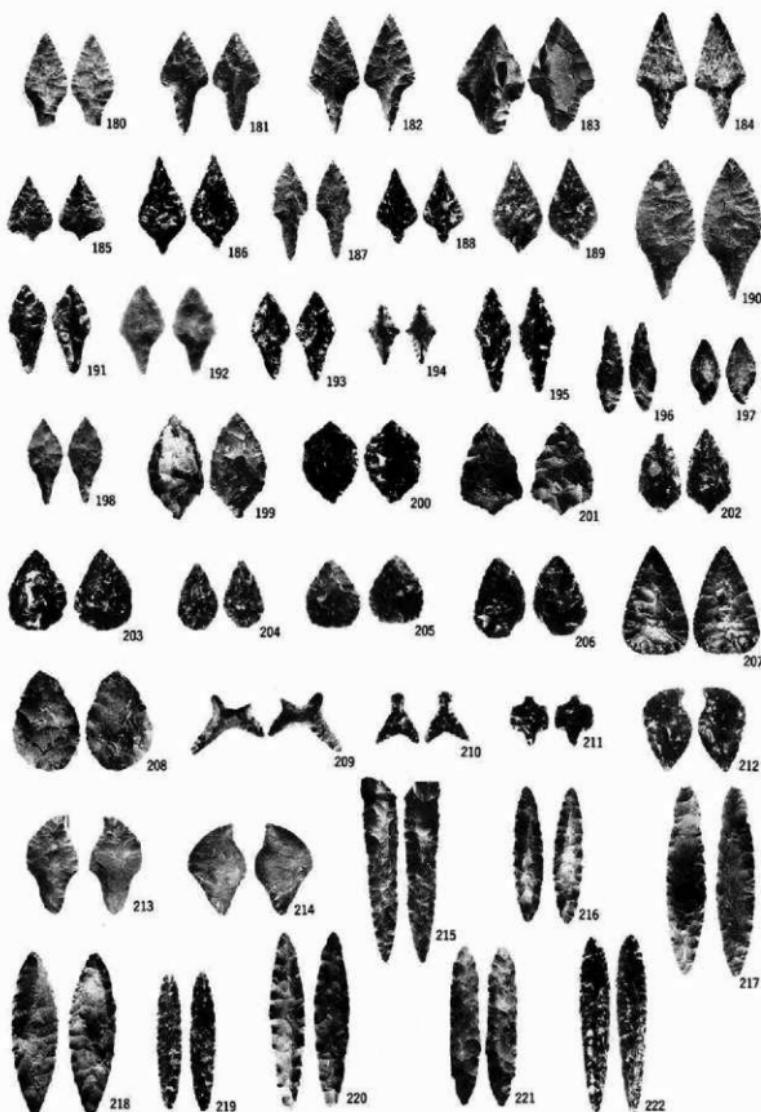
写真図版108 出土遺物石器 2

S=2/3



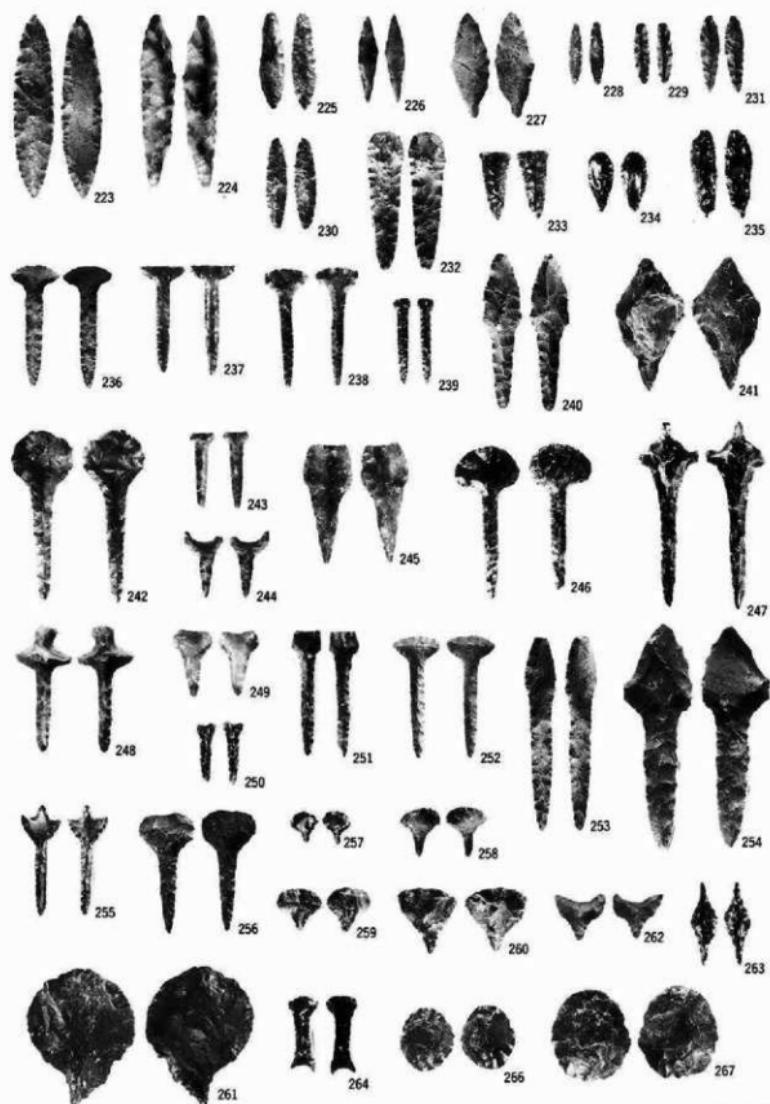
写真図版109 出土遺物石器 3

S=2/3



写真図版110 出土遺物石器 4

S=2/3



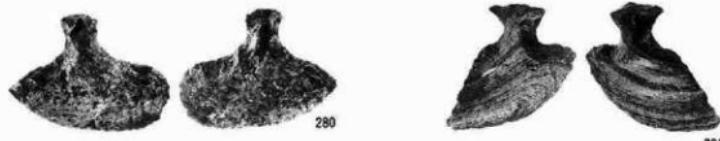
S=2/3

写真図版111 出土遺物石器 5



写真図版112 出土遺物石器 6

S=2/3



280

281



282



283

284

285

286



287

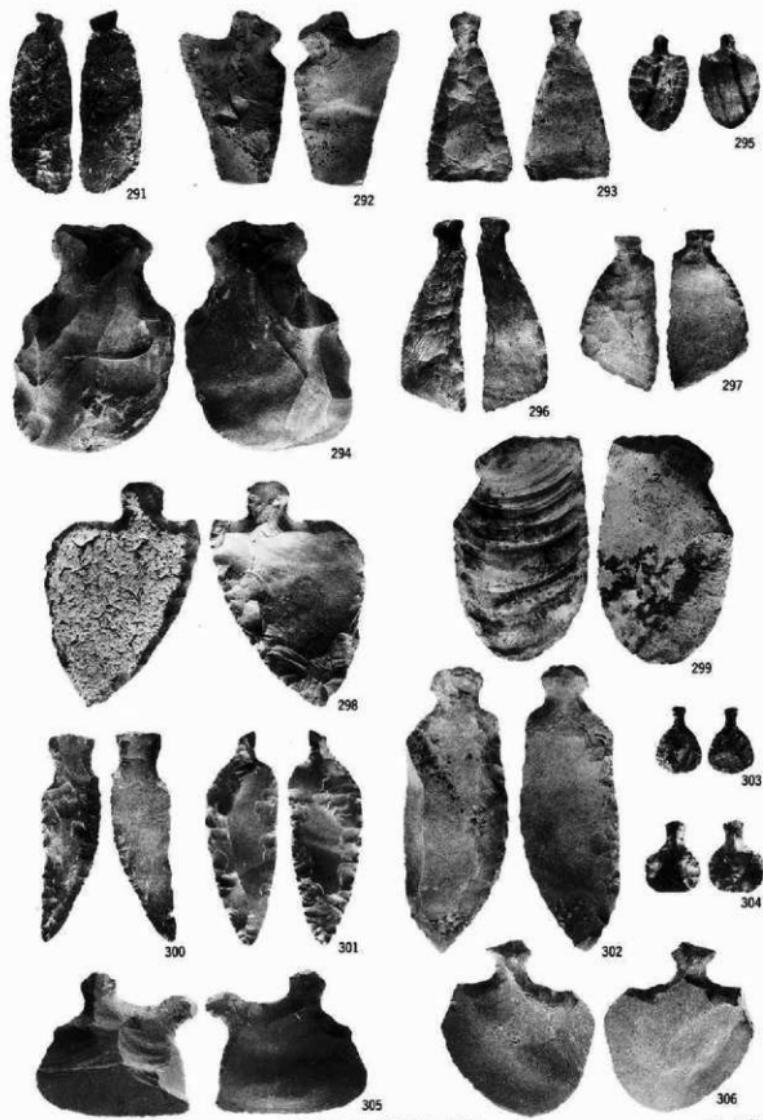
289

288

290

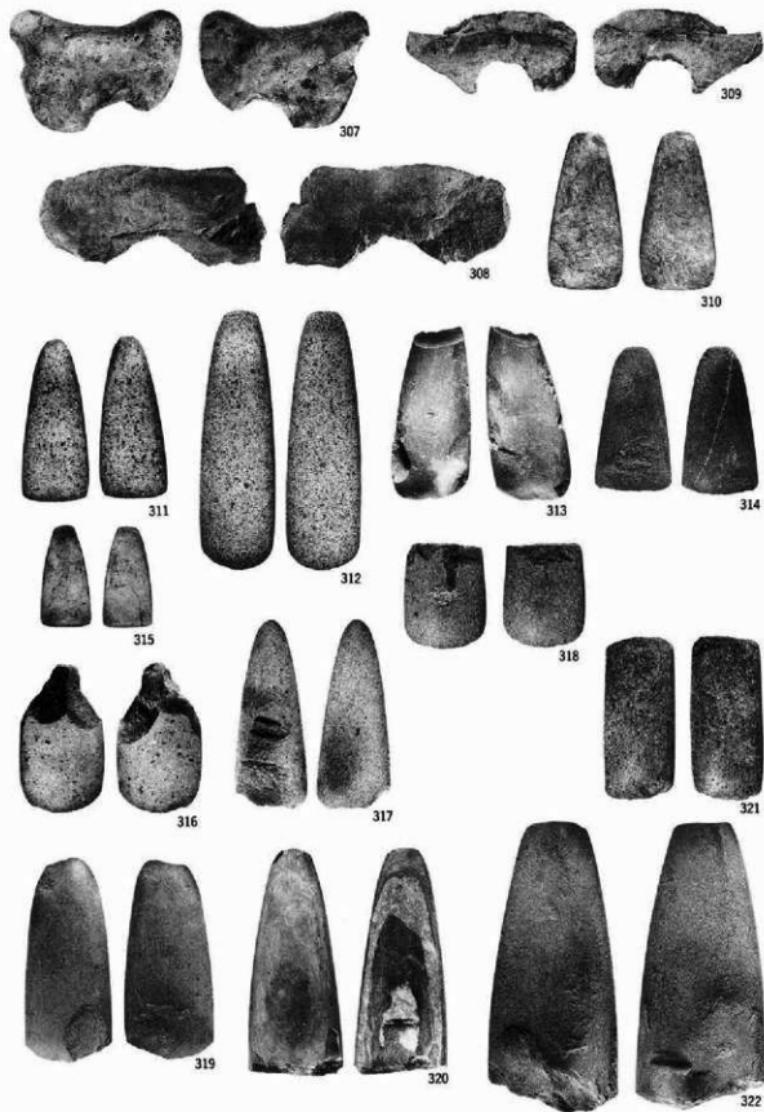
写真図版113 出土遺物石器 7

S=2/3



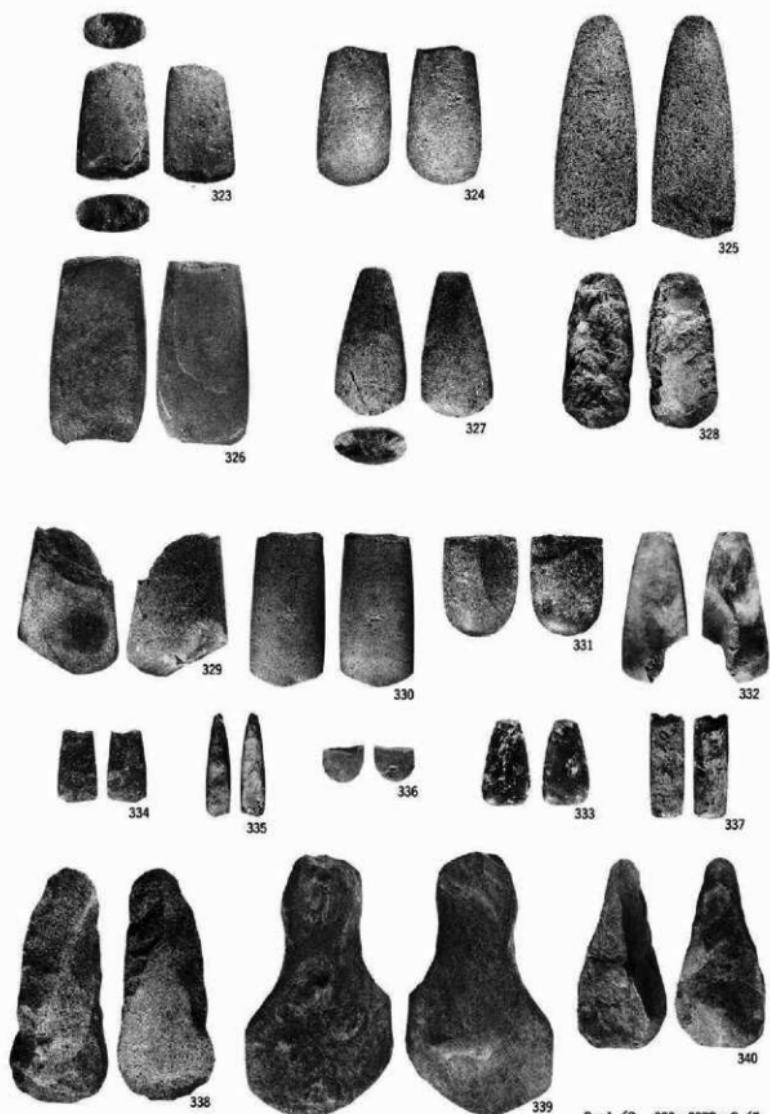
写真図版114 出土遺物石器 8

S=2/3

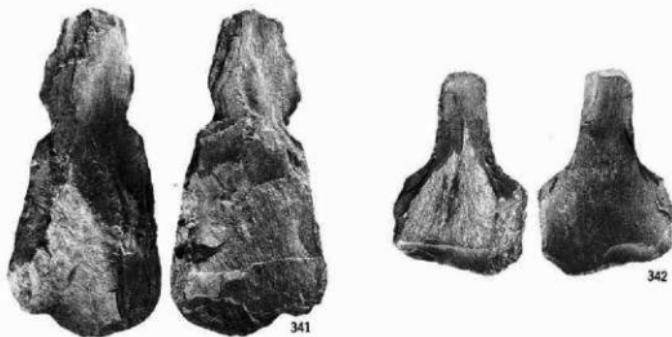


写真図版115 出土遺物石器 9

S=1/3



写真図版116 出土遺物石器10



写真図版117 出土遺物石器 11

5=1/3



348



349



350



351

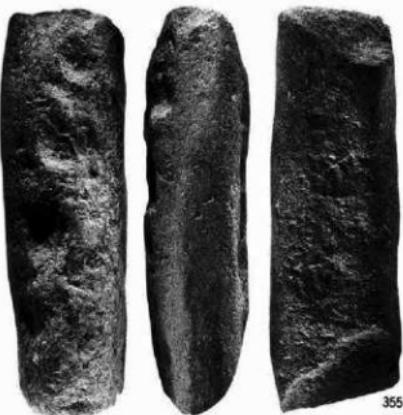


352



写真回版118 出土遺物石器12

S=1/3



写真図版119 出土遺物石器13

S=1/3



写真図版120 出土遺物石器14

S=1/3



写真図版121 出土遺物石器15

S=1/3



383



384



385



386



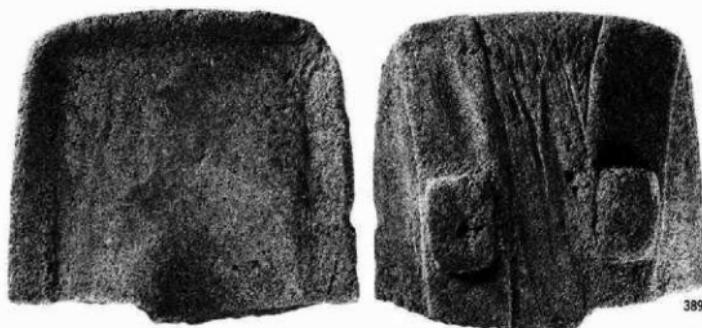
387

写真図版122 出土遺物石器16

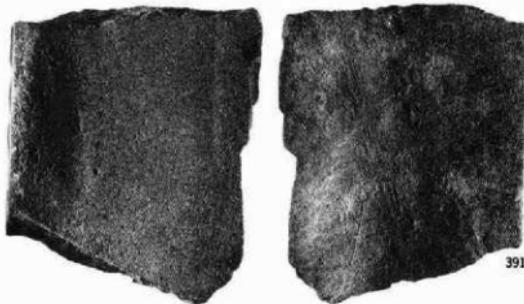
S=1/3



388



389



391

写真図版123 出土遺物石器 17

S=1/3

S=1/3



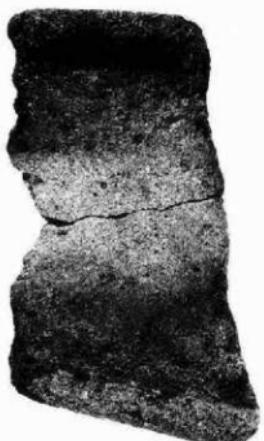
392



393



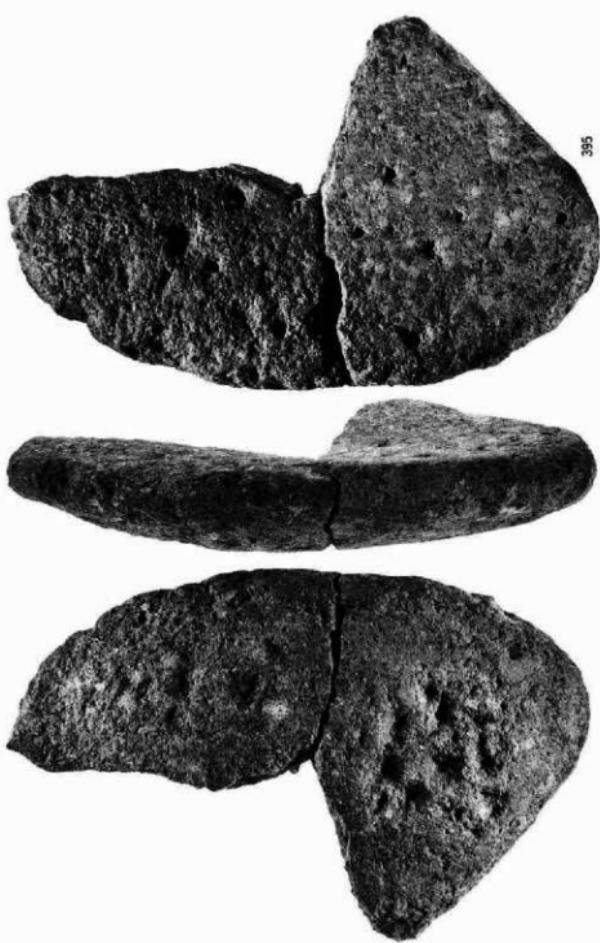
395



写真図版124 出土遺物石器18

$S=1/3$

395



写真図版125 出土遺物石器 19



396

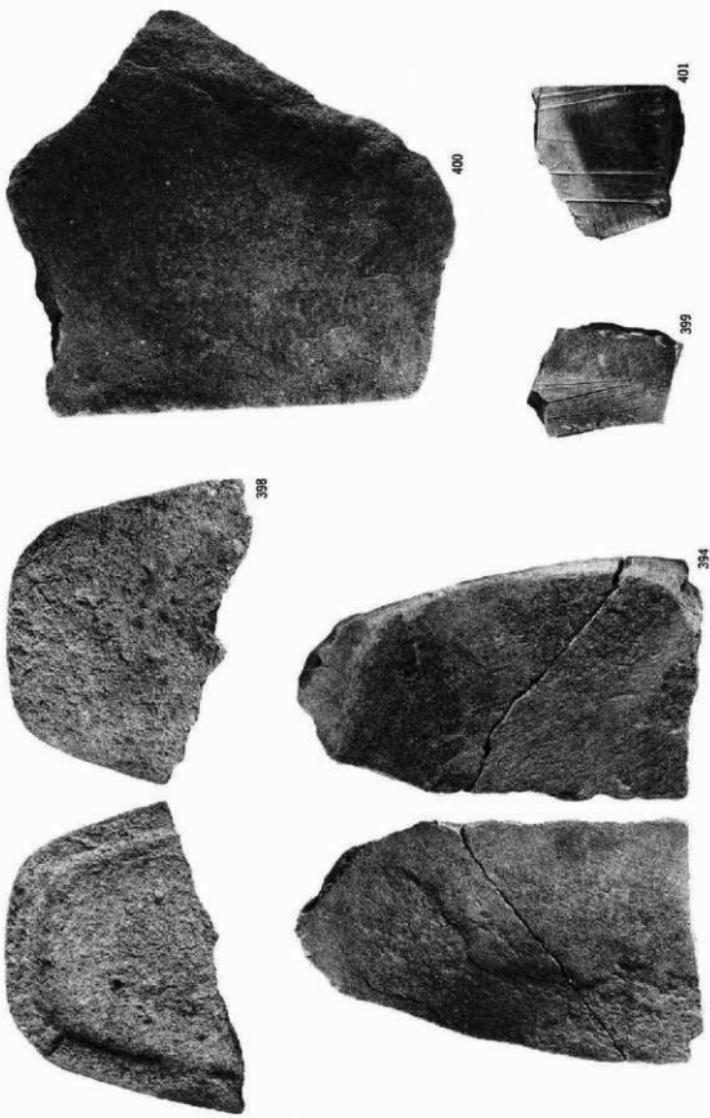


S=1/3



写真回版126 出土遺物石器 20

S=1/3



写真図版127 出土遺物石器21



402



403



404

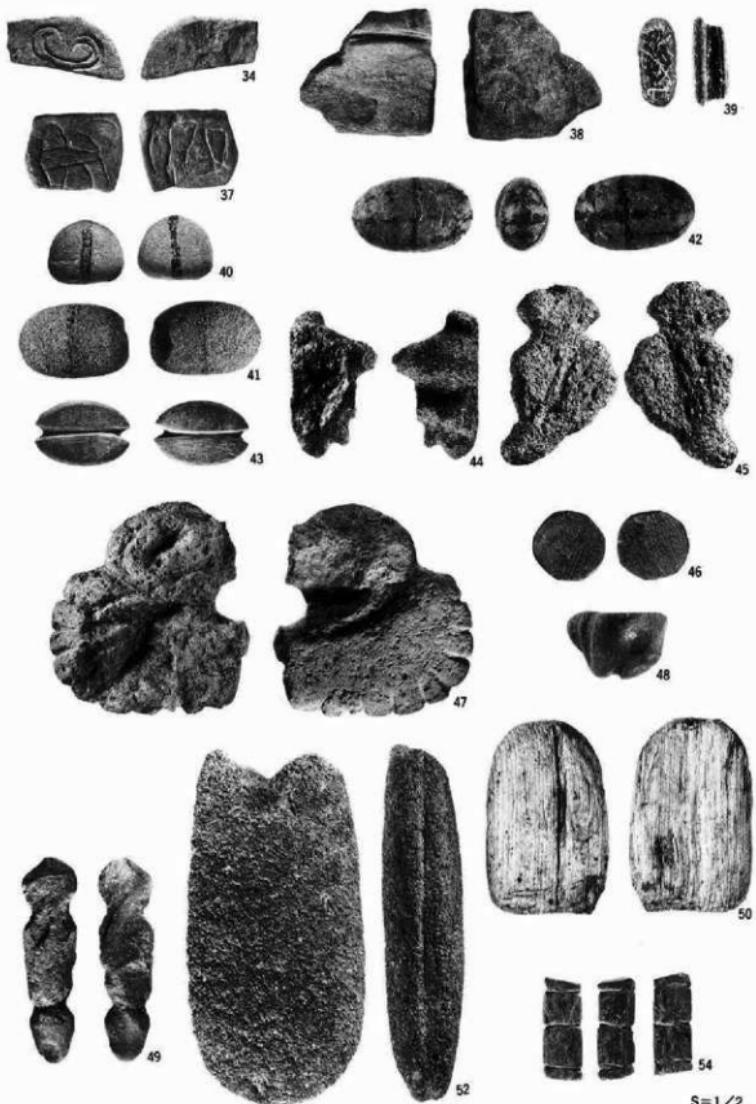
S=1/3

写真図版128 出土遺物石器 22



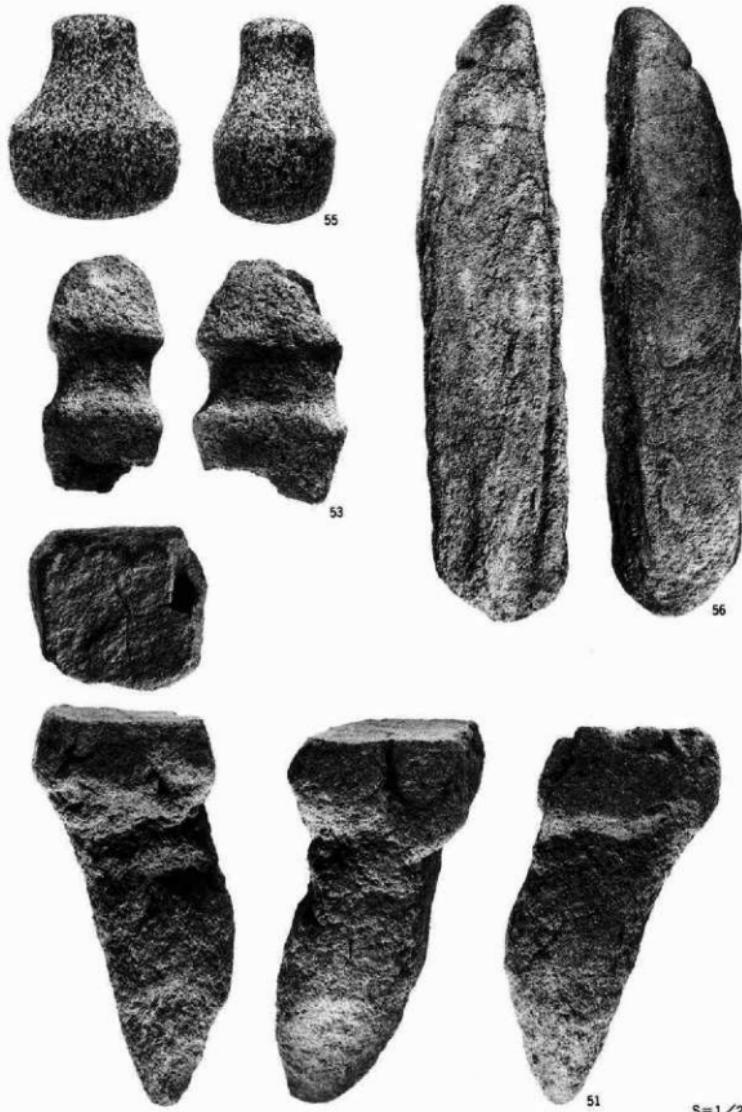
写真図版129 出土遺物石製品 1

S=1/2、1~10S=2/3



写真図版130 出土遺物石製品 2

S=1/2



写真図版131 出土遺物石製品 3

S=1/2



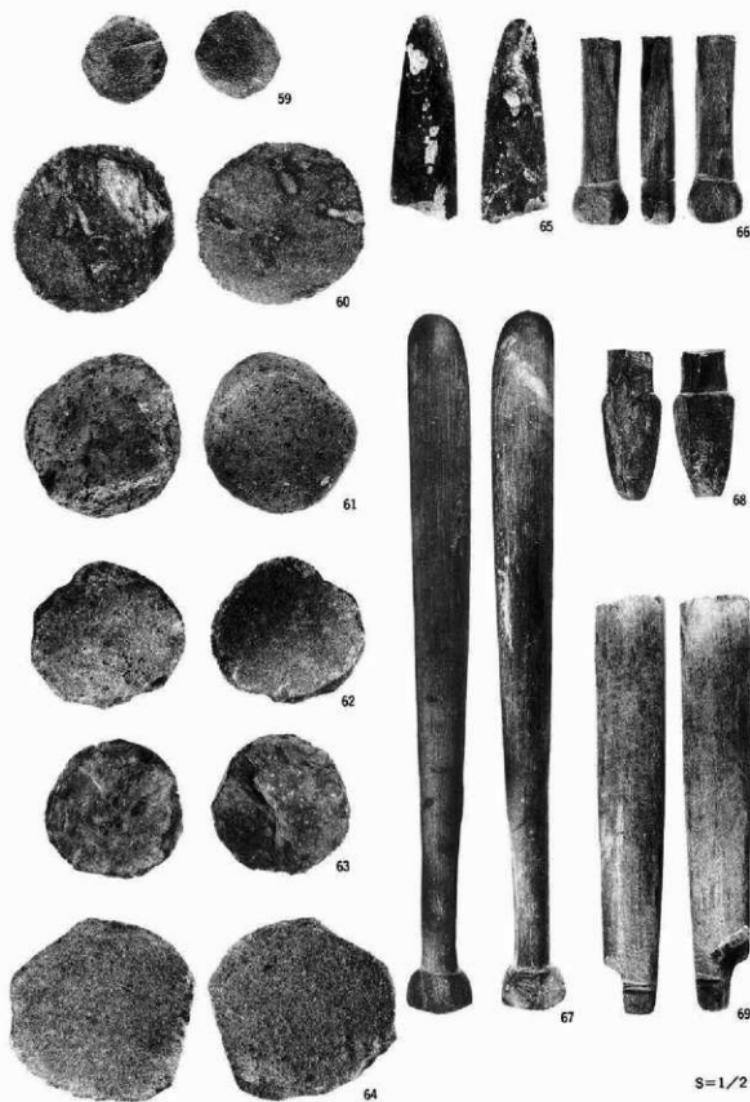
57



58

S=1/3

写真図版132 出土遺物石製品 4



写真図版133 出土遺物石製品 5



写真図版134 出土遺物石製品 6

5=1/2



写真図版135 出土遺物石製品 7

S=1/2



写真図版136 出土遺物石製品 8

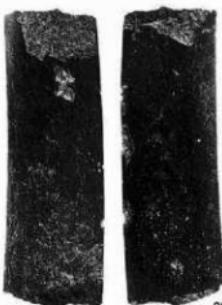
S=1/2



94



95



96



97



98



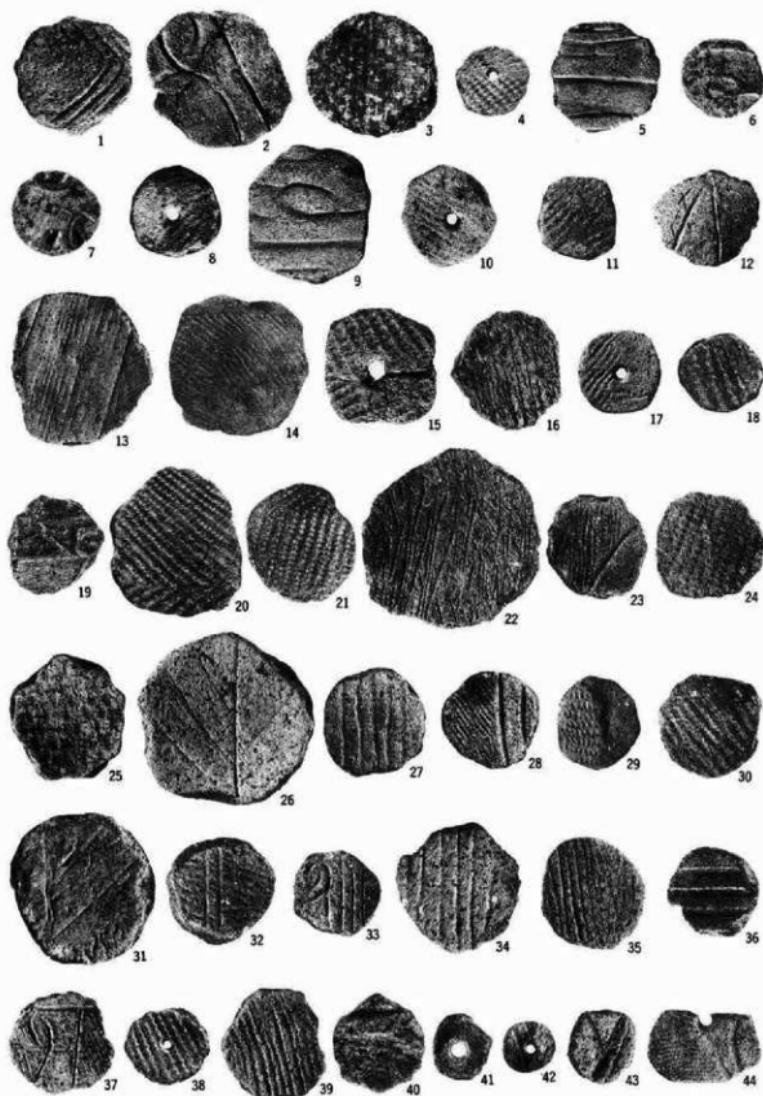
99



100

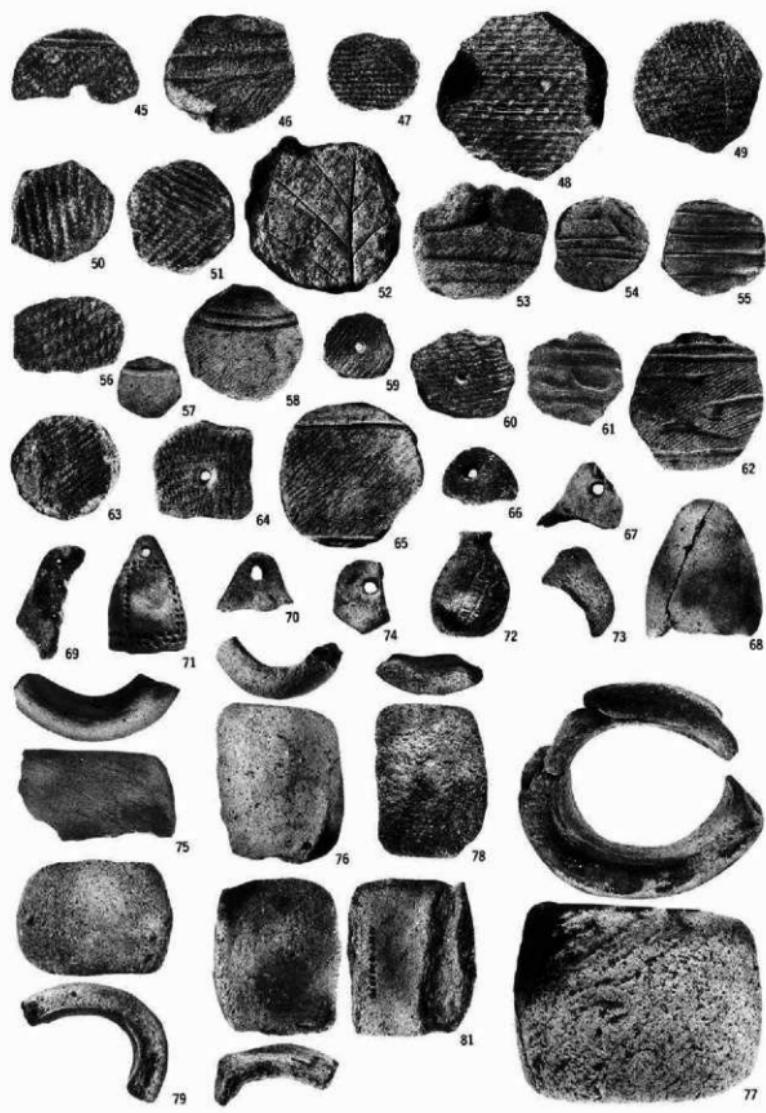
S=1/2

写真図版137 出土遺物石製品 9



写真図版138 出土遺物土製品 1

S=1/2



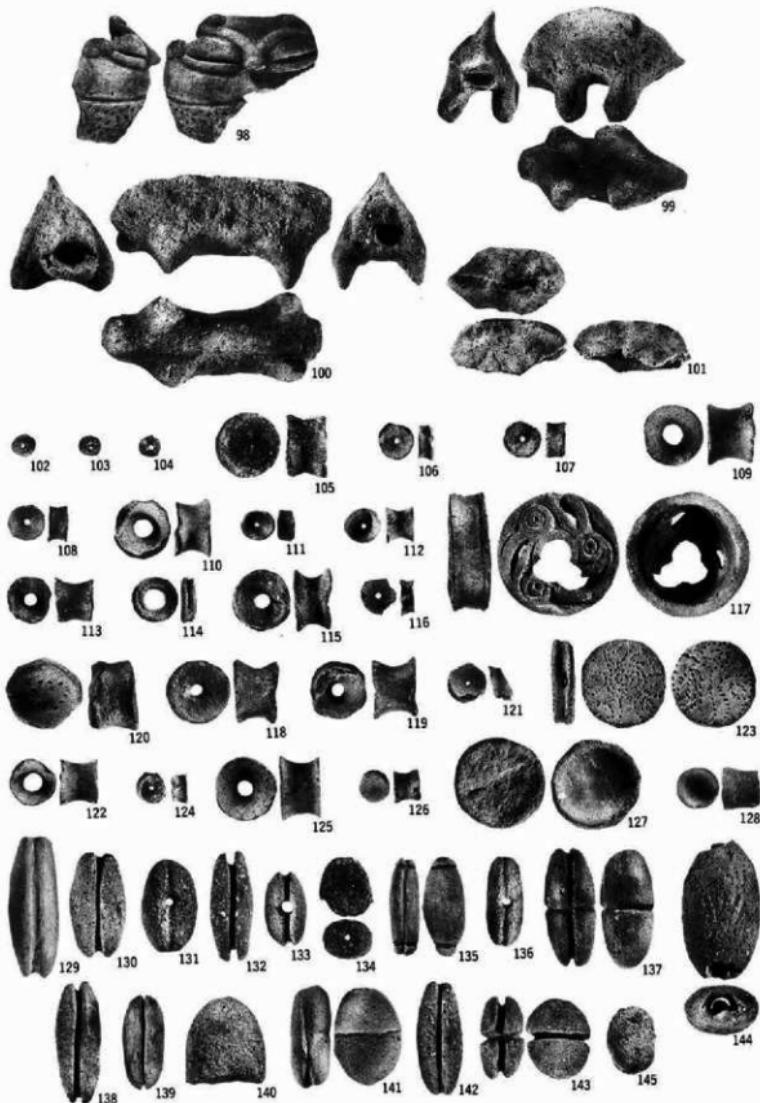
写真図版139 出土遺物土製品 2

S=1/2



写真図版140 出土遺物土製品 3

S=1/2



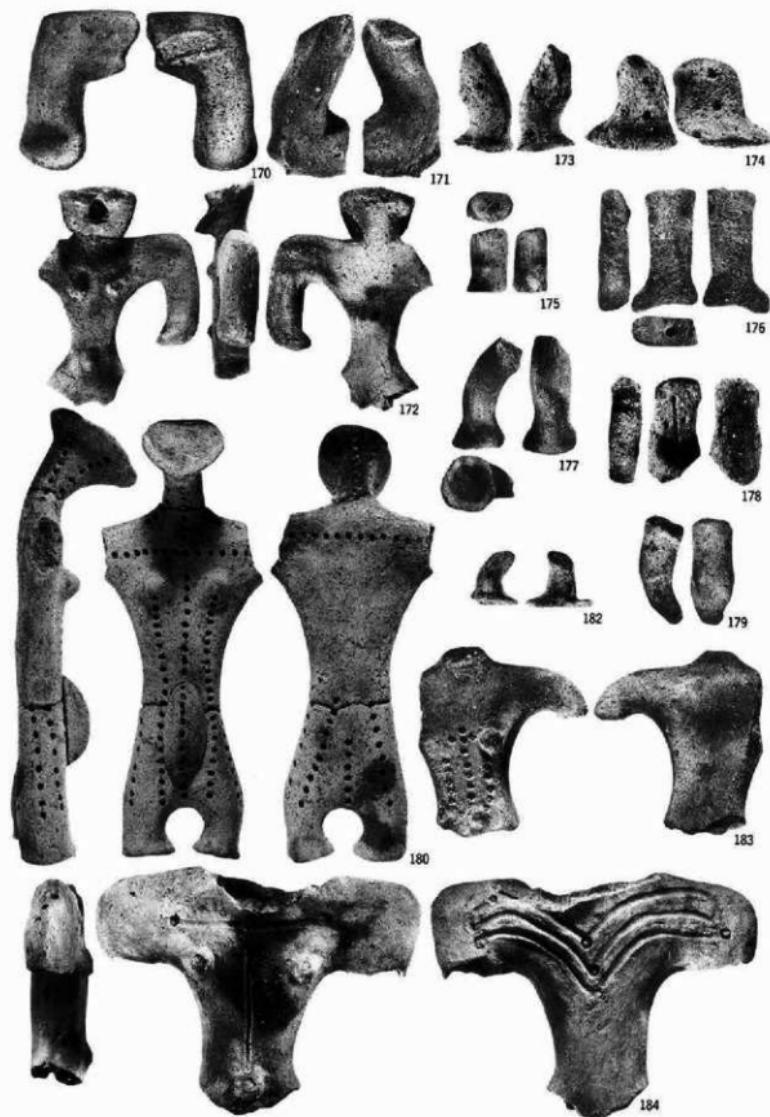
写真図版141 出土遺物土製品 4

S=1/2



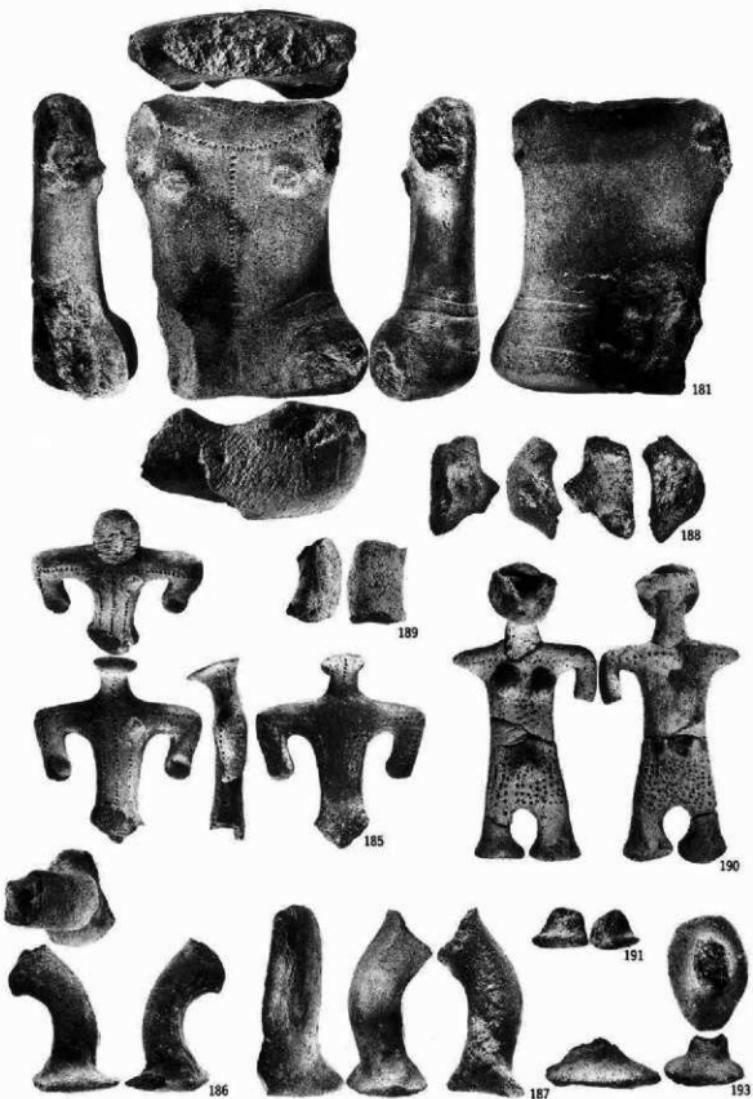
写真図版142 出土遺物土製品 5

S=1/2



写真図版143 出土遺物土製品 6

S=1/2



写真図版144 出土遺物土製品 7

S=1/2



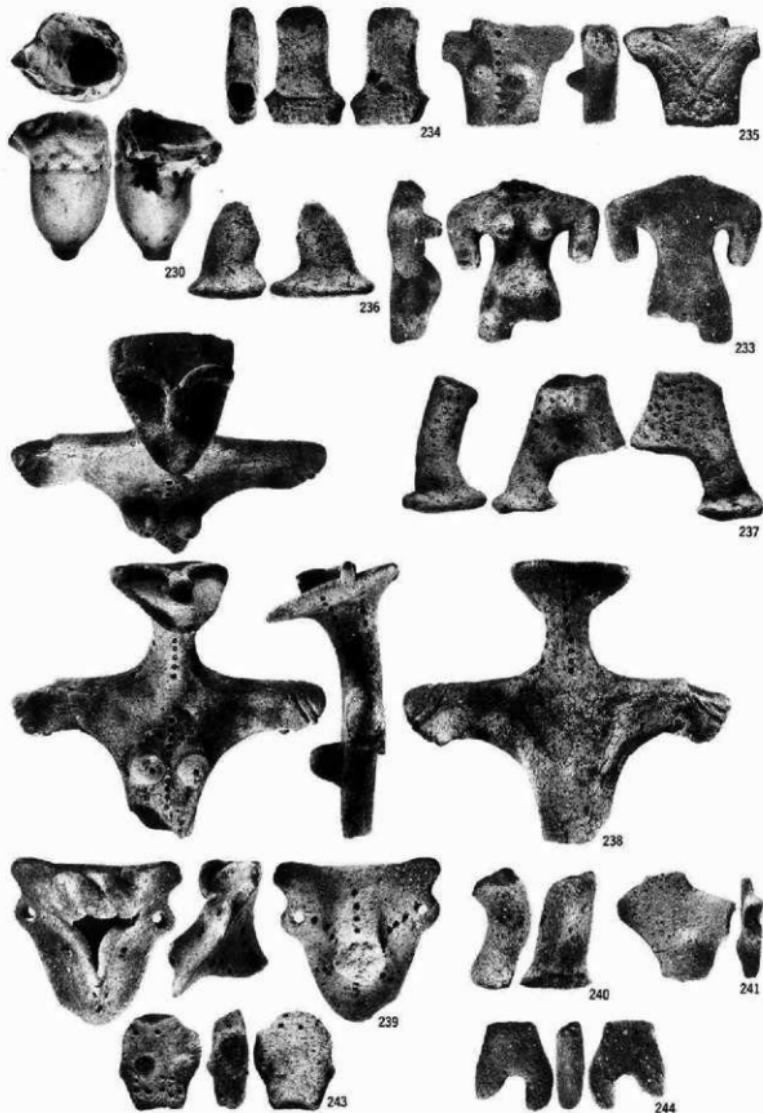
写真図版145 出土遺物土製品 8

S=1/2



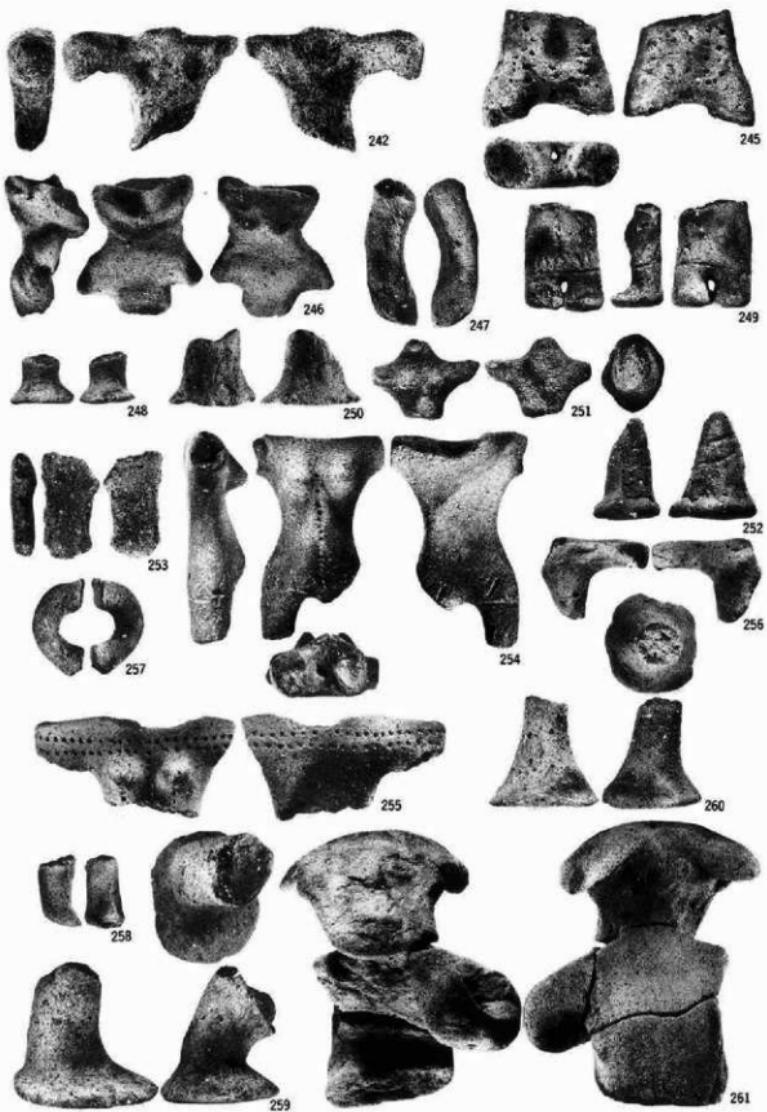
写真図版146 出土遺物土製品 9

S=1/2



写真図版147 出土遺物土製品 10

S=1/2



写真図版148 出土遺物土製品 11

S=1/2

S=1/2

270

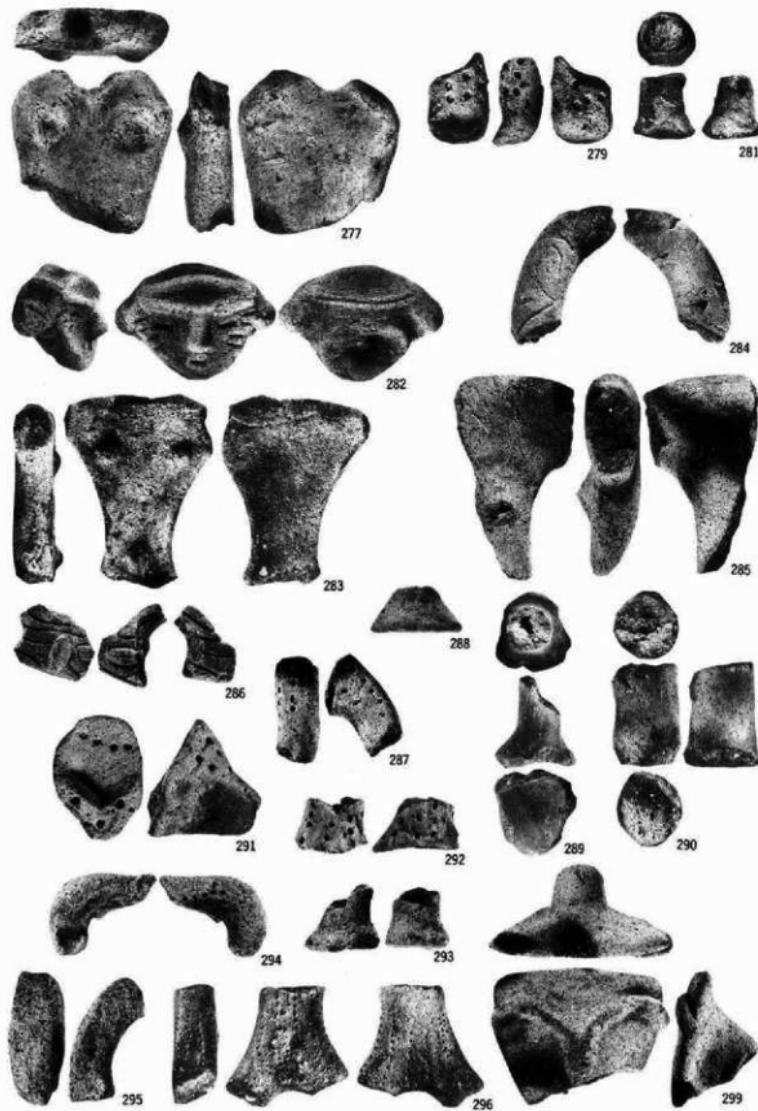


写真図版149 出土遺物土製品12



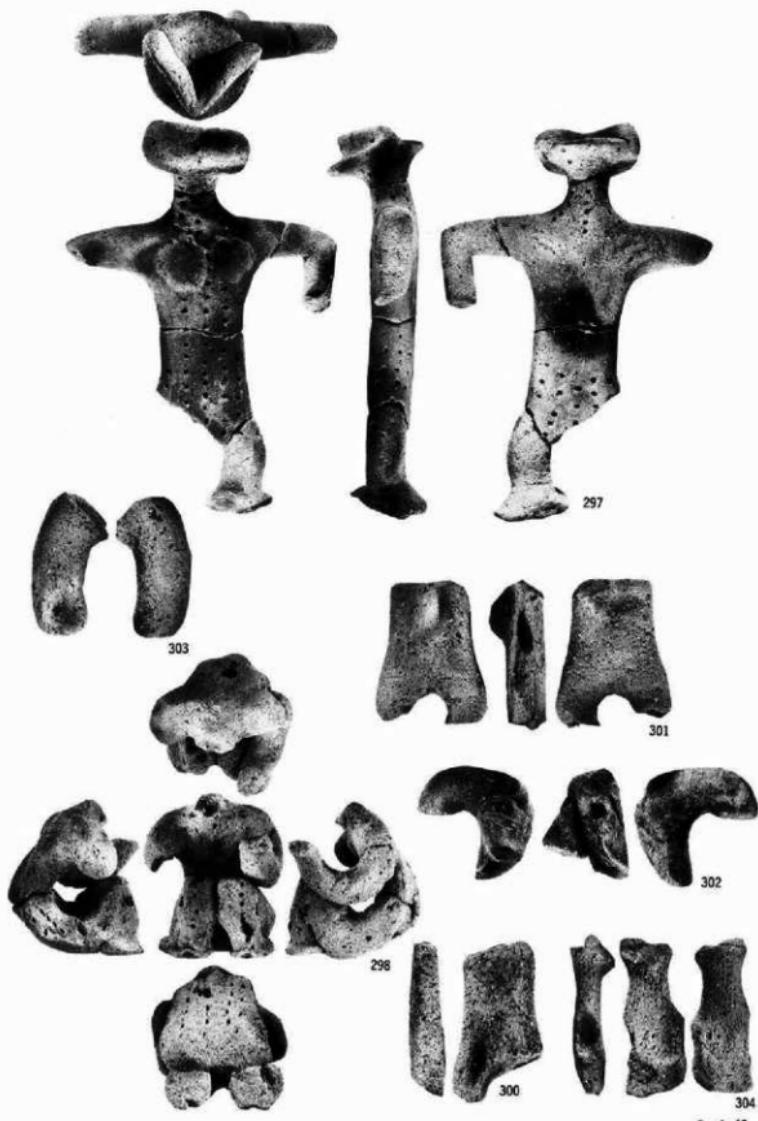
写真図版150 出土遺物土製品 13

S=1/2



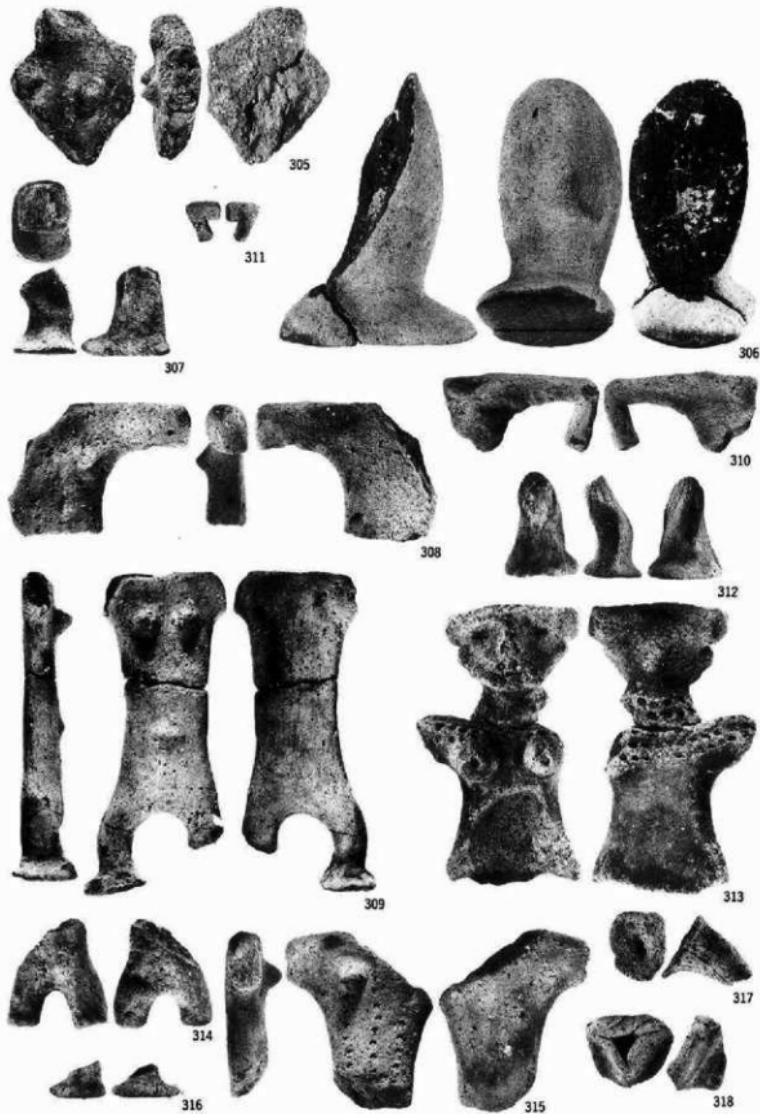
写真図版151 出土遺物土製品14

S=1/2



写真図版152 出土遺物土製品 15

S=1/2



写真図版153 出土遺物土製品 16

S=1/2



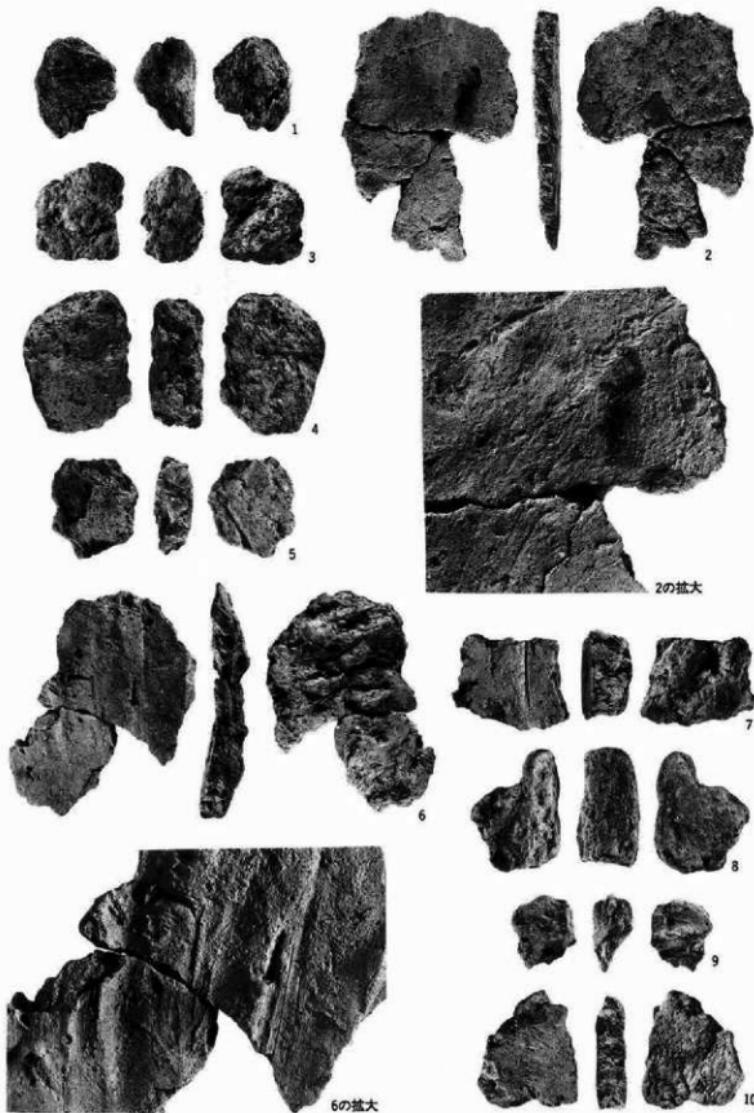
写真図版154 出土遺物土製品 17

S = 1/2



写真図版155 出土遺物土製品 18

S=1/2

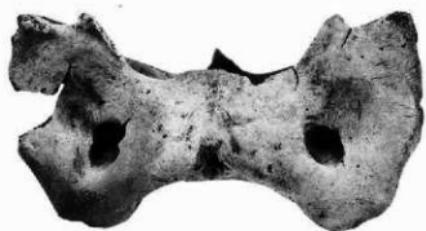


写真図版156 出土遺物焼粘土塊

S=1/3

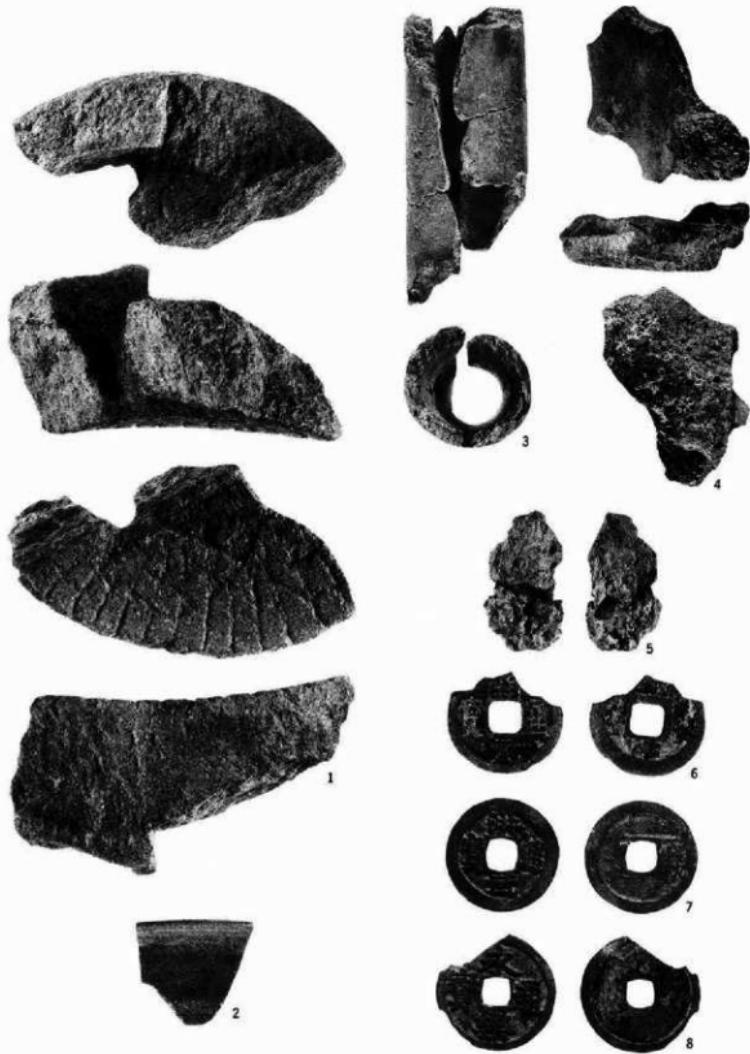


写真図版157 出土遺物焼粘土塊、アスファルト付着土器



写真図版158 出土遺物骨角器、歯骨、水晶

S=1/1



$1+3+4S=2/9, 2S=2/3, 5S=1/2, 6\sim8S=1/1$

写真図版159 出土遺物（縄文時代以外）

報告書抄録

ふりがな	あいのさわいせき はっくつちょうきほうこくしょ						
書名	柏ノ沢遺跡発掘調査報告書						
副書名	畠地帯総合土地改良事業						
巻次							
シリーズ名	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書						
シリーズ番号	第332集						
編著者名	宮本節子						
編集機関	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター						
所在地	〒020-0853 岩手県盛岡市下飯町11-185 TEL 019-638-9001						
発行年月日	西暦 2000年3月21日						
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東經	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
所取遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号				
相ノ沢遺跡	岩手県 東磐井郡森沢町黄海深田和263	03422	OE29-0315	38°51'46"	141°17'8"	19950401~19957031 19960408~19960628	760m ² 畠地帯総合土地改良事業に伴う緊急発掘調査
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項	
相ノ沢遺跡	集落跡	縄文時代 (後期・晩期)	堅穴住居跡 住居状遺構 土坑 配石遺構 焼土遺構 埋設土器 溝 道路状遺構 近代炭窯跡	2棟 2棟 50基 7基 21基 5基 1基 1基 1基	縄文土器・石器260箱 土偶・土製品・石製品 アスファルト塊	住居域・土器・石器の生産に関わる場・墓域・捨て場の3要素をもつ、石器の中では石鐵が8000点以上出土し、黒曜石が多用されている。	

財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター職員

所長 佐藤 基
副所長 伊藤 直司

〔管理課〕

管理課長	川浪 清徳	嘱託	藤島 恵子
主任	立花 多加志	〃	新田 トヨ重
主事	日影 駒夫	〃	佐々木 光重

〔調査第一課〕

課長	小田野 哲文	嘱託	身澄 幸一
課長補佐	佐々木 清孝	〃	微穏子
主任文化財専門調査員	酒井 宗透	高橋 與右衛門	
〃	小山内 達也	中川 重紀	
文化財専門調査員	中田 充勉	高橋 義介	
〃	吉田 邦人	古館 貞良	
〃	鎌田 勉	部尾 真芳	
〃	小笠原 健一	原山 真	
〃	鳥居 達	阿松 伸	
〃	濱田 進	小工 金	
〃	佐々木 宏悦	前田 岩	
〃	安藤 宏夫	金子 浩	
〃	戸口 正之	坂本 早	
〃	小野寺 则彦	佐々木 昭	
〃	阿部 宏彦	星 佐	
〃	千葉 正直	晴山 杉	
〃	柴木 雄	北木 深	
〃	藤原 錠	北木 沢	
〃	澤木 貴	北木 鈴	
〃	池上 一	木村 子	
〃	朝倉 直	木村 伸	
〃	菊池 満	木村 聰	
〃	村本 一	木平 香	
〃	中原 朝	布谷 里	
〃	丸山 伸	山田 誠	
期限職員付	佐藤 幸	吉田 和	
〃	佐藤 幸	川原 徹	
〃	佐藤 幸	原田 俊	
〃	佐藤 幸	江原 佳	
〃	佐藤 幸	林原 里	
〃	佐藤 幸	原田 里	
〃	佐藤 幸	川原 里	

〔調査第二課〕

課長	高橋 與右衛門	嘱託	身澄 幸一
課長補佐	中川 重紀	〃	微穏子
主任文化財専門調査員	高橋 義介	高橋 與右衛門	
〃	古館 貞良	中川 重紀	
文化財専門調査員	部尾 真芳	高橋 義介	
〃	阿松 伸	古館 貞良	
〃	小工 金	部尾 真芳	
〃	前田 岩	高橋 義介	
〃	金子 浩	古館 貞良	
〃	坂本 早	部尾 真芳	
〃	佐々木 昭	高橋 義介	
〃	星 佐	古館 貞良	
〃	晴山 杉	部尾 真芳	
〃	北木 深	高橋 義介	
〃	木村 子	古館 貞良	
〃	木村 伸	部尾 真芳	
〃	木平 香	高橋 義介	
期限職員付	香谷 里	古館 貞良	
〃	布谷 里	部尾 真芳	
〃	山田 里	高橋 義介	
〃	田川 里	古館 貞良	

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第332集

相ノ沢遺跡発掘調査報告書

畑地帯総合土地改良事業

印刷 平成12年3月14日

発行 平成12年3月21日

発行 財團法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〒020-0853 岩手県盛岡市下飯岡11-185

TEL (019) 638-9001

FAX (019) 638-8563

印刷 川口印刷工業株式会社

〒020-0841 盛岡市羽場10-1-2

TEL (019) 632-2211

